

講義内容

法学部

2006
(平成18)
年度

人駒澤大學

講 義 内 容

目 次

法律学科フレックス A・政治学科

I	全 学 共 通 科 目	
1	宗 教 教 育 科 目	11
2	教 養 教 育 科 目	23
3	外 国 語 科 目	109
4	保 健 体 育 科 目	239
II	専 門 教 育 科 目	
1	法 律 学 科	281
2	政 治 学 科	363
III	他 学 部 履 修 科 目	437
IV	「日本語」・「日本事情」科 目	461
V	随 意 科 目	483

法律学科フレックス B

I	全 学 共 通 科 目	
1	宗 教 教 育 科 目	493
2	教 養 教 育 科 目	501
3	外 国 語 科 目	531
4	保 健 体 育 科 目	567
II	専 門 教 育 科 目	583
III	他 学 部 履 修 科 目	639

法 律 学 科 フ レ ッ ク ス A	全 学 共 通 科 目	宗 教 教 育 教 養 教 育 外 国 語 保 健 体 育 法
	専 門 教 育 科 目	律 政 治
	履 修 科 目	他 学 部
	「 日 本 語 」 「 日 本 事 情 」	「 日 本 語 」
法 律 学 科 フ レ ッ ク ス B	全 学 共 通 科 目	宗 教 教 育 教 養 教 育 外 国 語 保 健 体 育
	専 門 教 育 科 目	専 門 教 育
	履 修 科 目	他 学 部
	随 意 科 目	宗 教 教 育

法律学科フレックスA

政 治 学 科

I 全学共通科目

1. 宗教教育科目

1. 宗教教育科目

科目名	配当学科	開講区分	単位	担当者名	ページ
仏教と人間	法A 1 必	通年	4	晴山俊英	11
仏教と人間	法A 1 必	通年	4	岩永正晴	11
仏教と人間	法A 1 必	通年	4	佐藤秀孝	12
仏教と人間	法A 1 必	通年	4	石井清純	12
仏教と人間	政治 1 必	通年	4	菅原壽清	13
仏教と人間	政治 1 必	通年	4	渡部正英	13
仏教と人間	政治 1 必	通年	4	川上新二	14
仏教と人間〔再クラス〕	法A・政治 2・3・4 年	通年	4	岡本一平	14
仏教と人間〔再クラス〕	法A・政治 2・3・4 年	通年	4	晴山俊英	15
仏教と人間〔再クラス〕	法A・政治 2・3・4 年	通年	4	古山健一	15
仏教と人間〔再クラス〕	法A・政治 2・3・4 年	通年	4	吉津宜英	16

科目名	担当者名
仏教と人間	ほれ やま しゆん えい 晴 山 俊 英

講義のねらい

仏教と一口に言っても、場所により宗派により様々な相違があり、場合によっては同じ仏教でも180度違う主張をする。これは人間が人間として生きることの多様性を示していることに他なるまい。仏教を信じる信じない、そして何が「正しい仏教」なのかは、最終的には個人の信念に依ろうが、一社会人としてその予備知識を養っておきたい。その意味も込めて、本講義のねらいは各国・各宗派の特徴とその背景を、大きな仏教史の中で概観して貰うことにある。

講義の内容・授業スケジュール

釈尊の生涯とその教えに始まり、インド・中国・日本における仏教の展開と主な人物、特徴を概説していく。

履修上の留意点

仏教が何らかの展開する際には、必ず人間の何らかの要請が介在していると思われる。本講義を通じて、そういった人間の要請というものを考察されたい。

成績評価の方法

期末試験に出席の状況（不定期に出欠をとります）を加味して評価する。

教科書

特になし。板書が中心となる。

参考書等

授業において適宜指示する。

科目名	担当者名
仏教と人間	いわ なが しよう せい 岩 永 正 晴

講義のねらい

曹洞宗によって創立された駒澤大学で学ぶ学生諸君に仏教および曹洞宗の教えに親しんで貰うことを、本講義の目的とします。しかし、永い歴史を有する仏教が生み出した煩雑な儀礼や慣例、特殊な用語、多量の文献など、諸君を仏教から遠ざける要因は少なくないでしょう。本講義では、その要因のひとつ、仏教で用いる用語の解説に主眼を置きながら、仏教の考え方を紹介していきたいと思えます。宗教にまつわる問題が取り沙汰される昨今、ひとえに熱狂したり嫌ったりするのではなく、宗教および仏教について冷静に考察するための材料を提供したいと考えています。

講義の内容・授業スケジュール

基本的には教科書を読み進め、解説を行います。

履修上の留意点

成績評価に際しては、出席点やレポートなどの補助的な評価材料を用いないので、授業には積極的に参加して貰いたい。

成績評価の方法

学年末の試験のみによって成績評価を行う。レポート、出席点等はない。

教科書

平川彰『仏教入門〈新装版〉』（春秋社刊）

参考書等

平川彰著『仏教入門』（春秋社刊）、松尾剛次『「お坊さん」の日本史』（日本放送出版協会・生活人新書041）、角田泰隆『道元入門』（大蔵出版）、古田紹欽訳注『正法眼蔵随聞記』（角川文庫）、鏡島元隆『正法眼蔵随聞記に学ぶ』（曹洞宗宗務庁）等。その他は講義の中で適宜紹介する。

その他

中村元『ブツダ入門』（春秋社）、角田泰隆『道元入門』（大蔵出版）、松尾剛次『「お坊さん」の日本史』（日本放送出版協会・生活人新書041）、鏡島元隆『正法眼蔵随聞記に学ぶ』（曹洞宗宗務庁）等。その他は講義の中で適宜紹介する。

科目名	担当者名
仏教と人間	佐藤 秀孝

講義のねらい

仏教はインドのゴータマ・シッダッタ（釈迦牟尼仏）を開祖とする宗教であり、すでに2500年の歴史を有している。世間一般の仏教に関する理解は、おおむね葬式仏教というイメージが中心であろう。しかし、実際には仏教の思想は生きた人間そのものを見つめるきわめて現代的なものである。仏教が他の諸宗教ときわめて相違する点は、神を持ち出さず、あくまで人間（自己）の苦悩や生死の問題に正面から立ち向かっているところにある。その面で仏教はまさに人間学なのであって、「人（人生）とは如何にあるか」「人（人生）とは如何にあるべきか」を課題にしているわけである。

講義の内容・授業スケジュール

講義では人間学としての仏教の基本的なものの考え方（無常・縁起など）を諸方面から窺い、仏教の現代的意義を探ってみたい。また合わせて本学の建学の理念でもある禅のものの考え方についても、その実践性から禅の人間観・修行観・生活観などの諸方面から説明したい。とくに永平寺を開いた道元は「仏道をならふといふは自己をならふなり」と述べており、自己とは何か、自己そのものを学ぶのが仏道であることを表明している。とかく宗教問題が錯綜している現今であるが、東洋の思想の一つとして、本当の仏教とは何か、禅とは何かを知ってもらいたい。

成績評価の方法

年度末試験およびレポート提出などを中心とするが、さらに出席を重視するのでそのつもりで臨んでもらいたい。

教科書

廣澤隆之『図解雑学・仏教』（ナツメ社）1,400円を使用したい。

参考書等

奈良康明『仏教と人間』（東京書籍・東書選書）や松本史朗『仏教への道』（東京書籍・東書選書）などが有益であろう。

科目名	担当者名
仏教と人間	石井 清純

講義のねらい

仏教の思想と禅の中心思想について解説し、本学の依って立つところを明らかにする。

講義の内容・授業スケジュール

種々の経典における仏教の教えと、禅思想の展開について歴史的に概観する。また、鎌倉時代に成立した各宗派の内容を対比的に解説しつつ、現代社会と仏教あるいは宗教の関わりについて問題提起をしてゆきたい。

成績評価の方法

前期終了時にレポートを課す。それと年度末の筆記試験をもって評価を行う。

教科書

適宜プリントを配布する。

参考書等

五来重『日本人の仏教史』（角川選書）

科目名	担当者名
仏教と人間	かわがみしんじ 川上新一

講義のねらい	私たちは意識するしないにかかわらず、考え方や行為、慣習などの面において仏教と深く関係しながら生活しています。この講義は私たちの生活に深く関わっている仏教について、その基本的な内容について学び、それを通じて私たち自身を再確認する機会にしたいと考えています。
講義の内容・授業スケジュール	前期は、釈迦が説いた教えを中心に紹介します。①釈迦以前のインドの状況、②釈迦の生涯、③釈迦の悟りの内容、④修行などについて講義します。 後期は、中国から日本に伝来した禅宗を中心に紹介します。①中国での禅宗とその教え、②日本への禅宗の伝来、③道元の生涯、④道元の教えなどについて講義します。
履修上の留意点	この講義は、私たちの生活に大きな影響を与えている仏教の教えの基本的な内容に焦点をあてたものですが、私たちは仏教が説く教えの面だけでなく、葬式や祖先供養、祈願、厄祓いなど仏教に由来する諸儀礼とも深くかかわりながら暮らしています。私たちの周囲には仏教だけでなくさまざまな宗教が存在し、私たちは仏教も含めた多様な宗教文化のなかで暮らしています。仏教や宗教を総合的な視野からとらえようとするならば、仏教や他の宗教をさまざまな角度から眺めてみる必要がある。仏教や宗教についてさらなる理解のため、宗教に関連したさまざまな講義を積極的に受講することを勧めます。
成績評価の方法	年度末試験、小レポート、出席状況などを総合して評価します。
教科書	水野弘元・柴田道賢監修『宗教学ハンドブック』（世界書院）

科目名	担当者名
仏教と人間〔再クラス〕	おかもといつべい 岡本一平

講義のねらい	仏教は、約2500年前のインドにおいて、釈尊を開祖として成立した宗教です。その後、中国・韓国・日本・チベット・スリランカ・タイ・カンボジアなどに伝播し、現在では世界各国の仏教徒たちによっても信仰されています。本年度は、仏教の思想と歴史の基本的概要について、現代社会における宗教事情との関連を念頭におきながら講義します。そして、受講生自身が仏教に関する知識を深め、仏教について考えるための材料を多く手にすることが出来るようになります。
講義の内容・授業スケジュール	前期：仏教の思想と歴史に関する概論 ①宗教とは何か ②仏教の開祖の伝記 ③仏教の聖典 ④仏教の伝播 ⑤仏教の思想 後期：日本における仏教について ①日本と仏教 ②仏教公伝 ③古代の仏教 ④中世の仏教 ⑤近代の仏教
履修上の留意点	講義形式で行います。筆記用具とノートは必ず準備して下さい。私語は厳禁で、場合によっては退席してもらいます。質疑は大歓迎です。
成績評価の方法	出席と学年末試験により評価します。場合によって小テストを実施します。
教科書	プリントを配布します。
参考書等	袴谷憲昭『仏教入門』（大蔵出版）2003年 袴谷憲昭『日本仏教文化史』（大蔵出版）2005年

科目名

担当者名

仏教と人間〔再クラス〕

はれ やま しゅん えい
晴 山 俊 英

講義のねらい

仏教と一口に言っても、場所により宗派により様々な相違があり、場合によっては同じ仏教でも180度違う主張をする。これは人間が人間として生きることの多様性を示していることに他なるまい。仏教を信じる信じない、そして何が「正しい仏教」なのかは、最終的には個人の信念に依ろうが、一社会人としてその予備知識を養っておきたい。その意味も込めて、本講義のねらいは各国・各宗派の特徴とその背景を、大きな仏教史の中で概観して貰うことにある。

講義の内容・授業スケジュール

釈尊の生涯とその教えに始まり、インド・中国・日本における仏教の展開と主な人物、特徴を概説していく。

履修上の留意点

仏教が何らかの展開する際には、必ず人間の何らかの要請が介在していると思われる。本講義を通じて、そういった人間の要請というものを考察されたい。

成績評価の方法

期末試験に出席の状況（不定期に出欠をとります）を加味して評価する。

参考書等

授業において適宜指示する。

科目名

担当者名

仏教と人間〔再クラス〕

ふる やま けん いち
古 山 健 一

講義のねらい

仏教は今から約二千六百年前にインドで興起した宗教である。仏教の開祖である釈尊（ゴータマブツダ）は、いきとし生けるものすべての幸福に関する普遍的で絶対的な道理を「教え」として説いた。そして、その教えは、今日までの長い時間に、さまざまに変容・発展しつつ、アジアの広範な地域に伝播した。本講義では、仏教の出発点とその後の展開についてを学び、かつ、その仏教が現代の人間社会と人間生活において持ちうる意義を考えていきたい。

講義の内容・授業スケジュール

釈尊の生涯、釈尊の説いた重要な教え、その後の仏教の伝播と歴史についてを概論的に学び、仏教の現代における意義について、特に現代タイの開発僧における「開発」の思想を取りあげて、これを見てゆきたい。

履修上の留意点

特になし。

成績評価の方法

授業への出席状況と、夏休みの提出課題及び学年末試験により評価する。

教科書

プリント随時配布する。

参考書等

水野弘元『仏教要語の基礎知識』（春秋社）2,100円 ISBN4393106040
 中野元・三枝充恵『バウツダ・佛教』（小学館）3,262円 ISBN4095580011
 西川潤・野田真里編『仏教・開発・NGO タイ開発僧に学ぶ共生の智慧』（新評論）3,465円 ISBN4794805365

科目名

担当者名

仏教と人間(再クラス)

よしすよしひで
吉津宜英

講義のねらい

先ず最初にこの科目名は「仏教と人間」となっていますが、私は「宗教と人間」というぐらいに広く考えてゆきたいと思います。仏教を含めた宗教に対して皆さんはどのようなイメージを抱き、どのような意見を持っているのでしょうか。すでに特定の宗教を信じている人もいるかもしれませんが、これまで関心の無かった人もあり、また宗教批判者もあるかもしれません。私は宗教に対して肯定的な人にも否定的な方にも先ず宗教や仏教への正しい知識を持ってもらいたいと思います。宗教は政治、経済、科学技術、教育、芸術などと並んで人間の文化の一翼を担っています。太古からいろいろな様々な宗教が存在しています。ある宗教は一神を信仰しますが、他には多くの神を信仰したり、仏教のように仏を主張するものもあります。なぜ人間は宗教を求めるのでしょうか。この講義では先ず様々な宗教の多様性の確認から始めます。そして、宗教は社会の中でどのような機能を果たしているのかを考えます。また、宗教をめぐる様々な問題点を取り上げます。宗教は人々の幸福を成就する目的を持っているのに、民族紛争などと絡んで宗教戦争が起こり、多くの不幸な人々が出てしまう問題もあります。宗教は個人個人が何かを信じていれば他に迷惑をかけないですむと思うのですが、宗教集団が成立すると、公共の福祉に反する社会的問題を引き起こします。講義全体としては、仏教を含めた宗教の功罪両面を考えてゆくことをねらいとします。

講義の内容・
授業スケジュール

前期には宗教の様々な形態について概説します。そして、世界の諸宗教の中で仏教の特色を明らかにします。後期は仏教を含めた宗教と人間社会の様々な問題を取り上げます。新新宗教と呼ばれる存在にも注目します。また政教分離などの宗教と政治の問題、民族紛争絡みの宗教戦争の問題、人権と宗教の関連性、脳死の是非、遺伝子工学など生命倫理の問題と宗教との関わり等のテーマを順次取り上げます。毎回、必ずあるタイトルを明示して、講義を行います。

履修上の留意点

この科目専用のノートを用意して下さい。講義を筆記すると同時に自分の意見や疑問を書き留め、年間を通して受講と思索の軌跡が残るようにしてもらいたいと希望します。

成績評価の方法

毎回出席を取り、年間で2～3回の課題提出を御願いし、最後に期末試験を行い、その結果を総合して成績評価を行います。

教科書

特に使用しないが、出来るだけ参考資料としてのプリントを配布します。

参考書等

授業の中で随時参考図書などを紹介します。

その他

私の講義中でも挙手して質問して下さい。ただ、私語は厳禁です。あまり目立つ場合には退場を要請しますので、あらかじめご承知おき下さい。また、授業開始時間後30分を経過してからは教場に入らないで下さい。

2. 教 養 教 育 科 目

授業時間表の区分「B」の科目を履修する場合は、
フレックスBの頁を参照してください。(→P. 501)

2. 教養教育科目

(1) 人文分野

科目名	配当学科	開講区分	単位	担当者名	ページ
文学〔外国文学「中国文学」〕	法A・政治・法B選	通年	4	佐藤普美子	23
文学〔日本文学「古典」〕	法A・政治・法B選	通年	4	鈴木裕子	23
歴史学〔日本中世史〕	法A・政治選	通年	4	栗原修	24
歴史学〔日本近世史〕	法A・政治・法B選	通年	4	小高昭一	24
芸術学(1)〔日本美術〕	法A・政治選	通年	4	北野良枝	25
芸術学(2)〔西洋美術〕	法A・政治選	通年	4	矢野陽子	25
芸術学(3)〔音楽〕	法A・政治選	通年	4	浦本裕子	26
哲学〔現代文明と人間〕	法A・政治・法B選	通年	4	久保陽一	26
哲学〔西洋思想の源流〕	法A・政治・法B選	通年	4	河合淳	27
論理学〔知の技法〕	法A・政治選	通年	4	伊古田理	27
論理学〔知の技法〕	法A・政治選	通年	4	植野公稔	28
論理学〔科学方法論と現代論理学〕	法A・政治選	通年	4	山口祐弘	28
科学史〔科学と技術〕	法A・政治選	通年	4	高橋秀裕	29
倫理学(1)〔人間観〕	法A・政治選	通年	4	古田知章	30
倫理学(2)(7)〔応用倫理学〕	法A・政治選	通年	4	黒崎剛	31
倫理学(3)〔価値観〕	法A・政治選	通年	4	滝沢正之	31
倫理学(4)〔応用倫理学〕	法A・政治選	通年	4	麻生享志	32
倫理学(5)〔制度とモラル〕	法A・政治選	通年	4	滝口清栄	32
倫理学(6)〔東洋倫理〕	法A・政治選	通年	4	末木恭彦	33
宗教学(1)〔比較宗教文化〕	法A・政治・法B選	通年	4	池上良正	33
宗教学(2)〔聖と俗〕	法A・政治・法B選	通年	4	田中かの子	34
宗教学(3)〔世界観と儀礼〕	法A・政治・法B選	通年	4	小川順敬	35
宗教学(4)〔日本人の宗教〕	法A・政治・法B選	通年	4	矢野秀武	35
宗教学(5)〔生活と宗教〕	法A・政治・法B選	通年	4	菅原壽清	36
宗教学(6)〔民俗宗教の諸相〕	法A・政治・法B選	通年	4	浅川泰宏	36
人文地理学(1)〔風土と文化〕	法A・政治選	通年	4	山口太郎	37
人文地理学(2)〔風土と文化〕	法A・政治選	通年	4	高橋健太郎	38
人文地理学(3)(4)〔空間と行動〕	法A・政治選	通年	4	伊藤修一	39
教育の思想	法A・政治・法B 2選	半期	2	伊藤茂樹	39
教育の思想	法A・政治・法B 2選	半期	2	坂本信昭	40
教育の思想	法B 2選	半期	2	伊藤茂樹	40
教育の思想	法B 2選	半期	2	北村三子	41
教育の思想	法B 2選	半期	2	豊田千代子	41
教育の思想	法B 2選	半期	2	萩原建次郎	42
教育と社会	法A・政治・法B 2選	半期	2	伊藤茂樹	42
教育と社会	法A・政治・法B 2選	半期	2	坂本信昭	43
教育と社会	法B 2選	半期	2	北村三子	43
教育と社会	法B 2選	半期	2	豊田千代子	44
教育と社会	法B 2選	半期	2	萩原建次郎	45
発達と学習の心理学	法A・政治・法B 2選	半期	2	小倉康仁	46
発達と学習の心理学	法A・政治・法B 2選	半期	2	飯田都	47

発達と学習の心理学	法A・政治・法B2選	半期	2	三國隆子	47
発達と学習の心理学	法B2選	半期	2	大浜幾久子	48
発達と学習の心理学	法B2選	半期	2	角野善司	48
カリキュラムと学習	12以降入学生/法A・政治・法B2選	半期	2	小倉康仁	49
カリキュラムと学習	12以降入学生/法A・政治・法B2選	半期	2	三國隆子	49
カリキュラムと学習	12以降入学生/法A・政治・法B2選	半期	2	杉山二季	50
カリキュラムと学習	12以降入学生/法B2選	半期	2	大浜幾久子	50
カリキュラムと学習	12以降入学生/法B2選	半期	2	角野善司	51

(2) 社会分野

科目名	配当学科	開講区分	単位	担当者名	ページ
社会学〔現代文化を考える〕	法A・政治・法B選	通年	4	呉炳三	52
統計学〔社会現象の統計的決定〕	法A・政治・法B選	通年	4	新行内康慈	53
文化人類学〔文化と人間〕	法A・政治・法B選	通年	4	森雅文	54
文化人類学〔文化と人間〕	法A・政治・法B選	通年	4	加藤之晴	54
法学・憲法〔法と社会生活〕	法A・政治・法B選	通年	4	和知恵一	55
法学・憲法〔法と国家〕	法A・政治・法B選	通年	4	新田浩司	56
法学・憲法〔法と権利〕	法A・政治・法B選	夏季集中	4	池田実	57
政治学〔国際社会と日本〕	法A・法B選	通年	4	三船恵美	58
経済学〔現代経済理解へのガイド〕	法A・政治・法B選	通年	4	佐藤綾野	58
社会科学論〔社会認識の思想〕	法A・政治・法B選	通年	4	大石雄爾	59
教育学〔デス・エデュケーション〕	法A・政治選	通年	4	柳堀素雅子	60
教育心理〔大学生の心理―教育臨床心理学の立場から―〕	法A・政治選	通年	4	小田切紀子	61

(3) 自然分野

科目名	配当学科	開講区分	単位	担当者名	ページ
生物学〔生態と進化〕	法A・政治・法B選	通年	4	清水善和	62
地球科学〔地球の変換・生命の進化〕	法A・政治・法B選	通年	4	小池敏夫	63
自然環境論〔生命と環境〕	法A・政治・法B選	通年	4	中村敏枝	63
自然環境論〔生物の集団と環境〕	法A・政治・法B選	通年	4	坂巻義章	64
自然誌〔現代の自然像〕	法A・政治選	通年	4	清水善和 篠原正雄 持丸真里	65
数学(1)〔微積分学入門〕	法A・政治選	通年	4	小沢誠	66
数学(2)〔線型代数学入門〕	法A・政治選	通年	4	小沢誠	66
数学(3)〔現代数学入門〕	法A・政治選	通年	4	福田賢一	67
情報数学〔情報と論理〕	法A・政治・法B選	通年	4	坂野井和代	67
物理学〔光と物質〕	法A・政治選	通年	4	篠原正雄	68
化学〔衣食住の化学〕	法A・政治選	通年	4	持丸真里	69
宇宙科学〔星と銀河〕	法A・政治選	通年	4	篠原正雄	69
コンピュータ基礎(1)(6) 〔コンピュータの実際〕	法A・政治選	半期	2	小沢誠	70
コンピュータ基礎(4)(9) 〔コンピュータの実際〕	法A・政治選	半期	2	小沢誠	71
コンピュータ基礎(2)(7) 〔コンピュータの実際〕	法A・政治選	半期	2	山本博信	72
コンピュータ基礎(3)(8) 〔コンピュータの実際〕	法A・政治選	半期	2	小川健次郎	73
コンピュータ基礎(5) 〔コンピュータの実際〕	法A・政治選	半期	2	澤口隆	74
コンピュータ基礎(10) 〔コンピュータの実際〕	法A・政治選	半期	2	澤口隆	75
コンピュータ基礎(11) 〔コンピュータの実際〕	法A・政治選	夏季集中	2	元木光雄	76
コンピュータ基礎(12) 〔コンピュータの実際〕	法A・政治選	夏季集中	2	坂野井和代	77
コンピュータ基礎(13) 〔コンピュータの実際〕	法A・政治選	夏季集中	2	山本博信	78
コンピュータ基礎(14) 〔コンピュータの実際〕	法A・政治選	夏季集中	2	長坂浩史	79
コンピュータ基礎(15)(16) 〔コンピュータの実際〕	法A・政治選	夏季集中	2	小川健次郎	80
コンピュータ基礎(17) 〔コンピュータの実際〕	法A・政治選	夏季集中	2	塚本達也	80
コンピュータ基礎(18) 〔コンピュータの実際〕	法A・政治選	夏季集中	2	小沢誠	81
コンピュータ基礎(19)(20) 〔コンピュータの実際〕	法A・政治選	半期	2	坂野井和代	82
コンピュータ応用(1)(2) 〔コンピュータの原理〕	法A・政治選	通年	4	坂野井和代	83

人類学(1)(2)〔人類の進化〕	法A・政治選	通年	4	篠田謙一	83
心理学〔人間関係を考える〕	法A・政治・法B選	通年	4	加藤博己	84
心理学〔人間関係を考える〕	法A・政治・法B選	通年	4	鈴木順一	84
心理学〔心を科学する〕	法A・政治・法B選	夏季集中	4	深堀友寛	85

(4) 総合分野

科目名	配当学科	開講区分	単位	担当者名	ページ
総合Ⅰ(1)〔仏教と自然〕	法A・政治選	通年	4	四津谷孝道	86
総合Ⅰ(2)〔仏教と社会〕	法A・政治選	通年	4	熊本英人	87
総合Ⅰ(3)〔仏教と芸術〕	法A・政治選	通年	4	村松哲文	87
総合Ⅱ	法A・政治選	通年	4	休講	
総合Ⅲ(1)〔人権と社会問題〕	法A・政治選	通年	4	ピアス, D. M.	88
総合Ⅲ(2)〔欧米の教育と日本の教育〕	法A・政治選	通年	4	岡崎寿一郎	89
総合Ⅲ(3)〔ドイツの森林〕	法A・政治選	通年	4	野島利彰	89
総合Ⅳ(1)〔現代アメリカ事情〕	法A・政治選	通年	4	林明人	90
総合Ⅳ(2)〔シアトル市のNPOとまちづくり〕	法A・政治選	通年	4	西村祐子	90
総合Ⅳ(3)〔ポスト・モダンの世界〕	法A・政治選	通年	4	丸小哲雄	91
総合Ⅴ(1)〔イギリスの歴史と文化〕	法A・政治選	通年	4	石原孝哉	92
総合Ⅵ(1)〔民族とは何か〕	法A・政治選	通年	4	大野祐二	92
総合Ⅵ(2)〔イスラム〕	法A・政治選	通年	4	青柳かおる	93
総合Ⅵ(3)〔フェミニズム・ジェンダー〕	法A・政治選	通年	4	早川紀代	94
総合Ⅶ(1)〔トラブルと法的解決〕	法A・政治選	通年	4	高橋洋城 他	95
総合Ⅶ(2)〔都市論〕	法A・政治選	通年	4	内海麻利 他	96
総合Ⅷ				休講	

科目名	担当者名
文学〔外国文学〔中国文学〕〕	佐藤 普美子

講義のねらい	90年代以降、政治・経済面で著しい変化を見せている中国では、文学はどのような状況を呈しているのだろうか。文学者たちの多種多様な試みを、具体的作品を通して紹介したい。
講義の内容・授業スケジュール	テキスト（全10章）の各章について2回の講義で解説をします。 毎回授業の最後に、その回の中心テーマについて質問をしますので、自分の考え・感想等を書いて提出していただきます。
成績評価の方法	出席点、前期末・後期末レポートにより、総合的に評価します。
教科書	『「規範」からの離脱—中国同時代作家たちの探求』（山川出版社）1,890円
参考書等	開講後、適宜紹介。

科目名	担当者名
文学〔日本文学〔古典〕〕	鈴木 裕子

講義のねらい	和歌で読む『源氏物語』 古典の物語において和歌は重要な役割を果たしている。今回は、特に『源氏物語』を取り上げ、作品を読みながら和歌がどのように用いられているか、見ていくことにする。和歌を読み解くことで、作中人物の状況や心情、意思、あるいは無意識の深層まで理解することができるとおもしろい。
講義の内容・授業スケジュール	古典和歌になじみのない人のために、始めは現代語訳の『源氏物語』で和歌がどう扱われているかについて確認する。次に、原文から精選した場面を読みながら、和歌の機能について理解を深めていければよいと考えている。 （前期）・『源氏物語』概説（さまざまな現代語訳） ・第一部の物語世界から（藤壺・中の品の女たち・六条御息所の歌など） （後期）・第二部の物語世界から（紫の上・女三の宮・明石の一族の歌など） ・第三部の物語世界から（薫・宇治の姉妹・浮舟の歌など）
履修上の留意点	授業はテキストやプリント教材を用いての講義形式が基本となろうが、頻繁に小作文などの課題を出題する。
成績評価の方法	前期・後期にそれぞれ一度ずつ行う試験（論題等は授業時に提示）・授業態度（欠席・遅刻をしないことは前提）・課題などから総合的に行う。授業中の私語や途中退室等をする者には厳しく対処する。
教科書	俵万智『愛する源氏物語』（文藝春秋社）、その他プリント教材。
参考書等	参考書は、授業中に指示する。

科目名	担当者名
歴史学〔日本中世史〕	栗原 修 <small>くりはら おさむ</small>
講義のねらい	中世社会の歴史について講義します。とくに、古代→中世、中世→近世へという社会の変化をとらえることをねらいとします。そのなかで、中世とはどのような社会であったのか、その特質をみていきます。
講義の内容・授業スケジュール	(前期) 荘園公領制と幕府 ～武士身分の誕生から鎌倉幕府の成立まで～ (後期) 中世社会の特質と近世国家の誕生
履修上の留意点	年表や日本史辞典を用意してほしい。
成績評価の方法	学年末試験の結果及び平常点により総合的に評価します。
教科書	プリントを随時配布します。

科目名	担当者名
歴史学〔日本近世史〕	小高 昭一 <small>おたか しょういち</small>
講義のねらい	織田信長から徳川十五代将軍慶喜までの約三百年、日本近世史のおおまかな流れを一年間でたどる。近世に成立した物事は、近代を経て現代にも影響を与えたものが多い。その始点を省みて、現代を生きる我々の知恵となるものを探れないだろうか。
講義の内容・授業スケジュール	教科書を通して読み、江戸時代の流れを捉える。教科書には細かい事項も記述されているが、全体としての流れ、重要な問題を押さえることを主眼とするので、高校までの日本史の勉強とは違う。
成績評価の方法	前期までの授業のまとめとしてレポートを課す。また、定期試験の論述試験での成績で評価する。
教科書	深谷克己著『江戸時代』（岩波ジュニア新書）『日本の歴史6』（岩波書店）2000年3月刊。
参考書等	授業の際、適宜紹介する。

科目名	担当者名
芸術学（1）〔日本美術〕	きたのよしえ 北野良枝

講義のねらい

室町時代から江戸時代に至る日本絵画の流れを、中国およびヨーロッパとの関係に留意しつつ概説する。美術の歴史を理解するにあたって、常に作品を参照する必要があるため、授業では毎回スライドを使用する。

講義の内容・授業スケジュール

- 前期 室町から桃山時代の絵画
- (1) ガイダンス
 - (2) 絵画に関する基礎知識
 - (3) ～ (7) 室町時代の水墨画
 - (8) 阿弥派
 - (9) 関東水墨画
 - (10) 土佐派
 - (11) 狩野正信・元信
 - (12) ～ (13) 狩野永徳と桃山画壇
- 後期 江戸時代の絵画
- (14) 江戸時代の狩野派
 - (15) ～ (18) 琳派
 - (19) ～ (20) 浮世絵
 - (21) 南蘋派
 - (22) 文人画
 - (23) 秋田蘭画と司馬江漢
 - (24) 円山四条派
 - (25) 伊藤若冲と曾我蕭白
 - (26) 江戸から明治へ

履修上の留意点

ペンライトなどを持参し、スライドで映写する内容についてもノートをとることが望ましい。

成績評価の方法

学年末に筆記試験を実施し、その得点によって評価する。

参考書等

スライドで映写した作品を確認するには、下記のような美術全集があり、いずれも駒澤大学図書館に所蔵されている。

- 『原色日本の美術』（小学館）
- 『日本美術全集』（学習研究社）
- 『日本美術絵画全集』（集英社）
- 『日本美術全集』（講談社）

科目名	担当者名
芸術学（2）〔西洋美術〕	やのようこ 矢野陽子

講義のねらい

ひとつの美術作品が制作されるにあたっては、芸術家の個性や技術のみならず、その時代と地域の宗教・文化・政治状況などさまざまな要因も関係しています。この講義では私たちがとは異なる文化から生まれた西洋美術のうち、およそ15世紀から18世紀まで、つまりイタリア・ルネサンス期からフランス革命期頃までの絵画を主たる対象とします。まず美術の主要な流れを把握し、それから作品に表現された内容とその表現様式の特徴を考えます。さらに芸術家と注文主や鑑賞者との関係、美術が社会のなかで占めていた位置についても考察していきます。

講義の内容・授業スケジュール

- 前期 15世紀から18世紀までの西洋美術の流れ／絵画のジャンルについて／物語画
後期 物語画以外の諸ジャンル／様式概念と様式分析／芸術庇護者と美術収集・美術館

履修上の留意点

初回にガイダンスを行うので必ず出席すること。スライドで作品を見ながら講義を進めるので、授業にはなるべく遅刻欠席をせず続けて出席するようにしてください。

成績評価の方法

夏休みの課題としてのレポートと学年末の試験と出席率および授業態度を合わせて評価します。

参考書等

高階秀爾監修『カラー版西洋美術史』(美術出版社) 1,900円
三浦篤著『まなざしのレッスン①西洋伝統絵画』(東京大学出版会) 2,625円

その他

授業では毎回スライドを使用します。

科目名

芸術学(3)[音楽]

担当者名

浦本裕子

講義のねらい

音楽は私たちの回りに溢れている。さまざまなメディアから音楽が流れ、カラオケも世界共通語にまでなった。社会のグローバル化が進み、音楽も世界のものが聴けるようになり、ジャンルもボーダーレスになってきた。日本では、演歌など一部のものを除けば、流れている音楽のほとんどがヨーロッパとアフリカの音楽に基づいたものである。音楽理論はヨーロッパで生まれたクラシック音楽に由来し、ポップスにはアフリカ的な要素も多く入り込んでいる。

そもそもどのように音楽が生まれてきたのだろうか、そしてどのように享受されてきたのだろうか。

音楽は、本来は、生活の中での祈りや子守歌など「必要なもの」として生まれてきた。世界各地で、環境や生活形態が異なる中で、楽器や発声法などそれぞれ独自の音楽文化を長い時間をかけて形成してきたのである。

この授業では、そのような多様な諸民族の音楽やヨーロッパのクラシック音楽を学ぶことにより、多様な文化の一つとして音楽を理解することを目指したい。

講義の内容・授業スケジュール

前期：ヨーロッパの音楽
(民族音楽とクラシック音楽)
後期：諸民族の音楽(アジアを中心に)

履修上の留意点

- ・音資料や映像資料を鑑賞するので、できるだけ出席するように。
- ・授業中に簡単なレポートを書いてもらうことがあるかも知れません。

成績評価の方法

前期：レポート
後期：試験

教科書

柘植元一・塚田健一編『はじめての世界音楽』(音楽之友社)

参考書等

藤井知昭他編『民族音楽概論』(東京書籍)

科目名

哲学[現代文明と人間]

担当者名

久保陽一

講義のねらい

現代は科学技術によって生活のすみずみまでもが規定された時代であると同時に、一見何でも可能な「自由」が認められている時代でもある。しかし、それによって、かえって、何を選択し、いかに科学技術を用いるべきかについて、明確な答を得にくい時代でもあろう。科学技術と自由主義の時代において、知情意を含めた、人間らしい本来の生き方とはいかなるものであるかが、根本的に問われているように思う。

そのような問題意識のもとで、本講義では現代哲学の状況を捉えることにしたい。

講義の内容・授業スケジュール

今日グローバルなものとなった西洋哲学の近代の歩みを、その大筋において捉えた後で、現代哲学の諸思想(マルクス主義、分析哲学、生の哲学、現象学、解釈学)を学ぶことにする。

履修上の留意点

よく出席し、ノートを取る。私語はつつしむこと。遅刻しないこと。遠慮なく質問すること。

成績評価の方法

出席数、試験(前期と後期)、レポートによって評価する。

教科書

久保・河谷編『原典による哲学の歴史』(公論社) 3,200円

参考書等
その他

渡辺二郎『現代の哲学』（日本放送出版協会） 1,800円
久保陽一『ドイツ観念論への招待』（日本放送出版協会） 2,800円
講義

科目名	担当者名
哲学〔西洋思想の源流〕	河谷淳

講義のねらい

この授業ではギリシア哲学（古代哲学）とキリスト教哲学（中世哲学）とを主要なテーマとして取り上げることで「考える」ということがどのような営みなのかを一緒に考えることにしたい。これらふたつの哲学思想は西洋思想の二大源流に対応するものであり、それぞれは知と信という対立のもとに理解することができよう。しかしながら、ふたつの源流は不連続と同時に連続性という側面も併せ持ち、複雑に分岐・合流を繰り返しながら近現代の思想へと流れ込んでいる。そうだとすれば現代の私たちが古代・中世哲学について考えるということは現代哲学の一形態であると言ってもよいであろう。授業ではできるだけ具体的な事例を挙げることで「哲学する」ことを身近に感じてもらえるように努めたい。

講義の内容・授業スケジュール

講義では次のような内容を取り扱う。
前期：（１）ギリシア哲学：哲学の始まり
ソクラテス以前の哲学
ソクラテスの「無知の自覚」
プラトンのイデア論
アリストテレスの質料形相論
後期：（２）キリスト教哲学：信仰と合理性
神の存在証明
普遍論争（唯名論と实在論）
（３）近代哲学：認識論的転回
大陸合理論：デカルトにおける「私」
イギリス経験論：ロック、バークリ、ヒューム
カント哲学：コペルニクスの転回

履修上の留意点

授業を受け身的に聴くというよりは一緒に問題を考えていくという積極的な姿勢が望ましい。

成績評価の方法

前期最終授業日に実施する中間試験と期末試験（40点満点×2）ならびに夏休みレポートと出席状況の総合点で評価する。

教科書

『原典による哲学の歴史』（公論社）

科目名	担当者名
論理学〔知の技法〕	伊古田理

講義のねらい

本講義は、文科系の文章技術について解説し、かつトレーニングを試みる。すなわち、あるテーマについて、文献を集め、読み、考え、そのうえで自分の考えを文章としてまとめるといった一連のプロセスについての実際的なノウハウの習得を目標とする。

講義の内容・授業スケジュール

まず、最初に文献・資料集めのしかたについて、簡単に解説する。次にあるテーマについて異なる立場からの考察を読みこなすトレーニングを行う。そのうえでこうした読解をもとにして自分の考え、立場を文章としてまとめあげるトレーニングを行う。

履修上の留意点

以下の「成績評価の方法」でも触れてあるが、この授業は基本的に講義スタイルですすめてゆくが、それと平行して、数回のレポート課題を出す。そして、この提出したレポートを材料に授業を進めるケースも少なくない。したがって、レポート課題がこなせないという意識をもつ諸君には受講をすすめたくない。

成績評価の方法

随時課するレポート課題（問題演習＋文章要約、等々：年間10本以上はありうることを承知しておいてほしい。翌週提出厳守）のほかに、最終的に本講義で扱ったテーマに対する諸君の考えをまとめた原稿用紙20枚程度のレポート（12月最終週講義時提出）によって判定。定期試験はいっさい実施しない。

教科書

本年度は、テーマとして「道徳の理由（なぜ道徳なんでものに従って行動しなければならないのか）」をとりあげる。

教科書：大庭他著『なぜ悪いことをしてはいけないのか』（ナカニシヤ出版）

副読本：野矢茂樹『論理トレーニング』（産業図書）

参考書等

そのつど指示する。

その他

上記教科書のテーマに対する関心を予めそなえていることは、必ずしも前提しない。しかし無関心でいつづけることはできない。自分で興味をみつけてゆくつもりで授業に臨んでほしい。

科目名

論理学〔知の技法〕

担当者名

植野公稔

講義のねらい

いま、私たちの社会生活では、論理的であることを求められる場面に出会うことが多い。本講座の目的は、こうした現状に対処できるだけの論理的思考力を受講者のみなさんが身に付けられるように、その基本練習の場を作ることにある。言葉相互の論理的な繋がりについて自覚しながら読み、考え、そして書くことができるようになるためには何が必要なのかを、毎時間、自分自身で課題に取り組みながら気づいてほしい。なお、いわゆる現代記号論理学については、必要最小限のこと以外、扱わないものとする。

講義の内容・授業スケジュール

教科書に則して授業を進める。原則として、各回とも、事項に関する説明と問題練習によって授業が構成される。前期では、論理の骨格をなす接続語や指示語の適切な使い方と、首尾良く考えを展開するための推論のあり方について練習を重ねる。また後期では、演繹的な推論について練習を重ね、就職試験等でも取り上げられるような、いわゆる推理部門の問題にも対処していただける力を養うことにしたい。受講人数にもよるが、できるかぎり、復習を兼ねた形の添削課題を出し、受講するみなさんの練習の質を高められるようにしたいと思う。

履修上の留意点

本講座では、受講者本人による練習が何よりも重要であるので、コンスタントに参加してほしい。問題練習での間違いを恐れる人たちもいると思われるが、間違いをきっかけにしてステップアップしてくれるのなら、本講座に関するかぎり、間違いをおかすこと自体には何ら問題はない。

成績評価の方法

事項の習熟度を確認するための中間・期末テスト、および期末に取り組んでもらう小論文課題（2000字程度）によって評価する。なお、練習が重要な講座のため、原則として、1学期につき欠席が3回を越える場合は、単位の認定ができないものとする。

教科書

野矢茂樹『論理トレーニング』（産業図書）

科目名

論理学〔科学方法論と現代論理学〕

担当者名

山口祐弘

講義のねらい

伝統的論理学から現代の記号論理学に至るヨーロッパの論理思想の発展を、弁証法論理や東洋の思惟様式にも眼を向けつつ広い視野において学び、人間の思考の働きを理解するとともに、正しく考える態度を養う。

講義の内容・授業スケジュール

【前期】

1. 論理学とは何か
2. 思考の原理
3. 同一性と同一律
4. 関係の思想

【後期】

1. 記号論理学の基本思想
2. 真理関数
3. 標準形
4. 公理体系

- | | |
|-------------|-------------------|
| 5. 対立と矛盾 | 5. 定理の演繹 |
| 6. 矛盾の概念 | 6. 同 |
| 7. 判断論 | 7. 同 |
| 8. 無限判断 | 8. 体系の条件 |
| 9. 二律背反 | 9. 述語論理学 |
| 10. 弁証論 | 10. 無矛盾性、完全性、決定問題 |
| 11. 無限性の思想 | 11. 伝統的論理学との対応 |
| 12. 論理思想の比較 | 12. 三段論法の基礎付け |

履修上の留意点	出席を重視する。
成績評価の方法	テストによる。
教科書	『論理学概論』（岩波書店）
参考書等	『ドイツ概念論における反省理論』（勁草書房）

科目名	担当者名
科学史〔科学と技術〕	高橋秀裕 <small>たか ほう しゅう ゆう</small>

講義のねらい	今日、我々は高度に発達した科学とその科学に基づいた技術の受益者になりうるだけではなく、その反対に被害者にもなる可能性がある。近代自然科学をどのように捉え、それに如何に対処するかという問題が近年しきりに議論されている所以でもある。本講義では、古代から現代に至る科学の歴史的展開を、「方法」や「思想」に眼を向けつつ総合的に学び、科学がいかに広範な文化的背景をもって発展してゆく知的営為であるかを理解するとともに、科学と技術に関して今後思索する際の信頼できる知的道具の習得を目標とする。
講義の内容・授業スケジュール	前期は、近代日本の科学・技術の性格を歴史的に考察することから出発し、近代日本が導入を図った西欧近代科学の長い歴史をたどる中から、その成立の由来を探ることを通して、近代科学に裏付けられた技術の強さの秘密とそれが抱える問題点について講義する。後期は、科学の三つの典型として、数学、自然科学、医学を議論の俎上にのせ、科学がいかなる構造と射程をもつ知的営為であるのか、そして高度な科学・技術が制度化された現代社会の抱えている諸問題について、具体的事例をとりあげながら、科学と技術の歴史的展望をも含めて講義する。
履修上の留意点	いわゆる自然科学に関する素養はとくに要求しないが、講義の中に出てくる諸概念を必要に応じて自ら調べ理解する積極的な態度は受講の最低要件である。また、毎回講義内にコメントカード（兼出席票）を配布するので、不明な点は質問してほしい。
成績評価の方法	講義内に課すコメントカード（兼出席票）と随時のレポートおよび定期試験で評価を行う。なお、試験については、手書きノートの参照は可とする。
教科書	特に指定しない。
参考書等	講義の際に適宜紹介する。
その他	講義形式、随時プリント配布。

科目名	担当者名
倫理学（1）〔人間観〕	ふるたともあき 古田知章

講義のねらい

われわれは、社会の中で、一人の人間として、さまざまなものを「よい」あるいは「悪い」と判断しながら生活している。逆に言うと、この判断なしにわれわれは生きていくことができない。では、このような倫理的生活を送っているわれわれ人間とは何者であろうか。日常、われわれは「人間」という言葉、あるいは、「自分が人間である」という事態を自明なものとして扱っている。しかし「人間とは何か」と問われたとき、さまざまな問題が浮かび上がり、簡単には解答に到達できない。西洋の思想的領域では、この問いに対して、その時代の社会的状況や思想的背景との関連のもとで、さまざまな解答が示されてきた。現代に生きるわれわれが、自らが人間であることの意味を問い直すとき、これらの諸説を一度、検討することは有意義であると考えられる。

講義の内容・授業スケジュール

教科書を利用し、以下の内容を取り上げる（各項目ごとに、2～4回の講義）。人間観の形成の歴史

1. 人間と倫理 —人間であるために—
2. 古代ギリシア思想における人間観の諸相
3. 中世キリスト教思想における人間観
4. 人間観の転換 —ルネサンス・宗教改革—新しい時代の人間観
 1. 出発点としてのデカルト《思惟する私》
 2. 自己の内面性と他者の問題
 3. 人格 —ロックを手がかりに—
 4. 人間存在と自由

成績評価の方法

二回の定期試験（中間試験、年度末試験）と平常点（出席状況、夏期レポート等）で評価する。

教科書

『原典による哲学の歴史』（公論社）

参考書等

講義の際にその都度紹介する。

科目名	担当者名
倫理学（2）（7）〔応用倫理学〕	黒崎剛 <small>くろさきつよし</small>

講義のねらい 「倫理」というのは、人間が世界の中で、世界に対して振る舞う上にさいして基準とする「規範」—「価値」や「義務」、「習慣」といった—の正当性を問うものである。だから「倫理学」というのは、自分が行動するに際して自覚的・無自覚的にとっている規範が半端なものではないか、みずから検証するという課題を持っている。ところで、科学技術、そして最近の生命科学の驚異的な発展によって、私たちがこれまでまったく自明のもののみなしていた多くの「価値」「規範」がその地位を失おうとしている。そこで、この授業では、生命科学と医療の分野でここ二、三十年の間に起った変動にともなって提起されてきた問題を取り上げる。すなわち「生命倫理」をテーマとする。

講義の内容・授業スケジュール 「生命倫理」の諸問題のうち、以下のテーマを取り上げる予定

1. 生命の倫理—講義の課題概説
2. 「インフォームド・コンセント」：自己決定の思想
3. 人工妊娠中絶
4. 安楽死と尊厳死
5. 脳死と臓器移植
6. 「生殖革命」—人工生殖の現状と問題点
7. 遺伝子操作論

履修上の留意点 課題はすべて現在進行形のものばかりなので、受講生にも起りつつある問題に絶えず嗅覚を働かせる態度を望む。

成績評価の方法 受講態度、出席、試験（レポート）、を総合評価。

教科書 教科書はプリントを使用。参考書は教場で紹介する。

科目名	担当者名
倫理学（3）〔価値観〕	滝沢正之 <small>たきざまよしゆき</small>

講義のねらい ねらいは二つある。
 第一に、近世の哲学者イマヌエル・カントの倫理学を丁寧に紹介すること。我々はすでに何が善いことで何が悪いことであるかをだいたい知っている。日常生活にはそれで支障はない。しかし、その善悪についての信念をあらためて反省してみると、いろいろと問題含みであることがわかってくる。カントを手がかりに、倫理学の基本的な問題を体系的に考えてみたい。たとえば、他人の幸せのために嘘をついてもいいのだろうか。
 第二に、現代に我々が生きる際に考えなければならない問題を、できるだけ多く紹介すること。カントの検討だけでは提示しきれない論点を挙げていきたい。たとえば、戦争、差別、宗教原理主義、少年犯罪など。難しい問題が多いので解決を提示するのは無理であろうが、考え方の方向性くらいは示したい。

講義の内容・授業スケジュール 前期にカント倫理学の紹介を行い、後期に現代の諸問題の検討を行う予定。細かいスケジュールは講義中に示す。

履修上の留意点 特定の教科書を使用せず、講義が中心となる。欠席が多いと試験等が大変になるので注意されたい。

成績評価の方法 中間試験および期末試験により評価する。中間試験はレポートにする予定。期末試験は筆記。受講者の人数が少ない場合は出席をとり、それも評価に加味したい。

教科書 適宜プリントを配布する予定。
 また、講義中に適宜指定する。

参考書等 久保・河谷編『原典による哲学の歴史』（公論社）
 また、講義中に適宜指定する。

科目名	担当者名
倫理学（４）〔応用倫理学〕	あさ 麻 生 享 志

講義のねらい	応用倫理は、究極的に「どう生きるか」という自分の生き方につながっていくものと考えます。（これを倫理学・哲学で”実存的”問いと呼んだりする）ですから、講義を通じて、自己の問題として興味を持ち、考えてもらう、という事を目標とします。
講義の内容・授業スケジュール	倫理学（理論的倫理学）の基礎から、応用倫理学の「ごく特殊なもの」まで、幅広く紹介していきます。わたくし自身の興味や人生観にも、触れていきたいと思っています。現在、東大文学部21世紀COE「死生学の構築」に研究員として参加している関係で、生命倫理的内容が多く含まれるでしょうが、労働・人生の意味・交通ルール・まちづくり住環境など、多面的に考えていく予定です。
履修上の留意点	最低限の常識的なルールを守り、あとは、講義を”楽しんで”もらえたらいいと思います。
成績評価の方法	前期試験（45%）、後期レポート（レポート試験）（55%） 前期は哲学史に関わる記述問題、後期レポートは講義の感想を原稿用紙3-4枚程度を予定
教科書	久保・河谷編麻生ほか著『原典による哲学の歴史』公論社刊（前期試験受験に必須）
参考書等	特になし
その他	初日はガイダンスとし、定時から五分間程度、または正規の終了時刻前五分間に資料を配布して質問を受け付けます。（ガイダンス後は、雑談的内容にあてる予定です。この間、入退出自由。）この時配布する資料は、履修に必要ですので、何らかの方法で必ず入手するようにして下さい。

科目名	担当者名
倫理学（５）〔制度とモラル〕	たぎ ぐち きよ せい 滝 口 清 栄

講義のねらい	人間は古くから共同体を作り、さまざまな社会的・政治的制度を生みだしてきた。そこには時代により、地域により違いが見られる。そこにはまた人間のよりよいあり方とよりよい社会的・政治的制度のあり方をめぐり、絶えることのない思想的営みがあった。どのような時代でも人間はこの営みをやめることはなかった。私たちの社会は今どのような方向に進んでいくのか。いろいろと考えざるをえない。以上の思想的営みを歴史的視野の中で振り返っておくことが、今日の問題を考えていく上でも大切な土台となるであろう。本講義では、西洋倫理思想史のなかで古代、近代、現代から主要な思想をピックアップし、人間観の特徴と、人間のよりよき生を可能にするよりよき制度をめぐる思索のあとを検討する。制度はもちろんそれを担うことのできる人間を必要とする。ここにモラルの問題が関わる。時代的な違いを背景において以上の問題を検討していく。
講義の内容・授業スケジュール	こまかなスケジュールについては開講時にスケジュール表を配布するが、前期に古代ギリシアから近代初頭、後期にはそれ以降を扱う。
履修上の留意点	講義は平明を心がける。ときどき質問用紙を配るので、不明な点について質問を出してほしい。
成績評価の方法	中間テスト（前期の最終授業時）と学年末テストにより成績を評価する。
教科書	久保陽一・河谷淳編『原典による哲学の歴史』（公論社）3,200円

科 目 名	担 当 者 名
倫理学（6）〔東洋倫理〕	すえ き やす ひこ 末 木 恭 彦

講義のねらい	倫理学は、人の行為の規範を考える学問である。倫理学という学問は生れなかったが、それに相当する思索は東洋の伝統思想の中に生まれていた。東洋の伝統思想がどのようにどれだけ現代の倫理に貢献するか、諸君と一緒に考えてみる。
講義の内容・授業スケジュール	授業の最初に、倫理とは何か、倫理学とは何かを講義する。その後、今年は環境と倫理の問題について考える。環境問題は現代の大きな問題である。しかし、環境の問題は既に古代から芽生えていた。中国の古代にも、環境問題をめぐる議論が行われた。その中国古代の環境をめぐる議論を顧て、現代の環境と倫理の問題にどのような貢献するか考えてみる。
履修上の留意点	ノートはしっかりと取る。
成績評価の方法	各学期末の試験と夏期休暇のレポートによって成績をつける。
教 科 書	浅野裕一『中国古代の文明観』（岩波新書）

科 目 名	担 当 者 名
宗教学（1）〔比較宗教文化〕	いけ がみ よし まさ 池 上 良 正

講義のねらい	宗教学という学問は、そもそもの出発点から比較宗教学という性格をもっていた。そこでは「ひとつの宗教しか知らない者は、いかなる宗教をも知らない」（マックス・ミュラー）という信念が前提になっていた。「国際化」が進む今日の世界において、異なる社会に育った人々の生活の基盤を形づくってきた宗教文化の相互理解は、ますます重要な課題となっている。 本講義では、宗教学の基本的な視点を紹介しながら、いくつかの具体的な研究成果を学ぶことにする。
講義の内容・授業スケジュール	前期は、まず近代的用語としての「宗教」が成立した過程を検討し、この用語の特性と限界を考える。近代宗教学の成果をふまえて、私たちの日常の身近な出来事に引き寄せながら、「宗教」を理解する広い視点を提示してみたい。後期は、多くの日本人には馴染みが薄いものの、現代世界を理解するうえでは欠くことのできない、「一神教」という特異な宗教が成立した過程を考察し、その特性に迫ってみたい。
成績評価の方法	年度末に筆記試験を行なう。
教 科 書	特に指定しない。
参 考 書 等	『岩波講座・宗教』（全10巻）岩波書店。『エリアーデ著作集』せりか書房。上田閑照・柳川啓一編『宗教学のすすめ』筑摩書房。脇本平也『宗教学入門』講談社学術文庫。加藤隆『新約聖書の誕生』講談社。ラージュ『ユダヤ教とはなにか』青土社。

科目名

担当者名

宗教学（2）〔聖と俗〕

たなか のこ
田中かの子

講義のねらい

ありのままの世界には「聖」も「俗」もなく、あるがままに続けられてゆくその営みがみられるばかりである。そこにあえて「聖と俗」といった対立概念をみるのは、変化し続ける多様な現象の動きを把握しきれない人間の焦燥感が、二分法という遠心分離機を欲するから、ともいえる。人類の精神史において展開してきた各宗教の分立を観るにつけても、深く知れば知るほど、「～教」と「～教」を隔てる壁の存在に疑問を抱かずにはいられなくなる。一見、相違するようにみえる諸宗教の教義・儀礼・生活共同体の掟にも、歴史的な相関性があり、言語や民族の絆は、信仰の違いを超えて、多様な文化圏を形成している。さらに「いのち」の尊厳を守るための真摯な祈りはどれも、学問的に定義された「宗教」概念では捉えきれない、普遍的で深遠な思想を内に秘めている。ゆえに本講では、従来の宗教学が呪縛されてきた既存の宗教分類（例：「一神教と多神教」「世界宗教と民族宗教」）から出発せずに、最も根源的で身近な「いのち」をめぐる人間の畏れ・感謝・願いをテーマにしながらか、「宗教」を考える。

講義の内容・授業スケジュール

前期は、「いのち」に気づき、その表現・解釈・ゆくえ・価値観などについて考えることに重点を置き、後期は、現代社会の理解に欠かせないゾロアスター教、ユダヤ教、キリスト教、イスラーム、シーク教、ヒンドゥー教、ジャイナ教、仏教、儒教、道教、神道の歴史・思想・文化における「いのち」を探究する。

履修上の留意点

既存の知識で示せる情報の範囲をはるかに凌駕した、真実の豊かさに眼を開いてほしい。

成績評価の方法

独創性と応用力を発揮できる、論述式のレポート（後期中に提出）と学年末試験。

教科書

拙著『比較宗教学―「いのち」の探究―』（北樹出版）2004年

その他

講義担当者の現地調査によるスライドや録音テープを活用する。

科 目 名	担 当 者 名
宗教学（3）〔世界観と儀礼〕	小 川 順 敬

講義のねらい

人間の“宗教行動”を理解することはなかなか困難な作業です。目に見えぬものに語りかけたり、その声に耳をそばだてたり、時としてその声を代弁したりすることを一体どのように分かれば良いと言うのでしょうか。祈りやお告げといった“宗教行動”は、信仰を持たぬものにとっては全く理解不可能な事なののでしょうか。宗教学は、そういった行動を信仰者の立場からではなく、“人間の行動”として、その背後の考え方を探ることによって理解しようと努めてきました。

この講義では、宗教学の立場から儀礼（宗教行動）とその世界観について考えていこうと思います。一見、不可解な行動に見えても、その背後の世界観を知ることによって、宗教行動の意味をいささかでも理解する端緒が開かれるはずです。

講義の内容・授業スケジュール

まず最初に、宗教学の基本的な考え方や方法論、いくつかの基本概念などを具体事例にそって概説、紹介します。この際、儀礼に関する議論や理論を、宗教学や宗教学人類学、あるいはもう少し広く社会科学や人文学の中から紹介する予定です。ついで、様々な儀礼の諸相を具体例をあげて紹介し、その事例の検討を通して、思想や世界観、神話との関係について考えてゆくことにしたいと考えています。

成績評価の方法

評価はレポートと年度末の筆記試験により行います。夏期休暇前にレポート課題を出します。成績評価の具体的な方法、年度末試験の方針、レポートの内容、出席等は最初の授業で詳しく説明します。

教科書

未定。授業開始後、紹介します。

参考書等

講義の内容に関連する参考書は適宜紹介します。

科 目 名	担 当 者 名
宗教学（4）〔日本人の宗教〕	矢 野 秀 武

講義のねらい

宗教というものを語り理解するには様々な方法がある。宗教学はその1つである。また宗教学の中にも宗教に対しての異なる見方がある。本講義では、宗教学における多様な見方を理解するとともに、特に宗教学人類学や宗教社会学といった見方を通じて日本の宗教についての基礎的な知識を学んでもらいたい。

講義の内容・授業スケジュール

前期に日本宗教史ならびに外国に渡った日本宗教、現代日本に入ってきた外国の宗教などをとりあげる。後半では、現代日本において冠婚葬祭といった儀礼・民俗宗教がどのように変容しているのか、また現代の社会制度において宗教はどのように位置づけられているのかといった点を紹介する。また単なる事実の紹介だけではなく、宗教学（宗教学人類学・宗教社会学）的な視点に基づいて解説を加える。

成績評価の方法

レポートと年度末の筆記試験を総合して評価を行なう。レポートは夏期休暇前に課題を提示する。レポートや試験形式、その他授業の基本的な約束事は、初回の授業で述べる。

教科書

なし

参考書等

授業時に随時紹介する。

科目名	担当者名
宗教学（5）〔生活と宗教〕	菅原 壽清

講義のねらい	人間の精神世界の根源にあって人びとの生活を支える宗教文化の理解は、現代社会においても不可欠な問題であると思われます。そこで、本講義では宗教学人類学の視点から、「生活と宗教」というテーマで、人びとの宗教的営みについてとらえてみたいと思います。 授業は講義形式とし、はじめに宗教学・宗教学人類学についての基礎的な概説を行います。次に、日本を含めたアジアの多様な姿について、人々の宗教的な営みを中心に、その分布や特徴について述べます。さらに、日本と東南アジア、および中国の西南地域の人々の暮らしなどから、その宗教形態に注目して、仏教と民俗宗教との関係や、その展開過程について、それぞれの地域の具体的な事例を取り上げながら、展開したいと思います。
講義の内容・授業スケジュール	1. 宗教学・宗教学人類学とは 2. 日本とアジア、その多様な姿 3. アジアの人々の生活と宗教 4. 日本の人々の生活と宗教
成績評価の方法	試験+出席点+レポート点（詳細は、講義の時説明）
教科書	指定なし
参考書等	『宗教学ハンドブック』（世界書院）
その他	授業の方法—講義、ビデオ・スライドなども使用

科目名	担当者名
宗教学（6）〔民俗宗教の諸相〕	浅川 泰宏

講義のねらい	宗教学の概念や方法を、現代社会における人々の関係性を読み解くツールとして活用する能力の獲得を目標とします。
講義の内容・授業スケジュール	世俗化が進んだ現代の日本社会においては、一般論としての無宗教性と、その背後に依然として蓄えられている豊かな宗教性を両眼的に捉えることが重要となっています。本講義では、民俗宗教という観点から、我々の身近な日常生活に表出される宗教現象に着目します。 前期は、祖先祭祀や祭り、新宗教などをテーマに宗教学・宗教学民俗学の基本的な視点や知識を学びます。後期には、ヒトやモノの移動が活発化し、様々な境界が溶け崩れていくなかで、着目が集まっている「巡礼」を中心に、民俗宗教を通して構築される関係性や当事者の意識の変化といった問題を考えます。 なお、講義では、毎回具体的なトピックをあげ、それについての講義と討論を行います。そのため授業中は皆さんの積極的な参加を期待します。
履修上の留意点	・講義中の私語は厳禁とします。 ・受講生の理解度を確認し、講義内容に皆さんの意見を反映させるために、毎回コメントカードへの記入を求めます。御協力を御願ひ致します。
成績評価の方法	配点：レポート60点+平常点40点=合計100点 ・平常点は、授業時に配布するコメントカードなどを参考に採点します。 ・レポートは、特に理解力、論理的思考力、独創性を重視します。
教科書	教科書は指定しません。
参考書等	参考書は講義中に随時指示します。

講義のねらい

この講義は、都市を歩くことによって都市を体験し、都市への批判的なまなごしを養うことを目的とする。前期はまち歩きをするための準備という位置付けで、東京に関する地理的知識と先達の都市観察・記述を紹介する。渋谷、原宿、新宿、田園調布など、東京のさまざまな場所を事例に進めていく。後期は都市に関する諸理論・さまざまなテーマ別に、都市を批判的に見つめるまなごしを養う。

講義の内容・
授業スケジュール

(前期)

- 1 東京の自然史
- 2 東京の歴史社会地理
東京年表、同潤会（アパート）の歴史、東京の都市化・都市計画史、東京論の系譜
- 3 先達による都市観察・記述
小田内通敏、今和次郎、陣内秀信、正井泰夫、シカゴ学派、路上観察学会、江波戸昭、川本三郎、三浦展、泉麻人、吉見俊哉、森川嘉一郎、石井實、奥田道大、水内俊雄

(後期)

- 4 都市の中の差異
時間地理学、認知地図、空間と権力、空間から場所へ
- 5 商品としての都市
選好地図、場所のイメージ（軽井沢、湘南、代官山、下北沢、歴史的町並み）、創られた伝統
- 6 都市民の憂鬱
故郷、原風景、郊外に住むということ、まちづくりの系譜

履修上の留意点

出席はとらないが、理解度や要望等を把握するため、不定期に小レポートを課することがある。

成績評価の方法

夏休みのレポートと後期試験で評価する。平常点も若干評価の対象とする。

教科書

前期に以下のテキストを使用する。
正井泰夫監修2003『図説歴史で読み解く東京の地理』（青春出版社）1,000円

参考書等

講義中に随時紹介していくが、さしあたり以下の文献を挙げておく。
エドワード・レルフ著（高野・神谷・岩瀬訳）『都市景観の20世紀』（筑摩書房）
田島則行・久野紀光・納村信之編『都市／建築フィールドワークメソッド』（INAX 出版）
若林幹夫『都市への／からの視線』（青弓社）
吉見俊哉・若林幹夫編『東京スタディーズ』（紀伊国屋書店）

その他

この講義は、各人が積極的にまち歩きを行うことが前提となる。教室は、東京や都市に関する知識の埋め込みの場というよりもむしろ、都市についていろいろ考える場としたい。

科目名

担当者名

人文地理学(2)〔風土と文化〕

たか 高 橋 けん 健太郎

講義のねらい

人々の世界観や価値観、生活様式といった文化的側面と、地域社会の特徴や変容とを関連づけて考えるという、人文地理学の基本概念について理解を深める。

講義の内容・授業スケジュール

全体的には、自分の生活または異文化について考える際に、空間的側面からの視点がいかに重要であるかということについて検討する。

具体的には、講義内容として次の項目を予定している。(1)人文地理学からみた文化、(2)大衆文化と文化景観、(3)日本の基層文化の地域性、(4)照葉樹林文化とブナ帯文化、(5)環境決定論と環境可能論、(6)地域文化と観光、(7)地図、(8)地名、(9)空間認知。

履修上の留意点

講義内容についての理解の程度を把握するため、また一部を講義の資料として使用するため、頻繁に教場にてレポートを作成し提出してもらう。

成績評価の方法

教場レポートの内容(30%)と定期試験の結果(70%)で採点する。

教科書

使用しない。授業時にプリントを配布する。

参考書等

主な参考書は次のとおり(授業スケジュール順に掲載)。その他については、授業中に適宜紹介する。

高橋伸夫ほか『文化地理学入門』, 東洋書林。
鈴木秀夫『風土の構造』, 講談社(講談社学術文庫)。
佐々木高明『日本文化の基層を探る』, 日本放送出版会。
田畑久夫『照葉樹林文化の成立と現在』, 古今書院。
市川健夫ほか『日本のブナ帯文化』, 朝倉書店。
中島峰広『日本の棚田』, 古今書院。
溝尾良隆『観光学』, 古今書院。
若林幹夫『地図の想像力』, 講談社(講談社選書メチエ)。

その他

この授業では、部活動や就職活動などの理由は、採点の際の参考にしない方針である。

科目名	担当者名
人文地理学 (3) (4) [空間と行動]	伊藤修一

講義のねらい	日常生活の中の多くの場面で、我々は個々の意思の基に行動する。ところがその行動には規則性や一般性が認められることが少なくない。特に、都市には多様な人々が活動しており、そこには都市のもつ特徴が大きく反映されている。それでは、その限られた場所や空間に人々はなぜ集まるのか？この講義では、都市や空間・距離がもつ意味をより深く理解することを目的とする。
講義の内容・授業スケジュール	前期には、都市がどのように形成されて今日のように分布することとなったかについて、地理学ではどのように説明しているかを概説する。(1) イントロダクション、(2) 地図、(3～7) 都市の分布と立地、(8・9) 都市や地域の結びつき、(10) 都市の内部構造 後期には、都市の形成や変化に大きな影響を与える人口動態と移動の傾向を把握した上で、個人の行動と都市をめぐる理論との結びつきを、具体的な研究事例を通して説明する。(11・12) 人口変動と分布・人口移動、(13～18) 都市の居住構造の形成過程とその変化-郊外化・再都市化、(19) 都市と余暇活動、(20) 都市空間における知覚と認知
履修上の留意点	講義では簡単な数式を用いることがある。高校数学や統計学などの基礎知識を持っていることが望ましい。
成績評価の方法	原則として年度末の試験結果から評価し、出席状況も若干考慮する。
教科書	教科書は用いない。
参考書等	北川建次編『現代都市地理学』、古今書院、2,730円、ISBN4-7722-3044-0 富田和暁・藤井 正編『図説 大都市圏』、古今書院、2,730円、ISBN4-7722-4027-6 ノックス、P.・ピンチ、S. 著、川口太郎・神谷浩夫・高野誠二訳『新版都市社会地理学』、古今書院、6,090円、ISBN4-7722-5103-0 なお、高校などで利用した地図帳を準備することが望ましい。
その他	講義ではプリントを随時配布する。

科目名	担当者名
教育の思想	伊藤茂樹

講義のねらい	私たちが今日知っている学校教育という営みは、近代という時代の到来とともに出現した制度であり、また近代社会を成り立たせる不可欠の制度でもある。この「公教育」のバックボーンとなった思想、歴史的経緯、その特色や社会的機能について概観し、今日の教育やそれが直面する諸問題について考えるための手がかりを探索する。
講義の内容・授業スケジュール	とりあげるテーマとして以下のようなことがらを予定している。 ・学校教育の本質と機能 ・近代日本における学校教育
履修上の留意点	自分が通ってきた学校やそこで受けてきた教育について、批判的に再考する姿勢を求める。
成績評価の方法	学期末試験により評価する。
教科書	教科書は特に指定せず、参考書はその都度指示する。
その他	この科目は、教職課程の必修科目です。教職課程・社会教育主事講座・博物館学講座のいずれかに登録していない学生の履修人数を制限する場合があります。1回目の授業に必ず出席し、担当者の指示に従ってください。

科目名	担当者名
教育の思想	坂本信昭
講義のねらい	<p>民主主義的教育思想はルソー、ペスタロッチ、フレーベル、エレン・ケイ、デューイなど多くの思想家によって生み出され、継承されて今日に至り、教育思想と実践の面で多様な展開を示した。</p> <p>20世紀の教育思想を生み出し、継承することに貢献した思想家たちの教育思想・教育目的を概観することを手初めに、次のようなテーマを取り上げて進める。</p>
講義の内容・授業スケジュール	<ul style="list-style-type: none"> ・教育の理想と目的 ・わが国の教育目的の変遷 ・現代・社会の変化と教育目的 ・その他（大村はま、林竹二などから学ぶものは何か）
履修上の留意点	授業の出欠は厳密にとる。
成績評価の方法	課題レポート、自主レポート、出席等により総合的に評価する。
参考書等	<p>西村絢子他著『現代教育を考える』（昭和堂）2,600円</p> <p>デューイ著『学校と社会』（岩波文庫）410円</p>
その他	この科目は、教職課程の必修科目です。教職課程・社会教育主事講座・博物館学講座のいずれかに登録していない学生の履修人数を制限する場合があります。1回目の授業に必ず出席し、担当者の指示に従ってください。

科目名	担当者名
教育の思想	伊藤茂樹
講義のねらい	<p>私たちが今日知っている学校教育という営みは、近代という時代の到来とともに出現した制度であり、また近代社会を成り立たせる不可欠の制度でもある。この「公教育」のバックボーンとなった思想、歴史的経緯、その特色や社会的機能について概観し、今日の教育やそれが直面する諸問題について考えるための手がかりを探索する。</p>
講義の内容・授業スケジュール	<p>とりあげるテーマとして以下のようなことがらを予定している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校教育の本質と機能 ・近代日本における学校教育
履修上の留意点	自分が通ってきた学校やそこで受けてきた教育について、批判的に再考する姿勢を求める。
成績評価の方法	学期末試験により評価する。
教科書	教科書は特に指定せず、参考書はその都度指示する。
その他	この科目は、教職課程の必修科目です。教職課程・社会教育主事講座・博物館学講座のいずれかに登録していない学生の履修人数を制限する場合があります。1回目の授業に必ず出席し、担当者の指示に従ってください。

科 目 名	担 当 者 名
教育の思想	北 村 三 子 <small>きたむらみつこ</small>

講義のねらい	日本の教育界に大きな影響を与えた教育思想を学び、それを手がかりに自分なりの教育観を培っていくことを目指します。
講義の内容・授業スケジュール	20世紀の代表的な思想家の一人、ジョン・デューイの教育思想を、『経験と教育』を中心として学んでいきます。子ども自身の経験を基礎に構築されたその教育論を丁寧に読み、私達の日常経験や教育体験を考え直します。具体的な授業計画は、初回の講義でお話します。
履修上の留意点	この科目は教養教育科目ですが、同時に教職の専門科目でもあります。教育に関心をもつ人の参加を期待します。
成績評価の方法	出席状況とレポートによります。
参考書等	教場で指示します。
その他	この科目は、教職課程の必修科目です。教職課程・社会教育主事講座・博物館学講座のいずれかに登録していない学生の履修人数を制限する場合があります。1回目の授業に必ず出席し、担当者の指示に従ってください。

科 目 名	担 当 者 名
教育の思想	豊 田 千代子 <small>とよたちよこ</small>

講義のねらい	この授業では、1989年に国連で採択された「子どもの権利条約」について、それを「思想として読む」ことをめざす。具体的には、子どもの権利条約の思想的基礎となっている「コルチャック先生」(ヤヌシュ・コルチャック、本名ヘンリク・ゴールドシュミット、1878～1942)の子ども観について学ぶ。
講義の内容・授業スケジュール	<ul style="list-style-type: none"> ・自分たちの受けてきた教育の振り返り ・教育をめぐる子どもたちの現状 ・コルチャック先生の思想(子ども観) ・子どもの権利条約とコルチャック先生
成績評価の方法	出席状況、レポート等により成績評価を行なう。
教科書	教科書は用いず、必要に応じて資料を配布する。
参考書等	樋渡直哉『子どもの権利条約とコルチャック先生』(ほるぷ出版)
その他	この科目は、教職課程の必修科目です。教職課程・社会教育主事講座・博物館学講座のいずれかに登録していない学生の履修人数を制限する場合があります。1回目の授業に必ず出席し、担当者の指示に従ってください。

科目名	担当者名
教育の思想	萩原 健次郎

講義のねらい

この授業では、第一に自分自身の教育体験のふりかえりを出発点として、「学ぶこと」「教えること」「生きること」の意味を考える機会をもちたい。第二に自己の体験と他者の体験を交流させながら、多様なものの見方を学ぶと共に、教育に対する自分の視点がどこにあるのかさぐっていきたい。第三に各自の体験知だけにとどまらずに教育学が蓄積してきた学問知（主に教育史・教育哲学）との交流によって、これまで暗黙のうちに了解してきた「教育目的」「学習」「人間の発達」などの意味について深く捉える感性と知性を養いたい。

講義の内容・授業スケジュール

- ① 自らの教育・学習体験をふりかえるー「学びのマップ」・「私のライフライン」「学びの自分史」をつくる
- ② 自己と他者との体験知の交流ー「学びのマップ」・「私のライフライン」「学びの自分史」を他の受講生と相互コメントを行う
- ③ 教育をめぐる体験知と学問知との交流
 - (1) 近代教育が前提としてきた人間観と教育目的・理念の歴史を学ぶ
 - (2) 発達の思想を学ぶ
 - (3) 学習の思想を学ぶ

履修上の留意点

この授業は講義だけではなく、受講者自身の作業が多く含まれる参加型学習である。よって授業の質は各自の積極的な参加姿勢に大きくかかわっていることを留意願いたい。また、小レポートを毎回提出してもらおう。

成績評価の方法

小レポート、作品の提出状況、授業への参加度、学期末レポートを総合して評価する。

教科書

特に使用しない。

参考書等

そのつど紹介する。

その他

この科目は、教職課程の必修科目です。教職課程・社会教育主事講座・博物館学講座のいずれかに登録していない学生の履修人数を制限する場合があります。一回目の授業に必ず出席し、担当者の指示に従ってください。

科目名	担当者名
教育と社会	伊藤 茂樹

講義のねらい

学校教育という営みは社会のあり方や他の諸領域に広く影響されると同時に、社会に影響を及ぼす関係にある。また一方で、学校という場もひとつの社会を形成している。こうした観点から、現代社会における学校教育が直面している諸問題や、これからの時代に学校教育が向かおうとしている方向性について、多面的に考えていく。

講義の内容・授業スケジュール

- とりあげるテーマとして以下のようなことがらを予定している。
- ・現代の教育問題
 - ・教育改革の動向

履修上の留意点

ふだんから教育に関するニュースに気をつけ、自分なりに考えることを心がける。

成績評価の方法

学期末試験により評価する。

教科書

教科書は特に指定せず、参考書はその都度指示する。

その他

この科目は、教職課程の必修科目です。教職課程・社会教育主事講座・博物館学講座のいずれかに登録していない学生の履修人数を制限する場合があります。1回目の授業に必ず出席し、担当者の指示に従ってください。

科 目 名	担 当 者 名
教育と社会	坂本信昭

講義のねらい	人間の社会に余暇をもつ少数の人々が生まれたときに学校は生まれた。いわば余暇とともに学校は生まれたのである。もし余暇がすべての人々のものとなると、それは、社会そのものが全体として学習と教育の場所、つまり学校になるときであるかも知れない。
講義の内容・授業スケジュール	<p>講義で取り上げるテーマとしては、次のようなものを考えている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校教育のあゆみ ・学校の社会的機能 ・学校教育の現実と課題 ・その他（教師論等）
履修上の留意点	授業の出欠は厳密にとる。
成績評価の方法	課題レポート、自主レポート、試験、出席等により総合的に評価する。
参考書等	<p>西村絢子他著『現代教育を考える』（昭和堂）2,600円 デューイ著『学校と社会』（岩波文庫）410円</p>
その他	この科目は、教職課程の必修科目です。教職課程・社会教育主事講座・博物館学講座のいずれかに登録していない学生の履修人数を制限する場合があります。1回目の授業に必ず出席し、担当者の指示に従ってください。

科 目 名	担 当 者 名
教育と社会	北村三子

講義のねらい	近代の社会システムと教育はどのような関係にあるのでしょうか。私たちが体験してきた日本の学校教育のあり方を社会との関係から考察することを通して、私たちがどのように社会的に形成されてきたのかを考えます。
講義の内容・授業スケジュール	日本という国家と教育との関係を歴史的に考察するとともに、近代的な組織とその構成員との間に働く力について原理的に考察します。また、そうした観点から、今日の学校教育をめぐる諸問題を考えていきます。詳細は初回の授業でお話します。
履修上の留意点	この科目は教養教育科目ですが、同時に教職の専門科目でもあります。教育に関心をもつ人の参加を期待します。
成績評価の方法	出席状況とレポートによります。
参考書等	教場で指示します。
その他	この科目は、教職課程の必修科目です。教職課程・社会教育主事講座・博物館学講座のいずれかに登録していない学生の履修人数を制限する場合があります。1回目の授業に必ず出席し、担当者の指示に従ってください。

科目名

担当者名

教育と社会

とよ たちよこ
豊 田 千代子

講義のねらい

教育と社会とは、相互に緊密な関係にある。教育は社会のあり方に影響を受けるとともに、社会にも影響を及ぼしている。したがって、教育を考える場合、それを社会と切り離して考えることはできず、社会の中での教育・教育の中にみられる社会という視点からの検討が不可欠であろう。授業では、現代における教育の諸問題を総合的にとらえる力を形成するために、このような視点を養うことをめざしたい。

講義の内容・
授業スケジュール

- ・学習体験のふり返り
自分たちが受けてきた教育をふり返り、その中でみえてきた教育のさまざまな問題を、社会の歴史や構造等との関連で検討する。
- ・教育と人権
障害者、女性、在日外国人、義務教育未修了者などの教育に焦点を当て、それらの教育と社会との関係を考える。

成績評価の方法

出席状況、レポート等により成績評価を行なう。

教科書

教科書は用いず、必要に応じて資料を配布する。

参考書等

適宜紹介する。

その他

この科目は、教職課程の必修科目です。教職課程・社会教育主事講座・博物館学講座のいずれかに登録していない学生の履修人数を制限する場合があります。1回日の授業に必ず出席し、担当者の指示に従ってください。

講義のねらい

80年代半ばから不登校問題とともに「居場所」という言葉がマスコミに登場したが、いまや教育学、心理学、社会学においてもキーワードになっている。居場所の喪失感が静かに広がる中で、私たちはそこにどのような人間の姿、世界の在り様を感じるのだろうか。

この授業ではまず、子どもの自己形成空間と若者の文化変容、大人と子ども・若者の関係性の変容を読み解きながら、「居場所」が何において生まれ、何において失うのかを探っていく。次に「居場所」となりうる場のデザインを目指した具体的な方法論はあるのか、子ども・若者の居場所にかかわるいくつかの実践を手がかりに検討し、教育の可能性を考えていく。

この授業を通して、「居場所」を切り口として今いる自分を見つめなおしながら、他者（子ども・友人・親・先生など）とのかかわりの質を問い直し、さまざまな場面での教育実践に応用していける視点と感性を養ってもらいたいと願っている。

講義の内容・
授業スケジュール

- ①「居場所」をめぐる言説の登場
- ②「居場所」の意味を読み解く
- ③子ども・若者の自己形成空間の変容
- ④子ども・若者の居場所空間をデザインする
- ⑤「居場所」に関わる指導者論
- ⑥「居場所」と子どもの参加論

履修上の留意点

授業はできるだけ参加型学習をとりいれたいので、積極的な姿勢が求められる。小レポートを毎回提出してもらおう。

成績評価の方法

小レポート、出席状況、授業への参加度、学期末レポートを総合して判断する。

教科書

田中治彦編著『子ども・若者の「居場所」の構想－「教育」から「関わり」の場へ－』（学陽書房）3,000円

参考書等

久田邦明編著『子ども・若者の居場所』（萌文社）
ロジャー・ハート著『子どもの参画』（萌文社）

その他

この科目は、教職課程の必修科目です。教職課程・社会教育主事講座・博物館学講座のいずれかに登録していない学生の履修人数を制限する場合があります。1回目の授業に必ず出席し、担当者の指示に従ってください。

科目名	担当者名
発達と学習の心理学	小倉 康仁

講義のねらい	人間の教育活動や教育問題に対して心理学的にアプローチする教育心理学の主要な関心事として、発達および学習に関する様々なトピックスがあります。この発達と学習の問題を中心に、教育者が理解しておくべき事柄を取り上げて授業を進めていきます。つまり、「人はどのようにして育ち学んでいくのか?」、「そのプロセスにおいて親や教師や友人等からの働きかけはどのようにかかわってくるのか?」といったことについて分析・考察していく予定です。
講義の内容・授業スケジュール	<ul style="list-style-type: none"> ①発達の定義 ②発達の規定因（遺伝と環境） ③発達のメカニズム（成熟と経験） ④発達観と教育可能性 ⑤レディネス、臨界期と早期教育 ⑥発達の様子（発達時期・発達段階） ⑦学習のメカニズム（学習理論） ⑧学習と動機づけ（学びを支える意欲） ⑨教授－学習過程 ⑩個性・個人差と教授法（適性－処遇相互作用）
成績評価の方法	平常授業期間中に課す小レポート課題と学期末試験の成績によって評価を行う予定です。
教科書	未定（配布プリントを中心に授業を進める予定ですが、教科書を併用する場合には、開講時に指示します）。
参考書等	必要な場合は、そのつど授業で指示します。
その他	この科目は、教職課程の必修科目です。教職課程または社会教育主事講座に登録していない学生の履修人数を制限する場合があります。1回目の授業に必ず出席し、担当者の指示に従ってください。

科目名	担当者名
発達と学習の心理学	飯田都

講義のねらい

発達心理学・学習心理学は、教育現場で子どもを理解する際の基本的な視座を示す学問である。本授業では、そのトピックの中から、発達初期の愛着形成・学齢期の学習・思春期の自我発達の3つに主に焦点を当てて講義を行う。

講義の内容・授業スケジュール

- 1) 発達初期：子どもの愛着形成
- 2) 学齢期の学習：認知発達と動機付け
- 3) 思春期の自我発達：自我発達の特徴と友人関係の変化など

履修上の留意点

・自身の学校体験やこれまでの成長を振り返って記載してもらう機会があります。
 ・ディスカッションやディベート、もしくは一つのトピックを定めた調べ学習などのワークを取り入れる可能性があります。

成績評価の方法

定期試験・レポート（授業の際の小レポート）
 出席を取ります。講義の半数以上欠席の方は単位取得を認めません。

教科書

資料は必要に応じて配布します。

参考書等

高野清純監修『図で読む心理学「学習」』（福村出版）2,060円
 川島一夫『図でよむ心理学「発達」』（福村出版）2,060円
 他は授業の中で適宜紹介します。

その他

この科目は、教職課程の必修科目です。教職課程または社会教育主事講座に登録していない学生の履修人数を制限する場合があります。1回目の授業に必ず出席し、担当者の指示に従ってください。

科目名	担当者名
発達と学習の心理学	三國隆子

講義のねらい

- ・子どもから大人へ。人の発達過程について概観する。
- ・発達や個に応じた学習や教育について学ぶ。
- ・以上を踏まえ、学校現場で行われる教育や指導のあり方について学ぶ。

講義の内容・授業スケジュール

- ・発達とは何か
- ・発達の特徴と発達理論
- ・発達観の変遷と教育
- ・学習とは何か
- ・学習と評価
- ・意欲と学習（1）動機づけ理論
- ・意欲と学習（2）自己効力感

成績評価の方法

- ・毎回の授業でその授業内容についての小テストや課題を提出してもらう。
- ・学期末にレポート試験を行う。
- ・小テストや課題の提出状況と学期末レポートを総合して評価を行う。

教科書

教科書、参考資料等は、授業中に配布する。

その他

この科目は、教職課程の必修科目です。教職課程または社会教育主事講座に登録していない学生の履修人数を制限する場合があります。1回目の授業に必ず出席し、担当者の指示に従ってください。

科目名	担当者名
発達と学習の心理学	おおはまきくこ 大 浜 幾久子

講義のねらい

子どもが大人になる過程を20世紀の心理学は、どのようにとりあげ、また解明しようとしてきたのだろうか。他の諸学問分野が心理学の成立に果たしてきた役割にも言及しつつ、次のような基本的な問題をめぐる諸研究を学んでいく。

講義の内容・授業スケジュール

- 1) 発達と学習は、どのように定義され、また両者の関係はどのように説明されるのか。
- 2) 知能の発達と情意の発達は、どのような関係にあるのか。
- 3) 障害をも含む発達および学習における個人差を、どのようにとりあげ得るのか。

成績評価の方法

定期試験（学期末）の成績に小レポートの成績を加味する予定である。

教科書

参考資料等については、必要に応じて準備、指示していく。

その他

この科目は、教職課程の必修科目です。教職課程または社会教育主事講座に登録していない学生の履修人数を制限する場合があります。1回目の授業に必ず出席し、担当者の指示に従ってください。

科目名	担当者名
発達と学習の心理学	すみのぜんし 角 野 善 司

講義のねらい

教育心理学は、教育場面に対して心理学的にアプローチする学問であり、教師が、生徒を理解し、効果的な教育を行うためにはどうしたらよいかを、多様な観点から心理学的に考えようとするものです。この科目では、教育心理学の中でも、特に発達と学習に焦点を当てていきます。講義を通じて学び、考えたことを、生徒と接する際のヒントにしてほしいと願っています。

講義の内容・授業スケジュール

- (1) 教育心理学とは
- (2・3) 発達観の変遷
- (4・5) 発達の規定因
- (6) 教育の最適期
- (7) 発達段階と発達課題
- (8) 学習への動機づけ
- (9) 内発的動機づけ
- (10) 学習性無力感
- (11) 原因帰属
- (12) 学習目標と遂行目標
- (13-15) 補遺

履修上の留意点

この科目は、教職課程の科目として開講されます。自らの意志で免許・資格の取得を目指す以上は、毎回出席するのはもちろんのこと、授業を聴きながら考えるという主体的な態度で臨んでください。また、教養教育科目として履修する学生にも同様のことを要求します。他の教養教育科目以上に単位の取得は困難だと思いますので、それを承知の上で受講してください。

成績評価の方法

免許・資格の取得に関連する科目なので、単位認定の基準を甘くするわけにはいきません。成績評価は、毎回の授業で行う小テスト・課題提出状況・学期末テスト・学期末レポートの4つに基づいて行う予定です。小テストは、その日の授業で取り上げた内容に関する問題を出題して、全問正解した場合に限り合格とします。合格した回数が授業回数の半分以下ならば、学期末テストの受験、レポートの提出を認めず、単位は付与しません。

教科書

使用しません。講義は、図表などを載せた資料プリントを活用して進めます。

参考書等

講義の進行に合わせて、適時紹介します。

その他

この科目は、教職課程の必修科目です。教職課程または社会教育主事講座に登録していない学生の履修人数を制限する場合があります。1回目の授業に必ず出席し、担当者の指示に従ってください。

科 目 名	担 当 者 名
カリキュラムと学習	おぐらやすよし 小 倉 康 仁

講義のねらい

カリキュラムの基本的な構成原理を把握したうえで、日本の現行教育課程を理解し、児童・生徒の発達と学習のしくみを踏まえながら、教育効果を上げるための適切な教授法や評価法について考えます。

講義の内容・授業スケジュール

- ①カリキュラムとは？
- ②カリキュラムの構成原理と規定因
- ③様々なタイプ（型）のカリキュラム
- ④カリキュラムと学習の転移
- ⑤学習指導要領の変遷
- ⑥現行学習指導要領の特徴
- ⑦カリキュラムと教授法
- ⑧カリキュラムと評価法

成績評価の方法

平常授業期間中に課す小レポート課題と学期末試験の成績によって評価を行う予定です。

教 科 書

未定（開講時に指示します）。

参 考 書 等

必要な場合は、そのつど授業時に指示します。

そ の 他

原則として、前期に「発達と学習の心理学」を受講していることを前提とします。

科 目 名	担 当 者 名
カリキュラムと学習	みくにりゅうこ 三 國 隆 子

講義のねらい

- ・学習指導要領から読み取れる、日本の教育課程を理解する。
- ・カリキュラムと学習の効果について学ぶ。
- ・学校現場で行われているカリキュラムの実際と課題について理解する。

講義の内容・授業スケジュール

- ・我が国の教育課程
- ・学習指導要領の変遷
- ・教授と学習の効果
- ・カリキュラムと学習の効果
- ・学校教育（1）教育制度・カリキュラムの実際について
- ・学校教育（2）教育評価・今後の課題について

成績評価の方法

- ・毎回の授業でその授業内容についての小テストや課題を提出してもらう。
- ・学期末にレポート試験を行う。
- ・小テストや課題の提出状況と学期末レポートを総合して評価を行う。

教 科 書

教科書、参考資料等は、授業中に配布する。

そ の 他

原則として、前期に「発達と学習の心理学」を受講していることを前提とします。

科目名

担当者名

カリキュラムと学習

すぎやまふたき
杉山二季

講義のねらい

カリキュラムという言葉には、学習指導要領に代表されるような、公的な教育計画の枠組みという意味があります。けれどももっと広義に捉えるときには、学習の経験や履歴という意味も持っています。本授業では、このようなカリキュラムの二重の意味に注目し、子どもたちの学習をデザインする方法と課題について検討していきます。この授業を通して、学校や教師が果たしている複数の機能についての理解を深め、望ましいカリキュラムのありかたについて考えていって欲しいと思います。

講義の内容・授業スケジュール

授業で取り上げるテーマは以下のものを予定しています。

- ①カリキュラムとは何か
- ②学習指導要領の変遷
- ③教育内容の編成と課題
- ④かくれたカリキュラムとは何か
- ⑤カリキュラムのデザインと評価

成績評価の方法

毎回の授業中に課す小レポートと、学期末の試験成績とで総合的に評価します。小レポートの提出は出席を兼ねるので、必ず提出すること。

教科書

教科書は使用せず、資料プリントを適時配布して使用します。

参考書等

授業中に適時紹介します。

科目名

担当者名

カリキュラムと学習

おおはまきくこ
大浜幾久子

講義のねらい

はじめに、学生自身が学んできた小学校、中学校、高等学校における教育課程がどのように編成されていたのかを、当該の学習指導要領により考える。次に、現行の新しい教育課程を学び、その背景にある基本的考え方について考察していく。とくに教科・科目等の具体的内容の削減や再編については、子どもの発達と学習の観点からの考察を深めたい。さらに、諸外国における学習課程の歴史や編成原理について、異文化間教育的な観点から検討を試みる。その際、潜在的カリキュラムにも注目することとする。

成績評価の方法

レポート提出（定期試験期間）を中心とした評価の予定である。

参考書等

『(小学校・中学校・高等学校) 学習指導要領』文部科学省
その他の参考資料については、必要に応じて準備、指示していく。

その他

前期に、「発達と学習の心理学」を履修することを原則とします。

科 目 名	担 当 者 名
カリキュラムと学習	すみののぜんし 角野善司

講義のねらい

この科目では、カリキュラムの編成・実施を中心テーマとして取り上げ、それが生徒の学習をどう規定し、どう導いていくかを検討していきます。これからの教育がどのようなカリキュラムで行われていくべきかを、各自考えてほしいと願っています。

講義の内容・
授業スケジュール

- (1) カリキュラム（教育課程）とは
- (2) カリキュラムに関する法制
- (3) カリキュラム編成の原則
- (4) 学習指導要領改訂の歴史
- (5-6) 平成10年学習指導要領改訂の経緯と基本方針
- (7-8) 平成15年学習指導要領一部改正の経緯と基本方針
- (9) 学習指導要領をめぐるその後の動き
- (10-12) 平成10年改訂学習指導要領（平成15年一部改正）の下での教育評価
- (13-15) 補遺

履修上の留意点

この科目は、教職課程の科目として開講されます。自らの意志で免許・資格の取得を目指す以上は、毎回出席するのはもちろんのこと、授業を聴きながら考えるという主体的な態度で臨んでください。また、教養教育科目として履修する学生にも同様のことを要求します。他の教養教育科目以上に単位の取得は困難だと思しますので、それを承知の上で受講してください。

成績評価の方法

免許・資格の取得に関連する科目なので、単位認定の基準を甘くするわけにはいきません。成績評価は、毎回の授業で行う小テスト・課題提出状況・学期末テスト・学期末レポートの4つに基づいて行う予定です。小テストは、その日の授業で取り上げた内容に関する問題を出題して、全問正解した場合に限り合格とします。合格した回数が授業回数の半分以下ならば、学期末テストの受験、レポートの提出を認めず、単位は付与しません。

教 科 書

『中学校学習指導要領』『中学校学習指導要領解説 総則編』『高等学校学習指導要領』『高等学校学習指導要領解説 総則編』

講義は、図表などを載せた資料プリントも活用して進めます。

参 考 書 等

講義の進行に合わせて、適時紹介します。

科目名	担当者名
社会学〔社会文化を考える〕	お 呉 <small>お</small> 炳 <small>びん</small> 三 <small>さん</small>

講義のねらい

社会学は人間が引き起こす様々な社会現象を分析する学問でもある。その分野は、「家族」「恋愛」「教育」「文化」「政治」「法律」「犯罪」「経済」などにまたがっている。このような分野において特徴的であるといえる諸問題は何かを理解すること。

また、これらの諸問題を解決するためのより広い視点から現代社会を展望する視点を養ってもらうことが本講義のねらいである。

講義の内容・授業スケジュール

(前期) 社会学の基礎概念：

I 行為論：(1) 社会学における行為、(2) 行為者としての個人、(3) 日本的行為論

II 集団論：(1) 集団の概念、(2) 官僚制理論、(3) 小集団論、(4) 集団の類型、(5) 日本的集団論

(後期) 現代社会の特徴的な諸相について：

(1) 家族集団、(2) 恋愛、(3) 結婚、(4) 若者文化、IT文化、(5) 少年犯罪、(6) ジェンダー、(7) 少子・高齢、(8) アダルトチルドレン、摂食障害、(9) 就職、転職、リストラ、(10) フリーター、ニート、引きこもり、(11) 性同一性障害など

以上の内容を講義の予定としているが、受講生の要望も取り入れながら講義を進めているため、講義内容について変更することもある。

履修上の留意点

この講義は、教員の一方的な講義ではなく、受講生とともに調べ、その結果を考えた上、その答えを導く方向で講義を進めていくために、授業への積極的な取り組みが望まれる。それから、毎回辞書を持参すること。また、宿題を出すので、宿題が出来る学生の受講を勧める。

成績評価の方法

出席状況と前・後期末に行う筆記試験の結果から総合的に評価する。

教科書

開講時に説明する。

参考書等

講義中に、その都度紹介する。

講義のねらい

統計学は、観測値からその源泉の特徴や傾向を明らかにして結論を引き出す方法であり、経営、経済をはじめとする社会現象の解析や意思決定など幅広い分野で活用されています。本講義は、統計学の入門としてその基本的な考え方と諸手法を現実の問題を引用しながら平易に解説することをねらいとしています。

講義の内容・授業スケジュール

- (前期) (1) 統計学の概要 (2) 度数分布表とヒストグラム (3) 基本統計量
 (4) 確率の定義 (5) 場合の数 (6) 和事象・積事象の確率
 (7) 演習 (8) 確率変数と確率分布 (9) 平均・分散と期待値
 (10) 確率変数の標準化 (11) 正規分布表 (12) 演習 (13) まとめ
 (14) 母集団と標本 (15) 点推定と区間推定
 (16) 母平均・母分散の推定 (17) 仮説検定 (18) 母平均・母分散の推定
 (19) 母平均の差の推定・検定 (20) 母比率の推定・検定
 (21) その他の推定・検定 (22) 演習
 (23) 散布図と相関係数 (24) 回帰分析 (25) 回帰分析の応用
 (26) まとめ

履修上の留意点

統計学は積み重ねが要求される分野です。継続して講義に出席し、一步一步確実に理解していくことが大切です。

成績評価の方法

3回の演習と期末試験を総合的に評価します。

教科書

テキストは使用しません。必要に応じて適時資料を配布します。

参考書等

石村貞夫『すぐわかる統計解析』（東京図書）
 前野昌弘・三國彰『図解でわかる統計解析』（日本実業出版）
 永田靖『入門 統計解析法』（日科技連出版）
 東京大学教養学部統計学教室『統計学入門』（東京大学出版）

その他

配布資料に基づいて例題を交えて講義し、さらに理解を深めて実際に活用できるようにするために課題演習を実施します。

科目名	担当者名
文化人類学〔文化と人間〕	もり まさふみ 森 雅文

講義のねらい

文化人類学は、諸文化の比較を通して人類文化の共通性と多様性を解説する学問です。その醍醐味は、秘境や奇習の冒険的把握ではなく、さまざまな人間性の表現への理解を探り、そこで構築したそのまなごしを自分の身のまわりの事象にも向けてゆく知的冒険にあります。講義は、文化が創り出す『他者』と『自己』のリアリティを把握する基礎的な枠組みの理解と洞察力の養成を目指します。

講義の内容・授業スケジュール

異文化理解を通じて形成された枠組みを、様々な民族史事例とともに解説します。前期は社会の連帯・統合に人々の結びつきに関わる議論を、後期は宗教や医療を題材にして人間のあり方と世界観の関わりを焦点にした議論を中心に講述します。予定の詳細は各学期の初回に提示します。

〈前期〉学史の概観（文化概念・通時／共時的視座）、人の一生と社会化（人生の諸理論・通過儀礼・ジェンダー）、家族・親族の絆（親子・婚姻・出自・祖先祭祀）、互酬性（交換／贈与）、エスニシティ（人種・民族・国家・日本論）

〈後期〉民俗知識と経験、呪術と社会（妖術・邪術・シャーマニズム）、儀礼と象徴（文化の境界・穢れ・宇宙論・神話・秩序・物語論・場所）、人の存在様式（多重人格・憑依・王権）、医療文化（伝統医療・国民文化・健康・病い・死）

履修上の留意点

受講生のコメントや意見も講義に還元したいので、積極的な参加を期待します。

成績評価の方法

前期後期の学年末筆記試験が基本にして、授業時の質疑応答やコメントペーパー等の内容を平常点として加味します。

教科書

特定の教科書は指定しません。

参考書等

内容が多岐に渡るので適宜授業時に紹介します。

その他

授業は講義形式。ビデオ等の視聴覚教材も使用します。

科目名	担当者名
文化人類学〔文化と人間〕	か どう ゆき はる 加藤 之晴

講義のねらい

文化人類学は、人びとが集い、生活をしていくなかで生まれる様々な生活慣習・思考・言語などに注目する。そしてフィールドワークと呼ばれる経験的な調査法から得られたデータに基づいて「人びとはどうしてこのような行動をとるのか、考え方をするのか？」といった問いを立て、その答えを探し求めていくおこないを通して、人間存在についての理解を深めることを目指す。

本講義では、はじめに文化人類学の基本的な立場・目的・方法・歴史について概略的に解説をおこなう。つぎに世界・家族・身体・宗教・病いなどのキイ・ワードを挙げ、文化人類学ではそれらをどのように捉えるのか、それによって何が見えてくるのか、世界各地の具体的な事例をもとに学んでゆく。

成績評価の方法

基本的には年度末の筆記試験で評価するが、出席点や課題レポートなどを評価の際の補足材料とする。

教科書

特定の教科書は用いない。毎回講義のトピックを記したプリント（レジュメ）を配布し、これに基づいて授業を進行する。

参考書等

授業時に必要に応じて紹介する。

科目名

担当者名

法学・憲法〔法と社会生活〕

和知恵一

講義のねらい

現代社会は、高密度に人が集合し、高度に発展した複雑な社会を構成している。その構成員である我々は、社会にとって必要不可欠である多くの法によって、取り囲まれている。たとえば、電車やバスに乗ること、コンビニで文具を買うこと、アパートを借りることなど、すべて、法的な側面を持っている。自分は法と無縁であると思っている人は、そのことを知らずにいるだけなのである。講座名は、「法学・憲法」であるが、サブタイトルに（法と社会生活）とあるように、本講義においては、「良き社会人として生活していくために、社会にある『法』とは何であるかの理解をすること、またその『法』を社会生活の上で活かしていく能力を身につけること」を主眼とする。

講義の内容・授業スケジュール

講義形式で進める。が、講義はどうしても一方通行になりがちなので、授業中に多数の質問を行い、挙手により解答してもらおう。つまり、全員が参加する授業を目指す。授業では、数多くの事例を挙げ、具体的に話を進める。たとえば「今朝の新聞に、官僚が『収賄罪』で逮捕された記事が掲載されていたが、どんな罪であるのか、また逮捕に際し憲法上の問題があるとあったが、どんな点で、なにが問題なのか」など、より up to date な話題を提供したい。

講義は、おおよそ以下のスケジュールで進める。憲法については、特別にテーマを定めることをせず、関連するテーマが出てきたときに、随時、該当条文に当たり、年間を通して多くの条文に触れられるよう配慮する。

- (1) 法学
 1. 法学を学ぶにあたって
 2. 法とは何か
 3. 法の体系と分類
 4. 法の目的
 5. 法と裁判
 6. 裁判の基準（法源）
 7. 法の解釈
 8. 法と道徳をめぐる問題
- (2) 社会生活と法（以下の項目より受講生の関心の高いものをいくつかやりたいと思う。適宜報道などと関連させたい。）
 9. 犯罪と刑罰
 10. 財産生活と法（人・物・契約など）
 11. 家族生活と法（婚姻・親子・相続など）
 12. アクシデントと法（交通事故・医療事故・欠陥商品など）
 13. 企業と法（就職と労働契約・会社・手形小切手など）

履修上の留意点

楽しい授業・わかる授業・全員参加型の授業を行う必要からも私語はいっさい認めない。また出席は重視する。原則的に、欠席・早退を認めない。理由があるときは、その旨届けてくれれば出席扱いとする。授業開始時間は若干余裕を持たせるので遅刻しないように。また教科書・特に六法は毎回準備すること。できるだけ授業内容は板書したいと思うが、その単なる写し作業で終わらないでほしい。つまり、授業の中で十分考察し、理解することを要求する。したがって単に教場にいるだけでは出席とは認めない。真剣に授業を受けようという意識のある者だけに履修してほしい。板書を記録しやすくなるべく前から着席すること。

成績評価の方法

出席を重視し、きちんと出席したものに、期末試験の受験資格を与える。その試験の得点に平常点を加味して評価する。

教科書

- 小林弘人・松村格編著『法学・憲法（新版）』（八千代出版）
- 六法（例として、『ポケット六法（平成18年版）』（有斐閣）や『デイリー六法』（三省堂）など）

※すでに持っている六法があれば、それで構わない。

参考書等

大久保治男監修『トピックスくらしの法』（芦書房）
 その他授業の中で、随時紹介する。

その他

最初の講義日（2週目になることがある）に受講票を提出してもらおう。特別の事情のない限り、最初の講義の回から出席のこと。

講義のねらい

法は社会のルールであり、憲法は政府と我々国民の関係という国家生活の基本的ルールを決めたものといえる。我々の生活にとって法や憲法を無視することは不可能である。法や憲法を良く知ることは、とりもなおさず我々日本国民がより幸福に生きるために不可欠な作業である。

ここでは、我々が国民として住民として生活する上で必要な法というものの考え方、及び国家の根本法である憲法について、現実に発生する様々な問題にも言及しつつ講義を進める。

講義の内容・授業スケジュール

- 第1回目 ガイダンス
- 第2回目 法学の基礎知識①
- 第3回目 法学の基礎知識②
- 第4回目 法学の基礎知識③
- 第5回目 憲法の基礎知識
- 第6回目 日本国憲法の制定過程
- 第7回目 日本国憲法の基本原理
- 第8回目 国家の安全保障（戦争放棄）
- 第9回目 精神的自由権①
- 第10回目 精神的自由権②
- 第11回目 経済的自由権
- 第12回目 社会権
- 第13回目 参政権、国家請求権
- 第14回目 統治機構①
- 第15回目 統治機構②

履修上の留意点

社会で起こる様々な問題は、憲法をはじめとする法律問題でもあり、この講義を履修して法的思考を養ってもらいたい。

成績評価の方法

夏期レポート及び学年末試験の成績により評価する。
なお、授業の出席状況も参考とする。

教科書

佐伯宣親・酒井憲郎・高乗正編『現代法学と憲法』（成文堂）2,500円＋税
※小六法（何でも可）があれば持参することが望ましい。

参考書等

小六法（何でも可）があれば持参することが望ましい。

科目名	担当者名
法学・憲法〔法と権利〕	いけ だ しの 池 田 実

講義のねらい

〈法学〉家庭生活、社会生活、政治参加、経済活動など、私たちの日常が「法」とどのようにかわり、規制されているかをさまざまな具体例を通して考察し、それが最終的に日本国憲法に定めるとどのような諸原理・精神に結びついているかを明らかにします。
 〈憲法〉政治の法である憲法にかかわる問題には、“唯一絶対の正解”というものがほとんどありません。すっきり明瞭で断定的な解答を求めるのではなく、現代国家の病理やその複雑さに悩みながら、政治生活のあるべき姿をじっくり考えるきっかけにしていれば、と思います。

講義の内容・授業スケジュール

〈法学〉(1) 授業案内・導入 (2) 国家と法 (3) 実定法ガイド (4) 裁判制度ガイド (5) 夫婦と法 (6) 子どもと法 (7) 自己決定権 (8) プライバシーと法 (9) 生命倫理と法 (10) 社会保険と公的扶助 (11) 介護と扶養 (12) マルチメディアと法 (13) 国際社会と法 (14) (15) 補遺・総括
 〈憲法〉(1) 憲法の基本概念 (2) 日本国憲法の沿革 (3) 国会 (4) 選挙・政党 (5) 内閣 (6) 天皇 (7) 地方自治 (8) 人権総論 (9) 自由権・受益権 (10) 社会権 (11) 新しい人権 (12) 裁判所 (13) 戦争の放棄 (14) (15) 補遺・総括

成績評価の方法

出席および授業中に提出するレポート類により総合的に評価します。

教科書

抱喜久雄編『新・初めての法学』（法律文化社）
 野畑・池田・渡邊・清水『テキストブック日本国憲法』（嵯峨野書院）
 上記2冊を用います。

参考書等

授業時に適宜指示します。

その他

授業日程：8月1日～8月8日、1～5時限（土、日除く）

科目名	担当者名
政治学〔国際社会と日本〕	三船恵美

講義のねらい	本講義の副題は「国際社会と日本」です。国際関係の基本的な概念と理論を学ぶとともに、日本を取り巻く国際関係の枠組について学ぶことが本講義の目的です。国際関係の教訓を探り出すために必要な「基本的な視角」を学ぶことが本講義の目的です。
講義の内容・授業スケジュール	前期は、国際社会を分析するうえでの基本的な概念（国際関係のアクター、国益とパワーの概念、安全保障の概念と類型、現実主義、理想主義、ゲーム理論、対外政策決定論など）について講義します。後期は、日本にとって最も重要な2つの国家、米国と中国の安全保障戦略を基軸に、米中関係、日米関係、東アジア共同体構想、米中台日関係、米中EU関係、米中・中東関係、米中・中央アジア関係、米中・アフリカ関係が、日本にいかなる影響を与えるのか、を講義します。
履修上の留意点	「政治学」には「国際社会と日本」「政治システムと政治参加」「社会生活とデモクラシー」の3種類のクラスがあります。本講義は「国際社会と日本」です。 「授業中は静かにしましょう」という注意は幼稚園の入園前に家庭で躰られることであって、大学で注意されることはありません。「大学生としての自覚をもった学生」のみが受講して下さい。資料を配付する場合は、授業開始から10分しか配布しません。20分以上遅刻してくる学生の入室は一切認めません。上記のような行為は、教員のみならず、まじめに授業に取り組もうとしている学生達に対して非常に失礼な行為です。
成績評価の方法	試験（100%）。ただし、授業中にうるさくして退場を命じられた学生には、受験資格を与えません。
教科書	年間を通したサブテキスト『世界情報地図2006年版』にちぶん（1,500円）。後期教科書については、前期授業中に指示します。レジュメなどの配布物は、欠席理由の如何に関わらず、一度しか配布しません。

科目名	担当者名
経済学〔現代経済理解へのガイド〕	佐藤綾野

講義のねらい	本講義では、基礎的な経済理論をできる限り平易に解説し、また社会的に関心の高いトピックを多く取り上げ経済学の重要性を解説します。また学生の皆さんにも積極的に授業に参加してもらうことを希望します。
講義の内容・授業スケジュール	本講義は、「社会人の教養」として、あるいは「本格的な経済学へ向かう導入部分」となるよう、経済学全般にわたって解説します。 講義を進めるにあたり、経済学のなかの基本的なテクニカルタームの解説からはじめ、ニュースや新聞などで報道されているような具体的な経済現象を「経済学的視点」から考えていきます。 講義終了後には、学生の皆さんが現代経済事象に関心をもち、自ら学ぶインセンティブをつけてもらうことを目標としています。 最後に、経済学は学生の皆さんの日常生活においても、とても役に立つ学問です。頑張って習得してください。
成績評価の方法	平常点・レポート・試験を中心に評価します。
教科書	第一回目の講義で指定します。
参考書等	講義のなかで適宜指示します。

科目名	担当者名
社会科学論〔社会認識の思想〕	大石雄爾 <small>おお いし ゆう じ</small>

講義のねらい

私たちをとりまく社会はめまぐるしく変化しています。日本はようやく「複合不況」とよばれる経済スランプから抜け出しつつあります。しかし、アフリカや一部のアジア諸国の人々は貧困にあえいでいるばかりか、好調に推移してきたアメリカ経済も大きくゆらいでいます。また、世界中の国々が協力して地球環境破壊を防止しようとしているときに、他方では、中東などの地域には戦闘の火だねが残っているのです。こうした問題を私たちはどのように捉えればよいのでしょうか。

人々は、人種や信条のちがいを問わず、より豊かに、より自由に、より安全に生活できることを願っています。社会科学は、社会の仕組みと法則性を明らかにすることを通して、こうした人類の願いに応える道を探ることを課題としています。この講義では、資本主義の経済とそこにおける法や国家の仕組みに焦点を当て、社会的諸関係を把握する方法について講義します。特に、社会科学の前進にとって重要な意味をもった社会学者・思想家の社会観および理論をとり上げ、現代的な意味について考えます。

講義の内容・授業スケジュール

1. 思考する楽しみ
2. 社会科学とは何か
3. 社会の歴史的発展と社会思想
4. 社会科学の生誕：ホッブスとロック
5. 資本主義経済の把握：スミスとリスト
6. 資本主義の経済と国家：マルクスとウェーバー
7. 現代資本主義の捉え方：レーニン・ケインズ・ガルブレイス
8. 現代社会の思想的諸潮流

なお、現代社会の時事的諸問題について、折に触れてとり上げ解説するつもりです。

履修上の留意点

1年間講義に出席し理解しようと努めることによって、皆さんの思考力、書写能力も高まります。講義には、毎回欠かさず出席することを望みます。

成績評価の方法

授業中に小レポートを作成していただくことがあります。成績は、小レポートと後期に行なわれる定期試験で評価します。

教科書

特に指定しない。

参考書等

高嶋善哉『社会科学入門』（岩波新書）
平野喜一郎『社会科学の生誕』（大月書店）
大石雄爾『ヘーゲル論理学の真相』（白桃書房）

科目名

担当者名

教育学〔デス・エデュケーション〕

柳 堀 素 雅 子
やなぎ ほり すがこ

講義のねらい

「人間の死」の問題を多角的な視点から考えていく。今日、日本国内においても海外においても、「人間の死」に関する問題が語られない日はないと言ってよい。殺人事件、戦争による死者、医療ミスによる死、環境問題に関わる死の問題など数えればきりが無い。これらの問題の原因を追求していくことが、講義のねらいである。明確な答えは出せないが、何らかの解決に向けた取り組みが提案できるようになればある程度の目的は達成されたことになる。最終目標として、人間が人間らしく生きるとはどのようなことかを考えていけるようにしたい。

講義の内容・授業スケジュール

前半は「殺人」の問題を哲学的、倫理的、宗教的視点から考え、後半は「バイオエシックス（生命倫理）」の問題を考える。古来から哲学者は人間の死に関する問題を考えてきた。殺人は人間の悪の問題としてもとらえられる。西洋の思想家を中心に、人間は死の問題をどのように考えてきたのかを探っていく（前半の内容）。「バイオエシックス（生命倫理）」とは、1960年代後半から登場してきた医療に関する新しい学問である。「患者の権利」という新しい概念を中心に展開されてきた。バイオエシックスの内容を具体的に説明していく（後半の内容）。

履修上の留意点

前半と後半で講義の内容が大きく変わるので、両方の内容を理解できるようにしてもらいたい。

成績評価の方法

レポートの提出（最低4本は提出してもらおう予定。内容を厳密にチェックする）。出席状況も調べる。

教科書

なし。

参考書等

講義中に随時知らせるが、バイオエシックスに関するものだけあげておく。
 D. ロスマン『医療倫理の夜明け』（晶文社）
 ビーチャム、テルドレス『生命医学倫理』（成文堂）
 Ch. プロス／G. アリ編『人間の価値』（風行社）

その他

講義中心に行ないますが、参加人数によって多少変更するかもしれません。配布した資料は必ず自分で読んで理解すること。

講義のねらい

教育現場で出会う思春期の子どもたちを掘り下げて考える。思春期は、人間の一生の中で多様な心身の変化と社会的位置づけの変化、親との関係の変化が起きる時期である。その上、思春期は家庭や社会の影響をまともに受けやすいため、さまざまなストレスや問題行動を呈することもある。このような思春期の子どもたちに対して、教師、教育機関の専門的職業に携わる者、親はどのように向き合って関わっていけばよいのかについて心理学的観点から学んでいく。

講義の内容・授業スケジュール

前期

- 1 思春期とは何か
トピックス：身体の変化(第二次性徴)、親からの精神的自立と親密な仲間関係の形成、自己意識と他者意識の高まり
- 2 思春期の心の変化と行動の変化
トピックス：学校生活への適応、メディアの影響、性に関する問題、少年犯罪、摂食障害

後期

- 3 思春期の課題としての進路選択
トピックス：進路選択と職業選択、フリーターの問題
- 4 思春期と向き合う人々と諸機関
トピックス：親と家族、教師のストレスとバーンアウト、養護教諭、スクールカウンセラー、児童相談所、少年鑑別所

履修上の留意点

思春期ならびに学校現場の問題を扱っていくので、教育現場の仕事(教員、スクールカウンセラーなど)に関心がある学生の履修を希望する。出席を重視する。

成績評価の方法

試験(前期・後期)60%、平常点(出席)40%によって評価を行う。

教科書

菊池武剋監修『思春期・青年期と向き合う人のための心理学』(中央法規)2004年

参考書等

谷冬彦・宮下一博編著『さまよえる青少年の心』(北大路書店)2004年
小田切紀子著『離婚を乗り越える-離婚家庭への支援を目指して』(プレーン出版)2004年

その他

テキストを用いての講義形式とする。

科目名

担当者名
し みず よし かず
 清水善和

生物学〔生態と進化〕

講義のねらい

地球上の生物はすべて約40億年前に誕生した始原生物に端を発し、その後には連続と続いた進化の産物である。どの生物も進化の遺産を背負って存在しており、進化を抜きにして生物を理解することはできない。また、この地球上には現在1000万種以上の生物が存在していると推定されている。肉眼では見えないバクテリアから体長20mを超すシロナガスクジラまでさまざまな形、大きさの生物が熱帯から極地、高山から深海まで地球上のあらゆる場所において独自の生活を築いている。そして、これらの生物は孤立して存在するのではなく、互いに密接な関係を保ちながら地球上にさまざまな生態系を形成している。この多様、複雑な姿が生物のもう一つの特徴である。一方、生命の基本的な情報を担う分子である遺伝子の研究が進んで、あらゆる生命現象を遺伝子レベルで統一的に理解することも可能になってきた。そこで、本講義では生物の「進化」、「多様性」、「遺伝子」を3つのキーワードにして、生物の進化や生態の実際を体系的に紹介するとともに、進化や多様性の維持に関するメカニズムについて解説する。

講義の内容・授業スケジュール

- 第1章 遺伝子と進化－我ら生物みな兄弟
 - (1) 生命の歴史性 (2) 遺伝子と生命現象 (3) 進化のメカニズム
- 第2章 40億年の生物進化－偶然と必然が織りなす奇跡
 - (1) 地質年代図 (2) マーグリスの共生説 (3) カンブリアの爆発
 - (4) 生物の上陸 (5) 大量絶滅
- 第3章 系統と分類－名もなき雑草はない
 - (1) リンネ式分類体系 (2) 生物五界説 (3) 種の定義と属性 (4) 分子時計
 - (5) 動物と植物の系統
- 第4章 行動と進化－生き物は誰がために生きるか
 - (1) 動物行動学の歩み (2) 適応度とゲーム理論 (3) 性選択と性比
 - (4) 利他的行動と血縁淘汰 (5) 利己的遺伝子
- 第5章 生物の人口論－産めよ殖えよ地に満てよ
 - (1) 潜在的な増殖率 (2) 密度効果とr-K淘汰 (3) 食う・食われる関係
 - (4) 生命表
- 第6章 共生と競争－出し抜きながら深い仲
 - (1) 種間関係(共生と寄生) (2) 花と昆虫の共進化 (3) 菌根 (4) 擬態
- 第7章 人類の進化－ヒトは唯一の生き残り
 - (1) 霊長類の系統 (2) ヒトの発展段階 (3) ホミニゼーション(ヒト化)
 - (4) 人体の特徴
- 第8章 進化論－進化論も進化する
 - (1) ダーウィン以前 (2) ダーウィン進化論 (3) ネオ・ダーウィニズム
 - (4) 進化論と宗教
- 第9章 生態系－命は無数のつながりの中で
 - (1) 生態系(エコ・システム) (2) 食物連鎖と生物濃縮 (3) 光合成と呼吸
 - (4) 生産諸量
- 第10章 物質の循環－元素はめぐるよどこまでも
 - (1) 物質循環の大原則 (2) 水の循環 (3) 炭素の循環 (4) 窒素の循環
 - (5) 地球環境の形成
- 第11章 植生遷移－裸地もいずれは森林に
 - (1) 遷移のモデル (2) 遷移の実例 (3) 森林の更新
- 第12章 生物多様性－多様な世界に未来あり
 - (1) 3つの多様性 (2) 多様性の尺度 (3) 生物地理区と植生帯
 - (4) 多様性の危機
- 第13章 人為と生物－生物界のグローバリゼーション
 - (1) 里山の生物 (2) 都市化と生物 (3) 帰化種の侵入

成績評価の方法

前期のレポート、後期の試験、通年の出席回数を勘案して評価する。

教科書

講義内容を記述した「web版教科書」(清水執筆)を紹介する。受講者は清水のHPより自由にダウンロードして利用できる。

参考書等

「web版教科書」にて章ごとに紹介する。

その他

講義に必要な図表は適宜プリントにして配布する。

科 目 名	担 当 者 名
地球科学〔地球の変換・生命の進化〕	小 池 敏 夫 <small>こ いけ とし お</small>

講義のねらい

地球は誕生以来、地球内部のエネルギー循環により、大規模な変動を繰り返してきたこと、それに伴う自然環境の変化と関わりながら生命は進化してきたことを学ぶ。

講義の内容・授業スケジュール

地球は、その深部に貯えた熱エネルギーを大規模に放出するイベントを繰り返してきた。そのため、大陸の合体・分裂や大規模な火山活動が生じ、太陽エネルギーの受容量や大気中の二酸化炭素の濃度は大きく変化、地球は全面凍結や灼熱の地獄を経験した。地球上に誕生した生命は、自然環境の大変動による大量絶滅、あるいは新しい環境への適応放散を経ながら、多様性を増してきたのである。前期は地球の変動の主役、大陸の合体・分裂とそれに関わる地質事象（日本列島の成立、火山活動、地震）を中心に、後期は生命進化と自然環境の変動との関わりについて解説、学生諸君に考察してもらう。

1. 海と陸の地質的特徴
2. 大陸移動の証明
3. 大陸の合体・分離の原動力
4. 日本列島の生い立ち
5. 地震の予知と対策
6. 地球環境の変動と生物進化
7. 分子生物学から知る生命の繋がり
8. ヒトの起源・現代人のルーツ

成績評価の方法

毎週、授業の内容に関する様々な問題について考察し、筆記してもらう。それに基づいて成績評価を行なう。

教 科 書

特に定めない。

参 考 書 等

授業の中で、そのつど紹介する。

そ の 他

配布資料に基づいて授業を進める。必要に応じ OHP などを用いる。

科 目 名	担 当 者 名
自然環境論〔生命と環境〕	中 村 敏 枝 <small>なか むら とし え</small>

講義のねらい

米国同時多発テロ事件が起きた2001年9月、国内ではBSE問題が浮上した。BSEは牛の致死性の感染症であるが、病原体がプリオンというたんぱく質であること、ヒトおよび他の生物に種の壁を越えて感染することが、生物学的には興味深い。英国でこれが蔓延したのは罹病した牛の屍体を飼料として用いたことによるという。つまり、経済性・効率性の追及の結果である資源の有効利用が、草食動物である牛に肉食をさせた結果、生じた人災なのである。増え続ける人口、豊かな食生活への欲求、それが、生物と環境に何をもたらしているのかを考えてみよう。

講義の内容・授業スケジュール

- (前期) 人間の活動と自然環境
- (1-6) 自然のしくみ
 - (7-12) 自然の改変食をめぐる問題
 - (13-18) 農業—有機農業・灌漑・遺伝子組み替え作物
 - (19-22) 畜産業—肉食とは何か・BSE・クローン動物
 - (23-25) 漁業—海外依存度・環境ホルモン汚染

履修上の留意点

義務教育までの数学、理科をはじめ各教科の知識を、本講義の前提とする。意見発表の機会をつくりたいので積極的に取り組む学生の参加を期待します。

成績評価の方法

学期終了時に講義内容についての試験またはレポートを課します。成績は上記と出席状況、授業時間内の小レポートなどを考慮して、総合的に評価します。

参 考 書 等

赤堀他著『生物学—地球に生きるいのちを考える』（宣協社）2,700円
その他については授業時間内に随時紹介します。

そ の 他

授業スケジュールを変更して時事問題を扱うことがあるかもしれません。

科 目 名

担 当 者 名

自然環境論〔生物の集団と環境〕

さか まき よし あき
坂 巻 義 章

講義のねらい

地球環境の変化は現代の重要な問題の1つである。これは、個人の専門や興味に関係なく我々に降りかかってくる。この状況の中で人間を含めた自然、それを取り巻く環境について正しい理解をもつことは必要不可欠である。この講義では生物の生活と環境の関係を理解する事を基本とし、生態系の成り立ちやその中で起こる調節、人間による攪乱などについて取り上げる。この知識を基礎にこれからの環境変化についてどう対処するかを考えたい。

講義の内容・
授業スケジュール

前期 (1、2) 地球 (3) 環境とは何か (4) 生物とは何か (5、6) 生物の歴史と環境 (7、8) 生物の進化 (9、10) 生物の分布 (11、12) 環境への適応 (13) 前期のまとめと試験
後期 (14、15) 食物連鎖とエネルギー流 (16) 生態ピラミッド (17) 個体群 (18) 出生と死亡 (19) 競争と住み分け (20) 捕食 (21) 共生と寄生 (22) 土壌と分解者 (23) 物質循環 (24) 里山の生態系 (25) 人口問題と環境問題 (26) まとめと試験

履修上の留意点

スケジュールは基本である。開始後に理解度によって進度を調整したり、新たな内容についても触れるなどの変更はありうる。大学生として授業に参加する基本的なマナーは守って欲しい。

成績評価の方法

出席点と筆記試験で行う。途中で課題を出すこともあるので、その場合はこれも加える。

教 科 書

指定しない

参 考 書 等

指定しない。必要な場合にプリントを配布することがある。

そ の 他

講義形式の授業とする。

講義のねらい

我々は何者か、なぜ、今ここにいるのか？ 大宇宙の中で人類存在の意味を問う本質的には哲学的なこの問いに対して、20世紀の自然科学が見いだした一応の答えは次の通りである。すなわち、我々は、100億年を越える宇宙の進化と、46億年の地球及び生命の進化の果てに出来上がったかけがえのない存在である。一方で、科学技術の発展は、人類を育ててきた地球の自然環境を脅かすに至っている。もはや科学の未来は科学者だけの問題ではありえず、社会を構成する一人一人が考えねばならないことである。本講義では自然科学教室の専門を異にする3名の教員がそれぞれの専門分野の知識を持ち寄り、自然の階層構造と進化を軸に現代科学諸分野を総合して得られる自然像を語る。それは自然界全体を総合的、統一的にとらえるナチュラル・ヒストリー（博物学、自然誌）の伝統を現代的に蘇らせる試みでもある。地球の未来に向けていかなる道を目指すべきかを考える足掛かりとしてほしい。

講義の内容・授業スケジュール

自然科学教室の専任教員3人により、1人8回程度の輪講形式で行われる。宇宙の始まりから地球と生命の進化を経て人類の時代に至る自然の歴史をたどり、私達にとっての自然環境がどのようにして今日の姿をとるようになったかを学ぶ。また、21世紀の重要課題となる地球環境問題の本質とその解決の方向についても考察する。

第1講 宇宙の進化と地球の起源 篠原正雄

- (1) 宇宙の起源（自然の階層構造、膨張する宇宙、ビッグバンと元素の起源）
- (2) 星の進化と物質の進化（星の一生、星間物質の進化、銀河の渦と星生成領域）
- (3) 太陽系と地球の起源（太陽系起源仮説、牡牛座T型星、宇宙の有機化合物）
- (4) 太陽と地球の進化（地球の核の形成、大気と海の起源、太陽の進化と地球環境）
- (5) 宇宙の中の地球（太陽放射の変動、地球軌道の変化、隕石、銀河系）

第2講 生命の起源と進化 清水善和

- (1) 生命の起源（生物体を作る物質、遺伝暗号とタンパク質合成、生命起源仮説）
- (2) 生物の進化と進化論（生物進化40億年の歴史、進化のメカニズム、現代進化論）
- (3) 人類の進化（霊長類の系統、ヒトの発展段階、ホミニゼーション）
- (4) 生物の多様性（分類体系、生物多様性、植生帯、動植物の分布）

第3講 産業の発達と環境の変化 持丸真里

- (1) 人口増加とエネルギー消費の歴史
- (2) エネルギー消費と「豊かさ」
- (3) 化石燃料の化学
- (4) 大気環境の変化（古典的大気汚染からグローバルな環境問題へ）
- (5) 未来へ向けて－石油代替エネルギーの開発とその評価

履修上の留意点

本科目は1年間の継続的な講義を通じて総合的な自然像を養うことを目的としているので、毎回出席するのが困難な卒業年次生や運動部員等は履修を控えてほしい。一般の通年科目と異なり、教員ごとに計3回の評価（テストやレポート等）を受けねばならないことの自覚をもって履修してほしい。

成績評価の方法

各担当者毎に小テストやレポート等の方法で評価し、最終的に3人の採点を合算して成績評価とする。追試験は行わないので、教員ごとの指示に従ってそのつど評価を受けること。

教科書

特になし。

参考書等

各担当者がそれぞれ講義の中で適宜紹介する。

科目名

担当者名

数学(1)〔微積分学入門〕

小沢 誠

講義のねらい

数学の基礎分野の一つである微積分学の入門的事項を学ぶ。将来必要になった時に困らないよう、例題を丁寧に解説し、練習問題を解けるようにする。また、単に問題が解けるだけでなく、その過程において、論理的思想を身に付けることを目標とする。

講義の内容・授業スケジュール

前期に、直線と2次曲線・三角関数・指数関数と対数関数を学び、それらの導関数を求める。また、基本的な関数の微分が出来るようにする。後期に、平均値の定理とマクローリン展開・関数の増減とグラフの凹凸・偏微分と極値、不定積分・置換積分と部分積分・定積分と面積を学ぶ。

履修上の留意点

毎回出席すること。数学は一つ一つの積み重ねであるので、欠席した場合には補習が必要である。

成績評価の方法

前期と後期の試験の結果で評価する。出席も考慮する。

教科書

石村園子『やさしく学べる微積分』(共立出版) 2,100円(税込)

参考書等

適宜紹介する。

その他

講義が理解出来なかった場合は、遠慮なく質問して欲しい。全ての受講生が理解して進められるよう努力する。

科目名

担当者名

数学(2)〔線形代数学入門〕

小沢 誠

講義のねらい

数学の基礎分野の一つである線形代数学の入門的事項を学ぶ。将来必要になった時に困らないよう、例題を丁寧に解説し、練習問題を解けるようにする。また、単に問題が解けるだけでなく、その過程において、論理的思想を身に付けることを目標とする。

講義の内容・授業スケジュール

前期に、平面と空間のベクトル・行列・行列の基本変形・連立1次方程式の解・逆行列の求め方を学ぶ。後期に、行列式の定義・行列式の性質・クラメル公式・ベクトル空間と1次変換・固有値と固有ベクトルを扱う。

履修上の留意点

毎回出席すること。数学は一つ一つの積み重ねであるので、欠席した場合には補習が必要である。

成績評価の方法

前期と後期の試験の結果で評価する。出席も考慮する。

教科書

石村園子『やさしく学べる線形代数』(共立出版) 2,100円(税込)

参考書等

適宜紹介する。

その他

講義が理解出来なかった場合は、遠慮なく質問して欲しい。全ての受講生が理解して進められるよう努力する。

科 目 名	担 当 者 名
数学 (3) [現代数学入門]	福 田 賢 一 <small>ふく だ けん いち</small>

講義のねらい

現代数学の基礎概念を、諸科学への応用例を通して学ぶ。特に社会・経済現象に応用例を求め、具体的かつ基礎的な事例から無理のない数理的抽象化を計り、実践な応用力の養成を目指す。
本年度は情報環境への理解を深めるため、基礎情報理論・情報数理論分野を充実させる。さらに、経済工学・金融工学の数理的基礎を学びたい。

講義の内容・授業スケジュール

前期： 論理の基礎と言語、情報理論の数理論と論理、論理設計、情報機器の理解、コンピュータ・携帯電話、通信機器の理解と数理論、線型代数とその応用、
後期： 線型計画法、確率現象と社会現象、微積分とその応用、交通・運輸の数理論、経済・経営の数理論基礎、

履修上の留意点

予備知識は特に必要としない。高校数学の基礎的な知識があれば十分理解できる。しかし、系統性の強い学術分野であるから、基本的な定義、性質を明確にする必要とともに、基本的な事項の十分理解・運用能力が必要とされる。また、社会・経済現象に対し興味を持ち、基礎的な認識を深める必要もある。

成績評価の方法

前後期試験結果を中心に、レポート、出欠状況を加味し、総合的に判断する。

教科書

使用しない。教材、資料等は数時限に一回の割合で配布する。
学生諸君の経済的負担を軽減するため、関連する公的な機関等のサイト等を紹介する。

参考書等

必要となり次第指示する。配布する教材、資料等に提示する。

その他

教材、資料等は数時限に一回の割合で配布する。再配布ができない事もあるので注意。講義に対する要望、質問等は積極的に言うこと。疑問点、理解不十分などを放置しないように努める事。
可能な限り演習を行い理解の徹底を図る。

科 目 名	担 当 者 名
情報数学[情報と論理]	坂野井 和 代 <small>さかのい かず よ</small>

講義のねらい

情報処理・情報科学等で使用する基礎的な数学について学ぶ。

講義の内容・授業スケジュール

前期は、記数法など基礎的な数学知識について学んだ後、情報処理において必要となる概念である集合と論理について学ぶ。後期は主に確率と統計について勉強してゆく。講義時間中に例題を解くなど、実際に手を動かして数学に慣れる講義を目指す。

履修上の留意点

予備知識・教科書は特に必要とせず、その都度、資料配付や説明を行う。ただし、講義は必ず毎回出席し、出題された例題や課題を必ず解いているものとする。つまり、レポートは講義に出席していないと回答することは難しい。

成績評価の方法

評価は原則として年に3回程度のレポートによって評価する。その他、講義時間中の発言も評価に含める。

教科書

使用しない。適宜資料を配付する。

参考書等

野々山隆幸監修、石原光/小堆光喜共著『入門 情報処理数学』(実教出版) 2,200円

科目名

担当者名

物理学〔光と物質〕

しのぼらまさお
篠原正雄

講義のねらい

地上の天文学者は天体から来る光などの電磁波を分析して、手の届かない天体を作る物質の種類、温度、運動などを読み取ります。この天体物理学の方法は物質と光の関係の物理学的研究に伴って発展してきました。

本講では「光とはどのようなものか、光と物質の関係は？」という問いをめぐるさまざまな事柄を取り上げます。「光学」に限定せず、力学、電磁気学、熱力学、量子力学、宇宙物理等に及びます。

講義の目的は、光について学ぶことを通して、物理学的な目で世界を見ることを体験していただくことです。数式は物理学に不可欠な言葉ですが、数式により表現された物理的な意味の方が大切です。数式の使用は極力避け、用いる場合はその意味をできるだけ平易に説明するの、数学的な予備知識はいりません。

講義の内容・授業スケジュール

次のような項目について講義します。

波としての光

光線 影 鏡 屈折 蜃気楼 透明人間

光波 音波・地震波・水の波 シャボン玉の色

電磁波としての光

電気と磁気 電磁波 光の速度と電磁気学 電波望遠鏡 電子レンジ

色即ち波長？ 虹の七色 vs 三原色 茶色い光の波長？ X線とガンマ線

光子 熱と光 星の色 人の光 原子構造と光 光波は粒子・電子は波

光と宇宙

光速不変 ブラックホール 膨張する宇宙 光の旅

履修上の留意点

十分に出席する自信のない者は、履修しないようお勧めします。

成績評価の方法

学年末に実施する簡単な期末試験を受けた人だけが成績評価の対象となります。しかし、期末試験の比重は15%程度です。数回のテストを含む平常点を中心に評価します。

教科書

藤城敏幸著『生活の中の物理』（東京教学社）1,800円

参考書等

本間三郎・山田作衛著『電気のを謎をさぐる』（岩波新書）563円
その他、講義の中で適宜紹介します。

その他

理解を深めるためには毎回問題を考えてもらいます。

科 目 名	担 当 者 名
化学〔衣食住の化学〕	持丸 真里

講義のねらい

現代の日常生活にあふれる化学物質について広く取り上げ、その利便性と問題点を理解するための基礎知識を解説してゆく。各受講生が、化学物質・技術の適用の可否や環境問題について、正確な基礎知識に基づいた意見を持てるようになることを目的とする。講義では、はじめに、生体への化学物質の作用を理解するために必要な有機化学及び生化学の基礎について解説する。その後、衣食住の化学として、各論の解説を行う予定である。

講義の内容・授業スケジュール

前期 (1) 有機化学・生化学の導入 (2) 物質の成り立ち (3) 水の性質 (4) 有機化学の基礎 (5) 合成繊維 (6) 染料 (7) 合成洗剤と水質汚濁
後期 (8) タンパク質 (9) 遺伝子 (10) 遺伝子情報の社会への影響 (11) 遺伝子組み換え食品 (12) 食品の安全性 (13) 住環境の化学物質汚染

履修上の留意点

授業中の私語・飲食・携帯電話の使用は禁止。上記のようなスケジュールを基本とするが、学生の理解度にあわせて進度を調整したり、途中でニューストピックスを取り上げるなど、柔軟に進めていく。講義は、基礎的内容から順次、発展的・先端的事項へと進むので、欠席すると理解が困難になることを留意の上、履修すること。

成績評価の方法

出席点と筆記試験による。

参 考 書 等

講義の中で随時紹介する。

科 目 名	担 当 者 名
宇宙科学〔星と銀河〕	篠原 正雄

講義のねらい

現代の天文学が描く宇宙の姿を研究の手法と併せて紹介します。
観測装置やコンピューターの発展に伴い、宇宙の研究は急速に進展しています。星と銀河についての知識のほとんどは20世紀になって明らかにされました。前世紀の成果をふり返し、新世紀の天文学を展望しつつ講義を進めます。宇宙が昔思われたような永遠不変・不生不滅の静かな広がりではなく、むしろ荒々しいまでにダイナミックな進化していく世界であること、我々人類もまたそうした宇宙の歴史の所産であることを知っていただきたい。

講義の内容・授業スケジュール

前期は恒星をとりあげます。
太陽： 構造 エネルギー源
恒星： 研究の手法 恒星の分類 恒星の進化 太陽系の起源
後期は銀河をとりあげます。
銀河系： 星団 星雲 恒星の運動 星生成領域
銀河： 銀河の距離 分類 銀河団 宇宙の大規模構造
宇宙： 宇宙膨張 ビッグ・バン

履修上の留意点

この講義は毎回完結の物語ではありません。前の講義で学んだことを前提として進めます。欠席したときは自分の責任で補っておかないとついていけなくなります。

成績評価の方法

学年末に行う筆記試験の結果により評価します。平常点も考慮します。

教 科 書

高瀬文志郎『星・銀河・宇宙』(地人書館) 1,800円

そ の 他

講義を中心とするが、天体の映像などを多用する予定です。

科目名	担当者名
コンピュータ基礎 (1) (6) [コンピュータの実際]	小 沢 誠

講義のねらい	ホームページの作り方を説明します。文書の構造を記述する言語である HTML (Hypertext Markup Language)、その表示方法を指定する仕組みの CSS (Cascading Style Sheet)、作成した HTML・CSS ファイル等をウェブサーバーに送信する際の通信規約 FTP (File Transfer Protocol) を学びます。これらを学ぶ過程で、コンピュータの基本的な知識や操作方法等も習得できるようになります。最終的に、自分のホームページを公開することが目標です。
講義の内容・授業スケジュール	まず前半部分に HTML、後半部分に CSS の基礎を学びます。HTML では基本構造・テキスト・リスト・テーブル・リンクを、CSS ではフォント・テキスト・色と背景・ボックス・配置方法・リストを扱います。HTML が一通り終わった段階で、無料ホームページの登録をし、FTP のやり方を説明します。
履修上の留意点	パソコンにログインするには、KOMAnet の「ユーザ ID」と「パスワード」が必要です。ユーザ ID とパスワードの無い学生は教場のパソコンを利用できないので、講義が始まる前に取得しておいて下さい。 この講義では内容については触れないので、予めテーマを決めて、どのような内容にするか考えておいて下さい。
成績評価の方法	レポートで評価します。HTML・CSS・内容の 3 点で採点をします。
教科書	http://www.komazawa-u.ac.jp/~w3c/lecture/computer.html を教科書として使用します。
参考書等	『改訂第 4 版オールカラー HTML ポケットリファレンス』(株)シーズ著 定価1,659円
その他	http://www.yahoo.co.jp/ 、 http://www.google.co.jp/ 等で自分の興味があるホームページを検索して、どのような情報が公開されているか見ておくことも重要です。

科 目 名	担 当 者 名
コンピュータ基礎（４）（９） 〔コンピュータの実際〕	お <small>お</small> ざ <small>ざ</small> わ <small>わ</small> 小 沢 誠

講義のねらい	シスコネットワークアカデミープログラム（CCNA1）に従ってネットワークの基礎を習得することを目標とする。
講義の内容・ 授業スケジュール	ネットワークの概要、ネットワークの基礎、ネットワークメディア、ケーブルのテスト、LANとWANのケーブルリング、イーサネットの基礎、イーサネットテクノロジー、イーサネットスイッチング、TCP/IPプロトコルスイートとIPアドレッシング、ルーティングの基礎とサブネット、TCP/IPのアプリケーション層とトランスポート層について学ぶ。
履修上の留意点	パソコンにログインするには、KOMAnetの「ユーザID」と「パスワード」が必要です。ユーザIDとパスワードの無い学生は教場のパソコンを使用できないので、講義が始まる前に取得しておいて下さい。
成績評価の方法	期末テストで評価します。
教 科 書	シスコネットワークアカデミープログラム（CCNA1）を使用します。教場のパソコンから閲覧可能です。
参 考 書 等	シスコシステムズ『シスコネットワークアカデミーCCNA1受講ガイド』（ソフトバンククリエイティブ）4,200円 Roads to Node (http://www5e.biglobe.ne.jp/~aji/)
そ の 他	コンピュータの基礎的な知識と、インターネット使用の経験がある方が望ましい。

科目名	担当者名
コンピュータ基礎（２）（７） 〔コンピュータの実際〕	やまもとひろのぶ 山本博信

講義のねらい

この授業では、コンピュータの基本的な操作方法だけではなく、インターネットやワープロソフト、その他のアプリケーション・ソフトウェアの活用を理解し、レポートや論文の作成、および、データ処理などの基礎を学習することを目的とします。そのため、実習だけでなく、練習問題や演習問題なども含みます。

前期では、ワープロソフトによる文書作成・編集・印刷、電子メールやWWWブラウザによるコミュニケーションを取り上げます。後期には特に電子メディアの活用やレポートの作成を学びます。

講義の内容・授業スケジュール

- (前学期) (1・2) 授業オリエンテーション、基本ソフトの基礎 (3・4) キータッチの基本および確認
 (5) Web メーラー (Active Mail) を用いたメールの送受信。パスワードの変更
 (6～7) ワープロソフトと日本語変換
 (8～10) ワープロソフトによる文書作成・保存・印刷
 (11～12) WWW ブラウザを用いたホームページの閲覧、検索、レポート作成
 (最終授業) 確認試験の実施
- (後学期) (1・2) 授業オリエンテーション、基本ソフトの基礎 (3) Active Mail を用いたメールの送受信・パスワードの変更
 (4) ワープロソフトによる文書作成、レポート作成・保存・印刷
 (5～6) インターネットの活用 (電子メール、WWW サービス)
 (7～8) 表計算ソフトの基本
 (9～10) 表計算ソフトの応用
 (11～12) ホームページの作成
 (最終授業) 確認試験の実施

履修上の留意点

予備知識は仮定しないけれども、講義は必ず毎回出席し、出題された演習を必ず解いているものとします。半期の授業なので、就職活動や教育実習などで2回以上休むことが当初から予想される学生は、その時期の授業は履修申請しないこと。駒澤大学の総合情報センターのコンピュータの利用申請が必須となります。

成績評価の方法

評価は授業期間中に適宜行う演習やレポートの提出、授業最終回で行う実技試験によって行います。ただし、本年度入学生の成績の評価方法は、GPA 制度に基づきます。

教科書

未定。

参考書等

必要に応じて紹介します。

その他

実習のために、計算機室で講義を行います。コンピュータの数に限りがあるので、受講生数を制限することもあります。毎時間ごとに授業レジュメなどのプリントを配布します。

科目名**担当者名**

コンピュータ基礎（3）（8）

おがわ けんじろう
小川 健次郎〔コンピュータの実際〕

教養教育

講義のねらい

インターネットの原理や原則を学ぶ。その上で実現されているさまざまなサービスを、実習を通じて理解する。

講義の内容・
授業スケジュール

多数のコンピュータがネットワークを通じて相互に接続されたインターネットについて学ぶ。この上で具体的に電子メールや WWW などのサービスを取りあげ、実習を通じて理解する。こうしたサービスを通じて、何ができるか、何をやってもよいか、何をやってはいけないか、といった事柄を、技術的、倫理的、法的側面から学ぶ。

履修上の留意点

予備知識は必要としないが、講義は必ず毎回出席し、出題された演習を必ず解いているものとする。半期の授業なので、就職活動や教育実習などで2回以上休むことが当初から予定されている学生は、その時期の授業は履修申請しないこと。駒澤大学の総合情報センターのコンピュータの利用申請が必須となる。

成績評価の方法

評価は授業時間中に適宜行う演習やレポートによって行う。

参考書等

参考書は必要に応じて紹介する。

その他

実習のために、計算機室で講義を行う。コンピュータの数に限りがあるので、受講者数を制限することもある。

科目名	担当者名
コンピュータ基礎 (5) 〔コンピュータの実際〕	さわぐち 澤口隆

講義のねらい	<p>DTP (DeskTop Publishing) をはじめとしたオンライン編集や、コンピュータグラフィックス (CG) を利用した CAD イメージ、映画などで用いられるリアルな CG 映像や、インターネットブラウザ上での FLASH アニメーションなど、現在のマルチメディア社会において、コンピュータを利用した映像やデザインなどはすでに一般的なものとなっている。</p> <p>本講義では、これまでコンピュータを用いた画像処理や CG でのデザイン・作図などの経験のない学生を対象に、CG の基礎知識とアプリケーションの操作方法を様々な課題を作成しながら学習することを目的とする。</p>
講義の内容・授業スケジュール	<p>コンピュータグラフィックスに関する基本知識の講義と、実際のアプリケーションを用いた作品製作の演習が中心となる。OS は Windows を用い、アプリケーションは Adobe Photoshop を使用する予定。</p> <p>その他、インターネットで活用できるような画像処理技術やアニメーションについても学ぶ。</p> <p>Web サイトを構築する上でのデザイン手法や HTML (HyperText Markup Language) などについても触れる。</p>
履修上の留意点	<p>コンピュータグラフィックス初心者を対象とするので予備知識は必要としない。ただし、Windows の基本操作はマスターしていること (キーボード操作・ファイルの保存など)。また、授業開始前に総合情報センターにおいてコンピュータの利用申請を済ませておくこと。</p>
成績評価の方法	<p>授業中に作成した課題と出席状況で評価する。</p>
教科書	<p>使用しない。適宜資料を配付する。</p>
参考書等	<p>同上</p>
その他	<p>計算機室での実習・講義となるが、計算機の数に限りがあるので受講者を制限することもある。</p>

科目名	担当者名
コンピュータ基礎 (10) [コンピュータの実際]	さわぐち 澤口 隆

講義のねらい

本講義では、これまでコンピュータを用いた画像処理やCGでのデザイン・作図などの経験のない学生を対象に、CGの基礎知識とアプリケーションの操作方法を様々な課題を作成しながら学習することを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

コンピュータグラフィックスに関する基本知識の講義と、実際のアプリケーションを用いた作品製作の演習が中心となる。OSはWindowsを用い、アプリケーションはAdobe Photoshopを使用する予定。

その他、インターネットで活用できるような画像処理技術やアニメーションについても学ぶ。

Webサイトを構築する上でのデザイン手法やHTML (HyperText Markup Language) などについても触れる。

履修上の留意点

コンピュータグラフィックス初心者を対象とするので予備知識は必要としない。ただし、Windowsの基本操作はマスターしていること (キーボード操作・ファイルの保存など)。また、授業開始前に総合情報センターにおいてコンピュータの利用申請を済ませておくこと。

成績評価の方法

授業中に作成した課題と出席状況で評価する。

教科書

使用しない。適宜資料を配付する。

参考書等

同上。

その他

計算機室での実習・講義となるが、計算機の数に限りがあるので受講者を制限することもある。

科目名

担当者名

コンピュータ基礎 (11)
[コンピュータの実際]

もと き みつ お
元 木 光 雄

講義のねらい

コンピュータの原理とインターネットの原理や原則を学ぶ。特に、インターネットで実現されている様々なサービスを実習を通じて理解する。

講義の内容・
授業スケジュール

コンピュータの動作原理、特に OS の役割やファイルシステムについて学ぶ。また、多数のコンピュータがネットワークで相互に接続されたインターネットについて学ぶ。この上でどのようなサービスが利用できるのか、実際のサービスを利用しながら理解する。具体的には、インターネット上のサービスとして、電子メール、WWW などのサービスをとりあげ、実習の形で利用する。このようなサービスを通じて、何ができるか、何をやってもよいか、何をやってはいけないか、といった事柄も、技術的、倫理的、法的側面から学ぶ。

また、Web ページを記述する HTML の基本を通して、論理的構造を持った文書とは何かを学ぶ。

8 / 1 コンピュータの基本構造と Windows の基本操作

8 / 2, 3 インターネットの原理と実際の利用

8 / 4, 7 論理的構造を持った文書の HTML による記述

履修上の留意点

予備知識は仮定しないが、講義は必ず毎回出席し、出題された演習を必ず解いているものとする。総合情報センターのコンピュータの利用申請が必須となるので、必ず事前に総合情報センターで利用申請をして電子メールのアドレスを取得しておくこと。取得していない場合、単位取得に支障がある可能性がある。

成績評価の方法

評価は授業時間中に適宜行う演習やレポートによって行う予定である。

参考書等

参考書は必要に応じて紹介する予定である。

その他

実習のために、計算機室で講義を行う。コンピュータの数に限りがあるので、受講者数を制限することもある。

授業日程：8月1日～8月4日・8月7日の1～3限

予備日：8月8日の1～3限

科 目 名	担 当 者 名
コンピュータ基礎 (12) 〔コンピュータの実際〕	さかのい がす よ 坂野井 和 代

講義のねらい

主に実習を通して、コンピュータの基礎的な操作方法や動作原理、およびインターネットの原理や原則を学ぶ。その中でも電子メールや WWW といったサービスを、実習を通じて理解する。

講義の内容・
授業スケジュール

コンピュータの基礎的な操作方法や動作原理を学んだ後、多数のコンピュータがネットワークを通じて相互に接続されたインターネットについて学ぶ。その際、よくありがちなセキュリティ問題についても触れる。さらに、具体的に電子メールや WWW などのサービスをとりあげ、実習を通じて理解する。こうした実習を通して、コンピュータの操作方法に慣れると共に、コンピュータやインターネットの利用方法を技術的、倫理的、法的側面から学ぶ。

履修上の留意点

予備知識は必要としないが、実習で作業をしながら進むので、講義は必ず出席すること。夏季集中の授業なので、就職活動や教育実習などで、1回以上休むことが当初から予想される学生は履修申請しないこと。駒澤大学総合情報センターのコンピュータの利用申請が必須となる。総合情報センターが発行しているコンピュータの利用手引は携帯すること。

成績評価の方法

評価は2～3回程度の課題によって行う。

教 科 書

使用しない。適宜資料を配付する。

参 考 書 等

参考書は必要に応じて紹介する。

そ の 他

実習のために、計算機室で講義を行う。コンピュータの数に限りがあるので、受講者数を制限することもある。

授業日程：8月1日～8月4日・8月7日、1～3時限

予備日：8月8日の1～3時限

科目名	担当者名
コンピュータ基礎 (13) 〔コンピュータの実際〕	やまもとひろのぶ 山本博信

講義のねらい

コンピュータを道具として、書き方、描き方を実習を通じて技術として把握します。コンピュータは、文字や画像をデジタル化して処理します。コンピュータによる情報処理によって、表現がどのように把握されるかについて理解します。言語のレベルにありながら画像に属するものとしての技法についてパソコンを道具として身につけます。

講義の内容・授業スケジュール

パソコンなどの情報機器やいろいろなソフトウェアが、企業をはじめ一般社会でも急速に普及しています。日常生活でも、パソコンなどに接する機会が増えてきました。パソコンの高性能化やLANの普及によって、ユーザは自分たちで情報を収集して発信することができるようになりました。パソコンでどのようにして画像などを作成してWebページを作成するかについて理解します。すなわち、アプリケーションソフトの活用を、縦軸を現場(業務)ごとの特質とし、横軸をファイル形式などの基礎をみながら行います。表現能力はパソコンを活用する上でもとても大事なものです。ここでは特に描き方(ビジュアル表現)についてペイント系グラフィックソフトやドロー系グラフィックソフトなどを活用しながら理解します。

- (1) コンピュータによる情報処理について
- (2) 表計算ソフトの基礎、応用
 - ・計算の自動化・運用とセキュリティ・マクロの作成など
- (3) グラフィックデータの作成
- (4) 画像効果の作成
 - ・トリミング・切抜き・明るさや色の調整など
- (5) 最適化処理
- (6) HTMLファイルの作成
- (7) ブラウザによる確認

履修上の留意点

予備知識は仮定しないけれども、講義は必ず毎回出席し、出題された演習は必ず解いているものとします。駒澤大学の総合情報センターのコンピュータの利用申請が必須となります。

成績評価の方法

出席状況、授業期間中に適宜行う演習や最終日に実施する確認試験によって総合的に評価します。

教科書

未定(毎回、プリントを配布します。)

参考書等

参考書は必要に応じて紹介します。

その他

実習の閉める割合が高いために、計算機室で講義を行います。コンピュータの数に限りがあるので受講生数を制限することもあります。

授業日程：8月1日～8月4日・8月7日、4～6時限
予備日：8月8日の4～6時限

科目名	担当者名
コンピュータ基礎 (14) 〔コンピュータの実際〕	なが さか ひろ ふみ 長 坂 浩 史

講義のねらい

初心者を対象にして、コンピュータの概要の把握と一通りの基本的な操作能力の習得を目標とする。また、Web ページ作成の基本を学び、それによってインターネットを利用した情報収集・発信の実習をする。

講義の内容・授業スケジュール

総合情報センターのパソコン (OS は Windows) を使用し、実習を行う。ワープロソフトによる文章加工、Excel による表計算・データ処理、インターネット上のサービス利用 (電子メール、WWW) 等を通り体験したあと、これらを総合した簡単な資料の作成をしてもらう。この資料は Web ページの体裁で作成してもらうので、HTML の入門等、Web ページ作成のための基本も学ぶことになる。

履修上の留意点

初心者を対象としていることに注意。
予備知識は仮定しないが、短期集中講義なので毎回出席し、課題は必ず提出すること。
また授業開始前に情報センターの利用登録をしておくこと。(課題は基本的にファイルの形で提出してもらうが、各自バックアップ用の領域を持っていることが前提である。そうでなければ、初日・2日目はMO ディスクまたはフロッピーディスクを持参すること。)

成績評価の方法

課題に対する提出物によって判断する。
実習という授業の性質上、毎日の基本課題をクリアしていれば、概ね厳しい評定はつかないと思ってよい。
逆に、1日でも休むと全課題の提出は困難になるので、特別な事情がない限り毎回出席すること。

教科書

使用しない。教材・資料・編集素材は、ファイルの形で配布する。

参考書等

同上

その他

計算機室での実習・講義となるが、計算機の数に限りがあるので受講者数を制限することもある。
授業日程：8月1日～8月4日・8月7日、1～3時限
予備日：8月8日の1～3時限

科目名	担当者名
コンピュータ基礎 (15) (16) 〔コンピュータの実際〕	おがわ けんじろう 小川 健次郎

講義のねらい	インターネットの原理や原則を学ぶ。その上で実現されているさまざまなサービスを、実習を通じて理解する。
講義の内容・授業スケジュール	多数のコンピュータがネットワークを通じて相互に接続されたインターネットについて学ぶ。この上で具体的に電子メールや WWW などのサービスを取りあげ、実習を通じて理解する。こうしたサービスを通じて、何ができるか、何をやってもよいか、何をやってはいけないか、といった事柄を、技術的、倫理的、法的側面から学ぶ。
履修上の留意点	予備知識は必要としないが、講義は必ず毎回出席すること。夏季集中の授業なので、就職活動などで1度でも休むことが当初から予想される学生は、その時期の授業は履修申請しないこと。駒澤大学の総合情報センターのコンピュータの利用申請が必須となる。必ず事前に総合情報センターで利用申請をしておくこと。 なお、本講義はコンピュータ初心者対象である。
成績評価の方法	評価は授業時間中に行う演習やレポートによって行う。
教科書	必要に応じて適宜指定する予定である。
参考書等	必要に応じて紹介する予定である。
その他	実習のために、計算機室で講義を行う。コンピュータの数に限りがあるので、受講者数を制限することもある。 授業日程：(15) 8月1日～8月4日・8月7日、1～3時限 : (16) 8月1日～8月4日・8月7日、4～6時限 予備日：(15) 8月8日の1～3時限 : (16) 8月8日の4～6時限

科目名	担当者名
コンピュータ基礎 (17) 〔コンピュータの実際〕	つか もと たつ や 塚本 達也

講義のねらい	学内や自宅において各自がコンピュータを問題なく扱えるようになること。
講義の内容・授業スケジュール	メール、インターネット、エクセル、ワードの基礎的なことを学ぶ。
履修上の留意点	教室に備付のパソコンを使用するのでKOMAnetの「ユーザID」と「パスワード」が必要。各自履修前に取得のこと。
成績評価の方法	レポートにより行う。
その他	授業日程：8月1日～8月4日・8月7日、4～6時限 予備日：8月8日の4～6時限

科目名	担当者名
コンピュータ基礎 (18) 〔コンピュータの実際〕	お ざわ せい 小 沢 誠

講義のねらい

ホームページの作り方を説明します。文書の構造を記述する言語である HTML (Hypertext Markup Language)、その表示方法を指定する仕組みの CSS (Cascading Style Sheet)、作成した HTML・CSS ファイル等をウェブサーバーに送信する際の通信規約 FTP (File Transfer Protocol) を学びます。これらを学ぶ過程で、コンピュータの基本的な知識や操作方法等も習得できるようになります。最終的に、自分のホームページを公開することが目標です。

 講義の内容・
授業スケジュール

まず前半部分に HTML、後半部分に CSS の基礎を学びます。HTML では基本構造・テキスト・リスト・テーブル・リンクを、CSS ではフォント・テキスト・色と背景・ボックス・配置方法・リストを扱います。HTML が一通り終わった段階で、無料ホームページの登録をし、FTP のやり方を説明します。

履修上の留意点

パソコンにログインするには、KOMAnet の「ユーザ ID」と「パスワード」が必要です。ユーザ ID とパスワードの無い学生は教場のパソコンを利用できないので、講義が始まる前に取得しておいて下さい。

この講義では内容については触れないので、予めテーマを決めて、どのような内容にするか考えておいて下さい。

成績評価の方法

レポートで評価します。HTML・CSS・内容の3点で採点をします。

教科書

<http://www.komazawa-u.ac.jp/~w3c/lecture/computer.html> を教科書として使用します。

参考書等

『改訂第4版オールカラー HTML ポケットリファレンス』(株)シーズ著 定価1,659円

その他

<http://www.yahoo.co.jp/>、<http://www.google.co.jp/>等で自分の興味があるホームページを検索して、どのような情報が公開されているか見ておくことも重要です。

授業日程：8月1日～8月4日・8月7日、4～6時限

予備日：：8月8日の4～6時限

科 目 名	担 当 者 名
コンピュータ基礎 (19) (20) [コンピュータの実際]	さかのい かずよ 坂野井 和代
講義のねらい	主に実習を通して、コンピュータの基礎的な操作方法や動作原理、およびインターネットの原理や原則を学ぶ。その中でも電子メールや WWW といったサービスを、実習を通じて理解する。
講義の内容・ 授業スケジュール	コンピュータの基礎的な操作方法や動作原理を学んだ後、多数のコンピュータがネットワークを通じて相互に接続されたインターネットについて学ぶ。その際、よくありがちなセキュリティ問題についても触れる。さらに、具体的に電子メールや WWW などのサービスをとりあげ、実習を通じて理解する。こうした実習を通して、コンピュータの操作方法に慣れると共に、コンピュータやインターネットの利用方法を技術的、倫理的、法的側面から学ぶ。
履修上の留意点	予備知識は必要としないが、実習形式で逐次作業を行いながら進むので、講義は必ず毎回出席すること。半期の授業なので、就職活動や教育実習などで2回以上休むことが当初から予想される学生は、その時期の授業は履修申請しないこと。駒澤大学総合情報センターのコンピュータの利用申請が必須となる。総合情報センターが発行しているコンピュータの利用手引は携帯すること。
成績評価の方法	評価は授業時間中に出題する2～3回程度の課題によって行う。
教 科 書	使用しない。適宜資料を配付する。
参 考 書 等	参考書は必要に応じて紹介する。
そ の 他	実習のために、計算機室で講義を行う。コンピュータの数に限りがあるので、受講者数を制限することもある。

科 目 名	担 当 者 名
コンピュータ応用（１）（２） 〔コンピュータの原理〕	まかのい かずよ 坂野井 和 代

講義のねらい

主に実習を通して、コンピュータの動作原理とプログラミングを学ぶ。また、これらのプログラミングが実際のアプリケーション上でどのように利用されているかを知る。

講義の内容・
授業スケジュール

まず初めに、コンピュータの動作原理およびプログラミングについて簡単に学ぶ。その後、主に前期は Visual Basic という言語を使ってプログラミングの基礎を学ぶ。さらにいくつかの問題に対して、実際にプログラムを作成する。後期は、このようなプログラミングが実際のアプリケーション上でどのように利用されているかを実習により確かめる。

履修上の留意点

プログラミングに対する予備知識は必要としない。しかし必要最低限のコンピュータの操作（ウィンドウ操作、電子メール、WWW の利用など）はマスターしていること。これらの操作ができないと実習についてくることは難しい。またプログラミングの際に、数学や英語に関する知識が多少必要となる。実習形式で逐次作業を行いながら進むので、講義は必ず毎回出席すること。長期に休んだ場合の復活は難しいので、留学、就職活動や教育実習などで 3 回以上休むことが当初から予想される学生は、その年の授業は履修申請しないこと。

成績評価の方法

評価は授業時間中に出題する課題によって行う。

教 科 書

使用しない。適宜資料を配付する。

参 考 書 等

山本信雄著『Visual Basic Vol.1 はじめてのプログラミング』（翔泳社）1,900円
ISBN4-88135-718-2

そ の 他

実習のために、計算機室で講義を行う。コンピュータの数に限りがあるので、受講者数を制限することもある。

科 目 名	担 当 者 名
人類学（１）（２）〔人類の進化〕	しのだ けんいち 篠 田 謙 一

講義のねらい

人類学はひとことで言えば「人間の生物学」ということですが、その包含する分野は漠然としていて、簡単に捉えることは難しいものです。本講義では、現在「人類学」の名の下に行われている具体的な研究内容を紹介し、人類学とはどのような学問であるのかを理解することを目的とします。

講義の内容・
授業スケジュール

以下の内容をそれぞれ 1 回ないし 2 回で講義します。前期は基本的には人類の進化を、後期は日本人の起源を中心とした話になります。
「人類学の歴史と包括する分野」「霊長類学」「化石人類の発見史」「霊長類の進化と猿人」「原人から新人への進化」「現代人の起源」「分子人類学」「日本人の起源」「歴史時代における日本人の変化」「成長」「新大陸の人類学」

履修上の留意点

出席を重視しますので、講義に参加できることを前提に履修してください。

成績評価の方法

毎回、課題もしくは小試験を行い、その成績を総合して評価します。

教 科 書

中橋孝博著『日本人の起源』（講談社メチエ）ISBN 4-06-258318-6

参 考 書 等

特に指定しませんが講義の中で紹介します。

そ の 他

本講義では、単に講師の話聞くだけでなく、皆さんに考えて頂くような講義をしたいと思っていますので、主体的に参加していただくことを望みます。

科目名	担当者名
心理学〔人間関係を考える〕	加藤 博己

講義のねらい

この講義では、人間関係に重点を置きつつ、哲学から独立し120有余年の歴史を有する心理学の基礎分野、並びに、歴史と研究法を概観し、基礎知識を習得することを目指す。

講義の内容・授業スケジュール

前期：オリエンテーション（講義の目標、形式、内容、評価方法、注意事項の確認等）、記憶、学習・思考、パーソナリティ、動機づけ、情動。
後期：発達、感覚・知覚・認知、社会、臨床、心理学論（心理学の語源、定義、歴史、心理学の分野、心理学の研究法、定期試験。

履修上の留意点

履修希望者は、初回授業のオリエンテーションに必ず出席し、講義の目標、形式、内容、評価方法等をよく理解した上で受講すること。初回のオリエンテーションを欠席した場合は履修を認めない。

成績評価の方法

定期試験期間内に、筆記試験を行う予定である。また、前期試験を行う可能性がある。詳細は、初回のオリエンテーションで述べる。

教科書

鹿取廣人・杉本敏夫『心理学 第2版』（東京大学出版会）2,520円（2,400円＋税）ISBN4-13-012041-7

参考書等

教科書や配付資料の引用文献を参照のこと。その他、必要に応じて紹介する。

その他

主に板書を用い、必要に応じて教科書、資料、書画カメラ、ビデオなどを用いるとともに、数回の簡単な心理検査や実験を実施する予定である。本授業は講義形式であるが、一方通行の講義とならないよう、前回の授業内容の理解度を確認するためのワークや授業内容についての意見が毎回求められ、心理検査や実験への積極的な参加が望まれる。従って、単に授業に出席しているだけでは、単位取得は困難となるかも知れない。

科目名	担当者名
心理学〔人間関係を考える〕	鈴木 順一

講義のねらい

講義形式だけの授業形態は、学習者を受け身のバケツの学び方にしてしまう。学問とは、問い学ぶと書くように、講師が一方的に降り注ぐ知識を、頭に詰め込むことに強いて勉める（勉強すること）ではない。科学は、不思議な現象に対して、疑問を持ち、仮説を立て、仮説の基にサーチライトをあて、検証（反証）し、新たな仮説構成や発見をしていくプロセスである。

学習というと、教科書に書かれた知識を理解していくことだと考えられがちだが、行動主義的学習理論によると、「学習とは、経験を通じて行動変容していくプロセスである」と定義している。言語という道具を操る能力を持った人間は、概念学習ができるようになり、遺伝子の他に「遺言子」とでも呼べる知識を残し、それを世代間で、伝達・組み換え・改良していくことで文明を築き、他の生物とは異なる進化の道を歩み出すようになった。

しかし、経験から学ぶプロセスと、遊離してしまった知識だけの学習は、生きるための知恵として効果的に機能できない。頭だけが参加する聴講学習は、体験学習に伴う自発性や能動性、発見から得られるモチベーションが得られない。この授業では、講義だけではなく、グループによる体験学習を取り入れて、学生相互のコミュニケーションを深め、自己理解と他者理解を促進します。心理学の人間理解の仮説の基に、自分自身や他者を見つめなおし、よりよい人間関係を築くために役立つ道具（理論と技法）を体験的に学んでいきます。

講義の内容・授業スケジュール

学習計画は、進行状況により変更することがあります。

- 〔前期〕（1）学習とは？ 授業方針 （2）心とは何か （3）性格検査による自己理解
（4）パーソナリティ理論 （5）精神分析的人格理論 （6）グループ形成とエンカウンター（7）コミュニケーションの促進 （8）対人関係の真理 （9～10）カウンセリングの理論と技法 （11）生涯発達の心理 （12）親子関係の心理
〔後期〕（13）青年の心理 （14）交流分析による自己理解 （15）自他肯定の人間関係
（16～17）学習理論と行動療法 （18）relaxation法 （19）職場の人間関係 （20）恋愛と結婚の心理 （21）流行とマス・コミュニケーション （22）社会病理と犯罪

履修上の留意点	単独・聴講学習ではなく、グループによる協力学習・相互学習・体験学習ですので、毎回、グループごとに自筆で出席をとります。欠席しがちな人は履修しないでください。
成績評価の方法	出席点と平常の小試験、小レポート、グループ発表などで、個人とグループを、それぞれ50点満点で評価し合計します。
教科書	蓮見将敏・小山望編著『人間関係の心理学—体験をとおして学ぶ心理学—』（福村出版）

科目名	担当者名
心理学〔心を科学する〕	ふか ぼり とも なり 深 堀 友 覚

講義のねらい	身体的な異質性も然ることながら、人間には固有の性格、価値観、知能、行動パターンといった精神的(心理的)な異質性が認められる。それらを包括し、人間は個性を獲得する。しかし、人間とは決して一人では生きていけない。これはこの世に生を授かり生を全うするまで続くのである。人生とは、いわば異なる個性との共存である。個性が異なれば、そこから衝突や誤解が生じ、人間関係に支障を及ぼすこともしばしばである。 本講義では個と、個の集合体である「社会」を心理学的側面から理解していくことを目的とする。本講義を通じ、少しでも心理学の世界に興味を持って頂ければ幸いである。
講義の内容・授業スケジュール	パーソナリティ、学習心理学、集団・社会心理学、臨床心理学、生涯発達心理学等を講義する予定である。
履修上の留意点	短期間で集中的に行われる講義なので、主体的に講義に参加できる姿勢が望まれる。受動的にしか参加できない学生には、本講義の性質は不向きであろう。
成績評価の方法	講義最終日に行われる筆記試験と、出席率による総合評価。
教科書	特に指定しない。
参考書等	重野純『キーワードコレクション 心理学』（新曜社）1994年 中村昭二『心理学概説』（八千代出版）1982年
その他	授業日程：8月1日～8月8日（土・日除く）1～5時限

科目名

担当者名

総合 I (1) [仏教と自然]

よつや こう どう
四津谷 孝 道

教養教育

講義のねらい

「エコロジー」というものが、大きな社会的な且つ学問的な課題になって久しいが、仏教学の分野においても「エコロジー」との関連ですでに多くの研究が蓄積されつつある。本講座では、それらの研究を参照しながら、具体的テーマに焦点を絞りながら、「仏教と自然」に関する検討を進めてゆきたい。

講義の内容・授業スケジュール

今年度は、「肉食と菜食主義」というテーマを、仏教を中心としたインド思想全体の中で検討する。授業は、以下のようなテーマの下で進めていく。

- インドの宗教（バラモン教）の基本的な理解
- インドの宗教（仏教・ジャイナ教）の基本的な理解
- 肉食と菜食主義（概観）
- ヴェーダ時代の肉食思想と菜食主義
- 祭式にみる肉食思想と菜食主義
- バラモン教にみる肉食思想と菜食主義
- 輪廻・解脱と肉食・菜食主義（1）
- 輪廻・解脱と肉食・菜食主義（2）
- インドの法典に示された肉食と菜食主義
- パーリ仏教聖典に示された肉食と菜食主義
- 三種浄肉（1）
- 三種浄肉（2）
- 仏教の戒律にみる肉食と菜食主義（1）
- 仏教の戒律にみる肉食と菜食主義（2）
- 植物は生き物か（1）
- 植物は生き物か（2）
- 大乘仏教における非肉食思想（1）
- 大乘経典における非肉食思想（2）
- 如来蔵・仏性思想と非肉食思想
- 慈悲と菜食主義
- 宮沢賢治（1）
- 宮沢賢治（2）
- 聖なる牛と不浄なる豚
- ディーブ・エコロジー（1）
- ディーブ・エコロジー（2）

履修上の留意点

特になし。

成績評価の方法

学年末の試験。

教科書

授業において適宜に配付する。

参考書等

必要と思われるものは、授業において適宜に指示をする。

科目名	担当者名
総合 I (2) [仏教と社会]	<small>くまもと えいじん</small> 熊本英人

講義のねらい

日本の社会の諸問題を、仏教とのかかわりから考える。

講義の内容・授業スケジュール

社会とは、人間の言語、慣習、規範、制度などによって規定された世界であり、人間は、その社会のあり方を思索し、理想的な社会の実現に努力している。

仏教は、社会とどのようにかかわり、影響を与え、あるいは運動を起こしてきたか。生死、人権、女性、家族、平和といったキーワードから、仏教の立場、仏教の功罪、仏教への期待などをみていくことで、現代社会への問題提起を行いたい。

成績評価の方法

適宜レポートを課す。年度末の筆記試験と合わせて評価する。

教科書

適宜プリントで配布する。

参考書等

講義の中で随時紹介する。

科目名	担当者名
総合 I (3) [仏教と芸術]	<small>むらまつ てつみ</small> 村松哲文

講義のねらい

本講義では、仏教美術の誕生から伝播について、インド・西域・中国・朝鮮半島の仏像・仏画をスライドを写して概観する。同じモチーフが時代や地域によって変化してゆく過程を、歴史的な背景と照らし合わせながら考察してゆく。講義を通して、信仰が生み出した深遠なる美の表現を眼と心で会得してもらいたい。

講義の内容・授業スケジュール

〔前期〕

- 仏教美術の世界 (1～2)
- インドの仏教美術 (3～5)
- 西域の仏教美術 (6～8)
- 初期の敦煌石窟 (9～11)
- 後期の敦煌石窟 (12～15)

〔後期〕

- 炳靈寺石窟 (16～17)
- 麦積山石窟 (18～20)
- 雲岡石窟 (21～23)
- 龍門石窟 (24～27)
- 朝鮮三国の仏教美術 (28～30)

以上は予定で、講義の合間に特定の意匠（仏像の胸飾・宝冠・袈裟など）についても考察する。

履修上の留意点

博物館・美術館で開催される仏教美術関係の展覧会には、積極的に足を運ぶこと。

成績評価の方法

出席率・レポート・授業態度・定期試験などを総合的に評価する。

教科書

プリントを配布する。

参考書等

講義中に適宜参考書を紹介する。

科目名

担当者名

総合Ⅲ（１）〔人権と社会問題〕

ピアス, D. M.

講義のねらい

This being the most advanced English course available, its first intention is to prepare for studying abroad. Students will get a partial experience of what it is like to take a university-level course in a foreign country, and thereby have more success from studying abroad. Students will not study English; they will study something *in* English. Lectures, compositions, and conversation practice will concentrate on international social problems such as human rights, war, feminism, poverty, suicide, sex, racism, euthanasia, abortion, ecology, etc. Alternatively, programs in the history of economic and political thought, and in American sociology, may be used as lecture material.

Elementary level English conversation will not be taught, but there will be intensive practice every period in spoken English on, quotidian, opinion exchange, and intellectual levels. Emphasis is placed on learning to converse *intelligently*, that is, to communicate thought in spoken language. Time will be devoted to English composition and to listening comprehension practice.

The format of the course is not based fundamentally upon the lecture series; during most of the class time students will be actively producing, in writing and speaking.

講義の内容・
授業スケジュール

Attendance and active participation are most important: only practice improves English. Please attend all of the classes. The student may miss six classes in the year and still pass; if the student misses five classes, the final grade will be one letter-grade less than what the student would otherwise have received.

履修上の留意点

Apart from the two final-semester examinations, there will be frequent small exams. Such exams are not intended to apply pressure; all examination is an excellent method of learning. An exam questions will be questions that we have done together in class, which are printed in the textbook.

成績評価の方法

Your final grade is the quality of the employment that you can find after university graduation. Never forget that English ability is extremely important when you are looking for a job; you will get better employment if you improve your English this year. This is an extremely important point; you are taking a high-quality English course to get better employment in the future, not just to get a university grade!

Take this course only if you are fully willing to practice English conversation, in a loud voice, with others. If you don't want to speak out loud, take some other course. In this class you will be speaking English all the time. Your final grade depends 70% on your class performance, in every class. I will keep a record of your participation in every single class meeting. This is a course for intellectual English conversation; one can improve speaking ability, similarly to playing piano, only by constant practice. This is true no matter how advanced the student may be. Therefore, attendance is extremely important, and the examinations have minor effect on the final grade. Finally! Everyone in the class is equally able to get an "A", in the class, because the final grade does not depend on the final examination. Even if a student cannot speak English at all, he/she has as much a chance as the other students to get an "A" because his final grade depends on his effort and his improvement in comparison to his initial ability.

教科書

We will probably use *Rights*, Themis Research Group as our textbook. In the first class meeting we will have a diagnostic test to determine the appropriate level of the class; do not buy the text until after the first class. Also recommended is an English-Japanese dictionary or an electronic dictionary. There will be some effort to absorb the vocabulary of written English that you probably do not know.

科 目 名	担 当 者 名
総合Ⅲ（２）〔欧米の教育と日本の教育〕	おかざきとしちろう 岡崎 寿一郎

講義のねらい

日本の大学は、1949年の改革で、アメリカの一般教育の理念を採用し、人文・社会・自然科学・体育・外国語のコースを専門課程の前に課してきました。それが、新カリキュラムによって改変されました。しかし、アメリカの大学がいかなる変革を経て今日にいたったのか。また、その現状がどのようなものであるのかは、知られていないとおもわれます。大学数は、現在、アメリカでは、約3,000校、日本は、約1,000校（短大・四年制大学）です。ヨーロッパでは、まだ、日本の戦前における数（旧大学令・47校）とほぼ同数です。進学率も10%前後です。また、大学入試制度については、例えば、「各大学単位で独自の入学試験が行われている国は、OECD加盟国の中では日本とユーゴスラヴィアの二国だけであり、また選抜試験のみで大学生を入学させているのは、日本以外はポルトガルとトルコの二国のみである」（西尾幹二『ヨーロッパ像の転換』）とあります。欧米では、大学入学資格認定制度が採用されています。（例、イギリスの「A」レベル、ドイツのアビトゥア、フランスのバカロレア、アメリカのSAT等）講義では、文化相対論（異なる文化の風俗・習慣についての批判・評価と同時に、その風土・歴史的背景を十分に考慮する）の観点から、自国の教育（制度）を絶対視する価値観の単一化を避けつつ、国際化の時代に即応したグローバルな教育観の展望について論究します。

成績評価の方法

講義では、とくに教科書は指定せず、毎回、講義内容に則したプリントを配布します。成績評価については、平常評価としての出席（50%）、前期試験に代わる夏季レポート（25%）、後期試験（25%）による総合評価とします。

参考書等

参考書・文献については適宜言及します。

科 目 名	担 当 者 名
総合Ⅲ（３）〔ドイツの森林〕	のじまとしあき 野島 利彰

講義のねらい

私たちはドイツ語の Wald（ヴァルト）を「森」と訳している。樹木が多数ある場所としてはその訳で間違っていない。しかしそれらの語からイメージされるものはまったく異なっている。自然の違いが樹種の違いを生み、樹種の違いがその利用の違い、さらに生活の違いを生む。この講義ではドイツの森でどのように利用され、そこでどのような生活が行なわれているかを話します。

講義の内容・授業スケジュール

前期はドイツの森林とその樹種およびその利用について講義し、後期は森林を舞台に行なわれる狩猟について講義します。

履修上の留意点

講義でいろいろな樹木の名が出ます。日本の樹木あるいは動植物の名を知っていることが授業の理解に役立つでしょう。通学路や公園で図鑑を手にして名を調べましょう。また新聞や雑誌で植物や動物関係の記事、あるいは環境問題の記事があつたら必ず目を通し、切り抜き、ファイルを作って下さい。普段から動植物や環境問題に興味を持つことが大切です。

成績評価の方法

樹木の葉とそのスケッチの提出および日本の森林利用や環境問題に関するレポートで成績を評価します。

教科書

授業で内容に応じてプリントを配布します。

参考書等

講義に直接関係する参考書は
K・ハーゼル著、山縣光晶訳「森が語るドイツの歴史」築地書館4,223円

その他

森林理解の第一歩として日本の植物図鑑があります。現在、多種多様な図鑑が出版されています。手に取り気に入ったものを是非一冊購入して下さい。

科目名	担当者名
総合Ⅳ（１）〔現代アメリカ事情〕	林 明人 <small>はやし あきと</small>

講義の内容・授業スケジュール	現代のアメリカが抱えているさまざまな問題を、具体的なキーワード（abortion, affirmative action, euthanasia, Brady Bill 等）を説明しながら紹介します。なぜその問題が起こったのか、そしてそれがどのように発展し、現在どうなっているのかを見てゆきます。知っているようで知らないアメリカの諸相が見えてきます。
成績評価の方法	前・後期のレポート、出席の総合評価。
教科書	プリントを配布します。

科目名	担当者名
総合Ⅳ（２）〔シアトル市のNPOとまちづくり〕	西村 祐子 <small>にし むら ゆうこ</small>

講義のねらい	アメリカのNPO, NGO（非営利組織）は日本に比べ、非常にアクティブであるといわれる。前期はまちづくり（コミュニティビルディング）において市民と自治体の協働が盛んなワシントン州、シアトル市の自治体とNPOのいくつかをとりあげてみる。前期のシアトルに続き、後期はアメリカと日本の比較に移る。主に日本におけるまちづくりとNPOのあり方を比較し、日米のまちづくり政策や移民政策などと深くかかわるNPOの役割を考えてみる。
講義の内容・授業スケジュール	授業は通年で以下のようなテーマを中心におこなわれる。 前期：アメリカの非営利組織と日本の非営利組織との違い コミュニティ・ビルディングとNPO シアトルのまちづくり シアトル・アジア系住民のまちづくりとNPO アメリカにおける移民とNPO 自治体とNPOの協働について：日本との比較 神戸市の事例 後期：日本のまちづくりとシアトルのまちづくりの比較 日本のまちづくり政策とNPO 世田谷区のまちづくりとNPO まちづくり協議会とNPO 兵庫県・神戸市と神奈川県・横浜市におけるまちづくりとNPO 日本における移民政策とNPO 神奈川県下のNPO, MIC かながわとすまいサポートセンターの事例研究
履修上の留意点	インターネットによる資料調査をおこなう。またビデオなども使用。受講人数制限あり。学内で使用するコンピュータ用IDを必ず取得しておくこと。
成績評価の方法	平常点（出席率、レポート内容）重視。
教科書	『草の根NPOのまちづくり：シアトルからの挑戦』勁草（けいそう）書房
参考書等	教場で指定（インターネットサイトなど）。
その他	ゲストレクチャーとして後期に世田谷区まちづくりセンター所長、およびMICかながわ所属医療通訳者を2回程度予定している。この授業と2002年制作ビデオをもとにe-learningの教材制作を予定している。

講義のねらい

本講義の狙いは、近代化の合理性批判とその主体性の確立を目指すことにあります。「大きな物語」が終息して、ポストモダンの世界は、建築、視覚芸術、映画、文学、文学理論、精神分析、歴史、哲学、宗教、経済、政治などのさまざまな分野で、さまざまな意味を込めて解釈されています。欧米では依然としてポストモダンを問題としており、そのような学際的な知の最前線として、固有なものに出会うために批判の方法によって権力の座（特権化された場所）を移動・転倒させつつ、歴史的過渡期の思想的表現としての近現代史を思想化（帝国主義と植民地化に対する批判）することもあります。いわば、この講義の狙いは、自ら置かれている時代状況とその意識を捉えて「自分探し」をすること、他者（他者の他者）をどう捉え、どう身体的に受けとめて、日常生における主体性をどう確立するかということに尽きます。

講義の内容・授業スケジュール

講義に際して、時事的な問題を取り上げ、また事前にテキストを指示します。また、クラス外では文庫本・新書版を読む課題もあります。講義の骨子は以下の通りです。講義と課題が有機的にリンクするように指示していきます。

- 1) 総合Ⅳ（人文・社会・自然）の性格と意義
- 2) 現代という時代の捉え方；「今ここ」における自己言及のパラドックス
- 3) 「モダン」と「ポストモダン」の定義
- 4) ルネッサンス以後の人間観、宇宙観、社会観の変化
- 5) ソシユールの言語観（言語の恣意性、ラングとパロール）と、テキストの遍在性とディスコースの効用
- 6) モダンとポストモダンにおけるヴィジュアル系の差異；建築の変遷、広告及び世界万博の変遷、エロスの変遷、ファッション・モードの変遷など
- 7) 西洋における理性批判の整理
 - ・モダン：ソクラテス、デカルト、ヘーゲルとマルクス
 - ・ポストモダンの批判的源泉としてのニーチェの思想、ハイデガー、フランクフルト学派、
- 8) マックス・ヴェーバーの合理性と非合理性理の問題（ポストモダンに向けて）
- 9) ミッシェル・フーコーによるモダン批判：外部の力と内部の力
- 10) アメリカン・イデオロギーとグローバリズムに対する批判
- 11) レビュー：ポストモダンを乗り越えるための主体性の問題

成績評価の方法

平常クラスでの発表（出席率と質疑応答）、前期と後期のリーディング・テスト課題、学年末に提出するターム・ペーパー

教科書

- ・プリント使用：読書課題のリスト配布（レポート作成方法、提出日、提出場所も指示）
- ・多くのプリントを配布しますので、そのファイル用具を用意すること

科目名	担当者名
総合Ⅴ（１）〔イギリスの歴史と文化〕	いしはら こうさい 石原孝哉

講義のねらい	今日のイギリスに残された歴史的、文化的な遺産を教材に、その歴史と文化の特徴を様々な方面から考察する。
講義の内容・授業スケジュール	イギリスの歴史は、異民族との相克と調和によって織り成されている。例えば、ローマ、アングロサクソン、デーン、ノルマンといった異民族は、単に一時代を政治的に支配したばかりでなく、言語、習慣、伝統といった様々な文化的な遺産をもたらした。歴史の国イギリスには、このような文化的な遺産が実に豊富に残されている。 本講義では、こうした文化的な遺産を補助教材として、そこからイギリスの実像に迫ってみたい。スライドや映像などを活用するほか、インターネット上のホームページも参照する。
履修上の留意点	イギリスの歴史や文化に関心がある意欲的な学生の受講を望む。インターネットの活用や、メールによるレポート提出なども予定しているため、それに対応できる学生が望ましい。
成績評価の方法	主としてレポートによって評価するが、出席率、発表などの平常点を重視する。
教科書	プリント配布
参考書等	そのつど教場にて指示する。

科目名	担当者名
総合Ⅵ（１）〔民族とは何か〕	おおの ゆうじ 大野祐二

講義のねらい	この講義は、文化人類学的な視点から「民族」にまつわる様々な現象を、我々の日常生活において理解することを、主たるねらいとしています。世界各地で噴出する民族問題の百科事典的な紹介ではなく、問題を理解する際に必要なアプローチなり、方法や認識について考察することを通して、我々の日常との関連について、つまり「あちら／他者」の問題としてではなく、「あちらとこちら／自己と他者」との関係のあり方から検討することを目指します。
講義の内容・授業スケジュール	具体的なスケジュールについては最初の講義の際に伝えますが、前期においては文化人類学的方法論(文化の概念、異文化の記述・異文化へのまなざし、文化相対主義、他者表象など)についてが中心になります。 後期は、ビデオ教材も使いながら、日本・朝鮮半島・北米などにおける事例を検討しながら、「民族」現象について国家・ナショナリズム・植民地主義・歴史・伝統文化などの関連から考察を進める予定です。
履修上の留意点	講義形式ですすめますが、一方的にならないため質問時間も可能な限りとりまします。大幅に遅刻する人はご遠慮ください。
成績評価の方法	前後期の定期試験（またはレポート）、および小テストで評価します。
教科書	詳細については授業中にプリントで伝える予定です。
参考書等	原尻英樹著『コリアンタウンの民族誌』（筑摩書房） 吉野耕作著『文化ナショナリズムの社会学』（名古屋大学出版会） 李孝徳著『表象空間の近代』（新曜社）

科目名	担当者名
総合Ⅵ(2)〔イスラム〕	あおやき 青柳 かおる

講義のねらい

現代の国際社会における平和的共存、異文化理解、宗教間対話といった諸問題を考える上で、13億人以上の信徒を持ち、世界中に広がっているイスラムに関する正しく客観的な理解は必要不可欠です。この講義では、イスラムの宗教的側面、思想について理解を深めることを目標とします。イスラムと関わりの深い中東の歴史、政治、思想について基本的知識を持つことも目標です。

講義の内容・授業スケジュール

以下の内容の予定ですが、若干変更する場合があります。

前期

イスラムに関する文献紹介
 イスラム以前のジャーヒリーヤ時代
 預言者ムハンマドの生涯
 イスラムの教義（六信五行とイスラム神学）
 コーランとアラビア語
 メッカ大巡礼
 イスラム法
 イスラム世界のギリシア文明（イスラム哲学）

後期

スーフィズム（イスラム神秘主義）
 シーア派とイランの歴史
 イスラムにおける婚姻、女性、セクシュアリティ
 中東の民族と宗教
 聖地エルサレム
 パレスチナ問題
 イスラム原理主義運動

履修上の留意点

私語厳禁です。

成績評価の方法

期末試験（またはレポート）、出欠を兼ねた講義中の提出物、ビデオの感想文などにより、総合的に評価します。試験（またはレポート）ではイスラムに関して興味のあるテーマを自分で決め、参考文献を読み、調べて明らかになったことに対して、自分の見解を書いていただく予定です。

教科書

使用しません。

参考書等

中村廣治郎『イスラム教入門』（岩波書店 岩波新書538）1998年
 中村廣治郎『イスラムと近代』（岩波書店 叢書現代の宗教13）1997年
 青柳かおる『イスラムの世界観：ガザリーとラーズイー』（明石書店）2005年など。
 詳しくは、第一回日の講義で文献リストを配布します。

その他

講義形式ですが、なるべく皆さんとの対話に努めたいと思っています。教材はプリントを配布します。数回ビデオを上映します。

科目名	担当者名
総合Ⅵ(3)〔フェミニズム・ジェンダー〕	はやかわのりよ代 早川紀代

講義のねらい	この世のなかには、男性と女性、女性と男性の両性から成りたっています。この両性の関係は私たちの社会の中で、どんな風に構成されているだろうか。男も女も人間らしくいきいきとすることができる両性関係はどんな関係だろうか。私たちが理想とする両性関係をどんな風にしてつくっていったらよいか、皆さんとともに考えます。
講義の内容・授業スケジュール	<p>前期</p> <p>a. ジェンダーってなに？ フェミニズムやジェンダーという考え方が生まれた歴史背景と私たちがもっている女らしさ、男らしさの内容を考えます。</p> <p>b. 労働とジェンダー 企業の雇用戦略が大変貌をとげている現在、男女の企業における配置はどのようになっていくか、その原因はなにか、雇用機会均等法は機能しているか、家族と労働生活は両立できるのか、など、私たちが直面している問題を考えます。</p> <p>後期</p> <p>c. 家族とジェンダー 皆さんの来歴をたどりながら、現在の家族の変貌、そこからでてくる問題をとりあげ、未来の家族像を考えます。恋愛や結婚、夫妻、親子の歴史を簡単に古代からふりかえりながら、私たちの将来像を考えます。</p> <p>d. セクシュアリティとジェンダー 今日程、性のありかたが多様になって、変化している時代はないでしょう。性同一障害やホモセクシャルな関係、性暴力の問題など、人間の性のありかたを考えます。</p>
履修上の留意点	毎回ではありませんが、感想や意見を書いてもらいます。それが出席評価になりますから、就職活動や病気などを除いて欠席しないこと。
成績評価の方法	出席回数、夏休みレポート、後期期末試験（論述）によって成績評価する。講義の内容がいかされているかが評価の基準になる。
教科書	教科書は使用しない。
参考書等	資料を随時配布する。
その他	授業は講義、討論、映画鑑賞をふくむ。

科目名

担当者名

総合Ⅶ(1)〔トラブルと法的解決〕

たかはし ひろき かわぐち ゆきみ
 高橋 洋城・川口 幸美
 たけなか ちか はらだ けいいちろう
 竹中 智香・原田啓一郎
 ひかさ かんじ まつむら いさる
 日笠 完治・松村 格

教養教育

講義のねらい

日常生活は、常に順調と言うわけにはいかない。社会生活につきまとうトラブルを法的に解決することを考える。
 法的トラブルにはどのようなパターンがあるか。それをどう解決すればよいのか、あるいは、トラブルを未然に防ぐにはどうすればよいのか。これらの点について、市民として知っておくべき基礎的知識を、各法領域の教員が交替で講義する。

講義の内容・授業スケジュール

第1回目の講義で、履修上の注意点と各法領域での講義内容の概要を説明する。受講希望者は必ず、出席すること。
 担当教員の順番や講義内容は、KOMSY内の「詳細情報画面」を参照すること。各領域3回から4回を予定している。ここでは、各担当教員のテーマを上げるに止める。

- 1 高橋 洋城 トラブルが法の問題になるとき
- 2 松村 格 刑事事件と法定手続
- 3 竹中 智香 変化する市民生活と民法
- 4 川口 幸美 現代社会と商法
- 5 日笠 完治 トラブルを憲法的観点から考える
- 6 原田啓一郎 大学生生活と社会保障の法的トラブル

履修上の留意点

各担当教員の実質講義回数が少ないため、講義には必ず出席すること。
 私語は慎むこと。携帯電話のスイッチはOFFにすること。

成績評価の方法

各担当教員がそれぞれの担当枠の最後に実施する試験の成績を総合して評価する。講義に出席することはもとより、各担当教員の実施する試験は必ず受け、レポートが出されれば必ず、その担当期間内に提出すること。
 追試験は、講義の形態上、行わない。

教科書

特に指定しない。

参考書等

各担当教員が講義に際し、必要に応じて、その都度開示する。
 六法は毎回忘れずに、持参すること。

科 目 名	担 当 者 名
総合Ⅶ(2)〔都市論〕	<small>うちうみ</small> 内海 麻利・ <small>うえの</small> 上野 淳子 <small>うらた</small> 浦田 早苗・ <small>さかい</small> 坂井 文 <small>はやかわ</small> 早川 純貴

講義のねらい

大都市は多様な問題が集積する場である。過密化と空洞化、犯罪、失業、ゴミ問題、再開発、国際化など。しかしこれらは、独自のダイナミズムを持ち、拡大と変容を繰り返すと都市社会が示す多様な表象にはかならない。都市の現状を政治学あるいは社会や建築及び都市計画学の観点から概観し、その将来を考える。

講義の内容・授業スケジュール

5名の講師により、各々6回又は4回の講義を担当する。その順序、時期と講義内容については以下の通り。

内海麻利『都市論』ガイダンス（1回：4月）

坂井 文「都市を公共空間から読む」（6回：4月・5月）

都市の形成とともに、広場や公園などの近代公共空間は形成されてきた。公園の誕生にもなって、伝統的な都市空間の社会的な意味はどう変化してきたのだろうか。ロンドンと江戸・東京の都市の歴史を振り返り、また現在の政策を考察しながら、都市における公共空間のあり方を考える。

上野淳子「都市再開発の論理と仕組み」（6回：6月・7月）

本講義では、汐留や六本木など都内各地で進行する「都市再生」プロジェクトを題材に、都市再開発を支える論理と仕組みを（1）欲望や競争をあおる言説、（2）グローバル化、産業構造の転換という社会的背景、（3）官民協働、都市経営の思想など行政の変化という3点から考える。

内海麻利「都市計画制度とその動向」（4回：9月・10月）

都市の物的な計画、実現手段である都市計画制度は、土地利用や道路・公園等の都市施設整備、市街地開発など、都市を形成するための様々なルールや仕組みを提供してきた。本講義では、社会情勢を踏まえ着目すべき都市計画制度を概観するとともに、その動向に見られるまちづくりのあり方を考える。

早川純貴「まちづくりと住民参加」（4回：10月・11月）

いわゆる迷惑施設や道路建設をめぐる住民と行政の対立、地域による防災への取組み、老人・障害者支援など身近にあるまちづくり、そして古い家並みや建造物の保存運動などを通じ、住みやすく愛着のある「まちのかたち」を住民参加の観点で考える。

浦田早苗「イギリスの都市はおいしい」（4回：11月・12月）

イギリス一般市民の都市生活を、食事、娯楽、居住などの面から観察し、日英の都市文化の比較を試みる。

履修上の留意点

日本や海外の都市問題に強い関心を持つ学生の受講を歓迎する。

成績評価の方法

成績は各講師がレポートないし小テスト等により判断し、それらを内海が総合して評価する。

3. 外国語科目

外
国
語

3. 外国語科目

[英語]

科目名	配当学科	開講区分	単位	担当者名	ページ
英語ⅠA	法A1年	通年	2	尾形重政	109
英語ⅠA	法A1年	通年	2	岩原康夫	109
英語ⅠA	法A1年	通年	2	熊沢和明	110
英語ⅠA	法A1年	通年	2	飯沼好永	110
英語ⅠA	法A1年	通年	2	依田里花	111
英語ⅠA	法A1年	通年	2	山岸二郎	111
英語ⅠA	法A1年	通年	2	大淵利春	112
英語ⅠA	政治1年	通年	2	西原克政	112
英語ⅠA	政治1年	通年	2	萩原輝	112
英語ⅠA	政治1年	通年	2	山岸二郎	113
英語ⅠA	政治1年	通年	2	大淵利春	113
英語ⅠA	政治1年	通年	2	尾形重政	113
英語ⅠA〔基礎英語特別クラス〕	法A・政治1年	通年	2	牧野輝良	114
英語ⅠB	法A1年	通年	2	木元喜久子	115
英語ⅠB	法A1年	通年	2	木元喜久子	115
英語ⅠB	法A1年	通年	2	藤井道行	116
英語ⅠB	法A1年	通年	2	海琳泰子	116
英語ⅠB	法A1年	通年	2	亀田三重子	116
英語ⅠB	法A1年	通年	2	藤井道行	117
英語ⅠB	政治1年	通年	2	木元喜久子	117
英語ⅠB	政治1年	通年	2	藤井道行	117
英語ⅠB	政治1年	通年	2	海琳泰子	118
英語ⅠB	政治1年	通年	2	濱口真木	118
英語ⅠB	政治1年	通年	2	亀田三重子	118
英語ⅠB〔基礎英語特別クラス〕	法A・政治1年	通年	2	濱口真木	119
英語ⅡA	法A2年	通年	2	照山雄彦	120
英語ⅡA	法A2年	通年	2	平林卓郎	120
英語ⅡA	法A2年	通年	2	市川仁	121
英語ⅡA	法A2年	通年	2	塚本利男	121
英語ⅡA	法A2年	通年	2	田中靖子	121
英語ⅡA	法A2年	通年	2	尾上典子	122
英語ⅡA	法A2年	通年	2	堀千和子	122
英語ⅡA	政治2年	通年	2	風間則比古	122
英語ⅡA	政治2年	通年	2	木村正俊	123
英語ⅡA	政治2年	通年	2	朝川真紀	123
英語ⅡA	政治2年	通年	2	岩永祥恵	124
英語ⅡA	政治2年	通年	2	永野光一	124
英語ⅡB	法A2年	通年	2	鈴木美貴子	125
英語ⅡB	法A2年	通年	2	林明人	125
英語ⅡB	法A2年	通年	2	井伊順彦	126
英語ⅡB	法A2年	通年	2	松堂啓子	126
英語ⅡB	法A2年	通年	2	太田雅子	126

外国語

英語ⅡB	法A 2年	通年	2	平林卓郎	127
英語ⅡB	法A 2年	通年	2	池上賀英子	127
英語ⅡB	政治2年	通年	2	三幣友行	127
英語ⅡB	政治2年	通年	2	岸本茂和	128
英語ⅡB	政治2年	通年	2	岩山義春	128
英語ⅡB	政治2年	通年	2	松堂啓子	128
英語ⅡB	政治2年	通年	2	鈴木美貴子	129
英語ⅡD	法A 2年	通年	2	前田脩	130
英語ⅡD	法A 2年	通年	2	澤田真弓	130
英語ⅡD	法A 2年	通年	2	真砂久晃	131
英語ⅡD	法A 2年	通年	2	丹治弘昌	131
英語ⅡD	法A 2年	通年	2	相馬美明	131
英語ⅡD	法A 2年	通年	2	牧野輝良	132
英語ⅡD	法A 2年	通年	2	岸本茂和	132
英語ⅡD	法A 2年	通年	2	石原孝哉	132
英語ⅡD	法A 2年	通年	2	桧山晋	133
英語ⅡD	政治2年	通年	2	真砂久晃	133
英語ⅡD	政治2年	通年	2	本間俊一	134
英語ⅡD	政治2年	通年	2	高柳文江	134
英語ⅡD	政治2年	通年	2	増田恵子	135
英語ⅡD	政治2年	通年	2	飯沼好永	135
英語ⅡD	政治2年	通年	2	桧山晋	135

〔ドイツ語〕

ドイツ語ⅠA	法A・政治1年	通年	2	河上和史	136
ドイツ語ⅠB	法A・政治1年	通年	2	柴野博子	136
ドイツ語ⅡA	法A 2年	通年	2	柴野博子	136
ドイツ語ⅡA	法A 2年	通年	2	藪下紘一	137
ドイツ語ⅡA	政治2年	通年	2	柴野博子	137
ドイツ語ⅡA	政治2年	通年	2	飯塚公夫	137
ドイツ語ⅡB	法A 2年	通年	2	飯塚公夫	138
ドイツ語ⅡB	政治2年	通年	2	森公成	138
ドイツ語ⅡB	政治2年	通年	2	堀内美江	139
ドイツ語ⅡC (会話)	14以降入学生/法A・政治2年	通年	2	堀内美江	139
ドイツ語ⅡD	法A・政治2年	通年	2	志真斗美恵	140

〔フランス語〕

フランス語ⅠA	法A・政治1年	通年	2	伊藤なお	141
フランス語ⅠB	法A・政治1年	通年	2	遠山博雄	141
フランス語ⅡA	法A 2年	通年	2	桑田禮彰	142
フランス語ⅡA	法A 2年	通年	2	沼倉広子	142
フランス語ⅡA	政治2年	通年	2	遠山博雄	142
フランス語ⅡA	政治2年	通年	2	前田祝一	143
フランス語ⅡB	法A 2年	通年	2	菅谷暁	143
フランス語ⅡB	政治2年	通年	2	畑中千晶	143
フランス語ⅡC (会話)	14以降入学生/法A・政治2年	通年	2	大野英士	144
フランス語ⅡD	法A・政治2年	通年	2	小玉齊夫	144

〔中国語〕

中国語ⅠA	法A・政治1年	通年	2	岩崎皇	146
中国語ⅠB			2		
中国語ⅠA	法A・政治1年	通年	2	三田村圭子	147
中国語ⅠB			2	李雲	
中国語ⅡA	法A 2年	通年	2	秋元翼	147
中国語ⅡA	法A 2年	通年	2	佐藤普美子	147
中国語ⅡA	法A 2年	通年	2	李雲	148
中国語ⅡA	法A 2年	通年	2	岩崎皇	148
中国語ⅡA	政治2年	通年	2	橋本幸枝	148
中国語ⅡA	政治2年	通年	2	福地桂子	149
中国語ⅡA	政治2年	通年	2	李雲	149
中国語ⅡA	政治2年	通年	2	弘兼加奈子	149
中国語ⅡB	法A 2年	通年	2	橋本幸枝	150
中国語ⅡB	法A 2年	通年	2	梅田雅子	150
中国語ⅡB	法A 2年	通年	2	弘兼加奈子	150
中国語ⅡB	政治2年	通年	2	根岸政子	151
中国語ⅡB	政治2年	通年	2	秋元翼	151
中国語ⅡB	政治2年	通年	2	岩崎皇	151
中国語ⅡC (会話)	14以降入学生/法A・政治2年	通年	2	上原かおり	152
中国語ⅡC (会話)	14以降入学生/法A・政治2年	通年	2	宮本厚子	152
中国語ⅡD	法A・政治2年	通年	2	宮本厚子	152
中国語ⅡD	法A・政治2年	通年	2	戸張嘉勝	153

〔スペイン語〕

スペイン語ⅠA	法A・政治1年	通年	2	萩野雅司	154
スペイン語ⅠA	法A・政治1年	通年	2	亀山晃一	154
スペイン語ⅠB	法A・政治1年	通年	2	上野勝広	154
スペイン語ⅠB	法A・政治1年	通年	2	真下祐一	155
スペイン語ⅡA	法A 2年	通年	2	大岩功	155
スペイン語ⅡA	法A 2年	通年	2	真下祐一	156
スペイン語ⅡA	政治2年	通年	2	真下祐一	156
スペイン語ⅡA	政治2年	通年	2	上野勝広	156
スペイン語ⅡB	法A 2年	通年	2	大岩功	157
スペイン語ⅡB	政治2年	通年	2	大岩功	157
スペイン語ⅡC (会話)	14以降入学生/法A・政治2年	通年	2	真下祐一	158
スペイン語ⅡD	法A・政治2年	通年	2	ナバロ, ホワンJ.	158

〔ロシア語〕

ロシア語ⅠA	法A・政治1年	通年	2	大須賀史和	160
ロシア語ⅠB	法A・政治1年	通年	2	木村英明	161
ロシア語ⅡA	法A 2年	通年	2	杉山秀子	161
ロシア語ⅡA	政治2年	通年	2	木村英明	162
ロシア語ⅡB	法A 2年	通年	2	木村英明	162
ロシア語ⅡB	政治2年	通年	2	佐野朝子	163
ロシア語ⅡC (会話)	14以降入学生/法A・政治2年	通年	2	クロチコフ, Y.	163
ロシア語ⅡD	法A・政治2年	通年	2	クロチコフ, Y.	163

《再履修クラス》

〔英 語〕

外国語

科目名	配当学科	開講区分	単位	担当者名	ページ
英語ⅠA〔再クラス〕	法A・政治2・3・4年	通年	2	松堂啓子	164
英語ⅠA〔再クラス〕	法A・政治2・3・4年	通年	2	岩井洋美	164
英語ⅠA〔再クラス〕	法A・政治2・3・4年	通年	2	牧野輝良	164
英語ⅠA〔再クラス〕	法A・政治2・3・4年	通年	2	萩原輝	165
英語ⅠA〔再クラス〕	法A・政治2・3・4年	通年	2	塙美智子	165
英語ⅠA〔再クラス〕	法A・政治2・3・4年	通年	2	川崎笑佳	165
英語ⅠA〔再クラス〕	法A・政治2・3・4年	通年	2	太田由紀子	166
英語ⅠA〔再クラス〕	法A・政治2・3・4年	通年	2	桧山晋	166
英語ⅠA〔再クラス〕	法A・政治2・3・4年	通年	2	岩原康夫	166
英語ⅠA〔再クラス〕	法A・政治2・3・4年	通年	2	丸小哲雄	167
英語ⅠB〔再クラス〕	法A・政治2・3・4年	通年	2	高見陽子	167
英語ⅠB〔再クラス〕	法A・政治2・3・4年	通年	2	澤田真弓	168
英語ⅠB〔再クラス〕	法A・政治2・3・4年	通年	2	江田幸子	168
英語ⅠB〔再クラス〕	法A・政治2・3・4年	通年	2	相馬美明	168
英語ⅠB〔再クラス〕	法A・政治2・3・4年	通年	2	高柳文江	169
英語ⅠB〔再クラス〕	法A・政治2・3・4年	通年	2	大淵利春	169
英語ⅠB〔再クラス〕	法A・政治2・3・4年	通年	2	西村祐子	169
英語ⅠB〔再クラス〕	法A・政治2・3・4年	通年	2	飯沼好永	170
英語ⅡA〔再クラス〕	法A・政治3・4年	通年	2	菅原典子	170
英語ⅡA〔再クラス〕	法A・政治3・4年	通年	2	太田美智子	170
英語ⅡA〔再クラス〕	法A・政治3・4年	通年	2	佐藤江里子	171
英語ⅡA〔再クラス〕	法A・政治3・4年	通年	2	岡崎寿一郎	171
英語ⅡA〔再クラス〕	法A・政治3・4年	通年	2	吉江正雄	171
英語ⅡA〔再クラス〕	法A・政治3・4年	通年	2	澤田真弓	172
英語ⅡA〔再クラス〕	法A・政治3・4年	通年	2	矢島直子	172
英語ⅡA〔再クラス〕	法A・政治3・4年	通年	2	外池一子	172
英語ⅡA〔再クラス〕	法A・政治3・4年	通年	2	山岸二郎	173
英語ⅡB〔再クラス〕	法A・政治3・4年	通年	2	佐藤江里子	173
英語ⅡB〔再クラス〕	法A・政治3・4年	通年	2	長谷川公一	173
英語ⅡB〔再クラス〕	法A・政治3・4年	通年	2	川手浩一	174
英語ⅡB〔再クラス〕	法A・政治3・4年	通年	2	長谷川公一	174
英語ⅡB〔再クラス〕	法A・政治3・4年	通年	2	前田脩	174
英語ⅡB〔再クラス〕	法A・政治3・4年	通年	2	落合和昭	175
英語ⅡB〔再クラス〕	法A・政治3・4年	通年	2	本間俊一	175
英語ⅡB〔再クラス〕	法A・政治3・4年	通年	2	尾形重政	176
英語ⅡB〔再クラス〕	法A・政治3・4年	通年	2	手島敬子	176
英語ⅡD〔再クラス〕	法A3・4年	通年	2	前田脩	130
英語ⅡD〔再クラス〕	法A3・4年	通年	2	澤田真弓	130
英語ⅡD〔再クラス〕	法A3・4年	通年	2	真砂久晃	131
英語ⅡD〔再クラス〕	法A3・4年	通年	2	丹治弘昌	131
英語ⅡD〔再クラス〕	法A3・4年	通年	2	相馬美明	131
英語ⅡD〔再クラス〕	法A3・4年	通年	2	牧野輝良	132
英語ⅡD〔再クラス〕	法A3・4年	通年	2	岸本茂和	132

英語ⅡD〔再クラス〕	法A3・4年	通年	2	石原孝哉	132
英語ⅡD〔再クラス〕	法A3・4年	通年	2	桧山晋	133
英語ⅡD〔再クラス〕	政治3・4年	通年	2	真砂久晃	133
英語ⅡD〔再クラス〕	政治3・4年	通年	2	本間俊一	134
英語ⅡD〔再クラス〕	政治3・4年	通年	2	高柳文江	134
英語ⅡD〔再クラス〕	政治3・4年	通年	2	増田恵子	135
英語ⅡD〔再クラス〕	政治3・4年	通年	2	飯沼好永	135
英語ⅡD〔再クラス〕	政治3・4年	通年	2	桧山晋	135

〔ドイツ語〕

ドイツ語ⅠA〔再クラス〕	法A・政治2・3・4年	通年	2	本橋右京	177
ドイツ語ⅠA〔再クラス〕	法A・政治2・3・4年	通年	2	志真斗美恵	177
ドイツ語ⅠA〔再クラス〕	法A・政治2・3・4年	通年	2	井村行子	177
ドイツ語ⅠA〔再クラス〕	法A・政治2・3・4年	通年	2	藪下紘一	178
ドイツ語ⅠA〔再クラス〕	法A・政治2・3・4年	通年	2	南はるつ	178
ドイツ語ⅠB〔再クラス〕	法A・政治2・3・4年	通年	2	飯塚公夫	178
ドイツ語ⅠB〔再クラス〕	法A・政治2・3・4年	通年	2	杉本正俊	179
ドイツ語ⅠB〔再クラス〕	法A・政治2・3・4年	通年	2	本橋右京	179
ドイツ語ⅡA〔再クラス〕	法A・政治3・4年	通年	2	森公成	179
ドイツ語ⅡB〔再クラス〕					
ドイツ語ⅡA〔再クラス〕	法A・政治3・4年	通年	2	本橋右京	180
ドイツ語ⅡB〔再クラス〕					
ドイツ語ⅡA〔再クラス〕	法A・政治3・4年	通年	2	井村行子	180
ドイツ語ⅡB〔再クラス〕					
ドイツ語ⅡD〔再クラス〕	法A・政治3・4年	通年	2	志真斗美恵	140

〔フランス語〕

フランス語ⅠA〔再クラス〕	法A・政治2・3・4年	通年	2	前田祝一	181
フランス語ⅠA〔再クラス〕	法A・政治2・3・4年	通年	2	芦原睿	181
フランス語ⅠA〔再クラス〕	法A・政治2・3・4年	通年	2	小玉齊夫	182
フランス語ⅠA〔再クラス〕	法A・政治2・3・4年	通年	2	菅原猛	182
フランス語ⅠA〔再クラス〕	法A・政治2・3・4年	通年	2	谷川かおる	183
フランス語ⅠB〔再クラス〕	法A・政治2・3・4年	通年	2	菅谷暁	183
フランス語ⅠB〔再クラス〕	法A・政治2・3・4年	通年	2	今関アン	183
フランス語ⅠB〔再クラス〕	法A・政治2・3・4年	通年	2	伊藤なお	184
フランス語ⅠB〔再クラス〕	法A・政治2・3・4年	通年	2	谷川かおる	184
フランス語ⅡA〔再クラス〕	法A・政治3・4年	通年	2	小玉齊夫	184
フランス語ⅡB〔再クラス〕					
フランス語ⅡA〔再クラス〕	法A・政治3・4年	通年	2	沼倉広子	185
フランス語ⅡB〔再クラス〕					
フランス語ⅡA〔再クラス〕	法A・政治3・4年	通年	2	前田祝一	185
フランス語ⅡB〔再クラス〕					
フランス語ⅡD〔再クラス〕	法A・政治3・4年	通年	2	小玉齊夫	144

〔中国語〕

中国語ⅠA〔再クラス〕	法A・政治2・3・4年	通年	2	江林英基	186
中国語ⅠB〔再クラス〕					

外国語

中国語ⅠA〔再クラス〕	法A・政治2・3・4年	通年	2	秋元翼	186
中国語ⅠB〔再クラス〕					
中国語ⅠA〔再クラス〕	法A・政治2・3・4年	通年	2	東映全	186
中国語ⅠB〔再クラス〕					
中国語ⅠA〔再クラス〕	法A・政治2・3・4年	通年	2	根岸政子	187
中国語ⅠB〔再クラス〕					
中国語ⅠA〔再クラス〕	法A・政治2・3・4年	通年	2	戸張嘉勝	187
中国語ⅠB〔再クラス〕					
中国語ⅠA〔再クラス〕	法A・政治2・3・4年	通年	2	本間由香利	188
中国語ⅠB〔再クラス〕					
中国語ⅠA〔再クラス〕	法A・政治2・3・4年	通年	2	張渭涛	188
中国語ⅠB〔再クラス〕					
中国語ⅠA〔再クラス〕	法A・政治2・3・4年	通年	2	弘兼加奈子	189
中国語ⅠB〔再クラス〕					
中国語ⅠA〔再クラス〕	法A・政治2・3・4年	通年	2	蘭明	189
中国語ⅠB〔再クラス〕					
中国語ⅡA〔再クラス〕	法A・政治3・4年	通年	2	梅田雅子	189
中国語ⅡA〔再クラス〕	法A・政治3・4年	通年	2	岩崎皇	190
中国語ⅡA〔再クラス〕	法A・政治3・4年	通年	2	大久保明男	190
中国語ⅡB〔再クラス〕	法A・政治3・4年	通年	2	李雲	190
中国語ⅡB〔再クラス〕	法A・政治3・4年	通年	2	蘭明	191
中国語ⅡD〔再クラス〕	法A・政治3・4年	通年	2	宮本厚子	152
中国語ⅡD〔再クラス〕	法A・政治3・4年	通年	2	戸張嘉勝	153

〔スペイン語〕

スペイン語ⅠA〔再クラス〕	法A・政治2・3・4年	通年	2	大岩功	192
スペイン語ⅠB〔再クラス〕					
スペイン語ⅠA〔再クラス〕	法A・政治2・3・4年	通年	2	ナバロ, ホワンJ.	192
スペイン語ⅠB〔再クラス〕					
スペイン語ⅠA〔再クラス〕	法A・政治2・3・4年	通年	2	亀山晃一	193
スペイン語ⅠB〔再クラス〕					
スペイン語ⅠA〔再クラス〕	法A・政治2・3・4年	通年	2	大岩功	193
スペイン語ⅠB〔再クラス〕					
スペイン語ⅠA〔再クラス〕	法A・政治2・3・4年	通年	2	萩野恵	193
スペイン語ⅠB〔再クラス〕					
スペイン語ⅠA〔再クラス〕	法A・政治2・3・4年	通年	2	佐藤麻里乃	194
スペイン語ⅠB〔再クラス〕					
スペイン語ⅡA〔再クラス〕	法A・政治3・4年	通年	2	上野勝広	194
スペイン語ⅡB〔再クラス〕					
スペイン語ⅡA〔再クラス〕	法A・政治3・4年	通年	2	大岩功	195
スペイン語ⅡB〔再クラス〕					
スペイン語ⅡA〔再クラス〕	法A・政治3・4年	通年	2	亀山晃一	195
スペイン語ⅡB〔再クラス〕					
スペイン語ⅡD〔再クラス〕	法A・政治3・4年	通年	2	ナバロ, ホワンJ.	158

〔ロシア語〕

ロシア語ⅠA〔再クラス〕	法A・政治2・3・4年	通年	2	杉山秀子	196
ロシア語ⅠB〔再クラス〕					
ロシア語ⅠA〔再クラス〕	法A・政治2・3・4年	通年	2	佐野朝子	196
ロシア語ⅠB〔再クラス〕					
ロシア語ⅠA〔再クラス〕	法A・政治2・3・4年	通年	2	木村英明	197
ロシア語ⅠB〔再クラス〕					
ロシア語ⅠA〔再クラス〕	法A・政治2・3・4年	通年	2	安徳ニーナ	197
ロシア語ⅠB〔再クラス〕					
ロシア語ⅡA〔再クラス〕	法A・政治3・4年	通年	2	クロチコフ, Y.	197
ロシア語ⅡB〔再クラス〕					
ロシア語ⅡA〔再クラス〕	法A・政治3・4年	通年	2	大須賀史和	198
ロシア語ⅡB〔再クラス〕					
ロシア語ⅡA〔再クラス〕	法A・政治3・4年	通年	2	安徳ニーナ	198
ロシア語ⅡB〔再クラス〕					
ロシア語ⅡD〔再クラス〕	法A・政治3・4年	通年	2	クロチコフ, Y.	163

《選 択 科 目》

科 目 名	配当学科	開講区分	単位	担当者名	ページ
英文講読	法A・政治1・2・3・4選	通年	4	林明人	199
英文講読	法A・政治1・2・3・4選	通年	4	矢島直子	199
英文講読	法A・政治1・2・3・4選	通年	4	牧野輝良	199
時事英語研究	法A・政治1・2・3・4選	通年	4	竹村恵都子	200
時事英語研究	法A・政治1・2・3・4選	通年	4	林明人	200
時事英語研究	法A・政治1・2・3・4選	通年	4	岸本茂和	200
時事英語研究	法A・政治1・2・3・4選	通年	4	田中保	201
時事英語研究	法A・政治1・2・3・4選	通年	4	矢島直子	201
マルチ・メディア	法A・政治1・2・3・4選	通年	2	落合和昭	202
マルチ・メディア	法A・政治1・2・3・4選	通年	2	大庭直樹	203
マルチ・メディア	法A・政治1・2・3・4選	通年	2	西村祐子	203
英会話Ⅰ	法A・政治1・2・3・4選	通年	2	ウェルズ, J. K.	204
英会話Ⅰ	法A・政治1・2・3・4選	通年	2	ササキ, M.	205
英会話Ⅰ	法A・政治1・2・3・4選	通年	2	ソルタ, P. N. F.	206
英会話Ⅰ	法A・政治1・2・3・4選	通年	2	ピアス, D. M.	207
英会話Ⅰ	法A・政治1・2・3・4選	通年	2	ラッセル, S. J.	208
英会話Ⅰ	法A・政治1・2・3・4選	通年	2	レーン, C. M.	208
英会話Ⅰ	法A・政治1・2・3・4選	通年	2	ロビン, G. F.	209
英会話Ⅱ	法A・政治2・3・4選	通年	2	ササキ, M.	210
英会話Ⅱ	17以前入学生／法A・政治2年	通年	2	ラッセル, S. J.	211
	法A・政治2・3・4選				
英会話Ⅱ	17以前入学生／法A・政治2年	通年	2	ソルタ, P. N. F.	212
	法A・政治2・3・4選				
英会話Ⅲ	法A・政治2・3・4選	通年	2	ウェルズ, J. K.	213
英会話Ⅲ	法A・政治2・3・4選	通年	2	ピアス, D. M.	214
英語LLⅠ	法A・政治1・2・3・4選	通年	2	太田雅子	215
英語LLⅠ	法A・政治1・2・3・4選	通年	2	甲斐捷子	215

外国語

英語LLI	法A・政治1・2・3・4選	通年	2	加藤佐和子	216
英語LLI	法A・政治1・2・3・4選	通年	2	久保ひさ子	216
英語LLI	法A・政治1・2・3・4選	通年	2	西村祐子	216
英語LLI	法A・政治1・2・3・4選	通年	2	埴美智子	217
英語LLII	法A・政治2・3・4選 17以前入学生／法A・政治2年	通年	2	太田雅子	218
英語LLII	法A・政治2・3・4選 17以前入学生／法A・政治2年	通年	2	外池一子	218
英語LLII	法A・政治2・3・4選 17以前入学生／法A・政治2年	通年	2	西村祐子	219
英語LLIII	法A・政治2・3・4選	通年	2	久保ひさ子	220
英語LLIII	法A・政治2・3・4選	通年	2	西村祐子	220
英語LLIII	法A・政治2・3・4選	通年	2	レーン, C. M.	221
ドイツ語コミュニケーションI	法A・政治2・3・4選	通年	2	小林ゲアリンデ	221
ドイツ語LLI	17以前入学生／法A・政治2年				
ドイツ語コミュニケーションII	法A・政治2・3・4選	通年	2	小林ゲアリンデ	222
ドイツ語IA(選)	法A・政治1・2・3・4選	通年	2	薮下紘一	222
ドイツ語IB(選)	法A・政治1・2・3・4選	通年	2	野島利彰	223
ドイツ語II(選)	法A・政治2・3・4選	通年	2	井村行子	223
フランス語コミュニケーションI	法A・政治2・3・4選	通年	2	ラリア・三倉, M.	223
フランス語LLI	17以前入学生／法A・政治2年				
フランス語コミュニケーションII	法A・政治2・3・4選	通年	2	ラリア・三倉, M.	224
フランス語IA(選)	法A・政治1・2・3・4選	通年	2	出口雅敏	224
フランス語IA(選)	法A・政治1・2・3・4選	通年	2	前田祝一	224
フランス語IB(選)	法A・政治1・2・3・4選	通年	2	菅原猛	225
フランス語II(選)	法A・政治2・3・4選	通年	2	桑田禮彰	225
中国語コミュニケーションI	法A・政治2・3・4選	通年	2	岩崎皇	225
中国語LLI	17以前入学生／法A・政治2年				
中国語コミュニケーションII	法A・政治2・3・4選	通年	2	曹泰和	226
中国語IA(選)	法A・政治1・2・3・4選	通年	2	吉田建一郎	226
中国語IA(選)	法A・政治1・2・3・4選	通年	2	宮本厚子	226
中国語IB(選)	法A・政治1・2・3・4選	通年	2	蘭明	227
中国語II(選)	法A・政治2・3・4選	通年	2	三田村圭子	227
スペイン語コミュニケーションI	法A・政治2・3・4選	通年	2	ナバロ, ホワン, J.	227
スペイン語LLI	17以前入学生／法A・政治2年				
スペイン語コミュニケーションII	法A・政治2・3・4選	通年	2	ナバロ, ホワン, J.	228
スペイン語IA(選)	法A・政治1・2・3・4選	通年	2	亀山晃一	228
スペイン語IB(選)	法A・政治1・2・3・4選	通年	2	ナバロ, ホワン, J.	228
スペイン語II(選)	法A・政治2・3・4選	通年	2	萩野雅司	229
ロシア語コミュニケーションI	法A・政治2・3・4選	通年	2	安德ニーナ	229
ロシア語LLI	17以前入学生／法A・政治2年				
ロシア語コミュニケーションII	法A・政治2・3・4選	通年	2	安德ニーナ	229
ロシア語IA(選)	法A・政治1・2・3・4選	通年	2	クロチコフ, Y.	230
ロシア語IB(選)	法A・政治1・2・3・4選	通年	2	木村英明	230
ロシア語II(選)	法A・政治2・3・4選	通年	2	クロチコフ, Y.	231
朝鮮語IA(選)	法A・政治1・2・3・4選	通年	2	宋美玲	231
朝鮮語IB(選)	法A・政治1・2・3・4選	通年	2	宋美玲	232

朝鮮語Ⅱ (選)	法A・政治2・3・4選	通年	2	宋美玲	232
----------	-------------	----	---	-----	-----

外国語

外
国
語

英 語 I A

〈英語 I A の授業内容と履修上の留意点〉

英語による意思伝達 (Writing and/or Speaking) : 入学時の英語を基礎として、英語の運用能力をのばします。

演習科目なので、全授業日数の3分の2以上の出席が必要です。レポート、小テスト、プレゼンテーションなどの課題を重視します。

外国語

科目名	担当者名
英語 I A	尾形 重政 <small>お がつ しげ まさ</small>
講義のねらい	入学時の英語を基礎として、英語による意志伝達力の把握に努めます。特に会話表現では、日常会話からダイアログまでの理解と運用能力を目指します。
講義の内容・授業スケジュール	テキストを読み進めると同時に、英字新聞や英語検定、TOEIC 等の問題も使用します。
履修上の留意点	授業は予習してくること。辞書を持参すること。
成績評価の方法	積極的な授業参加を重視し、試験結果を入れて総合的に判断します。
教科書	<i>The World at Glance</i> 世界事情拝見 (南雲堂) 1,500円 ISBN4-523-17525-X
その他	土曜日1時限

科目名	担当者名
英語 I A	岩原 康夫 <small>いわ はら やす お</small>
講義のねらい	英語による日常的なコミュニケーション力の向上を狙いとする。そのために、一定の基本的な動詞の構文と用法を学習する。
講義の内容・授業スケジュール	クラスはテキストに沿って、表現練習問題をやり、その応用を行ってもらう。
履修上の留意点	学生諸君の予習を前提にしてクラスは進める。
成績評価の方法	前期・後期の試験60パーセント、平常点40パーセントを基準として、成績評価をする。平常点はクラスにおける予習及び発表によって判断する。
教科書	『 <i>Cultivating Writing Skills</i> 』(朝日出版) 2,000円 ISBN 4-255-15280-2

科目名	担当者名
英語 I A	くま さわ かず あき 熊 沢 和 明

講義のねらい	口語英語の基礎的な運用能力を引き伸ばすことをねらいとします。
講義の内容・授業スケジュール	平易な口語英作文の教科書を使い、書き、聞く、話す能力をバランスよく伸ばすように、ペアワーク、書き取り、聞き取り作業を中心にした実習形式を取り入れた授業とします。
履修上の留意点	英語が苦手でも積極的に授業参加する姿勢を評価します。
成績評価の方法	出席、授業態度などの平常点を重視します。年間12回の単語テストを実施します。評価は総合評価とします。
教科書	『Enjoy Expressing Yourself』（金星堂）
その他	PC および携帯メールを利用した補習を行います。

科目名	担当者名
英語 I A	いい ぬま よし なが 飯 沼 好 永

講義のねらい	入学時の英語力を基礎とし、センテンス単位からパラグラフ単位の英文を書くことのできる英語力を身につけることを目標とする。それには英文のセンテンスの構造だけでなく、英文のパラグラフの構成に関する知識を踏まえながら、英語の文章と日本語の文章との違いを十分に理解することが不可欠である。また、英語の文章を書く時に、単語は和英辞書等で確認することができるが、単語を並べて文章を作る時には文法の知識も要求されるので、随時、文法に関する解説も行っていきたい。
履修上の留意点	テキストでは大学生の日常生活に基づいている例文等が取り上げられているので、各自の実状に合った英文も作成できるよう、基本的な英語表現を学びながら、応用的な英語表現も修得して欲しい。また、和英辞書で調べた英単語は英和辞書で再確認する習慣を付け、英単語の微妙なニュアンスの違いも分かるよう心がけて欲しい。
成績評価の方法	成績は、出席状況、授業への取り組み方、課題、定期試験等を考慮して行う。平常評価（50%）、前期・後期試験（50%）
教科書	山村三郎、木下裕昭、小峰和子 『Expanding Your Writing Skills』（朝日出版）1,600円 ISBN 4 - 255 - 15269 - 1

科目名	担当者名
英語 I A	依田里花

講義のねらい

英語で文章を書くことに違和感を無くすこと、英語で自分の言いたいことを表現できるようにすることが本講義のねらいです。始めは短い文から徐々に長い文へ、量もより多く書けるように発展させていきます。英語表現に慣れ親しむために、ある程度の量の英文を読み、聞き、音読して総合的な英語力のアップをはかりながら、より充実した英文を書けるようにします。

履修上の留意点

必ず辞書（英和・和英）を持参すること。（電子辞書可）

成績評価の方法

出席や授業中の態度を重視し、定期試験（前期・後期）の結果と合わせて総合的に評価します。

教科書

開講時提示します。

科目名	担当者名
英語 I A	山岸二郎

講義のねらい

自分の考えを伝えるための英文表現を学ぶ。

講義の内容・授業スケジュール

短い英文を読んで、文章のパターンを理解する。その上このパターンに対応して作成された練習問題に取り組む。ここで良く使用される語句・表現などに注意しながら課題のエッセイを書く。更にその後同パターンでオリジナル・エッセイを完成させる。尚ここでは四種類のエッセイ・パターンを扱い、それぞれ十分に習熟して、効果的な英文構成法なども考えてゆく。

履修上の留意点

予習をしておくこと。

成績評価の方法

日常の学習を重視する。小テスト・テスト等総合的に評価する。

教科書

『構造で書く英文エッセイ』（南雲堂）1,800円 ISBN 4-523-17448-2

参考書等

辞書、参考書等は教室で紹介する。

科目名	担当者名
英語 I A	おお ぶち とし はる 大 瀧 利 春

講義のねらい	英文によって、身近なできごと、世界情勢等についての知識を学び、さらには自分の意見を述べたり、書いたりすることができるようになるための基礎的学習をおこないます。
講義の内容・授業スケジュール	やさしい英文で書かれているニュースを読み、それに関連する練習問題一単語、idioms、英作等に挑戦し、学習します。
履修上の留意点	授業は予習を必ずしておくこと。
成績評価の方法	日常の発表、出席を重視し、小テスト、前期、後期の試験の結果を総合して評価します。
教科書	未定

科目名	担当者名
英語 I A	にし はら かつ まさ 西 原 克 政

講義のねらい	英単語850語で日常生活の表現が可能であるという Basic English の思考方法を実践する。
講義の内容・授業スケジュール	ワークブックの練習問題の解答を受講者に板書してもらい、それを添削し解説しながら進める。
履修上の留意点	予習に全力を注いで準備しておくこと。
成績評価の方法	授業回数の3分の2以上出席のこと。平常の授業がすべてであるので、受講者のプレゼンテーションをその都度評価し、平均点を成績とする。
教科書	牧雅夫編著『英語表現トレーニング』（北星堂書店）1,365円

科目名	担当者名
英語 I A	はぎ わら てる 萩 原 輝

講義のねらい	英語による意志伝達能力の向上を目指す。
講義の内容・授業スケジュール	テキストを読み進めながら、その内容についての意見を英語で表現してもらう予定。
履修上の留意点	辞書を持参して欲しい。
成績評価の方法	授業態度、出席、提出物、前期・後期の試験等の総合評価。
教科書	Alen Cogen / 岡田圭子他著 <i>Leading Companies in the 21st Century</i> 『21世紀の企業－成功の舞台裏』（松柏社） ISBN4-88198-566-3

科目名	担当者名
英語 I A	やま ぎし じ ろう 山 岸 二 郎

講義のねらい

自分の意見や感想などを英文 Essay にして、表現力の向上を図る。

講義の内容・
授業スケジュール

英文構造を四種類に大別したテキストを用い、Reading, Writing, Essay 等の問題をこなしつつ、Writing 力を伸す。

履修上の留意点

予習しておくこと。学習の成否は、予習と本人の意欲に依る。

成績評価の方法

平常の学習、小テスト、前・後期のテスト等総合して評価する。

教科書

Skills for Better Writing 『構造で書く英文エッセイ』(南雲堂) 1,900円

外国語

科目名	担当者名
英語 I A	み うら ま り 三 浦 眞 理

講義のねらい

英文によって、身近なできごと、世界情勢等についての知識を学び、さらには自分の意見を述べたり、書いたりすることができるようになるための基礎的学習をおこないます。

講義の内容・
授業スケジュール

やさしい英文で書かれているニュースを読み、それに関連する練習問題—単語、idioms、英作等に挑戦し、学習します。

履修上の留意点

授業は予習を必ずしておくこと。

成績評価の方法

日常の発表、出席重視し、小テスト、前期、後期の試験の結果を総合して評価します。

教科書

『*WRITING ENGLISH THROUGH MAJOR NEWS*』(金星堂) 1,650円
ISBN4-7647-3636-5

科目名	担当者名
英語 I A	お が た し げ ま さ 尾 形 重 政

講義のねらい

入学時の英語を基礎として、英語による意志伝達能力の把握に努めます。特に会話表現では、日常会話からダイアログまでの理解と運用能力を目指します。

講義の内容・
授業スケジュール

テキストを読み進めると同時に、英字新聞の記事や英語検定問題・TOEIC 等の問題も使用します。

履修上の留意点

授業は予習してくる。辞書を持参すること。

成績評価の方法

積極的な授業参加を重視し、試験結果を加味して総合的に判断します。

教科書

The World at Glance 世界事情拝見 (南雲堂) 1,500円
ISBN4-523-17525-X

科目名

担当者名

英語 I A〔基礎英語特別クラス〕

まきの
牧野輝良

外国語

講義のねらい

英語の基本を正確に身につけること。

講義の内容・
授業スケジュール

毎時間テキストを1課ずつ学習し、3課終了毎に小テストを行ない、記憶を深める。

履修上の留意点

よく予習復習し、授業にはよく出席し、辞書持参し、辞書活用に慣れること。

成績評価の方法

小テストと期末の記述試験の成績による。

教科書

『大学英文法 A to Z』（金星堂）1,300円 ISBN4-7647-3697-7

英 語 I B

<英語 I B の授業内容と履修上の留意点>

Reading and Listening Comprehension (Reading and Listening) : 入学時の英語を基礎として、より高度な構文の理解と speed reading の基礎を身に付けます。

演習科目なので、全授業日数の3分の2以上の出席が必要です。レポート、小テスト、プレゼンテーションなどの課題を重視します。

外国語

科目名	担当者名
英語 I B	木元 喜久子

講義のねらい

国内外の政治・経済分野の、硬いものから身近に起った事故や社会の軽いニュースまでバラエティーに富んだ最新のニュース記事を読んで、英字新聞の読み方を学ぶだけでなく、視野を広げ、国際感覚を磨くと同時に世界情勢への理解を深めることを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

さまざまな記事の速読と精読を通して読解力の向上をめざす。また今日的な生きた新聞英語の表現を学ぶと同時に、内容理解度を確認する設問に加え、リスニング問題とニュース記事に関連する英作文の問題を通して英語の総合的な力の向上をめざす。

履修上の留意点

十分な予習と積極的な参加・発表が求められる。辞書は必ず持参のこと。

成績評価の方法

成績は出席率（全授業日数の2/3以上）、授業中の発表や課題と前・後期の結果を総合して評価する。

教科書

木塚晴夫著『NEWSWORTHY 2005 新・世界展望』（マクミラン・ランゲージハウス）

その他

水曜3限

科目名	担当者名
英語 I B	木元 喜久子

講義のねらい

環境破壊や経済格差による国際間の不公平、貧困など人類と地球社会が抱える問題のエッセイを読んで、二十一世紀の世界が直面している問題への理解を深めることを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

地球環境と人類の問題に関するエッセイの速読・精読を通して読解力の向上をめざす。導入としてのディスカッション問題や短い会話のリスニング問題に加え、内容把握の設問、要約の問題を通して英語の総合的な力の向上をめざす。

履修上の留意点

十分な予習と積極的な参加・発表が求められる。辞書は必ず持参のこと。

成績評価の方法

成績は出席率（全授業日数の2/3以上）、授業中の発表や課題と前・後期の結果を総合して評価する。

教科書

David Peaty 著『Topics for Global Citizenship - A・Four - Skills English Course』（金星堂）

その他

水曜1限

科目名	担当者名
英語 I B	藤井道行

講義のねらい	海外の新聞の記事を大学生用に編集し、注釈を加えたテキストを読みます。英字新聞と楽しく付き合うコツを見つけたいと思います。
講義の内容・授業スケジュール	授業では、語彙力の強化を土台として、英文読解のスキルを高める訓練をします。また、音読など音声面にも可能な限り時間を割きます。
履修上の留意点	授業を心地よく受講するためには、予習のガンバリが必要です。
成績評価の方法	前・後期に行う試験の出来が評価の決め手となります。
教科書	『ニュースメディアの英語－演習と解説2006年度版』（朝日出版）1,600円 ISBN4-255-15428-7 C1082
その他	水曜日 3 時限

科目名	担当者名
英語 I B	海琳泰子

講義のねらい	Reading-今日、ニュース等で話題になっている科学、医療問題を15編の評論で読む。先端技術の光と影の両面に目を向け、情報を正確に取り入れ、バランスの取れた評価ができるようになって欲しい。Listening-BBC Worldのニュースの聞き取り、新聞記事の dictation.
成績評価の方法	前・後期末試験と年間8回の小テストを実施、期末試験は、いかなる理由でも、又1回でも欠試の場合は、単位修得不可能。
教科書	瀬谷幸男他著『What's Ahead 未来のための科学の挑戦』（南雲堂）1,800円 ISBN4-523-17491-1 C0082

科目名	担当者名
英語 I B	亀田三重子

講義のねらい	英文を読み、聞く事により、英語の総合的な力をつける。又、会話や作文も行い、実用的な力も同時につける事を目的とする。
講義の内容・授業スケジュール	Reading, Listning の後、練習問題を行う。最新のニュースや話題を取り上げ、記事を読んだり、会話を行う。自由英作文も行う。
履修上の留意点	授業に辞書は必携。予習は必ず行う事。
成績評価の方法	(1) 出席状況、(2) 授業への意欲、態度、(3) 小テストや期末試験の結果。 (1) (2) (3) を総合的に判断する。
教科書	初回の授業で知らせる。

科目名	担当者名
英語 I B	藤井道行

講義のねらい

物語、手紙、広告文、新聞記事など、多様なスタイルの英文に親しむことを目標とします。また、英文を正確に読むために不可欠な文法のを整理します。

講義の内容・授業スケジュール

受講する学生にとって無理のない速度でテキストを読み進めます。問題が豊富に用意されているテキストなので退屈しないはずです。

履修上の留意点

授業内外でコンスタントに英語にふれること。

成績評価の方法

前・後期に行う試験の出来が評価の決め手となります。

教科書

『Power-Up English』(Intermediate) 副題：『総合英語パワーアップ (中級編)』(南雲堂) 1,900円 ISBN4-523-17481-4

その他

水曜日 1 時限

外国語

科目名	担当者名
英語 I B	木元喜久子

講義のねらい

国内外の政治・経済分野の、硬いものから身近に起った事故や社会の軽いニュースまでバラエティーに富んだ最新のニュース記事を読んで、英字新聞の読み方を学ぶだけでなく、視野を広げ、国際感覚を磨くと同時に世界情勢への理解を深めることを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

さまざまな記事の速読と精読を通して読解力の向上をめざす。また今日的な生きた新聞英語の表現を学ぶと同時に、内容理解度を確認する設問に加え、リスニング問題とニュース記事に関連する英作文の問題を通して英語の総合的な力の向上をめざす。

履修上の留意点

十分な予習と積極的な参加・発表が求められる。辞書は必ず持参のこと。

成績評価の方法

成績は出席率 (全授業日数の 2 / 3 以上)、授業中の発表や課題と前・後期の結果を総合して評価する。

教科書

木塚晴夫著『NEWSWORTHY 2005 新・世界展望』(マクミラン・ランゲージハウス)

科目名	担当者名
英語 I B	藤井道行

講義のねらい

平易な英語で書かれた程よい長さの文章を、より速く、より正確にキャッチする訓練をします。テキストの内容は、ユニークな企業理念によって成功している12の会社の骨太な紹介です。

講義の内容・授業スケジュール

授業では、英文の内容を日本語にまとめることに終始するのではなく、音声・文法面の基本事項の確認にも時間を割きます。

履修上の留意点

授業内外でコンスタントに英語にふれること。

成績評価の方法

前・後期実施する試験の出来が評価の決め手となります。

教科書

『Front-runners in the 21 st Century: 12 Outstanding Companies 挑戦する企業—ものづくりへの情熱とビジネス成功の秘訣』(松柏社) 1,900円 ISBN4-88198-576-0

その他

水曜日 2 時限

科目名	担当者名
英語 I B	海 琳 泰 子 <small>み たま やす こ</small>

講義の内容・授業スケジュール

Reading—英語字幕入りと字幕なしを併録のビデオ教材で、12ヶ国を巡る。世界中のニュースが飛び込んで来る今日、できるだけ多くの国に興味を持って欲しい。私が訪れた国については、写真と体験談で情報を追加する。Listening—BBC World のニュースの聞き取り、新聞記事の dictation.

成績評価の方法

前・後期末試験と年間8回の小テストを実施、期末試験は、いかなる理由でも、又一回でも欠試の場合は、単位修得不可能。

教科書

John S. Landey 編著 *World Explorer* 『ビデオで巡る世界の旅』(朝日出版社) 1,800円
ISBN4-255-15387-6 C1082

科目名	担当者名
英語 I B	濱 口 真 木 <small>はま ぐち まさ き</small>

講義のねらい

英語の基本的な文法、構文の知識を確認しながら、より高度な構文の理解を身につける。

講義の内容・授業スケジュール

テキストを読みすすめ、英語を正確に読み取る練習をする。

履修上の留意点

授業中の発表と出席率を重視するので、予習をしてくること。

成績評価の方法

口頭発表、出席率、前期後期テストなどを総合して評価します。

教科書

『*English Zone—Encounters over the Horizon*—』(成美堂) 2,000円
ISBN4-7919-0549-0

科目名	担当者名
英語 I B	亀 田 三 重 子 <small>かめ だ み え こ</small>

講義のねらい

英文を読み、聞く事により、英語の総合的な力をつける。又、会話や作文も行い、実用的な力も同時につける事を目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

Reading、Listening の後、練習問題を行う。最新のニュースや話題の記事を読んだり、ビデオを見たりする。又、会話や自由英作文も行う。

履修上の留意点

授業に辞書は必携。予習は必ずしてくる事。

成績評価の方法

(1) 出席状況、(2) 授業への意欲、態度、(3) 小テストや期末試験の結果。
(1) (2) (3) を総合的に判断する。

教科書

初回の授業で知らせる。

科目名

担当者名

英語 I B〔基礎英語特別クラス〕

ほま ぐち まさ き
濱 口 真 木

講義のねらい

入学時の英語を基礎として、より高度な構文の理解を身につける。

講義の内容・
授業スケジュール

テキストを読みすすめ、英語を正確に読み取る練習をする。

履修上の留意点

授業中の発表と出席率を重視するので、予習をしてくること。

成績評価の方法

口頭発表、出席率、前期後期テストなどを総合して評価する。

教科書

【*Cultural Walks in Britain* イギリス文化散策】(成美堂) 1,800円
ISBN4-7919-0542-3

外
国
語

英 語 II A

〈英語 II A の授業内容と履修上の留意点〉

英語による意思伝達 (Writing and/or Speaking) : IA を基礎として、より高度な英語の運用能力を身に付けます。

演習科目なので、全授業日数の3分の2以上の出席が必要です。レポート、小テスト、プレゼンテーションなどの課題を重視します。

外国語

科目名	担当者名
英語 II A	照山雄彦

講義のねらい	IA を基礎として、IIA では、より高度な英語の運用能力を身につけるようにする。
講義の内容・授業スケジュール	簡単な英文の構造を学び、さらに自ら英文を書けるようにします。同時に身近な話題を題材にして文章表現と会話表現を身につけることを訓練します。
履修上の留意点	宿題を毎回出すので、必ずやってくること。
成績評価の方法	毎時間授業を始める前に小テストを行うので、その結果と授業の態度、出席状況を考慮して評価を行う。
教科書	おって連絡します。
参考書等	その都度必要に応じて紹介する。

科目名	担当者名
英語 II A	平林卓郎

講義のねらい	中学高校で習ってきた構文知識を基礎にして実際に使える基本的なライティング能力の養成を目指す。
講義の内容・授業スケジュール	やさしい英文を最初に読み、その中に含まれる重要構文を使って英作文を書く。一日一課ずつ進む。
履修上の留意点	英語の授業も主体性養成の一環なので学生は必ず予習をしてくること。
成績評価の方法	前期、後期の試験を中心にして、出席点、レポート点を加味して評価点を出す。
教科書	Tomioka Tatsuaki 『 <i>Read Better to Write Better</i> 』 (金星堂) 1,900円+税
参考書等	その都度指示する。
その他	授業はまず最初に学生が本文、あるいは問題を解答し、教師がまちがいがあれば訂正する。

科目名	担当者名
英語ⅡA	いちかわ ひとし 市川 仁

講義のねらい

和文英を数多くこなすことでさまざまな英語表現を学んでいきます。

講義の内容・
授業スケジュール

学生の皆さんの口頭・板書による発表を中心にして授業を進めていきます。

履修上の留意点

必ず予習をして授業に出席してください。

成績評価の方法

授業中の発表、前期と後期の試験を総合的に評価します。原則として全授業回数の3分の2以上の出席を条件とします。

教科書

岸野英治『大学生のための表現英文法・英作文』1,890円
ISBN4-269-32026-5

外国語

科目名	担当者名
英語ⅡA	つかもと としお 塚本 利男

講義のねらい

IAを基礎として、より高度な英語の運用能力を身につけます。そのために、絶えず文法・構文、語彙などの知識の増強を図りながら、文章構成法を学び、自分の考えや意見が書けるようになることを目指す。

講義の内容・
授業スケジュール

英語の文章構成法を学び、その英文を踏まえて読解と英作文を統合して演習する。1回の授業の総仕上げとして毎回授業の最後に身近な事柄、議論や論争を巻き起こしやすい問題、例えば、アメリカ社会における銃、公害問題等について小論文を書き提出してもらいます。

履修上の留意点

授業の予習をすること。辞書を持ってくること。

成績評価の方法

授業における発表・小論文と前・後期の定期試験に基づく。特に、平常授業を重視しますので、全授業の3分の2以上は必ず出席すること。

教科書

『発信するパラグラフ・ライティング』（株桐原書店）1,500円＋税
ISBN4-342-77460-7 C9082

科目名	担当者名
英語ⅡA	たなか やすこ 田中 靖子

講義のねらい

本講義では始めに基本的なライティングによって口語英語表現に慣れながら、次第に実践的な英語運用力（スピーキング力）を高めていくことをねらいとします。

講義の内容・
授業スケジュール

本講義では今まで身につけた英語力を基に身近な話題を英語で表現できるような pairwork, discussion, presentation などの activities を行います。

履修上の留意点

本授業は事前に課題を出しそれを基に授業を展開します。

成績評価の方法

この授業では休まずに出席して activities に参加することが求められます。授業中の積極的な参加が、評価の基準となることに留意してください。評価は前期・後期テスト、課題の評価、授業への参加状況などを総合して行います。

教科書

教場にて指示します。

科目名	担当者名
英語ⅡA	おのえのりこ 尾上典子

講義のねらい	現代のアメリカ文化形成に決定的な役割を演じてきた幾つかの大企業について論じたテキストを使用し、アメリカのビッグ・ビジネスの企業研究・アメリカ文化研究を行なうとともに、実践的な英語運用能力の向上をはかる。
講義の内容・授業スケジュール	下記のテキストを翻訳させながら、同時にアメリカのビッグ・ビジネスに関係する様々な資料を配布し、読解・聴解・作文などの英語運用能力の向上を目標とする。
履修上の留意点	正当な理由なくして年間の出席率が2/3に満たない者および授業態度の著しく悪い者は落第させる。 毎回、授業のための予習・復習を充分にしておいてもらいたい。
成績評価の方法	評価は、授業態度、出席率、年2回の前・後期試験、小テストなどによって、総合的に判断する。
教科書	廣原真由子・Blake Baxter 共著『Big Business in America (ビジネスとアメリカ文化)』(成美堂)

科目名	担当者名
英語ⅡA	ほりちわこ 堀千和子

講義のねらい	現代社会での問題を英語を通して勉強しながら、自分の意見を英語で書く技術を習得してもらいます。日本人特有の英作文での間違いなど、英語の文法や語法も復習していきます。
講義の内容・授業スケジュール	教科書、インターネットや新聞の記事、映画、ニュースなどを通して、現代の社会問題を勉強していきます。それについて、グループやペアで話し合った後、最後には各個人に自分の意見や解決方法を英作文してもらいます。前期、後期の最後には自分が関心をもったトピックについて、調べてレポートにしてもらうことを予定しています。
履修上の留意点	毎時間、ビデオを見たり、ワークシートを作成したり、グループワークをしますので、欠席しないこと。また、授業には必ず自分のテキストを持参し、集中して臨むこと。毎回、簡単な課題をして提出してもらいます。
成績評価の方法	成績は、前・後期の試験、授業中の貢献度、提出物、休暇中の課題、小テストから総合的に判断する。欠席は1回につき2点の減点とし、通年の授業回数の3分の1以上の欠席で失格とする。欠席分を補う提出物はないので、くれぐれも欠席しないこと。試験は前期・後期のいずれかに欠席した場合は単位取得の意志がないものと見なされるので、両試験とも必ず出席すること。
教科書	未定。おって指示します。

科目名	担当者名
英語ⅡA	かざまのりひこ 風間則比古

講義のねらい	英語に限らず語学の勉強は hearing, speaking, reading, writing に分かれるが、ここでは主に reading を通して意味を正確に理解することを学ぶ。
成績評価の方法	評価は出席、発表、前期と後期の試験結果などを総合して決める。
教科書	『Prosperous Life (豊かな生活)』(南雲堂)

科目名**担当者名****英語ⅡA**木^き村^{むら}正^{まさ}俊^{とし}**講義のねらい**

英語ⅠA、ⅠBの終了を前提に、より高度な英文の音声による把握力を高め、音声による表現力を向上させることを目指します。

講義の内容・授業スケジュール

国際問題、環境、社会、言語、食品などのトピックを扱った全体で24章から成るテキストを使用し、毎回1章進むことを目標に順次学習します。付属のCDを活用し、リスニングやスピーキング、さらにライティングのドリルを行います。

履修上の留意点

実践的な訓練を多く行いますので毎回授業に出席すること。復習に多く時間をかけることが大切です。

成績評価の方法

平常点評価です。しばしば行うテストや提出物の成績、出席の状況などを総合して評価します。

教科書

『*English through the News Media 2006 Edition*』（朝日出版社）1,600円
ISBN4-255-15428-7

外国語

科目名**担当者名****英語ⅡA**朝^{あさ}川^{かわ}真^ま紀^き**講義のねらい**

語彙・文法・構文を正確に把握し、実践的なコミュニケーション力を身につけていきます。

講義の内容・授業スケジュール

毎回テーマとなる英語表現方法をテキストにそって説明し、練習問題を解きながら定着させていきます。

履修上の留意点

毎回予習をしてください。

成績評価の方法

小テスト・平常点・前期後期試験によって総合的に評価します。

教科書

『比較して覚える基礎英語表現』（朝日出版社）1,800円
ISBN4-255-15338-8

科目名	担当者名
英語ⅡA	いわなが よしえ 岩永祥恵

講義のねらい	本講義ではパラグラフライティングの基礎を高めることを目的とする。自分の考えをわかりやすく相手に理解してもらうための一方法として、基本的な和文英訳から一歩進んで、まとまったパッセージを書くために必要な事項を一つずつ踏まえながら、ライティングの実力を高める。
講義の内容・授業スケジュール	段階を踏んで作文の基本から、パラグラフの概念を把握し、自分の考えを表現できるライティングにいたるまで、実践を重視しつつ授業を進めていく。
履修上の留意点	毎回の授業への積極的な参加。辞書を持参すること。
成績評価の方法	出席、予習、課題提出、試験等を総合的に判断して評価する。詳細は開講時に説明する。
教科書	Kelly Kennedy-Isern 著 <i>Keys to better paragraph writing</i> 松柏社 ISBN4-88198-5647
参考書等	開講時に指示する。

科目名	担当者名
英語ⅡA	ながの こういち 永野光一

講義のねらい	IAを基礎として、より高度な英語による意志伝達（ライティングとスピーキング）の力を養成。
講義の内容・授業スケジュール	Q&A やペア/グループ・ワーク、ロール・プレイなどの聞く・話す活動や、パラグラフやより長い作文を書く活動を行います。
履修上の留意点	授業中の学習活動に積極的に参加すること。原則として3分の2以上すること。
成績評価の方法	出席、学習活動への積極的な参加、ライティングや発表などの課題を重視し、総合的に評価。
教科書	『 <i>Let's Talk and Communicate!</i> (コミュニケーションのための英語自己表現)』(金星堂) ISBN4-7647-3802-3 C1082

英 語 II B

〈英語 II B の授業内容と履修上の留意点〉

Speed Reading and Intensive Reading : IB を基礎として、できるだけ多くの量を読めるように、大意の把握に心掛け、読む速度を上げます。また、より高度な英文を正確に理解するための構文も学びます。

演習科目なので、全授業日数の3分の2以上の出席が必要です。レポート、小テスト、プレゼンテーションなどの課題を重視します。

外国語

科目名	担当者名
英語 II B	鈴木美貴子
講義のねらい	社会の多方面への関心を深めながら、これまでに習得した英文読解力をより確実なものとし、さらに向上させることをねらいとする。
講義の内容・授業スケジュール	テキストによって、社会情勢、歴史、哲学、環境、科学など色々な分野の記事を読む。また随時、小テストや、速読力をつける為にこちらで用意したプリントに取り組んでいただく。
履修上の留意点	予習必須。必ず辞書持参。
成績評価の方法	出席状況、前・後期試験、提出物により総合的に評価する。
教科書	「輝ける言葉－心に残る12章－」(朝日出版社) 1,700円 ISBN4-255-15421-X C1082

科目名	担当者名
英語 II B	林 明 人
講義のねらい	この授業は精読を通し、未知の語を含んだ長文であっても辞書を用いながら何とか文の要素を把握できるようになることを目的とします。自らの英語の知識を駆使し、長文を解読することが、まるで推理小説を読むようにスリリングだと実感できるようになります。あらかじめ各ユニットの試訳を皆さんに提出してもらい、質問をしながら授業を進めます。
成績評価の方法	前・後期の定期試験、ユニットの試訳、出席の総合評価。
教科書	4月に教場で指示します。

科目名	担当者名
英語ⅡB	井伊順彦 <small>いの のぶ ひこ</small>

講義のねらい	バラエティに飛んだテキストを用いて、言葉の4技能をバランスよく高めることを目的とする。
講義の内容・授業スケジュール	毎回、かなりの時間を使ってテープを聴き、設問に答えて（口頭もしくは筆記で）もらう。英語の音声の特徴をなるべく多くつかんでもらいたい。英作文も数題おこなう。
履修上の留意点	毎回、おそらく半数ほどの諸君がなんらかのかたちで指名され、解答する責任をおうことになろう。積極的な参加を期待する。
成績評価の方法	数回の小テスト、質疑応答の内容、出席数を柱とするが、詳細は教室で。
教科書	『現代アメリカ英語の運用 <i>A Multiple Approach to Modern American English</i> 』（南雲堂） 1,700円+税

科目名	担当者名
英語ⅡB	まつ松 とう 啓 子 <small>まつ どう ひろ こ</small>

講義のねらい	パラグラフ毎の大意を把握しながら、多くの量の英文を読む力を身につける。
履修上の留意点	2 / 3 以上の出席が必要。
成績評価の方法	出席状況（演習に対する姿勢を重視）、試験の結果等を総合的に評価する。
教科書	Isaac Asimov 著、奥田隆一編『 <i>Word from History I</i> 』（鷹書房弓プレス）

科目名	担当者名
英語ⅡB	おお 太 田 まさ 雅 子 <small>おお た まさ こ</small>

講義のねらい	英文をいちいち日本語に訳さなくても、上から順に読解していく訓練を行なう。
講義の内容・授業スケジュール	最初は精読、慣れてきたら速読の練習をする。
履修上の留意点	予習は必須。
成績評価の方法	平常点と前期、後期試験。
教科書	宮本倫好、伊藤典子、Richard Powell 『ニュースメディアの英語—演習と解説2006年度版—』（朝日出版社）

科目名	担当者名
英語ⅡB	ひらばやし たくろう 平林卓郎

講義のねらい

最近のアメリカの雑誌や新聞に掲載された広告を研究することによりアメリカ文化の現在について勉強する。

講義の内容・授業スケジュール

アメリカ文化の研究を通して現代人の生き方の研究をする。一日に一課半のペースで進む。

履修上の留意点

英語の授業も主体性養成の一環であるので予習を必ずしてくること。

成績評価の方法

前期、後期の試験を中心に他にレポート、出席点を加味して評価点を出す。

教科書

Inoue Kumi 著『*In Touch with American Ads*』（成美堂）1,600円＋税

参考書等

その都度指示する。

その他

あくまでも学生が積極的に問題を解きまちがいがあれば教師が訂正する。

外国語

科目名	担当者名
英語ⅡB	いけがみ かえこ 池上賀英子

講義のねらい

英語ⅠBの学習の延長上において、英語の国際性への認識と、日本人としての自覚と大学生としての教養を、英語学習の座標軸として、英文の文意把握能力を養う。

講義の内容・授業スケジュール

テキストを読み進めると同時に、ビデオ（VHS、DVD）等を補助教具として用いる。

履修上の留意点

授業には予習を第一義とすること。3分の2以上出席し授業に積極的に参加すること。

成績評価の方法

日常の発表と個々の成長を重視し、前期後期の試験の結果を加えて、総合的に評価する。

教科書

未定

科目名	担当者名
英語ⅡB	みねさとも ちか 三幣友行

講義のねらい

英語IBで学んだ事を基礎として、英語を正しく読む力のさらなる向上を目指す

講義の内容・授業スケジュール

予習を前提として授業をすすめる

履修上の留意点

欠席が全体の3分の1を超えたら単位を認めない

成績評価の方法

出席点、平常点、小テスト点、定期テストを総合的に評価する

教科書

未定

その他

その他細かい事は授業開始時に説明する

科目名	担当者名
英語ⅡB	岸本 茂和 <small>かしもと しげ かず</small>

講義のねらい	つねに基本に立ち返りつつ授業をすすめてゆきたい。テキストの内容は人間にとってもっとも重要な要素である「食」をまなぶ。本文および問題は各人が担当する。
講義の内容・授業スケジュール	「習うより馴れる」をモットーに、一年間でできるかぎりの量をこなしてゆきたいとねがっている。夏季休暇にはテキストいがないの課題を課すことになるであろう。
履修上の留意点	授業には英和辞書をかならずもってこること。予習は必須。
成績評価の方法	出欠席を勘案しつつ試験結果を重んじる。試験は前期・後期の2回。全授業日数の3分の1以上欠席のばあいは「不可」とする。
教科書	『総合教材：食べ物・料理の歴史』（英宝社）1,800円

科目名	担当者名
英語ⅡB	岩山 義春 <small>いわやま よしはる</small>

講義のねらい	単語の意味を調べても和訳できない学生が多い。まず、英文の大意を把握することを心がけ、読む能力をつけることを目標とします。
講義の内容・授業スケジュール	米国の文化や社会の危機を扱ったテキストを読みすすみます。一日に約4ページ読む予定です。
履修上の留意点	授業は予習をしてこること。毎回レポートを提出してもらいます。
成績評価の方法	毎日の授業で訳せるかどうかを重視し、レポートや前・後期の試験の結果から総合的に評価します。
教科書	『Books as Opinion Makers』（松柏社）

科目名	担当者名
英語ⅡB	まつ 松堂 啓子 <small>まつ どう ひろこ</small>

講義のねらい	パラグラフ毎の大意を把握しながら、多くの量の英文を読む力を身につける。
履修上の留意点	2 / 3 以上の出席が必要。
成績評価の方法	出席状況（演習に対する姿勢を重視）、試験の結果等を総合的に評価する。
教科書	Isaac Asimov 著、奥田隆一編『Word from History I』（鷹書房弓プレス）

科目名

担当者名

英語ⅡB

鈴木美貴子

講義のねらい

アメリカ事情を学びながら、時事英語に親しむ。

講義の内容・
授業スケジュール

テキストによって、アメリカの全国紙「USA TODAY」の記事を読む。また随時、速読力をつける為にこちらで用意したプリントを読んでいただく。

履修上の留意点

予習必須。必ず辞書持参。

成績評価の方法

出席状況、前・後期試験、提出物により総合的に評価する。

教科書

「USA TODAY で学ぶ時事英語入門2006」（開文社）1,600円
ISBN4-87571-536-6 C1382

外国語

英 語 II D

〈英語 II D の授業内容と履修上の留意点〉

専門学部にそった英語のテキストを用いおこなう講読の授業です。

外
国
語

科 目 名	担 当 者 名
英語 II D	まえ だ まゆみ 前 田 脩

講義のねらい

英文によって、法律の初歩的知識と法律用語を学びます。

講義の内容・ 授業スケジュール

テキストを読み進めると同時に、英文による法律関係の記事を使用します。

履修上の留意点

授業は予習し、積極的に参加してください。

成績評価の方法

日常の発表を重視し、前期後期の結果を入れて総合的に評価します。

教 科 書

「法と社会」 英潮社 1,900円 ISBN 4 - 268 - 00163 - 8

科 目 名	担 当 者 名
英語 II D	さわ だ まゆみ 澤 田 真 弓

講義のねらい

社会科学系をテーマとした短いエッセイを読み、文法事項について確認しながら、読解力を養っていきます。

講義の内容・ 授業スケジュール

授業は演習形式で行います。毎回発表担当者を決め、あらかじめ指定した箇所を音読し、日本語訳をつけてもらいます。また授業の終わりに簡単な確認テストを行います。

履修上の留意点

積極的に授業に参加することが望ましい。辞書は必ず持参すること。

成績評価の方法

出席回数、発表や提出物、毎回行う確認テストの結果を総合的に判断して評価します。

教 科 書

Bill McLain 著、長阪朱美編注『Do You Know? 世界の面白・ミニストーリー』（金星堂）
1,800円
ISBN4 - 7647 - 3750 - 7

科目名	担当者名
英語ⅡD	まなごひさあき 真砂久晃

講義のねらい

法学部2年次生の講読授業。社会科学系の英語の読解力向上を目指す。

講義の内容・授業スケジュール

初回の授業でオリエンテーションをする。必ず出席すること。

履修上の留意点

出席が3分の2未満の学生は単位を取得できない。但し、正当な理由のある欠席に関しては考慮する。

成績評価の方法

成績 = (前期の成績 + 後期の成績) ÷ 2
前期、後期共、成績は(100点満点) = 出席点(20~30%) + テスト(70~80%)となる。

教科書

『*The Poetry of Film*』(金星堂) 1,900円 税別
ISBN4-7647-0977-5

その他

教科書のタイトルには「Poetry」(詩)という言葉が入っているが、詩の授業をするのではなく、様々な映画に関する英文読解の授業を行う。

外国語

科目名	担当者名
英語ⅡD	たんしひろまさ 丹治弘昌

講義のねらい

法廷について英語でドラマ化したものを通じて、法律用語の基礎知識を身につける。

講義の内容・授業スケジュール

4月-6月 3本のDVD作品より、印象的な場面を取り出し、表現文法を学ぶ。
7月初め、表現のまとめおよび期末テスト
9月-11月 2本のDVD作品とその原作を比較鑑賞して、英語表現への理解を深める。
12月初め、期末テスト

成績評価の方法

日常の出席および発表を重視する。テストは年2回、期末の授業の中でおこないます。

教科書

教場にて指定

科目名	担当者名
英語ⅡD	そうまよしあき 相馬美明

講義のねらい

これまで培ってきた英語力を基礎として、様々な英語の運用能力(発話・読解・聴解)を身につける。教科書の読解を通じ、精読、多読の両面から、英語そして日本語訳に対する理解を深める。また、種々の検定試験対策として、適宜 TOEIC のリスニング・セクションの問題等にも触れ聴解力を高めてゆく。

成績評価の方法

全授業日数の2/3以上の出席を基本とし、前期・後期に行う試験、及び授業で行う小テスト、また授業態度等を含め総合的に評価する。

教科書

Mituko Sugawara 10-Minute Listening (Introductory) (桐原書店) 780円
和田晋一・大東俊一他『*Your Access To The Future* (国際社会へ英語でアクセス)』(南雲堂フェニックス) 1,800円

科目名	担当者名
英語ⅡD	まきの 野輝良

講義のねらい

英文の原書講読に役立つように長文を構文、内容の理解を目指して読み進める。

講義の内容・
授業スケジュール

テキストを出来るだけ正確に読む訓練をする。

履修上の留意点

授業はよく予習しておくこと。

成績評価の方法

授業中の発表、宿題提出、試験の結果等を総合的に評価する。

教科書

『真の国際化とは』（成美堂）980円
ISBN4-7919-1236-5

科目名	担当者名
英語ⅡD	あしもと しげかず 岸本茂和

講義のねらい

人間の生活にとってもっとも重要な要素である「食」について読む。

講義の内容・
授業スケジュール

1年間でできるかぎりの分量をこなしたい。つねに基礎に戻り精読と速読をまじえて授業をすすめるつもり。夏季休暇には課題を課すことになるであろう。

履修上の留意点

授業にはかならず英和辞書をもってくる。予習は必須。

成績評価の方法

出欠席を勘案しつつ試験結果を重んじる。試験は前期・後期の2回。全授業日数の3分の1以上欠席のばあいは「不可」とする。

教科書

『食の文化と伝統』（成美堂） 定価 1,700円

科目名	担当者名
英語ⅡD	いしはら こうさい 石原孝哉

講義のねらい

現代英語の総合的理解力の向上を目指します。

講義の内容・
授業スケジュール

教科書のほか、英字新聞から適宜、その時々話題をプリントで配布して勉強します。新聞でよく使う「法律用語」などについても学習します。

履修上の留意点

意欲的な学生の受講を望みます。

成績評価の方法

中間、期末試験のほか、レポート、出席率などを総合的に判断します。

教科書

Looking Backward（南雲堂）1,800円 配布プリント

科目名	担当者名
英語ⅡD	ひやま すすむ 松山 晋

講義のねらい

英文の読解力向上。

講義の内容・
授業スケジュール

(前期) 基礎を固める。(後期) 応用力を伸ばす。

履修上の留意点

私語厳禁。授業中何度も発言を求める。欠席・遅刻回数等は自己管理すること(問合せには応じない)。携帯電話を授業中に鳴らした者は退室。毎回小テストを行う。

成績評価の方法

小テスト、出席、授業参加、発表等の平常評価50%、前期・後期試験50%。全授業日数の3分の1以上を欠席した者は自動的に不合格。3回以上連続して欠席した場合は説明する文書と診断書等を提出(未提出者は名簿から削除)。

教科書

第一回目の授業で指示。

外国語

科目名	担当者名
英語ⅡD	まなご ひさあき 真 砂久晃

講義のねらい

法学部2年次生の購読授業。社会科学系の英語の読解力向上を目指す。

講義の内容・
授業スケジュール

初回の授業でオリエンテーションをする。必ず出席すること。

履修上の留意点

出席が3分の2未満の学生は単位を取得できない。但し、正当な理由のある欠席に関しては考慮する。

成績評価の方法

成績 = (前期の成績 + 後期の成績) ÷ 2
前期、後期共、成績は
(100点満点) = 出席点 (20~30%) + テスト (70~80%) となる。

教科書

『*The Poetry of Film*』(金星堂) 1,900円 税別
ISBN4-7647-0977-5

その他

教科書のタイトルには「Poetry」(詩)という言葉が入っているが、詩の授業をするのではなく、様々な映画に関する英文読解の授業を行う。

科目名	担当者名
英語ⅡD	ほんまとしかず 本間俊一

講義のねらい	教科書の英文の理解とその応用表現を中心として学びながら、話題は英米文化圏の日常生活、そして彼らの思考、さらに日本との比較に及ぶ。通常の授業は前もって学習する予定を発表し、予習を前提に授業を進める。さらに、年間を通じていくつか課題の提出を要求するつもりである。学習においては、もちろん細部にこだわるつもりであるが、あまり細部にこだわり過ぎて全体観を失うことは愚かなことであるから、時には相手に大きな誤解を与えない程度に大胆に要約する能力を養えるようにする
講義の内容・授業スケジュール	近年の情報革命はかつてない様相を呈し、ITやE-Mail、ECなどによってinternationalという言葉ではなくglobalという言葉で世界を説明しなければならない時代に突入した。このような時代にあつて英語教育の世界も極めて刺激的な段階に至つたように思える。ある意味では、変革期は混乱を生み出すことにもなるのだが、私はこれらのNew Mediaを学習の動機づけととらえ、今日的な話題を提供するつもりである。学生諸氏も、これを機会にコンピューター・ネットワークに習熟することが望まれる。毎回、作品の全体を視野にいれながら、細部に注目し、各自が一部を責任もって発表する予定。パソコン・ネットワークを利用した、英語自習、研究の発展、相互のコミュニケーションに及ぶつもりである。
成績評価の方法	前期・後期の二回のテストと不定期に要求されるレポートによって評価される。又、普段の出席回数、授業中の発表も加味される。
教科書	<i>Let's Enjoy Economics</i> (南雲堂) 1,957円 ISBN4-523-17289-7

科目名	担当者名
英語ⅡD	たかやなぎふみえ 高柳文江

講義のねらい	世界の中で現在生じている様々な問題を理解するのに欠かす事のできない、環境、戦争、宗教、科学等について英語で学びます。
講義の内容・授業スケジュール	章毎のトピック文を基にまずそのListeningとComprehensionを行います。その後、語彙、慣用句、文法についての演習問題を通し、更なる理解を深めます。
履修上の留意点	授業の性質上、予習が必ず必要です。単位取得には2/3以上の出席が要求されます。座席指定。
成績評価の方法	試験(前期試験・後期試験)60%、日常点(出席、小テスト、提出物、授業への取り組み)40%。
教科書	『World Today—文化の諸相』(鳳書房)1,800円
参考書等	テープ、ビデオ教材使用

科目名	担当者名
英語ⅡD	増田恵子

講義のねらい

リーディングの基礎を固めながら、より多くの英文をより速く、しかも正確に読む能力を身につける。

講義の内容・授業スケジュール

授業では音読、訳、内容解釈などの発表をしてもらうので、単語調べ等の予習が必要となる。

履修上の留意点

積極的に授業へ参加することが望ましい。

成績評価の方法

出席回数、発表や提出物、前・後の定期試験を総合的に判断して評価する。

教科書

『Viewpoints in Law』（マクミランランゲージハウス）1,800円
ISBN4-89585-235-0 C3082

外国語

科目名	担当者名
英語ⅡD	飯沼好永

講義のねらい

日本および世界が抱えるさまざまな問題を題材とした英文や欧米の学者の著した英文を読み、難易度の高い英文でも、正確に内容を把握できる読解力を養っていきたい。

履修上の留意点

授業は予習を前提として進めていきます。

成績評価の方法

出席状況、授業への取り組み方、課題、定期試験等を考慮して行う。平常評価（50%）、前期・後期試験（50%）

教科書

開講時に指示します。

科目名	担当者名
英語ⅡD	榎山晋

講義のねらい

総合的な英語能力の向上。

講義の内容・授業スケジュール

（前期）基礎を固める。（後期）応用力を伸ばす。

履修上の留意点

私語厳禁。授業中何度も発言を求める。欠席・遅刻回数等は自己管理すること（問合せには応じない）。携帯電話を授業中に鳴らした者は退室。毎回小テストを行う。

成績評価の方法

小テスト、出席、授業参加、発表等の平常評価50%、前期・後期試験50%。全授業日数の3分の1以上を欠席した者は自動的に不合格。3回以上連続して欠席した場合は説明する文書と診断書等を提出（未提出者は名簿から削除）。

教科書

第一回目の授業で指示。

〔ドイツ語〕

科目名	担当者名
ドイツ語ⅠA	かわかみかずひと 河上和史

講義の内容・ 授業スケジュール

近代化の歩み、敗戦とその後の経済的繁栄など、ドイツは日本と多くの共通点を持つ国です。しかしその一方、ドイツは日本と対照的な面も多く持っています。今、我々と我々の国が直面している様々な問題を考えようとするとき、「ドイツ」はいろいろなヒントを与えてくれるはずです。知っているようで意外に知らない「ドイツ」、そして「ヨーロッパ」とあらためて出会うために、これから一年間「もう一つの外国語」を学びます。授業は単に「文法」の習得だけでなく、「話す」練習にかなり時間を使い、またビデオなどによって多角的で楽しいものにするつもりです。

成績評価の方法

授業と試験を総合して判断する。

教科書

「独和辞典」は必ず必要ですが、最初の授業でいくつか紹介しますので、あわてて買う必要はありません。教科書は「プリント」を使います。

科目名	担当者名
ドイツ語ⅠB	しばのひろこ 柴野博子

講義のねらい

この授業では、ドイツ人の生活や文化についてのある程度まとまった文章を読んで、文法で学ぶ表現形式が実際の場でどのように使われているかを見ていきます。ドイツ語の学習を通して、ドイツの文化にも関心を持っていただければと思っています。

履修上の留意点

ドイツ語の勉強には、一歩一歩積み重ねていくことが非常に大切です。できるだけ休まずに出席して下さい。

成績評価の方法

年3回の試験と、平常の学習態度を総合して評価します。

教科書

小塩節『希望のドイツ語（新訂版）』（朝日出版社）2,300円

科目名	担当者名
ドイツ語ⅡA	しばのひろこ 柴野博子

講義のねらい

中級程度の文章で書かれた、ドイツ人のものの見方をテーマにしたテキストを読んでいきます。私達が、ドイツあるいは日本文化について考えるきっかけになれば、と思っています。

講義の内容・ 授業スケジュール

はじめは、1年生の文法を復習あるいは補足しながら、ゆっくり進んでいきます。後半は、少し速度を早め、11月にはテキストを読み終える予定です。予定通りに進めば、12月には更なる長文を読んでみましょう。

履修上の留意点

ドイツ語の勉強は、短い時間でも、毎日つづけることが大切です。予習、復習をして、特別の事情がない限り、毎回出席して下さい。

成績評価の方法

年3回の試験と、平常の学習態度を総合して評価します。

教科書

大谷弘道『ドイツ人を知る9章』（三修社）2,500円

科目名	担当者名
ドイツ語ⅡA	やぶ した こう いち 藪 下 紘 一

講義のねらい

1年生で習った知識を基にして、やさしい文を訳してみます。単語と言い回しが一寸むづかしいかもしれませんが、解説がたくさんあるので、何んとかかります。

成績評価の方法

評価は中間試験（7月）と1月の年度末試験で（50点満点の試験を2回）決めますが、平常点も、出席も加味します。

教科書

『ドイツ人の一生』（朝日出版社）1,900円＋税

外国語

科目名	担当者名
ドイツ語ⅡA	しば の ひろ こ 柴 野 博 子

講義のねらい

中級程度の文章で書かれた、ドイツ人のものの見方をテーマにしたテキストを読んでいきます。私達が、ドイツあるいは日本文化について考えるきっかけになれば、と思っています。

講義の内容・授業スケジュール

はじめは、1年生の文法を復習あるいは補足しながら、ゆっくり進んでいきます。後半は、少し速度を早め、11月にはテキストを読み終える予定です。予定通りに進めば、12月には更なる長文を読んでみましょう。

履修上の留意点

ドイツ語の勉強は、短い時間でも、毎日つづけることが大切です。予習、復習をして、特別の事情がない限り、毎回出席して下さい。

成績評価の方法

年3回の試験と、平常の学習態度を総合して評価します。

教科書

大谷弘道『ドイツ人を知る9章』（三修社）2,500円

科目名	担当者名
ドイツ語ⅡA	いい づか きみ お 飯 塚 公 夫

講義のねらい

一年で習ったドイツ語の補習とその応用。辞書を引くことに慣れること。勉強する根気を養うこと。

講義の内容・授業スケジュール

おおよそのスケジュール

前期前半：一年の文法の復習と、未修部分があればその部分の補習（コピー練習問題中心）

前期後半：練習問題と平行して、映画をみながらテキストである映画のシナリオの読解。

後期：映画をみながら、テキストであるシナリオの読解。（映画の内容：元刑事のタクシー運転手とトルコから連れてこられて犯罪の手先に使われるクルド人少年の心の交流を温かくかつクールに描いたもの）

履修上の留意点

辞書を毎回持ってくる（完全に予習している人は持ってこなくてもよろしい）。予習が必要になるので、予習時間を自分の生活スケジュールに組み込める人の参加が望ましい。

成績評価の方法

前期後期各1回の筆記試験及び平常点（＝発表点）

教科書

Uwe Timm: Eine Hand von Gras (ISBN:3-462-02916-9)。本が欲しい人は自分で洋書店で注文してください。そうでない人にはコピーを用意します。

科目名	担当者名
ドイツ語ⅡB	飯塚公夫 <small>いいづかきみお</small>

講義のねらい	一年で習ったドイツ語の補習とその応用。辞書を引くことに慣れること。勉強する根気を養うこと。
講義の内容・授業スケジュール	おおよそのスケジュール 前期前半：一年の文法の復習と未修部分があればその部分の補習（コピー練習問題中心） 前期後半：練習問題と平行してテキストの読解 後期：テキストの読解 （テキストは昨年ⅡAで使用のものと同じだが、昨年の続きの部分、つまり収容所の生活が始まる7章の24ページから始まります。それまでのあらすじを最初に説明します。）
履修上の留意点	辞書を毎回持ってくること（完全に予習をしている人は持ってこなくてもよい）。予習が必要になるので、予習時間を自分の生活スケジュールに組み込める人の参加が望ましい。
成績評価の方法	前期後期各一回の筆記試験及び平常点（＝発表点）
教科書	Rolf Kralovitz 著「ブーヘンヴァルト10090」（同学社）1,500円

科目名	担当者名
ドイツ語ⅡB	森 公 成 <small>もりこうせい</small>

講義のねらい	ドイツ語ⅡAとⅡBを基礎とした、初級から中級にかけての講読中心の授業です。文法の復習をしながら、いろいろなタイプのドイツ語に触れます。ドイツの歌もいくつか紹介します。
講義の内容・授業スケジュール	用意したプリントによって授業を行います。最初はゆっくりと進めますが、じょじょにスピードアップをはかります。
履修上の留意点	最初の授業時にドイツ語で読んでみたいものを書いていただきますので、あらかじめ考えておいてください。授業への積極的な参加を希望しています。また、3分の1以上休んだ場合は（遅刻と早退は2回で1回休みとみなします）、原則として定期試験の成績いかに関わらず、単位の修得ができませんのでくれぐれも注意してください。
成績評価の方法	定期試験（年2回）、出席率、夏期休暇中の課題、授業態度等から総合的に判断、評価します。
教科書	テキストはこちらで用意します。

科目名	担当者名
ドイツ語ⅡB	堀内美江

講義のねらい

今年はサッカーの世界カップがドイツでおこなわれます。日本と長い関係を持ち、親日の人も多いドイツは、日本と同じ歴史を歩みながらも様々な点で学ぶことも多い国でもあります。
この授業では、ドイツの文化や社会に具体的に触れながら、いつドイツに行っても困らないくらいのドイツ語及びドイツについての知識を学んでもらえればと願っています。

講義の内容・授業スケジュール

1年次に学んだ知識を再確認しながら、聞く、話す、読む、書くという能力をバランスよく養成していきます。
前期：1年次の復習に重点を置きながら、ヒアリング練習などを通して実用的なドイツ語の力をつけていきます。
後期：ドイツの日常生活の中で、自分から情報を発信したり、相手に反応できる力を養っていきます。

履修上の留意点

毎回必ず文法の復習をしますので、あせらずに参加して下さい。又、辞書は毎回持って来るようにしましょう。楽しく身になる授業を心がけますので、質問、リクエストがあればいつでも遠慮なく来て下さい。

成績評価の方法

出席、前後期試験、その他平常点などを含めた総合評価をおこないます。

教科書

近藤／小林／新倉／松尾著『Dialog ステップアップ版』（郁文堂）2,400円
ISBN4-261-01192-1

科目名	担当者名
ドイツ語ⅡC(会話)	堀内美江

講義のねらい

ドイツは今日本文化が、日本食からアニメや盆栽などに至るまで注目をあびています。日本人と話したいと思っているドイツの人達も少なくありません。皆さんがドイツ人と知り合っ
て、そしておしゃべりすることができたら、皆さんの世界は一気に広がることでしょう。
この授業では、自分のことを伝えたり、相手のことを聞き取ったりといった練習を具体的場
面を想定して繰り返しおこないます。

講義の内容・授業スケジュール

前期：空港で、ホテルで、駅で、レストランで——さまざまな場面を想定しつつ、旅行で使え
そうな初歩的な日常会話を学びます。
後期：日帰り旅行をしたい、何かの行事に参加してみたい、短期に滞在してみると——ドイツ
に住む時に役立つレベルの会話表現に触れていきます。

履修上の留意点

会話の授業ですが、文法的な知識も確認しながら進めていきますので安心して毎回授業に参加して下さい。できるだけたくさんドイツ語を口にしてみましょう。

成績評価の方法

出席と数回の会話チェックなどを含めた総合評価をおこないます。

教科書

プリント配布（予定）

科目名**担当者名**

ドイツ語ⅡD

し ま と み え
志 真 斗美恵外
国
語

講義のねらい

ドイツ語の入門を一通り終えた方たちが、これまで学習したドイツ語の知識を確認しながらさらに能力を深めていくことを目標とします。

講義の内容・
授業スケジュール

初級文法を復習しながら、日常的ないまわしによる文章を読み、さらに練習問題によって、実用的な表現練習にとりくんでいきます。
前期は、下記のテキストで、初級文法の復習をしながら、辞書を自由に使えるよう練習を繰り返します。また同時に、テキストを通じて、ドイツの社会状況にも慣れ親めるようにします。後期は、プリントも加える予定です。

履修上の留意点

欠席は極力避け、授業に積極的に参加することを特に望みます。(辞書を毎回持参のこと)

成績評価の方法

平常点と前・後期試験で総合的に評価します。

教科書

『ドイツ語の時間〈初級読本インゲとツヨシ〉』（朝日出版社）2,400円

〔フランス語〕

科目名	担当者名
フランス語 I A	伊藤 なお

講義のねらい

一年かけてフランス語文法の基礎を習得します。

講義の内容・ 授業スケジュール

日常よく使われる単語と表現を用いて基礎的な文法を体系的に学んでいきます。テキストにそって各文法事項を理解したうえで、数多くの練習問題に取り組みます。発音練習と音読に力を注ぎます。

履修上の留意点

授業にはただ出席するだけでなく、積極的に参加して下さい。毎回与えられる宿題を必ずしてから授業に臨んで下さい。

成績評価の方法

平常点、小テスト、前・後期試験によって判定します。

教科書

伊勢晃、谷口千賀子『ウワラ!』（早美出版社）本体2,100円

外国語

科目名	担当者名
フランス語 I B	遠山 博雄

講義のねらい

ある程度まとまったやさしい文章やスケッチを読み取り、発音できるようになること。

講義の内容・ 授業スケジュール

必要な文法事項の説明をしてから、辞書を使って応用していきます。リスニングと発音練習もあわせて行ないます。

履修上の留意点

必ず辞書を持って出席し、自分で取り組むこと。大きな声を出すこと。遅刻をして説明を聞きもらさぬこと。

成績評価の方法

筆記試験を2回行います。その中にリスニングも含まれます。

教科書

藤田裕二他著『新・東京一パリ、初旅行』（駿河台出版社）2,310円
ISBN4-411-01097-6

参考書等

最初の授業で仏和辞典のガイダンスをします。

科目名	担当者名
フランス語Ⅱ A	くわ た のり あき 桑 田 禮 彰

講義のねらい	フランス語中級。フランス語の基礎を既に習得した者を対象にします。
講義の内容・授業スケジュール	比較的簡単で興味深い最新の時事フランス語の文章を読んでいます。発音の基本を確認しつつ、文法事項についても、できるかぎり分かりやすく説明するつもりです。フランス語の基礎を終えた人は、ぜひこの授業で、もう一步踏み込んだフランス語の魅力、フランスの魅力に触れてください。
履修上の留意点	最も重要なのは、もちろん授業への出席です。一回一回の出席を大切にしてください。
成績評価の方法	ふだんの授業での評価をベースにして、年二回の試験の成績で決定します。
教科書	荒木善太他著『ヴァリエテ・フランセーズ2006』（朝日出版社）本体1,900円＋税
参考書等	そのつど授業で指示します。

科目名	担当者名
フランス語Ⅱ A	ぬま くら ひろ こ 沼 倉 広 子

講義のねらい	辞書を使いこなして文章を読む力をつける
講義の内容・授業スケジュール	フランスのさまざまな変化を多面的に取り上げて、写真や地図、グラフなどの資料、時にはビデオなどを見ながらフランスの今を理解する。
履修上の留意点	文法の勉強もするので、休まない事が肝要
成績評価の方法	前後期とも試験を行うが、平常点を大いに重視する
教科書	澤田直之・リリアヌ・ラタンジオ・黒川学著『アミカルマン—フランス語・フランス文化への誘い—』 駿河台出版社 2,625円

科目名	担当者名
フランス語Ⅱ A	と お や ま ひろ お 遠 山 博 雄

講義のねらい	辞書を使ってやさしいフランス語の文章やスケッチを読み、発音すること。口語的な有用表現を覚えること。後期はフランスの社会や時事問題についての知識をフランス語を通じて学ぶこと。
講義の内容・授業スケジュール	1年次でやり残した文法事項の説明をまずすませ、その他の文法事項は復習したり追加しながら、辞書を片手に精読していきます。リスニングも行います。
履修上の留意点	必ず辞書を持って出席し、自分で調べて取り組むこと。発音をおろそかにしないこと。
成績評価の方法	2回の筆記試験を行いません。その中にリスニングも含まれます。
教科書	澤田直他著『アミカルマン』（駿河台出版社）2,625円 ISBN4-411-01093-3

科目名	担当者名
フランス語ⅡA	まえだのりかず 前田 祝一

講義のねらい

レベルを中級フランス語に設定します。したがって、一年生で学んだフランス語の後半部分を学習し直し、さらに豊かなフランス語の世界への参入を試みます。

講義の内容・授業スケジュール

テキストに沿って進め、細かいニュアンスの把握にも挑戦しましょう。

履修上の留意点

初級フランス語ⅠA・ⅠBの単位の未修者は、自分で参考書などで勉強する覚悟でいて下さい。

成績評価の方法

基本的には前・後期のペーパー・テストで成績を評価しますが、授業中の課題や出席の状況にも配慮します。

教科書

柳沢・小田切編『ギリシャ神話2——エロスとオルベウス——』（第三書房）1,200円

科目名	担当者名
フランス語ⅡB	すがやあたる 菅 谷 暁

講義のねらい

教科書はフランスの最近の新聞や雑誌の記事をやさしく書き直したものです。フランス語を読む力を養うとともに、フランス文化についての理解を深めます。

成績評価の方法

前期末と後期末の試験によります。

教科書

ボームルー著『セレクション・時事フランス語1997-2002』（朝日出版社）1,800円

その他

毎回数人の担当者をあらかじめ決めておくので、その者は担当部分を正確に発音し、訳せるようにしておいてください。なお必要な文法事項は詳しく説明し、発音はカセットテープを利用して練習します。

科目名	担当者名
フランス語ⅡB	はたなかちあき 畑 中 千 晶

講義のねらい

リスニング力を強化しながら、フランス語でコミュニケーションする能力を身につける。

講義の内容・授業スケジュール

初回の講義の際に年間スケジュールを配布します。

履修上の留意点

自宅学習とクラスでの活動を連動させることで、力が伸びていきます。宿題には必ず取り組むようにしてください。

成績評価の方法

前期末試験30%、学年末試験30%、平常点（宿題、小テストなど）20%、夏期休暇の課題10%、出席10%

教科書

中井珠子『コミュニケーションのためのフランス語リスニング入門（教科書版）』（白水社）1,800円

科目名	担当者名
フランス語ⅡC(会話)	おのひでし 大野英士

講義のねらい	少なくとも1年間、フランス文法・会話等フランス語の基礎を学んだ学生を対象に、日常的な会話を中心に、文法・表現やコミュニケーション能力を養成するクラスです。
講義の内容・授業スケジュール	教科書の各章は Dialogues (会話)、文法事項の解説、応用練習、応用会話練習で構成されています。一応、教科書に沿って進みながら、演習や会話練習を行います。
履修上の留意点	語学の授業は、教える側の技術や熱意ばかりでなく、授業の参加者がどの位熱心に授業に取り組むかで大きく効果が違ってきます。教科書にはCDが付属していますので、予習段階から積極的に活用し、スケッチや問題を暗記する位聞きこんで下さい。
成績評価の方法	出席点、前・後期末試験で総合的に評価します。
教科書	沼田五十六、松村博史他著『カジュアルにフランス語』(朝日出版社) 2,200円
参考書等	授業開始時に教室で指示します。

科目名	担当者名
フランス語ⅡD	こだまなりお 小玉齊夫

講義のねらい	時事関係のフランス語文を読みながら、現在のフランスの世相といったものへの理解を深めることを目的にします。
講義の内容・授業スケジュール	教科書は、フランスの「10歳前後の子供」のための新聞記事ですが、残念ながら、そんなに簡単な文ではありません。前期の最初の頃は、文法的な項目の復習も含めて、ゆっくりと読んでいき、後期からは、少し早めに、かつ多量に、読み進み、場合によっては長いフランス語文の要約の練習も試みようと思っています。
履修上の留意点	予習・復習を必ずしてから、出席すること。授業には初級文法の教科書ならびに辞書(仏和)を持ってくること。
成績評価の方法	ふだんの授業への「参加」状態、提出物の評価、さらに、前期および後期の試験(後期の方を重視)によって成績評価をします。出席は、特別な理由がある時を除き、するのが当たり前です。よって、「出席点」などは設定しません。
教科書	瀧川 等 編著 『やさしく読めるフランス語新聞 (2006年度版)』 (第三書房 1,700円) ISBN4-8086-2676-4 C1085

中国語

中国語ⅠA・ⅠB

中国語の入門クラス。発音と文字（簡体字）そして文法の基礎を学ぶ。授業では、まず「ピンイン」というローマ字表記を使って発音を学び、次いでその表記法によりつつ基本的な文法・句型等を学んでゆく。「ピンイン」表記を最初にしっかり覚えないと、その後の学習がほとんど不可能になる（漢字で書かれているので他の外国語より易しいというのは、誤った俗説である）。

ⅠA-ⅠBという週2コマの授業を通して1冊の教科書を使用する。ⅠA-ⅠBの組み合わせは固定されており、それを一人の教員が担当する場合と、二人の教員が共同で担当する場合とがある。いずれにしても必ずその2コマを1セットで履修しなければならない。

中国語の学習には自分の口と耳を使った教室での実地練習がきわめて重要である。休まず出席し、教員の指導のもと、積極的に練習を行ってほしい。出席は成績評価においても重要な判断材料となる。そのほか年間を通じての各種小テスト、中間・定期試験、課題提出、および授業中に見られる実際の習熟度等々に基づいて最終的な成績評価がなされる。日頃の努力の積み重ねが不可欠であり、定期試験のときだけ一夜漬けで乗り切るということは絶対に不可能である。

中国語ⅡA

ⅠA-ⅠBの学習を基礎としつつ、ピンイン付の長文を学び、中級程度の読解力・文法的理解力を養う。正確な読解は、読み書きだけでなく、話したり聞いたりするための基礎ともなるものである。

授業は、各担当者によって多彩な内容が用意される。文学的なもの、中国の社会や文化の理解に役立つもの、文法学習を主とするもの、またいろいろな文章の抜粋を読むもの、1~2編の、まとまった作品をじっくり読み上げるもの、等々である。いずれの場合も、発音と基礎文法の復習・定着、やや複雑な中級程度の語彙・文法・句型の学習、そして長文の論理展開や文章構成の把握、といったことが目標となるであろう。また、それと同時に、教材を通して、表面的な知識や情報にとどまらない、内在的な中国理解の眼を養ってもらいたいと思う。

中国語ⅡB

ⅠA-ⅠBの学習を基礎としつつ、簡単な内容の文を言ったり書いたりすることのできるような、初歩的な表現力の獲得を目指す。長文読解中心のⅡAに対し、ⅡBの教材は短文の会話体を主とするもので、内容理解だけならさほど難しくはないであろう。ここで目標とされているのは新たな知識の拡張よりも、むしろ既修の知識を血肉化させ、それを「使える」ようにすることなのである。つまり、「発信型」の語学力の土台を築こうというわけである。そのため毎回の授業に休まず出席するのはもちろんのこと、教室で行われる練習に積極的に参加し、なるべく多くの反復練習をこなすよう努めてほしい。成績評価の原則は、上記ⅠA-ⅠBに準ずる。

中国語ⅡD

現在の中国の社会情勢を知ることができるよう、時事的内容のテキストを用いて行われる中国語の授業である。

但し、内容は時事的であっても、社会情勢の解説を主にする授業ではない。あくまで、中国語の文章が読めるようになるための授業である。

【辞書について】

1年次の授業は辞書の購入を前提とせずに進められる。最初から中国語の勉強は1年限りと決めてしまいうなら、辞書なしで済ませることはできる。しかしそういう人にとっても、1年間の学習をより実りあるものとするために、次の辞書は役に立つことだろう。

相原茂『はじめての中国語学習辞典』(2002年 朝日出版社) 2,800円

2年次以降も中国語学習を続ける場合、辞書の購入は必須である。近年は中国語の辞書の出版が相次いだが、特に以下の2点が薦められる。

商務印書館・小学館『中日辞典〔第2版〕』(2003年 小学館) 語法解説や図版豊富。6,300円

相原 茂『講談社中日辞典〔第2版〕』(2002年 講談社) 全例文にピンイン付き。6,500円

より手軽なサイズと価格では次の2点も推薦できる。しかし、学習の伴侶として息長くおつきあいすることを考えれば、思いきって奮発したほうが結局は「得」である。

松岡榮志『クラウン中日辞典』(2001年 三省堂) 4,000円／『小型版』(2004年) 2,800円

武信 彰『プログレッシブ中国語辞典』(1998年 小学館) 3,500円／『コンパクト版』(2004年) 2,600円

また、これらよりさらに小型のものや、中日・日中を1冊で間に合わせる類の辞書は薦められない。

なお、下の2点も、初学者向けではないが、中級から上級以降の学習や研究に十分耐え得る内容をもつ優れた辞書である。

伊地智善継『白水社中国語辞典』(2002年 白水社) 7,800円

愛知大学中日大辞典編纂処『中日大辞典〔増訂第二版〕』(1987年 大修館書店) 8,600円

日中辞典は授業では必須としないが、次のものが手元にあれば重宝するであろう。

対外経貿大学・商務印書館・小学館『日中辞典〔第2版〕』(2002年 小学館) 7,000円

倉石武四郎、折敷瀬興『岩波日中辞典〔第2版〕』(2001年 岩波書店) 5,000円

科目名	担当者名
中国語ⅠA	いわ さま びし 岩 崎 皇
中国語ⅠB	

講義のねらい

中国語という言葉を経験してもらうことが目標です。とりわけ発音が重要ですから、繰り返し練習します。

講義の内容・授業スケジュール

ビデオを利用しつつ、テキストに沿って練習していきます。

履修上の留意点

授業にはすべて出席することが前提です。やむを得ない理由(急病、急用、忌引、クラブ活動等)により欠席する場合でも、7回を越えた場合は成績評価をしませんから注意してください。

成績評価の方法

4分の3以上の出席を前提とした上で、授業態度及び試験で判断します。

教科書

遠藤光暁「北京物語」(朝日出版社) 2,500円(本体)

科目名	担当者名
中国語ⅠA	三田村 圭
中国語ⅠB	李 雲

外国語

講義のねらい

はじめに発音とピンインを集中的に学習する。その上で、簡単な会話や文章の基本表現を習得する。

講義の内容・授業スケジュール

- ①発音と声調、そしてピンインをはじめに学習する。反復練習を通して、中国語の学習方法を身につける。
- ②教科書の進度にしたがって、応用会話や作文の練習を行う。

履修上の留意点

出欠は成績に加味するので、欠席数の多い学生は単位取得が難しい。

成績評価の方法

前期後期の中間試験と期末試験（全4回）と、授業態度と発表などの平常点での総合評価。

教科書

牧田英二・楊立明『新編例文中心初級中国語』（同学社）2,300円

その他

履修登録時に、ペアの先生に注意すること。

科目名	担当者名
中国語ⅡA	秋元 翼

講義のねらい

日本語の中に溶け込んでいる故事成語の由来を中国語で読んでいく。初級文法を復習しながら正確な意味の把握ができるよう読解力を養う。

履修上の留意点

新しい単語がたくさん出てくるので予習・復習を欠かさず授業に臨むこと。また、音声面もおろそかにしたくないので、目で字を追うだけでなく、音読にも力を入れたい。出席を重視する。4分の3以上の出席を要する。

成績評価の方法

平常の学習態度や到達度と、期末のテストの結果によって総合的に評価する。

教科書

荒屋勸『日本に生きる中国語－故事成語編－』（朝日出版社）1,785円

科目名	担当者名
中国語ⅡA	佐藤 普美子

講義のねらい

中国語Ⅰで習った文法事項を復習しながら最後のユニットでは中国人が書いた文章を読めるように、段階的に学習を進めていきます。

講義の内容・授業スケジュール

各課の本文は「暗記」、練習問題は「宿題」とし、翌週にチェックします。

履修上の留意点

とにかく「出席する」ことと、声に出して課文を復習することが大切です。

成績評価の方法

前後期末試験、出席点、暗記・宿題等の平常点を総合して評価。

教科書

董燕・遠藤光暁『読む中国語』（朝日出版社）2,310円

科目名	担当者名
中国語ⅡA	李 雲
講義のねらい	講読と文法をかねたテキストを用いて、易しい読み物を通して中国語の発音、基礎的な文法の勉強を行う。
講義の内容・授業スケジュール	下記のテキストを使用し、だいたい3週間に2課の進捗で授業を進めていく。
履修上の留意点	授業中、私語をしないこと。ちゃんと予習と復習をすること。
成績評価の方法	出席状況、日常の学習態度、並びに小テストによって成績評価を行います。
教科書	阪口直樹等『ストラクチャー—構造から学ぶ入門中国語』（朝日出版社）2,415円

科目名	担当者名
中国語ⅡA	岩崎 皇
講義のねらい	中国語の文章を読むための文法知識の獲得及び語彙を増やすことが目標です。テキストはウイグル族に伝わる小話集ですが、主人公阿凡提の名を知らない中国人はいないほど、広く親しまれています。
講義の内容・授業スケジュール	授業は、始めに本文を各自訳してもらった後、解説をするという形になります。単語のプリントを配布しますが、まず自分で訳さなければなりません。その際、疑問点は自由に質問して構いません。
履修上の留意点	授業にはすべて出席することが前提です。やむを得ない理由（急病、急用、忌引、クラブ活動等）により欠席する場合でも、7回を越えた場合は試験結果に関わらず成績評価をしませんから注意してください。
成績評価の方法	4分の3以上の出席を前提に、授業態度、試験結果から評価します。試験は年間4回行います。授業中に日時範囲等説明しますから、欠席しないよう注意してください。
教科書	大川完三郎『阿凡提的故事』（朝日出版社）1,260円

科目名	担当者名
中国語ⅡA	橋本 幸枝
講義のねらい	あまり長くなく、比較的読み易い文章をきちんと読めるようになることを目指す。既習の文法を定着させ、更に補語や複文表現を学ぶ。また発音をしっかり習熟させる。
講義の内容・授業スケジュール	本文がきちんと訳せるかチェックし、単語の意味、文章構造、文法事項を解説する。練習問題により理解できたか確かめる。2週間に1課の目安で進めていく。
履修上の留意点	欠席しないように。課題をしっかりとやってくること。
成績評価の方法	出席状況、授業態度、課題、前後期の期末テストで総合的に評価する。
教科書	王曙光『中文大世界』（白帝社）2,625円

科目名	担当者名
中国語ⅡA	福地桂子

講義のねらい

自分で辞書をひいて、簡単な文章が読めることを目指す。
文法は中国語Ⅰで学んだ基礎を定着させ、さらに接続詞を使った複文を学ぶ。
中国語Ⅰに引き続き、正確な発音の練習に力を入れる。
中国の社会文化に対する理解を深める。

講義の内容・授業スケジュール

中国事情を紹介した文章を読む。
文法事項を体系的に把握する。
下記の教科書を用い、だいたい2週間に1課の進捗で進めていく。

履修上の留意点

必ず予習してくること。

成績評価の方法

前後期（各2回）の総合テスト、小テスト、授業での発表内容（予習してあるかどうかを重視）、出席状況を総合して評価する。

教科書

顧明耀ほか『系統的に学ぼう中国語Ⅱ 中級読解コース』（白帝社）1,890円

外国語

科目名	担当者名
中国語ⅡA	李雲

講義のねらい

講読と文法をかねたテキストを用いて、易しい読み物を通して中国語の発音、基礎的な文法の勉強を行う。

講義の内容・授業スケジュール

下記のテキストを使用し、だいたい3週間に2課の進捗で授業を進めていく。

履修上の留意点

授業中、私語をしないこと。ちゃんと予習と復習をすること。

成績評価の方法

出席状況、日常の学習態度、並びに小テストによって成績評価を行います。

教科書

三宅登之・張国璐・石黒ひさ子『公式でわかる初級中国語』（朝日出版社）2,310円

科目名	担当者名
中国語ⅡA	弘兼加奈子

講義のねらい

全12課の課文を通し、中国人の生活面における日本との違いを紹介していく。
翻訳が中心となるが、発音・声調も重視し、読みにも力を入れる。

成績評価の方法

成績は年間約4回の試験と教場での平常評価によって総合的に判断する。

教科書

張継濱・小川文昭『中国ってどんな国？』（白水社）2,100円

科目名	担当者名
中国語ⅡB	橋本幸枝

講義のねらい	正確な発音がしっかり定着すること。いろいろな場面における基本的な会話ができるようになること。平易な中国語を聞いて理解できるようになること。
講義の内容・授業スケジュール	まず発音が更に定着するよう本文の音読をする。教科書の会話文を覚え、生徒同士会話するチャンスを多く設ける。また、教科書の練習問題に添ってリスニングの練習をする。2週間に1課の目安で進めていく。
履修上の留意点	欠席しないように。課題をしっかりやってくること。
成績評価の方法	出席状況、授業態度、課題、前後期の期末テストで総合的に評価する。
教科書	陳浩・梁月軍『中国語会話ステップアップ』（郁文堂）2,415円

科目名	担当者名
中国語ⅡB	梅田雅子

講義のねらい	一年時に学習した内容を整理・復習しながら、聞き取り能力と会話能力の向上を図る。
講義の内容・授業スケジュール	毎回、新出単語から聞き取り試験を行う。本文・新出単語・文法事項などの確認の後、二人一組で会話の練習を行い、発表する。適宜、発音方法の確認と矯正を行う。
履修上の留意点	3/4以上の出席が必要。予習復習必須。辞書（日中・中日）持参
成績評価の方法	平常点（出席・授業態度・小テスト）40%、前期試験：30%、後期試験：30%
教科書	中国詩文研究会『総合現代中国語』（東方書店）1,800円

科目名	担当者名
中国語ⅡB	弘兼加奈子

講義の内容・授業スケジュール	テキストは聞き取り中心の実践的な内容となっている。後半は作文にも力を入れる。趣味や将来の夢等、自分の事を表現出来るようにしていく。
成績評価の方法	成績は年間4回の試験と教場での平常評価によって総合的に判断する。
教科書	相原茂・玄宜青『中国語スピーキング倶楽部』（朝日出版社）2,415円

科目名	担当者名
中国語ⅡB	根岸政子

講義のねらい

1年次に習得した基本文法を復習しながら、身近な会話をもとにして「読む」「聞く」「話す」を中心とした中国語の習得をめざす。

講義の内容・授業スケジュール

会話を中心としたテキストを使用し、3回で2課のペースで進めていく。

履修上の留意点

平常の反復練習が上達への鍵であるから、大きな声を出して何回も読むこと。必ず予習を行うこと。

成績評価の方法

前期後期の試験、小テスト、出席状況、授業への参加度などで評価する。

教科書

石慧敏・金子眞也『上海びより』（好文出版）2,100円

科目名	担当者名
中国語ⅡB	秋元翼

講義の内容・授業スケジュール

会話で使う基本的な表現を聞いて分かり、口に出して発音できるようにする。初級文法も復習しながらヒヤリング・会話力の基礎を養う。

履修上の留意点

音声面を主にした授業なので、できるだけ教科書から目を離して耳と口を働かせること。授業以外でもCDを聞いて中国語の音やリズムに慣れるようにして欲しい。出席を重視する。4分の3以上の出席を要する。

成績評価の方法

平常の学習態度や到達度と、期末のテストの結果によって総合的に評価する。

教科書

胡金定・吐山明月『改訂版 はじめての中国語会話ツール24』（同学社）2,625円

科目名	担当者名
中国語ⅡB	岩崎皇

講義のねらい

授業は中国語の音声的訓練が中心になります。授業中はきちんと声を出すよう努力してください。本文を覚えることが何より大切です。

講義の内容・授業スケジュール

テキストに沿って、付属のビデオを見ながら、進めていきます。実際の画像を見ることによって雰囲気まで理解できることでしょう。

履修上の留意点

授業にはすべて出席することが前提です。やむを得ない理由（急病、急用、忌引、クラブ活動等）により欠席する場合でも、7回を越えた場合は成績評価をしませんから注意してください。

成績評価の方法

4分の3以上の出席を前提に、授業態度、テストによって評価します。テストは年間4回以上行います。欠席しないよう注意してください。

教科書

遠藤光暁「話す中国語北京篇2」（朝日出版社）2,625円

科目名	担当者名
中国語ⅡC(会話)	うえ ぼら 上 原 かおり

講義のねらい	中国語学習の基礎である音節の聞き取りと発音に力を入れ、基本的な表現方法を学んで、中国語会話能力の土台作りをします。
講義の内容・授業スケジュール	前期のはじめに中国式ローマ字表記(ピンイン)の発音の復習から始め、その後、教科書にしたがって基本的な語彙と文法事項を含んだ例文や会話文を口頭で繰り返し練習していきます。
履修上の留意点	欠席せず、予習、復習を行ない、授業中は恥ずかしがらず大きな声で積極的に参加してください。
成績評価の方法	出席状況、小テスト(聞き取り、暗唱等)、定期試験によって総合評価します。
教科書	中国語文教育研究会・王廸主編『加油!加油!』(白帝社) 2,625円
参考書等	授業中に紹介します。

科目名	担当者名
中国語ⅡC(会話)	みや もと あつ こ 宮 本 厚 子

講義のねらい	一年生で学んだ単語や構文を元に、口に出して言えるように訓練する。
講義の内容・授業スケジュール	教科書に沿って、発音、声調の矯正を行いつつ進める。
履修上の留意点	発音の練習に積極的に取り組むことが求められる。
成績評価の方法	学期末の2回のほかに、各学期に1回ずつ中間テストを行う。試験は口頭のほか、適宜筆記試験も行う。出席などの平常点とテストの両方で評価する。
教科書	守屋宏則、柴森著『中国語フィットネスエイト』(朝日出版社) 2,205円

科目名	担当者名
中国語ⅡD	みや もと あつ こ 宮 本 厚 子

講義のねらい	ピンインの付いた時事文を読む。
講義の内容・授業スケジュール	教科書に沿い、時事文に慣れるようにしていく。教科書以外の文を読んでもらうこともある。
履修上の留意点	授業の前に、必ず辞書等を用い、予習することが求められる。
成績評価の方法	年3~4回のテストの成績と出席等の平常点で評価する。
教科書	『青島の朝』佐藤富士雄、柴森著(白帝社) 2,100円
参考書等	開講時に指示する。

科目名

担当者名

中国語ⅡD

とぼりよしかつ
戸張嘉勝

講義のねらい

中級レベルの文章を正確に読め、また正しく日本語に翻訳する能力を育成する。

講義の内容・
授業スケジュール

- ① 発音の復習やピンインの文章を読むことを通して、特に発音上の約束事や日本語にない発音を正しく覚え、中国語の文章が正確に読める能力を身につける。
- ② 日中両言語の比較や解析により、両言語の文法や表現法の異同を覚え、中国語の文章を正確に日訳する要領を習得する。
- ③ 中国語の法律、政治や事件に関する文章を取り上げ、それを講読することにより、学生の中国の法政知識を増やし、中国に対する認識を深める。

履修上の留意点

出欠は成績に加味するので、欠席数の多い学生は単位をとるのが難しい。

成績評価の方法

前期と後期の中間試験、前期と後期の期末試験、授業態度や発表などの平常点と出席率によって評価する。

教科書

プリント

外国語

〔スペイン語〕

科目名	担当者名
スペイン語 I A	おぎのまさし 荻野 雅司

講義のねらい

スペイン本国のスペイン語に限らず、中南米で今日常用されているものも含めて、スペイン語の全体を概観することを狙いとします。

講義の内容・授業スケジュール

テキストに沿って初級スペイン語を学習して行きますが、言葉のみでなく、出来るだけヒスパニック圏の人々の物の考え方や文化、習慣を学ぶことで、communication がより容易に行えるようにします。

さらに、このクラスはスペイン語の理解を促進するために、英語の語法との対比を常時行うことを特徴の一つとしています。

成績評価の方法

原則として年2回正規のテストを行います。総合的な成績の評価に当たっては、良くても、悪くてもテストの結果のみによってこれを行いません。むしろ、日頃の出席状況と受講態度を同じくらいに重視して評価します。

教科書

細川幸夫著『英語からスペイン語へ』（弘学舎）

科目名	担当者名
スペイン語 I A	かめやまこういち 亀山 晃一

講義のねらい

初級文法から始め、発音・アクセント・イントネーションを練習する。比較的簡単な例文を確実に習得することで会話の基礎を作り、スペイン語圏で生活したり、旅行するに当って役立つ、コミュニケーション能力の開発と養成を行う。背景文化や歴史にも触れ、関心を育てることにより、学習継続の為の動機付けとしたい。

履修上の留意点

決して、遅刻・欠席をしない。自ら興味を持ち、学習を継続すること。

成績評価の方法

数回のテスト、日頃の出席状況、受講態度を総合して行う。

教科書

開講時、指示します。

科目名	担当者名
スペイン語 I B	うえのかつひろ 上野 勝広

講義のねらい

スペイン語の基礎（発音・文法・語彙）を身につけ、その背景文化への理解と関心を深めてゆきます。

講義の内容・授業スケジュール

下記のテキストを用いて、前期は1課～5課まで、後期は6課～10課を解説します。同時に口頭および筆記の練習も行ないます。

履修上の留意点

少しでもスペイン語を身につけるには、ただ授業に出席するだけでは達成できません。集中して教師や録音CDのスペイン語を聴き、疲れるくらい口や手を動かしてレッスンに励みましょう。

また最低限の復習も欠かせません。

成績評価の方法

年間4回のテストの結果（70％）に平常点（30％）を合わせて評価します。

教科書

上野勝広『改訂版・新世紀のスペイン語』（同学社）2,500円

参考書等

初回の授業で紹介します。

科目名	担当者名
スペイン語ⅠB	眞下祐一

講義のねらい

世界中で用いられているスペイン語の初歩を学びます。読み書きの練習を通し文法や語彙に関する知識を少しずつ蓄えていきながら、正確な発音で生き生きとした表現ができるよう、また話し相手の言うことが確実に理解できるよう、総合的なスペイン語能力の開発を目指します。

講義の内容・授業スケジュール

教科書の目次に沿って進めます。はじめに各課のテーマについて解説を行い、次に練習問題によって理解を確実にします。

履修上の留意点

初級の授業ゆえ根気よく勉強を続ける必要があります。学習の動機を保てるよう常日頃スペイン語圏のニュースに注意しててください。また、大きな声ではっきりと話す習慣が身につくよう積極的な姿勢で授業にのぞんでください。毎回かならずあたります。

成績評価の方法

100点満点中、40点は出席、課題の提出など授業参加、残り60点は2回の期末試験と小テストの結果で評価します。

教科書

上野 勝広 「改訂版・新世紀のスペイン語」(同学社)

参考書等

西和辞典を一冊。『改訂版現代スペイン語辞典』(白水社)など。

科目名	担当者名
スペイン語ⅡA	大岩功

講義のねらい

スペイン語Ⅰで学習した内容を踏まえ、文法の理解をさらに深めるとともに、スペイン語で書かれた文章に親しむことをめざします。

講義の内容・授業スケジュール

初めはスペイン語Ⅰで学習した文法項目を復習し、その後、さらに新しい項目を学習していきます。まとまった長さの文章を読むための教材も適宜使用します。

履修上の留意点

予習することによって授業の学習効果は何倍にも増幅されます。学生諸君はぜひ予習をしっかりとやって授業に参加してください。なお、授業には必ず辞書を持参すること。

成績評価の方法

出席状況と年数回のテストの得点、および授業に臨む姿勢などを考慮して総合的に評価します。

教科書

寿里順平他著『スペイン語・基礎と演習』(教材マルコ社)
長文読解用の教材についてはプリントを適宜用意します。

参考書等

推奨辞書 宮城昇編『現代スペイン語辞典』(白水社)
参考書 大岩功著『スペイン語なるほど講座』(三修社)
寿里順平著『基礎スペイン語文法』(東洋書店)

科目名	担当者名
スペイン語ⅡA	ま し も ゆ う い ち 真 下 祐 一

講義のねらい	一年次で学んだスペイン語の基礎を完成し、以降の学習につなげていくための授業です。復習にも力を入れましょう。読み、書き、聞き、話す四つの能力の総合的なトレーニングです。
講義の内容・授業スケジュール	教科書の目次に沿って授業を進めます。一年次の復習の後、動詞の接続法の活用まで学びます。授業中に練習問題のプリントを配布します。
履修上の留意点	予習・復習は欠かせません。また常にスペイン語圏のニュースに注意していること。
成績評価の方法	100点満点中、40点は出席、課題の提出など授業参加、残り60点は2回の期末試験と小テストなどの結果で評価します。
教科書	東京大学教養学部スペイン語部会『ディメロース페인語初級一』（朝日出版社）
その他	水曜日3時限

科目名	担当者名
スペイン語ⅡA	ま し も ゆ う い ち 真 下 祐 一

講義のねらい	一年次に学んだスペイン語の基礎を完成し、以降の学習につなげていくための授業です。復習にも力を入れましょう。読み、書き、聞き、話す四つの能力の総合的なトレーニングです。
講義の内容・授業スケジュール	教科書の目次に沿って授業を進めます。一年次の復習の後、動詞の接続法の活用まで学びます。授業中に練習問題のプリントを配布します。
履修上の留意点	予習・復習は欠かせません。また常にスペイン語圏のニュースに注意していること。
成績評価の方法	100点満点中、40点は出席、課題の提出など授業参加、残り60点は2回の期末試験と小テストなどの結果で評価します。
教科書	東京大学教養学部スペイン語部会『ディメロース페인語初級一』（朝日出版社）
その他	月曜日3時限

科目名	担当者名
スペイン語ⅡA	う え の が つ ひろ 上 野 勝 広

講義のねらい	スペイン語Ⅰで学習した基礎（発音・文法・語彙）を確認しながら発展させるクラスです。また日本文化をスペイン語でいかに表現するかについても触れてゆきます。
講義の内容・授業スケジュール	下記のテキストを用いて、前期は1課～4課まで、後期は5課～7課を解説します。同時にプリントを配布し、口頭および筆記の練習を追加します。 またテキスト後半のエッセイを随時取り上げ、読解力の向上を図ります。
履修上の留意点	休まず遅れずきちんと授業に参加することが肝要です。授業には必ず辞書を持参すること。スペイン語本文の音読や練習問題は、指名して読んだり答えてもらいます。原則的に毎回課題があり、翌週の授業でチェックします。
成績評価の方法	年間4回のテストの結果（70％）に平常点（30％）を合わせて評価します。
教科書	荻野 恵／サンティアゴ・マルティン『基礎固めのスペイン語』（同学社） 2,500円

科目名	担当者名
スペイン語ⅡB	大岩 功

講義のねらい	スペイン語Ⅰで学習した内容をさらに発展させ、簡単な新聞記事などのスペイン語の原文を読めるようになることをねらいとします。
講義の内容・授業スケジュール	初めはスペイン語Ⅰで学習した文法項目を復習しながら、簡単な文章を読んでいます。その後、さらに新しい文法項目の学習と平行して、少しずつ複雑な文章の読解にチャレンジします。
履修上の留意点	予習することによって授業の学習効果は何倍にも増幅されます。学生諸君はぜひ予習をしっかりやって授業に参加してください。授業には必ず辞書を持参すること。
成績評価の方法	出席状況と年数回のテストの得点、授業中に適宜行う小テストの得点、および授業に臨む姿勢などを考慮して総合的に評価します。
教科書	国本伊代著『スペイン語でニュースを読む』朝日出版社
参考書等	推奨辞書 宮城昇編『現代スペイン語辞典』（白水社） 参考書 大岩功著『スペイン語なるほど講座』（三修社） 寿里順平著『基礎スペイン語文法』（東洋書店）
その他	月曜日4時限

科目名	担当者名
スペイン語ⅡB	大岩 功

講義のねらい	スペイン語Ⅰで学習した内容を踏まえ、文法の理解をさらに深めるとともに、スペイン語で書かれた文章に親しむことをめざします。
講義の内容・授業スケジュール	初めはスペイン語Ⅰで学習した文法項目を復習し、その後、さらに新しい項目を学習していきます。まとまった長さの文章を読むための教材も適宜使用します。
履修上の留意点	予習することによって授業の学習効果は何倍にも増幅されます。学生諸君はぜひ予習をしっかりやって授業に参加してください。授業には必ず辞書を持参すること。
成績評価の方法	出席状況と年数回のテストの得点、適宜行う小テストの得点、および授業に臨む姿勢などを勘案して総合的に評価します。
教科書	福寛教隆著『生き生きスペイン語』（朝日出版社） その他、必要なプリント教材を適宜用意します。
参考書等	推奨辞書 宮城昇編『現代スペイン語辞典』（白水社） 参考書 大岩功著『スペイン語なるほど講座』（三修社） 寿里順平著『基礎スペイン語文法』（東洋書店）
その他	水曜日2時限

科目名	担当者名
スペイン語ⅡC(会話)	ましも ゆういち 真下祐一

講義のねらい

旅先で、また日々の暮らしの中で、あなたがスペイン語に接する機会はますます増えていくでしょう。実際の場面で簡単でも適切な表現が自然と口をついて出てくるくらいスペイン語に親しんでください。

講義の内容・授業スケジュール

教科書の目次に沿って授業を進めます。一年次の復習から始め、すぐに答えられるドリル形式の問題に大きな声ではっきりと答える練習などを通して自由な会話力の基礎を固めます。

履修上の留意点

予習・復習を忘れずに。大きな声でしっかり練習しましょう。また自分の言いたいことだけを言うのではなく、相手の言うことがよく理解できるよう、聴解力を養う努力もしましょう。

成績評価の方法

100点満点中、40点は出席、課題の提出など授業参加、残りの60点は二回の期末試験と聞き取りなどの小テストの結果で評価します。

教科書

『《改訂版》コミュニケーションのためのスペイン語』坂東省次ほか 第三書房

科目名	担当者名
スペイン語ⅡD	ナバロ, ホワンJ.

講義のねらい

一年次で学んだ文法をふまえ、命令形(規則動詞、不規則動詞、肯定、否定)を勉強します。次に直説法点過去、線過去(規則動詞、規則動詞)を学びます。さらに再帰動詞などを扱います。最後に直説法過去完了、未来、過去未来、および関係代名詞の使い方を学びます。授業中にプリントを配布します。各課短い読解が最初にあり、次に文法のまとめと練習、最後に会話の練習です。毎回、次の課の説明をします。

講義の内容・授業スケジュール

動詞の過去形(不完了過去・不定過去)を中心に勉強する。各一課は、短い文章や会話及び練習問題で構成されている。

履修上の留意点

予習として単語の意味などは辞書で調べて頂きたい。

成績評価の方法

授業中の練習への参加と出席で評価します。特別試験も実施します。

教科書

この講義の初回授業時間に教室にて配布するプリントを使用する。

ロシア語

よく一国を理解するにはその国の言葉を学べば、一番よくわかると人々の口に伝えられているように、現代ロシアの秘められた部分を理解するには、ロシア語を学ぶことが一番手っとり早い方法です。一口にロシア語と言ってもそれはモスクワを中心とした東スラヴ語をさします。ロシア語と兄弟の関係のように近い、よく似た言葉には、ポーランド語、ブルガリア語、ウクライナ語、チェコ語、スロヴァキア語、セルビア語、マケドニア語等、多くの言葉があります。これらの中東欧語を理解するうえでも、ロシア語は、もっとも基本的な言葉となります。またこれらのスラヴ諸国を理解するうえでもロシア語が最も中心的な位置を占めていると言っても過言ではありません。しかもロシア語人口はヨーロッパの全人口に匹敵し得る程の数にのぼっているのです。これからの国際化時代にはどうしても見すごすことのできない言葉と言えます。21世紀においては、単にロシア語を学ぶことのみならず、その背後にある文化と広大な精神風土についても学ぶことは多いに価値があることです。駒澤大学でのロシア語はこの国際化時代に向けて、実際に使えるロシア語の学習をめざします。ロシア語もどんどん変化しつつある昨今ですが、そのような流れにも常に敏感でありたいと願っています。

なお、一週間に学ぶロシア語の時間は現状では圧倒的に不足していますが、与えられた時間を最大限に有効に使うために次のような目標をたて、年間スケジュールで授業はすすめられます。

I A・I B：発音や聞きとり、発話を中心に学び、やさしい基本文法を一年間で修了させます。細目は以下の授業内容を参考にしてください。なお、一部のクラスはパソコンによるロシアサイトをリアルタイムでみたり、聞いたりする時間ももちます。

II A・II B：一年のI A・I Bのロシア語を基礎にさらに会話や聞きとり、読解力をつけます。また一年でやりのこした文法の能動・被動、副動詞、などの事項や、より複雑な文章を理解する練習をします。

II D：一年次の基礎ロシア語の学習を踏まえて、更に文法を補い、読み、話し、聴く力をつけます。単に語学の学習にとどまらず、ロシア文化の奥行きの高さもあわせて理解してもらうように、教材も視野の広がるものを選定します。

なお、最後に参考として辞典の紹介を若干しておきます。

- 『露和辞典』（研究社）東郷正延他著
- 『露和辞典』（岩波書店）和 久利他編
- 『博友社ロシア語辞典』（博友社）木村彰一他編
- 『和露辞典』（研究社）藤沼 貴著
- 『和露辞典』（講談社）佐藤 勇著

科目名

担当者名

ロシア語 I A

おおすか ふみかず
大須賀 史 和

外国語

講義のねらい

- 1) 母音、子音の基本的発音、アクセント記号（力点）の法則、イントネーションの5つの型をみっちりやります。
- 2) かんたんな挨拶の表現、日常つかわれるロシア語の独特な表現（ボデー・ラングウエジを含む）を身につけます。
- 3) 平易な内容をききとりによって理解できるようにします。
- 4) 基礎的な初等文法を学びます。
- 5) アルファベットを活字体、筆記体で書けるようにします。
はじめに絵やビデオをみながら、ロシア語のやさしい単語や短文を何回も繰り返しかえし練習します。教員が質問した事を何回もくりかえしてもらい、うけ答えをします。少し音に馴れてきたらCDを使い更に理解度を深め、語尾変化に抵抗感のなくなるように何回もゆっくり、くりかえしながら発話してもらおうようにします。授業では各人が何回も発話をさせられますが、全く恐れる必要はありません。全教員が優しく指導してくれますので恥かしがらないことが大切です。
- 6) 教科書を使用して、コミュニケーションに欠かせない基本的な日常会話を習得していきます。

講義の内容・授業スケジュール

2名の教員が、連携しながら、週に2回授業をします。前期は、イントネーションや発音に力点をおき、後期はやさしい短文のききとり、初級文法を学びます。

成績評価の方法

何よりも授業の出席を重視。平常の受け答えの得点、ミニテストなどを総合的にプラスして評価点を出します。

教科書

『21世紀のロシア語』（大学書林）1,800円＋税

参考書等

『露和辞典』

科目名

担当者名

ロシア語ⅠB

木村英明

講義のねらい

- 1) 母音、子音の基本的発音、アクセント記号(力点)の法則、イントネーションの5つの型をみっちりやります。
- 2) かんたんな挨拶の表現、日常つかわれるロシア語の独特な表現(ボデー・ラングウエジを含む)を身につけます。
- 3) 平易な内容をききとりによって理解できるようにします。
- 4) 基礎的な初等文法を学びます。
- 5) アルファベットを活字体、筆記体で書けるようにします。
はじめに絵やビデオをみながら、ロシア語のやさしい単語や短文を何回も繰り返し練習します。教員が質問した事を何回もくりかえしてもらい、うけ答えをします。少し音に馴れてきたらCDを使い更に理解度を深め、語尾変化に抵抗感のなくなるように何回もゆっくり、くりかえしながら発話してもらおうようにします。授業では各人が何回も発話をさせられますが、全く恐れる必要はありません。全教員が優しく指導してくれますので恥かしがらないことが大切です。
- 6) 教科書を使用して、コミュニケーションに欠かせない基本的な日常会話を習得していきます。

外国語

講義の内容・授業スケジュール

2名の教員が、連携しながら、週に2回授業をします。前期は、イントネーションや発音に力点をおき、後期はやさしい短文のききとり、初級文法を学びます。

成績評価の方法

何よりも授業の出席を重視。平常の受け答えの得点、ミニテストなどを総合的にプラスして評価点を出します。

教科書

『21世紀のロシア語』(大学書林) 1,800円+税

参考書等

『露和辞典』

科目名

担当者名

ロシア語ⅡA

杉山秀子

講義のねらい

1年次の文法事項の練習と、声を出してロシア語がスラスラ読めるように練習します。ロシア語のかんたんな会話と、速読による文意の把握をめざします。

講義の内容・授業スケジュール

- アクセント記号のついた文章をすらすらと読めるようにします。
- 日常つかわれる会話のより複雑なヴァリエーションを学びます。
- やさしい文章を速読で大意がつかめる練習をします。
- かんたんな文を正しく聴きとる練習をします。
- 中等文法のエッセンスを勉強をします。

成績評価の方法

出席と平常点を重視します。

教科書

やさしいロシア語読本(杉山秀子他著)(大学書林)、一年次にわたした文法表。

参考書等

露和辞典

その他

プリント配布。教場にて指示します。

科目名	担当者名
ロシア語ⅡA	木村英明

講義のねらい	1年次の文法事項の練習と、声を出してロシア語がスラスラ読めるように練習します。ロシア語のかんたんな会話と、速読による文意の把握をめざします。
講義の内容・授業スケジュール	<ul style="list-style-type: none"> ○アクセント記号のついた文章をすらすらと読めるようにします。 ○日常つかわれる会話のより複雑なヴァリエーションを学びます。 ○やさしい文章を速読で大意がつかめる練習をします。 ○かんたんな文を正しく聴きとる練習をします。 ○中等文法のエッセンスを勉強をします。
成績評価の方法	出席と平常点を重視します。
教科書	『やさしいロシア語読本』(大学書林)。1年次に使用した教科書と文法表。
その他	プリント配布。教場にて指示します。

科目名	担当者名
ロシア語ⅡB	木村英明

講義のねらい	正しい文法理解と速読によってロシア語の文意を適確に把握してもらうようにする。さらにやさしいヒアリングの練習と応用により、更にロシア語力を深めます。
講義の内容・授業スケジュール	<ul style="list-style-type: none"> ・アクセント記号のついた文章をすらすらと読めるようにします。 ・日常つかわれる会話のより複雑なヴァリエーションを学びます。 ・やさしい文章を速読で大意がつかめる練習をします。 ・かんたんな文を正しく聴きとる練習をします。 ・中等文法のエッセンスを勉強をします。
成績評価の方法	平常点で評価します。
教科書	『やさしいロシア語読本』(大学書林)。1年で使用した教科書、および1年のときに渡した文法表。
その他	プリント配布。

科目名	担当者名
ロシア語ⅡB	佐野朝子

講義のねらい

正しい文法理解と速読によってロシア語の文意を適確に把握してもらうようにする。さらにやさしいヒアリングの練習と応用により、更にロシア語力を深めます。

講義の内容・授業スケジュール

- アクセント記号のついた文章をすらすらと読めるようにします。
- 日常つかわれる会話のより複雑なヴァリエーションを学びます。
- やさしい文章を速読で大意がつかめる練習をします。
- かんたんな文を正しく聴きとる練習をします。
- 中等文法のエッセンスを勉強をします。

成績評価の方法

平常点で評価する。

教科書

『やさしいロシア語読本』（大学書林）を使用します。

その他

プリント配布。

科目名	担当者名
ロシア語ⅡC(会話)	クロチコフ, Y.

講義のねらい

以前に学習した発音、文法、会話の復習。講師が作成した練習テキストを用い、文法の基礎を学習しながら、同時に、会話、作文を練習します。
ロシア語を通して世界を広げていきましょう。

成績評価の方法

平常点で評価します。授業中に、時々、簡単なテストを行います。

教科書

杉山秀子他著『やさしいロシア語読本』（大学書林）1,751円、その他。

その他

プリント配布。ビデオ、オーディオ等を使用します。

科目名	担当者名
ロシア語ⅡD	クロチコフ, Y.

講義のねらい

以前に学習した発音、文法、会話の復習。
講師が作成した練習用テキストを用いて、文法の基礎を学習しながら、同時に、会話、作文を練習します。
ロシア語を通して世界を広げていきましょう。

成績評価の方法

平常点で評価します。授業中に時々、簡単なテストを行います。

教科書

『やさしいロシア語読本』（大学書林）

その他

ビデオ、オーディオ等を使用します。

《再履修クラス》

〔英 語〕

外国語

科目名	担当者名
英語 I A〔再クラス〕	まつ とう ひろ 松 堂 啓 子

講義のねらい	リスニングを含む演習を通して、基礎力を補強する。
講義の内容・授業スケジュール	本講義では、リスニング、文法読解を総合的に学習する。音声教材の利用で日常使われる頻度の高い表現を身につけ、文法、語法の学習で文章構成力を高める。様々な文章、文体に意識的に触れ、英語の表現に慣れるようにする。
履修上の留意点	出席を重視する。単位取得には、三分の二以上の出席が必要。
成績評価の方法	小試験・期末試験等を総合的に評価します。
教科書	『Power-Up English 〈Basic〉』（南雲堂）ISBN4-523-17449-0

科目名	担当者名
英語 I A〔再クラス〕	いわ 井 ひろ み 岩 井 洋 美

講義のねらい	自分の事や身近な事をライティング、スピーキングの両面でやりとりすることを目指します。
講義の内容・授業スケジュール	テキストやプリントを用いて口頭での質疑応答、聞き取り、英作文の練習問題を行い、基本的な表現を習得しながら単語力をつけ文法を確認します。復習テストを度々行う予定。
履修上の留意点	欠席、遅刻をしないことと1回めの授業に必ず出席すること。授業態度も重視します。追試験や課題は行いません。
成績評価の方法	出席、授業態度の平常点と前・後期試験、不定期のテストで評価します。
教科書	未定

科目名	担当者名
英語 I A〔再クラス〕	まさ の てる よし 牧 野 輝 良

講義のねらい	英文構造の理解をめざす。
講義の内容・授業スケジュール	毎時間リーダの部分を読み、その後日本語に訳し提出すること。
履修上の留意点	かならず出席し、指名されたら和訳出来るように予習しておくこと。
成績評価の方法	3課進む毎に和訳の小テスト、毎時間の和訳の提出、期末テスト等により総合的に評価する。
教科書	田本&Sanada 著『基本英語表現』（成美堂）1,600円 ISBN4-7919-4907-2 C1082

科目名	担当者名
英語 I A〔再クラス〕	はぎわら 萩原 てる 輝

講義のねらい	英語による意志伝達能力の向上を目指す。
講義の内容・授業スケジュール	テキストを読み進めながら、その内容についての意見を英語で表現してもらう予定。
履修上の留意点	辞書を持参して欲しい。
成績評価の方法	授業態度、出席、提出物、前期、後期の試験等の総合評価。
教科書	J. グレイ・高橋・他著 World Companies『世界のリーディングカンパニー』（弓プレス） ISBN4-8034-1228-6 C1082

外国語

科目名	担当者名
英語 I A〔再クラス〕	はなわ みちこ 埴 美智子

講義のねらい	英語の運用能力養成をめざす。日常基本表現から多様な会話表現の理解と運用能力の養成をめざす。同時に文章表現も学ぶ。
講義の内容・授業スケジュール	テキストの中から多様な英語表現を習得する。日本語に訳さないで英語の表現として身につける習慣をつけていく。
履修上の留意点	辞書を使う場合も出来るだけ英英辞典を使う習慣を身につけていく。
成績評価の方法	日常の出席状況を重視し、普段の授業態度、前後期の試験の結果を入れて総合的に評価する。
教科書	'Appreciating European Culture' 一生まれ変わるヨーロッパー (成美堂) 1,800円
参考書等	その都度黒板に板書し案内する。
その他	大切なことばを一つでも多く頭に入れ必要な時すぐに使える努力をする。

科目名	担当者名
英語 I A〔再クラス〕	かわ さき えみ 川崎 笑佳

講義のねらい	入学時の英語能力を基盤として、意思伝達能力の向上を目的とする。本授業では、テキスト、また必要に応じてその他の教材を用いて指導を行い、パラグラフの構造を確認してもらいながら基本的な英文から、より効果的な表現へとステップアップすることを最終目標とする。また、TOEIC、TOEFLなども授業に取り入れる予定。
履修上の留意点	毎回授業の中で英作文を提出してもらうので、和英辞書は必須。
成績評価の方法	3分の2以上の出席および毎回の提出物、発表内容、授業態度をもとに総合的に評価する。
教科書	『Enjoy Writing for Everyday Use』(北星堂) 1,600円 ISBN4-590-01179-4

科目名	担当者名
英語 I A〔再クラス〕	太田 由紀子 <small>おお た ゆきこ</small>

講義のねらい	アメリカの喜劇王チャールズ・チャップリンの『自伝』を教材とすることで、様々な種類の英語表現に親しむ。また彼の監督・主演映画の鑑賞を通じて会話やナレーションに馴染み、自ら応用できるようにする。
講義の内容・授業スケジュール	『自伝』や映画から得られるいろいろの英語表現：具体的には状況説明文、意見や感想文、手紙、会話などをまず理解し、次にこれを応用して自己表現力を養う。
履修上の留意点	予習・復習をすること。
成績評価の方法	授業時の応答、前期・後期の試験結果を総合する。
教科書	Charles Chaplin, <i>My Autobiography</i> (Penguin Modern Classics Non - Fiction) UK £9.99 ISBN : 0141011475

科目名	担当者名
英語 I A〔再クラス〕	椛山 晋 <small>ひ やま すすむ</small>

講義のねらい	英語での受信・発信の基礎力習得を目指す。
講義の内容・授業スケジュール	(前期) 基礎を固める。(後期) 応用力を伸ばす。
履修上の留意点	私語厳禁。授業中何度も発言を求める。欠席・遅刻回数等は自己管理すること(問合せには応じない)。携帯電話を授業中に鳴らした者は退室。毎回小テストを行う。
成績評価の方法	出席が最重要。小テスト、出席、授業参加、発表等の平常評価50%、前期・後期試験50%。全授業日数の3分の1以上を欠席した者は自動的に不合格。3回以上連続して欠席した場合は説明する文書と診断書等を提出(未提出者は名簿から削除)。
教科書	第一回目の授業で指示。

科目名	担当者名
英語 I A〔再クラス〕	岩原 康夫 <small>いわ はら やす お</small>

講義のねらい	英語による日常的なコミュニケーション力の向上を狙いとする。そのために、一定の基本的な動詞の構文と用法を学習する。
講義の内容・授業スケジュール	クラスはテキストに沿って、表現練習問題をやり、その応用を行ってもらう。
履修上の留意点	学生諸君の予習を前提にしてクラスは進める。
成績評価の方法	前期・後期の試験60パーセント、平常点40パーセントを基準として、成績評価をする。平常点はクラスにおける予習及び発表によって判断する。
教科書	<i>Cultivating Writing Skills</i> (朝日出版) 2,000円 ISBN 4 - 255 - 15280 - 2

科目名	担当者名
英語 I A〔再クラス〕	丸小哲雄

外国語

講義のねらい

広告の読みと理論。広告なくして、資本主義は生き延びることはできない。商品に夢を与え、不快なものはすべて経済市場から追放します。夢と引き替えに広告は、世界に起こっているさまざまなことを隠蔽し、人間の不快な側面や非民主主義的なものを覆い隠します。広告は人々の欲望を管理しているので、消費者として解放される必要性から喪失した主体性の復権のための広告論を扱います。

講義の内容・授業スケジュール

英文法は総合理解として、リーディングによって読込みと思考を促進し、発信型のコミュニケーション力を補完していきます。

履修上の留意点

質問や発表は評価の対象となりますので、予習・復習が前提条件です。私語は厳禁。

成績評価の方法

出席、平常テスト、レポート作成課題、前期・後期の試験などの総合評価。クラスでの発表者には別途評価します。

教科書

Decoding Advertisements (英宝社)
A Complete College English Program Book 3 (金星堂)
 ISBN4-7646-3813-9

参考書等

随時指示し、日常英語のプリントや時事英語ニュースのコピーも配布します。

科目名	担当者名
英語 I B〔再クラス〕	高見陽子

講義のねらい

英文を読む速度をあげ、より多くの情報を短時間で得る力を伸ばすことを目標とします。

講義の内容・授業スケジュール

英文を「理解しながら読む」練習としての速読を重視します。

履修上の留意点

必ず辞書を持参し、各自のレベルに応じて予習すること。授業では内容を確認するための精読も行いますので、復習は全員必ずすること。

成績評価の方法

前・後期末試験の結果をもとに、平常点と小テスト・レポート等の結果を勘案し、総合的に評価します。また、全授業回数のうち3分の2以上の出席を条件とします。

教科書

土屋武久、Robert Hickling、本多吉彦、*A Complete College English Program*『大学英語総合ナビゲーター リメディアル・グラマー編 (Book 3)』(金星堂) 1,900円
 ISBN4-7647-3813-9

科目名	担当者名
英語 I B〔再クラス〕	澤田真弓

講義のねらい	テーマ別に英語で書かれた簡単なエッセイを読み、文法事項について確認しながら、読解力を養っていきます。
講義の内容・授業スケジュール	授業は演習形式で行います。毎回発表担当者を決め、あらかじめ指定した箇所を音読し、日本語訳をつけてもらいます。また授業の終わりに簡単な確認テストを行います。
履修上の留意点	積極的に授業に参加することが望ましい。辞書は必ず持参すること。
成績評価の方法	出席回数、発表や提出物、毎回行う確認テストの結果を総合的に判断して評価します。
教科書	杉本豊久、孝子共著『 <i>In-Depth Reading</i> パラグラフの読みと深化』（南雲堂）1,900円 ISBN4-523-17457-1

科目名	担当者名
英語 I B〔再クラス〕	江田幸子

講義のねらい	英語の基本的な構文の読み取り方を重点的にチェックしながら一ページ程度の英文を精読します。トピックの違う内容を15編読みます。今年度はハリウッド映画の内容を要約した英文を読みます。時折ビデオを観て話される英語を聞いてみます。各々に面白い映画が扱われているので、楽しく英文を読めたら、と思っています。 英語は一見平易ですが読解力をつけるのに勉強になる構文や表現法が使われていて、楽しく読みながら読解力をつけるのには適しているでしょう。
講義の内容・授業スケジュール	クラスでは授業中が自宅学習のようにして英語学習を進めていきますので必ずテキスト、辞書、ノートを持参して下さい。解らないところは授業中に辞書をひいて、皆で学習して解るようにしていきます。
成績評価の方法	再履修クラスは出席を特に重視します。ほとんど毎回、辞書を使いながら小テストをして平常評価点とします。前期・後期の期末テストよりこの平常点を重視して評価点を出していきます。10回行う小テストの内、上位5回分の成績の平均点を最終評価点とします。欠席回数の多い人は平均点が当然悪くなりますので注意して下さい。出席者には最低50点を出しますが欠席者は0点になります。
教科書	『 <i>Base Line</i> 』（南雲堂）1,800円 ISBN4-523-17503-9

科目名	担当者名
英語 I B〔再クラス〕	相馬美明

講義のねらい	入学時の英語を基礎として、様々な英語の運用能力（発話・読解・聴解）を身につける。プリントを用いた文法問題、及び教科書による読解問題を通じ、精読・多読の両面から英語の基本的な運用能力を身につける。また、様々な検定対策も対応すべく、TOEIC のリスニング・セクションの問題等にも触れ、聴解力を高めてゆく。
成績評価の方法	全授業日数の3分の2以上の出席を基本とし、前・後期に行う試験、及び授業で行う小テスト、また授業態度等を総合的に評価する。
教科書	Hiroko Nishida・William Gudykunst『 <i>American Communication Patterns</i> 』（金星堂）1,200円 Mitsuho Sugawara『 <i>10-Minute Listening (Introductory)</i> 』（桐原書店）780円

科目名	担当者名
英語 I B〔再クラス〕	高柳文江 <small>たかやなぎふみえ</small>

外国語

講義のねらい	英文の逐一の翻訳ではなく、英文を速やかに、かつ、正確に理解する事をめざします。
講義の内容・授業スケジュール	簡潔な文章を基に現代アメリカの文化と社会を色々な角度から考察します。授業では Reading だけでなく Listening にも重点が置かれ、章毎のトピック文の中の語彙、慣用句、文法についての演習問題により、更なる理解を深めるよう構成されています。
履修上の留意点	授業の性質上、予習が必ず必要です。又、単位取得には 2 / 3 以上の出席が要求されます。座席指定。
成績評価の方法	試験（前期試験、後期試験）60%、日常点（出席、小テスト、提出物、授業への取り組み）40%。
教科書	『Looking at America』（成美堂）1,600円 ISBN4-7919-4009-1 C1082

科目名	担当者名
英語 I B〔再クラス〕	大瀧利春 <small>おおたしはる</small>

講義のねらい	英文によって、身近なできごと、世界情勢等についての知識を学び、さらには自分の意見を述べたり、書いたりすることができるようになるための基礎的学習をおこないます。
講義の内容・授業スケジュール	やさしい英文で書かれているニュースを読み、それに関連する練習問題—単語、idioms、英作等に挑戦し、学習します。
履修上の留意点	授業は予習を必ずしておくこと。
成績評価の方法	日常の発表、出席重視し、小テスト、前期、後期の試験の結果を総合して評価します。
教科書	未定

科目名	担当者名
英語 I B〔再クラス〕	西村祐子 <small>にしむらゆうこ</small>

講義のねらい	英語の読み書きだけでなく聞き、話すことに中心をおいたクラス。CDROM を中心に聞き取り力をアップさせ、さらにフラッシュカードを多用して授業で学習した英語の基礎構文を暗記してゆくことで作文力をつける。口頭練習を奨励することで話す力をつける。
講義の内容・授業スケジュール	前期：教科書 UNIT 1-11 まで。各ユニットごとに重要構文を暗記する。口頭および筆記試験。（各ユニットごと） 後期：UNIT 12-22 まで。各ユニットごとに重要構文を暗記する。口頭および筆記試験（各ユニットごと）
履修上の留意点	出席重視だが、30分以上の遅刻は欠席扱いとする。授業中の口頭発表や聞き取り試験を受けない場合は点数がつかない。
成績評価の方法	口頭練習の後の発表、聞き取り試験などを平常点として重視する。出席点を 3 分の 1 とし、残りの 3 分の 2 は発表と聞き取り試験で採点する。
教科書	Essential Listening 3 (Macmillan)

科目名	担当者名
英語ⅠB〔再クラス〕	飯沼好永

講義のねらい	様々な英語の文章を読みながら、より正確な内容理解と、それに必要な基本的な文法事項も合わせて習得することに努める。
履修上の留意点	リーディングの力を向上させるには、多くの英文に触れることが大切であるが、受身の姿勢では、自己の英語力を向上させることは難しいので、積極的に授業に参加してください。特に英語に対して苦手意識のある人は、予習に力を入れてください。
成績評価の方法	出席状況、授業への取り組み方、課題、定期試験等を考慮して行う。平常評価（50%）、前期・後期試験（50%）
教科書	<i>Leading Companies in the 21st Century</i> 「21世紀の企業—成功の舞台裏」（松柏社）1,900円 ISBN4-88198-566-3

科目名	担当者名
英語ⅡA〔再クラス〕	菅原典子

講義のねらい	テキストとプリントを併用して、英語の運用能力向上をめざします。
講義の内容・授業スケジュール	テキストを読み進めながら、さまざまなジャンルのプリントを使用します。
履修上の留意点	授業は予習をしてくること。
成績評価の方法	前期後期の試験の結果をベースに、日常の発表、出席状況、態度等を入れて総合的に評価します。
教科書	熊井信弘/Stephen Timson 共著 <i>Smash Hit Listening Revised Edition</i> 『ロック&ポップで楽しむ初級リスニング・改訂版』（マクミランランゲージハウス）2,100円 ISBN4-89585-480-9 C3082

科目名	担当者名
英語ⅡA〔再クラス〕	太田美智子

講義のねらい	コミュニケーションの手段として英語の運用能力を高めることを目的とします。
講義の内容・授業スケジュール	テキストに沿って授業をすすめる。時にはプリントや映像を使用する。
履修上の留意点	必ず予習し、真摯な態度で授業に臨むこと。単位の修得ではなく、各自の実力の向上が目的であることを決して忘れないこと。そして何事にも知的好奇心を持つ。単に椅子に座しているのみで、授業参加していない場合には出席とはみなさない。
成績評価の方法	平常時の授業態度、予習の有無、場合によってはレポートの内容、また試験を行った際はその素点、等々の総合評価。
教科書	『Access To The Future』（南雲堂フェニックス）

科目名	担当者名
英語ⅡA〔再クラス〕	佐藤江里子

講義の内容・
授業スケジュール

テキストを基本とし、演習形式で授業を進めていく。基礎的な英語表現を身につけることをめざす。

履修上の留意点

必ず予習をし、辞書を用意して授業に出席すること。

成績評価の方法

前期後期試験（50％）と平常点（50％）による総合評価。平常点には出席状況、授業態度、小テストが含まれる。

教科書

教場にて指示。

科目名	担当者名
英語ⅡA〔再クラス〕	岡崎寿一郎

講義のねらい

子供は6才で基本的な文法力を、10才で基本的な抽象能力を、大学の二、三年で高度な抽象能力を獲得します。それ故、英語の学習にあっても、基本的な文法の理解から出発します。文の五型・日本語の文法概念にはない冠詞・前置詞の理解と修得を徹底し、練習問題の活用を通して、ラディカルな文章表現能力の養成を目指します。

履修上の留意点

テキストの正確な理解のため、必ず予習をしてください。

成績評価の方法

平常評価の出席（50％）、前期試験に代わる夏季レポート（25％）、後期試験（25％）の総合評価。

教科書

丸小哲雄編注『こだわりのライフスタイルから見た日本の環境』（英宝社）1,800円

科目名	担当者名
英語ⅡA〔再クラス〕	吉江正雄

講義のねらい

英文の美しさを理解し、また広く、世界史や言語の成り立ちを学ぶ。尚、文法事項や構文についても詳しく説明するので、広い知識を身に付ける事ができるようにする。

講義の内容・
授業スケジュール

H. G. Wells の“A Short History of the World”というテキストを通読する。まず辞書をひきながら丹念に英文を逐語訳することから始める。その後、それを誰が読んでもしっかりとした日本語として理解出来る文章になるように指導する。

履修上の留意点

予習を必ずし、問題意識をもって授業に参加し、質問するようにして欲しい。また、評価の対象にもなるので、積極的に自ら発表をするよう努めて頂きたい。

成績評価の方法

前・後期試験の結果に、平常点（授業中での発表）を加味して評価する。出席点はない。すなわち、学生は全時間数の三分の二以上出席して始めて受験資格（単位取得の資格）を得ることになる。

教科書

H. G. Wells 著『A Short History of the World』（ウェールズの簡約世界史）（こびあん書房）

科目名	担当者名
英語ⅡA〔再クラス〕	さわ だ ま めみ 澤 田 真 弓

講義のねらい	テーマ別に英語で書かれた短いエッセイを読み、文法事項について確認しながら、さまざまな英語表現を学んでいきます。
講義の内容・授業スケジュール	授業は演習形式で行います。毎回発表担当者を決め、あらかじめ指定した箇所を音読し、日本語訳をつけてもらいます。また授業の終わりに簡単な確認テストを行います。
履修上の留意点	積極的に授業に参加することが望ましい。辞書は必ず持参すること。
成績評価の方法	出席回数、発表や提出物、毎回行う確認テストの結果を総合的に判断して評価します。
教科書	Bill McLain 著、長阪朱美編注『Do You Know? 世界の面白・ミニストーリー』（金星堂）1,800円 ISBN4-7647-3750-7

科目名	担当者名
英語ⅡA〔再クラス〕	や し ま なお こ 矢 島 直 子

講義のねらい	英語を聞いて、聞いたものをくり返す練習と書く練習をして、表現力をつけてもらいます。
講義の内容・授業スケジュール	テキストを聞き、読んで、意味を理解し、質問に答え、課題を書いてもらいます。1年間で教科書を1冊終える予定です。
履修上の留意点	どんどん当てますから、単語の意味だけでなく、内容も分ってから、授業にのぞんで下さい。
成績評価の方法	日常点と、前期末・後期末試験とを、総合的に評価します。原則として、全出席数の3分の1以上欠席すると、受験資格がなくなります。
教科書	<i>James Bean, Listen to this !</i> [Intermediate] (成美堂) 2,400円 ISBN4-7919-4579-4

科目名	担当者名
英語ⅡA〔再クラス〕	との いけ かず こ 外 池 一 子

講義のねらい	現在日本や世界でいろいろ議論を巻き起こしているテーマを取り上げて、それらの問題について英語で自分の考えを述べられるようになることを目指します。
講義の内容・授業スケジュール	前期は基礎的な英語の力（読む・書く）があることを確認します。（e-learning教材を使用する場合があります。）後期はさまざまなテーマについて英語で意見を述べる訓練をします。
履修上の留意点	コンピューター教室を使用する場合があるのでユーザーIDおよびパスワードを取得しておく事。基本的なコンピューターの操作ができることが望ましいです。
成績評価の方法	平常点30-40%、前期および後期の試験60-70%。出席日数が3分の2以上の履修者のみが評価の対象となります。
教科書	開講時に指示します。（e-learning教材使用の場合、教材費4,000円）

科目名	担当者名
英語ⅡA〔再クラス〕	山岸二郎 <small>やまがし じろう</small>

講義のねらい

すでに学んできた文法を整理し、それを活用して Reading から Writing への発展を目指す。

講義の内容・授業スケジュール

Reading で文法知識を活性化させて、練習問題でその定着を図る。随時関連した Writing を追加する。

履修上の留意点

予習しておくこと。

成績評価の方法

平常の学習、小テスト、前・後期のテスト等総合的に評価する。出席重視。

教科書

Ins & Outs (金星堂) 1,700円 ISBN4-7647-3812-0 C1082

外国語

科目名	担当者名
英語ⅡB〔再クラス〕	佐藤江里子 <small>さとう えりこ</small>

講義の内容・授業スケジュール

テキストを基本とし、演習形式で授業を進めていく。基礎的な読解力を身につけることをめざす。

履修上の留意点

必ず予習をし、辞書を用意して授業に出席すること。各自目標をもって積極的に授業に参加すること。

成績評価の方法

前期後期試験 (50%) と平常点 (50%) による総合評価。平常点には出席状況、授業態度、小テストが含まれる。

教科書

教場にて指示。

科目名	担当者名
英語ⅡB〔再クラス〕	長谷川公一 <small>はせがわ こういち</small>

講義のねらい

マザー・テレサは、インド・カルカッタの貧民街で生活苦にあえぐ人々のために、献身的な行動で一生を貫いたカトリック尼僧である。この教科書では、マザー・テレサの生き方を知り、考えてみたい。

成績評価の方法

出席率プラス前後期2回のテストによって採点します。

教科書

『マザー・テレサ』(桐原書店) 388円

その他

月曜日・4時限目

科目名	担当者名
英語ⅡB〔再クラス〕	かわてひろかず 川手浩一

講義のねらい	本書は大学における英語の総合教材として作成されたものである。特に現代アメリカの文化と社会をいろいろな角度から考察し、ひいては我が国の将来の方向を模索する手がかりになればと考えている。
講義の内容・授業スケジュール	テキストを読みすすめながら日常的な衣食住に至るようなアメリカの局面を扱っていく。
履修上の留意点	授業は予習、復習し練習問題をかならずしてくること。
成績評価の方法	日常の学習を重視し、前期後期の試験の結果を入れて総合的に評価します。
教科書	『Looking at America 素顔のアメリカ』（誠美堂）1,600円 ISBN4-7919-4009-1

科目名	担当者名
英語ⅡB〔再クラス〕	ほせがわこういち 長谷川 公一

講義のねらい	現代のアメリカ人は、いったいどうゆう生活を送っているのだろうか。 ごく普通のアメリカ人の学校での生活、家庭、ショッピング、健康状態、デートなどの活動を取材し、現代の日本人の生活と比較しつつ、実像に追ってみたい。
成績評価の方法	出席率+前後期2回のテストで評価します。
教科書	『ちょっと日米比較』（南雲堂）1,400円
その他	月曜日・5時限目

科目名	担当者名
英語ⅡB〔再クラス〕	まえだおさむ 前田 脩

講義のねらい	英文を丁寧に読むことで、異なる文化の思考過程の順路をたどってみます。
講義の内容・授業スケジュール	テキストを読み進める一方、テキストにあった英文ニュースをコピーして使用します。
履修上の留意点	授業は予習し、積極的に参加してほしい。
成績評価の方法	日常の発表を重視し、前期後期の試験の結果を含めて総合的に評価します。
教科書	『西洋文化の歩み』（金星堂）1,300円 ISBN4-7647-0368-8 C3082

科目名	担当者名
英語ⅡB〔再クラス〕	おち あい かず あき 落 合 和 昭

講義のねらい

このクラスのレベルは英語の中級（英検準二級、二級、準一級）程度とし、現代口語英語で書かれた文章とヒヤリングを通して、口語表現に慣れ、英語の運用能力を高めることを目標とする。また、各種の実用検定試験（英検、TOEIC、TOEFL、国連英語等）の受験準備にも役立つようにする。

講義の内容・授業スケジュール

一回の講義は、主として、四段階からなる。第一段階として、ヒヤリングを通して、英語の自然なスピードに慣れる。第二段階は書き取りをする。第三段階は、ヒヤリングや書き取りのなかで使用されている慣用表現の意味や用法を、テキストを通して、確認する。第四段階は、学生に会話文の発音練習をしてもらう。

履修上の留意点

授業は徹底した演習形式を取り、学生の予習を前提にして、進める。

成績評価の方法

前・後期定期試験が全評価の40%、課題・授業中の発表・小テスト等が60%（課題は年間約20回程度提出。授業中の発表等に関しては、一回の授業中に、最低一回は当てるつもりでいる）。出席率が3分の2を越えなければ、成績は「不可」とする。

教科書

『5分間口語英語表現』（南雲堂）900円
『ミーティング・ピープルⅡ』（弓プレス）1,600円
ISBN4-8034-1180-8 C1082

科目名	担当者名
英語ⅡB〔再クラス〕	ほん ま とし かず 本 間 俊 一

講義のねらい

教科書の英文の訳読とその構文理解を中心として学びながら、話題は英米文化圏の日常生活、そして彼らの思考、さらに日本との比較に及ぶ。通常の授業は、前もって学習する予定を発表し、予習を前提に授業を進める。さらに年間を通じていくつか課題の提出を要求するつもりである。学習においては、もちろん細部にこだわるつもりであるが、あまり細部にこだわり過ぎて全体観を失うことは愚かなことであるから、時には相手に大きな誤解を与えない程度に大胆に要約する能力を養えるようにする。

講義の内容・授業スケジュール

毎回、作品の全体を視野にいれながら、細部に注目し、各自が一部を責任もって発表する予定。パソコン・ネットワークを利用した、英語自習、研究の発展、相互のコミュニケーションに及ぶつもりである。

成績評価の方法

前期と後期の2回の試験はもちろんのこととして、普段の授業での発表、さらに年間を通じての課題の提出で評価を決定する。授業の出席は3分の2以上、遅刻3回で1回の欠席と計算する。なお、課題の提出の仕方については授業で細かく説明するつもりであるが、休暇中にパソコン・ネットワークでも可能であるから興味のある学生はそれに習熟されたい。

教科書

Checknote For Business Trends（金星堂）1,100円
ISBN4-7647-3717-5

科目名	担当者名
英語ⅡB〔再クラス〕	お尾 がつ しげ まさ 尾 形 重 政

講義のねらい

英語IBを基礎として、さらに多くの量を読めるように大意の把握に心がけ、読む速度をアップさせることを目指します。

講義の内容・授業スケジュール

テキストを読み進めると同時に、英字新聞の記事やTOEIC等の問題も使用します。

履修上の留意点

授業は予習してくること。また、辞書を持参すること。

成績評価の方法

積極的な授業態度を重視し、試験結果を入れ総合的に判断します。

教科書

LOOKING BACKWARD - *Major Events of the 20th Century* 事件でたどる20世紀 (南雲堂)
1,800円 ISBN4-523-173141-1

科目名	担当者名
英語ⅡB〔再クラス〕	て じま けい こ 手 島 敬 子

講義のねらい

本科目では「英文読解力向上」を目標に出来る限り多くの英文を読むことで英文に慣れ、読解力および読解速度を引き上げることを目指します。

講義の内容・授業スケジュール

テキストは比較的平易な英語で書かれたものを使用し、短時間に効率よく、また的確に内容を読み取る練習を行っていきます。

履修上の留意点

英和辞典を必ず持参。

成績評価の方法

中間、定期試験、課題、出席状況、授業への参加度などに基づき総合的に行います。

教科書

開講時指示

〔ドイツ語〕

科目名

ドイツ語 I A〔再クラス〕

担当者名

本橋 右京

講義のねらい

伝統的なドイツ語初級文法の配列にしたがって、基本的な語彙やドイツ語の構文の特徴を習得します。やさしい例文にできるだけ多くあたり、運用能力の涵養を図ります。

講義の内容・
授業スケジュール

文法をアルファベット、発音から復習します。ドイツ語の仕組みを把握し、それをテキストで確認します。そこに出てきた基本表現を覚え、さらに毎時間配布する練習問題で理解を確かなものとします。

履修上の留意点

予習や授業中の発表など、みなさんの積極的な取り組みに期待します。

成績評価の方法

前期後期の試験や出席などで総合評価します。

教科書

諏訪田清『新訂・ドイツ文法18歩』（同学社）

外国語

科目名

ドイツ語 I A〔再クラス〕

担当者名

志 真 斗美恵

講義のねらい

ABCの発音からはじめて、ドイツ語の初級文法の基礎を学習します。

講義の内容・
授業スケジュール

教科書にしたがって、発音練習をし、文法事項を説明した後、その内容を理解するための練習問題を課し、提出していただきます。

履修上の留意点

さまざまな理由で再履修になった方、編入学した方が受講していると思います。授業に参加していれば理解できる内容です。新しい語学を覚えるのは楽しいことです。休まず出席してください。毎回必ず辞書持参のこと。

成績評価の方法

平常点（毎回の練習問題の提出）と前・後期試験で総合的に評価します。

教科書

『魔法使いの弟子——なじみやすいドイツ文法』（同学社）2,300円

科目名

ドイツ語 I A〔再クラス〕

担当者名

井 村 行 子

講義のねらい

ドイツ語文法の基礎を復習します。

講義の内容・
授業スケジュール

基本的な文法事項を説明しながら、簡単な問題を練習します。

履修上の留意点

何はともあれ出席を心がけてください。

成績評価の方法

前期と後期の学期末に筆記試験を行います。

教科書

諏訪田『ドイツ語文法18課』（同学社）

科目名	担当者名
ドイツ語 I A〔再クラス〕	やぶ した こう いち 数 下 紘 一

講義のねらい	ドイツ語はドイツ、オーストリアそしてスイスで使われている外に、ハンガリーやユーゴ諸国、ギリシア等でも通じる言語です。外国人でドイツ語を高校・大学で学んでいる数も数百万人以上にのぼっています。皆さんもその一人です。外国の学生とドイツ語で苦勞しながらも、何んとか読めたり書いたり話したりできるようになっていくのです。ドイツ語 I A (文法) で苦勞しておく、あとが楽になります (2年生で)。
履修上の留意点	出席を重視します。
成績評価の方法	中間試験と年度末試験があります。(50点満点の試験を2回)
教科書	『ドイツ文法 アウトライン』(郁文堂) 1,700円+税
その他	このクラスは昨年一寸点がとれなかった人達のものですが、今年こそは優とってやる、と腹をくくって頑張ってください。

科目名	担当者名
ドイツ語 I A〔再クラス〕	みなみ 南 はるつ

講義のねらい	比較的容易な問題を解くことによって初級文法の基礎を身につけます。
講義の内容・授業スケジュール	前期：発音、冠詞類、動詞の現在人称変化、前置詞、助動詞 後期：命令形、複合動詞、接続詞、過去形・現在完了形、形容詞、関係代名詞
履修上の留意点	出席を重視します。
成績評価の方法	前期試験、後期試験、平常授業時間中に行う小テスト、平常点、出席状況を総合して評価します。
教科書	南道子他著『ドイツ語の上にも一年』(同学社) 2,300円
参考書等	随時紹介する他、授業に必要な練習問題等のプリントを配布します。

科目名	担当者名
ドイツ語 I B〔再クラス〕	いい づか きみ お 飯 塚 公 夫

講義のねらい	正規の授業と同じで、ドイツ語の基本を振り出しからやっていきますが、発音と内容の読み取りを重視します。
講義の内容・授業スケジュール	教科書通りに、文法説明・発音練習・練習問題・文章の読解といった手順でやっていきます。
履修上の留意点	出席ただけでは単位になりません。日常から頭をきりっとして生きている必要があります。あとはまじめであれば十分です。
成績評価の方法	前期後期各一回の筆記試験と平常点 (= 発表点)。
教科書	菅谷泰行他著「EUで学ぶドイツ語」(白水社) 2,200円

科目名	担当者名
ドイツ語ⅠB〔再クラス〕	すぎもとまさとし 杉本正俊

講義のねらい

ドイツ語を全く知らない人にABCからドイツ語を教えます。発音、文法、語彙などあらゆる観点からドイツ語への入門を行います。

講義の内容・授業スケジュール

発音に関しては独自のプリントを用意するが、その他はおおむね教科書に記載された項目順に学習を進める。

履修上の留意点

予習は必ずしも要求しない。授業中は勉強に注意を集中し、与えられた課題は全てきちんと行う事。

成績評価の方法

前半（夏休み前）にテストを行うかどうかは、授業の進み具合を見て決める。しかし後期末には必ず定期テストを行う。日頃の授業には積極的に参加する事。授業中のまちがいは全く成績には影響しない。最終的にドイツ語をよく学んだかどうかは、担当教員が総合的に判断する。

教科書

太田隆士・明石真和・櫻井千絵著『楽しいドイツ語トレーニング』（三修社）2,100円

外国語

科目名	担当者名
ドイツ語ⅠB〔再クラス〕	もとほしうらもち 本橋右京

講義のねらい

伝統的なドイツ語初級文法の配列にしたがって、やさしい文章をできるだけ多く読み、運用能力の涵養を期します。

講義の内容・授業スケジュール

初級文法を初めから復習し、場合によっては補足します。表現は短くて平易です。できるだけ基本表現は覚えて行きましょう。

履修上の留意点

しっかり予習して授業に臨んでください。予習や授業中の発表など、みなさんの積極的な取り組みに期待します。

成績評価の方法

前期後期の試験や出席などで総合評価します。

教科書

山本淳 『新々・じゃあ、またあした!』（同学社）

科目名	担当者名
ドイツ語ⅡA〔再クラス〕	もりこうせい 森 公成
ドイツ語ⅡB〔再クラス〕	

講義のねらい

ドイツ語ⅠAとⅠBを基礎とし、それを実践的に発展させる授業です。文法の復習をしながら、総合的なドイツ語能力の向上をめざします。

講義の内容・授業スケジュール

一年をかけて下記の教科書を終わらせます。最初はゆっくりと進めますが、じょじょにスピードアップをはかります。

履修上の留意点

授業への積極的な参加を希望します。また、3分の1以上休んだ場合は（遅刻と早退は2回で1回休みとみなします）、原則として定期試験の成績いかんに関わらず、単位の修得ができませんのでくれぐれも注意してください。

成績評価の方法

定期試験（年2回）、出席率、夏期休暇中の課題、授業態度等から総合的に判断、評価します。

教科書

早川東三、Michael Muenzer 共著 『新・ドレーガー失踪事件』（第三書房）2,100円

科目名	担当者名
ドイツ語ⅡA〔再クラス〕	もと はし う きょう 本 橋 右 京
ドイツ語ⅡB〔再クラス〕	

外国語

講義のねらい	初級文法の配列に則った読章を読み、基本的な語彙やドイツ語の構文の特徴を習得して行きます。
講義の内容・授業スケジュール	初級文法に準拠して、文法項目を確認しながら学んで行きます。その際、ローリングプレイなどを折り返します。基本表現はできるだけ覚えましょう。
履修上の留意点	テキストは丁寧に無理なく、また興味深く作られています。しっかり予習して授業に臨んでください。授業中の発表や表現練習など、みなさんの積極的な取り組みに期待します。
成績評価の方法	前期・後期の試験や出席などで総合評価します。
教科書	伊藤・他「グーテ・ライゼ!」<新版> (郁文堂)

科目名	担当者名
ドイツ語ⅡA〔再クラス〕	い むら ゆき こ 井 村 行 子
ドイツ語ⅡB〔再クラス〕	

講義のねらい	2年生のドイツ語を復習します。
講義の内容・授業スケジュール	教科書に沿って進めます。
履修上の留意点	何はともあれ出席を心がけてください。
成績評価の方法	前期と後期の筆記試験の成績によります。
教科書	教科書販売時までに決めて、書店のほうに連絡しておきます。

〔フランス語〕

科目名	担当者名
フランス語 I A〔再クラス〕	前田 祝一 <small>まえ だ のり かず</small>

講義のねらい	初めてフランス語を学習するものとして、ABCの基礎から開始します。
講義の内容・授業スケジュール	練習問題をくりかえし教室で実践して、その積み重ねで少しずつ理解を深めてもらいます。
履修上の留意点	毎週の授業が、その前までの学習成果の上に立っての新しい項目の勉強ですから、決して欠席しないこと。欠席を重ねると取り残されてしまいますから、ご用心。
成績評価の方法	前・後期のペーパー・テストで成績評価をしますが、出席状況や教室での課題の消化状況にも配慮します。
教科書	天羽・他編『初級フランス語文法（改訂版）』（朝日出版社）2,200円

外国語

科目名	担当者名
フランス語 I A〔再クラス〕	芦原 眷 <small>あし はら けん</small>

講義のねらい	1年かけて、仏語のやさしい文章（おもに会話の多い文章）が読めて（発音）、その内容が理解（読解力）できるようにします。読解力をつけるためには、文法の知識を身につけることがどうしても必要です。文法は読解力に非常に役立つ道具です。
講義の内容・授業スケジュール	前期は、文法を土台にして、仏語の読み方、辞書の上手な引き方を覚えます。後期は、前期の作業を発展させて、できるだけ多くの仏文を読めるようにします。
履修上の留意点	教科書と同時に辞書を持参して下さい。
成績評価の方法	毎回小テストか辞書を使う和訳のテストをします。それに、期末の総合テスト。ときどきレポート。
教科書	中山真彦『ミニ・ボンジュール・パリ』（白水社）

科目名	担当者名
フランス語 I A [再クラス]	小玉 斉夫 <small>こ だま なり お 夫</small>

講義のねらい	フランス語の規則を、しっかりと覚えていきます。辞書を活用し、読み方を確実にして、簡単なフランス語文を読み解けるようになることが目標です。
講義の内容・授業スケジュール	一回の授業で、一課を学習する、という速度で、進んでいく予定です。出来れば、各課終了時にまとめとしての小テストを行い、より確実な記憶・学習をめざします。
履修上の留意点	特別な事情がないかぎり、毎回必ず出席すること。再履修になった原因の大半は、なんらかの理由で出席を怠ったからです。知識の確認を、授業のたびごとに、行うこと。執念ぶかく授業についていくこと。
成績評価の方法	上記の小テストの提出状況、その成績、ならびに前期・後期の試験の成績によって、判定します。出席は、するのが当然です。
教科書	斉藤 昌三 著 『ル フランセ』(白水社) 1,750円 ISBN4-560-06052-5
参考書等	辞書については、初めの授業時に、説明します。

科目名	担当者名
フランス語 I A [再クラス]	菅原 猛 <small>すが はら たけし</small>

講義のねらい	英語以外にも外国語の一つは知っておく必要があることは世界中の常識。
講義の内容・授業スケジュール	1年間の限られた時間枠の中でフランス語を読解する基礎知識を身につける。
履修上の留意点	教科書・辞典を持参し、可能なかぎり出席すること。
成績評価の方法	再履修クラスですから、欠席は許されません。年2回の定期試験の他、授業時間内に行う平常試験の成績を重視します。
教科書	沼田五十六他『カジュアルにフランス語2』(朝日出版社) 2,200円(税別)

科目名	担当者名
フランス語 I A〔再クラス〕	谷川 かおる

講義のねらい	フランス語の基礎をゆっくりと学び直します。
講義の内容・授業スケジュール	文法の基礎を学んだ後に、なるべく数多くの練習問題を行い、基礎力を養います。毎回、小テストを行い、重要な項目を暗記します。
履修上の留意点	出席重視。辞書は毎回持参すること。
成績評価の方法	前期・後期試験、および小テストなど。
教科書	田辺 他『サリュ！』（駿河台出版社）2,650円、CD付
参考書等	授業中に紹介する。
その他	全員参加の演習方式ですので、積極的に参加してください。

科目名	担当者名
フランス語 I B〔再クラス〕	菅谷 暁

講義のねらい	初歩のフランス語を、コミュニケーション能力の学習に力点を置いて勉強します。
履修上の留意点	休まずに出席すること、継続的な努力を望みます。
成績評価の方法	前期末と後期末の試験、および小テストによります。
教科書	藤田著『彼女は食いしん坊！』（朝日出版社）2,500円

科目名	担当者名
フランス語 I B〔再クラス〕	今関 アン

講義のねらい	一年時に習得できなかった箇所を確実にものにし、フランス語検定5級程度の力を付ける。
講義の内容・授業スケジュール	テープの聞き取り、単語調べ、その場での会話訓練および訳読、練習問題など。
履修上の留意点	2/3の出席は最低条件である。なお教科書・辞書も携行せず、漫然と椅子に座っていて出席点を貰おうなどと考えるのは言語道断である。予習し、積極的に授業に参加し、課題の提出を持って初めて出席と見なす。就職活動・疾病などでやむを得ず欠席する場合は、出席に相当する課題を出す。
成績評価の方法	2/3以上の出席（25%）+夏休みの課題『ふらんす夏休み学習号』白水社の実力テスト（25%）+前・後期定期試験（50%）
教科書	安田悦子著『ヴィット フェ・ビヤン フェ』（白水社）2,100円
参考書等	仏和辞典、『ふらんす夏休み学習号』（白水社）（7月中に大学内紀伊國屋書店で購入） 清岡智比古著『フラ語入門、わかりやすさにもホドがある』（白水社）1,500円

科目名	担当者名
フランス語 I B〔再クラス〕	伊藤 なお

講義のねらい	フランス語の基礎を学習し、実用に適した知識を身につけます。
講義の内容・授業スケジュール	フランス語文法の基礎を学習しながら、平易な対話文を読むとともに、簡単な表現を用いての練習問題に取り組みます。音としてのフランス語に馴染んでもらうため、聴き取り、発話を重視する授業を行ないます。
履修上の留意点	積極的に授業に参加し、ためらわずに発話練習、練習問題に取り組むことが必須です。必ず初回から出席し、毎回与えられる課題をしてから授業に臨んで下さい。
成績評価の方法	平常点、前・後期試験によって判定します。
教科書	藤田裕二『彼女は食いしん坊!』(朝日出版社) 2,500円

科目名	担当者名
フランス語 I B〔再クラス〕	谷川 かおる

講義のねらい	フランス語の基礎をゆっくり勉強しなおします。ビデオの映像と音声により、フランス語とフランス文化に親しみつつ、簡単なフランス語会話を習得します。
講義の内容・授業スケジュール	毎週、重要な基本文法の解説の後、それがきちんと活用できるよう練習問題や暗唱に取り組んでもらいます。
履修上の留意点	出席重視。辞書は必ず持参すること。
成績評価の方法	前期・後期の試験に、毎週行う小テストの点を加味し、総合的に評価します。
教科書	田中保子『サリュ!』(駿河台出版社) 2,500円

科目名	担当者名
フランス語 II A〔再クラス〕	小玉 齊 夫
フランス語 II B〔再クラス〕	

講義のねらい	文法事項の復習をしながら、やさしいフランス語を読み進み、フランスという文化圏についての知識・判断を深めることを目標とします。
講義の内容・授業スケジュール	おおよそですが、二週で一課を終わらせるという速度で、進んでいきます。一課終了ごとに、その課についての小テストも行う予定です。
履修上の留意点	健康上やむを得ない時などを除き、可能なかぎり毎回出席して、そのつど、新たなフランスに関する知識・判断をたくわえていって下さい。授業には、以前使用していた文法の教科書や仏和辞書を必ず持ってくることを。
成績評価の方法	(上記の)小テスト、授業への【参加】の様子、それに、前期および後期の試験で評価します。毎回の出席は義務(ならびに権利)です。「出席点」というものは付けません。
教科書	中村著『素顔のフランス ―ヴァリエーション―』(青山社) 1,200円

科目名	担当者名
フランス語ⅡA〔再クラス〕	ぬま くら ひろ こ 沼 倉 広 子
フランス語ⅡB〔再クラス〕	

講義のねらい	辞書を使いこなして、文章を読む力をつける
講義の内容・授業スケジュール	フランス一周自転車レースを追いながら、フランスの地理、歴史の概要が理解できるようにする
履修上の留意点	文法の説明など随時行うので、休まないことが肝要
成績評価の方法	前後期とも試験を行うが、平常点を大いに重視する
教科書	[テキスト版] 『ツール・ド・フランス』 三野博司著（白水社）ISBN4-560-00969-4 C3085

外国語

科目名	担当者名
フランス語ⅡA〔再クラス〕	まえ だ のり かず 前 田 祝 一
フランス語ⅡB〔再クラス〕	

講義のねらい	中級フランス語ですが、初級の後半部分を重点的に復習しつつ、平易な物語を少しづつ読み進めてゆきます。
講義の内容・授業スケジュール	学生の側が主体的に授業参加できるように、工夫しましょう。
履修上の留意点	フランス語IA・IBの単位未修者は自分で参考書などを求めて、勉強するよう努めて下さい。
成績評価の方法	成績は基本的には、前・後期のペーパー・テストで評価しますが、出席状況や課題にも配慮します。
教科書	ミカエル・フェリエ著・福井編『クロヴィス——フランスの誕生——』（朝日出版社） 1,155円

〔中国語〕

科目名	担当者名
中国語 I A〔再クラス〕	こう りん ひで ちと 江 林 英 基
中国語 I B〔再クラス〕	

外国語

講義のねらい	授業は発音とピンイン表記を再学習後、各課の文法を解説しながら本文と会話の文型を説明し、学生諸君に順番に朗読させ、正しい発音と声調を求める。
講義の内容・授業スケジュール	テキストは中国人が日常生活でよく使用する単語と簡単な文型を内容とするものであり、全20課、各課の本文のあとに基礎文法の解説と会話の例文を付してある。その内容も易から難へと自然な順序で配列されている。
成績評価の方法	小テスト、宿題、年2回の定期試験及び出席状況と学習態度を総合して判定する。
教科書	上野恵司『標準中国語（基礎編）』（白帝社）2,100円

科目名	担当者名
中国語 I A〔再クラス〕	あき ちと たすく 秋 元 翼
中国語 I B〔再クラス〕	

講義の内容・授業スケジュール	発音の基礎からやり直し、初級文法・簡単な会話・簡単な文を学ぶ。受講生の理解度に応じ復習をしながら一回一課ずつ進み、一年で教科書一冊を学び終える。分かる授業、楽しい授業にしたい。
履修上の留意点	発音面も重視し、ピンインに対する苦手意識をなくすことを目標に、今年は絶対単位を取る気で積極的に授業に望んで欲しい。4分の3以上の出席が必要。
成績評価の方法	平常の学習態度や到達度と、中間・期末のテストの結果によって総合的に評価する。
教科書	渋谷裕子・孟若燕『新しいキャンパス的中国語』（同学社）2,625円

科目名	担当者名
中国語 I A〔再クラス〕	あずま えい ぜん 東 映 全
中国語 I B〔再クラス〕	

講義のねらい	中国語の正しい発音・語法及び常用単語の習得によって、基本会話・文型の運用能力を養成することを目的とする。
講義の内容・授業スケジュール	正しい発音を習得するには、先ず発音記号の「拼音字母」及び「声調符号」（四声）の読み方を併せて学習する。それから、基本文型に入る。
履修上の留意点	予習と復習が不可欠である。よって自主的学習が、その成果につながることを心得て欲しい。
成績評価の方法	平常点で評価する。（出席状況を加味する）
教科書	陳榮生等共著『中国を知ろう』（神保出版）2,625円（本体）

科目名	担当者名
中国語 I A〔再クラス〕	ね 根 ぼし 岸 まさ 政 こ 子
中国語 I B〔再クラス〕	

講義のねらい	中国語の発音と基本文法を習得する。
履修上の留意点	最初の3、4回は中国語の発音を中心に進めるので、必ず出席すること。やさしい教科書なので、3回に2課のペースで進む。学習したことが力になっているかを確認するために随時小テストを行う。
成績評価の方法	前期後期のテスト、小テスト、出席状況などで評価する。
教科書	瀬戸口律子『中国語はじめました』（駿河台出版社）2,415円

科目名	担当者名
中国語 I A〔再クラス〕	と 戸 ぼり 張 よし 嘉 かつ 勝
中国語 I B〔再クラス〕	

講義のねらい	中国語の発音（ピンイン）と基礎文法（文型）を覚え、会話の基本表現を習得する。
講義の内容・授業スケジュール	<ol style="list-style-type: none"> ① 文字・語義・文法・表現などの面から日中両語を比較し、その異同を認識すると同時に学習上の注意事項や学習要領を覚える。 ② 発音と声調を正確に覚え、特に日本語にない発音や発音上の約束事などの反復練習により、正確な発音を習得する。 ③ 教科書の設定したコミュニケーション場面の基本的な会話パターンを解析し、基礎文法を習得する。そして、会話文や基本表現とドリルを通して、語彙や表現法を増やし、中国語的な会話の運び方を習得する。
履修上の留意点	出欠は成績に加味するので、欠席数の多い学生は単位をとるのが難しい。
成績評価の方法	前期と後期の中間試験、前期と後期の期末試験、授業態度や発表などの平常点と出席率によって評価する。
教科書	関中研（関西大学中国語教材研究会）編著『中国語@キャンパス会話編』（朝日出版社）2,415円

科目名	担当者名
中国語 I A〔再クラス〕	ほんまゆかり 本 間 由香利
中国語 I B〔再クラス〕	

外国語

講義のねらい	中国語に興味と関心を持ってもらうこと。
講義の内容・授業スケジュール	まず発音記号の習得を徹底的に訓練します。毎回の授業は、単語・例文の意味確認、文法の説明を行い、聞き取りや簡単な会話話練習も行う予定です。
履修上の留意点	出席を重視します。自宅で予習復習を行い、発音練習をしてくること。
成績評価の方法	平常点（出席、授業態度）、小テスト、学期末テストを総合的に評価します。
教科書	南雲智・趙暉『始めよう！中国語』（白水社）2,205円
参考書等	授業の中で紹介する。

科目名	担当者名
中国語 I A〔再クラス〕	ちよういとう 張 渭 涛
中国語 I B〔再クラス〕	

講義のねらい	中国語の基礎になる発音、語彙、基本文型、基本文法をしっかりと身につける。中国語の表音記号である拼音（ピンイン）を全て声に出して読めるようになることが第一目標。中国語の独特の魅力を体感して、だんだん「漢語」の語感を養っていきます。
講義の内容・授業スケジュール	先ずは、中国式ローマ字表記ピンインを正確に読み、書けるようにする。その後は、日本人学生の中国における留学生生活を舞台とする食堂、郵便局、試験等などの場面で交わされる典型的な会話文を学びながら、体系的に初級中国語文法を無理なく理解していく。
履修上の留意点	元気よく、積極的に授業に参加すること。今年は絶対単位を取る気で、中国語と中国の世界に関する知識欲を再発見して欲しい。
成績評価の方法	出席率、小テスト、授業時の意欲、期末テストの結果から総合的に評価します。出席は最重視。週に90分間の授業を最後までずっと頑張って続けていけば、必ずためになる。
教科書	加藤阿幸ほか『総合現代中国語・会話と閲読』（中国詩文研究会発行、東方書店出版）1,800円（CD付き）
参考書等	推奨辞書は開講時に説明する。
その他	「你好」から始めて、積極的に会話の機会を作り、CDをBGMとして聞き、話すようにしましょう。

科目名	担当者名
中国語ⅠA〔再クラス〕	ひろ かね かな こ
中国語ⅠB〔再クラス〕	弘 兼 加奈子

講義の内容・
授業スケジュール

当初は、発音や基本的な文法の内容の確認を行う。テキストは文法を踏まえながらも、実践的な内容となっている。

履修上の留意点

諸般の事情はあると思うが、本年度は特に出席率を重視する。

成績評価の方法

成績は年間約4回の試験と教場での平常評価によって総合的に判断する。

教科書

塚本慶一 劉穎『《新版》1年生のコミュニケーション中国語』（白水社）2,310円

科目名	担当者名
中国語ⅠA〔再クラス〕	らん めい
中国語ⅠB〔再クラス〕	蘭 明

講義の内容・
授業スケジュール

前期は最初の一ヵ月において、ピンインを読めるように集中的練習をする。その後、簡単な会話の練習に進む。後期は、やさしい日常会話を中心におき、授業を展開する。

成績評価の方法

出席など授業姿勢に評価の重きを置く。前後期二回に分け試験を行う。

教科書

董燕・遠藤光暁『理香と王麗 話す中国語1』（朝日出版社）2,835円

科目名	担当者名
中国語ⅡA〔再クラス〕	うめ だ まさ こ
	梅 田 雅 子

講義のねらい

物語の講読を通して、一年次の学習を基礎に、語彙・基礎文法・読解力の向上をねらいとする。

講義の内容・
授業スケジュール

中国語による講読を通して、中国文化に触れると共に、文法事項の確認と定着を図る。なお、授業中に適宜、小テストを行う。

履修上の留意点

3 / 4 以上の出席が必要。予習復習必須。辞書（日中・中日）持参

成績評価の方法

平常点（出席・授業態度・小テスト）40%、前期試験：30%、後期試験：30%

教科書

八木章好編著『漢語趣話—文法中心の中級読本』（白帝社）1,890円
ISBN4-89174-411-1

科目名	担当者名
中国語ⅡA〔再クラス〕	いわさき ひとし 岩崎 皇

講義のねらい	中国語の文章を読むための文法知識の獲得及び語彙を増やすことが目標です。テキストはウイグル族に伝わる小話集ですが、主人公阿凡提の名を知らない中国人はいないほど、広く親しまれています。
講義の内容・授業スケジュール	授業は、始めに本文を各自訳してもらった後、解説をするという形になります。単語のプリントを配布しますが、まず自分で訳さなければなりません。その際、疑問点は自由に質問して構いません。
履修上の留意点	授業にはすべて出席することが前提です。やむを得ない理由（急病、急用、忌引、クラブ活動等）により欠席する場合でも、7回以内にとどめてください。11回を越えた場合は試験結果に関わらず成績評価をしませんから注意してください。
成績評価の方法	4分の3以上の出席を前提とした上で、試験の成績により評価します。試験は前期2回、後期2回行う予定です。
教科書	大川完三郎編『阿凡提的故事』（朝日出版社）1,260円

科目名	担当者名
中国語ⅡA〔再クラス〕	おおくぼ おきお 大久保 明男

講義のねらい	中国語の「聴く」「話す」「読む」「書く」、各方面のバランスのとれた表現力を身につけることを目指す。
講義の内容・授業スケジュール	基本的に教科書に沿って授業を進める。折に触れて中国の社会や文化に関することを紹介したり、ビデオを見たりする予定。
履修上の留意点	積極的に授業に参加すること。毎回予習、復習すること。
成績評価の方法	出席率、定期試験の成績、平常点の三項目で総合評価する。
教科書	尹景春・竹島毅『中国語さらなる一歩』（白水社）2,310円

科目名	担当者名
中国語ⅡB〔再クラス〕	り 雲 李 雲

講義のねらい	基本文型と表現が織り込まれた会話を中心に授業を進める。日常生活に必要な会話力、文章力をさらに高めることを目的とする。
講義の内容・授業スケジュール	基本文型、会話文、練習問題の順で練習し、各課ごとに、書き取りの練習もする。
履修上の留意点	平常の練習が大切なので必ず出席すること。
成績評価の方法	筆記試験、書き取り・会話のでき具合と出席率などによって総合的に評価する。
教科書	桜井明治『「中級」漢語会話』（駿河台出版社）2,100円
その他	内容的に結構量があるので、きちんと予習、復習のできる学生に受講してもらいたい。

科目名	担当者名
中国語ⅡB〔再クラス〕	蘭 ^{らん} 明 ^{めい}

講義のねらい	基礎文型を復習し、日常生活でよく使う表現を習得する。
講義の内容・授業スケジュール	発音の練習・基礎文法の確認・会話文の暗誦という三つの内容を中心に進めていく。
履修上の留意点	授業時には大きな声で読むこと。欠席しないこと。
成績評価の方法	出席を重視する。宿題など提出物も評価に加味する。
教科書	董燕・遠藤光暁『理香と王麗 話す中国語2』（朝日出版社）2,835円

〔スペイン語〕

科目名	担当者名
スペイン語ⅠA〔再クラス〕	おお いわ 大 岩 功
スペイン語ⅠB〔再クラス〕	

外国語

講義のねらい	スペイン語初級文法の基礎を概観し、日常会話に最低限必要な知識の獲得、およびスペイン語圏の文化に対する理解を深めることをねらいとします。
講義の内容・授業スケジュール	文法事項の解説をベースに、文章の読解の力をつけてゆきます。ビギナーが特につまづきやすいポイントを押さえながら授業を進めます。
履修上の留意点	適宜小テストを行います。訳読の予習を前提に授業を進めます。授業には辞書を必ず持参すること。
成績評価の方法	適宜行う小テストと前期・後期期末テストの得点、および出席状況、受講態度を総合して評価します。
教科書	大岩功著『やさしいスペイン語文法』（三修社） その他、必要なプリント教材を適宜用意します。
参考書等	推奨辞書宮城昇編『現代スペイン語辞典』（白水社） 参考書 大岩功著『スペイン語なるほど講座』（三修社） 寿里順平著『基礎スペイン語文法』（東洋書店）

科目名	担当者名
スペイン語ⅠA〔再クラス〕	ナバロ, ホワン J.
スペイン語ⅠB〔再クラス〕	

講義のねらい	スペイン語の初歩を学びます。基本文法とやさしい会話の習得を目指します。
講義の内容・授業スケジュール	はじめに文法についての説明があり、次に練習問題で理解を確実にします。各課の会話文や読み物は日本語に訳してもらいます。
履修上の留意点	出席はもちろん積極的な授業参加を期待します。各課の新出単語を調べておくなど予習はかせません。
成績評価の方法	出席と2回の期末試験の結果で評価します。
教科書	ホワン, J, ナバーロ『Español dinámico』（印刷中）

科目名	担当者名
スペイン語 I A〔再クラス〕	かめ やま こう いち 亀 山 晃 一
スペイン語 I B〔再クラス〕	

外国語

講義のねらい

初級文法から始め、発音・アクセント・イントネーションを練習する。比較的簡単な例文を確実に習得することで会話の基礎を作り、スペイン語圏で生活したり、旅行するに当って役立つ、コミュニケーション能力の開発と養成を行う。背景文化や歴史にも触れ、関心を育てることにより、学習継続の為の動機付けとしたい。

履修上の留意点

決して、遅刻・欠席をしない。自ら興味を持ち、学習を継続すること。

成績評価の方法

数回のテスト、日頃の出席状況、受講態度を総合して行う。

教科書

開講時、指示します。

科目名	担当者名
スペイン語 I A〔再クラス〕	おお いわ いさむ 大 岩 功
スペイン語 I B〔再クラス〕	

講義のねらい

初級文法の基礎を概観し、スペイン語とその世界に対する理解を深めることをねらいとします。

講義の内容・
授業スケジュール

文法事項の解説を演習をベースに、教科書の会話文に応じて会話の練習なども行います。ビギナーが特につまづきやすいポイントを押さえながら授業を進めます。

履修上の留意点

予習するかしないかは一義的に学習者の自主性の問題ですが、かならず予習をして授業に臨むよう心がけてください。授業には辞書を必ず持参すること。

成績評価の方法

平常授業中に適宜行う小テスト、前期・後期末テストの得点、および出席状況、受講の積極性を勘案して総合的に評価します。

教科書

中川清・児玉悦子著『皆のスペイン語』弘学社

参考書等

推奨辞書宮城昇編『現代スペイン語辞典』（白水社）
参考書 大岩功著『スペイン語なるほど講座』（三修社）
寿里順平著『基礎スペイン語文法』（東洋書店）

科目名	担当者名
スペイン語 I A〔再クラス〕	おぎ の けい 荻 野 恵
スペイン語 I B〔再クラス〕	

講義のねらい

スペイン語文法の基礎を固めると同時に、イベリア半島の文化に関する平易な文章を通じて講読力を培う。

成績評価の方法

成績は出席、課題、年2回のテストを総合して評価する。

教科書

荻野・浜岡『イベリア文化への誘い』（大学書林）

科目名	担当者名
スペイン語ⅠA〔再クラス〕	さとう まりの 佐藤 麻里乃
スペイン語ⅠB〔再クラス〕	

外国語

講義のねらい	文法の初歩を習得し、スペイン語の基本的な構造を理解する。
講義の内容・授業スケジュール	教科書にそって解説を行い、関連する練習問題を解いて提出後、答え合せをする。性数変化、動詞の変化（現在形・過去形）、再帰動詞、人称代名詞、分詞などを主に扱う。
履修上の留意点	教科書と辞書を毎回必ず持参すること。授業中は先生の話をよく聞き、きちんとノートをとること。授業時の提出物により評価するので、欠席をしないこと。
成績評価の方法	試験は行わず、毎回の授業で行う課題により評価する（このため出席は必須である）
教科書	アルマラス他『プラサ・マヨールⅠ』（朝日出版社）
参考書等	『和西辞典』（出版社は不問）

科目名	担当者名
スペイン語ⅡA〔再クラス〕	うえ の かつ ひろ 上野 勝 広
スペイン語ⅡB〔再クラス〕	

講義のねらい	下記のテキストを用いて、やさしい会話や文章を読みながら基礎文法を最後まで習得することを目標とする。
講義の内容・授業スケジュール	始業時に、「授業方針」のプリントを配布する。
履修上の留意点	初心に戻り、やる気を持って授業に臨んでいただきたい。毎回授業時に必ず辞書を持参すること。
成績評価の方法	平常点（40%）、前・後期テスト（30%）、授業時の小テスト（30%）を合わせて評価する。
教科書	西川喬著『新スペイン語ゼミナール』（第三書房）2,200円

科目名	担当者名
スペイン語ⅡA〔再クラス〕	おお いわ いち 大 岩 功
スペイン語ⅡB〔再クラス〕	

外国語

講義のねらい	スペイン語Ⅰで学習した内容を踏まえ、文法の理解をさらに深めるとともに、スペイン語で書かれた文章に親しむことをめざします。
講義の内容・授業スケジュール	初めはスペイン語Ⅰで学習した文法項目を復習し、その後、さらに新しい項目を学習していきます。まとまった長さの文章を読むための教材も適宜使用します。
履修上の留意点	予習することによって授業の学習効果は何倍にも増幅されます。学生諸君はぜひ予習をしっかりやって授業に参加してください。授業には必ず辞書を持参すること。
成績評価の方法	出席状況と年数回のテストの得点、適宜行う小テストの得点、および授業に臨む姿勢などを勘案して総合的に評価します。
教科書	福寛教隆著『生き生きスペイン語』（朝日出版社） その他、必要なプリント教材を適宜用意します。
参考書等	推奨辞書宮城昇編『現代スペイン語辞典』（白水社） 参考書 大岩功著『スペイン語なるほど講座』（三修社） 寿里順平著『基礎スペイン語文法』（東洋書店）

科目名	担当者名
スペイン語ⅡA〔再クラス〕	かめ やま こう いち 亀 山 晃 一
スペイン語ⅡB〔再クラス〕	

講義のねらい	基礎的な文法知識と日常会話によく出て来る表現を確実に身に付け、スペイン語圏で生活したり、旅行するに当って困らない為のコミュニケーション能力を養成する。演習の機会を多くすることにより習得した知識を定着させる。
履修上の留意点	決して、遅刻・欠席をしない。自ら興味を持ち、学習を継続すること。
成績評価の方法	数回のテスト、日頃の出席状況、受講態度を総合して行う。
教科書	開講時、指示します。

〔ロシア語〕

科目名

担当者名

ロシア語ⅠA〔再クラス〕

すぎ やま ひで こ
杉 山 秀 子

ロシア語ⅠB〔再クラス〕

外国語

講義のねらい

- 1) 母音、子音の基本的発音、アクセント記号（力点）の法則、イントネーションの5つの型をみっちりやります。
- 2) かんたんな挨拶の表現、日常つかわれるロシア語の独特な表現（ボデー・ラングウエジを含む）を身につけます。
- 3) 平易な内容をききとりによって理解できるようにします。
- 4) 基礎的な初等文法を学びます。
- 5) アルファベットを活字体、筆記体で書けるようにします。はじめに絵やビデオをみながら、ロシア語のやさしい単語や短文を何回も繰り返し練習します。教員が質問した事を何回もくりかえしてもらい、うけ答えをします。少し音に馴れてきたらCDを使い更に理解度を深め、語尾変化に抵抗感のなくなるように何回もゆっくり、くりかえしながら発話してもらうようにします。授業では各人が何回も発話をさせられますが、全く恐れる必要はありません。全教員が優しく指導してくれますので恥かしがらないことが大切。

講義の内容・
授業スケジュール

前期はイントネーションや発音に力点をおき、後期はやさしい短文のききとり、初級文法を学びます。

成績評価の方法

何よりも授業の出席を重視。平常の受け答えの得点、ミニテストなどを総合的にプラスして評価点を出します。

教科書

『21世紀のロシア語』（大学書林）1,800円

参考書等

『露和辞典』

科目名

担当者名

ロシア語ⅠA〔再クラス〕

さ の あさ こ
佐 野 朝 子

ロシア語ⅠB〔再クラス〕

講義のねらい

発音、イントネーション、会話を学び、同時にやさしいテキストを読んでいます。会話クラスにありがちな簡単な日常会話以外のことはいっさいわからない、という結果にならないよう努力するつもりです。

履修上の留意点

予習はまずいらないと思いますが、ロシア語の発音、イントネーションを少しでも多く耳にするよう、できるだけ授業には出席して下さい。

成績評価の方法

平常点を重視します。

教科書

絵や図がたくさん入っているロシアで出版された教科書を使って授業をすすめますが、手に入りにくい教科書ですので、コピーを用意します。

科目名	担当者名
ロシア語ⅠA〔再クラス〕	木村英明 <small>きむら ひであき</small>
ロシア語ⅠB〔再クラス〕	

外国語

講義のねらい	発音、イントネーション、会話を学び、同時にやさしいテキストを読んでいきます。会話クラスにありがちな簡単な日常会話以外のことはいっさいわからない、という結果にならないよう努力するつもりです。
履修上の留意点	予習はまずいらないと思いますが、ロシア語の発音、イントネーションを少しでも多く耳にするよう、できるだけ授業には出席して下さい。
成績評価の方法	平常点を重視します。
教科書	絵や図がたくさん入っているロシアで出版された教科書を使って授業をすすめますが、手に入りにくい教科書ですので、コピーを用意します。

科目名	担当者名
ロシア語ⅠA〔再クラス〕	安徳ニーナ <small>あん とく にーな</small>
ロシア語ⅠB〔再クラス〕	

講義のねらい	基本的な文法、発音、読み、書き、が出来る事を目標とする。
講義の内容・授業スケジュール	教科書に基づいて講義を進める。
履修上の留意点	要点の復習は必ずしてほしい。
成績評価の方法	講義の中で時々行う練習問題を主として学習態度を参考にする。
教科書	桑野隆『はじめてのロシア語』（白水社）
参考書等	必要に応じてその都度資料を配布する。

科目名	担当者名
ロシア語ⅡA〔再クラス〕	クロチコフ，Y.
ロシア語ⅡB〔再クラス〕	

講義のねらい	以前に学習した発音、文法、会話の復習。講師が作成した練習用テキストを用いて、文法の基礎を学習しながら、同時に、会話、作文を練習します。ロシア語を通して世界を広げていきましょう。
成績評価の方法	平常点で評価します。授業中に時々、簡単なテストを行います。
教科書	杉山秀子他著『やさしいロシア語読本』（大学書林）
その他	ビデオ、オーディオ等を使用します。

科目名	担当者名
ロシア語Ⅱ A〔再クラス〕	おおす か ふみ かず 大須賀 史 和
ロシア語Ⅱ B〔再クラス〕	

外国語

講義のねらい	以前に学習した発音、文法、会話の復習。 講師が作成した練習用テキストを用いて、文法の基礎を学習しながら、同時に、会話、作文を練習します。 ロシア語を通して世界を広げていきましょう。
成績評価の方法	平常点で評価します。授業中に時々、簡単なテストを行います。
教科書	杉山秀子他著『やさしいロシア語読本』（大学書林）
その他	ビデオ、オーディオ等を使用します。

科目名	担当者名
ロシア語Ⅱ A〔再クラス〕	あん とく 安 徳 ニーナ
ロシア語Ⅱ B〔再クラス〕	

講義のねらい	一般的な文法、発音、読み、書き、ができる事を目標とする。
講義の内容・授業スケジュール	教科書に基づいて講義を進める。
履修上の留意点	要点の復習は必ずしてほしい。
成績評価の方法	講義の中で時々行う練習問題を主として学習態度を参考にする。
教科書	桑野隆『はじめてのロシア語』（白水社）
参考書等	必要に応じてその都度資料を配布する。

〔選択科目〕

科目名	担当者名
英文講読	はやし 明人 林 明人

講義の内容・
授業スケジュール

現代アメリカ文学の短編をなるべくたくさん読みます。単に英語を読むことから鑑賞できるようにできれば幸いです。

成績評価の方法

試験、発表、レポート、出席の総合評価。

教科書

教員が作成したものを用います。

科目名	担当者名
英文講読	や じま なおこ 矢 島 直 子

講義のねらい

イギリス現代演劇を読んで、生きた英語に親しみ、作品を理解すること。

講義の内容・
授業スケジュール

テキストの意味を取り、内容を把握してもらいたいです。くだけた英語に慣れて下さい。戯曲の場合は、想像力をたくましくして読む必要があります。1年間で1冊読み終えたいですが、進度は参加者次第になるでしょう。

履修上の留意点

どんどん当てますから、単語の意味だけでなく、内容も分ってから、授業にのぞんで下さい。

成績評価の方法

日常点と、前期末・後期末試験とを、総合的に評価します。原則として、全出席数の3分の1以上欠席すると、受験資格がなくなります。

教科書

Laura Wada『*Breathing Corpses*』(Oberon Books) 2,550円(税別)

科目名	担当者名
英文講読	まきの 輝良 牧 野 輝 良

講義のねらい

英語の長文の内容理解に努める。

講義の内容・
授業スケジュール

英文の構造をしっかりと学習し、毎時間3頁読み進めることを目安とする。

履修上の留意点

テキストの文章がかなり長いから、履修者は指名されたら内容の発表、和訳ができるようによく自習しておくこと。

成績評価の方法

授業中の発表、和訳、期末テストを総合的に評価するが、英語の理解力に力点をおく。

教科書

『西欧文明をどう理解するか』(南雲堂) 1,600円+税 ISBN4-523-03656-X

科目名	担当者名
時事英語研究	竹村恵都子

講義のねらい

今後の情報化時代に伴い、世界の動きに目を向け、国際社会の実状を的確に把握する必要があります。本授業では、基礎的な英語力を土台に、英文ニュースを学びます。新聞に使用される英語表現は、斬新な語句やイディオム、字句の省略など様々な特徴があります。日頃から内外の英字新聞を読むよう心掛けて下さい。十全な予習を望みます。

成績評価の方法

評価は前期・後期の試験を主とし、平常点（授業態度・発表も含む）、出席率及びレポートなどを総合的に判断し評価します。

教科書

後日確定しだいお知らせいたします。

科目名	担当者名
時事英語研究	林明人

講義のねらい

CNN, Herald Tribune 紙などから集めたニュース英語によく使用される語をキーとした短文をたくさん読むことにより、そのキーワードの意味、および使い方をおぼえることを目的とします。そのほかに実際に英字新聞を読みます。尚、履修希望者が70名を越えた場合は、4月の第1回目の授業で抽選となります。

講義の内容・授業スケジュール

CNN, Herald Tribune 紙などから集めたニュース英語によく使用される語をキーとした短文をたくさん読むことにより、そのキーワードの意味、および使い方をおぼえることを目的とします。そのほかに実際に英字新聞を読んだりします。

成績評価の方法

試験、レポート、出席の総合評価です。

教科書

教員が作成したものを用います。

参考書等

Sanseido's Dictionary of News English (三省堂)

科目名	担当者名
時事英語研究	岸本茂和

講義のねらい

1980年以降のアメリカ社会でどんなことが起こってきたか。それを解く鍵のことばが、“racism” (人種差別主義)・“sexism” (性差別主義)・“political correctness” (政治的妥当性)・“multiculturalism” (多文化主義) などだ。すこしむつかしいかもしれないが、読みごたえのあるいい文章だ。できるだけ読みすすみたい。

講義の内容・授業スケジュール

この授業はいわゆる講義ではなくふつうの英語のクラスだ。「時事英語研究」と銘うちながら新聞・雑誌をよまないのを不審におもうのもっともだが、時事関係の熟語等は随時プリントを配布する。

履修上の留意点

授業にはかならず英和辞書をもってくること。予習は必須。

成績評価の方法

試験は前期・後期の2回。欠席が授業日数の3分の1をこえたばあい「不可」とする。

教科書

『現代アメリカの<美德>』(朝日出版社) 本体1,359円+税

その他

受講者は40人を上限とする。

科目名	担当者名
時事英語研究	田中保

講義のねらい

The International Herald Tribune, The New York Times, AP 通信社、AFP 通信社、BBC News, VOA News 等のニュースをベースにしたテキストを使用して、時事英語を理解するとともに、時事的な基本用語やニュース英語の語学的特質の理解を深めていくことを目的とします。

講義の内容・授業スケジュール

各章の本文読解と Vocabulary Buildup を中心に授業を進めていきますが、時間があるときは、ニュース頻出用語を用いて、実際に英文表現の演習も取り入れて行きます。毎授業1章は進みます。発表形式で授業を行ないますので、予習をしてくること。

履修上の留意点

必ず下読みをして、不明な箇所を重点的に授業に臨むこと。

成績評価の方法

授業時の発表、前期・後期の試験、プレゼンテーション、出席状況等で総合的に検討して評価します。

教科書

『時事英語の総合演習—2006年度版—』(English for Mass Communication, 2006 edition)
(朝日出版社) 1,500円
ISBN4-255-15427-9 C1082

外国語

科目名	担当者名
時事英語研究	矢島直子

講義のねらい

Newsweek の英文を読んで、読解力をつけてもらいたいです。

講義の内容・授業スケジュール

テキストの意味を読み取ってもらい、世界情勢を知ること。教科書は前期くらいで読み終え、後半はプリントか別の教科書で、新聞記事を読んでもらいます。

履修上の留意点

どんどん当てますから、単語の意味だけでなく、内容も分かってから、授業にのぞんで下さい。

成績評価の方法

日常点と、前期末・後期末試験の結果とを、総合して評価します。

教科書

『「ニューズウィーク」で読む日本と世界』(南雲堂) 1,600円
ISBN4-523-17499-7

科目名

担当者名

マルチ・メディア

おち あい かず あき
落 合 和 昭

外国語

講義のねらい

このクラスにタイトルを付けるとすると、「日常会話から映画の英語へ」とでもなるだろう。このクラスのレベルは英語の中級（二級、準一級）程度とする。自然な日常会話文や映画の台詞を通して、英語圏の日常生活で、頻繁に、使用される現代口語英語表現を学びながら、英語の運用能力を高めることを第一目標とする。また、各種の実用検定試験（英検、TOEIC、TOEFL、国連英語等）の受験準備にも役立つようにする。さらに、時間が許す限り、アメリカやカナダの作家、都市、国立公園等に関するビデオを鑑賞し、ヒヤリングの向上、文化や自然の多様性を学ぶ。

講義の内容・授業スケジュール

一回の講義は、主として、三段階からなる。第一段階として、日常会話文や映画を通して、英語の自然なスピードに慣れ、ヒヤリングを向上させる。第二段階は、その会話文や映画の中で、使用されている表現の意味や用法を、文字を通して、確認する。第三段階は、学生に登場人物になってもらって、会話文や台詞（せりふ）を再現しながら、会話練習をする（一人の場合と、対話形式の場合がある）。授業は徹底した演習形式を取り、学生の予習を前提にして、進める。

履修上の留意点

このクラスの受講生はすでに現代口語英語を一年以上学んでいることが望ましい。初めて口語英語を学ぶ学生には、かなりつらい授業になるかもしれない。課題、小テスト、授業中の発表等で、かなりのことを要求するので、そのつもりで受講してもらいたい。また、受講を希望する学生は、最初の授業の時に、必ず、担当者の許可を得なければならない。教場は46名しか入れない教場を使用するので、46名以上の履修希望者がいた場合は、最初の授業の時に、抽選をする。そのため、最初の授業に出席しない学生はこのクラスを受講できない可能性がある。

成績評価の方法

定期試験は全評価の40%とする。その内訳は前期試験が10%（現代口語英語の和訳）、後期試験は30%（ヒヤリングが10%、会話英作文が20%）である。課題、小テスト、授業中の発表等は60%とする。課題は、一回の量はそれほど多くはないが、年に20回程度、小テストは10分程度のものを20回程度、授業中の発表は、一回の授業に、全員が最低一回は当てるように努める。出席率が3分の2を超えなければ、成績は「不可」とする。

教科書

- 1) 『映画総合教材 トゥルーマン・ショー』（松柏社）2,100円
ISBN4-88198-569-8 C3082
- 2) 『基本動詞で始める初級会話英作文』（マクミラン ランゲージハウス）1,800円
ISBN4-7773-6037 C3082
- 3) 『決まり文句書取練習帳』（鶴見書店）800円

科目名	担当者名
マルチ・メディア	おお ば なお き 大 庭 直 樹

外国語

講義のねらい

このクラスは、マルチメディアを使って英語を学ぶクラスである。
 第一の課題は、インターネットを使って、世界の最新のニュースがどのように報道されているかを比較しながら読んでいくことである。インターネットという広大な情報空間から、必要な情報を探索し、その内容を理解するという訓練を積む。
 第二の課題は、研究、文献・資料整理等、カード型のデータベースの作り方を学び、またその有効的な使い方を身につける。具体的には、データベース・ソフト「ファイルメーカー」を使い、自分用の英語彙データベースをつくる。
 第三の課題として、Wordと電子辞書を使いながら、英語による論文、公式文書、ビジネス文、手紙等の書き方を訓練する。
 第四の課題は、英語の映画を一本観ながら、英語の表現の意味内容を徹底的に研究していく。

履修上の留意点

受講生は、一年間の課題をこなせば、コンピュータを活用した知的な活動において、相当なレベルに達するはずである。従って、このクラスを受講するには、年間を通じて毎週クラスに出席することが条件である。

成績評価の方法

試験、定期試験なるものは行わない。受講生には、サーバーの自分のフォルダに、一年間に20程度のファイルを提出してもらう。インターネットで各自が検索する情報もすべて、サーバーの自分のフォルダに入れてもらう。成績は、各学生が一年間にフォルダにセーブされたファイルの成果をもって評価する。

その他

受講者は、教室以外、各自の必要度にあわせて総合情報センターの自習室（朝9時より夜9時まで開館）で補修すること。

科目名	担当者名
マルチ・メディア	にし むら ゆう こ 西 村 祐 子

講義のねらい

英語によるプレゼンテーション映像を制作しコンピュータ編集をするクラス。英語で演じ、それを映像で確認することによるプレゼンテーション能力の強化をめざす。映像企画・構成・脚本・絵コンテ、ビデオ撮影の実習、コンピュータ編集によるビデオ作品完成までの全工程を学ぶ。映像制作およびウェブによる映像配信の実態も学習できる。前期後期でそれぞれ2作品の制作を目指す。

講義の内容・授業スケジュール

以下の手順で前期後期それぞれ1作づつを共同制作する。
 1. 日常生活を題材に英語会話スキットの脚本をつくる。脚本に必要な絵コンテを書く。(コンピュータ使用)。
 2. 配役を決め、スキットを練習。カメラ撮影・音声収録指導あり。
 3. ディレクター、アシスタントディレクター、音声係などを決める。
 4. 撮影基礎学習、ドライ撮影
 5. 撮影 (学外撮影含む)
 6. ビデオ編集、完成
 7. 上映会

履修上の留意点

受講人数制限あり。

成績評価の方法

平常点 (出席点、提出物など) で評価。定期試験は行わない。

教科書

教場にて指定。

参考書等

2005年度マルチメディアクラス制作の英語ビデオ「Feelings and Emotions」(ウェブにて鑑賞の予定)

その他

学外撮影あり。アドビ・プレミア (編集ソフト) を使用。カメラ・三脚マイクその他撮影機材および編集施設は総合情報センターより提供されるが、個人でミニDVカメラなどがあれば便利。

英 会 話 I

〈英会話 I の授業内容と履修上の留意点〉

基本的な日常表現ができることを目指した大学初級レベルの英語会話の授業です。達成目標の目安は英検 2 級合格、TOEFL®のスコアー450点、TOEIC®のスコアー500点程度。各担当者の講義内容 (syllabus) をよく読み、時間表で曜日・時限を確認してクラスを選び、事前登録をしなければなりません。

1 クラスの受講人数に制限があるので、希望通りに選択できない場合もあります。

外国語

科 目 名	担 当 者 名
英会話 I	ウェルズ, J. K.
講義のねらい	WELCOME TO ENGLISH CONVERSATION I Speaking English is not so difficult if you have the interest and belief that you can. I hope to give you this chance to speak without feeling shy!
講義の内容・ 授業スケジュール	First Semester: Pairwork practice answering and asking questions in a relaxed environment. The first semester exam will be an interview that I give you based on the questions and answers you practiced with your partner (s). Second Semester: Role - playing will be emphasized as I feel that speaking English while moving (not just sitting) is important. It will also give you an opportunity to show your 'acting' skills in front of other people, or should I say speaking skills. Your final exam will be a dialogue that you and your partner create/write and, which you will perform in the classroom. Do not worry, it is fun!
履修上の留意点	Attendance is VERY important and so I have one very STRICT rule in my classroom. NO student will be allowed to be absent more than three times during the school year. If I did not have this rule, students would come and go as they please. It is important to attend class. There are NO exceptions for activities in sports or for job hunting. I am proud of the overall percentage of students who attend my class and I know you can attend regularly also.
成績評価の方法	Attendance : 50% Tests : 25% (one test each semester) Quizzes : 25% (usually part of assignments or announced quiz)
教 科 書	There is to be NO textbook, but you will need one larger than average notebook to keep all the prints I provide you in the class. This notebook will be checked and graded. Loose leaf binders should NOT be used. I will provide you with B 5 sized prints so a notebook larger than B 5 should be used. Notebooks will be checked in the second class. The first class is very important, so please do not be absent!
そ の 他	I am an American and have been teaching at Komazawa for many many years! It is a great joy to be a part of such a nice university and I hope you will help me enjoy teaching you during the school year. Learning to communicate in English CAN be fun! See you in class soon!

科目名

担当者名

英会話 I

ササキ, M.

講義のねらい

The goal of this course is for students to obtain the social skills and academic knowledge necessary to hold intelligent conversations in English. Social skills include how to express an opinion based on knowledge obtained from watching the news, reading the newspaper, and searching for information on the Internet.

講義の内容・
授業スケジュール

Students will be expected to explain in English "what happened in the news" on a weekly basis. They will also be expected to give oral presentations based on thorough research. Emphasis will be placed on pronunciation, intonation, tone, loudness, and speed. The textbook will cover practical conversation skills needed for travel.

履修上の留意点

3分の2以上出席すること。課題（レポート、小テスト、プレゼンテーション等）を重視すること。遅刻しないこと（30分以上遅刻する場合、欠席取り扱い）。カンニング、代返、教室退場、盗作などしないこと（成績評価は「不可」になる）。毎日、ニュースを見ること。

成績評価の方法

課題や出席点数の平常点。試験はありません。

教科書

「Viva! San Francisco」 published by Macmillan Language house
教科書と和英・英和辞典をいつも持参すること。

外国語

講義のねらい

English Conversation I was designed for typical Japanese high school graduates who have studied English for six years at junior and senior high school, but have great difficulty in speaking and understanding spoken English. This course helps students overcome their natural shyness at speaking in a foreign language, and gives them many opportunities to practice, in a meaningful context, communicating in natural spoken English. This enables students to build up their speaking and listening skills, and improve their ability to understand and use real English for real communication. Finally, this course seeks to increase the number of situations in which students can function using real-world English.

講義の内容・授業スケジュール

Twelve units from a textbook and the instructor's worksheets will be used as sources of classroom material. The course is based on the principle that the only way to become fluent in a language is through lots of practice. The emphasis in this class, therefore, will be firmly on speaking and listening exercises. Students will do most of their exercises with one other student (this is called pairwork) to give everyone the maximum number of opportunities for speaking and listening practice.

The units to be covered are:

- Unit 1 : Introductions / Classroom Language
- Unit 2 : Likes and Dislikes / Adjectives
- Unit 3 : Locations / Telephoning (1)
- Unit 5 : There is ... There are ... / Quantities
- Unit 6 : Have ... , Want ... , Would like ... / Shopping (1)
- Unit 7 : Uncountable nouns / At a Restaurant
- Unit 9 : Present Continuous / Telephoning (2)
- Unit10 : Fashion / Shopping (2)
- Unit12 : Present Simple / Occupations
- Unit13 : Adverbs of frequency / Routines (1)
- Unit14 : Transportation / Work & School
- Unit15 : The Present Tenses / Frequency

履修上の留意点

It will be assumed that students taking this course have studied English language at high school level for six years. Students must be willing to take a class where all the teaching will be done in English. Students should note that only two absences per semester are permitted in this course. Constant attendance, and a positive attitude towards and active participation in all class activities, will be essential for a passing grade in English Conversation I.

成績評価の方法

A final grade will be based on three measures: a mid-year exam (30%), an end-of-year exam (30%), and a mark based on attendance, attitude in class and class performance throughout the year (40%). The nature of the exams may vary depending upon the class size. An interview-style exam will given if the number of students is small. Otherwise, listening and written exercises will be used. Bonus marks will be awarded to those students who have only zero/one absence (+10%) or two absences (+5%) throughout the year.

教科書

David Paul / *Communicate: book 1 a* / Macmillan Language House, ¥1,230
ISBN0-435-26119-3

講義の内容・
授業スケジュール

Please join this class together with your friends! During most of the class period you will be talking to each other in groups. You will not be learning any more English; all you have to do is to start using what you already know. By the end of the course you should be able to speak enough English to travel in foreign countries, talk with foreigners, and communicate about all the usual things in everyday life. Our textbook will guide you through everything. You will learn all the conversation patterns for everyday situations such as buying things, getting information, making reservations. The course also aims at helping you to find good employment in the future, and so we will concentrate on TOEFL, EIKEN, AND TOEIC. There will also be a lot of intensive practice in English composition, which you can practice together in groups. It's a lot of fun!

履修上の留意点

Attendance and active participation are most important, because improvement in English speaking depends on the amount of practice. Please attend all of the classes. The student may miss six classes in the year and still pass; if the student misses five classes, the final grade will be one letter - grade less than what the student would otherwise have received.

Apart from the two final - semester examinations, there will be frequent small exams. Such exams are not intended to apply pressure; an examination is an excellent method of learning. All exam questions will be questions that we have done together in class, which are printed in the textbook.

成績評価の方法

Your final grade depends 70% on your class performance, in every class. I will keep a record of your participation in every single class meeting.

教科書

We will probably use Sociological Notes, Themis Research Group as our textbook. In the first class meeting we will have a diagnostic test to determine the appropriate level of the class; do not buy the text until after the first class. Also recommended is an English - Japanese dictionary or a battery - powered dictionary. There will be some effort to absorb the vocabulary of written English that you probably do not know.

その他

Your final grade is how good your employment will be after university graduation. Never forget that English ability is extremely important when you are looking for employment; you will be able to get better employment if you improve your English this year. You are taking a high - quality English course to get better employment in the future, not just to get a university grade!

Take this course only if you are fully willing to practice English conversation, in a loud voice, with others. If you don't want to speak out loud, take some other course. In this class you will be speaking English all the time.

科目名	担当者名
英会話 I	ラッセル, S. J.

講義のねらい

English Conversation IC is for students who really want to improve their listening and speaking ability in English.

講義の内容・授業スケジュール

This course will present everyday functional language in various situations. Students will speak in controlled and guided activities with their classmates, which is a great way to make new friends. It should be fun! Later in the course students should be free and able to express their ideas and opinions on a range of interesting topics. Interactive learning will be a feature of the classes so good attendance will be required.

履修上の留意点

Please come to class smiling with a positive attitude to actually SPEAK English. Show that you really want to improve your English by not missing many classes. Good attendance will be important in your grade each semester. Bring your textbook, a notebook, and a dictionary to each class.

成績評価の方法

Students will be assessed at the end of the course based on attendance, assignments and performance in class. There will be a short (but not too easy) speaking test at the end of the course.

教科書

Fifty-Fifty Book 1 ISBN0-13-920000-2 (Published by Longman)

科目名	担当者名
英会話 I	レーン, C. M.

講義のねらい

This language course offers students a chance to improve speaking and listening skills, thus enabling them to feel comfortable in communicating in English in simple everyday situations.

講義の内容・授業スケジュール

Emphasis will be placed on controlled speaking practice and improvement of listening skills. Journal writing will also be compulsory and will give students a chance for freer expression as well as a good way of having more personal contact with the teacher.

履修上の留意点

Classes will be taught entirely in English with students working in pairs or small groups.

成績評価の方法

50% Class participation and attendance
25% Journal
25% Semester exams

As this is a practical class, students must be present and participate actively in order to get a passing grade.

教科書

Book used will be decided on after the course starts to ensure the correct level of text is chosen.

参考書等

A good English / Japanese dictionary

その他

Message for Students
Speaking English can be fun, but to make any progress the student must be prepared to try to speak as much as possible.

科目名

担当者名

英会話 I

ロビン, G. F.

講義のねらい

This course will focus on developing conversation skills for students using vocabulary and grammar that would normally have been acquired from previous courses in the school system. New vocabulary will be introduced as needed. Students will be encouraged to express themselves in English through pair and group activities, on which they will be graded.

講義の内容・
授業スケジュール

It will consist of pair group, small group, and class discussion activities designed to gradually build and improve upon vocabulary and fluency normally acquired from previous pre-college study of English.

成績評価の方法

According to class participation, homework assignments, and a mid-term and final test, which will be given at the end of each term.

教科書

Warren Wilson, Roger Bernard *FIFTY - FIFTY: Student book 1* (Longman)
ISBN0-13-920000-2

外国語

英 会 話 Ⅱ

〈英会話Ⅱの授業内容と履修上の留意点〉

英語を母語とする外国人教師が担当します。英会話Ⅰのレベルを修得しているか、またはそれに相当する力を持っていることを前提とします。関心のあるトピックを話したり、議論できることを目指した大学中級レベルの英語会話の授業です。達成目標の目安は英検準1級合格、TOEFL®のスコア480点、TOEIC®のスコア700点程度。各担当者の講義内容（syllabus）をよく読み、時間表で曜日・時限を確認してクラスを選んでください。

外
国
語

科 目 名	担 当 者 名
英会話Ⅱ	ササキ, M.

講義のねらい

The goal of this course is for students to advance their social skills and academic knowledge necessary to hold intelligent conversations in English in order to develop friendly relations with native English speakers. They should already have the maturity and social skills necessary to express intelligent opinions based on what they obtain from watching the news, reading the newspaper, and searching for information on the Internet.

講義の内容・ 授業スケジュール

Students will be expected to explain in English "what happened in the news" on a weekly basis in great detail. They will also be expected to give sophisticated oral presentations based on excellent research. Emphasis will be placed on pronunciation, intonation, tone, loudness, and speed. Students will be encouraged to develop their English accents. The textbook will cover practical conversation skills needed for home stay and living abroad.

履修上の留意点

3分の2以上出席すること。課題（レポート、小テスト、プレゼンテーション等）を重視すること。遅刻しないこと（30分以上遅刻する場合、欠席取り扱い）。カンニング、代返、教室退場、盗作などしないこと（成績評価は「不可」になる）。毎日、ニュースを見ること。

成績評価の方法

課題や出席点数の平常点。試験はありません。

教 科 書

「*Viva! San Francisco*」 published by Macmillan Languagehouse
教科書と和英・英和辞典をいつも持参すること。

科目名

担当者名

英会話Ⅱ

ラッセル, S. J.

講義のねらい

English Conversation IIC is for students who really want to improve their listening and speaking ability in English.

講義の内容・
授業スケジュール

This course will present everyday functional language in various situations. Students will speak in controlled and guided activities with their classmates, which is a great way to make new friends. It should be fun! Later in the course students should be free and able to express their ideas and opinions on a range of interesting topics. Interactive learning will be a feature of the classes so good attendance will be required. We will also use a range of audio and video materials to prompt class discussion.

履修上の留意点

Please come to class smiling with a positive attitude to actually SPEAK English. Show that you really want to improve your English by not missing many classes. Good attendance will be important in your grade each semester. Bring your textbook, a notebook, and a good dictionary to each class.

成績評価の方法

Students will be assessed at the end of the course based on attendance, assignments and performance in class. There will be a short (but not too easy) speaking test at the end of the course.

教科書

Within Your Reach : Keys to Conversation (NAN'UN-DO)
ISBN4-523-17444-X C0082

外国語

科目名

担当者名

英会話Ⅱ

ソルタ, P. N. F.

外国語

講義のねらい

English Conversation II was designed for high school graduates, who have studied English for at least six years at junior and senior high school, and have successfully completed English Conversation I. The course provides such students with the necessary environment in which to improve upon and expand their abilities to communicate in natural spoken English. This naturally leads to greatly increased confidence in oral communications. The course seeks to give students the necessary competence in talking about various everyday topics that will enable them to establish and maintain meaningful relationships with native English speakers of their own age.

講義の内容・授業スケジュール

A textbook with 12 units and the instructor's worksheets will be used as sources of classroom material. The course is based on the principle that the only way to become fluent in a language is through lots of practice. The emphasis in this class, therefore, will be firmly on speaking and listening exercises. Students will do most of their exercises with one other student (this is called pairwork) to give everyone the maximum number of opportunities for speaking and listening practice.

The units to be covered are :

- Unit 1 : Personal information / Talking about likes and dislikes
- Unit 2 : Friends & Friendship / Personal experiences
- Unit 3 : Romantic relationships / Dating
- Unit 4 : Shopping
- Unit 5 : Summer vacations / Domestic & Foreign Travel (1)
- Unit 6 : Jobs / Job Interviews
- Unit 7 : Opinions / Reasons for opinions
- Unit 8 : Music / Pop Groups
- Unit 9 : Personality / Strengths & Weaknesses
- Unit 10 : Money & Budgets / Prices & Numbers
- Unit 11 : Responses in various Situations / Stories
- Unit 12 : Plans for the Future

履修上の留意点

Students must have passed English Conversation I, and they must be willing to take a class in which all teaching will be done in English only, and where students are required to speak English at all times.

Students should also note that constant attendance, and a positive attitude towards and active participation in all class activities, will be essential for a passing grade in English Conversation II.

成績評価の方法

A final grade will be based on three measures: a mid-year exam (30%), an end-of-year exam (30%), and a mark based on attitude in class and class performance throughout the year (40%). End-of-term exams will normally be one-to-one interviews with the teacher. If student numbers are too large to make this type of exam practical, then an exam with listening and written exercises will be used. Bonus marks will be awarded to those students who have only zero/one absence (+10%) or two absences (+5%) throughout the year.

教科書

Dale Fuller & Corey Fuller [Face To Face : English for Today's Generation] Student's Book 1 (Macmillan LanguageHouse) ¥2,100 + tax

英 会 話 Ⅲ

英語を母語とする外国人教師が担当します。英会話Ⅱのレベルを修得しているか、またはそれに相当する力を持っていることを前提とします。自分の専門分野のトピックを発表し、論じられる表現力を目指した大学上級レベルの英語会話の授業です。達成目標は英検1級合格、TOEFL®のスコア500点以上、TOEIC®のスコア900点程度。各担当者の講義内容 (syllabus) をよく読み、時間表で曜日・時限を確認してクラスを選んでください。

外国語

科目名	担当者名
英会話Ⅲ	ウェルズ, J. K.

講義のねらい

English Conversation III

Welcome to my class! I hope you will challenge yourself speaking English openly on a variety of subjects and activities. This is NOT a beginner's class and the class is held (in most cases) entirely in English. It is usually a small class, so there should be much opportunity for you to speak.

講義の内容・授業スケジュール

First Semester: Emphasis will be put on working with your partners and talking about a variety of subjects I give you. Your first semester exam will be based on speaking ability and you will be marked accordingly.

Second Semester: Partner and group activities will enhance your speaking ability. Your final exam will be an interesting and creative dialogue that you and your partner write. It will be performed in front of everyone.

履修上の留意点

Attendance is VERY important and so I have one very STRICT rule in my classroom. NO student will be allowed to be absent more than three times during the school year. If I did not have this rule, students would come and go as they please. It is important to attend class. There are NO exceptions for activities in sports or for job hunting. I am proud of the overall percentage of students who attend my class and know you can attend regularly also.

It is preferred that you not take English Conversation I and English Conversation III at the same time.

The first class is very important, so please do not be absent!

Auditing my class will be granted based upon the size of the class. Please talk to me about this.

成績評価の方法

Attendance : 50%
Tests : 25% (one test each semester)
Quizzes : 25% (usually part of assignments or announced quiz ; class participation is important)

教科書

There is NO textbook, but you will need one larger than average notebook to keep all the prints I provide you with in the class. This notebook will be checked and graded. Loose leaf binders should NOT be used. I will provide you with B 5 sized prints so a notebook larger than B 5 should be used. Notebooks will be checked in the second class.

その他

I am an American and have been teaching at Komazawa for many, many years. I am sure some of you know me and maybe I taught you English Conversation I. If you want to challenge yourself further, please join my class. I will interview you briefly the first class period to see if your English is good enough to join this class. It is NOT a beginner's class. See you in class! John Wells

科目名

担当者名

英会話Ⅲ

ピアス, D. M.

外国語

講義のねらい

This is the highest level of English conversation practice offered by the university; accordingly we will present the most difficult material possible to speed your success in English fluency.

講義の内容・授業スケジュール

Free conversation is urged at all occasions. Topics of a very wide variety will be introduced by practice dialogues which you will work through in dialogue or group. When applicable, we will exchange our own opinions, orally, about the topic presented in the dialogue. Speech practice will be conducted on three different levels. 1) Daily conversation, which you are already capable of conducting; practice is to amplify your present ability. 2) Conversation on a semiabstract level, which will be accomplished through a mixture of lecture and dialogue. Topics will be cultural and sociological. This type of conversation is to accelerate your fluency in conducting intelligent conversation in English. 3) Academic conversation. Material will cover ethical-social topics such as human rights, income distribution, war, suicide, etc, in a mixture of lecture and dialogue, with subsequent free exchange of opinions. This level requires an entirely new world of vocabulary and speech patterns that never appear in ordinary English conversation. Academic conversation prepares many of you for overseas university study.

履修上の留意点

Grammar, reading, and composition will be practiced every week, in an oral style that you have never before encountered.

成績評価の方法

Three absences per semester permitted. Tests are purely didactic; they are not a disciplinary tool to monitor whether you are studying. Grading is likely to be generous, as anybody who qualifies for a class like this is evidently sincere and self-motivated; using grades as a whip is unnecessary.

教科書

Classes proceed closely according to the textbook; it is absolutely required that you bring the textbook to every class meeting.

英 語 L L I

〈英語 LL I の授業内容と履修上の留意点〉

情報メディア機器（1号館3・4階PC教場）を使用し、発音、アクセント、イントネーションなどの口頭練習とデジタル化されたテープ教材またはビデオ教材を用いて、日常会話などのヒアリングとスピーキングを訓練します。英検2級合格、TOEFL®のスコア450点、TOEIC®のスコア500点程度を達成目標とする初級レベルです。各担当者の講義内容（syllabus）をよく読み、時間表で曜日・時限を確認してクラスを選び、事前登録をしなければなりません。1クラスの定員が30名ですから、希望通りに選択できない場合もあります。

科目名	担当者名
英語LLI	おお た まさ こ 太 田 雅 子

講義のねらい	授業の前半はテキストを用いて英語の難しい音のききとりを徹底的に学習します。そして後半は映画の中の natural English をききとれるように練習を重ねます。又、その中の expression を応用して、英語での自己表現力を養成します。
履修上の留意点	4月第1回目の授業で、授業内容、方法、その他履修上の注意点について説明をしますので、必ず出席してください。その時に、自分のユーザーIDとパスワードをわかるようにしてください。全授業回数の3分の1以上欠席した者には、単位を認定しません。
成績評価の方法	毎回小テスト、年に2回ほど総テストを実施。
教科書	矢作三蔵『 <i>Natural English for Beginner</i> 』

科目名	担当者名
英語LLI	か い かつ こ 甲 斐 捷 子

講義のねらい	外国語の習得は、乳幼児の言語習得を観察すればわかるように、音の習得が基本です。この授業では、河合楽器が製作したビデオを使って、アメリカ英語の発音を視覚的に、基礎から学び直し、バランスの取れた英語力を身につけることが目的です。一つ一つの音の習得から初めて、単語、短文を正確に聞き取り、アメリカ人と同じような発音で発話する訓練へと進みます。音の習得ができれば、英語を学ぶ楽しさが倍加するだけでなく、正確なリスニング力、会話力が身につきます。小中学校の間に、きちんとした発音の訓練を受けなかった皆さんには、ぜひ履修していただきたい授業です。
講義の内容・授業スケジュール	テキストは全22章からなり、各章の構成は、課題発音を含むスキット、発音方法、日米比較、単語、短文の練習、初めのスキットとなっています。発音の様子が映像で写し出されますから、それを見ながら、また、自分の発音とビデオの発音とを重ね合わせながら、正しい発音を習得します。前期でビデオを終了し、後期は American Accent Training のCDを使用してレベルアップを図ります。このハンドアウトは前期の授業開始時に配布します。
履修上の留意点	ビデオ、CDのダビングは著作権法上できません。授業時間内の練習で十分です。
成績評価の方法	一応の目安として、平常評価としての出席10%、前期試験30%、後期試験30%、小テスト30%による総合評価とします。
教科書	<i>Sounds Right! Sounds Good!</i> Hisako Murakawa 著 Macmillan Languagehouse 2,000円

科目名	担当者名
英語 L L I	加藤 佐和子

講義のねらい	発音・アクセント・イントネーションを学習し、ネイティブ・スピーカーとのコミュニケーションが円滑にとれるようにする。TOEIC スコア500を目標にする。
講義の内容・授業スケジュール	毎回テキストを1 Lesson, 1 Unit ずつ進む。更に、ヒットソング・映画の一場面・ニュース報道などのディクテーションをし、スピーキング・リスニングの力をつけていく。
履修上の留意点	各自カセット・テープを用意すること。必ず復習をすること。
成績評価の方法	毎回の小テスト・授業参加度50% まとめテスト50%
教科書	『English 20』(英進社) 『Tune In to the TOEIC Test』(マクミランランゲージハウス)

科目名	担当者名
英語 L L I	久保 ひさ子

講義のねらい	海外旅行で場面別に、一回で通じる短い、英会話文を習得する。
講義の内容・授業スケジュール	旅行英会話の短文を、パソコン使用で、聞きとり、書きとり、反復練習する。コミュニケーションできるようにするため、さらに暗記する。毎回、小テストあり。
履修上の留意点	実習授業のため、欠席しないようお願い致します。
成績評価の方法	試験と授業実習と小テストの合計点。
教科書	マイケル・ブラウン『旅行でしゃべる英会話』(南雲堂)

科目名	担当者名
英語 L L I	にしむらゆうこ 西村 祐子

講義のねらい	基本的な表現をつかっても「話すこと」からはじめ、日常的なテーマを英語で話してみる。後期は日常的スピードで話される会話をききとり、受け答えできるように聞き取る力を向上させていく。説明は前期は日本語でおこなうが、後期にはすべて英語による授業になる。
講義の内容・授業スケジュール	4-7月: 基本的な会話表現を学習。シャドウイングによって短いセンテンスをくりかえし発音し覚える。ペアワークをおこなう。 9-12月: ビデオをみながら話の内容を英語で説明する。英語で簡単なプレゼンテーションを毎回行う。
履修上の留意点	学生への要望: 学生は全員駒澤大学のコンピュータ ID を取得しておくこと。
成績評価の方法	定期試験はおこなわない。平常点(出席率、発表など)重視。
教科書	前期は <i>Talk It UP</i> (1) (マクミラン社) 使用。
参考書等	教場で指定する。

科目名	担当者名
英語 L L I	はなわ 美智子 埜 美智子

講義のねらい	PC 教室を使い英語の発音、アクセント、イントネーション等を習得し、明確な英語が使える、話せる様にする。自分のことばで表現する力を養成する。
講義の内容・ 授業スケジュール	日常生活の中で実際に話されている生きたことばを教材に用い、音声を聞き、繰り返し練習する。聞き、話す力を高めていく。
履修上の留意点	表現について研究したり、ことばの広がりをも自分なりに探す習慣をつける。
成績評価の方法	日常の授業を重視し、出席状況、前後期の試験の結果を入れて総合的に評価する。
教科書	'Experience America!' - An Authentic DVD English Language Text - (金星堂) 2,300円
参考書等	その都度黒板に板書し、案内する。
その他	いろいろなテーマが出てくるので、英語圏文化についての知識を増す努力をする。

外国語

英 語 L L II

〈英語 LL II の授業内容と履修上の留意点〉

中級：LL I 程度の基礎訓練を修得していることを前提とします。デジタル化されたテブ教材またはビデオ教材を用いて、ニュース等の時事問題、やや専門的なテーマの英語スピーチ等の聴解力を集中的に訓練します。また、英語で要約・説明できる表現力を修得します。英検準1級合格、TOEFL®のスコア480点、TOEIC®のスコア700点程度をめざします。各担当者の講義内容 (syllabus) をよく読み、時間表で曜日・時限を確認してクラスを選んでください。

外国語

科目名	担当者名
英語 LL II	わお た まさ こ 太 田 雅 子

講義のねらい

テレビニュース、映画などを利用して、ヒアリングの力の向上をはかります。

履修上の留意点

4月第1回目の授業時に人数制限をしますので、受講希望者は必ず出席してください。その時に授業内容、方法、その他履修上の留意点について詳しく説明します。自分のユーザーIDとパスワードをわかるようにしてきてください。全授業回数の3分の1以上欠席した者には、単位を認定しません。

成績評価の方法

毎回小テスト、年に2回ほど総テストを実施。

教科書

小野田栄『BBC Understanding the News in English 3』

科目名	担当者名
英語 LL II	どの いけ かず こ 外 池 一 子

講義のねらい

最初はVOA、その後CNN・BBCなどの主に最新のニュースを教材にリスニング力の向上を目指します。

講義の内容・授業スケジュール

前期はテキストに沿って進み、授業の進度に合わせて最新のニュースを取り入れて行きます。

履修上の留意点

英語ニュースの聞き取りにはニュースに関する背景知識が欠かせません。新聞を毎日読むこと。予習は当然ですが、復習をきちんとすることが重要です。また、基本的なコンピューターの操作が出来ることが受講の必須条件です。

成績評価の方法

平常点30%、授業の進度にあわせて行う試験（目安は前期・後期各2回）70%。出席日数が3分の2以上の履修者のみが評価の対象となります。

教科書

開講時に指示します。

その他

英語LLIを受講済みの学生、もしくは同程度のリスニングの力がある学生のみが受講対象です。初回にテストを行い受講の可否を判定しますから必ず出席してください。初回のテストを受けなかった場合受講できない場合があります。また、コンピューターを使用しますから、受講前にユーザーIDとパスワードを取得しておくこと。

科目名

英語LLⅡ

担当者名

にしむらゆうこ
西村祐子

外国語

講義のねらい

基本的な会話と英語表現を学んだレベルⅠを終了した学生もしくはそれと同程度の英語力がある学生のためのクラス。レベルⅡではナチュラルスピードで話されるさまざまなストーリーのビデオを見ながら、さらに込み入った日常表現を修得し、概略を説明していく作業を繰り返す。また、テキストを使用してより正確な表現、高度な表現ができる訓練をおこなう。電子メールで提出する課題英作文による書く訓練、多様な文章を読む訓練も併用する。授業はすべて英語でおこない、質問も英語でのみ受けつける。学生同士の英語での話し合いやペアワークなどもとりいれ、インターアクティブに授業をすすめる。到達目標はTOEIC700-750程度。LLⅡにくらべ、難易度が高いので学生によっては受講を制限することがある。

講義の内容・
授業スケジュール

4-7月：基本的な会話表現の復習と聞き取り、プレゼンテーション。教科書はUnit 1-5まで。
9-12月：LLⅢへの橋渡しとして、書き方とプレゼンテーションに力点をおいた授業。教科書はUnit 6-10までを学習。

履修上の留意点

宿題提出はメールまたは大学教場の共有フォルダーのなかに入れる為、受講学生は全員駒澤大学のコンピュータIDを取得しておくこと。

成績評価の方法

定期試験はおこなわない。平常点重視（出席率、発表内容など）

教科書

テキスト：New Headway Pre-intermediate (Oxford Univ. Press.)
使用ビデオ：Headway Elementary、および pre-intermediate、その他。

参考書等

使用ビデオ：New Headway (elementary)、および (pre-intermediate)、その他。

英 語 L L Ⅲ

〈英語 LL Ⅲの授業内容と履修上の留意点〉

上級：LL Ⅱを修得、またはそれと同等以上のレベルであることを前提とします。英語圏の大学の教養／専門科目等の授業が聞き取り、演習で議論できる程度の英語の表現力を養成します。英検1級、TOEFL®のスコア500点以上、TOEIC®のスコア900点程度を目指した訓練コースです。各担当者の講義内容 (syllabus) をよく読み、時間表で曜日・時限を確認してクラスを選んでください。

外国語

科 目 名	担 当 者 名
英語 LL Ⅲ	く ぼ ひ さ 子 久 保 ひ さ 子
講義のねらい	英語講演等をおおよそ、理解でき、さらに、ディベートできる程度をめざしたいと思います。
講義の内容・授業スケジュール	テキストを、聞き取り、書きとり、解答し、再生し、反復練習する。
履修上の留意点	実習授業のため、欠席しないようお願いします。
成績評価の方法	試験と授業実習の合計点
教 科 書	World Times of Japan, "Michigan Action English Step 6"

科 目 名	担 当 者 名
英語 LL Ⅲ	にし むら ゆう こ 西 村 祐 子
講義のねらい	レベルⅡでは日常的なテーマを掘り下げ、より高度な表現をききとることをめざしたが、このレベルⅢはそれより一層高度な会話表現力およびプレゼンテーション能力を習得することをめざす。また、欧米の大学留学のための準備クラスとして、多様な英文を読み、概略を英語でまとめたり、いくつかのトピックについてのプレゼンテーションをおこなったりもする。LL Ⅱ同様、授業はすべて英語でおこなわれ、質問も英語でのみ受けつける。毎回英語でのプレゼンテーションが要求され、グループワークも取り入れる。LL レベルⅡを終了し、英検準一級程度 (TOEIC レベル700以上) の学生を対象とする。このレベルに達していない学生はレベルⅡを受講することをすすめる。
講義の内容・授業スケジュール	4-7月：教科書の Unit 1-5まで。ビデオのサマリーを中心としたプレゼンテーション。 9-12月：教科書の Unit 6-10まで。多様な文章を読みながら感想を記述し、発表する訓練を繰り返し行う。ビデオの英語による概略説明も続ける。
履修上の留意点	大学のコンピュータIDを必ず事前に取得しておく。レベルⅢは例年高度なクラスなので途中で落伍しないためにも履修の前にLL Ⅱの内容とよく比較して検討してほしい。
成績評価の方法	平常点重視 (出席率、プレゼンテーションなど)。定期試験はおこなわない。
教 科 書	New Headway Upper Intermediate. (Oxford Univ. Press)
そ の 他	少人数クラスなので毎回必ずプレゼンテーションがある。

科目名	担当者名
英語 L L III	レーン, C. M.

講義のねらい

The main aim of this class is to help students gain confidence in speaking and listening to English. This will be achieved using a special interactive listening video course. The course will concentrate on cultural and news items. It will teach students to be able to understand and view American Television without subtitles.

The problem with most listening courses is that many "English as a second language" tapes or videos slow down the speech to help students understand every word.

However, when the students go out into the real world they suddenly find that they are consequently unable to understand anything. This course, therefore, teaches students, not only to listen, but also to watch and guess from context. This is because about 40% of what people generally say is actually conveyed through body language, gestures or can be guessed due to the context of the situation.

This course will also teach basic conversational structures helping students to gain confidence speaking and having fun expressing their ideas.

講義の内容・授業スケジュール

Each week students will watch one ABC news story and through the use of specially designed vocabulary and listening exercises will by the end of the lesson be able to completely understand the related news story.

The teacher will also sometimes prepare other listening exercises, using real material, such as music or popular TV dramas.

Students will also have time to practice speaking and to try to express their ideas using all the facilities of the new language laboratory.

履修上の留意点

1. To really improve their listening students must be prepared to attend every class and actively participate within the classroom setting.

2. Since the lesson is only once a week, students must also take control of their own learning and must be prepared to study other listening activities outside of the classroom. They should ideally get into the habit of listening to some form of English every day. Only then will students see a marked improvement in their listening skills.

成績評価の方法

- 20% attendance
- 40% exams
- 40% participation within the class

教科書

There is no textbook as photocopies will be provided. However, students need to buy a folder to keep all the copies together.

科目名	担当者名
ドイツ語コミュニケーション I	^{こばやし} 小林ゲアリンデ

講義のねらい

ドイツ語の基礎的な知識を履修するとともにドイツおよびドイツ語を国語とするオーストリア、スイスの国情について知識を身につけることを目指す。

講義の内容・授業スケジュール

日常的な状況でのドイツ語を話し、理解することに重点をおく。そのため発音練習やパートナー練習を数多く取り入れる。基本的な文法の習得と並んでドイツ語を読む楽しみにも触れたい。適宜宿題を課す。

成績評価の方法

定期試験は行わないが、毎時間、口答対話を行い、それを総合して年度末の成績として評価する。

教科書

テキストは教室で配布する。

その他

ビデオ、カセットを使用する。

科目名**担当者名**

ドイツ語コミュニケーションⅡ

こばやし
小林ゲアリンデ

外国語

講義のねらい

ドイツ語を1年(LLまたは他のドイツ語科目)で学んだ学生を対象とする。ドイツ語を話し、理解する能力をさらに伸ばし、ドイツ語圏諸国についての知識を拡げることが目標とする。

講義の内容・授業スケジュール

話す力、とくに正しい発音を習得する。ややこみ入った状況での会話、中級テキストを読む練習をする。

成績評価の方法

定期試験は行わないが、毎時間、口答対話を行い、それを総合して年度末の成績として評価する。

教科書

Themen I neu

その他

ビデオを使用する。

科目名**担当者名**

ドイツ語ⅠA(選)

やぶしたこういち
数下紘一

講義のねらい

ドイツ語はドイツ、オーストリアそしてスイスで使われている外に、ハンガリーやユーゴ諸国、ギリシア等でも通じる言語です。外国人でドイツ語を高校・大学で学んでいる数も数百万人以上にのぼっています。皆さんもその一人です。外国の学生とドイツ語で苦勞しながらも、何んとか読めたり書いたり話したりできるようになっていくのです。ドイツ語ⅠA(文法)で苦勞しておく、あとが楽になります(2年生で)。

履修上の留意点

出席を重視します。

成績評価の方法

中間試験と年度末試験があります。(50点満点の試験を2回)

教科書

在間『わかって楽しいドイツ語』(三修社)2,200円+税

科目名	担当者名
ドイツ語 I B (選)	野島利彰 <small>のじまとしあき</small>

外国語

講義のねらい	英語と比べるとヨーロッパの他の言語はみな変化が多く、複雑に見えます。しかしその複雑さは共通しています。その意味で、ドイツ語を学ぶことは同時にヨーロッパ言語を知るきっかけになり、またドイツ文化さらには EU を知る助けになります。
講義の内容・授業スケジュール	語学の勉強はただ授業を聴いているだけでは分るようになりません。自分で考え、練習して初めて理解できます。必ず予習をして下さい。その予習の結果を見るために練習問題の解答やテキストの訳を皆さんにやってもらいます。なお発音練習の代わりに教科書の最後についている動詞変化表を使い、同時に動詞の変化を覚えます。
履修上の留意点	CD 付き教科書を使いますので、自宅で十分聞き、発音練習をして置いて下さい。言葉を学ぶことはまず真似ることです。テキストの音読を順番で指名します。
成績評価の方法	3 課ごとに 1 回ヒアリングテストを行う予定です。ヒアリングテスト、動詞変化テスト、定期試験（筆記試験）の成績が評価の基準になります。
教科書	大谷弘道著「新・問いかけるドイツ語」（三修社）2,600円
参考書等	ドイツ語の辞書は最初は引きにくいのですが、すぐに慣れます。二年次でもドイツ語を履修する人、将来大学院まで進む人は簡単な辞書ではなく、しっかりした辞書を購入してください。
その他	語学はまず量の問題です。ラジオやテレビのドイツ語講座も活用してください。

科目名	担当者名
ドイツ語 II (選)	井村行子 <small>いむらゆきこ</small>

講義のねらい	ドイツ語のレベルアップとともに、ドイツについての知識を深めます。
講義の内容・授業スケジュール	全部で10課からなるテキストで、最初の3課は去年の復習なので、前期に第5課まで、後期に第10課まで進めます。
成績評価の方法	前期と後期の筆記試験の成績によります。
教科書	近藤／小林／新倉／松尾『Dialog—ステップアップ版』（郁文堂）

科目名	担当者名
フランス語コミュニケーション I フランス語 L L I	ラリア・三倉 <small>みくら</small> , M.

講義のねらい	フランス人講師や教材のフランス語を聞きながら、学生が簡単なフランス語で表現力を身につけることを学ぶ。
成績評価の方法	筆記試験はしない。授業の平常評価と簡単な口頭面接評価。
教科書	H. TAKAHASHI, S. GIUNTA 『PPP (ペーパーペーパー) Presenter Pratiquer Produire』(第三書房) 2,800円

科目名	担当者名
フランス語コミュニケーションⅡ	ラリア・三倉 ^{みくら} , M.

講義のねらい	フランス語の基礎学習の経験のある学生のためのクラスです。生徒は小さなグループにわかれ、フランス語会話をたくさんすることで発音、表現力の向上をめざします。尚、ビデオで現在のフランスの若者の生活パターンが多く紹介されているので、それに触れながら楽しく学習できます。
成績評価の方法	筆記試験はしない。授業の平常評価と口頭面接評価。
教科書	MONNERIE 著 <i>BIENVENUE EN FRANCE TOME 1</i> (Didier HATIER) プリント資料を学生に与えますので、学生は、格別に教科書を買う必要がありません。

科目名	担当者名
フランス語ⅠA(選)	出口 ^{でぐち} 雅 ^{まさ} 敏 ^{とし}

講義のねらい	この授業では、フランス語文法の基礎を学習してゆきます。文法の基礎をしっかりと身につけることは、フランス語の世界に入ってゆくための大切なプロセスです。ですから、この入口で躓かぬよう、じっくり基礎固めをすることが授業の目的です。
講義の内容・授業スケジュール	テキストは、文法事項の簡潔なまとめと練習問題から成っています。授業は、文法事項の具体的説明の後、練習問題に取り組む、という形で進みます。加えて、フランス語の読み方や仏和辞書の引き方についても慣れてもらいます。
履修上の留意点	辞書を持参して下さい。やむをえず欠席する場合は、理由を書面にて提出して下さい。
成績評価の方法	前期・後期の期末試験と通常点によって評価します。
教科書	斎藤昌三『《新版》ル・フランセ』(白水社) 1,750円

科目名	担当者名
フランス語ⅠA(選)	前 ^{まえ} 田 ^だ 祝 ^{のり} 一 ^{かず}

講義のねらい	フランス語の言語としての特性を理解してもらうこと。そして、少しでも使いこなせるようになること。
講義の内容・授業スケジュール	日常的な基本語・句型を身につけて、少しずつ積み重ねで、言葉の世界を広げ、深めてゆく。つまり、毎日が新しいことの学習です。
履修上の留意点	したがって、毎日が新しいことの学習であり、それらが理解できていることが、次の回の出発点ですから、欠席しないで持続させること。それが終着点での満足感になるはずです。
成績評価の方法	平常点とします。
教科書	内藤・玉田著『フランス語へのパスポート(改訂版)』(白水社) 1,800円

科目名	担当者名
フランス語 I B (選)	菅原 猛

講義のねらい

英語以外にも外国語の一つ位は知っておく必要があることは世界中の常識。

講義の内容・授業スケジュール

1年間の限られた時間枠の中でフランス語を読解する基礎知識を身につける。

履修上の留意点

教科書・辞典を持参し、可能なかぎり出席すること。

成績評価の方法

年2回の定期試験の他、授業時間内に行う平常試験の成績を重視します。

教科書

阿南婦美代『新アン・マルシュー フランス語初級 文法と会話』（駿河台出版社）
2,730円

外国語

科目名	担当者名
フランス語 II (選)	桑田 禮彰

講義のねらい

フランス語中級。フランス語の基礎を既に習得した者を対象にします。

講義の内容・授業スケジュール

比較的簡単で興味深い最新の時事フランス語の文章を読んでいます。発音の基本を確認しつつ、文法事項についても、できるかぎり分かりやすく説明するつもりです。フランス語の基礎を終えた人は、ぜひこの授業を取って、もう一歩踏み込んだフランス語の魅力、フランスの魅力に触れてください。

履修上の留意点

最も重要なのは、もちろん授業への出席です。一回一回の出席を大切にしてください。

成績評価の方法

ふだんの授業での評価をベースにして、年二回の試験の成績で決定します。

教科書

荒木善太他著『ヴァリエテ・フランセーズ2006』（朝日出版社）本体1,900円＋税

参考書等

そのつど授業で指示します。

科目名	担当者名
中国語コミュニケーション I 中国語 L L I	岩崎 皇

講義のねらい

コンピュータ教場の機能を使って、中国語の音声聞き取り能力を養うことが目標です。これは会話の前提となる能力でもあり、練習を通して、自然な発音ができるようになるでしょう。

講義の内容・授業スケジュール

前期は主に、テキストの音声教材を使って、音節をピンインで書き取れるよう訓練します。後期は中国のテレビ映像をメインにして練習していきます。

履修上の留意点

授業にはすべて出席することが前提です。やむを得ない理由（急病、急用、忌引、クラブ活動等）により欠席する場合でも、7回以内にとどめてください。11回を越えた場合は成績評価をしませんから注意してください。

成績評価の方法

4分の3以上の出席を前提に、授業態度及び試験結果で判断します。

教科書

NOVA『中国語はじめの単語帳』（NOVA 出版局）1,575円（本体）

科目名	担当者名
中国語コミュニケーションⅡ	曹 泰 和

講義のねらい	簡単な会話の習得。ヒヤリングの力の向上。
講義の内容・授業スケジュール	会話とヒヤリングを中心にして授業を行う。日常会話や基本文型を繰り返し練習する。
履修上の留意点	積極的に会話の練習に参加すること。なお、中国語コミュニケーションⅠを履修しなくても、この授業は履修できる。2年生から4年生まで履修可。
成績評価の方法	出席、授業態度、テストで総合評価する。
教科書	塚本慶一監修 劉穎著『2年生のコミュニケーション中国語』（白水社）2,310円
参考書等	授業の中で紹介する。

科目名	担当者名
中国語ⅠA(選)	吉 田 建一郎

講義のねらい	中国語の基本的な発音、語彙、文法をしっかりと身につける。
講義の内容・授業スケジュール	前期は、中国式ローマ字表記（ピンイン）の読み方を集中的に練習した上で、基本的な会話を題材として、発音、語彙、文法について理解を深めていく。後期は、前期の復習を行いつつ、引き続き基本的な会話を題材として、発音、語彙、文法について練習を積んでいく。
履修上の留意点	しっかりと声を出して発音練習をするように心がけましょう。授業中は携帯電話の電源を切ってください。
成績評価の方法	出席、授業時の態度、宿題、小テスト、学期末テストをもとに総合的に判断する。
教科書	陳淑梅・蘇明著『中国を歩こう』（金星堂）2,730円

科目名	担当者名
中国語ⅠA(選)	宮 本 厚 子

講義のねらい	中国語の基礎を身につける。
講義の内容・授業スケジュール	発音を学んだ後、会話文を通して、基本的な文法を学び、語彙を増やしてゆく。
履修上の留意点	毎回暗誦あるいは聞き取り（小テスト）を行うので十分に復習をして授業に臨むことが求められる。また、練習問題を配布するので、自習し提出するのが望ましい。
成績評価の方法	年に4回の筆記試験（前後期末試験を含む）と平常点（暗誦・小テストを含む）で評価する。
教科書	プリント配布。
その他	詳細は開講時に説明する。

科目名	担当者名
中国語ⅠB(選)	蘭 明

講義の内容・
授業スケジュール

前期は最初の一カ月（4回に分け）において、ピンインを読めるように集中的練習をする。その後、簡単な会話の練習に進む。後期は、やさしい日常会話を中心におき、授業を展開する。

成績評価の方法

出席など授業姿勢に評価の重きを置く。前後期二回に分け試験を行う。

教科書

董燕・遠藤光暁『理香と王麗 話す中国語1』（朝日出版社）2,835円

科目名	担当者名
中国語Ⅱ(選)	三田村 圭子

講義のねらい

基礎中国語を復習し、聞く・話す・書くを反復練習することで、より実践的な中国語を習得する。

講義の内容・
授業スケジュール

- ①基礎中国語で学習した重要な文法や発音を復習する。
- ②教科書の進度にしたがって、会話を暗記し、また簡単な文章を書けるように練習する。

履修上の留意点

出欠は成績に加味するので、欠席の多い学生は単位取得が難しい。欠席が3分の1以上の場合、採点評価の対象外とする。

成績評価の方法

前・後期の中間期末試験（全4回）と平常点で総合評価する。

教科書

遠藤光暁著『話す中国語 北京篇2』（朝日出版社）2,625円

その他

教科書名に十分注意して購入すること。

科目名	担当者名
スペイン語コミュニケーションⅠ スペイン語LLI	ナバロ, ホワンJ.

講義のねらい

スペイン語の基礎知識がある学生のための授業です。授業中に配布されるプリントの文章や会話について問題を出します。日常会話でよく用いられる表現を聞き取り、話すことができるよう練習します。

成績評価の方法

授業中の練習への参加と出席で評価します。特別試験も実施します。

教科書

『Viaje al español』
テキスト及びVTR教材

科目名	担当者名
スペイン語コミュニケーションⅡ	ナバロ, ホワン J.

講義のねらい

スペイン語の基礎知識がある学生のための授業です。授業中に配布されるプリントの文章や会話について問題を出します。日常会話でよく用いられる表現を聞き取り、話すことができるよう練習します。

成績評価の方法

授業中の練習への参加と出席で評価します。特別試験も実施します。

教科書

『*Viaje al español* 上級編』
テキスト及びビデオ教材

科目名	担当者名
スペイン語ⅠA(選)	かめやまごういち 亀山晃一

講義のねらい

初級文法から始め、発音・アクセント・イントネーションを練習する。比較的簡単な例文を確実に習得することで会話の基礎を作り、スペイン語圏で生活したり、旅行するに当って役立つ、コミュニケーション能力の開発と養成を行う。背景文化や歴史にも触れ、関心を育てることにより、学習継続の為の動機付けとしたい。

履修上の留意点

決して、遅刻・欠席をしない。自ら興味を持ち、学習を継続すること。

成績評価の方法

数回のテスト、日頃の出席状況、受講態度を総合して行う。

教科書

開講時、指示します。

科目名	担当者名
スペイン語ⅠB(選)	ナバロ, ホワン J.

講義のねらい

スペイン語の基本文法を学びながら、中級程度の会話能力の養成を目指します。動詞の過去形の練習に力をいれます。

講義の内容・授業スケジュール

はじめに文法についての説明があり、次に練習問題で理解を確実にします。各課の会話文や読み物は日本語に訳してもらいます。

履修上の留意点

出席はもちろん積極的な授業参加を期待します。各課の新出単語を調べておくなど予習はかせません。

成績評価の方法

出席と2回の期末試験の結果で評価します。

教科書

ホワン・J・ナバーロ『*Español dinámico*』(印刷中)

科目名	担当者名
スペイン語Ⅱ(選)	荻野 雅司 <small>おぎ の まさ じ</small>

講義のねらい	スペイン語Ⅰで学習したものをさらに広く深く学ぶことで実際に使えるスペイン語を習得し、3億人といわれるヒスパニック圏の人々を行う communication の術を身に付けることを狙いとします。
講義の内容・授業スケジュール	上記の目的を達成するために、一方でスペイン語Ⅰで得た知識を今一度リフレッシュしながら、新しい領域に進んでいきます。この過程では教科書以外に、プリント、テープ、ビデオ等を通じて実際に使われている、生きたスペイン語にも接して行きます。
履修上の留意点	言葉の学習には継続が肝要ですから、年間を通じて、コンスタントに出席できる学生の受講を期待します。
成績評価の方法	成績の評価に当たっては、テストの成績よりも、むしろ日頃の受講態度を重視します。
教科書	佐藤玖美子著『新・何を話しましょうか』(弘学舎)

科目名	担当者名
ロシア語コミュニケーションⅠ ロシア語L L I	安徳 ニーナ <small>あん とく</small>

講義のねらい	ロシア語Ⅰ、Ⅱで学んだことを基に、日常会話からロシア文学への入門ができることを目標とします。 日常の話題等についても自由に会話が出来ようになることを目指します。
講義の内容・授業スケジュール	教科書にもとづいて会話形式に講義を進めます。
履修上の留意点	講義で行う練習問題を主として学習態度も参考にし平常点で評価します。
成績評価の方法	講義で行う練習問題を主として学習態度も参考にし平常点で評価します。
教科書	S.KHAVRONINA 著 <i>RUSSIAN AS SPEAK IT</i> (ナウカ社)
参考書等	必要に応じてその都度資料を配布します。

科目名	担当者名
ロシア語コミュニケーションⅡ	安徳 ニーナ <small>あん とく</small>

講義のねらい	日常会話からロシア文学への入門、新聞、雑誌を読みこなせることを目標とします。また自由に会話ができるようになることをめざします。
講義の内容・授業スケジュール	資料にもとづいて会話形式に講義を進めます。
成績評価の方法	講義で行う練習問題を主として学習態度も参考にし平常点で評価します。
教科書	新聞、雑誌の記事など必要に応じてその都度資料を配布します。(学生の希望も考慮します。)
その他	講義の状況に応じビデオ等を使用し「現在のロシアとロシア語について」説明と話もします。

科目名	担当者名
ロシア語 I A (選)	クロチコフ, Y.

講義のねらい

- 1) 母音、子音の基本的発音、アクセント記号（力点）の法則、イントネーションの5つの型をみっちりやります。
- 2) かんたんな挨拶の表現、日常つかわれるロシア語の独特な表現（ボディー・ランゲージを含む）を身につけます。
- 3) 平易な内容をききとりによって理解できるようにします。
- 4) 基礎的な初等文法を学びます。
- 5) アルファベットを活字体、筆記体で書けるようにします。
- 6) 教科書を使用して、コミュニケーションに欠かせない基本的な日常会話を習得していきます。

はじめに絵やビデオをみながら、ロシア語のやさしい単語や短文を何回も繰り返しかえし練習します。教員が質問した事を何回もくりかえしてもらい、うけ答えをします。少し音に慣れてきたらCDを使い更に理解度を深め、語尾変化に抵抗感のなくなるように何回もゆっくり、くりかえしながら発話してもらおうようにします。授業で各人が何回も発話をさせられますが、全く恐れる必要はありません。全教員がやさしく指導してくれますので恥ずかしがらないことが大切です。

講義の内容・授業スケジュール

前期は発音やアクセントに重点をおき、後期は短文の読みや文法をくり返し学びます。

成績評価の方法

テストは行わず、平常点で評価。

教科書

『21世紀のロシア語』（大学書林）1,800円、プリント配布。
ビデオ、オーディオ等を使用します。

参考書等

『露和辞典』

科目名	担当者名
ロシア語 I B (選)	木村英明

講義のねらい

ユーラシア大陸にまたがる広大なロシアは、100に及ぶ民族を抱えた歴史的、文化的に多様な国家です。ソ連崩壊後の長い混迷を経て、現在は再び経済や文化の領域で飛躍の道をたどり始めています。ロシアの人々とじかにコミュニケートできる機会、必要性は、隣国である日本でも高まりつつあります。この授業では、言葉を通してロシアの現況、習慣や文化にも触れていきたいと思っています。

講義の内容・授業スケジュール

この授業では、簡単な日常会話表現をもとにして、初歩の文法を速習します。音声面を重視して、できるだけコミュニケーションに役立つロシア語を学習します。ビデオ等の映像資料も利用したいと思っています。

成績評価の方法

試験は行わず、平常点で評価します。

教科書

桑野隆『エクスプレス・ロシア語』（白水社）をもとに、必要に応じて適宜プリントを配布します。

科目名	担当者名
ロシア語Ⅱ(選)	クロチコフ, Y.

講義のねらい	以前に学習した発音、文法、会話の復習。 講師が作成した練習用テキストを用いて、文法の基礎を学習しながら、同時に、会話、作文を練習します。 ロシア語を通して世界を広げていきましょう。
成績評価の方法	平常点で評価します。授業中に時々、簡単なテストを行います。
教科書	杉山秀子他著『やさしいロシア語読本』(大学書林)
参考書等	ビデオ、オーディオ等を使用します。

科目名	担当者名
朝鮮語ⅠA(選)	宋美玲

講義のねらい	同一の教員が同一の教科書をもって週2回の授業を行う。Aクラスは会話中心、Bクラスは文法中心という方針である。朝鮮語の文字と発音、語彙と文法の基礎を獲得し、朝鮮語を学び朝鮮語に触れることの楽しさを堪能することを目指す。同時に韓国を始めとする朝鮮語圏の文化との触れ合いも試みる。
講義の内容・授業スケジュール	文字と発音の基礎を学び、実用的な会話文を中心に基本的な文法および表現を学習する。基本的な学習の内容はA、Bクラス同様であるが、後期からはAクラスでは、口頭練習および聞き取りと書き取り、Bクラスでは、文法事項による作文や読解などに力を注いでいく。
履修上の留意点	最初の文字と発音に慣れていくまでがその後の進歩と楽しさを決定するので、4月、5月はとりわけ熱心に取り組んでほしい。
成績評価の方法	授業への参加度、学習態度、小テストや期末試験の成績により、総合的に評価する。
教科書	I A:長谷川由紀子著『コミュニケーション韓国語(会話編1)』(白帝社)1,800円+税
参考書等	野間秀樹著『暮らしの単語集 韓国語』(ナツメ社)1,000円

科目名	担当者名
朝鮮語ⅠB(選)	宋 美 玲

講義のねらい

同一の教員が同一の教科書をもって週2回の授業を行う。Aクラスは会話中心、Bクラスは文法中心という方針である。朝鮮語の文字と発音、語彙と文法の基礎を獲得し、朝鮮語を学び朝鮮語に触れることの楽しさを堪能することを目指す。同時に韓国を始めとする朝鮮語圏の文化との触れ合いも試みる。

講義の内容・授業スケジュール

文字と発音の基礎を学び、実用的な会話文を中心に基本的な文法および表現を学習する。基本的な学習の内容はA、Bクラス同様であるが、後期からはAクラスでは、口頭練習および聞き取りと書き取り、Bクラスでは、文法事項による作文や読解などに力を注いでいく。

履修上の留意点

最初の文字と発音に慣れていくまでがその後の進歩と楽しさを決定するので、4月、5月はとりわけ熱心に取り組んでほしい。

成績評価の方法

授業への参加度、学習態度、小テストや期末試験の成績により、総合的に評価する。

教科書

I B: 長谷川由紀子著『コミュニケーション韓国語(読んで書こう1)』(白帝社) 2,400円+税

参考書等

野間秀樹著『暮らしの単語集 韓国語』(ナツメ社) 1,000円

科目名	担当者名
朝鮮語Ⅱ(選)	宋 美 玲

講義のねらい

初級における基本的な文法の内容をふまえ、日常生活での基礎会話が話せるようにする。また、韓国を始めとする朝鮮語圏の文化との触れ合いを試み、資料の読解及びビデオの鑑賞を通して実践的な習得を目指す。

講義の内容・授業スケジュール

テキストをもって基本的な文法及び表現に基づいた文型練習を行う。また、口頭練習を通して聞き取り及び書き取りの能力を、プリントの資料をもって作文や読解の能力を強化していく。

履修上の留意点

テキストの復習・予習など、積極的な授業への参加が望ましい。

成績評価の方法

授業への参加度、学習態度、小テストや期末試験の成績により、総合的に評価する。

教科書

野間秀樹著『至福の朝鮮語』(朝日出版社) 2,900円

参考書等

野間秀樹著『暮らしの単語集 韓国語』(ナツメ社) 1,000円

4. 保 健 体 育 科 目

保健体育科目の目標

本学の『保健体育科目』は、総合的人間性の形成を目指し以下の点に留意して開設されています。

人間がひととして生きていくうえで、自己の身体について知り、理解を深めていくことは重要なことであり、健康の増進や、体力の向上のための基本的な知識や習慣を、生涯を通じて知的・身体的遺産として獲得することは、あらゆる人間活動を支える基盤であります。スポーツは、単に楽しみとしてではなく、健康や体力づくりの手段として、また、身体を認識する手段としても重要であると考えられます。本学の『保健体育科目』は、様々なスポーツ種目を通して展開し、その種目の特性に沿った活動や経験を通して、生涯を通じて健康の増進や体力の向上を図ると共に、スポーツを享受する能力を高め、ゆとりある人間社会の形成を実現する能力を学生自らが考え獲得することを目標としています。

さらに、人間疎外条件の多い現代社会において、運動実践の過程で習得される公正、協調、克己、決断、集中などのスポーツの本質的要素であるパーソナリティーを共通の体験を通して得ることで、学生時代でなければ得られない人間関係を構築し、社会性を養い、人間愛豊かな人間を形成することを目指しています。

「健康・スポーツ実習」開講種目一覧

(於：玉川校舎)

	1 時限 (政治)		2 時限 (法律 - 1)		3 時限 (法律 - 2)	
水曜日	※秋田	サッカー	※大石	ミニサッカー	※森本	ソフトボール
	大石	簡化太極拳	秋田	トレーニング	大石	ミニサッカー
	森本	ゴルフ	森本	ソフトボール	館岡	ゴルフ
	下谷内	室内球技	館岡	ゴルフ	下谷内	室内球技

※は、科目の担当者

保健
体育

「生涯スポーツ実習 I ~ IV」開講種目一覧

(於：本校体育館)

	月曜日		火曜日		水曜日		木曜日		金曜日	
1 時限										
2 時限	長	前期・基礎	大	前期・応用	田	前期・基礎	牧	前期・応用	牧	前期・応用
		バドミントン		ミニサッカー※				卓球		バスケットボール
	濱	後期・基礎	石	後期・応用		後期・基礎	野	後期・応用	野	後期・応用
		バドミントン		ミニサッカー※		卓球	バスケットボール			
3 時限	長	前期・応用	大	前期・基礎	中	前期・基礎	牧	前期・基礎	牧	前期・基礎
		バドミントン		簡化太極拳※		フットサル		卓球		バスケットボール
	濱	後期・応用		後期・基礎	後期・基礎	野	後期・基礎	野	後期・基礎	
		バドミントン		簡化太極拳※	フットサル	卓球	バスケットボール			
4 時限	大	前期・応用		鈴	木	前期・基礎	鈴	前期・応用		
		簡化太極拳※				室内球技		バドミントン		
	石	後期・応用				後期・基礎	後期・応用			
		簡化太極拳※				室内球技	バドミントン			

※印の科目は、本校修道館（第2体育館）にて実施し、それ以外は、本校第1体育館で実施します。

保健体育

4. 保健体育科目

科目名	配当学科	開講区分	単位	担当者名	ページ
健康・スポーツ実習(サッカー)	政治1選	通年	2	秋田浩一	239
健康・スポーツ実習(ゴルフ)	法A・政治1選	通年	2	館岡儀秋 森本葵	240
健康・スポーツ実習(ソフトボール)	法A1選	通年	2	森本葵	241
健康・スポーツ実習(室内球技)	法A・政治1選	通年	2	下谷内勝利	242
健康・スポーツ実習(トレーニング)	法A1選	通年	2	秋田浩一	243
健康・スポーツ実習(簡化太極拳)	政治1選	通年	2	大石武士	244
健康・スポーツ実習(ミニサッカー)	法A1選	通年	2	大石武士	244
健康・スポーツ実習(トレーニング)	法A・政治(2年次以降)	集中授業	2	秋田浩一	245
健康・スポーツ実習(卓球)	法A・政治(2年次以降)	集中授業	2	下谷内勝利 山口良博	246
健康・スポーツ実習(バドミントン)	法A・政治(2年次以降)	集中授業	2	牧野茂	247
健康・スポーツ実習(ソフトボール)	法A・政治(2年次以降)	集中授業	2	下谷内勝利 高橋俊介	248
健康・スポーツ実習(室内球技)	法A・政治(2年次以降)	集中授業	2	鈴木淳平	249
健康・スポーツ実習(トレーニング&太極拳)	法A・政治(2年次以降)	集中授業	2	光永吉輝	250
生涯スポーツ実習Ⅰ前期・後期/基礎(簡化太極拳)	法A・政治1選	半期	1	大石武士	251
生涯スポーツ実習Ⅱ前期・後期/基礎(簡化太極拳)	法A・政治2選				
生涯スポーツ実習Ⅲ前期・後期/基礎(簡化太極拳)	法A・政治3選				
生涯スポーツ実習Ⅳ前期・後期/基礎(簡化太極拳)	法A・政治4選				
生涯スポーツ実習Ⅰ前期・後期/基礎(バドミントン)	法A・政治1選	半期	1	長濱友雄	252
生涯スポーツ実習Ⅱ前期・後期/基礎(バドミントン)	法A・政治2選				
生涯スポーツ実習Ⅲ前期・後期/基礎(バドミントン)	法A・政治3選				
生涯スポーツ実習Ⅳ前期・後期/基礎(バドミントン)	法A・政治4選				
生涯スポーツ実習Ⅰ前期・後期/基礎(室内球技)	法A・政治1選	半期	1	鈴木淳平	253
生涯スポーツ実習Ⅱ前期・後期/基礎(室内球技)	法A・政治2選				
生涯スポーツ実習Ⅲ前期・後期/基礎(室内球技)	法A・政治3選				
生涯スポーツ実習Ⅳ前期・後期/基礎(室内球技)	法A・政治4選				
生涯スポーツ実習Ⅰ前期・後期/基礎(卓球)	法A・政治1選	半期	1	牧野茂	254
生涯スポーツ実習Ⅱ前期・後期/基礎(卓球)	法A・政治2選				
生涯スポーツ実習Ⅲ前期・後期/基礎(卓球)	法A・政治3選				
生涯スポーツ実習Ⅳ前期・後期/基礎(卓球)	法A・政治4選				
生涯スポーツ実習Ⅰ前期・後期/基礎(バスケットボール)	法A・政治1選	半期	1	牧野茂	255
生涯スポーツ実習Ⅱ前期・後期/基礎(バスケットボール)	法A・政治2選				
生涯スポーツ実習Ⅲ前期・後期/基礎(バスケットボール)	法A・政治3選				
生涯スポーツ実習Ⅳ前期・後期/基礎(バスケットボール)	法A・政治4選				
生涯スポーツ実習Ⅰ前期・後期/基礎(フットサル)	法A・政治1選	半期	1	田中佳孝	256
生涯スポーツ実習Ⅱ前期・後期/基礎(フットサル)	法A・政治2選				
生涯スポーツ実習Ⅲ前期・後期/基礎(フットサル)	法A・政治3選				
生涯スポーツ実習Ⅳ前期・後期/基礎(フットサル)	法A・政治4選				

保健体育

生涯スポーツ実習Ⅰ前期・後期/応用(ミニサッカー)	法A・政治1選	半期	1	大石武士	257
生涯スポーツ実習Ⅱ前期・後期/応用(ミニサッカー)	法A・政治2選				
生涯スポーツ実習Ⅲ前期・後期/応用(ミニサッカー)	法A・政治3選				
生涯スポーツ実習Ⅳ前期・後期/応用(ミニサッカー)	法A・政治4選				
生涯スポーツ実習Ⅰ前期・後期/応用(バドミントン)	法A・政治1選	半期	1	長濱友雄	258
生涯スポーツ実習Ⅱ前期・後期/応用(バドミントン)	法A・政治2選				
生涯スポーツ実習Ⅲ前期・後期/応用(バドミントン)	法A・政治3選				
生涯スポーツ実習Ⅳ前期・後期/応用(バドミントン)	法A・政治4選				
生涯スポーツ実習Ⅰ前期・後期/応用(簡化太極拳)	法A・政治1選	半期	1	大石武士	259
生涯スポーツ実習Ⅱ前期・後期/応用(簡化太極拳)	法A・政治2選				
生涯スポーツ実習Ⅲ前期・後期/応用(簡化太極拳)	法A・政治3選				
生涯スポーツ実習Ⅳ前期・後期/応用(簡化太極拳)	法A・政治4選				
生涯スポーツ実習Ⅰ前期・後期/応用(バドミントン)	法A・政治1選	半期	1	鈴木淳平	260
生涯スポーツ実習Ⅱ前期・後期/応用(バドミントン)	法A・政治2選				
生涯スポーツ実習Ⅲ前期・後期/応用(バドミントン)	法A・政治3選				
生涯スポーツ実習Ⅳ前期・後期/応用(バドミントン)	法A・政治4選				
生涯スポーツ実習Ⅰ前期・後期/応用(卓球)	法A・政治1選	半期	1	牧野茂	261
生涯スポーツ実習Ⅱ前期・後期/応用(卓球)	法A・政治2選				
生涯スポーツ実習Ⅲ前期・後期/応用(卓球)	法A・政治3選				
生涯スポーツ実習Ⅳ前期・後期/応用(卓球)	法A・政治4選				
生涯スポーツ実習Ⅰ前期・後期/応用(バスケットボール)	法A・政治1選	半期	1	牧野茂	262
生涯スポーツ実習Ⅱ前期・後期/応用(バスケットボール)	法A・政治2選				
生涯スポーツ実習Ⅲ前期・後期/応用(バスケットボール)	法A・政治3選				
生涯スポーツ実習Ⅳ前期・後期/応用(バスケットボール)	法A・政治4選				
生涯スポーツ実習(テニス) (集中前期・基礎/応用)	法A・政治選	集中授業	1	江口淳一	263
生涯スポーツ実習(テニス) (集中後期・基礎/応用)	法A・政治選	集中授業	1	江口淳一	264
生涯スポーツ実習(ゴルフ) (集中後期・基礎/応用)	法A・政治選	集中授業	1	三幣晴三	265
生涯スポーツ演習Ⅰ(ゴルフ) (シーズン基礎/応用)	法A・政治選	シーズン	2	館岡儀秋 他	266
生涯スポーツ演習Ⅱ(スキー・スノーボード) (シーズン基礎/応用)	法A・政治選	シーズン	2	江口淳一 他	268
健康・スポーツ論1	法A・政治1選	半期	2	館岡儀秋	269
健康・スポーツ論1	法A・政治1選	半期	2	秋田浩一	270
健康・スポーツ論2	法A・政治選	半期	2	大石武士	271
健康・スポーツ論2	法A・政治選	半期	2	三幣晴三	272
健康・スポーツ論2	法A・政治選	半期	2	牧野茂	273

科目名**担当者名****健康・スポーツ実習（サッカー）**あき た こう
秋 田 浩 一**講義のねらい**

サッカーのゲームは、ボールを蹴ること（キック）、止めること（トラッピング）、運ぶこと（ドリブル）から成り立っている。週一回の授業で全てをマスターすることは難しいが、各々の技術の要領を知ることによって数段ボール扱いがうまくなり、ゲームもまた楽しいものになる。本授業では、毎時間基本技術とゲームを行ない、サッカーの楽しさを実感する。また、正しいルールを学び、ゲームに生かすことへの理解度を高める。

**講義の内容・
授業スケジュール**

- 1日目午前：基本技術練習（キック、トラップ、ヘディング、ドリブル）チーム分け
- 1日目午後： ♪
- 2日目午前：パス練習、ゲーム
- 2日目午後：ロングキック、ゲーム
- 3日目午前：ドリブル、ゲーム
- 3日目午後：シュート、ゲーム
- 4日目午前：ルールの解説、ゲーム
- 4日目午後：ゲーム（リーグ戦）
- 5日目午前： ♪
- 5日目午後： ♪

履修上の留意点

服装は、一般的な運動服装が良いが必ずアップシューズもしくはゴム底のスパイクシューズを用意すること（6本ポイントのスパイクは不可）。靴下は厚手ものがよい。

成績評価の方法

出欠は午前午後の二回確認する。成績は授業参加態度から総合的に判断する。

保健
体育

科目名

担当者名

健康・スポーツ実習（ゴルフ）

たて おか よし あき
 館 岡 儀 秋
 もり もと 森 葵

講義のねらい

ゴルフゲームは、現在将来ともにより豊かな余暇時間体験を持つことのできる活動として最良の生涯スポーツである。
 生涯スポーツとして、ゴルフのラウンドを楽しくプレーすることのできる基礎的知識、技術、及び態度を身につける。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション
- 2 時限目：グリップ、アドレス、スイング
- 3 時限目：打撃練習（7・9アイアン）
- 4 時限目：打撃練習（7・9アイアン）・ビデオによるスイング理論の解説
- 5 時限目：打撃練習（5アイアン）
- 6 時限目：打撃練習（5アイアン）
- 7 時限目：打撃練習（W1・W3）
- 8 時限目：打撃練習（W1・W3）
- 9 時限目：打撃練習（アプローチ）
- 10 時限目：打撃練習（アプローチ）
- 11 時限目：打撃練習（パッティング）・ルールの解説
- 12 時限目：打撃練習（パッティング）・ラウンドにおけるマナー、エチケットの解説
- 13 時限目：ラウンド（模擬コース）
- 14 時限目：ラウンド（模擬コース）
- 15 時限目：実技テスト

履修上の留意点

- 1. 服装は、一般的な運動服装とする。
- 2. シューズは、運動靴とする。
- 3. ゴルフ用グローブを各自用意すること。

成績評価の方法

授業に出席して実習することが重要である。したがって成績は、出席点70%・実技点（実技テストを含む）30%の割合で評価する。

その他

雨天時及び強風などの場合は、教場を変更する場合がありますので掲示板を確認すること。

科目名**担当者名**

健康・スポーツ実習(ソフトボール)

もりもと 森本 葵

講義のねらい

ソフトボールは野球と同様1チーム9名で2組が得点を争うゲームである。野球が体育実技で取り上げづらいのは、ある種の経験を要するからであり、ソフトボールは、チームの中で1～2名の未経験者がいてもゲームはある程度成立する。野球は、9回の攻守に対してソフトボールは7回と、時間の区切られた実技に適している。トレーニングとは、運動刺激に対する、人体の適応性を利用して、人体の作業能力をできるだけ発達させる過程であると定義されている。骨、筋肉、靭帯、腱、心臓、肺臓など身体の形態や機能を強化発達させる過程をいい、社会生活をするうえで必要な心身の力を向上させるために行なう練習、訓練である。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 時限目：基本練習(キャッチボール、フライ・ゴロの捕球、打撃練習：トス・ハーフ・フリーバッティング、走塁練習、その他)
- 2 時限目：　　〃
- 3 時限目：試合(勝ち点制)
- 4 時限目：　　〃
- 5 時限目：　　〃
- 6 時限目：　　〃
- 7 時限目：　　〃
- 8 時限目：審判の仕方(球審、1・3塁審)
- 9 時限目：　　〃
- 10時限目：試合(勝ち点制)
- 11時限目：　　〃
- 12時限目：　　〃
- 13時限目：　　〃
- 14時限目：　　〃
- 15時限目：まとめ

履修上の留意点

用具：貸与
 服装：ユニフォームの着用の必要はないが、実技のできる服装とする。
 シューズ：ランニングシューズ、アップシューズは可。野球のスパイクシューズは不可とする。

その他

雨天時は、視聴覚室において、ルールの解説とビデオ観戦とする。

保健体育

講義のねらい

室内で行なう球技(卓球、バドミントン、バレーボール、バスケットボール)の基本技能の習得をベースにして、各種目ともゲーム中心の授業を展開する。いずれの種目とも、将来さまざまな場で「生涯スポーツ」として楽しむことができる種目である。したがって、それぞれの種目の基本的な練習方法や楽しいゲームの展開のしかたについての理解も深めたい。

講義の内容・授業スケジュール

【前期】

- 1 時限目：オリエンテーション、前期授業内容の説明
- 2 時限目：卓球(ラケットの握り方、フットワーク、ミニゲーム)
- 3 時限目：〃(サーブとリターン、ルールの解説、シングルスゲーム)
- 4 時限目：〃(シングルスゲーム)
- 5 時限目：〃(シングルスゲーム)
- 6 時限目：〃(ダブルスゲームの進め方、ゲーム)
- 7 時限目：〃(ダブルスゲーム)
- 8 時限目：〃(まとめと評価)
- 9 時限目：フットサル(ルール説明、キックの基本I、キーパーなしゲーム)
- 10 時限目：〃(キックの基本II、キーパーなしゲーム)
- 11 時限目：〃(ボールコントロールの基本I、ゲーム)
- 12 時限目：〃(ボールコントロールの基本II、ゲーム)
- 13 時限目：〃(ゲーム)
- 14 時限目：〃(ゲーム)
- 15 時限目：〃(ゲーム)

【後期】

- 1 時限目：オリエンテーション、後期授業内容の説明
- 2 時限目：バレーボール(パスとサーブの技術、ミニゲーム)
- 3 時限目：〃(アタックとブロックの技術、ルール解説)
- 4 時限目：〃(フォーメーション、ゲーム)
- 5 時限目：〃(ゲーム)
- 6 時限目：〃(ゲーム)
- 7 時限目：〃(ゲーム)
- 8 時限目：〃(まとめと評価)
- 9 時限目：バスケットボール(パス、ドリブル、ショットの基本技術)
- 10 時限目：〃(レイアップショット、ジャンプショットの技術、ルール解説)
- 11 時限目：〃(ファウルの種類と罰則の解説、ゲーム)
- 12 時限目：〃(ゲーム)
- 13 時限目：〃(ゲーム)
- 14 時限目：〃(ゲーム)
- 15 時限目：〃(まとめと評価)

履修上の留意点

実技は、本校第1体育館で行なう。一般的なスポーツウェア、ならびに室内球技に適した体育館シューズを用意する。なお、卓球、バドミントンで使うラケットは、貸与する。

成績評価の方法

基本的な練習方法や楽しいゲームの展開のしかたについて理解するためには、毎回授業に出席して、実技を実践することが重要である。したがって成績は、出席点70%、実技点30%の割合で評価する。実技点は、各種目における個人別の技能、およびゲームの結果を加味して評価する。

その他

曜日・時限によって定員がちがうので注意、『履修要項』を確認の上履修すること。

科目名**担当者名****健康・スポーツ実習(簡化太極拳)**おお いし たけ し
大 石 武 士**講義のねらい**

太極拳は、中国古来の武術であるが、硬拳のように筋骨を鍛錬するものではなく、腰を軸に手足のバランスを取り、呼吸法にのっとって、一定の早さを保ち、ゆっくりとした柔軟な動作が要求される。このしなやかな動作は日本の能の所作に似ており、繰り返し稽古することによって内面の気、優美さ、心の静けさを養い、将来、生涯スポーツの一つとしての基礎をつくる。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション
- 2 時限目：重心の移動・腹式呼吸運動
- 3 時限目：第一組 起勢・左右野馬分ゾン・白鶴亮翅
- 4 時限目：第二組 左右膝拗歩・手揮琵琶・左右倒卷肱
- 5 時限目：第三組 左攬雀尾・右攬雀尾
- 6 時限目：第四組 単鞭・雲手・単鞭
- 7 時限目：第五組 高探馬・右ドン脚・双峰貫耳・転身左ドン脚
- 8 時限目：第六組 左下勢独立・右下勢独立
- 9 時限目：第七組 左右穿梭・海底針・閃通臂
- 10 時限目：第八組 転身撒ラン捶・如封似閉・十字手・収勢
- 11 時限目：総合
- 12 時限目：総合
- 13 時限目：総合
- 14 時限目：総合
- 15 時限目：テスト

履修上の留意点

服装：一般的運動服装で身軽に動きやすいものがよい。シューズ・その他のものは不用。

成績評価の方法

出席率70%、総合評価30%で行う。

科目名**担当者名****健康・スポーツ実習(ミニサッカー)**おお いし たけ し
大 石 武 士**講義のねらい**

ミニサッカーのゲームは、ボールを蹴ること(キック)、止めること(トラッピング)、運ぶこと(ドリブル)から成り立っている。週一回の授業で全てをマスターすることは難しいが、各々の技術の要領を知ること数段ボール扱いがうまくなり、ゲームもまた楽しいものになる。本授業では、毎時間余暇感覚でゲームを行い、よき人間関係づくりを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

- 講義の内容・授業スケジュール
- 1 時限目：オリエンテーション
 - 2 時限目：ゲームの進め方、練習ゲーム
 - 3 時限目：ゲームの攻め方、守り方、ゲーム
 - 4 時限目～9 時限目：基礎技術の応用練習、ゲーム
 - 10 時限目～14 時限目：ゲーム
 - 15 時限目：まとめ

履修上の留意点

服装は、一般的な運動服装で良い。シューズについては、オリエンテーションの時に説明する。

成績評価の方法

評価は出席点70%、総合評価30%で行う。

科目名**担当者名**

健康・スポーツ実習(トレーニング)

あま た こう いち
秋 田 浩 一

〔再クラス〕

講義のねらい

基礎的な体力要素である筋力、持久力、柔軟性、敏捷性を高めることを目的にして、さまざまなトレーニングを実践する。また、自分の体力の特徴を知ることによって、それに応じたトレーニングの方法を学ぶことを主なねらいとする。

**講義の内容・
授業スケジュール**

- 1日目 午前：オリエンテーション、体力測定
- 1日目 午後：カイザーカムⅡの使用法の説明、最大筋力の測定
- 2日目 午前：ストレッチ体操、トレーニング
- 2日目 午後：トレーニング
- 3日目 午前：ストレッチ体操、マッサージ法
- 3日目 午後：トレーニング
- 4日目 午前：ストレッチ体操、トレーニング
- 4日目 午後：12分間走
- 5日目 午前：ストレッチ体操、トレーニング
- 5日目 午後：体力測定、まとめ

履修上の留意点

服装は、一般的なスポーツウェアを用意すること。実技は、おもに体育館地下のトレーニング場で行なうので、体育館シューズを用意すること。

成績評価の方法

出席状況、トレーニング内容、授業態度を総合的に判断して評価する。

その他

再クラス 集中授業コース実施について

- (1) 実施期間：(前期) 7月19日(水)～23日(日)、(後期) 1月7日(日)～11日(木)
7月19日及び1月7日更衣の上、午前10時に玉川体育館集合
- (2) 実施時間：10:00～12:00、13:00～15:30
- (3) 実施場所：玉川体育館
- (4) 申込方法：「生涯スポーツ実習」と同様。ただし、教務部への『履修届(事前登録)』は集中授業コース用に設定された特・4時限で提出すること。
- (5) 備考：再クラスの集中授業は、前期・後期を履修して2単位である。

保健体育

健康・スポーツ実習(卓球)
[再クラス]

しもやちかつとし やまぐち よしひろ
下谷内勝利・山口 良博

講義のねらい

卓球の様々な技術の向上を図る事により、卓球の面白さを知る。また、スポーツの中で最も簡単だと言われるルール（シングルス、ダブルス）を理解し、将来、生涯スポーツの一つとしての基礎をつくる。

講義の内容・授業スケジュール

- 1日目午前：オリエンテーション、ラケットイング、フォアハンドの基本形。
- 1日目午後：フォアハンドドライブ、フォアハンドゲーム
- 2日目午前：バックハンドショットの打ち方、バックハンドゲーム
- 2日目午後：カットの打ち方と返球の方法、シングルスゲーム
- 3日目午前：シングルスゲーム、ダブルスゲームのやり方
- 3日目午後：ダブルスゲームの練習
- 4日目午前：ダブルスゲーム
- 4日目午後：ダブルスゲーム
- 5日目午前：トーナメント形式の試合
- 5日目午後：まとめ

履修上の留意点

服装は、一般的な運動服装が良いが、必ず体育館シューズを用意すること。

成績評価の方法

評価は出席点70点、実技点30点とする。実技点は平素のゲームの中で採点し、受講態度を加味して評価する。個人の実技テストは行なわない。

その他

再クラス 集中授業コース実施について

- (1) 実施期間：(前期) 7月19日(水)～23日(日)、(後期) 1月7日(日)～11日(木)
7月19日及び1月7日更衣の上、午前10時に玉川体育館集合
- (2) 実施時間：10:00～12:00、13:00～15:30
- (3) 実施場所：玉川体育館
- (4) 申込方法：「生涯スポーツ実習」と同様。ただし、教務部への『履修届(事前登録)』は集中授業コース用に設定された特・4時限で提出すること。
- (5) 備考：再クラスの集中授業は、前期・後期を履修して2単位である。

科目名

担当者名

健康・スポーツ実習(バドミントン)

まきの 牧野 しょう 茂

[再クラス]

講義のねらい

ゲームを楽しむための基本的な技術やルールを習得し、仲間づくりを通して社会的態度を養うとともに、生涯スポーツとして取り組むことができる基本的能力を身につけることを目標とする。

講義の内容・授業スケジュール

- 一日目午前：オリエンテーション、ラケットティング、ストロークの基本技術（回内、回外）
- 1日目午後：オーバー・ヘッド・ストローク
（1）（スマッシュ、ドロップ）、コート反面のシングルス・ゲーム
- 2日目午前：オーバー・ヘッド・ストローク
（2）（スマッシュ、クリアー、ドライブ）、サービス
- 2日目午後：アンダー・ハンド・ストローク
（1）（クリアー、ヘアピン・ショット）、サービス、コート反面のシングルス・ゲーム
- 3日目午前：アンダー・ハンド・ストローク
（2）（ロブ、クロス、ネットショット）、シングルス・ゲーム
- 3日目午後：サイド・ハンド・ストローク（ドライブ、クリアー）、サービス、シングルス・ゲーム
- 4日目午前：オーバー・ヘッド・ストローク
（3）（カット、プッシュ）、総合練習、ダブルス・ゲーム
- 4日目午後：総合練習、ダブルス・ゲーム
- 5日目午前：総合練習、ダブルス・ゲーム
- 5日目午後：総合練習、トーナメント型式のゲーム

保健
体育

履修上の留意点

- (1) 服装は、一般的な運動服とする。
- (2) 体育館シューズを用意すること。
- (3) ラケットは貸与する。

成績評価の方法

出欠は午前午後の二回確認する。成績は授業参加態度から総合的に判断する。

その他

- 再クラス 集中授業コース実施について
- (1) 実施期間：（前期）7月19日（水）～23日（日）、（後期）1月7日（日）～11日（木）
7月19日及び1月7日更衣の上、午前10時に玉川体育館集合
 - (2) 実施時間：10：00～12：00、13：00～15：30
 - (3) 実施場所：玉川体育館
 - (4) 申込方法：「生涯スポーツ実習」と同様。ただし、教務部への『履修届（事前登録）』は集中授業コース用に設定された特・4時限で提出すること。
 - (5) 備考：再クラスの集中授業は、前期・後期を履修して2単位である。

健康・スポーツ実習(ソフトボール)

しもやちかつし たかはし しゅんすけ
下谷内勝利・高橋 俊介

〔再クラス〕

講義のねらい

補強運動、練習及びゲームなどを積極的に行い、体力や運動能力を高める。技術やルールを習得し、ソフトボールのゲームを行う基本的能力を身につける。また、ソフトボールの楽しさをゲームや技術の習得を通して体験する。さらに、クラスの仲間と協力して練習やゲームを行う中で社会的態度を養う。

講義の内容・授業スケジュール

第1日目

午前：チーム分け、基本練習（キャッチボール、フライ・ゴロの捕球、トスバッティング、走塁練習、その他）

午後：同上

第2日目

午前：ゲーム

午後：〃

第3日目

午前：〃

午後：審判法・ゲーム

第4日目

午前：〃

午後：〃

第5日目

午前：〃

午後：〃

履修上の留意点

一般的の体育服装を用意すること。野球用ユニフォームでも良い。運動靴は必ず用意すること。スパイクシューズは認めない。用具は貸与する。

成績評価の方法

出席を重視し、総合的に評価する。

その他

再クラス 集中授業コース実施について

- (1) 実施期間：(前期) 7月19日(水)～23日(日)、(後期) 1月7日(日)～11日(木)
7月19日及び1月7日更衣の上、午前10時に玉川体育館集合
- (2) 実施時間：10:00～12:00、13:00～15:30
- (3) 実施場所：玉川体育館
- (4) 申込方法：「生涯スポーツ実習」と同様。ただし、教務部への『履修届(事前登録)』は集中授業コース用に設定された特・4時限で提出すること。
- (5) 備考：再クラスの集中授業は、前期・後期を履修して2単位である。

科 目 名**担 当 者 名**

健康・スポーツ実習(室内球技)

すずき じゅん べい
鈴 木 淳 平

〔再クラス〕

講義のねらい

室内で行なわれるボールゲームを教材とし、そこで用いられる技術・戦術を体得し、同時に体力の増強を図る。本講義では、基本的に毎時間ゲームを行い、身体運動の楽しさを感じつつ、チームの勝利獲得に必要な積極的な協力関係の構築を主なねらいとする。

講義の内容・授業スケジュール

バレーボール・バスケットボール・フットサルといった、室内でのボールゲーム（主にチームスポーツ）を行う。技術・戦術の基礎を学んだ後は主にゲームを通じて技術の習熟、体力の向上を図る。

1時限目はオリエンテーションを行い、スケジュール（どの種目をどの程度やるか等）は受講学生と相談して決定する。

保健体育

履修上の留意点

○スポーツウェア（上下）、スポーツシューズ（室内用として履き分ける）の着用を厳守すること。

成績評価の方法

出欠席の状況、運動への積極性、授業態度、技術・体力などから総合的に評価する。

そ の 他

再クラス 集中授業コース実施について

- (1) 実施期間：（前期）7月19日（水）～23日（日）、（後期）1月7日（日）～11日（木）
7月19日及び1月7日更衣の上、午前10時に玉川体育館集合
- (2) 実施時間：10：00～12：00、13：00～15：30
- (3) 実施場所：玉川体育館
- (4) 申込方法：「生涯スポーツ実習」と同様。ただし、教務部への『履修届（事前登録）』は集中授業コース用に設定された特・4時限で提出すること。
- (5) 備 考：再クラスの集中授業は、前期・後期を履修して2単位である。

科目名

担当者名

健康・スポーツ実習(トレーニング & 太極拳)
〔再クラス〕

みつ なが よし てる
光 永 吉 輝

保健体育

講義のねらい

この講義では午前、体力の基礎である、筋力、持久力、柔軟性をトレーニングの授業で学び、午後の講義では、バランス、集中力、呼吸法によるリラクセスの方法を太極拳で学ぶことをねらいとしている。

簡化太極拳は、簡単なものから複雑なものへ、やさしいものから難しいものへと構成されていて、学びやすく、覚えやすいようになっている、全コース八組(24式)あって、練習では全コース通してやってもいいし、あるいは一組が2~4式となっているが、ここでは、第一組から第四組(11式)までを学ぶねらいとする。

講義の内容・授業スケジュール

- 1日目
午前：オリエンテーション・体力測定
午後：オリエンテーション・基本動作・第一組(3式)
- 2日目
午前：カイザーカムⅡの使用説明、最大筋力測定
午後：第一組、第二組(3式)
- 3日目
午前：トレーニング
午後：第一組、第二組、第三組(2式)
- 4日目
午前：トレーニング
午後：第一組、第二組、第三組、第四組(3式)、総合
- 5日目
午前：体力測定
午後：総合(1~11式)、テスト

履修上の留意点

服装は、トレーニングウェア。実技は、体育館地下一階トレーニング上で行うので、体育館シューズを用意すること。

成績評価の方法

出席状況、トレーニング内容、授業態度を総合的に判断して評価する。
尚、太極拳は最終日に演武テストを行う。

その他

- 再クラス 集中授業コース実施について
- (1) 実施期間：(前期)7月19日(水)~23日(日)、(後期)1月7日(日)~11日(木)
7月19日及び1月7日更衣の上、午前10時に玉川体育館集合
 - (2) 実施時間：10:00~12:00、13:00~15:30
 - (3) 実施場所：玉川体育館
 - (4) 申込方法：「生涯スポーツ実習」と同様。ただし、教務部への『履修届(事前登録)』は集中授業コース用に設定された特・4時限で提出すること。
 - (5) 備考：再クラスの集中授業は、前期・後期を履修して2単位である。

科目名

担当者名

生涯スポーツ実習Ⅰ前期・後期／基礎(簡化太極拳)
 生涯スポーツ実習Ⅱ前期・後期／基礎(簡化太極拳)
 生涯スポーツ実習Ⅲ前期・後期／基礎(簡化太極拳)
 生涯スポーツ実習Ⅳ前期・後期／基礎(簡化太極拳)

おお いし たけ し
 大 石 武 士

講義のねらい

太極拳は、中国古来の武術であるが、硬拳のように筋骨を鍛錬するものではなく、腰を軸に手足のバランスを取り、呼吸法にのっとり、一定の早さを保ち、ゆっくりとした柔軟な動作が要求される。このしなやかな動作は日本の能の所作に似ており、繰り返し稽古することによって内面の気、優美さ、心の静けさを養い、生涯スポーツの一つとしての基盤をつくる。なお、授業風景をビデオ撮影し、予習・復習のためKOMAnet・インターネットで配信(学内のみ)の予定。

保健
 体育

講義の内容・
 授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション
- 2 時限目：重心の移動・腹式呼吸運動
- 3 時限目：第一組 起勢・左右野馬分ゾン・白鶴亮翅
- 4 時限目：第二組 左右膝拗歩・手揮琵琶・左右倒卷肱
- 5 時限目：第三組 左攬雀尾・右攬雀尾
- 6 時限目：第四組 単鞭・雲手・単鞭
- 7 時限目：第五組 高探馬・右ドン脚・双峰貫耳・轉身左ドン脚
- 8 時限目：第六組 左下勢独立・右下勢独立
- 9 時限目：第七組 左右穿梭・海底針・閃通臂
- 10 時限目：第八組 轉身搬ラン捶・如封似閉・十字手・収勢
- 11 時限目：総合
- 12 時限目：総合
- 13 時限目：総合
- 14 時限目：総合
- 15 時限目：テスト

履修上の留意点

- 1) 定員：45名とする。
- 2) 服装：一般的運動服装で身軽に動きやすいものがよい。シューズ・その他のものは不用。
- 3) 教場：修道館2階

成績評価の方法

出席率70%、総合評価30%で行う。

科目名

担当者名

生涯スポーツ実習Ⅰ前期・後期／基礎(バドミントン)

生涯スポーツ実習Ⅱ前期・後期／基礎(バドミントン)

なが はま とも お
長 濱 友 雄

生涯スポーツ実習Ⅲ前期・後期／基礎(バドミントン)

生涯スポーツ実習Ⅳ前期・後期／基礎(バドミントン)

保健
体育

講義のねらい

1. 補強運動、練習およびゲームなどを積極的に行ない、体力や運動能力を高める。
2. バドミントンの楽しさをゲームや技術の習得など通して体験することから、これからの活動欲求を高める。
また、技術的課題として、以下の点に留意して行なう。
(1) フォアハンド、バックハンドとも使うことが出来る。
(2) ゲームの中で各種技術を効果的に使えるようする。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1時限目：オリエンテーション
- 2時限目：ルールの説明、サーブ、ハイクリヤー
- 3時限目：サーブ、ハイクリヤー、ドロップショット
- 4時限目：反面での簡易ゲーム
- 5時限目：〃
- 6時限目：サーブ、ハイクリヤー、スマッシュ
- 7時限目：サーブ、ドライブ、スマッシュ
- 8時限目： }
総合練習・ゲーム（シングルス）
- 10時限目： }
- 11時限目： }
総合練習・ゲーム（ダブルス）
- 15時限目： }

履修上の留意点

1. 定員は40名とする。
2. 実技は本校第1体育館で行なう。
3. 服装は身軽に動作できるものがよい。
4. シューズは体育館専用のものを用意する。
5. その他のものは用意しなくてもよい。

成績評価の方法

出席率70%、総合評価30%で行なう。

科 目 名**担 当 者 名**

生涯スポーツ実習Ⅰ前期・後期／基礎(室内球技)

生涯スポーツ実習Ⅱ前期・後期／基礎(室内球技)

生涯スポーツ実習Ⅲ前期・後期／基礎(室内球技)

生涯スポーツ実習Ⅳ前期・後期／基礎(室内球技)

すず き じゅん ぺい
鈴 木 淳 平

講義のねらい

室内で行なわれるボールゲームを教材とし、そこで用いられる技術・戦術を体得し、同時に体力の増強を図る。本講義では、基本的に毎時間ゲームを行い、身体運動の楽しさを感じつつ、チームの勝利獲得に必要な積極的な協力関係の構築を主なねらいとする。

講義の内容・
授業スケジュール

バレーボール・バスケットボール・フットサルといった、室内でのボールゲーム（主にチームスポーツ）を行う。技術・戦術の基礎を学んだ後は主にゲームを通じて技術の習熟、体力の向上を図る。

1時限目はオリエンテーションを行い、スケジュール（どの種目をどの程度やるか等）は受講学生と相談して決定する。

履修上の留意点

- スポーツウェア（上下）、スポーツシューズ（室内用として履き分ける）の着用を厳守すること。
- 定員は50名とする。

成績評価の方法

出欠席の状況、運動への積極性、授業態度、技術・体力などから総合的に評価する。

保健体育

科目名

担当者名

生涯スポーツ実習Ⅰ前期・後期／基礎(卓球)

生涯スポーツ実習Ⅱ前期・後期／基礎(卓球)

まきの野 茂

生涯スポーツ実習Ⅲ前期・後期／基礎(卓球)

生涯スポーツ実習Ⅳ前期・後期／基礎(卓球)

保健
体育

講義のねらい

1. 補強運動、練習およびゲームなどを積極的に行ない、体力や運動能力を高める。
2. 卓球の技術やルールを習得し、生涯スポーツとして取り込むことが出来る基本的技能を身につける。
3. クラスの仲間と協力して練習やゲームを行なう中で社会的態度を養う。
技術的課題として、以下の点に留意して行なう。
 - (1) フォアバンド、バックハンドとも使うことが出来る。
 - (2) スマッシュを打つことが出来る。
 - (3) ゲームの中で各種技術を使うことが出来る。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション
- 2 時限目：ラケットの持ち方、サーブ
- 3 時限目：サーブ、サーブレシーブ、ラリー
- 4 時限目：サーブ、フォアハンドドライブ
- 5 時限目：サーブ、バックハンドの使い方、ラリー
- 6 時限目：サーブ、フォアハンド、バックハンド
- 7 時限目：シングルスゲームの練習
- 8 時限目：
- 9 時限目： | 総合練習、シングルスゲーム練習
- 10 時限目： |
- 11 時限目： |
- 12 時限目： |
- 13 時限目： | 総合練習、ダブルスゲーム
- 14 時限目： |
- 15 時限目： |

履修上の留意点

1. 定員は50名とする。
2. 実技は本校第1体育館で行なう。
3. 服装は身軽で動きやすいものがよい。
4. シューズは体育館専用のものを用意する。
5. その他のものは用意しなくてもよい。

成績評価の方法

出席率70%、総合評価30%で行なう。

科目名

担当者名

生涯スポーツ実習Ⅰ前期・後期／基礎(バスケットボール)
 生涯スポーツ実習Ⅱ前期・後期／基礎(バスケットボール)
 生涯スポーツ実習Ⅲ前期・後期／基礎(バスケットボール)
 生涯スポーツ実習Ⅳ前期・後期／基礎(バスケットボール)

まきの 茂

講義のねらい

バスケットボールを教材とし、基本的な技術やルールを学びながらゲームの楽しみ方を身につけるとともに、体力や運動能力の向上をはかる。また、仲間づくりを通して社会的態度を養うとともにスポーツを生涯にわたって、生活の中に取り入れ実践していく基礎的能力をも養うことを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション
- 2 時限目：ボール・ハンドリング、ドリブル・シュート、-halfコート2マン・パス
- 3 時限目：フルコート2マン・パス（1）、halfコート2対1、ミニゲーム
- 4 時限目：フルコート2マン・パス（2）、halfコート3対2、ミニゲーム
- 5 時限目：フルコート3マン・パス、シューティング・ドリル、ゲーム（リーグ戦）
- 6 時限目：2マン・ファースト・ブレイク（1）、フルコート2対1、ゲーム（リーグ戦）
- 7 時限目：2マン・ファースト・ブレイク（2）、フルコート2対1、ゲーム（リーグ戦）
- 8 時限目：3マン・ファースト・ブレイク、フルコート3対2、ゲーム（リーグ戦）
- 9 時限目：4マン・ファースト・ブレイク、フルコート4対3、ゲーム（リーグ戦）
- 10 時限目：初歩的なマンツーマン・オフense（1）half・コート2対2、ゲーム（リーグ戦）
- 11 時限目：初歩的なマンツーマン・オフense（2）half・コート3対3、ゲーム（リーグ戦）
- 12 時限目：初歩的なマンツーマン・オフense（3）half・コート3対3、ゲーム（リーグ戦）
- 13 時限目：総合練習、ゲーム（リーグ戦）
- 14 時限目：総合練習、ゲーム（リーグ戦）
- 15 時限目：実技テスト、ゲーム（リーグ戦）

履修上の留意点

- (1) 定員は50名とする。
- (2) 実技は本校第1体育館にて行う。
- (3) 服装は、一般的運動服装とする。体育館シューズを用意すること。

成績評価の方法

出席点（70点）、実技テスト（20点）、態度点（10点）

保健体育

科目名

担当者名

生涯スポーツ実習Ⅰ前期・後期／応用(フットサル)

生涯スポーツ実習Ⅱ前期・後期／応用(フットサル)

生涯スポーツ実習Ⅲ前期・後期／応用(フットサル)

生涯スポーツ実習Ⅳ前期・後期／応用(フットサル)

た な が よ し た か
田 中 佳 孝

保健
体育

講義のねらい

室内で行うサッカー、フットサルを行う。基本技能の習得をベースに、ゲーム中心の授業を展開する。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション、ルール説明
- 2 時限目：キックの基本技術Ⅰ、GKなしのゲーム
- 3 時限目：キックの基本技術Ⅱ、GKなしのゲーム
- 4 時限目：ボールコントロールの基本技術Ⅰ、GKなしのゲーム
- 5 時限目：ボールコントロールの基本技術Ⅱ、ゲーム
- 6 時限目：基本戦術Ⅰ、ゲーム
- 7 時限目：基本戦術Ⅱ、ゲーム
- 8 時限目～14時限目：ゲーム
- 15時限目：まとめと評価

履修上の留意点

実技は本校第1体育館で行う。一般的のスポーツウェア、ならびにフットサルに適した体育館シューズを用意すること。遅刻は認めない。

成績評価の方法

基本的な練習方法や楽しいゲーム展開のしかたについて理解するためには、毎回授業に出席して、実技を实践することが重要である。したがって成績は、出席点70%、実技点30%の割合で評価する。

そ の 他

定員40名の事前登録とする。事前登録に関しては、教務部窓口にて問い合わせること。

科目名	担当者名
生涯スポーツ実習Ⅰ前期・後期／応用(ミニサッカー)	
生涯スポーツ実習Ⅱ前期・後期／応用(ミニサッカー)	
生涯スポーツ実習Ⅲ前期・後期／応用(ミニサッカー)	おお いし たけ し
生涯スポーツ実習Ⅳ前期・後期／応用(ミニサッカー)	大 石 武 士

講義のねらい

ミニサッカーのゲームは、ボールを蹴ること(キック)、止めること(トラッピング)、運ぶこと(ドリブル)から成り立っている。週一回の授業で全てをマスターすることは難しいが、各々の技術の要領を知ることによって数段ボール扱いがうまくなり、ゲームもまた楽しいものになる。本授業では、毎時間余暇感覚でゲームを行い、よき人間関係づくりを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

講義の内容・授業スケジュール
 1時限目：オリエンテーション
 2時限目：ゲームの進め方、練習ゲーム
 3時限目：ゲームの攻め方、守り方、ゲーム
 4時限目～9時限目：基礎技術の応用練習、ゲーム
 10時限目～14時限目：ゲーム
 15時限目：まとめ

履修上の留意点

服装は、一般的な運動服装で良い。シューズについては、オリエンテーションの時に説明する。

成績評価の方法

評価は出席点70%、総合評価30%で行う。

科目名

担当者名

生涯スポーツ実習Ⅰ前期・後期／応用(バドミントン)

生涯スポーツ実習Ⅱ前期・後期／応用(バドミントン)

生涯スポーツ実習Ⅲ前期・後期／応用(バドミントン)

生涯スポーツ実習Ⅳ前期・後期／応用(バドミントン)

なが はま とも お
長 濱 友 雄

保健
体育

講義のねらい

1. 補強運動、練習およびゲームなどを積極的に行ない、体力や運動能力を高める。
2. バドミントンの楽しさをゲームや技術の習得など通して体験することから、これからの活動欲求を高める。
3. クラスの仲間と協力して練習やゲームを行なう中で社会的態度をを養う。
また技術的課題として、以下の点に留意して行なう。
(1) スマッシュ、ドロップショットを打つことが出来る。
(2) ゲームの中で各種技術を効果的に使えるようする。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション
- 2 時限目：サーブ、ハイクリヤー、ドライブ
- 3 時限目：サーブ、ハイクリヤー、スマッシュ
- 4 時限目：総合練習
- 5 時限目：総合練習
- 6 時限目： } 総合練習・ゲーム（シングルス）
- 10 時限目： }
- 11 時限目： } 総合練習・ゲーム（ダブルス）
- 15 時限目： }

履修上の留意点

1. 定員は40名とする
2. 実技は本校第1体育館で行なう。
3. 服装は身軽に動作できるものがよい。
4. シューズは体育館専用のものを用意する。
5. その他のものは用意しなくてもよい。

成績評価の方法

出席率70%、総合評価30%で行なう。

科目名**担当者名**

生涯スポーツ実習Ⅰ前期・後期／応用(簡化太極拳)

生涯スポーツ実習Ⅱ前期・後期／応用(簡化太極拳)

生涯スポーツ実習Ⅲ前期・後期／応用(簡化太極拳)

生涯スポーツ実習Ⅳ前期・後期／応用(簡化太極拳)

おお いし たけ し
大 石 武 士**講義のねらい**

太極拳は、中国古来の武術であるが、硬拳のように筋骨を鍛錬するものではなく、腰を軸に手足のバランスを取り、呼吸法にのっとり、一定の早さを保ち、ゆっくりとした柔軟な動作が要求される。このしなやかな動作は日本の能の所作に似ており、繰り返し稽古することによって内面の気、優美さ、心の静けさを養い、生涯スポーツの一つとしての基盤をつくる。なお、授業風景をビデオ撮影し、予習・復習のためKOMAnet・インターネットで配信(学内のみ)の予定。

保健体育

**講義の内容・
授業スケジュール**

- 1 時限目：オリエンテーション
- 2 時限目：重心の移動・腹式呼吸運動
- 3 時限目：第一組 起勢・左右野馬分ゾン・白鶴亮翅
- 4 時限目：第二組 左右膝拗歩・手揮琵琶・左右倒卷肱
- 5 時限目：第三組 左攪雀尾・右攪雀尾
- 6 時限目：第四組 単鞭・雲手・単鞭
- 7 時限目：第五組 高探馬・右ドン脚・双峰貫耳・轉身左ドン脚
- 8 時限目：第六組 左下勢独立・右下勢独立
- 9 時限目：第七組 左右穿梭・海底針・閃通臂
- 10時限目：第八組 轉身搬ラン捶・如封似閉・十字手・収勢
- 11時限目：総合
- 12時限目：総合
- 13時限目：総合
- 14時限目：総合
- 15時限目：テスト

履修上の留意点

- 1) 定員：45名とする。
- 2) 服装：一般的運動服装で身軽に動きやすいものがよい。シューズ・その他のものは不用。
- 3) 教場：修道館2階

成績評価の方法

出席率70%、総合評価30%で行う。

科目名

担当者名

生涯スポーツ実習Ⅰ前期・後期／応用(バドミントン)
生涯スポーツ実習Ⅱ前期・後期／応用(バドミントン)
生涯スポーツ実習Ⅲ前期・後期／応用(バドミントン)
生涯スポーツ実習Ⅳ前期・後期／応用(バドミントン)

すずき じゅん べい
鈴 木 淳 平

保健体育

講義のねらい

バドミントンを生涯スポーツとして取り組むことができる基本的能力を身につける。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション
- 2 時限目：ルールの説明、サーブ、ハイクリヤー
- 3 時限目：サーブ、ハイクリヤー、ドロップショット
- 4 時限目：反面での簡易ゲーム
- 5 時限目：〃
- 6 時限目：サーブ、ハイクリヤー、スマッシュ
- 7 時限目：サーブ、ドライブ、スマッシュ
- 8 時限目： } 総合練習・シングルスゲーム
- 11時間目： }
- 12時間目： } 総合練習・ダブルスゲーム
- 15時間目： }

履修上の留意点

- 1. 定員は40名とする。
- 2. 実技は本校第1体育館で行なう。
- 3. 服装は身軽に動作できるものがよい。
- 4. シューズは体育館専用のものを用意する。
- 5. その他のものは用意しなくてもよい。

成績評価の方法

出欠席の状況、運動への積極性、授業態度、技術・体力などから総合的に評価する。

科目名

担当者名

生涯スポーツ実習Ⅰ前期・後期／応用(卓球)
生涯スポーツ実習Ⅱ前期・後期／応用(卓球)
生涯スポーツ実習Ⅲ前期・後期／応用(卓球)
生涯スポーツ実習Ⅳ前期・後期／応用(卓球)

まきの 牧野 茂

講義のねらい

- (1) 補強運動、練習およびゲームなどを積極的に行ない、体力や運動能力を高める。
- (2) 卓球の楽しさやゲームを通して、これからの活動欲求を高める。
- (3) クラスの仲間と協力して練習やゲームを行なう中で社会的態度を養う。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション
- 2 時限目：サーブ、サーブレシーブ
- 3 時限目：サーブ、ラリー
- 4 時限目： } 総合練習・シングルスゲーム
- 8 時限目： }
- 9 時限目：総合練習、ダブルスゲーム練習
- 10 時限目： } 総合練習・ダブルスゲーム
- 13 時限目： }
- 14 時限目：総合練習、シングルス勝ち抜き戦
- 15 時限目：総合練習、ダブルス勝ち抜き戦

履修上の留意点

- (1) 定員は50名とする。
- (2) 実技は本校第1体育館で行なう。
- (3) 服装は身軽で動きやすいものがよい。
- (4) シューズは体育館専用のものを用意する。
- (5) その他のものは用意しなくてよい。

成績評価の方法

出席率70%、総合評価30%で行なう。

保健体育

科目名

担当者名

生涯スポーツ実習Ⅰ前期・後期／基礎(バスケットボール)

生涯スポーツ実習Ⅱ前期・後期／基礎(バスケットボール)

まさの 野 茂

生涯スポーツ実習Ⅲ前期・後期／基礎(バスケットボール)

生涯スポーツ実習Ⅳ前期・後期／基礎(バスケットボール)

保健
体育

講義のねらい

バスケットボールを教材とし、体力や運動能力の向上をはかりながら、基本的な技術を復習し、より高度な技術の習得を目指す。また、審判法やゲームに関する戦術やセオリーを学ぶことによって、生涯を通じてより次元の高いゲームを実施できる能力を養うことを目標とする。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1時限目：オリエンテーション
- 2時限目：ボール・ハンドリング、レイアップ・シュート、-halfコート 2対1
- 3時限目：2ボール・ドリブル、シューティング・ドリル、3対3ゲーム
- 4時限目：2マン・ファースト・ブレイク、フルコート 2対1、3対3ゲーム
- 5時限目：3マン・ファースト・ブレイク、フルコート 3対2、ゲーム(リーグ戦)
- 6時限目：4マン・ファースト・ブレイク、フルコート 4対3、ゲーム(リーグ戦)
- 7時限目：著名なマンツーマン・オフENSE(1) half・コート 2対2、ゲーム(リーグ戦)
- 8時限目：著名なマンツーマン・オフENSE(2) half・コート 3対3、ゲーム(リーグ戦)
- 9時限目：著名なマンツーマン・オフENSE(3) half・コート 3対3、ゲーム(リーグ戦)
- 10時限目：モーション・オフENSE(1) half・コート 2対2、ゲーム(リーグ戦)
- 11時限目：モーション・オフENSE(2) half・コート 3対3、ゲーム(リーグ戦)
- 12時限目：モーション・オフENSE(3) half・コート 4対4、ゲーム(リーグ戦)
- 13時限目：総合練習、ゲーム(リーグ戦)
- 14時限目：総合練習、ゲーム(リーグ戦)
- 15時限目：実技テスト、ゲーム(リーグ戦)

履修上の留意点

- (1) 定員は50名とする。
- (2) 実技は本校第1体育館にて行う。
- (3) 服装は、一般的運動服装とする。体育館シューズを用意すること。

成績評価の方法

出席点(70点)、実技テスト(20点)、態度点(10点)

科目名

担当者名

生涯スポーツ実習(テニス)
(集中後期・基礎/応用)

え ぐち じゅん いち
江 口 淳 一

保健
体育

講義のねらい

テニスは、我が国の生涯スポーツとして完全に定着したスポーツの1つである。本実習では、フォアハンド・バックハンド グラウンドストローク、ボレー、サービス、スマッシュなど打球技術の習得と、ゲームに関する戦術やセオリーを学ぶことによって、生涯を通じてより高度な次元でテニスに関わる能力と、態度を養うことを目標にしている。

また、テニスは打球技術の習得ばかりでなく《あがり》や《プレッシャー》といったメンタル面を克服することが重要視される心理ゲームで、それゆえに奥が深く、勝敗の行方が読めないスポーツとなっている。本実習においては、このテニスにおけるメンタルトレーニングの重要性を実技と解説を交えながら理解し、さらなるステップアップを目指す。

さらに、5日間集中的に行なうことでテニスを通じた人間関係を広げ深めることの楽しさを知ることを目標とする。

(基礎) …初心者を対象とする。「テニスを楽しむ」という観点から段階的に技術を習得し、ゲームを楽しむことを目標とする。

(応用) …エキスパートを対象とし、「ゲームに勝つ」ことや指導法などを学びながら High で Full にテニスと関わる態度を養う。

講義の内容・授業スケジュール

- 1日目午前：フォアハンド・バックハンド グラウンドストロークの基本技術の確認
- 1日目午後：ラリーの応用練習
- 2日目午前：より高度なフォア・バックハンドボレー、スマッシュ、サーブ
- 2日目午後：より正確でスピーディーなテニスを目指す。
- 3日目午前：ダブルスのルールとポジショニング
- 3日目午後：ダブルス（平行陣への移行）
- 4日目午前：ダブルス・ゲーム（メンタル面を考慮した）
- 4日目午後：シングルス・ゲーム（メンタル面を考慮した）
- 5日目午前：団体戦形式の試合
- 5日目午後：まとめ

履修上の留意点

- (1) 履修者の技術レベルは問わない。
- (2) 服装は一般的な運動服装とする。
- (3) テニスシューズを必ず用意すること。
- (4) ラケットは貸与する。

成績評価の方法

出席状況（出欠は午前午後の二回確認する。）、授業参加態度から総合的に判断する。

その他

雨天の場合は、テニスの歴史、技術の科学的な解説、ビデオによる戦術の解説および分析などの講義を行なうかまたは、テニスに必要なトレーニングを解説を交えながら行なう予定である。

集中授業コース実施について

- (1) 実施期間：1月7日（日）～11日（木）
1月7日更衣の上、午前10時に玉川テニスコート集合
- (2) 実施時間：10：00～12：00
13：00～15：30
- (3) 実施場所：玉川グラウンドのテニスコート
- (4) 定員：40名とする。
- (5) 申込方法：「生涯スポーツ実習」と同様。ただし、教務部への『履修届（事前登録）』は集中授業コース用に設定された下記の曜日・時間で提出すること。
特・4時限（後期）

科目名	担当者名
生涯スポーツ実習(ゴルフ) (集中後期・基礎/応用)	み ぬさ ほる み 三 幣 晴 三

講義のねらい

ゴルフは、今や国民的スポーツになりつつある。初めてゴルフを体験しようとする初心者から、経験者までを対象として実施する。
本講義は、ゴルフの技術的な上達を主たるねらいとするが、プレイヤーとしてのマナーやエチケット、さらに受講生同士とのコミュニケーションも重要なねらいである。
生涯スポーツとして、ゴルフの良さを十分に楽しみ、ゴルフを通して良き人間関係を作っていくための基礎を学んでほしい。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1 日目実技：打撃練習（グリップ・アドレス・スイングの基本練習）
講義：スイングの基本
- 2 日目実技：打撃練習（9I、7I・アプローチ練習）
講義：マナーとエチケット
- 3 日目実技：打撃練習（7I、5I、1W・パッティング練習）
講義：ゴルフルール
- 4 日目実技：打撃練習（PW、7I・アプローチ練習・パッティング練習）
講義：ゴルフコースとラウンドについて
- 5 日目実技：打撃練習（総合的打撃練習）

履修上の留意点

- (1) 服装：一般的な運動服装（セーター・ウインドブレーカーも天候によっては必要）
- (2) グローブ（ゴルフ用グローブに限る）は、必ず各自で用意すること。

成績評価の方法

出席を主体とし、それに技術、ルール、マナーなどの理解度を加える。

そ の 他

- (1) 実施期間：1月7日（日）～11日（木）
1月7日午前10時に玉川校舎集合
- (2) 実施時間：10：00～12：00
13：00～15：30
- (3) 実施場所：玉川校舎グラウンド
- (4) 費用：受講者の上達度によっては、民間の練習場を利用する予定である。この場合ボール代として、1,000円程度必要である。
- (5) 定員：40名
- (6) 申込方法：「生涯スポーツ実習」と同様。ただし、教務部への『履修届（事前登録）』は集中授業コース用に設定された下記の曜日・時限で提出すること。

科目名

担当者名

生涯スポーツ演習Ⅰ(ゴルフ)
(シーズン基礎/応用)

たておか よしあき
館岡 儀秋 他

保健体育

講義のねらい

「健康スポーツ実習」で行われているゴルフ授業を一步進めて、ゴルフコースを使用してゴルフを基本からラウンドプレーまでを体験することをねらいとする。したがって、初めてゴルフを体験しようとする初心者から、経験者までを対象とするカリキュラムが組まれている。

ゴルフの技術的向上を主たるねらいとするが、プレーヤーとしてのマナーやエチケット、更に同伴競技者とのコミュニケーションも本講義の重要なねらいとなる。

生涯スポーツとして、ゴルフの良さを十分に楽しみ、ゴルフを通して良い人間関係を作っていくための基礎を学んでほしい。

講義の内容・授業スケジュール

1. オリエンテーション:

1回目 4月8日(土) 12:20~12:40 2研-102教場

2回目 4月15日(土) 12:20~12:40 2研-102教場

※本オリエンテーションにて、受講許可書を発行いたします。

1回目のオリエンテーションで定員に達しない場合、2回目を実施します。

2. 事前授業: 7月17日(月) 13:00~16:10 2研-102教場「ゴルフの基礎知識」

3. 実習内容および現地講義

1日目 9月4日(月)

講義: 9:00~12:10 ゴルフコースとゲーム、スイングの基礎

実技: 13:00~17:30 打撃練習

※注意: 1日目は、玉川校舎で実施する。

2日目 9月5日(火) 実技・講義: 11:00~18:00 打撃練習・ゴルフ規則Ⅰ、その他

3日目 9月6日(水) 実技・講義: 8:30~17:00 打撃練習・ラウンド・ゴルフ規則Ⅱ

4日目 9月7日(木) 実技・講義: 8:30~17:00 打撃練習・ラウンド・ラウンドの総括

5日目 9月8日(金) 実技・講義: 8:30~13:30 打撃練習・ラウンド・閉校式

履修上の留意点

生涯スポーツ演習Ⅰ(シーズン基礎・シーズン応用)を履修する場合は、上記オリエンテーションに出席し、担当者の受講許可を受けなければなりません。

1. 実習日程: 平成18年9月4日(玉川校舎)・9月5日~8日(現地: 3泊4日)

2. 場所:

宿泊: マロウドインターナショナルホテル成田

286-0121 千葉県成田駒井野763-1

電話 0476-30-2222 FAX 0476-32-9112

練習場コース: ダイナミックゴルフ成田

289-2231 千葉県香取郡多古町飯笹1040

電話 0479-75-0793 FAX 0479-75-0785

3. 定員: 40名

4. 集合解散:

(1) 集合 9月4日(月) 午前9時 玉川校舎 305教場

9月5日(火) 午前11時 ダイナミックゴルフ成田

(2) 解散 9月8日(金) 午後12時30分: 予定 ダイナミックゴルフ成田

5. 受講料: 35,700円(左記金額には、交通費は含まれない。)

6. 納入期間: 平成18年5月22日(月)~6月3日(土)

証明書自動発行機(教務部ロビー設置)で受講料を納入後、納入書を保健体育部(第2研究館9階資料室)に提出すること。期間内に納入しない場合は、受講することができないので注意して下さい。

7. 服装・用具

(1) 一般的なゴルフ服装(セーター・ウインドブレーカーも天候によって必要)

(2) ゴルフシューズ(ソフトスパイクに限る)は、必ず用意すること。ただし、練習場においては運動靴でも可。

(3) グローブは、必ず各自で用意すること。

(4) ゴルフクラブ・キャディーバッグは大学で用意するが、自分の物を持参してもよい。

成績評価の方法

オリエンテーション・事前授業および実習(5日間)によって2単位が認められる。成績は講義・実技の出席状況講義・実技テスト実習参加態度等総合的に評価される。

そ の 他

都合で参加できなくなった場合は、早急に保健体育部（第2研究館9階資料室）に連絡すること。なお、受講料の一部は、返却されないことがあります。

前期終了科目成績発表日（9月4日）と1日目授業（玉川校舎）の日程が重複しています。該当者は、1日目の午前中に、予め教務部窓口で成績表を受け取ってから授業に参加してください。

科目名

担当者名

生涯スポーツ演習Ⅱ(スキー・スノーボード)
(シーズン基礎/応用)

えぐち じゅんいち
江口 淳一 他

保健体育

講義のねらい

現在わが国において、スキーやスノーボードに代表されるスノースポーツは、国民に広く普及し「生涯スポーツ」として定着している。これらを楽しむ為に、実習および講義によって基礎技術や練習方法、ならびにゲレンデにおけるマナーなどについて理解を深めていきたい。

実習はそれぞれの技術レベルに応じて班分けして実施する。コースの内容は以下の通りである。

- スキー・スノーボード基礎コース：雪面に慣れることから始まり、基礎的な滑走技術の習得を目指す。
- スキー・スノーボード応用コース：基礎コースを更に発展させ、安全で楽しくゲレンデを滑る技術の習得を目指す。

講義の内容・授業スケジュール

1. オリエンテーション 1回目 4月8日(土) 12:20~12:40 2研-102教場
2回目 4月15日(土) 12:20~12:40 2研-102教場
※ 本オリエンテーションにて、種目決定と受講許可書発行を行います。
1回目のオリエンテーションで定員に達しない場合、2回目を実施します。
2. 事前授業 1月11日(木) 13:00~16:00 2研-102教場「スノースポーツの基礎知識」
3. 実習内容および現地講義
 - 1日目 2月5日(月)
午後、現地ホテルロビー集合
午後：班別実習および全体講義「スノースポーツの基礎技術解説および安全・マナー」
 - 2日目 2月6日(火)
午前・午後：班別実習および全体講義「スノースポーツの応用技術解説」
 - 3日目 2月7日(水)
午前・午後：班別実習および全体講義「スノースポーツと環境」
 - 4日目 2月8日(木)
午前・午後：班別実習および全体講義「本実習の反省とまとめ」
 - 5日目 2月9日(金)
午前・午後：班別実習 午後、現地解散の予定

履修上の留意点

本講座は、生涯スポーツ演習Ⅱシーズン・基礎/応用ですが、履修する場合は、スキーまたはスノーボードのどちらかの種目とします。また、上記オリエンテーションに出席し、担当者の受講許可書を受けなければなりません。受講要項および本講義内容をよく確認して下さい。

- 1) 実習日程：平成19年2月5日(月)~2月9日(金)の4泊5日(現地集合解散)
- 2) 場 所：実習 安比高原スキー場
宿泊・現地講義 安比グランド 電話(0195)73-5019
- 3) 定 員：スキー 20名
スノーボード 30名(但し、初心者に限る)
- 4) 受講料：50,000円 ※なお左記金額には、交通費は含まれない。
証明書自動発行機(教務部ロビー設置)で受講料を納入後、納入書を保健体育部(第2研究館9階資料室)に提出すること。期間内に納入しない場合は、受講することができないので注意して下さい。
納入期間：平成18年5月22日(月)~6月3日(土)
- 5) 用 具：用具は現地レンタル可能(有料)。
- 6) 特記事項：卒業年次生が履修する場合は日程などに注意すること。

成績評価の方法

オリエンテーション・事前授業および実習(5日間)に参加終了し、2単位が認められる。成績評価の方法は、事前授業参加状況、各班において実施する実技テストと実習参加態度、並びに技術や理解度も含めて総合的に成績評価がなされる。

その他

都合で参加できなくなった場合は、早急に保健体育部(第2研究館9階保健体育部資料室)に連絡すること。なお、参加費は返却されないことがある。

講義のねらい

健康を保持することは、すべての個人の願望にはかならないが、現代社会においては健康そのものの捉えかたが多様化している。また、運動やスポーツが健康増進の手段として考えられてきたが、その方法を誤ると健康を阻害する一面も内在している。健康管理を人に頼るのではなく、自主管理していくための基礎的知識を解説する。

人間の根源とも言える性と関連するエイズの諸問題を解説し、HIV感染者・エイズ患者を差別することなく、偏見を抱くことなく、エイズと共存する社会の実現のための知識・態度を解説する。

私たちは、いつ、どこで、どのような急病・事故・災害に出会うかわからない。このようなときに、医師以外の一般人でも、器具や薬品を使わずにできる一次救命処置の基礎的知識を解説する。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション
- 2 時限目：人間と健康（体力と健康）
- 3 時限目：　　　　　　（寿命と健康）
- 4 時限目：　　　　　　（運動不足症）
- 5 時限目：　　　　　　（健康管理法）
- 6 時限目：献血と血液製剤
- 7 時限目：エイズ（エイズの現状と推移）
- 8 時限目：　　　　　　（エイズの子防・検査・治療）
- 9 時限目：　　　　　　（人権と差別）
- 10 時限目：体力とトレーニング（トレーニングの方法・運動処方）
- 11 時限目：救命救急（一次救命処置）
- 12 時限目：　　　　　　（一次救命処置）
- 13 時限目：　　　　　　（一次救命処置）
- 14 時限目：　　　　　　（応急救急）
- 15 時限目：まとめ

履修上の留意点

授業時間内に次のことを発表するので注意すること。

- (1) 「小テスト」の期日（1、2回実施する予定）
- (2) 「レポート」の提出期日（1、2回）

成績評価の方法

「小テスト」70%、「レポート」30%で総合評価する。

教科書

特に指定しない。

参考書等

駒澤大学保健体育部編『保健体育概論』
【学生のための性とエイズ】（朝倉書店）
『救命救急』（小学館）

その他

授業は主に講義形式で行うが、ビデオ等も活用する。

講義のねらい

健康を保持することは、人間の願望である。健康は心と体の両面が大切である。現代社会において心の問題は深刻である。学生時代は、生涯の健康生活を築くチャンスである。心の悩みや体の悩みを解決する方法を考え、自己を確立し自立できる環境（人的、物的）を学習する。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション
- 2 時限目：健康の成立条件
- 3 時限目：人間の健康（心と体）
- 4 時限目：　　　　〃　　　（心の問題）
- 5 時限目：学生健康（心の問題）
- 6 時限目：　　　　〃　　　（日常生活）
- 7 時限目：　　　　〃　　　（栄養と食事）
- 8 時限目：　　　　〃　　　（　　　〃　　　）
- 9 時限目：　　　　〃　　　（エイズと性的問題）
- 10 時限目：　　　〃　　　（酒とたばこ）
- 11 時限目：　　　〃　　　（酒とたばこ）
- 12 時限目：　　　〃　　　（精神的自立）
- 13 時限目：　　　〃　　　（自立について）
- 14 時限目：運動障害と救急法（突き指、捻挫、脱臼、骨折等）
- 15 時限目：まとめ

履修上の留意点

- 1 「小テスト、小レポート」を3、4回講義中に実施提出する。
- 2 「レポート」提出

成績評価の方法

「小テスト、小レポート」「レポート」。出席で総合評価する。

科目名**担当者名**

健康・スポーツ論2

おおいし たけし
大石 武士**講義のねらい**

生涯を通じての健康や体力・身体運動の効果、体育・スポーツの概念やエイズ問題にふれていき、スポーツ・レクリエーション時や日常生活において、我々はいつどこで、どのような急病や傷害に出会うかもしれない。このような時、救急車が来るまでにしなければならない処置、とっさの処置が生命の別れ目になる。また、小さい怪我でも最初の手当が悪ければ経過が長引く。救命救急のための知識や技術を身につける事によって、病人や怪我人の生命、病気や怪我の経過に大きな差が生じてくる。このことをよく理解し、主な病気・傷害に対する救急処置法について講義を行う。

**講義の内容・
授業スケジュール**

- 1 時限目：講義内容の説明
- 2 時限目：体育の概念
- 3 時限目：身体運動と体育運動
- 4 時限目：健康の概念、身体運動の効果
- 5 時限目：人体構造の概略、エイズ問題
- 6 時限目：救急処置の目的、一次救命処置
- 7 時限目：一次救命処置
- 8 時限目：一次救命処置実習
- 9 時限目：出血多量、ショック
- 10 時限目：熱中症、やけど（熱傷）、凍傷
- 11 時限目：R・I・C・E 処置、創傷、創傷のない障害
- 12 時限目：挫滅傷、打撲、刺し傷
- 13 時限目：中毒、鼻出血、咬傷、虫や毒魚
- 14 時限目：体力について
- 15 時限目：テスト

成績評価の方法

出席・実習および学期末試験で評価する。

参考書等

- 1 駒澤大学保健体育部編『保健体育概論』（カヅサ出版）1,700円
- 2 『最新図解救命救急－応急手当の手引き－』（小学館）700円

その他

救急処置法については、心肺蘇生訓練用マネキンを使った実習や、ビデオを交えながら講義を展開していく。

保健体育

講義のねらい

健康は、人間が生きて何かを実現していく上で最も重要な基本的前提条件である。本講義は、医学的見地からの健康を論じるだけでなく、人間が生きがいを持って生きる上で身体的・精神的健康を獲得するための実践的条件を検証するものである。

スポーツは過去から現代まで人類が宮々と築きあげてきた文化である。スポーツは実践だけでなく、観ることやマスコミからの多くのインフォメーションによってわれわれ現代人にさまざまな影響を及ぼしている。スポーツを狭い領域からだけ論じるのではなく、我々が生き生きと生きるために必要な情報としてのスポーツの価値を論じるものである。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション
- 2 時限目：健康とは何か I
- 3 時限目：同 II
- 4 時限目：同 III
- 5 時限目：同 IV
- 6 時限目：同 V
- 7 時限目：ストレスとは何か I
- 8 時限目：同 II
- 9 時限目：スポーツ論 I
- 10 時限目：同 II
- 11 時限目：同 III
- 12 時限目：同 IV
- 13 時限目：同 V
- 14 時限目：健康のまとめ
- 15 時限目：スポーツ論のまとめ

履修上の留意点

毎時限配布するプリントを重視して進める。

成績評価の方法

出席・欠席を特に重視する。また、授業中に行われる小テストの成績も重要である。

教科書

特に指定するものはない。

参考書等

- 『ホモ・ルーデンス』（中央公論社）
- 『マイネル・スポーツ運動学』（大修館書店）

その他

講義形式を基本とし、必要に応じてビデオや実技も加える。

科目名

健康・スポーツ論2

担当者名

まきの 野茂

講義のねらい

現代社会における健康の意義と認識を深めるとともに、ますます高齢化していく社会において、学生生活を含め生涯にわたって健康な生活を送るための基礎的な知識と、自己の健康管理能力を高めることを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 時限目：目的と課題の把握 全体ガイダンスアンケートとその解説
- 2 時限目：健康とは何か (1) 語源・定義・性格
- 3 時限目：健康とは何か (2)
- 4 時限目：健康とは何か (3)
- 5 時限目：恒常性と適応 ストレス学説
- 6 時限目：健康の成立条件 健康を規定する条件
- 7 時限目：健康の保持増進 (1) 科学的研究健康教育
- 8 時限目：健康の保持増進 (2) 保健衛生サービス健康の獲得
- 9 時限目：健康指標 WHOの総合健康指標
- 10 時限目：日常生活と健康 (1) 運動・栄養・休養 (1)
- 11 時限目：日常生活と健康 (2) ◻ ◻ ◻ ◻ (2)
- 12 時限目：日常生活と健康 (3) 嗜好品と健康
- 13 時限目：感染症について (1) インフルエンザ結核
- 14 時限目：感染症について (2) 性行為感染症
- 15 時限目：筆記試験

成績評価の方法

数回の小テストと学期末の筆記試験で評価する。

教科書

教科書は使用しない。必要に応じてプリントを配布するが、主として黒板を用いるので、出席し、ノートを整理しておくこと。

参考書等

「健康科学一知っておきたい予防医学一」(丸善) 1,900円
「ライフスタイルと健康の科学」(不昧堂出版) 2,400円
他は、講義のなかで紹介する。

保健
体育

Ⅱ 専 門 教 育 科 目

1 法律学科フレックスA

授業時間表の区分「B」の科目を履修する場合は、
フレックスBの頁を参照してください。(→P.583)

法

律

Ⅱ. 専門教育科目

※印の科目については、政治学科の専門教育科目のページを参照してください。

(1) 法律学科フレックスA

科目名	配当学科	開講区分	単位	担当者名	ページ
法学概論	16以降入学生／法A1必	半期	2	北野かほる 高橋洋城	281
法学概論A	15以前入学生／法A1必				
公法入門	16以降入学生／法A1必	半期	2	山口邦夫 仲田孝仁 金子昇平 松本英俊	282
法学概論B	15以前入学生／法A1必				
私法入門	16以降入学生／法A1必	半期	2	河野弘矩 鶴井俊吉	283
法学概論B	15以前入学生／法A1必				
憲法	法A1必	通年	4	日笠完治	284
憲法	法A1必	通年	4	西修	285
民法総則	法A1必	半期	4	河野弘矩	286
刑法総論	法A1必	半期	4	山口邦夫	286
刑法総論	法A1必	半期	4	松村格	287
会社法	16以降入学生／法A2選必 15以前入学生／法A2必	通年	4	荒木正孝	288
債権総論	法A2選必	通年	4	小野健太郎	289
物権法	法A2選必	通年	4	鶴井俊吉	290
行政法	16以降入学生／法A2選必	通年	4	金子昇平	291
行政法総論	15以前入学生／法A2選必				
刑法各論	16以降入学生／法A2選 15以前入学生／法A2選必	通年	4	山口邦夫	292
裁判法	16以降入学生／法A2選 15以前入学生／法A2選必	通年	4	五百田俊治	292
国際法	16以降入学生／法A2選 15以前入学生／法A2選必	通年	4	王志安	293
有価証券法	16以降入学生／法A3・4選 15以前入学生／法A2選必	通年	4	中濱義章	294
商法総則・商行為法	16以降入学生／法A2選 15以前入学生／法A3・4選必	通年	4	川口幸美	295
担保物権法	16以降入学生／法A3・4選 15以前入学生／法A3・4選必	通年	4	鶴井俊吉	296
家族法	16以降入学生／法A3・4選	通年	4	竹中智香	297
相続法	15以前入学生／法A3・4選必				
保険・海商法	16以降入学生／法A3・4選 15以前入学生／法A3・4選必	通年	4	加瀬幸喜	298
民事訴訟法	16以降入学生／法A3・4選 15以前入学生／法A3・4選必	通年	4	間渕清史	298
刑事訴訟法	16以降入学生／法A3・4選 15以前入学生／法A3・4選必	通年	4	松本英俊	299

労働法	16以降入学生／法A 3・4 選 15以前入学生／法A 3・4 選必	通年	4	藤本茂	300
社会保障法	16以降入学生／法A 3・4 選 15以前入学生／法A 3・4 選必	通年	4	原田啓一郎	301
行政救済法 行政法各論	16以降入学生／法A 3・4 選 15以前入学生／法A 3・4 選必	通年	4	金子昇平	302
国際紛争解決法	16以降入学生／法A 3・4 選 15以前入学生／法A 3・4 選必	通年	4	王志安	303
国際私法	16以降入学生／法A 3・4 選 15以前入学生／法A 3・4 選必	通年	4	佐々木彩	304
新入生演習	16以降入学生／法A 1 選	通年	2	金子昇平 荒木正孝 王志安 大宮隆 川口幸美 北野かほる 竹中智香 鶴井俊吉 中濱義章 藤本茂 松村格 山口邦夫	305
比較憲法	法A・法B 1・2 選	通年	4	西修	306
法社会学	法A・法B 1・2 選	通年	4	岡崙修	307
日本法制史	法A・法B 1・2 選	通年	4	茂野隆晴	308
西洋法制史	法A・法B 1・2 選	通年	4	北野かほる	309
政治学原論	法A・法B 1・2 選	通年	4	大塚桂	310
政治史	法A・法B 1・2 選	通年	4	村井良太	311
経済原論	法A・法B 1・2 選	通年	4	鈴木伸枝	312
行政学	法A・法B 1・2 選	通年	4	田丸大	313
法律時事英語	法A・法B 1・2 選	通年	4	牧野和夫	314
刑事政策	法A・法B 2 選	通年	4	覚正豊和	314
法思想史	法A・法B 2 選	通年	4	高橋洋城	316
債権各論	法A・法B 2 選	通年	4	青野博之	317
英米法	法A・法B 2 選	通年	4	北野かほる	318
仏法	法A・法B 2 選	通年	4	上井長久	319
独法	法A・法B 2 選	通年	4	山口邦夫	320
基礎演習	法A 2 選	通年	4	大宮隆	320
基礎演習	法A 2 選	通年	4	今尾真	321
基礎演習	法A 2 選	通年	4	佐藤多美夫	322
基礎演習	法A 2 選	通年	4	原口伸夫	323
基礎演習	法A 2 選	通年	4	池田実	323
基礎演習	法A 2 選	通年	4	向田正巳	324
基礎演習	法A 2 選	通年	4	和知恵一	324
演習 I	法A 3 選	通年	4	小林弘人	325
※演習 I	法A 3 選	通年	4	田丸大	424
演習 I	法A 3 選	通年	4	早川純貴	325

※演習Ⅰ	法A3選	通年	4	相田敏彦	426
※演習Ⅱ	法A4選				
演習Ⅰ	法A3選	通年	4	青野博之	326
演習Ⅱ	法A4選				
演習Ⅰ	法A3選	通年	4	荒木正孝	326
演習Ⅱ	法A4選				
演習Ⅰ	法A3選	通年	4	王志安	327
演習Ⅱ	法A4選				
※演習Ⅰ	法A3選	通年	4	大塚桂	427
※演習Ⅱ	法A4選				
演習Ⅰ	法A3選	通年	4	大宮隆	327
演習Ⅱ	法A4選				
※演習Ⅰ	法A3選	通年	4	大山礼子	427
※演習Ⅱ	法A4選				
演習Ⅰ	法A3選	通年	4	金子昇平	328
演習Ⅱ	法A4選				
演習Ⅰ	法A3選	通年	4	川口幸美	328
演習Ⅱ	法A4選				
演習Ⅰ	法A3選	通年	4	間渕清史	329
演習Ⅱ	法A4選				
演習Ⅰ	法A3選	通年	4	北野かほる	329
演習Ⅱ	法A4選				
※演習Ⅰ	法A3選	通年	4	小堀訓男	428
※演習Ⅱ	法A4選				
演習Ⅰ	法A3選	通年	4	佐藤多美夫	330
演習Ⅱ	法A4選				
演習Ⅰ	法A3選	通年	4	松村格	330
演習Ⅱ	法A4選				
演習Ⅰ	法A3選	通年	4	高橋洋城	331
演習Ⅱ	法A4選				
演習Ⅰ	法A3選	通年	4	竹中智香	332
演習Ⅱ	法A4選				
※演習Ⅰ	法A3選	通年	4	竹花光範	428
※演習Ⅱ	法A4選				
演習Ⅰ	法A3選	通年	4	鶴井俊吉	332
演習Ⅱ	法A4選				
演習Ⅰ	法A3選	通年	4	向田正巳	333
演習Ⅱ	法A4選				
演習Ⅰ	法A3選	通年	4	西修	333
演習Ⅱ	法A4選				
演習Ⅰ	法A3選	通年	4	原田啓一郎	334
演習Ⅱ	法A4選				
演習Ⅰ	法A3選	通年	4	藤本茂	334
演習Ⅱ	法A4選				
演習Ⅰ	法A3選	通年	4	日笠完治	335
演習Ⅱ	法A4選				

演習Ⅰ	法A 3選	通年	4	山口邦夫	336
演習Ⅱ	法A 4選				
演習Ⅰ	法A 3選	通年	4	松本英俊	336
演習Ⅱ	法A 4選				
演習Ⅱ	法A 4選	通年	4	川口幸美	337
演習Ⅰ	法A 3選	通年	4	中濱義章	337
演習Ⅱ	法A 4選				
演習Ⅱ	法A 4選	通年	4	河野弘矩	338
演習Ⅱ	法A 4選	通年	4	小林弘人	338
※演習Ⅱ	法A 4選	通年	4	田丸大	431
※演習Ⅱ	法A 4選	通年	4	早川純貴	431
外書講読Ⅰ (英書)	法A・法B 3選	通年	4	王志安	339
外書講読Ⅱ (英書)	法A・法B 4選				
外書講読Ⅰ (英書)	法A・法B 3選	通年	4	金子昇平	339
外書講読Ⅱ (英書)	法A・法B 4選				
外書講読Ⅰ (英書)	法A・法B 3選	通年	4	川口幸美	340
外書講読Ⅱ (英書)	法A・法B 4選				
外書講読Ⅰ (独書)	法A・法B 3選	通年	4	松村格	340
外書講読Ⅱ (独書)	法A・法B 4選				
外書講読Ⅰ (仏書)	法A・法B 3選	通年	4	中野裕二	341
外書講読Ⅱ (仏書)	法A・法B 4選				
外書講読Ⅰ (中国書)	法A・法B 3選	通年	4	江林英基	341
外書講読Ⅱ (中国書)	法A・法B 4選				
登記法	法A・法B 3・4選	通年	4	田沼浩	342
税法	法A・法B 3・4選	通年	4	中江博行	342
※地方自治法	法A・法B 3・4選	通年	4	富井幸雄	378
環境法	法A・法B 3・4選	通年	4	仲田孝仁	343
経済法	法A・法B 3・4選	通年	4	若林亜里砂	344
消費者法	法A・法B 3・4選	通年	4	向田正巳	345
知的財産権法	法A・法B 3・4選	通年	4	盛岡一夫	346
民事執行・保全法	法A・法B 3・4選	通年	4	福永清貴	347
倒産処理法	法A・法B 3・4選	通年	4	鈴木貴博	347
法哲学	法A・法B 3・4選	通年	4	高橋洋城	348
法律学特殊講義〔法女性学〕	法A・法B 3・4選	通年	4	堀口悦子	349
財政学	法A・法B 3・4選	通年	4	里中恆志	349
※国際関係論	法A・法B 3・4選	通年	4	三船恵美	382
経済政策	法A・法B 3・4選	通年	4	森岡仁	350
社会政策	法A・法B 3・4選	通年	4	原田啓一郎	350
実務演習Ⅰ	法A・法B 3・4選	通年	4	中野辰久	351
実務演習Ⅱ	法A・法B 3・4選	通年	4	鶴井俊吉 上野雅祥 小林覚 杉山真一	352
実務演習Ⅲ	法A・法B 3・4選	通年	4	木村美隆	352
現代企業論	法A・法B 3・4選	半期	2	代田純	353

科目名	担当者名
法学概論	北野かほる
法学概論A	またの 北野かほる たか はし ひろ 高橋洋城

講義のねらい

法学部に入ってはじめて法学を学ぶひとに、法学科履修の前提となるような知識を身につけてもらうことが、第1のねらいです。法学学習の上で必要になる、現実をイメージしながらその法的構造を読みとる力の基礎的感覚を開発することが、第2のねらいです。はじめてのことばかりで、最初はとまどうかもしれませんが、休まずに学習するよう心がけてください。

講義の内容・授業スケジュール

1. 法のイメージと法学部の講義科目
 - (1) 法とは何か
 - (2) 法学部ではどう学ぶか
2. 法の一般的分類
 - (1) 法の分類
 - (2) 法令の種類
3. 近代日本法とその社会
 - (1) 国家と社会
 - (2) 近代日本が受け継いだ法
 - (3) 近代法の変容
4. 立法の角度からの法
 - (1) 制定法主義とその法源
 - (2) 法の体系性
5. 司法の角度からの法
 - (1) 紛争解決の仕組みと機構
 - (2) 紛争の種類と解決の種類
6. 法令の解釈
 - (1) 事実の法的再構成
 - (2) 事実への法令のあてはめ

法
律

履修上の留意点

半期科目で集中的に多くのことを学びます。継続的に出席することが必要です。授業中に小テストを実施することもありますので、休まないようにしてください。

成績評価の方法

前期授業最終時間の試験。小テストやレポートなどが課される場合は、その評価を加味しません。

教科書

伊藤正己・加藤一郎編『現代法学入門』第3版補訂版（有斐閣）

参考書等

竹下・福井編『はじめての法学』成文堂
 その他の参考書は随時紹介します。授業中に参考資料を配ることもあります。配付資料は原則として研究室などでの追加請求には応じませんので、必ず出席して受け取るようにしてください。

科目名

担当者名

公法入門
法学概論B

なかた 仲田	たかひと 孝仁	やまぐち 山口	くにお 邦夫
かなこ 金子	しょうへい 昇平	まつもと 松本	ひでとし 英俊

講義のねらい

平成16年度から、従来の法学概論を区分けして、法学概論・公法入門・私法入門とし、それぞれ2単位ずつ、計6単位とした。今年度は、公法入門を2名で6回ずつ担当する。内容は、前半を刑法入門、後半を行政法入門とし、それぞれ最終回に試験を行う。

講義の内容・
授業スケジュール

前半（刑法入門）

1. 刑法とはどのような法律か（国家法体系の中での位置づけ）
2. 刑罰について（国家刑罰権・刑による威嚇と現実の裁判）
3. 犯罪が成立するための要件（なぜ逮捕されるのか・裁判を受ける権利）
4. いわゆる罪刑法定主義について（事後法の禁止と法の適正手続）
5. まとめと質疑応答
6. 試験

後半（行政法入門）

1. 行政法とは何か
2. 行政法の法源
3. 行政法の領域
4. 法治行政
5. 行政作用と法
6. 試験

履修上の留意点

前半と後半で担当者も講義内容も異なるため、各担当者の話は、5回しかない。したがって、1回の欠席もゆるがせにできない。さもないと試験の成績にひびくことになる。

成績評価の方法

成績は、前半と後半の各試験を合計して評価するが、試験はそれぞれの担当者の講義最終時間とする（計2回）。どちらか一方が不可となれば単位を取得することが難しくなるので注意すること。

教科書

前半・後半ともに教科書は使用しない。

参考書等

参考書はその都度紹介するので、積極的に読書するようにしてほしい。

科目名

私法入門
法学概論B

担当者名
河野弘矩
つるいしゅんきち
鶴井俊吉

講義のねらい

この科目は、法律学科の新入生がこれから私法分野の科目を学んでいく上で、必要な基礎的な知識を身につけていくために設けられているものです。

本来、「私法」は個人の日常生活に密接に関連した問題を扱い、身近な分野であるはずですが、「公法（憲法や刑法）」に比べると近寄りにくい。その理由は、登記簿・契約書・手形・小切手など一般の学生にとって必ずしも親しみのわかないものが次々に出てくるし、少なくとも、学生の日常生活からかけ離れ、具体的問題としてイメージすることができないことにあります。そこで、現実の社会生活における身近な問題や具体的事案を多く取り上げ、興味を持てるように講義を進めます。

講義の内容・
授業スケジュール

学習の順番や方法は、それぞれの先生が工夫して、講義を進めていきますが、共通して学ぶ項目は以下の通りです。

1. 法の分類と私法の意義
 - (1) 公法と私法 (2) 私法 (3) 公私混合法 (4) 新たな法領域
2. 私法の基本原理
 - (1) 序説 (2) 近代私法の基本原理 (3) 現代における近代私法原理の修正
3. 私法の法源
 - (1) 序説 (2) 制定法 (3) 慣習法 (4) 判例 (5) 条例
4. 私法の効力
 - (1) 序説 (2) 時に関する効力 (3) 人に関する効力 (4) 場所に関する効力
5. 私法の適用と解釈
 - (1) 序説 (2) 裁判外の紛争解決 (3) 裁判による紛争解決 (4) 私法の適用と解釈
6. 私法上の権利
 - (1) 権利とは何か (2) 私権の種類 (3) 私権の社会性
7. 財産法と家族法

法
律

成績評価の方法

半期科目であるため、前期末・授業時間内に行う試験による評価が中心になる。しかし、先生によっては、出席点や質疑と応答による平常点を加味することもあります。

教科書

担当の先生から指示があった場合には、それに従ってください。

参考書等

講義の際に紹介するので、積極的に読書するようにしてください。

科目名

担当者名

憲法

ひ かせ かん し
日 笠 完 治

法
律

講義のねらい

憲法の特徴を理解してもらい、受講者が憲法を好きになることを目的とする。憲法は、現実の生活から離れているように思われるが、国家や社会の基礎をなして、大切な人類の英知が詰まっている。私たちの存在を支えていることがわかれば、その理解はさらに深くなると思う。

講義の内容・
授業スケジュール

(前期) イントロダクション・立憲主義の憲法原理・統治機構・司法審査
(後期) 人権の基礎理論、人身の自由、精神的自由、経済的自由、参政権、国務請求権、社会権など

履修上の留意点

受講生が多数のため、講義形式の授業となる。予習をしっかりとってきてほしい。また、授業後に質問を受けたいと思う。

成績評価の方法

原則的には、定期試験の結果に基づき評価を行う。なお、レポート提出などの日常的学習活動については、加点主義で考慮する。

教科書

日笠完治『憲法がわかった』改訂版(法学書院)2003年 2,600円

参考書等

- ・法令集として、『ポケット六法』『コンパクト六法』『デリー六法』などの最新版を持ってきてください。
- ・判例集として『憲法判例集』などを用意してください。

その他

憲法に対する知的欲求を高めて、授業に出席してください。出席はとりません。授業を聴講する限りは、私語や途中入退席のないようにしてください。

講義のねらい

何年か前に発表された日米教育比較に関する米側専門家の報告書によると、日本の大学教育は完全に失敗していると診断しています。「授業は貧弱で、大学生はいたって不勉強」というのがその結論です。日本の大学改革が叫ばれているいま、このような診断が誤りであることを証明する必要があると思います。

私は、次のような授業方針でのぞみますので、了解されたい。

- (1) 私の教師になってからのモットーは「授業は休まず、遅く始めず、早く終わらず」というものです。したがって、受講生諸君は講義には必ず出席し、かつ授業時間に遅れないように。
- (2) あらかじめ講義計画（シラバス）を立て、その計画にそって授業を進めます。
- (3) 授業中の私語・遅刻は、他人の迷惑になるので、絶対に慎んでほしい。
- (4) 私が独自に作成した出席カードを利用し（質問欄あり）、双方向性を大切に授業内容にします。
- (5) 授業内容は、コピーの配布、ビデオ、書画カメラ、パワーポイントなどの活用をはかり、できるかぎり理解を容易にするよう工夫をこらします。

法
律講義の内容・
授業スケジュール

取り扱う主な項目は、以下のとおり。

- | | |
|-----------------|------------------|
| (1) 日本国憲法の制定過程 | (9) 国会の組織と機能 |
| (2) 憲法の改正と限界 | (10) 経済的自由権 |
| (3) 国民主権と象徴天皇制 | (11) 内閣の機能、議院内閣制 |
| (4) 基本的人権の歴史と意義 | (12) 社会権 |
| (5) 日本国憲法と平和主義 | (13) 司法の構造と権限 |
| (6) 法の下での平等 | (14) 身体的自由 |
| (7) 政治改革と憲法問題 | (15) 憲法の保障 |
| (8) 精神的自由権 | (16) 財政・地方自治 |

成績評価の方法

成績評価の目安は、おおむね以下のとおり。

前期試験40%、後期試験40%、出席・レポート20%。授業中試験をする可能性があるので注意すること。

教科書

西 修編著『エレメンタリ憲法』（成文堂）2001年 2,700円＋税

参考書等

- (1) 西 修著『日本国憲法成立過程の研究』（成文堂）2004年 6,000円＋税
- (2) 西 修著『ここがヘンだよ！日本国憲法』（アスコム）2001年 1,500円＋税

科目名

担当者名

民法総則

河野弘矩

法律

講義のねらい

民法は、実質的意義において、司法関係を規律する原則的・一般的な法を指し、形式的意義においては民法典を指している。この民法典は、市民生活のうち財産領域を「物権」と「債権」とに分け、それに家族関係の領域の「親族」と「相続」に関する規定を加え、それらの通則として民法の最初に「総則」規定を置くといった5編から構成されている。民法典の編纂にあたって、最初に抽象的命題を置き、次に具体的な法命題へと下降するといった手法を採用したため、民法の最初の編である民法総則は、抽象的で、理解しにくい規定が多く、民法典のなかでは比較的難解な編であると言われている。本講義では、可能な限り具体的事例を通して、抽象的理論をより容易にし、受講者の知的好奇心・学問的興味を深めていきたい。

講義の内容・授業スケジュール

民法総則は、「権利」を中心に、まず「権利の主体」、「権利の客体」、「権利の変動」といった順序による体系的な構成を採用している。本講は、その体系に従い進行する。毎回講義終了後、その日の講義内容について質問を受けるほか、「民法総則」の講義の最終日に質問のみを受け付ける日を予定している。

履修上の留意点

講義では、民法の条文は当然のこと、それ以外の法律の条文をも参照する機会が多く、そのため必ず六法を持参して受講してください。授業を休まずに、継続して受講されるように努めてください。

成績評価の方法

期末試験の成績により評価する。出席点を加味するか否かについては今後検討したい。

教科書

河野弘矩『民法総則講義』（八千代出版）

参考書等

授業の中で紹介する。

科目名

担当者名

刑法総論

山口邦夫

講義のねらい

一年次の専門科目として、高校時代の学習あるいは予備校時代の勉強方法から、一日も早くぬけ出し、大学における真の学問を学ぶ姿勢になってもらうことを主眼に講義をする。大学生としての自覚をもち、講義や読書を通じて、みづから積極的に学ぶ態度を身につけるように諸君も努力してほしい。

講義の内容・授業スケジュール

次の2期に分けて講義をする。I期（9・10月）、II期（11・12月）。
I期。学問とは何か。特に学問の限界について考える。それから、法律学とは何か。法律学の体系における刑法学の位置づけへと進む。
刑法における刑罰と犯罪概念を中心に、法治国家の原則として罪刑を法定しておくことの意味を検討する。
II期。ドイツの構成要件論を手がかりに、犯罪論の構築の仕方について、数種のパターンを考えて講義をする。その際、違法と責任との区別を峻別する立場から解説をする。
犯罪の既遂・未遂について、昔の学派の争いを考慮しながら、未遂処罰の根拠、さらに過失犯に実行行為があるか否かを考えながら、故意犯と過失犯との区別について検討する。最後に二人以上の犯罪者が加わる共犯の問題について論究し、刑法学の概説を終る。

履修上の留意点

原則として出席はとらない。ただし、上記の各期ごとのまとめとして、小テストを時間内に行う予定である。
質問時間は、研究室2719号に掲示してある。毎週2～3時間は、毎年確保しているため、この時間内は、自由に質問が可能である。

成績評価の方法

上記の小テストが実行できれば、その結果と、学年末試験の成績とを総合して評価し、単位を認定する。

教科書

教科書は、原則として使用せずに講義をすすめ、そのつど参考書を紹介する。

講義のねらい

刑法総論は、犯罪論・刑罰論・罪数論から成りますが、時間数の都合上、犯罪論に絞って講義します。刑法ないし刑法学を支えている基本原理（罪刑法定主義・責任主義・謙抑主義）および刑法の使命（人権保障・法益保護・秩序維持）については、公法入門の刑法部門で学習したので、その知識を前提として講義を進めます。しかし、刑法の基本原理と使命を理解していないと刑法総論を理解することは不可能なので、今一度、十分に復習して講義に臨んでほしい。その上で、構成要件論、違法論・責任論・未遂論・共犯論について講義します。通説・判例を中心にしながらも、私の考え方も主張します。学生諸君は、どの見解を採用してもかまわないが、すべての問題点について一貫した論理を展開するように学習してください。そして、自分の考えで犯罪論上の諸問題を解決することができるようになってほしい。

なお、刑法入門段階でなお刑法学の理解に難儀している者は、事前に下記の拙著『刑法学への誘い』の第11章までを読めば目が覚めます。

講義の内容・授業スケジュール

構成要件論・違法論・責任論・未遂論・共犯論の順序で講義します。

履修上の留意点

刑法は、生命・自由・財産を剥奪する強力な制裁を有する法律ですから、厳密な理論構成が必要です。そのためには、緻密な論理の展開が必要です。その点が、私法と異なります。したがって、授業に欠席すると、論理の一貫性を習得することができず、結局、刑法を理解することができなくなりますので、欠席しないようにしてください。また、教科書や参考書を読むだけでは、「なぜか」ということが理解できません。「なぜ」有罪になるのか、「なぜ」無罪になるのか、その理由づけがなければ意味がありません。その点について全てを教科書や参考書に記述することは不可能です。黒板に書いて補充説明しますが、黒板に書いたことだけをノートに写しても意味はありません。講義中の先生の話をよく聞いて自分でノートをとる必要があります。そして、納得するまで教科書を何度も読んでください。また、六法全書は、語学における辞書と同じですから、授業には必需書です。判例解説書を参考にすることも必要です。

成績評価の方法

年度末の試験によって評価します。必要に応じて小テストをしてGPA評価に算入します。年度末試験は論文式です。1度しかありませんので、日々の予習・復習が大切です。論文式試験では、「なぜか」ということを採点者に納得させる論証が必要ですので、作文力を養ってください。

教科書

松村格著『日本刑法総論教科書』（八千代出版）3,500円
松村格著『刑法学への誘い』（八千代出版）

参考書等

指定図書・松村他著『刑法総論』（ミネルヴァ書房）3,800円
齊藤誠二編『演習ノート刑法総論』（法学書院）
参考文献・別冊ジュリスト『刑法判例百選Ⅰ・総論〔第五版〕』（有斐閣）2,105円
曾根/日高編『基本判例 5 刑法総論』（法学書院）

科目名

会社法

担当者名あらきまさたか
荒木正孝**講義のねらい**

この講義では、会社法（株式会社、持分会社〈合名会社、合資会社、合同会社〉）の重要な基礎的な事項について解説するが、とくに現代の経済活動において最も大きな役割を果たしている株式会社の法規制について一年の大半の時間を割くつもりである。

講義の内容・授業スケジュール

大企業から零細企業まで多くの企業が株式会社の形態をとり、株式会社が現代の経済を担い、多数の人々に商品やサービスを提供し、労働の場を提供するという社会的な機能を通して国民の生活に計り知れない影響を与えている。この講義では、株式会社の生成、機能、構造、消滅などに関する私法的側面を中心に規制する株式会社法に重点をおき、そこにおける基本的かつ重要な問題を取り上げて解説し、実務の対応なども検討し、会社法の基本的な考え方を理解してもらうことを目的とする。

平成17年6月29日に「会社法」が国会に置いて成立した。この会社法は、従来片仮名文語体で表記されていた商法第二編、有限会社法、株式会社の監査等に関する商法の特例に関する法律について平仮名口語体化してひとつの法典にまとめたものであり、かつ近年、毎年のように行われて来た法改正を全体的に調整し、社会情勢の変化に対応するために各種制度の見直しを行うものであった。今年、この新会社法について、株式会社の設立の概要、設立の手続き、発起人の意義、設立中の法律関係、設立の無効、設立の登記、設立関与者の責任などについて説明し、株式制度においては、株式の意義、株式の内容・種類、株式の流通、株主の権利、自己株式、株式の併合・分割・償却、単元株、利益供与の禁止などに触れ、会社の管理・運営については、機関の意義、株主総会、会社役員を選任・解任、取締役、取締役会、代表取締役、監査役・監査役会、委員会設置会社、役員損害賠償責任などについて解説する。

履修上の留意点

会社法は、民法を前提としているから、民法総則、物権法、債権法などの知識があると理解が容易である。ただ、これらの知識がなくても、講義の内容を理解するために必要な民法の規定や基本概念については、その都度説明するつもりであるから、民法＝財産法について十分な知識がなくても受講には差し支えない。

成績評価の方法

成績は、年度末に行なわれるペーパーテストの点数で評価します。

教科書

教科書は、授業の初めに指示します。

講義のねらい

債権法は、物権法と共に市民生活のうち財産関係を規律する法で、財貨の移動関係を定めた法です。この債権法は、民法の条文構成からみると、第三編「債権論」がそれに該当し、399条から724条までを対象としています。そして、講学上、債権編第一章総則の部分を「債権法総論」といい、そこでは、債権の目的、効力、多数当事者の債権関係、債権譲渡、債権の消滅などが規定されています（399条～520条）。また、債権法第二章以降の部分を「債権各論」といい、契約、事務管理、不当利得、不法行為などが規定されており、これらは、債権発生原因と解されています。債権総論は、民法典が、いわゆるパンデクテン方式により規定されているため、抽象度が高くわかりにくいといわれています。そこで、本講では、講義のなかで契約等の例示を多く登場させ、極力具体的な理論を説明するようにしたいと思っている。

講義の内容・
授業スケジュール

（前期（1）～（5） 後期（6）～（8））

- （1）民法の全体像
- （2）債権の意義及びその性質
- （3）債権の目的
- （4）債権の種類（a 特定債権 b 種類債権 c 金銭債権）
- （5）債権の効力（a 強制履行 b 債務不履行 c 第三者による債権侵害 d 責任財産の保全）
- （6）多数当事者の債権関係（a 連帯債務 b 保証債務）
- （7）債権関係の移転（a 債権譲渡 b 債務の引受）
- （8）債権の消滅（a 弁済 b 供託 c 相殺）

法
律

履修上の留意点

必ず続けて受講すること。六法持参すること。

成績評価の方法

期末試験により評価する。出席点を加味するか否かは今後検討したい。

教科書

『民法（4）債権総論』（有斐閣双書）を使用する。

参考書等

授業のなかで紹介する。

科目名

担当者名

物権法

つる 鶴 井 俊 吉
い しゅん きち

講義のねらい

物権法の分野について基本的な理解ができるように、できるだけ各制度についての具体的事例をあげて解説する。そして個々の制度や条文が、現実社会で起きるとどのような場合を想定して設けられたものであるかを理解できるように講義を進めたい。

講義の内容・授業スケジュール

物権法は、民法典の第二編「物権」のうち、第1章「総則」、第2章「占有権」、第3章「所有権」、第4章「地上権」、第5章「永小作権」、第6章「地役権」までを対象とする。第7章以降は、3年次以降の「担保物権法」の領域である。

講義スケジュールとしては、ほぼこの順序で解説するが、物権法において、重要であって複雑な問題がある。不動産売買をめぐるトラブルなどにみられるように、契約による物権変動において、物権の移転はいつ生ずるのか、また物権変動に関して、第三者が生じたとき、どのように解決されているか、理論的にもわかりづらい領域であるため、多くの時間を割くつもりである。

履修上の留意点

物権法は、解釈学上においても体系的理解が困難な分野であるといわれている。それは立法の沿革に基づいている。現行民法がドイツ民法を継受してできあがっているにもかかわらず、物権法の主要な部分については、フランス民法の影響を強く受けているからである。それゆえに講義に出席しないとなかなか興味が持てないし、理解しづらい分野であるので、毎時限の出席と予習を強く希望する。

なお、民法現代語化や不動産登記法の改正（平成16年）にともない、必ず平成18年度版の六法を持って講義に出席してください。

成績評価の方法

年度末に行なわれるペーパーテストの点数で評価する。

教科書

開講時に指示する。

参考書等

講義の最初に指示する。

法
律

科目名**担当者名****行政法
行政法総論**かね こ しょう へい
金子昇平**講義のねらい**

現代の行政法は、従来、対象とされていない新たな法分野が続出しているといえる。例えば、行政手続法の制定をはじめ、情報公開法、個人情報保護法、環境アセスメント法等を挙げる事が出来るが、これらの法領域に対応すべく行政法の理論を考えていかなければならない。そこで講義においては、行政法総論での、基本的な原理や原則に対する、よりアップ・ツー・デートな課題を積極的に揭示し、諸君とともに、問題発見と問題解決のための法的手法を考えてみたい。

**講義の内容・
授業スケジュール**

- 1) 行政と法の関係
(1) 法による行政の原理 (2) 行政法の意義と範囲 (3) 行政法の法形式
(4) 行政上の法律関係
- 2) 行政主体と私人
(1) 行政主体と行政客体 (2) 国の行政組織 (3) 地方公共団体の行政組織
(4) 行政機関・公務員 (5) 行政情報と法
- 3) 行政手段法
(1) 行政立法 (2) 自治法 (3) 行政計画 (4) 行政行為 (5) 行政契約
(6) 行政指導 (7) 行政調査 (8) 行政強制 (9) 行政罰
- 4) 行政手続の法

法
律**履修上の留意点**

行政法は、きわめて数多くの法律が登場してくるので、六法全書を必ず持参すること。

成績評価の方法

期末試験の成績により評価する。

教科書

原田尚彦『行政法要論』(学陽書房)

参考書等

塩野宏他編『行政判例百選I、II』(第四版)(有斐閣)

科目名

担当者名

刑法各論

やまぐちにお
山口邦夫

講義のねらい

この科目を履修する以前に、刑法総論の単位を取得済みであることを希望する。

講義の内容・
授業スケジュール

1年間を次の4期に分けて講義する。
 I期(4・5月)、II期(6・7月)、III期(9・10月)、IV期(11・12月)。
 I期 犯罪の分類について。犯罪の分類は何のためにするのか、何を基準にして分類するのか、などいろいろな犯罪についての一般論を検討する。犯罪の分類は、犯罪学や刑事政策にとっては有用であっても、解釈学にとっては直接の影響はないと思われる。それよりも、各犯罪類型を厳格に解釈することの方が重要であることを指摘する。
 II期 通説ともいえる3分類の意義についてふれたあと、いわゆる個人法益に対する罪について検討する。
 III期 いわゆる社会法益に対する罪について。
 IV期 いわゆる国家法益に対する罪について。
 なお、II期、III期、IV期と順次検討する予定であるが、場合によっては、II期の対象を中心に一年間が終り、II・III期の対象は、そのつど関連する個所で、加味してやることになるかもしれない。

法
律

履修上の留意点

履修者が30名以内であれば、年間を通じて出席をとりたい。出席カードをもとに、毎回数名の人のとの問答を中心としたコロキウム方式で授業を進めたい。

成績評価の方法

少人数の時は、平常点を重視して、期末試験を省略して単位を認定する。

教科書

特に教科書として指定しないが、刑法総論の知識が不十分な人のために参考書として、大塚仁著『刑法入門 第四版』(有斐閣)

科目名

担当者名

裁判法

いほたとしはる
五百田俊治

講義のねらい

裁判手続上の基本原則を講義しつつ、弁護士の視点から、裁判(特に民事裁判)の実体について説明します(例えば、証拠としての書証の重要性、判決と和解の違い、最高裁判所の意義等)

講義の内容・
授業スケジュール

(1) 民事手続の流れ (2) 請求・主張・立証の各段階における基本概念 (3) 口頭弁護の諸原則とその実態 (4) 口頭弁論における当事者の欠席 (5) 貸金返還請求訴訟における当事者の主張・立証 (6) 建物明渡訴訟の実体 (7) 弁論主義と職権探知主義 (8) 証拠の概念 (9) 書証の重要性 (10) 立証責任の分配 (11) 経験則と自由心証主義 (12) 上告審における審理の特色 (13) 刑事手続の流れ (14) 刑事手続における証拠法の特色 (15) 無罪事例の検討

履修上の留意点

できるだけ具体的に裁判の流れや特色を講義したいと考えています。

成績評価の方法

学年末試験の結果のみで判定します。

教科書

特にありません。適宜レジメを配布します。

参考書等

特にありません。適宜レジメを配布します。

その他

講義方式で行います。

科目名

担当者名

国際法

おうしあん
王 志 安

講義のねらい

国際法学の基礎知識を修得し、国際関係の現状を法的側面から理解する能力を養う。

講義の内容・ 授業スケジュール

国際法学の全体を様々な基礎的課題に細分し、毎回の講義においてできるだけ一つの課題を絞り、それぞれ基礎概念、理論体系、そして事例分析の形で解明する。前期においては、国際法の史的展開、国際法と国内法との関係、国際法の法的性質といった基礎知識から着手し、国家および国際機構にかかわる様々な法的問題を取り上げていきたい。たとえば、国家の分裂や統合に生じた国家の承認や承継の問題、違憲的な政府変更やクーデターに関する国際的対応の法的性格、国内裁判における未承認政府や国家の地位、そして国連を中心とした国際機構の法的地位や機能の形態などを分析する。

後期では、前期の基礎知識の修得を踏まえて、領域に関する管轄権、国際的人権保障、条約関係の理論および外交関係の法的仕組みを検証する。具体的には、国家領域の法的地位や取得に関する理論および実行、国際地域、国際海域および宇宙空間といった国際区域の法的地位、外国人の法的地位、人権保障に関する国際制度の展開、条約の締結、形式および効力に関する法規則、外交関係および領事関係における特権および免除などを取り上げる。

法
律

履修上の留意点

国際関係を法的側面からとらえる視点の養成を常に心構えとする。個々の概念、理論、事例を解明する戦術的な能力がまず重要視されるべきであるが、政治、外交、経済、文化といった様々な形態で展開される国際関係を法という枠内でとらえる戦略的な資質をのばすことも見失われてはならない。そのためには、教科書に取り上げられた学説を理解するだけでなく、講義に取り上げられた課題の視点、問題意思をしっかりと修得する必要もある。配布される参考資料や聴講ノートを参照しながら、教科書の理解を深めてもらいたい。

成績評価の方法

成績は年末の定期試験で決定する。ただし、前期小テストや講義出席の状況も成績を評価する際に考慮される。

教科書

王志安・飯田順三『国際法への誘い』（八千代出版）2006年

参考書等

大沼保昭編著『資料で読み解く国際法』第2版（上）（東信堂）2002年 2,800円
市販されている国際条約集

その他

授業はすべて講義方式で行い、適宜に参考資料を配付し、power point を利用した講義を行ないます。簡潔な聴講ノートは、下記のホームページから入手できる。

<http://www.komazawa-u.ac.jp/~anzhi/index.htm>

科目名

担当者名

有価証券法

なか はま よし あき
中 濱 義 章

講義のねらい

手形小切手法の基本的な原則・制度を理解し、諸問題を検討することを通じて有価証券法理の基礎を習得する。

講義の内容・
授業スケジュール

講義は以下の順に行い、各項目ごとに1～2回程度の授業時間を割り当てる。講義の内容は、制度の概要を解説し、具体例を通じて問題点の検討をおこなう。

- 1 手形・小切手の意義および性質
- 2 手形法・小切手法の意義および役割
- 3 手形行為の意義・特色
- 4 手形行為の成立時期
- 5 手形能力、手形行為と意思表示に関する一般原則
- 6 代理人・代表者による手形行為
- 7 無償代理と偽造
- 8 手形関係と手形の実質関係
- 9 手形の振出
- 10 白地手形
- 11 手形の裏書
- 12 為替手形の引受、手形保証
- 13 手形上の権利の取得と善意取得制度
- 14 手形上の権利と手形抗弁
- 15 手形上の権利の消滅
- 16 支払・不渡・遡及
- 17 小切手特有の法制度
- 18 振込・振替など新たな決済システムに関する諸問題

法
律

履修上の留意点

六法は小型のものでかまいませんので2006年版を携行して下さい。例えば、『ポケット六法』（有斐閣）、『コンパクト六法』（岩波書店）、『デイリー六法』（三省堂）など。民法（財産法関係科目）および商法科目を履修済み、あるいは履修中であることが望ましい。

成績評価の方法

期末試験での評価を予定していますが、レポートを課す場合もあります。

教科書

濱田惟道『手形法小切手法』（文眞堂）

参考書等

開講時に指示します。
『別冊ジュリスト 手形小切手判例百選（第6版）』（有斐閣）
山下友信＝神田秀樹編『商法判例集』（有斐閣）

科目名

担当者名

商法総則・商行為法

川口幸美

講義のねらい

民法は私人の一般的な法律関係を規律する法であるのに対して、商法は、営利を目的とする商人・会社の法律関係を規律する法と言える。また、商法は、商法総則、会社法、商取引の3つの分野から構成される。本講義では、商法総則と商行為法(商取引)を取り扱うものとする。具体的には商事売買取引の概要とその法律問題の検討を目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

- ①-⑥は商法総則、⑦-⑩は商取引法(一部消費者保護法を含む)であり、各テーマを2~3回に分けて講義を行う。
- ①商法総則(商法の意義)
 - ②商法の適用(商行為概念・商人概念)
 - ③営業譲渡(商号の保護)
 - ④商号
 - ⑤商業使用人(支配人・その他)
 - ⑥商業登記(9条1項と2項の法的効力)
 - ⑦商事売買取引(国際売買取引契約)
 - ⑧運送契約
 - ⑨仲立人・取次人・商事代理
 - ⑩その他(銀行取引・消費者取引・フランチャイズ)

法律

履修上の留意点

教科書と最新の六法(判例付きのものは除く)を必ず持参すること。また、商法は民法の特別法であり、体系的な理解を得るためにも、民法科目(特に民法総則と債権)を同時履修するか、履修済みであることが望ましい。

成績評価の方法

期末試験の成績をもって評価する。出席は原則として取らないので、出席点は考慮しない。

教科書

開講時に指示する。

参考書等

- 鴻常夫著「商法総則」(弘文堂)
- 江頭憲治郎著「商取引法(第三版)」(弘文堂)
- 別冊ジュリスト 商法総則・商行為法判例百選(第4版)

その他

(当然のことですが)授業中に私語・携帯の使用は厳しく注意します。場合によっては退室を命ずる。

科目名

担当者名

担保物権法

つるいしゅんきち
鶴井俊吉

講義のねらい

この講義では、民法典の第二編「物権」のうちで、留置権、先取特権、質権、抵当権を中心に、譲渡担保、仮登記担保等が対象となる。担保物権制度は、資本主義経済の発展に伴って、その重要性がますます増大している。今日、財産法領域で最も変化の多いところであり、取引界の要請により、新しい法令が制定され、年々歳々進展し、著しく変動している。

講義の内容・授業スケジュール

私たちが土地を買い、建物を建てる、あるいは自動車を買うという場合に、多くは金融機関から融資を受けることになるが、金融機関では何らかの担保を要求してくる。この場合に、抵当権や質権といった担保物権を金融機関に設定する。このように小は個人の資金調達のため、あるいは大は、企業の活動資金獲得のために担保は重要な役割を担っている。担保物権法のもつ経済的意義は極めて重要である。

しかし、学生にとって担保物権法は、民法の中で最も難解なところと感じられ、また比較的なじめない領域だと思われる。それは、多数の関係当事者が複雑に絡み合い、また解釈上でも技術的性格が強いことに原因がある。

そこで講義では、担保物権法の基礎的な考え方を理解できるように、できるだけ判例等の具体例をとりあげ、図解してわかりやすいように心掛ける予定でいる。

履修上の留意点

学期の初めには、担保物権法の主要な部分についての概略の説明を予定している。それによって担保制度の全体像がおおよそ把握できるであろう。それゆえ、最初から講義に出席しないと理解できなく、なかなか興味が持てなくなるので、毎時限の出席と予習を強く希望する。

なお、民法現代語化や不動産登記法が改正（平成16年）されたので、必ず平成18年度版の六法をもって講義に出席してください。

成績評価の方法

年度末の定期試験の結果と講義出席の状況を考慮して総合的に評価する。

教科書

ファンダメンタル法学講座『民法2 物件・担保物権』（不磨書房）を予定している。

参考書等

講義の最初に指示する。

法
律

講義のねらい

民法典第五編「相続法」は第4編「親族法」と深く関連していることから、前期に親族法を概説したうえで、後期で相続法の説明に入ります。親族法は、われわれにとって最も身近な家族生活を規制する法律であり、「家制度」の存在とその解体、高度・低度経済成長期やバブル前後の経済的变化、さらには少子化・超高齢化、女性の社会進出といったさまざまな社会の動向に影響を受けています。社会の変化に伴って生じてきた問題に対して、親族法がどのように対応しているかを、具体的な裁判例の紹介も交えながら、検討していきます。一方、後期に取り上げる相続法も、第二次大戦の敗戦後、戦前の家督相続が庶子均分共同相続へと変遷し、さらに近年、遺言制度の利用も増加するなど、著しく変化している分野です。本講義では、こうした変遷の内容とその背景の理解とともに、財産法の応用問題といわれるほど難解な相続法の理解を目指します。

講義の内容・
授業スケジュール

〔前期〕

- (1) 家族法と財産法の相違と家族法の特徴、欧米家族法との比較とわが国の家族法の特徴
 (2) 氏と戸籍、親族
 (3・4) 婚姻：婚約、婚姻成立の要件
 (5・6) 婚姻：婚姻の効果、夫婦財産制
 (7) 婚姻解消
 (8・9) 親子：実親子関係
 (10・11) 親子：養親子関係
 (12) 後見・保佐・補助、扶養

〔後期〕

- (1) わが国の相続法の変遷とその背景
 (2) 相続人
 (3～5) 相続の効力：相続財産の範囲
 (6) 相続の効力：相続分
 (7) 相続の効力：遺産の共有
 (8・9) 相続の効力：遺産分割、相続回復請求権
 (10) 相続の承認・放棄、財産分離、相続人の不存在
 (11・12) 遺言と遺留分

履修上の留意点

身近な問題を取り上げる分野とはいえ、難解なテクニカルタームが多用されています。講義を受ける際には、教科書の該当部分を読んだうえで、分からない文言を調べておくことが望まれます。

成績評価の方法

学年末の筆記試験の他、出席状況などの平常点も重視します。

教科書

有斐閣双書『民法（8）親族 [第4版増補補訂版]』（有斐閣）1,600円
 有斐閣双書『民法（9）相続 [第4版増補版]』（有斐閣）1,600円

参考書等

六法
 久貴忠彦・米倉明編『家族法判例百選 [第6版]』（有斐閣）2,200円
 『法律学小辞典』（有斐閣）4,500円

科目名

担当者名

保険・海商法

加瀬幸喜

講義のねらい

保険契約法および海商法の基礎的知識を修得することがこの講義の目的です。
 まず、保険法についてですが、私たちは、火災、自動車事故や病気といった様々な危険に囲まれて生活しております。これらの危険を予防・軽減することは可能ですが、それらをすべて除去することは不可能です。ここに保険制度が必要な理由があります。保険は、共通する危険をもつ者たちがあらかじめ掛け金を拠出し、その掛け金を損害を被った者の損害補填に充てる制度です。このように、保険制度は私たちにとって有用なものですが、他面、これは濫用されるおそれの高いものでもあります。少額の保険料で多額の保険金を取得することが可能だからです。近年、しばしば新聞などで報道されている保険金殺人事件がこれの代表的なものです。この講義では、保険制度のもつこれら2つの側面を法的視点から解明しようと考えております。

次に、海商法ですが、海商法は船舶を手段とする会場企業活動に関する法です。船舶というと、時代遅れの交通手段に思われますが、物品の運送については依然として主役の地位にあります。また、海商法は、歴史的にいうとその起源を中性の慣習法に求めることができます。そのため、この分野には独特の制度がみられます。この講義では、海上物品運送契約を中心に概説する予定です。

講義の内容・授業スケジュール

前期は、保険制度の仕組み、損害保険の法的仕組みを解説します。後期では、火災保険、自動車保険、生命保険を解説し、次いで海商法を概説します。

履修上の留意点

債権法の基礎知識を修得していることが望ましいです。

成績評価の方法

成績は、学年末試験の結果で判定します。試験は持ち込み不可で行います。出席は、7～8回とる予定です。これは成績評価の際に加点事由とします。

教科書

山野嘉朗・山田泰彦編『現代保険・海商法30講（第6版）』（中央経済社）4,000円（税別）

科目名

担当者名

民事訴訟法

間 瀧 清 史

講義のねらい

この講義では、民法など民事実体法についての一応の学習を終えた人を対象として、民事訴訟手続の概説を行います。ここに民事訴訟手続とは、私人間の権利義務ないし法律関係の存否を巡って生じた紛争の解決を目指し、そのための基準を提示する手続のことをいいます。判決手続のみならず、和解、調停および仲裁などの訴訟以外の民事紛争解決手続についても講ずる予定です。受講者に民事訴訟の全体像と民事理論の基本を体得してもらうのがこの講義の目標です。

講義の内容・授業スケジュール

(1) 民事紛争の解決制度、(2) 民事訴訟制度の現代的課題、(3) 訴え、(4) 裁判所、(5) 当事者、(6) 第三者による訴訟迫行、(7) 本案と訴訟要件、(8) 当事者と裁判所の役割、(9) 口頭弁論の諸原則、(10) 口頭弁論の準備、(11) 証明と証拠、(12) 証明責任、(13) 当事者の行為による訴訟の終了、(14) 終局判決とその効力、(15) 複数請求、(16) 共同訴訟、(17) 訴訟参加、(18) 当事者の変動、(19) 上訴・再審、(20) 簡略な手続

履修上の留意点

問答方式による双方向授業を行います。受講者は相当の覚悟をもち、かつ必ず予習のうえ出席して下さい。

成績評価の方法

日常の授業参加態度、学年末試験の結果及び受講者の提出物の内容等に依拠して行います。問題作成および成績評価にあたっては、講義に積極的に参加した人が有利になるよう配慮します。

教科書

小林秀之編『法学講義 民事訴訟法』（悠々社）2005年予定。
 小林秀之編『判例講義 民事訴訟法』（悠々社）2001年。

法 律

科目名

担当者名

刑事訴訟法

まつもと ひでとし
松本英俊

講義のねらい

我々は日々、事件の大小にかかわらず、多くの事件報道、犯罪報道に接している。社会的に重大な事件であればその報道も大量になされる。しかし、日常的に我々が接する、このような情報は概ね捜査段階という刑事司法手続のごく一部にすぎない。また、公判段階の問題については、その情報量はとりわけ少ないといえよう。

本講義では、まず刑事司法手続の全体像を確認・把握し、報道や捜査段階および公判段階等に見られる問題点を刑事司法の理念をふまえて検討することを目的とする。

講義では、憲法・刑事訴訟法の理念に基づいた解釈から、現状を批判的に検討し、実務上どのような問題があるのかを考え、あるべき司法の姿を展望する。

講義の内容・授業スケジュール

前期

- (1・2) 刑事手続の概観・基本原理 (3・4) 捜査の全体像・捜査の端緒
- (5・6) 任意捜査と強制捜査 (7・8) 証拠の収集 (9・10) 逮捕・勾留
- (11・12) 被疑者取調べ (13) 被疑者の防御

後期

- (14・15) 公訴・検察官制度 (16・17・18) 訴因を巡る諸問題 (19・20) 公判手続
- (21) 証拠の基本原則 (22) 排除法則 (23) 自白法則 (24・25) 伝聞法則
- (26) 上訴・再審

法
律

履修上の留意点

テキストおよび六法を持参すること。日ごろから問題意識を持ち、新聞・テレビ等の犯罪報道にも注意を向けてもらいたい。

成績評価の方法

原則として、定期試験により評価する。適宜、小テストやレポートを課し、その結果も参考とする。

教科書

参考書等を授業で紹介します。

参考書等

松尾浩也・井上正仁編『刑事訴訟法判例百選（第七版）』（有斐閣）2,100円

その他

授業は講義形式で行う

科目名

担当者名

労働法

ふじもと しばら
藤本 茂

講義のねらい

今日、労働法の対象である雇用社会は、リストラ、解雇や能力主義人事管理の導入などが行われ、日本型雇用システムの見直しがなされています。

労働法は、この雇用社会において生じる紛争を法的解決方法を検討する法領域です。この変化に無関係ではられません。

この変化は労働法の領域でも雇用関係法領域に大きく関わってきます。

講義では、雇用関係法領域を中心に、雇用社会の変化を頭の隅に置きつつ、これまで形成定着した労働法理の基礎を学びます。また、変化する法制度をまなびます。こうして、主に雇用関係法領域を概観し現代的課題に対して自ら考える視座を身につけてもらうことをねらいとしています。

法律

講義の内容・授業スケジュール

授業では、下記事項について、基礎的知識をまなぶとともに、現代的課題に触れます。以下に、アウトラインを示します。

- (1) 労働法の基礎的考え方
- (2) 日本的雇用システムの変容と労働法
- (3) 労働関係の主人公－労働者、使用者、労働組合
- (4) 労働条件の最低基準の法定－労働基準法の特徴
- (5) 雇用における男女平等
- (6) 労働条件の決定－労働契約、就業規則、労働協約
- (7) 労働条件の変更
- (8) 雇用の入り口－採用、採用内定、試用期間
- (9) 人事異動－配転、出向、転籍
- (10) 雇用の出口－解雇、定年、退職
- (11) 賃金、賞与、退職金
- (12) 労働時間、時間外労働
- (13) 休憩、休日、休暇
- (14) 労働災害など

履修上の留意点

毎時間出席。授業のマナーは守ること。

授業は、配布するレジュメと資料を使って行います。レジュメには取り上げる項目が挙げられているだけです。内容は授業で埋められていきます。ノートをとることが必要ですし予習復習は欠かせません。

また、憲法、民法総則、債権総論、債権各論、社会保障法、社会政策といった近接した専門科目や労働経済なども履修すること（あるいは履修済みであること）が望ましい。

成績評価の方法

学年末試験（論述式）がメインで、出席、レポートなどとともに総合的に評価して決めます。追試験は実施します。

教科書

教科書は、ベーシック労働法（浜村彰ほか著・有斐閣）、労働法（浅倉むつ子ほか著・有斐閣）が手ごろでしょう。物足りなさを感じる受講生は、労働法（菅野和夫著・弘文堂）がいいでしょう。教科書は予習復習をするうえで必要です。少なくとも1冊は用意してください。

参考書等

労働判例百選第7版（別冊ジュリスト）、六法は用意してください。六法は、法改正がありますから、最新のものを用意する必要があります。また、労基法施行規則の載っているものが便利です。第1回目の授業で紹介します。

その他

各項目についてイメージを描きやすいように、裁判例など具体的な例を掲げながら授業を進めます。

科目名**担当者名**

社会保障法

ほら だ けいいちろう
原 田 啓一郎**講義のねらい**

今日の社会保障制度が本格的に構築されたのは、第二次世界大戦後であったこともあり、社会保障法学が本格的な法学の一研究領域として認知されたのはごく最近である。

社会保障は、第一義的には国民の生活保障を目的とする制度であり、その重要性は私たちの日常生活において無視し得ないものになっている。本講義では、社会保障法の基礎と個別制度の特質・内容の理解を通して、社会保障の法的理解を深めることを目的とする。

**講義の内容・
授業スケジュール**

- I 社会保障とその特質
- II 社会保障法の理論と課題
- III 年金制度——国民年金、厚生年金、企業年金
- IV 社会手当制度
- V 医療保障制度——国民健康保険、健康保険
- VI 労災保険制度
- VII 雇用保険制度
- VIII 社会福祉制度
- IX 公的扶助制度

法
律**履修上の留意点**

社会保障の法政策論などは、同担当者による「社会政策」で詳細に取り扱う。

成績評価の方法

原則、筆記試験の結果によって成績判定を行う。出席はとらない。ただし、出席せずして単位を取得できるほどやさしい評価ではないことに留意されたい。

教科書

教科書は講義開講時に指定する。
六法は、『社会保障法令便覧』（労働調査会）を必ず携帯すること。

参考書等

適宜紹介する。

その他

履修にあたっては、憲法、行政法、民法、労働法、社会政策、法哲学などの科目を既修若しくは本科目と平行履修していることが望ましい。

科目名

担当者名

行政救済法
行政法各論

かねこしょうへい
金子昇平

講義のねらい

現代の行政法は、従来、対象とされていない、新たな法分野が続出している。例えば、行政手続法、情報公開法等の制定をはじめ、各行政分野ごとの基本法が整備されようとしている。また現実の行政需要も変化、発達し、その適正化が求められている。

講義は、行政紛争解決の手法として、行政救済法を、主な内容として行う。そこで具体的に、どのような国家賠償事件、行政事件が存在し、何が法律上の問題となっているのか、また、どのように法的解釈を、すべきかについて説明していきたい。

講義の内容・
授業スケジュール

行政法の基本的な原理や原則に対する、再学習をし、総論と各論とのリンケージを確認しながら講義を行う。

- (1) 国家補償（国家賠償法、損失補償）
- (2) 行政上の苦情処理
- (3) 行政上の不服申立（行政不服審査法）
- (4) 行政訴訟（行政事件訴訟法）

履修上の留意点

行政法は、きわめて数多くの法律が登場してくるので、六法全書を必ず持参すること。

成績評価の方法

期末試験の成績により評価する。

教科書

原田尚彦『行政法要論』（学陽書房）

その他

塩野宏他編『行政判例百選Ⅰ・Ⅱ』第四版（有斐閣）

法
律

科 目 名**担 当 者 名****国際紛争解決法**おう し あん
王 志 安**講義のねらい**

国際法における紛争処理の様々な手段について、それぞれの形態、機能、限界および適用可能性を把握し、国際紛争解決の法的仕組みを理解する。

**講義の内容・
授業スケジュール**

国際紛争の処理を具体的な法制度、手続きの側面から取り上げ、一回の講義で一つの課題を絞り、それぞれ制度の展開、機能および事例検証の形で解明する。前期では、国際紛争の基本構造、紛争解決手段の基本的枠組みを講義した上で、外交的手段による紛争解決、国連における紛争解決および世界貿易機構（WTO）の紛争処理制度を取り上げる。具体的には、国際義務違反の責任形態、紛争の平和的解決の意義、交渉、仲介、国際調査および調停といった制度の展開および適用、国連における紛争処理の制度的展開および現状、そして WTO の紛争処理制度の発展、手続きおよび制度の意義を講義する。後期では、仲裁裁判および国際司法裁判を取り上げる。具体的には、国際裁判の史的展開、仲裁裁判制度の確立およびその手続き、国際商業仲裁の現状、国際司法裁判所の組織、管轄権、適用法規則、手続規則などを講義する。

履修上の留意点

参考資料を適宜に配布し、教科書の内容を補足しながら講義を進めていく。聴講ノートをしっかり取ってもらいたい。

power point で講義を進める。簡潔な聴講ノートは、下記のホームページから入手できる。
<http://www.komazawa-u.ac.jp/~anzhi/index.htm>

成績評価の方法

学年末の筆記試験によって評価する。ただし、前期小テストや出席状況も成績を評価する際に考慮される。

教 科 書

大沼保昭編著『資料で読み解く国際法』第2版（下）（東信堂）2002年 2,000円

参 考 書 等

市販されている国際条約集および国際判例集。これらにつき開講時に詳しい情報を提供する。

そ の 他

授業は Power Point を使って講義方式で行うが、判例の分析につき学生のまとめ報告を求めるところもある。

法
律

科目名

担当者名

国際私法

佐々木 彩

講義のねらい

法律関係の構成要素に外国に関連する要素が一つでも含まれる場合を、一般に渉外的法律関係と呼ぶ。そして、渉外的法律関係に適用すべき法律を指定する規定を定めているのが国際私法である。国際私法は、渉外的法律関係によって生じる紛争を円滑に解決に導く手段のみならず、予めどの国の法律を適用することとなるのか等の予測可能性を高めてくれることにも役立つ。わが国では「法例」という法律を中心に国際私法が形成されている。国際私法は、民法や商法のような実質法のように私法問題の判断基準となる法律とは規律する領域を異にしており、異なる次元に位置づけられるものとして、上位規範等と呼ばれることがある。このような他の分野と異なる国際私法的センスを習得できるように講義を進めたいと考えている。国際私法は時として難解な科目であると捉えられがちであるが、国際結婚・離婚、国際養子縁組、国際契約等に関する身近な問題を具体例として取り上げ、できる限り分かり易いものとなるように工夫を試みたい。

法律

講義の内容・授業スケジュール

前期：国際私法総論（4～6月）、国際家族法（6～7月）
後期：国際家族法（9～11月）、国際財産法（11～12月）

履修上の留意点

基礎となる他の科目（特に家族法）について基礎知識を有することが望ましい。

成績評価の方法

学年末の筆記試験による。

教科書

笠原俊宏著『国際家族法要説（新訂補正版）』（高文堂出版社）

参考書等

いずれかの六法を常に携帯すること。

その他

授業は講義によって進行するが、時折、事例を設定して、皆で一緒に考えることも予定している。

科目名

担当者名

新入生演習

金子昇平・王志安
 おおみや たかし かわぐち しあん
 大宮 隆・川口幸美
 きたの たけなか ゆきみ
 北野かほる・竹中智香
 つるい しんきち なかはま ちか
 鶴井俊吉・中濱義章
 ふじもと しげる なかはま よしあき
 藤本 茂・松村 格

講義のねらい

この科目は、法学部に入学してはじめて法律学を学ぶ法律学科の新入生が、これから法律学を学んでいく上で必要な基礎的な勉学の方法を身につけていくために設けるものです。選択科目ですが、できる限り多くの学生が積極的に履修し、4年間の法律学の学修を効果的に行うための基本を修得することを期待します。

授業は、一週おきに、教室と研究室での指導による学習を組み合わせた形態で行います。教室で教わったり体験したりしたさまざまな知識や学習方法を、次の週に研究室で先生と相談したり、指導に従って自習したりしながら、発展させて、自分なりに最も適切な勉学方法を探し当て、開発していきたくて欲しいと願っています。

法
律

講義の内容・授業スケジュール

学習の順番や指導の方法はそれぞれの先生が工夫して、学生のみなさんの習熟度を見ながら組み立てていきますが、共通して学ぶ項目は以下の通りです。数字の順番の通りにすべて学習していくというよりも、いろいろな項目を組み合わせ、全体としてこれらの基本的なスキルが身についていくものとして、考えられています。

1. 基本的な学習施設
 - ・図書館や情報センターの利用方法と文献の探し方・調べ方
 - ・教室での講義の受け方とノートのとり方
2. 基本的な書籍の利用方法
 - ・六法全書の読み方と使い方
 - ・法学用語集や辞書の活用方法
 - ・法律学的な文章の読み方とまとめ方
3. 発展的な書籍の活用
 - ・法学文献以外の書籍から法についての感覚を学ぶ
 - ・注のある文献の読み方と注の使い方
4. 法学学習に必要な文の書き方と書くための作業
 - ・レジュメ・レポート・答案のまとめ方と書き方
 - ・ゼミなどでの発表のし方
5. 将来設計と学修
 - ・卒業後の進路をどう考え、法律学科での学修をどう生かすか

履修上の留意点

一週おきの教室での一斉授業への出席は当然ですが、研究室での指導に課題を課されたり面接があったりする場合には、担当の先生の指示に従って学習してください。

成績評価の方法

出席点および課題提出評価点を総合して成績評価します。

教科書

指定教科書はありません。

参考書等

参考書、課題図書は、各クラス担当の先生がその都度指示します。

科目名	担当者名
比較憲法	にし西 <small>にしにし</small> 西 <small>にしにし</small>

講義のねらい

比較憲法は、世界の憲法動向を知り、日本国憲法を広い視野から眺めるという点で非常に大きな効用をもっている。本講義は、主要諸国のみならず、アジアや発展途上国の憲法をも対象にして、立体的に組み立てる。

講義の内容・
授業スケジュール

おおむね以下の内容になる。(1) 比較憲法とは(研究の意義、比較の対象、方法、限界など)(2) 欧米主要諸国の憲法(アメリカ、イギリス、フランス、ドイツ、イタリアなど)の概要、(3) アジアおよび発展途上国の憲法(中国、韓国、北朝鮮、タイ、カンボジアなど)の概要、(4) 項目別の比較(平和主義、家族条項など)。

履修上の留意点

- (1) 開講時にシラバスを配付するようにする
- (2) 日本国憲法との関連で問題意識をもつこと
- (3) 私語は絶対に慎むこと
- (4) 途中からの入退室はしないこと。

成績評価の方法

原則として試験結果にもとづき評価する。

教科書

年度内に作成の予定だが、コピーなどを配付する。

参考書等

- (1) 西修著『ここがヘンだよ！日本国憲法』(アスキー)2001年。とくにPART3「世界の憲法はこうなっている！」
- (2) 西修著『憲法体系の類型的研究』(成文堂)1997年

その他

授業中に試験をする可能性があるので、注意すること。

法
律

科 目 名**担 当 者 名**

法社会学

わかざき おぼも
岡 寄 修**講義のねらい**

法社会学は、自然科学の領域で成功を取めた近代科学の手法を基礎に、19世紀には心理学社会学などの個別科学が次々と成立する中で、解釈法学とは異なる新たな法律学を目指して誕生した学問である。講義では、学問の変遷や知識の歴史を振り返り、法社会学誕生に到る経緯を辿る。次いで、今日の学問の主流を成す科学的思考と、今日の社会のモデルを成す市民社会との間には、知識と社会における個人主義とデモクラシーを成し遂げた点で重要な関連性があることを論じ、この観点から今日の日本の分析も試みる。後期に法解釈論を採り上げる場面では、20世紀初めのアメリカにおいて、市場経済と契約自由の堅持を求める自由放任経済陣営と、それを修正しより平等な社会の実現を求めた革新主義陣営との価値の対立を視野に入れ、法解釈とは何かを論じる。

**講義の内容・
授業スケジュール**

前期：知識の歴史とその展開。法解釈学の伝統手法。科学と市民社会に共通する個人主義とデモクラシー。エールリッヒの唱えた新たな法学。日本の社会分析。
後期：20世紀初めアメリカ産業社会の到来。市場経済論とその修正要求。双方の価値の対立を背景とした法解釈論争。ホームズ、バウンド、デューイのプラグマティズム法学。それを受け継いだリアリズム法学。

法
律**履修上の留意点**

法解釈学への関心の他に、知識論や歴史、日本社会の構造などにまで、多くの方面に幅広い関心を持ってほしい。

成績評価の方法

夏休み中の課題とするレポートと、学年末の論述試験とを合計し、成績を決める。

教 科 書

講義内容を一冊でカバーできる書物はないので、教科書は指定しない。その代わりに、講義の際には、数多くの文献引用をしたプリントを配布し、それを用いて講義を進める。

参 考 書 等

参考書としては、講義中にも紹介するが、ここでは碧海純一『法と社会：新しい法学入門』（中公新書）No. 125 1967年を挙げておく。

科目名

担当者名

日本法制史

しげの たかはる
茂野隆晴

講義のねらい

基礎法学の一つとしての法制史は、文字通り、法学教育における史学である。私の担当する「日本法制史」は日本国民の法生活の歴史的考察を行うものである。年間の通史の授業は時代区分に基づいて行うのがふつうである。近年では、近現代史のもつ重要性も強調されるようになってきているので、講義ではそうしたことに配慮しつつも、本年は国初から近世までの4期の法制の特色を主に講述し、最後に「家」制度を行いたい。

年間の講義を受講することによって、日本の法文化への愛着が深まったといわれるようになっていけばと思う。

講義の内容・授業スケジュール

序 日本法制史を学ぶにあたって

- I 日本法制史とは
- II 基礎法学のなかの法制史
- III 日本法制史の時代区分
- IV 日本法制史教育の沿革

第1章 上古（氏族法時代）

- (1) 総説 (2) 氏族制度 (3) 法の始源 (4) 法の分化

第2章 中古（律令法時代）

- (1) 総説 (2) 律令法

第3章 中世（武家法時代前期）

- (1) 法の系統 (2) 分国法〔国法〕 (3) 起請文

第4章 近世（武家法時代後期）

- (1) 織豊二氏の法令 (2) 徳川幕府の法令

終りに 「家」制度と現代の法意識

法
律

履修上の留意点

史資料に則して行う授業ですのでテキストは必ず揃えて欲しい。また、授業中の私語は当然ながら厳禁ゆえ、守れない者があれば直接にも指摘することになろう。

成績評価の方法

年間1度の定期試験と出席点によって評価する。

教科書

大久保治男・茂野隆晴共編著『日本法制史史料60選』（芦書房）2,300円

参考書等

大久保治男・茂野隆晴共著『日本法制史』（高文堂出版社）3,000円。このほかにも、場合によりプリントを配布します。

講義のねらい

イギリスの法制度の歴史を、社会の法的構造と国家統治機構のかかわりを軸に解説する。特に注目される法的現象を挙げながら、各時代毎の法制度の全般的特徴と、基本的社会・政治構造との関連について考察する。

講義の内容・
授業スケジュール

- 第1部 総論
 - 第1章 法制史学概説
 - 第1節 法制史学の方法と対象
 - 第2節 法制史学の目的と効用
 - 第3節 イングランド法制史学の対象と方法
 - 第2章 イギリス歴史学の基本的知識
 - 第1節 時間的範囲
 - 第2節 空間的範囲
- 第2部 イングランド法制史
 - 第1章 古代
 - 第1節 歴史過程
 - 第2節 社会構造
 - 第3節 法構造
 - 第2章 中世 (1066-1350)
 - 第1節 歴史過程
 - 第2節 社会構造 封建制
 - 第3節 統治構造 封建制の解体
 - 第4節 法構造
 - 第3章 近世 (1350-1650)
 - 第1節 歴史過程
 - 第2節 社会構造
 - 第3節 統治構造
 - 第4節 法構造

履修上の留意点

講義中の私語・騒音は厳しく規制する。予め十分留意すること。

成績評価の方法

論文式筆記試験（後期試験期間・年1回）

教 科 書

特に指定しない。

参 考 書 等

年度当初に指示する。

そ の 他

一冊で間に合うような参考書はないため、試験準備に最も有効なものは講義の際に筆記した各自のノートである。今年度から講義内容を少し変更するため、過去の講義ノートはあまり役に立たない。敢えて出席はとらないが、出席してノートをとらないと事実上試験準備ができなくなるので十分注意すること。

講義のねらい

I 自己紹介

私は、いままでイギリスの政治的多元主義・新自由主義、ならびにフランスの社会連帯主義を研究してきました。現在は、日本における多元的国家論の受容過程に関して勉強をしています。このような私の研究経歴からして、講義内容は少しばかり哲学的、観念的なものになるかもしれません。政治学のみならずひろく隣接領域にもふれながら一年間の授業をしてみたいと思います。

私の研究室は、第二研究館八階（2835）にあります。研究上支障が生じたときや質問があるときには訪問してください。なお、研究室の電話番号は、3418-9377（直）です。

II 講義の目的

政治学原論はカリキュラム上、基礎的部門に属しています。政治学原論は政治学の総論であるとともに、基礎理論としての意味合いをもつものです。講義の目的の第一は、現代政治学の体系的な理解を深めることにあります。目的の第二は、政治現象の理論的説明と解明ができるように基礎的原理的知識を修得することです。目的の第三は、近い将来履修するであろう他の専門学科目を研究する上で必要な知識を提供することです。

講義の内容・
授業スケジュール

III 講義のすすめかた

現代政治学のアウト・ラインを理解してもらうために、一回一テーマ主義でかなり広範囲な問題にふれていきます。それだけに、授業のペースは少しばかりはやくなります。講義はテキストに準拠しつつすすめます。学生諸君は授業に出席することはもちろんのこと、予習・復習・自主研究などの研鑽をつんでください。教員と学生、それぞれの努力によって学習効果をあげていきたいと考えています。

IV 講義の内容

おおよそ、以下の諸問題を取り上げる予定です。

A 政治学の課題と対象、ならびに方法

B 政治の原理的究明

(1) 政治的なるもの

～政治的空間、政治権力、正当性、権威、政治倫理、抵抗と不服従

(2) 共同体的なるもの

～国家、社会、主権、法

(3) イデオロギー的なるもの

～イデオロギー、正義、自由、平等、人権（シティズンシップ）

C 政治の実体論的究明

(1) 制度論的究明

～権力分立、議会、選挙、地方自治、官僚制

(2) 機能論的究明

～政党、圧力団体、市民参加、マスコミ、政治教育、政治的社会化

成績評価の方法

V 成績評価

単位の認定は、ペーパー試験を中心におこないます。

成績評価は

中間試験：50%

学年末試験：50%

以上の割合によるものとします。

なお、追試験も実施します。

教科書

大塚桂『政治学原論序説』（勁草書房）3,296円

大塚桂『政治哲学入門』（法律文化社）2,900円

参考書等

上記教科書の巻末にある参考文献を参照のこと。

その他

学習にあたっては、大塚編「補章オリエンテーション政治学」『政治学へのいざない』（成文堂）、大塚編『日本の政治学』（法律文化社）等を参考にしてください。

科目名**担当者名**

政治史

村井良太

講義のねらい

政治は広く私達の生活に関係しており、また私達は主に選挙を通じて政治を形作っていく立場にもあります。したがって政治を知ることが社会人の大事なたしなみといえます。本講義は、法律学科の1・2年生を対象としていますので、社会人の素養としての活きた政治史を心がけ、政治史上の基本的な知識を修めるとともに、歴史的な分析を通じて現在への政治的理解を深めることを目的としています。

本年度の「政治史」では、現代日本に息づいている民主主義の政治的伝統を、1920年代から1960年代の政治的経験に求めます。

**講義の内容・
授業スケジュール**

講義内容は、以下を予定しています。スケジュールなど詳細は開講後にお知らせします。

前期：(1) 第一次世界大戦 (2) 原内閣と憲政会 (3) 原以後の試行錯誤 (4) 1924年憲政危機と西園寺 (5) 憲政会の体制内化 (6) 政党内閣制の成立

後期：(7) 戦争への道 (8) 日米開戦と占領政策の立案 (9) 終戦 (10) 占領と改革 (11) 自立に向かって (12) 通商国家日本

履修上の留意点

履修する学生には、出席と積極的な授業参加を求めます。

成績評価の方法

成績は、随時おこなう出席調査と中間レポート、学年末試験によって評価します。

教科書

村井良太『政党内閣制の成立』(有斐閣) 6,000円+税。五百頭旗真『日米戦争と戦後日本』(講談社学術文庫) 1,000円+税。教科書の利用については、必ず初回の授業で説明を受けてください。

参考書等

参考図書は講義のなかで随時紹介していきます。

法
律

科目名

担当者名

経済原論

すずきのぶえ
鈴木伸枝

講義のねらい

現実の経済の動きを念頭におきながら、現代経済学の基礎理論を解説します。また、公務員試験（その他の国家試験等）の受験対策にもなるよう問題演習を行います。

講義の内容・
授業スケジュール

- マクロ経済学
1. 国民経済計算
 2. 国民所得の決定
 3. 資産市場と貨幣
 4. IS-LM分析
 5. 消費と投資の理論
 6. 失業とインフレーション
 7. マクロ経済学論争
 8. 経済成長理論
 9. 国際金融・国際マクロ経済学

- ミクロ経済学
1. 消費者理論
 2. 生産者理論
 3. 部分均衡分析
 4. 一般均衡分析
 5. 不完全競争市場
 6. 市場の失敗
 7. ゲーム理論

マクロ（途中まで）→ミクロ→マクロ（続き）の順でやります。

成績評価の方法

定期試験およびレポート。

教科書

- W セミナー『公務員試験地方上級・国家2種バイブル5 経済原論1 ミクロ』早稲田経営出版
W セミナー『公務員試験地方上級・国家2種バイブル6 経済原論2 マクロ』早稲田経営出版

法
律

科目名

行政学

担当者名

田丸大

講義のねらい

行政学は政治学の中でも比較的新しい分野であるが、私たちの日常生活とも非常に関係の深い学問でもある。例えば、国レベルでは狂牛病騒動に見られる農林水産省の対応や、薬害エイズ・肝炎などに見られる旧厚生省の対応、自治体(地方)レベルでは、市町村合併であるとか、原発の是非をめぐる住民投票など、世の中の様々な現象に何らかの形で行政は関わっている。これらの行政現象に流れる行政活動の論理を探ることが、行政学の大きなテーマの1つである。

本講義では、国の省庁や地方の自治体がどのようなメカニズムに基づき活動をしているのか、政策立案や執行さらには評価の過程などにも触れつつ検討することによって、複雑な現代社会の問題点や改革のあり方を正しく理解し、問題の本質を見抜くための基本的知識や思考様式を伝えたいと考えている。

講義の内容・授業スケジュール

講義内容は、例えば以下を考えている(スケジュールなど詳細は開講後に知らせる)。

1 官僚制、2 議院内閣制、3 行政改革、4 公務員制度、5 政策過程、6 行政組織における意思決定、7 政策評価、8 地方分権改革 など。可能であれば、行政改革や地方分権を扱う回の講義においては、最近のニュース番組のビデオを用いて、現実の世の中の動きにも目を配りたい。

履修上の留意点

出席は取らない。レポートは課さない。しかし、年間2回を予定しているテストは全範囲から満遍なく出題するので、出席していない者が単位を獲得するのは著しく困難である。

成績評価の方法

学期末のテストおよび学年末のテスト(70点+30点の予定。ともに持ち込み不可)で評価する。テストを欠席した場合でも、レポート等の提出は一切認めない。

教科書

森田朗『改訂版 現代の行政』(放送大学教育振興会)2000年 本体2,000円
教科書にアンダーラインを引く、書き込みを行うといった具合に使用するので、必ず用意してほしい。

参考書等

早川・大山・内海・田丸『政策過程論』(学陽書房)2,600円

法
律

科目名	担当者名
法律時事英語	まきのかずお 牧野和夫

講義のねらい

国際取引やビジネスの場で実際に使用されている法律英語のキーワードを分かり易く解説することにより「法律英語」の実際を学習することをねらいとしています。社会に出てからも直ちに役立つように、実践的、実務的な内容で、具体例を挙げつつ講義を進めます。

講義の内容・授業スケジュール

- 下記の順序で進める予定です。
- (1) 英米法の考え方
 - (2) 英文契約の基礎
 - (3) 国際ビジネスにおける法律英語キーワード
 - (4) インターネット上の取引におけるキーワード

法
律

履修上の留意点

講義を中心に進めますので、出来る限り講義へ出席することを要望します。

成績評価の方法

学年末筆記試験1回(論文式。但し、教科書・ノート持込み可とする)

教科書

牧野和夫著『法律英語入門』(プロスパー企画)2,800円+税

参考書等

河村實治他著『国際法務グローバル・スタンダード17ヶ条』(プロスパー企画)4,300円(税別)

科目名	担当者名
刑事政策	かくしょうとよかず 覚正豊和

講義のねらい

犯罪とは何か、刑罰とは何か、非収容者の処遇の実態、犯罪者をどのように再社会化させるかなどについて単なる犯罪対策にとどまるのではなく、その社会的・文化的要因や身体的要因、犯罪学仮説、警察機構、刑事司法対策等の諸問題にわたり比較犯罪学的展開を踏まえた上で理解させていきたい。そして、犯罪学における基本理念をわが国の理論的現状をも対比しつつ、国際的動向との関係から正しく捉え犯罪を防衛するための合理的、合目的な手段・方法を探求していくことを目的とする。今日、とうとうと流れる国際社会において、犯罪者という社会のもっとも片隅においやられた人権の在り方を考えるということは、ますます重要な問題になってくるはずである。講義を通じてそれを概観していきたい。

講義の内容・授業スケジュール

- 回数 授業の内容
- 第1回 受講のガイダンス
刑事政策の意義と課題
刑事政策、犯罪学と規範学の相違について学ぶ。
 - 第2回 犯罪学の歴史と展開
その起源から近代学説までを学ぶ。
 - 第3回 現代犯罪学の課題
ラベリング理論、非犯罪化、非刑罰化、社会的統制理論などについて学ぶ。
 - 第4回 犯罪の理念
犯罪とはなにか。日常わたしたちが用いるよりも広義なものであることを学ぶ。
 - 第5回 刑事政策と暗数
犯罪統計と暗数の意味、被害調査、事故報告調査などについて学ぶ。
 - 第6回 犯罪の原因(1)
身体的・生理的要因について学ぶ。
 - 第7回 犯罪の原因(2)
個人環境的要因について学ぶ。
 - 第8回 犯罪の原因(3)
社会環境的要因について学ぶ。
 - 第9回 刑罰の意義・機能・沿革
意義機能はもちろん一般予防、特別予防、抑制主義、処罰の種類などについて学ぶ。
 - 第10回 死刑

- 憲法と死刑、存廃論、代替刑について学ぶ。
- 第11回 自由刑
意義、歴史的考察、短期自由刑、不定期刑などについて学ぶ。
- 第12回 財産刑
罰金の意義、特質、罰金と科料などについて学ぶ。
- 第13回 保安処分
意義、種類、要件などについて学ぶ。
- 第14回 少年保護手続
家庭裁判所と少年審判、少年法改正問題について学ぶ。
- 第15回 定期試験（予定）
- 第16回 犯罪者の処遇
意義、原則、動向について学ぶ。
- 第17回 犯罪者の刑事司法政策（1） 警察
微罪処分、ダイヴァージョンなどについて学ぶ。
- 第18回 犯罪者の刑事司法政策（2） 検察
起訴猶予などについて学ぶ。
- 第19回 犯罪者の刑事司法政策（3） 裁判
量刑基準、宣告猶予、執行猶予、判決前調査などについて学ぶ。
- 第20回 矯正の意義・目的
矯正処遇の意義、目的、観念、矯正処遇の原則などについて学ぶ。
- 第21回 受刑者の処遇
法的地位、処遇原則、分類処遇、死刑確定者の処遇などについて学ぶ。
- 第22回 犯罪の予防
意義、予防、予防活動、予測、問題点などについて学ぶ。
- 第23回 更生保護
意義、措置、概況などについて学ぶ。
- 第24回 恩赦・資格制度
恩赦の種類、効力、存在理由などについて学ぶ。
- 第25回 被害者補償
意義、歴史、必要性、法的性質などについて学ぶ。
- 第26回 各犯罪と対策
少年非行、女性犯罪などについて学ぶ。
- 第27回 各種犯罪と対策
組織犯罪、ホワイトカラー犯罪などについて学ぶ。
- 第28回 各種犯罪と対策
薬物、アルコール犯罪などについて学ぶ。
- 第29回 まとめ
討論及び質疑
- 第30回 定期試験

履修上の留意点

初回の授業において指示する。

成績評価の方法

定期試験および平常点

教科書

斉藤静敬著『刑事政策』（創成社）

参考書等

授業において指示する。

講義のねらい

法に関する概念や用語が生まれてきた歴史的、哲学的背景や世界観に遡って検討するのが法思想史の役割である。これには二つの側面がある。一つは、中核的な概念の由来や変遷を知ることにより現代法を形成する要素の理解を深めることである。しかし同時に、様々な思考様式に触れることによって近代的思考を相対化し、実はそれが或る特殊な様式なのだということを実感する、ということも重要である。

なお題材はヨーロッパの法思想史にはほぼ限定される（東洋および日本固有の法思想を扱うことはできない）。講義の理解のためには、最低限の世界史的知識が必要だが、講義時間内においてはそこに時間をさくことではないので、そうした点について不安のある受講者は自学自習して講義に臨んでもらわねばならない。また20世紀以降の法理論史については本講義ではとりあげず、むしろ法哲学講義の方で扱うことになるのでそちらを参照されたい。

法
律

講義の内容・
授業スケジュール

以下に掲げる時系列に沿った講義を柱とし、その過程でいくつかの重要な法概念については、時代横断的な考察をも交えていく。

- [1] 法思想史講義の意義・注意事項等の説明、ヨーロッパ法思想の底流をなす問題視角についての概説。
- [2] プラトンの法思想：『国家』を中心に検討する。
- [3] アリストテレスの法思想：まずアリストテレス哲学の基礎理論を形相質料論を中心に紹介する。その後、『ニコマコス倫理学』『政治学』等を題材として、正義論、政治体制論を中心に検討する。
- [4] ローマ法の思想的意義：現代に至るまでヨーロッパの法律学・法思想を規定してきたローマ法上の諸概念、思考方法について概説的な紹介を行なう。
- [5] キリスト教の法思想への影響と、人格概念について、概念史的に考察する。
- [6] 中世自然法論：トマス・アクィナスの思想を中心に、古典的自然法論への理解を深める。また後半では、唯名論思想と近代的世像への転換についても言及する。
- [7] 社会契約説総論とホッブズの法思想：『リヴァイアサン』を中心にホッブズの議論を紹介し、またその現代的意義について考察する
- [8] ロックの法思想：『統治論』を中心に、ホッブズとの比較を念頭に置きつつ考察を行なう。
- [9] ロックの所有権論に関連させつつ、同時に所有権論史全般について考察する。
- [10] ルソンの法思想：題材としては『社会契約論』『不平等起源論』が中心になる。
- [11] カントの哲学と法思想：法理論におけるカント思想の重要性を論じ、さらに現代のカント主義的理論の展開をとりあげる。
- [12] 19世紀の歴史法学、概念法学および概念法学批判について概観する
- [13] 法実証主義の様々な潮流について概観する

履修上の留意点

とりあげる著作の原文抜粋を中心とした資料をあらかじめ配布し、これに基づいて説明を加える形式で講義を進める。受講者は少なくとも資料の該当箇所を事前に読んだ上で講義に臨むことが要求される。

成績評価の方法

年度末の定期試験によって評価する。それ以外に課題レポート等を設定する可能性もあるが、その場合は自由提出課題とし加算点にのみ用いる（定期試験のみを受験するのでもかまわないということ）。

教科書

教科書としては特定の書籍を指定しないが、講義の理解を深めるため、法思想史全般の概観ができる図書を手元に置き、予・復習に役立てることを推奨する。次項の参考図書参照。

参考書等

法思想史に関する概説書の例として
 ・三島淑臣『新版・法思想史』（青林書院）4,854円：講義内容をさらに深く掘り下げて勉強したい場合に有益であろう。
 ・田中成明他編『法思想史』（有斐閣 S シリーズ）1,800円：法思想史の流れを大まかにつかみ整理するのに役立つだろう。
 講義開始時に、上記の他にもいくつかの概説的な入門書について、それぞれの特徴などを紹介するが、書店・図書館などで手に取ってみて自分にあったものを選ぶと良いと思う。また講義でとり上げる思想家の著作原著については、そのつど指示する。

科目名**担当者名****債権各論**あおのひろゆき
青野博之**講義のねらい**

債権各論とは、民法典のうち、第3編「債権」の第2章「契約」、第3章「事務管理」、第4章「不当利得」および第5章「不法行為」をいう。

たとえば、Aが自己所有の土地をBに売却する契約をBとの間で締結した場合には、Aは、Bに対して代金を払うように請求することができる。つまり、代金債権が発生する。また、Cの家にDの運転する車がぶつかって、家が壊れた場合には、Cは、Dに対して賠償金を払うように請求することができる。つまり、損害賠償債権が発生する。このように、債権は、契約、不法行為など、さまざまな理由によって発生する。このような債権発生原因について考察するのが、債権各論である。具体的には、たとえば不法行為では、どんな場合に損害の賠償を求めることができるか、どのような損害の賠償を求めることができるかが問題となる。

なお、債権の発生原因のうち、債権各論で学ぶのは、契約、事務管理、不当利得および不法行為だけであるが、これらが債権発生原因の主要なものである。

講義の内容・授業スケジュール

契約の成立（申込、承諾）
 契約の効力（同時履行の抗弁権、危険負担）
 契約の解除
 所有権移転型の契約（贈与、売買、交換）
 貸借型の契約（消費貸借、使用貸借、賃貸借）
 労務提供型の契約（雇傭、請負、委任、寄託）
 その他の契約
 事務管理
 不当利得
 不法行為の要件
 不法行為の効果
 特殊な不法行為

法
律**履修上の留意点**

できるだけ債権総論も受講してほしい。債権各論を理解するために重要な科目だからである。また、これ以外の民法の科目も受講すると、民法全体の理解につながる。

質問は大歓迎である。講義の中では、私からも質問するので、答えてほしい。双方向の講義を目指している。

成績評価の方法

質問した回数および私からの質問に対する解答の回数を重視する。解答が正しいかどうかではなく、考えて解答することに意味がある。安心して答えてほしい。

受講者がそれほど多くなければ、質問と応答による平常点だけで成績を評価する。しかし、平常点で成績を評価することができないほど受講生が多ければ、年度末の試験を行う。試験を行う際には、いっさいの持ち込みを不可とする。

教科書

大島俊之ほか著『プリメール民法4・債権各論（第3版）』（法律文化社）2005年 2,700円
 教科書は上記のものを使うが、自分が気に入ったもの、手持ちのものがあれば、それでもよい。

参考書等

講義に際して紹介する。

その他

出席し、質問し、私からの質問に答える、積極的な学生であってほしい。

講義のねらい

近現代法治国家の主要法系のひとつである英米法系について、日本法を含む大陸法系と比較しての基本的特徴を外観し、その主要な理由をなすと考えられる、法形成における裁判の意味について、判例法を中心に考察する。

講義の内容・
授業スケジュール

- 第1章 法系
 - 第1節 近代法の法系
 - (1) 西洋近代法 (2) 二大法体系 (3) 大陸法系あるいはローマ法系
 - (4) 英米法系あるいはコモン・ロー法系
 - 第2節 イギリス法の特徴
 - (1) 一般的特徴 (2) 歴史的特徴
 - 第3節 英米法の分類
 - (1) 法域 (2) 法源 (3) コモン・ロー
- 第2章 英米法の特徴
 - 第1節 法内容の歴史性
 - (1) 歴史的連続性 (2) 法系としての特徴
 - 第2節 法観念の社会性
 - (1) 法の観念 (2) 法システムにおける裁判の位置 (3) 救済と権利
 - 第3節 法思考の実務性
 - (1) 総論 (2) 法曹一元
- 第3章 判例法の理論
 - 第1節 判例法
 - (1) 判例法 (2) 判決における法考察 (3) 判例法の考察
 - 第2節 判例法の理論
 - (1) 外枠 (2) 内実 (3) 先例性の判断
 - 第3節 制定法の解釈
 - (1) 制定法の位置づけ (2) 厳格な文理解釈の理論
- 第4章 裁判所制度
 - 第1節 イギリスの裁判所制度
 - 第2節 アメリカ合衆国の裁判所制度

法
律

履修上の留意点

講義中の私語・騒音は厳しく規制する。予め十分留意すること。

成績評価の方法

論文式筆記試験（後期試験期間・年1回）

教科書

特に指定しない。

参考書等

望月礼二郎『英米法（新版）』（青林書院）現代法律学全集55
その他の参考書：年度当初に指示する。

その他

試験準備には講義ノートが最も有効である。各自注意して出席し、ノートをとること。

講義のねらい

本講義は、フランス法のうち、とくにフランス私法の根幹をなす諸問題を対象として、フランス私法の基底を理解することを目的とする。近現代の私法の基本的問題ばかりでなく、古代フランク時代と封建制度下の中世の法とにわけられる古法の時代、および自由と平等を旗印とした大革命に始まる革命期の法すなわち中間法の時代の私法をも本講義の課題としているのはそのためである。フランスの近現代法は、19世紀初頭に統一的な成文法により樹立され発展したが、それまでの法を基礎として統一・整備されたものである。フランスの近現代の私法を深く理解するためには、古法、中間法をも学ぶ必要がある。本講義は、そのようなフランスでいわゆるフランス私法の序論と歴史と称する領域を原典資料（法文、判例、学説、一般論述等）により理解しようとするものである。

講義の内容・授業スケジュール

本講義は、まず、近現代のフランス公・私法の基礎であるフランス人権宣言と19世紀におけるその開化を学び、次いでフランスの革命期および近現代の私法の基本的問題を検討し、後に、その基本的問題さらには近現代の私法の個別的問題と出来るだけ関係づけながら古法における私法の歴史を考察する。講義の内容は、具体的には以下の通りであるが、その各項目について原典資料を解説しながら講義を進める。なお、フランスの革命期から今日までの政治、行政、裁判制度についても、適宜折り込み説明する。

法
律

I. 革命期および近現代の私法の基本的問題……（前期）

1. 人権宣言と自由の確立
 - (1) 人権宣言の着想の背景・精神・性質・効力・趨勢 (2) 人権宣言の内容——基本的人権、各種自由権、法の下での平等、法律の支配、政治組織の原理（国民主権、権力分立）
 - (3) 公的自由と私的自由
2. 法典編纂とその後の私法の変遷
 - (1) 法典化の意義・目的 (2) ナポレオンの5法典と王令・中間法
 - (3) 法典編纂の経緯と問題点 (4) 近現代における私法の変遷
3. 判例の効力
 - (1) 判決の構造と判例 (2) 判例観の変遷（古法、中間法） (3) 判決の既判力、判例の拘束力と創造力 (4) 法律の解釈と法学の法律学化（注釈学派、科学学派）

II. 私法の歴史……（後期）

1. フランク王国の法
 - (1) 法源（法の属人性） (2) 社会経済制度—一人の身分、土地（個人、共同）所有形態、形式主義的契約、教会と家族財産（相続、贈与、遺贈）、フランクの家族共同体とローマの個人的家族制度 (3) 訴訟制度
2. 高期中世（制限王政期）の法
 - (1) 法源（法の属地性、ローマ法の再生、教会法の編纂、慣習法） (2) 社会経済制度—階級制、封建的土地所有（分割所有権）と自由地、形式主義的契約と合意主義的契約、家族制度（教会婚、自由処分分と家族遺留分、夫婦財産共有制） (3) 都市の社会経済制度—ブルジュア身分大市・市の組織と取引、同業組合の組織と規約
3. 絶対君主制（旧体制）の法
 - (1) 法源（慣習法の編纂、ローマ法の第二の再生、王令） (2) 社会経済制度—階級制の変遷、封建的土地所有制度の変遷

履修上の留意点

フランス法とフランス語に興味があれば、楽しく受講してもらえenと思います。

成績評価の方法

成績評価は、学年末の定期試験で行う。

教科書

上井長久著プリント版 *Introduction au droit prive* 及び *Histoire du droit prive*（最初の講義の時に配付する予定）

参考書等

ジャン・アンベール著三井哲夫＝菅野一彦訳『フランス法制史』（白水社文庫クセジュ）
山口俊夫『概説フランス法 上』（東大出版会）

科目名

担当者名

独法

やまぐちにお
山口邦夫

講義のねらい

外国法の一種類としてドイツ法全般について一年間で講義をすることは不可能なので、日本が明治以降、政治上の理由から、先進国の外国法を多数継受してきたなかで、ドイツ法のはたした役割が大きかったので、その点を中心に講義をする。したがって、ドイツ法の歴史も近世以降に限定し、特に19世紀以降の立法と日本が継受する際に最も強く影響を受けたドイツの法律を中心とする。明治期の仏法・英法の影響については、各自学習することが望ましい。

講義の内容・授業スケジュール

一年を次の4期に分けて講義をする。
 I期 4/5月、II期 6/7月、III期 9/10月、IV期 11/12月。
 I期 プロイセン憲法と明治憲法との関連、特に Kaiser と天皇との比較。次にドイツ民法第一草案と日本民法との関連。パンデクテンシステムの導入。行政法の分野について。
 II期 一般ドイツ商法典と日本の商法との関連。民商統一論。社会法、経済法など。
 III期 刑法及び手続法（特に民事訴訟法と刑事訴訟法）の分野において、ドイツ法が日本法に与えた影響について。
 IV期 ドイツの法思想家のうち、I期からIII期において対象とした分野で影響を与えた法学者の思想をドイツの原書を参考に解説する。

履修上の留意点

当然ドイツ語を履修した2年生以上の学生を念頭において講義をする。授業中にドイツ語の条文などが登場するので、他の外国語の履修者には不相当と考えるが、単位取得を目的としなければ聴講可能である。

成績評価の方法

毎年10人前後の小クラスなので、毎回出席をとり、平常点に、年2回のレポート提出によって単位の認定を行う。いわゆる学年末試験は行わない。

参考書等

Gerd Kleinheyer/Jan Schroder, *Deutsche und Europäische Juristen aus neun Jahrhunderten*. 4. Aufl. 1996. (初版の和訳あり)

法
律

科目名

担当者名

基礎演習

おちみや たかし
大宮 隆

講義の内容・授業スケジュール

本講は、3年次から開講されている演習のための基礎知識を修得することを目的とする。「婚姻及び離婚制度の改正問題」を通して、文献・資料の検索、発表の方法を指導する。よって、当初は私が法律雑誌や判例集について解説し、その後、各人の関心に沿ったテーマを選んで勉強し、報告、ディスカッションするという形をとる。

履修上の留意点

予習すること。

成績評価の方法

年間を通して、総合的に評価する。

教科書

プリントを配布する。

科目名**担当者名****基礎演習**いまおま
今尾真**講義のねらい**

具体的事例（判例・教室説例）を素材として、民法の知識および経験則を総動員して、紛争を解決する際の法的なものの考え方（法的思考法）を身につけ、その考え方を実際に紛争に当てはめ妥当な結論を導く（法解釈学の技術的訓練）という能力を養成する。

**講義の内容・
授業スケジュール**

本演習は、これから法律学、特に民法を本格的に学習するための基礎学力を習得することを目的とする。具体的には、民法総則の法律問題を素材として、民法の考え方、文献の読み方、討論の仕方、文章の書き方の訓練を行う。参加者は、教科書の指定されたテーマに関する諸文献を検索・熟読すること（読む）、法的争点を抽出してこれをめぐる判例・学説の解決策の当否を自分の頭で考えること（考える）、自分の考えを明快に展開して他人と討論できること（論ずる）等が要求される。また、随時、重要で基本的な問題について、レポート作成（書く）を義務づけ、その一部のものに講評して、法律の文章・論文の書き方をもあわせて指導する。前期は民法総則の重要判例を、後期は物権法および債権法の重要判例を学習する予定である。4月開講時に詳細な予定表を配布する。

履修上の留意点

①無断欠席は厳禁。小生とゼミ員との高度な信頼関係を忘れずに。②サブゼミは自覚と責任感をもって行うこと。これができない者は単位認定が困難である。③毎回のゼミで必ず発言することを心がける。④高い理想をもって、日々精進すること。

成績評価の方法

出席点・レポート・演習での発言内容等を総合評価

教科書

川井健・鎌田薫・平野裕之編『新判例マニュアル民法I〔総則〕』（三省堂）2000年

参考書等

- (1) 星野英一・平井宜雄・能見善久編『民法判例百選I 総則・物権〔第五版〕』（有斐閣）別冊ジュリスト159号2001年
- (2) 加藤一郎・米倉明編『民法の争点I（総則・物権・親族・相続）』（有斐閣）ジュリスト増刊1985年

講義のねらい

このゼミは刑法における基本的な問題を検討し、法的知識を修得するとともに法的な思考を身につけることを目標とする。

講義の内容・授業スケジュール

刑法総論講義で修得した犯罪の成立要件である構成要件該当性、違法性、責任の基本的な問題を扱うが、以下のような諸問題も対象としたい。例えば、少年犯罪に関する問題、ハイテク犯罪に関する問題、生命に関する問題、犯罪被害者に関する問題などを予定している。

- 1回 ゼミ員紹介、レポート・小論文作成について、設問出題
- 2回 グループ決定・グループの研究テーマ決定、レポート・小論文作成について、レポート提出
- 3回 設問解説、レポート・小論文作成について、
- 4回 グループ研究
- 5回 グループ研究
- 6回 グループ研究
- 7回 グループ研究、全グループの研究報告書を提出
- 8回 グループ研究発表
- 9回 グループ研究発表
- 10回 グループ研究発表
- 11回 グループ研究発表、個人研究テーマ提出
- 12回 グループ研究発表
- 13回 グループ研究発表、前期のまとめ
- 後期 個人研究報告を中心に行う

法
律

履修上の留意点

主体的、意欲的な学生の参加を望みます。

成績評価の方法

報告内容、質問、出席等総合して評価する。

教科書

各自テーマが異なるため特定のテキストはない。

その他

このゼミは、受講者数にもよるが個人およびグループによる研究発表をもとに行う。発表者は報告の一週間前までにレジュメを配布し他のメンバーはこれをもとに質問出来るようにして、当日は活発な討論に参加できるようにしなければならない。発表者・質問者はそのテーマについて文献を収集したりその理解に努力する必要がある。また、図書館での資料収集の仕方、報告書の書き方等についてもアドバイスをする。

科目名	担当者名
基礎演習	原 ぐち のぶ お 原 口 伸 夫

講義のねらい

この基礎演習は、刑法・犯罪論の基礎を理解するとともに、法律を学習する上で必要不可欠となる基本書・参考文献の探し方・利用の仕方、判例の調べ方・読み方、レポート・論文の作成方法等の習得を目的としている。

講義の内容・授業スケジュール

まず、刑法総論の重要な解釈問題(たとえば、因果関係、正当防衛、錯誤、共謀共同正犯等)を題材としてテーマを決め、グループ(2~3人)で報告し、議論する。次いで、刑事法に関して各自興味のあるテーマを決め、個別に報告し、皆で議論する。

履修上の留意点

報告者はもとより、報告者以外の者も主体的に参加し議論することによって、本演習での目的である学習方法等を習得し、また、問題点やその背景事情について探り・考える力や、それを整理し・筋道立てて説明する力をしっかりと身につけ、今後の専門ゼミ等においてより深く研究する基礎を固めてもらいたい。

成績評価の方法

報告・出席等の平常点で成績を評価する。

教科書

とくに指定しない。

参考書等

授業中に適宜紹介する。

法
律

科目名	担当者名
基礎演習	いけ た のぶ 池 田 実

講義のねらい

文献・判例の調べ方、レポート・論文作成のルールなど、法学研究の方法を習得するとともに、3年次からの演習に備え、憲法に関するさまざまな問題への関心を高めることを目的としています。前期は、教科書を講読しながら、関連法令や学説・判例にも広く接し、日本国憲法の基礎的理解を深めることに重点を置きます。後期は、前期から引き続き内容に加え、担当教員の与える課題や学生から提起された問題について、全員が調べ、まとめ、報告し、討論することを通じて、憲法に対する多角的な視点と広い問題関心を育てていきます。

講義の内容・授業スケジュール

- [前期] (1) ~ (4) 憲法の入門的講義、法学研究の方法、文献・判例の調べ方(図書館ガイダンス)
 (5) ~ (13) 日本国憲法に定める統治機構に関する演習
 [後期] (14) ~ (20) 日本国憲法に定める基本的人権に関する演習
 (21) ~ (26) 自由課題演習

履修上の留意点

演習は、教員と学生が一体となって作りあげる授業ですから、遅刻や無断欠席は厳に慎んでください。

成績評価の方法

出席、研究報告、発言、レポート等を総合的に評価します。

教科書

野畑・池田・渡邊・清水『テキストブック日本国憲法』(嵯峨野書院)

参考書等

授業時に適宜指示します。

その他

法令や判例を緻密にフォローする生真面目さと、若者らしい柔軟かつ大胆な発想で憲法を科学する遊び心とを兼ね備えた、バイタリティあふれる学生諸君の履修を期待します。

科目名

担当者名

基礎演習

向田正巳

法律

講義のねらい

この基礎演習では、3年次以降に民法や憲法などの専門演習に参加することを希望する学生を念頭において、私の専門である民法を中心に、民法、憲法などの近代法の基礎を学び、さらに近代法成立の基礎となった近代市民社会がいかに成立したかを検討していきます。民法、憲法などの近代法の基礎を学んで3年次以降の専門演習に備えること、さらにそれらの法律が生まれる基礎となった近代市民社会の政治的、経済的、思想的な特質を理解することが目標です。

講義の内容・授業スケジュール

まず演習参加者全員で民法の基礎について書かれた文献などをあらかじめ読み、報告者を決めてその内容について発表をしてもらい、それをもとに全員で議論をします。これらの課程を通じて文献の探し方、レポートの作り方、発表や議論の仕方を学びます。これが基本となりますが、さらに演習中には高校時代に学んだ日本史、世界史などの社会科学の知識を確認したり、大学に入ってから学ぶ経済学や政治学などの法律学以外の社会科学にも言及したりして、法と歴史、法と経済、法と政治などの関係について基礎的な理解を深めたいと思います。これにより大学の法学部における学習の体系化を図り、より実り豊かなものにしていければと思います。

履修上の留意点

民法など法律学の基礎をしっかり学び、法律学の学習を将来の自己の進路希望に役立てることを真剣に考えている学生の演習参加を希望します。

成績評価の方法

出席、発表、議論参加などから総合的に評価します。無断欠席は厳に慎んでください。

教科書

演習の始めに指示します。

その他

コンパ、合宿を予定しています。

科目名

担当者名

基礎演習

和知恵一

講義のねらい

本演習は、三年次以降における民法の専門演習に参加するために必要な基礎知識を整理・確認し、より高度な研究に対する準備を行うことを目的とする。判例や関連文献の収集方法および利用の仕方、レポート・論文の作成方法、報告・討論の仕方などの修得に努める。

講義の内容・授業スケジュール

前半は、民法総則に関する基本的な事例問題をテーマとして、参加者全員にレポートを作成してもらい、割り当てられた数名のグループが報告を行う。その報告を基に、全員で議論する。後半は、各人（グループ）が興味・関心を持った具体的事件について、それぞれがレポートし、全員で議論する。

履修上の留意点

全員がレポート作成・発表・討論に参加することが義務付けられる。したがって、自主性・積極性・責任感を持った、意欲有る学生の参加を期待する。又コンピューターを利用して、インターネットにアクセスし、判例や文献の検索を行うことも考えており、多少のコンピューターの知識があることが望ましい。受講前に学内コンピュータ使用のIDを取得しておくこと。

成績評価の方法

受講態度、提出レポートおよび報告内容を総合的に評価する。（出席することは当たり前のことであり欠席は減点とする。）

教科書

法令集（六法）を必ず持参すること。その他については、授業中に適宜指示します。

その他

理由のない欠席があった場合は退ゼミしていただきます。

科目名	担当者名
演習 I	小林 弘人 <small>こばやし ひろひと</small>

講義のねらい

この演習は3年生を対象とする。ここでは、行政法のうち「行政作用法」および「行政救済法」分野の基礎的知識を深めることを目的とする。具体的には25～30の論題を事前に提示し、その問題を演習時間又はゼミ合宿などで検討する。なお、当然のことであるが、演習参加者の事前の準備および教場などでの活発な発言がとくに望まれる。

後期においては、公務員受験志望者の希望もとり入れたようなゼミにしたい。ゼミにとって必要なことからはすべて演習初日に説明する。

成績評価の方法

出席状況、ゼミでの報告、質問など総合的な観点から評価する。

参考書等

新山一雄著『行政法』（法学書院）1,800円
藤田宙靖著『行政法入門』（有斐閣）1,900円

法律

科目名	担当者名
演習 I	早川 純貴 <small>はやかわ よしき</small>

講義のねらい

当演習の基本目的は現代日本政治の特質を理解し、その問題点を探り出すこと、あるいはそれらの問題をいかに克服できるかを考えることである。特に当演習では研究対象を政策形成・施行過程に置く。具体的には、いくつかの政策が成立する背景と過程を明らかにしつつ、それらがいかに施行されたか、その過程でどんな問題が生じたのか、あるいはそれらの政策が日本の経済や社会、国際関係にどのような意味・影響を持ったのかを考察する。

講義の内容・授業スケジュール

当ゼミは前期が統一テーマによるグループ研究であり、後期は学生自身が選択したテーマで個人発表を行い、あわせてゼミ論を執筆してもらう。平成18年度の前期・統一テーマは「地方自治体の挑戦——地域活性化戦略としての政策」である。地方財政が逼迫し、多くの自治体が行政サービスの削減や民間委託などを余儀なくされている。しかし自治体によっては、福祉行政や文化行政などを、地域社会の活性化やまちづくりの有力な戦略＝「政策」と位置づけ、積極的かつ大胆な諸施策を展開している。そうした事例を研究することで、地方政治の新しい可能性を考えてみたい。

履修上の留意点

当演習は法律学科の学生にも開講する。政治学科の学生はもとより、政策の形成・執行に関心のある法律学科学生諸君の参加を大いに歓迎する。また当演習は春と夏に合宿を行うが、ここではディベートやパネル・ディスカッションなど、通常の演習ではあまりできないことを企画している。

成績評価の方法

個々人の発表・報告の充実度、レポート・ゼミ論の内容などを総合的に判断して評価する。

教科書

教科書は使用しない。参考文献は演習の過程で随時紹介する。

科目名	担当者名
演習Ⅰ	あおのひろゆき 青野博之
演習Ⅱ	

法
律

講義のねらい	民法に関する判例や事例を用いて、具体的な判断能力を養うことを目的とする。
講義の内容・授業スケジュール	演習受講者をグループに分けて、そのグループ毎に、テーマを自由に選択する。テーマは民法に関するものであれば、分野は問わない。テーマは、判例から取り上げられることが多いが、マス・メディアで報道されたばかりのものでもよい。
履修上の留意点	担当グループは、テーマに関する資料の要旨（レジュメ）を少なくとも1週間前に配布すること。 演習をどのように進めていくかは、それぞれの担当グループにゆだねる。担当者が報告し、（指名しながら？）質疑応答する場合、担当者が裁判官の役割を果たし、他の者を原告・被告に分けて議論する場合などが考えられる。
成績評価の方法	出席して、しっかり発言をしたか、担当者として十分な準備をしたかなど総合して判断する。ゼミは、発言することがポイントである。そのことを基準として、成績を評価する。
その他	議論に積極的に参加し、たくさん発言する学生であってほしい。 希望者は、できれば、事前に先輩または私に演習の内容や進行方法を聞いておくとよい。その意味でも、履修前の見学はよい機会である。見学を歓迎する。

科目名	担当者名
演習Ⅰ	あらきまさたか 荒木正孝
演習Ⅱ	

講義のねらい	この講義では、会社法（株式会社、持分会社〈合名会社、合資会社、合同会社〉）の重要かつ基礎的な事項について解説するが、とくに現代の経済活動において最も大きな役割を果たしている株式会社の法規制について一年の大半の時間を割くつもりである。
講義の内容・授業スケジュール	大企業から零細企業まで多くの企業が株式会社の形態をとり、株式会社が現代の経済を担い、多数の人々に商品やサービスを提供し、労働の場を提供するという社会的な機能を通して国民の生活に計り知れない影響を与えている。この講義では、株式会社の生成、機能、構造、消滅などに関する私法的側面を中心に規制する株式会社法に重点をおき、そこにおける基本的かつ重要な問題を取り上げて解説し、実務の対応なども検討し、会社法の基本的な考え方を理解してもらうことを目的とする。 平成17年6月29日に「会社法」が国会に置いて成立した。この会社法は、従来片仮名文語体で表記されていた商法第二編、有限会社法、株式会社の監査等に関する商法の特例に関する法律について平仮名口語体化してひとつの法典にまとめたものであり、かつ近年、毎年のように行われて来た法改正を全体的に調整し、社会情勢の変化に対応するために各種制度の見直しを行うものであった。今年は、この新会社法について、株式会社の設立の概要、設立の手続き、発起人の意義、設立中の法律関係、設立の無効、設立の登記、設立関与者の責任などについて説明し、株式制度においては、株式の意義、株式の内容・種類、株式の流通、株主の権利、自己株式、株式の併合・分割・償却、単元株、利益供与の禁止などに触れ、会社の管理・運営については、機関の意義、株主総会、会社役員を選任・解任、取締役、取締役会、代表取締役、監査役・監査役会、委員会設置会社、役員損害賠償責任などについて解説する。
履修上の留意点	会社法は、民法を前提としているから、民法総則、物権法、債権法などの知識があると理解が容易である。ただ、これらの知識がなくても、講義の内容を理解するために必要な民法の規定や基本概念については、その都度説明するつもりであるから、民法＝財産法について十分な知識がなくても受講には差し支えない。
成績評価の方法	成績は、年度末に行なわれるペーパーテストの点数で評価します。
教科書	教科書は、授業の初めに指示します。

科目名	担当者名
演習Ⅰ	おう し あん
演習Ⅱ	王 志 安

講義のねらい

国際裁判および国内裁判の判例の分析を通して、現代国際法の適用過程を検証する。具体的に、慣習国際法が裁判においてどのように確認され、適用されるか、また条約がどのように適用されるかを実際の判例において分析する。そして演習を通して国際法に関する知識だけでなく、判例分析や報告書又は小論文の作成に関する知識および能力をも養っていただきたい。

講義の内容・授業スケジュール

テーマとして国家の領域紛争、国際法における承認および人権問題にかかわる判例を選定し、判例の読解および関連の参考資料の学習を通して国際法の適用における実情および問題点を明らかにしていく。前期において特定の中心テーマを基準に選定された事例の勉強となるが、後半において参加者の関心を尊重して個別の判例の分析を中心に演習を行っていききたい。また、夏休みでは、原文（英文）の国際判例を読み解くための合宿を行う。

履修上の留意点

出席および配布された資料を事前に読むことを要求する。

成績評価の方法

演習への参加状況および報告に望む態度や積極性を考慮して評価する。

教科書

『判例百選国際法』（有斐閣）2001年

その他

ゼミに関する情報などは、下記のホームページから入手できる。
<http://www.komazawa-u.ac.jp/~anzhi/index.htm>

法
律

科目名	担当者名
演習Ⅰ	おお みや たけ
演習Ⅱ	大 宮 隆

講義のねらい

家族法の研究上、知っておいてほしいと思われる裁判例をとりあげる。

履修上の留意点

予習が必要である。

成績評価の方法

年間を通して、総合的に評価する。

教科書

泉久雄他編『家族法基本判例32選』（信山社）2,500円

科目名	担当者名
演習Ⅰ	かね こ しょう へい
演習Ⅱ	金子 昇平

法
律

講義のねらい	本演習においては、行政上の諸制度、行政法規の仕組及び複雑多様な法現象を広範囲にとりあげ、現代のあるべき行政法理論について理解を深めていきたい。
講義の内容・授業スケジュール	ゼミ生の関心のあるテーマについて、判例研究及び、学術論文の書評を行い、参加者全員と共に、議論をつくしたいと思っている。演習の内容については、例えば、環境の問題、教育の問題、公務員の問題、地方自治の問題、租税の問題、医療の問題、高齢者の問題、福祉の問題等である。 年二回、七月、二月にゼミ合宿を行い、研究の成果を発表し、討論を行う。 年二回、公的施設の見学会を行う。
履修上の留意点	ゼミ生は、あらかじめ該当する判例、法令等を読みこなして欲しい。六法を持参すること。判例、論文、法律を知ることだけではなく、現実の社会の実態についても、調査し、国・地方公共団体に赴いて、担当者と面会し、取材してもらいたい。
成績評価の方法	出席（ゼミ、見学会、合宿等）により評価する。
教科書	適宜指示する。
その他	発表者は、レジュメを作成し、論点及び、自分の意見を発表する。全員が、議論に参加出来ることを望む。

科目名	担当者名
演習Ⅱ	かわ ぐち ゆき み
	川口幸美

講義のねらい	会社法の重要問題を中心に、判例・学説を検討し、体系的に理解を深めることを目的とする。具体的には判例研究・事例研究を主とする予定である。また取り上げるトピックについては、学生の希望を重視するので、関心あるテーマを準備しておいて欲しい。
講義の内容・授業スケジュール	初回到報告者とスケジュールを決め、報告者が作成したレジュメの説明に沿ってディスカッションを行なう予定。
履修上の留意点	ゼミは出席を重視する。また年に数回、報告の機会があり、その度、レジュメを準備すること。報告者以外の者は予め資料等を読んでおくこと。
成績評価の方法	出席と普段の議論への参加態度、レジュメの完成度で評価する。
教科書	『会社法判例百選（第6版）』（有斐閣） テーマによっては別に資料を配布する。
参考書等	鈴木竹雄著「会社法」（弘文堂） 江頭憲治郎著「有限会社・株式会社法（有斐閣）」 鴻常夫・落合誠一・江頭憲治郎・岩原紳作編 別冊ジュリスト 「会社判例百選（第6版）」
その他	（当然のことだと思うが）授業中の私語・携帯の使用は厳しく注意する。場合によっては退室を命じる。 月曜日・4時限

科目名	担当者名
演習Ⅰ	ま ぶち きよ し 間 淵 清 史
演習Ⅱ	

講義のねらい	この演習は、参加者が民事訴訟法の講義で習得した基礎的知識の幅を広げ且つその理解度をより一層深めることを目的とします。民事訴訟理論の緻密さとダイナミックさとを体得してもらいたいと考えています。
講義の内容・授業スケジュール	民事訴訟法に関する重要判例の中から毎回1～2を選んで、報告書による報告と参加者全員での討論を行うことを予定しています。実際の法廷見学にも行きたいと考えています。
履修上の留意点	演習参加者は、毎回予習のうえ出席し、主体的に演習に参加し、且つ積極的に発言する必要があります。
成績評価の方法	演習参加度（出席態度、報告内容、発言の有無・内容等）に依拠して行います。
教科書	『判例講義 民事訴訟法』（悠々社）2001年。 『法学講義 民事訴訟法』（悠々社）2005年予定。
参考書等	『民事訴訟法の争点〔第3版〕』（有斐閣）1998年 『民事訴訟法判例百選〔第3版〕』（有斐閣）2004年

法
律

科目名	担当者名
演習Ⅰ	きた の 北 野 かほる
演習Ⅱ	

講義のねらい	英米法の諸特徴について具体的に理解を深める。
講義の内容・授業スケジュール	ゼミ員全員で検討のうえ選んだテキストを輪読形式で読み進める。毎回担当者を決め、テキスト内容のほか関連事項を調査・報告させ、それにつき全員で討論する。
成績評価の方法	演習Ⅰ（三年次生）はゼミでの報告・発言をもとに平常点評価。 演習Ⅱ（四年次生）は上記のほか卒業研究発表と卒業レポートにより評価。
教科書	提示する候補の中からゼミ員全員が検討して決定する。
参考書等	随時適宜紹介する。
その他	十分な事前学習が要求される。受け身の出席はしないこと。 英米法の講義を受講済か、受講中であることが要求される（単位は修得していなくても構わない）。

科目名

担当者名

演習Ⅰ

佐藤多美夫

演習Ⅱ

講義のねらい

このゼミでは、刑法上の重要問題を検討し、法的な思考力を涵養する。

講義の内容・授業スケジュール

具体的には、罪刑法定主義、不作為犯（不真正不作為犯）、因果関係、正当防衛問題、錯誤問題、責任問題、共犯問題、生命・身体に対する罪、財産に対する罪等につき、判例事例研究を通して、刑法に関する理論と法解釈を学び、具体的事例に則した問題分析能力、問題解決能力を養う。

履修上の留意点

主体的、意欲的な学生の参加を望みます。

成績評価の方法

報告内容、質問、出席等総合して評価する。

教科書

各自テーマが異なるため特定のテキストはない。

その他

このゼミは報告者の研究発表をもとに行う。発表者は報告の一週間前までにレジュメを配布し他のメンバーはこれをもとに質問出来るようにして、当日は活発な討論に参加出来るようにしなければならない。発表者・質問者はそのテーマについて文献を収集したりその理解に努力する必要がある。

法律

科目名

担当者名

演習Ⅰ

まつむら いはる
松村格

演習Ⅱ

講義のねらい

刑法総論の講義で学習したことを基礎にして、具体的な事例をどのように解決すれば、刑法の基本原理に反することなく刑法の使命（法益保護・人権保障・秩序維持）に適うかを考えることを目的とします。

講義の内容・授業スケジュール

前期の前半に、刑法総論の基本的事項について総復習します。毎回全員に質問することによって、刑法総論の理解度を確認します。理解度が足りない学生は履修を断ります。前期の後半以降は、各人が最も関心のある問題点ないし争点を選び、それについて研究したことを発表し、各人の質疑応答によって研究を深めていきます。

履修上の留意点

刑法総論の単位を取得していなければ履修することはできません。毎週、基本書・参考書・判例解説書・六法全書・ノートを携帯して出席してください。参加することが不可欠ですから、理由なき欠席は許しません。毎回必ず何らかの意見を（その是非・妥当性は別として）主張することを義務とします。意見表明のない学生には、履修途中でも脱退をしてもらいます。

成績評価の方法

普段の授業における予習・復習の内容、質疑応答回数と内容、研究発表の内容によって評価します。試験はしません。

教科書

松村ほか『刑法総論』（ミネルヴァ書房）3,800円
別冊ジュリスト『刑法判例百選Ⅰ総論【第五版】』（有斐閣）

参考書等

参考書は予定しない

科 目 名**担 当 者 名**演習Ⅰ
演習Ⅱたか ばし ひろ き
高 橋 洋 城

講義のねらい

この演習は、法律の解釈論や政策論の基礎となる原理的な議論に関心を持つ学生のために「法哲学演習」として開講するものである。「法律学の学習の中で培った知見を応用する」と同時に、それを「哲学や社会科学その他を含む広い文脈のなかで捉えなおすこと」、この両方が本演習の目標であるが、さらに社会科学的文章の扱い方に慣れることや、報告や討論の中で問題を掘り下げる能力の養成も本演習の中で心がけたい。

講義の内容・
授業スケジュール

<基本方針> 1年間を通じて扱う統一テーマを設定して演習を進めていく。とりあげる内容は、現代の法的問題の検討を中心にする場合と、古典的文献精読を中心に進める場合と、年度ごとに重点の置き方を変えていく。2006年度は現代法理論上のトピックを採り上げる予定である。

本年度の具体的なテーマは演習開始時に相談の上決定するので未定であるが、参考までに過去にとりあげた題材やテーマを紹介しておく。

テーマの一例：配分的正義と福祉国家 公正の概念 平等論 格差社会 所有権論
購読文献の一例：J.S. ミル『自由論』、J. ロック『統治論』、ドゥオーキン『権利論』

<年間スケジュール> 前期は、選定した文献についての報告を軸にし、テーマに関する議論を参加者全員が共有することを目指す。後半は、そこから発展したテーマやさらに議論を深めるための文献を割り当て、より各参加者の関心に引きつけた報告を行なってもらう予定。

<運営方法> 毎回の演習は、報告・質疑・討論の形式で運営する。参加人数が多い場合には、報告者の他、あらかじめコメンテーターを指定する。

履修上の留意点

常に積極的に発言すること、おそれずに聞くこと、調べる手間を厭わないことを、演習参加者の姿勢として求める。

成績評価の方法

平常点（出席、報告および討論における発言を勘案して評価）と全日程終了後提出のレポートにより総合評価する。

教 科 書

特に指定しない。

法
律

科目名**担当者名**

演習Ⅰ

たけ なか ち か
竹 中 智 香

演習Ⅱ

講義のねらい

民法第4編の「親族法」と第5編の「相続法」は私たちの生活に最も身近な家族生活を規制する法律です。私たちの家庭生活を取り巻く環境は、「家制度」の存在とその解体、高度・低度経済成長期やバブル前後の経済的变化、少子化・超高齢化、女性の社会進出、戦前の家督相続から庶子均分共同相続への変遷、近年増加してきた遺言制度の利用等々に対して、日々刻々と変化しつつあります。このような変化に対して親族法、相続法がどのように対応しているか、どのような限界があり、どのように改善を図るべきなのかについて、判例を題材にして、毎回学生諸君に報告をしてもらい、その報告をもとに参加者全員で検討・考察します。こうした作業を通して報告の仕方、議論の仕方、法的考察力等の取得を目指します。

法
律講義の内容・
授業スケジュール[前期] 親族法における問題点
[後期] 相続法における問題点

履修上の留意点

講義とは違い、少人数で行う演習は、ゼミ生同士あるいはゼミ生と教員との議論が可能です。こうした議論をするためには、十分な準備とともに、毎回の出席することが大変重要となります。

成績評価の方法

報告の内容の評価以外に、毎回の出席と、出席時の参加の様子等を考慮して評価します。

教科書

『家族法判例百選 [第6版]』(有斐閣) 2,200円

参考書等

内田 貴『民法Ⅳ 親族・相続』(東京大学出版会) 3,500円

科目名**担当者名**

演習Ⅰ

つる い しゅん きち
鶴 井 俊 吉

演習Ⅱ

講義のねらい

本演習は、金融取引において重要な役割を担う担保制度に関する問題を検討する。

講義の内容・
授業スケジュール

本年度は、担保制度を理解するうえで必要な財産法の基礎的な問題を扱う。その方法は、具体的な事案を解決するにあたって、今まで学んできた民法の基本的な原理・原則をどのように活用し、法律構成として妥当な結論に導くかという、問題把握の仕方を重視する。単なる知識をつめこむというゼミではなく、柔軟な物の考え方ができる頭の訓練をしたい。

履修上の留意点

各自がテーマを設定し、個別報告を行い、それに対する質疑という形式で進めるので、積極的に討論に参加できる意欲ある学生を希望する。

成績評価の方法

課題に対するレポートとゼミでの平常点で評価する。

科目名	担当者名
演習Ⅰ	むかい だ まさ み
演習Ⅱ	向 田 正 巳

講義のねらい	本演習では、判例研究を通じて、民法を基礎から学びます。民法の基本判例を読みながら民法における基本的なものの考え方、法的思考の基本を学び、演習参加者が裁判実務、ビジネス法務実務、行政実務等それぞれの進路においてその知識を活かす術を学ぶことが目標です。
講義の内容・授業スケジュール	まず判例百選等でとりあげられるような基本判例を読みながら民法の基礎的な論点を学習し、それを通して判例の読み方、教科書のまとめ方、本文などの資料調査と研究報告の方法について学びます。次に10月くらいからになると思いますが、最高裁判所民事判例集等から最新の判例をゼミのグループ単位で選び、判例のなかから民法解釈論上の論点を抽出し、従来の学説、判例に照らし合わせながら検討するという作業を行います。最後に時間があれば参加者が各自、関心のあるテーマにつき個別に報告、レポートを提出してもらいます。
履修上の留意点	民法の基礎をしっかりと学び、民法の学習を将来の自己の進路希望に役立てることを真剣に考えている学生の演習参加を希望します。
成績評価の方法	出席、発表、議論参加などから総合的に評価します。無断欠席は厳に慎んでください。
教科書	演習の始めに指示します。
その他	コンパ、合宿を予定しています。

法
律

科目名	担当者名
演習Ⅰ	にし 修
演習Ⅱ	

講義のねらい	本演習は、日本国憲法にかかわるさまざまな問題点について、成立過程、解釈、各国憲法との比較などを通じて討究することを主たる内容とする。それゆえ、これまで日本国憲法の基礎的理解をしてきていることが前提になる。
講義の内容・授業スケジュール	年度はじめに簡単なシラバスを配布する。前年度における活動内容は、ゼミのホームページで公表している。
履修上の留意点	はじめに出席し、積極的に発言すること。
成績評価の方法	出席、発言、課題論文などを総合的に判断する。
教科書	開講時に指定
その他	授業以外に年2回の簡単なボランティア活動、夏と冬（スキー&スノーボー）の合宿、新入生歓迎と卒業生追い出しのコンパ、「ザ・ウエスト」（ゼミ論集）の作成などへの参加が求められる。各自がなんらかの役員（ゼミ長、レク担当、会計など）に選任される。合宿、コンパでは私の落語を聴かされることがある。 (法律と共通)

科目名

担当者名

演習Ⅰ

原 田 啓一郎

演習Ⅱ

講義のねらい

講学上の理論に終始せず、現実社会に軸をおいて、理論と現実の乖離や接点を認識しながら、社会保障に関する法的問題を受講生が主体的に検討することにより、社会的事実に即しながら法学的討論が行える能力を涵養することを目的とする。その際の検討素材として政策論議や裁判例などがあるが、フィールドワークや関係機関・当事者へのヒアリングといった手法で積極的に社会保障の現場に飛び込むことにより、社会保障の法的問題を実感・抽出することを忘れてはならない。

講義の内容・授業スケジュール

社会保障法の各領域(年金・医療・福祉・生活保護・雇用・労災など)の基本的な学習を行ったうえで、受講生と相談をして決定する。
社会保障関係の行政機関、政策担当者、施設、社会保障受給者/利用者等へのヒアリングを通して、「社会」と接する機会を設ける。その一環として、社会福祉法人・世田谷ボランティア協会との連携により、世田谷区内の病院・福祉施設での施設体験学習を実施している。

履修上の留意点

社会保障法の修得にあたっては、憲法・行政法・民法・労働法等といった主要な法分野の素養が必要である。ゼミへの参加のみならず、他の法分野の積極的な学習が望まれる。
ゼミでの検討成果は、ゼミ論文としてまとめることを予定している。

成績評価の方法

平常点(ゼミ論文の成果を含む)

その他

当演習では、受講生の積極的な勉学態度が要求される。①法的に重要な事実は何か、②問題点をどのように抽出するのか、③問題点についてどのような理論的解決を図るべきか等について、自分の頭で考えてみる事が求められる。
仲間との連帯と社会性を身につける機会として、ゼミ合宿(年2回)やゼミコンパを積極的に行っている。

法
律

科目名

担当者名

演習Ⅰ

藤 本 茂

演習Ⅱ

講義のねらい

わが国雇用社会は、経済構造の変化に伴う雇用システムの変容、少子高齢社会の到来、労働者意識の多様化などにより大きく変わろうとしています。最近の労働基準法改正、労働契約法制、個別労働紛争処理制度などに関する議論はその表われです。この現代労働法の対象である雇用社会を知り、今までの労働法理の基礎を自ら学びとる場が演習だと思っています。

講義の内容・授業スケジュール

本演習では、テーマを各自受講生が関心のあるところから、自ら選択し勉強し、理解を深めたところで発表し、議論をする方法をとっています。特に発表し議論するところに重点を置いています。
夏季には研究合宿を行ないます。

履修上の留意点

演習のいいところは、大いに勉強し、恥をかくところにあります。出席は大前提。評価はそのあと。
ゼミ運営に積極的に関わることも大切だと考えています。
講義科目として、憲法、民法総則、債権総論・各論、社会保障法、社会政策は、ぜひとも、履修してください。

成績評価の方法

出席、積極的発言、ゼミ運営への積極的参加など。平常時の積極的な姿勢で評価します。追試はありません。

教科書

開講時に話しをします。

参考書等

必要に応じて、〈調べ方〉を教えます。参考書というより法律雑誌の論文等が重要になります。自分で探ることが勉強の第一歩と思っています。

科目名	担当者名
演習Ⅰ	ひ 日
演習Ⅱ	か 笠 か 完 ん 治

講義のねらい

研究会としては、最新の憲法問題を常にフォローすることを目標とする。一方、教育的には、受講者各自が関心のある憲法問題について研究する能力を身につけることを目標とする。担当者としては、一生涯にわたって付き合いのできる仲間づくりを考えている。

講義の内容・授業スケジュール

第1段階は、社会事象への深い関心の惹起、憲法学の基礎能力の修得（教科書レベル）。
第2段階は、専門書や法律雑誌掲載の論文を理解する能力の修得（社会で通用するレベル）。
第3段階は、各自が専門的な意見を発信することができる能力の獲得。

履修上の留意点

積極的に責任感のある学生諸君の演習参加を期待している。研究会参加者の共同学習によって、法学検定試験、行政書士試験などにも挑戦していただく。演習Ⅰと演習Ⅱは続けて履修してもらいたい。

3年次は個別演習を繰り返し行い、基礎力を充実する。

4年次は各自の研究関心により卒業論文を作成する。

成績評価の方法

3年生は、日常の研究活動について、積極性、成果などにに基づき評価する。

4年生は、主として卒業論文を評価の対象とする。

教科書

特に指定しない。前提としては、1年次学習した日笠完治『憲法がわかった』（法学書院）は、復習をしておいてほしい。

参考書等

近年利用したものとしては、

- ①赤坂・大沢・井上・工藤『ファーストステップ憲法』（有斐閣）
- ②大沢秀介『はじめての憲法』
- ③小林孝輔『憲法演習自習セレクト50』（一粒社）
- ④高橋・大石『憲法の争点』（有斐閣）
- ⑤芦部信喜先生、佐藤幸治先生、樋口陽一先生など大家の教科書などがある。

その他

ゼミの年間行事としては、

- ①新入ゼミ生歓迎会（4月）
- ②前期打ち上げ（7月）
- ③夏合宿（9月）
- ④バーベキュー大会（11月）
- ⑤後期打ち上げ（1月）
- ⑥ゼミ論集『自由と権利』発行（2月）
- ⑦卒業論文集完成（2月）
- ⑧春合宿・4年生の歓送会を兼ねる（2月か3月）などがある。

科目名**担当者名**

演習Ⅰ

やまぐちくに お
山 口 邦 夫

演習Ⅱ

講義のねらい

1・2年次において、刑法総論及び刑法各論ともに履修済みの3年生を中心に進める刑事法演習である。当然、少年法をも含む、刑事政策的な問題意識を持つことが望まれる。

講義の内容・授業スケジュール

1年間を下記の4期に分けて、討論の問題を考えている。
 第Ⅰ期（4・5月）罪刑の法定をする政治的意味及び犯罪不成立の事由について。
 第Ⅱ期（6・7月）刑事責任のとらせ方と少年事件における、いわゆる保護処分について。
 第Ⅲ期（9・10月）生命・身体に対する侵害犯罪と財産犯の諸問題について。
 第Ⅳ期（11・12月）いわゆるセクハラ問題と性犯罪との関連と峻別について。

法
律**履修上の留意点**

毎時間出席し、討論に積極的に参加できる者が望ましい。また年4回ぐらい発表の機会があるので、自分の意見を発表する能力が必要である。

成績評価の方法

演習の成績評価は、講義科目と違い試験は行わない。毎回発表する際のレジメの作成及びその発表内容、さらに他人の発表に対する討論の仕方・内容などを総合して評価する。したがって、一ヶ年、出席すれば、単位取得については問題はない。

教科書

判例を中心に、法解釈を考えるので判例集そのものが教材になる。判例を解説した書物なども参考になるが、毎時間、資料については、注意するので、あらかじめ指定する書物はない。

科目名**担当者名**

演習Ⅰ

まつもと ひでとし
松 本 英 俊

演習Ⅱ

講義のねらい

演習Ⅰ・Ⅱでは、刑事手続全体を概観した上で、捜査および公判段階における問題を扱う。判例を中心に具体的事例に則して、捜査・公判段階の主要な論点について、問題の所在や学説などを検討し、解決の展望を探る。

講義の内容・授業スケジュール

前期はテキストや基本書の輪読を中心に行い、刑事訴訟法の基礎的な知識を身につける。後期は判例百選や判例集掲載の主要判例や比較的最近の判例を素材に、事例研究を行う。

履修上の留意点

刑事訴訟法、刑法、刑事法関連科目を履修していることが望ましい。
 担当者の報告に基づいて全員で議論するが、報告担当者以外の者も毎回のテーマについて事前に準備して、自分の見解を持った上で参加し、議論に際しては積極的に発言すること。

成績評価の方法

授業での報告および発言などにより、総合的に評価する。適宜、レポートを課し、その結果も参考とする。

教科書

未定

参考書等

松尾浩也・井上正仁編『刑事訴訟法判例百選（第七版）』（有斐閣）2,100円

その他

報告者を決め、報告者は論点の整理と検討のための素材を十分な事前準備の上、報告する。授業では、報告者の報告に基づいて、全員で討論を行う。

科目名	担当者名
演習Ⅰ	かわぐち ゆきみ 川 口 幸 美
演習Ⅱ	

講義のねらい

会社法の重要問題を中心に、判例・学説を検討することで、会社法制度についての基本的な理解を深めると同時に、事実から法的問題を発見し、問題を法的に分析して法的論理を展開する基礎的な力を身につけることを目的とします。そのため、判例研究と事例研究を取り混ぜながら、研究する予定です。

講義の内容・授業スケジュール

前期と後期に私の方から要項を配布し、演習の内容とスケジュールを相談します。基本的には、前期は、会社法総論、株式会社の設立、株式を、後期には、株主総会、取締役・取締役会を研究する予定です。夏は、合宿を行い、株式会社法に関する法律討論会や、最新判例の研究を行います。そして、2月にはゼミ会誌（昇山会誌一最新号は、7号です）を刊行します。

履修上の留意点

ゼミに積極的に参加して下さい。

成績評価の方法

レポーターとしての報告を中心に、平常点を加味して評価します。

教科書

『会社法判例百選』第6版（有斐閣）1,900円

その他

木曜日・5時限

法
律

科目名	担当者名
演習Ⅰ	なか はま よしあき 中 濱 義 章
演習Ⅱ	

講義のねらい

商法の重要問題を検討することを通じて、法制度の理解を深めると同時に、社会的史実から法的問題を抽出し、法的に分析し論理展開するための基礎的な力を身につけることを目的とします。

講義の内容・授業スケジュール

商法、会社法、手形法・小切手法に関する重要判例研究または事例研究として舞香い一つのテーマを取り上げ、報告者による報告の後、全員で討議します。
なお、参加者の希望によっては、前期に基礎的理解のための簡単な問題演習を行います。

履修上の留意点

参加者は、自分が発表を担当しないときでも、積極的に発言するようにして下さい。演習では出席を重視します。

成績評価の方法

出席と議論への参加態度、報告の内容で評価します。

教科書

必要に応じて資料を配付するほか、適宜指示します。

科目名	担当者名
演習Ⅱ	河野弘矩

講義のねらい

民法に関する具体的事例に当面した場合に自分の頭で考え、妥当と思われる結論を創造する習慣を習得することを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

教材の事例を通して、自分の思考を助けるため、参考文献や判例の研究を行うことはもちろんであるが、演習参加者の活発なる議論を主体として進行する。4年生は民法全般を対象とする。夏と冬に合宿を予定しています。

履修上の留意点

演習参加者は、3年・4年の2ヶ年間継続して受講すること。毎週必ず出席すること。

成績評価の方法

毎回の平常点で成績評価を行いたい。

教科書

プリントを用意する予定。

参考書等

教場で指示する。

法
律

科目名	担当者名
演習Ⅱ	小林弘人

講義のねらい

この演習は、原則として、私の演習Ⅰを履修した4年生を対象とする。内容は、行政法の全領域および、行政法総論の知識の再確認を行う。具体的には、演習参加者各自に研究テーマを設定してもらい、その設定されたテーマについて、演習時間又は合宿等で発表を義務づける。なお、前期においては要望があれば、各種公務員試験のための「技術的指導」を行うことも可能である。

演習に必要な文献、その他の事項については、すべて演習初日に指示する。

成績評価の方法

出席状況、ゼミでの報告、質問など総合的観点から評価する。

科目名	担当者名
外書講読Ⅰ(英書)	おう 王
外書講読Ⅱ(英書)	し 志 あん 安

講義のねらい

国際法にかかわる入門的英文教科書、国内・国際裁判の判決原文を講読することを通して、法律文書によく使われる基礎的な表現法、専門用語および英米や国際裁判判例の基本構造を習得する。

講義の内容・授業スケジュール

前期では主に入門的教科書を中心に、専門知識を表現する英文になれることに重点を置き、文書の翻訳、解説を通して英語と専門知識を習得してゆく。後半では前期の勉学を踏まえて、英米の国内裁判の判決および国際司法裁判所の判決を選定し、翻訳を通して判決文の基本構造、専門用語および特徴を勉強する。

履修上の留意点

国際法にかかわる外書の購読となるので、国際法の講義を習得したことが不可欠です。また、英文の新聞紙をだいたい読める程度のレベル英語能力をもつことが望ましい。

尚、少人数の教育となるので、興味をもって必ず参加するという積極性をもつ学生が期待される。

成績評価の方法

講義への出席状況、担当された翻訳作業の完成度、講義における参加の積極性を中心に、総合的に判断する。

教科書

開講時にプリントを配布する。

参考書等

開講時に指定する。

法
律

科目名	担当者名
外書講読Ⅰ(英書)	かね 金子
外書講読Ⅱ(英書)	しょう 昇 へい 平

講義のねらい

講義のねらいは、アメリカの憲法や法律、あるいは重要と思われる論文や判例を読むことによって、単なる法知識を得ることのみならず、その基本的な考え方をつかみとっていききたい。すなわち英語を読むだけでなく、考える講義をしていきたい。

そのためには、基礎的学習として法律英語を知ることであり、英単語やテクニカル・タームを豊富に身につけることである。

講義の内容・授業スケジュール

前期は、主にアメリカ合衆国憲法等の基本的なものを選び講読する。憲法は、構成要素としての統治機構(立法権、行政権、司法権)や、基本的人権について、どの様に規定しているのか、それぞれの意義及び内容について検討してみる。

後期は、受講生の希望をとり入れながら、あらためて指示したい。

履修上の留意点

英和辞典(和英辞典)は、持参すること。英単語の意味がわからないからこそ、辞典が必要である。受講生は、出来るだけ多く、辞典に当たることを身につけて欲しい。

成績評価の方法

講義への出席状態と、発表の評価で成績評価を行う。

教科書

開講時にプリントを配布する。

参考書等

講義内容に応じて適宜指示する。

科目名	担当者名
外書講読Ⅰ(英書)	かわぐち ゆきみ 川口幸美
外書講読Ⅱ(英書)	

法
律

講義のねらい	この講義では、まずは法律に関する英文に慣れ、法律用語等の基礎知識の習得から始めて、最終的には初歩的な英語の学術論文を読みこなすことを目的とする。また、法と経済学の視点から見た日本の法制度の矛盾や問題点について議論し、それを通じて日本の法制度について理解を深めることも期待する。
講義の内容・授業スケジュール	複数の著書あるいは論文から、受講者の希望を参考に、いくつかのテーマをとりあげて、毎回担当者を決めて、翻訳と解説をしてもらう。
履修上の留意点	基礎的な英文読解力に加え、報告担当者は担当部分の全訳と内容について補足説明できるように下調べをしてくること。報告内容が不十分であればやり直しさせることもあるので気をつけること。また他の受講生も内容について必ず予習をし、質問および感想を提示できるよう準備しておくこと。
成績評価の方法	出席と報告内容および質問・意見等、平常時の受講態度で評価する。
教科書	Curtis J.Milhaupt & Mark D.West, <i>Economic Organizations and Corporate Governance in Japan</i> (Oxford, 2004). Ramseyer, J. Mark/ Nakazato, Minoru <i>Corporate Governance in Japan/Japanese Law: An Economic Approach</i> (University of Chicago Press, 2001).
参考書等	辞書、参考書、辞典等については随時指示する。

科目名	担当者名
外書講読Ⅰ(独書)	まつむら いほる 松村格
外書講読Ⅱ(独書)	

講義のねらい	ドイツ語の法学文献を読むことを通して、ドイツ人の法的感覚・法意識・法理論の構成を学習し、日本人のそれらと比較することによって、日本と日本人の法意識についての長短を知ることが目的とします。
講義の内容・授業スケジュール	ドイツ語の法学文献を逐条解釈していきます。私が毎週指定した範囲の文章について、受講生が予習してきて全員が順番で翻訳発表することになります。そして、解釈の是非を相互に指摘しながら読み進めます。
履修上の留意点	毎週出席して参加することが不可欠です。日本の法学・法哲学・法理論の基本書を参考にしながら、講読すると理解しやすいです。ドイツ語の文法書と独和辞典を常に携帯してください。ノートに原文と訳文を筆記することも良策です。
成績評価の方法	普段の予習・復習の態度と講読力および出席回数によって評価します。
教科書	未定。第1回目の授業に配布します。
参考書等	未定。

科目名	担当者名
外書講読Ⅰ(仏書)	なか の ゆう じ 中 野 裕 二
外書講読Ⅱ(仏書)	

講義のねらい

比較的平易なフランス語で書かれた文献を読むことで、フランスの法律・政治に関する知識を深めることを目的とします。フランス語の授業ではありませんので、初級程度のフランス語ができることを前提に授業を進めます。

講義の内容・授業スケジュール

この講義は、法律学科・政治学科に同時に開講されているので、フランスの共和制の原則、統治機構、人権などに関する文献を読んでいます。
まず、フランス語を正しい日本語に翻訳し、文法などを確認し、次にその内容について確認していきます。
受講生が初級程度のフランス語が理解できているかどうかを確かめるため、第1回目の授業では簡単なテスト(仏語検定4級程度)を行います。

履修上の留意点

初級程度のフランス語を理解していること。

成績評価の方法

期末試験を実施します。期末試験を6割、授業中に行うミニテスト、出席状況、発表内容を4割の比率で成績評価とします。

教科書

受講生の読解力によって教材を選びますので、現在は未定です。

法
律

科目名	担当者名
外書講読Ⅰ(中国書)	こう りん ひで もと 江 林 英 基
外書講読Ⅱ(中国書)	

講義のねらい

現在の中国は経済の改革・開放政策をとっており、これを実現するため、1982年に四回目の新憲法を制定・施行し、その後数回にわたる改正を行った。その他の法律もこの憲法に基き、“雨後春筍”のようにつぎつぎ公布された。“一衣帯水”の隣国である中国を認識することが必要である以上、その法制から着手しなければならないのである。

講義の内容・授業スケジュール

この授業は中国憲法138条の条文に書かれている中国の内政と外交方針、国民の基本権利と義務、人民代表大会の権限、人民政府の組織などを主な内容とする。

履修上の留意点

授業の進度は一週間5ページ程度である。学生諸君に朗読させ、法律用語、条文の構造(文型)を説明しながら立法理由と現在状況を論評する。

成績評価の方法

出席率、学習態度、レポートなどを判断基準として総合的に評価する。

教科書

コピーを配布する。

参考書等

江英居著『中国憲法』(大学書林)3,500円、『中華人民共和国法律匯編』(北京人民出版社)

その他

学生への要望：授業中私語禁止。

科目名	担当者名
登記法	田沼浩

講義のねらい

初めて登記法を学ぶ者にも、以前勉強したことのある者にも、民法・会社法・商法の手続法としての「不動産登記法・商業登記法」が現在の取引社会においてどのような役割を担っているのか、両法のより深い理解を図ります。また、登記簿等のオンライン閲覧や今後予想されるオンライン登記申請に伴う情報リテラシー（活用）能力を養います。

講義の内容・授業スケジュール

(前期) (1・2) 登記法概論 (3) 不動産登記法総則・商業登記法総則 (4～6) 民法典物権編総則にかかる不動産登記 (7～9) 所有権にかかる不動産登記 (10～13) 民法典相続編にかかる不動産登記
(後期) (14～18) 担保物権にかかる不動産登記 (19) 会社法第四章登記、商法第三章商業登記 (20～25) 会社法にかかる商業登記 (26) まとめ

履修上の留意点

不動産に関する取引全体の流れに対して、情報として重要な役割を果たす不動産登記を理解することを目指し、会社法と関連させることによって会社の起業や取引先の情報収集に役立つ商業登記法の知識を最低限習得できるように努めます。受講者は民法典第二編物権、第三編債権、第五編相続、会社法の履修を望みます。また、この講義を受講することが望ましい者として、将来、不動産・金融関係の会社に就職を希望する者、起業して自営業を目指す者、そして司法書士試験を受験したいと考えている者に限らず、広く対象とします。

成績評価の方法

学年末試験の結果と提出物（前期レポート）の内容に依拠して行います。問題作成及び成績評価にあたっては、講義に積極的に参加した人が有利になるように配慮します。

教科書

日本法令不動産登記研究会編『窓口の相談事例にみる事項別不動産登記のQ&A180選』2,200円
法務省民事局編『不動産登記実務〔五訂版〕』（法曹会）4,000円
『模範六法』（三省堂）5,460円

法
律

科目名	担当者名
税法	中江博行

講義のねらい

現代生活においては、我々は租税に無関心でいることはできない。なぜならば、日常生活では取引・契約は必ず発生し、そこには、通常、課税関係が生じる。そこで、本講義では、租税の機能・役割から、租税法上の考え方を身につけてもらう。

講義の内容・授業スケジュール

(前期)
1. 租税の目的・意義 2. 租税法主義の原則と租税回避について 3. 所得概念と所得税の基本構造 4. 税務調査
(後期)
1. 相続税法の基本構造 2. 法人税の課税根拠と企業利益 3. 消費税法のしくみ

履修上の留意点

会計学、財政学、簿記学等の科目の履修が望ましい。またレポートの提出を随時求めるが、提出がない場合には期末試験の受験資格を失うこともあるので注意すること。

成績評価の方法

講義中に課すレポート及び期末試験の結果を総合して評価する。(定期試験60%、レポート30%、講義の参加態度10%)

教科書

中江博行『法人税法講座』（税務経理協会）

参考書等

六法（税法掲載のもの）、別冊ジュリスト『租税判例百選』第4版（有斐閣）

その他

随時、税務・会計に関するメディア情報を取りあげる。世の中の動きに注意を払って貰いたい。質問は、原則、講義終了時に行うが、E-mail・ip5@p-five.comでも受け付ける。

講義のねらい

本講義の目的は、受講者に広く環境問題に関心を持たせることは言うまでもなく、「環境法」の法的枠組みを理解させ、「法」という道具を用いることで、各人が環境問題への具体的解決策を導くための糸口を与えることにある。履修者諸君には、本講義の履修後に、環境問題を一歩踏み込んで解釈・分析する視点を持つことが期待される。

講義の内容・
授業スケジュール

環境法に係る共通的な法理論・原則を概説した後、個別の実定環境法へと講義内容を展開する。1. 開講の辞、2. 環境法の歴史、3. 環境法の諸原則、4～5. 公害対策基本法から環境基本法へ、6～9. 廃棄物・リサイクルと法((1)～(4))、10. 化学物質管理と法、11～13. 大気・水・土壌環境保全と法((1)～(3))、14～15. 自然環境保全と法、16～17. 環境影響評価と法、18～20. 環境紛争と司法的・行政的解決((1)～(3))、21. 道路公害訴訟の現状と課題、22. 環境行政組織/公害紛争処理と環境ADR、23～24. 地球温暖化対策と法、25. 環境法における市民の役割、26. 最終講—環境法の未来

履修上の留意点

学生諸君との対話を重視し、頻繁に発言やメモの提出を求める。講義自体はパワーポイントやビデオ等を用い、視覚に訴えることで分かりやすさを心がけたい。講義内容は基礎的な事項を中心に進めるが、最新判例や理論の動向も加味していく。また、具体的な事例を取り上げ、それらの問題の所存や解決策を諸君とともに模索していく。

成績評価の方法

期末試験の成績(50%)及び平常点(出席点・発言点・レポート、50%)を総合的に評価する。詳しくは、開講時に説明する。

教科書

使用しない。

参考書等

別冊ジュリスト『環境法判例百選』(有斐閣)2004年等。
その他は授業時に指示する。

その他

講義においては、レジュメを配布する。

科目名

担当者名

経済法

わかばやしありま
若林亜理砂

講義のねらい

経済法の中心をなす独占禁止法を理解することを目標とする。独占禁止法は、市場における競争秩序の維持をになうものであるが、これは事業者の活動にかかわるのみならず、私たち消費者の生活にも密着している。この点を念頭に置き、講義では、なるべく多くの事例を紹介することにより、独占禁止法の解釈や運用について具体的なイメージをもって理解できるように進める予定である。

講義の内容・
授業スケジュール

以下のトピックについて講義を行う予定である。

- 1 独占禁止法の基礎概念
- 2 不当な取引制限
- 3 私的独占
- 4 一般集中規制
- 5 市場集中規制
- 6 不公正な取引方法
- 7 公正取引委員会
- 8 私的エンフォースメント・刑事罰

法
律

成績評価の方法

期末試験により評価を行う。

教科書

丹宗・厚谷編『新現代経済法入門（第2版）』（法律文化社）

参考書等

別冊ジュリスト『独禁法審決・判例百選（第六版）』（有斐閣）

その他

授業は毎回配布するレジメに基づいて進めることとする（基本的には教科書に沿ったものとなる予定である）。

講義のねらい

本講義では、民法の特別法としての消費者法についての概説を行います。消費者法という法典があるわけではありませんが、消費者を保護し、その権利を守るための法としてはさまざまなものがあります。私たちは消費者として生活に必要な商品を消費しながら暮らしていく中で、さまざまな法的トラブルに直線します。消費者を保護する法として、どのようなものがあるかを知ることは、健全な社会生活をおくる上で、とても大切なことです。本講義では民法についての基本的な知識を確認しながら、商品を買うときにだまされたとき、欠陥商品を買ってしまったときなど、消費生活上のさまざまな法的トラブルにいかに対処すべきか、事例を用いながら学んでいくことにします。

講義の内容・
授業スケジュール

本講義では前期に主に製造物責任法を、後期に主に消費者契約法を検討します。基本的な授業の進め方は以下の通りです。

前期：製造物責任法について

- 1 民法と製造物責任法
- 2 民法における不法行為責任についての確認
- 3 製造物責任法についての各論点の検討

後期：消費者契約法について

- 1 民法と消費者契約法
- 2 民法における契約責任についての確認
- 3 消費者契約法についての各論点の検討

履修上の留意点

消費者法は民法の特別法ですから、本講義の履修者には当然のことながら民法の基礎知識が必要となります。履修者は消費者法の各論点を検討する際には、必ず民法の体系を念頭においた考察をするように心がけてください。

成績評価の方法

期末試験と小テストによって評価します。

教科書

未定。授業の始めに指示します。

科目名

担当者名

知的財産権法

もり おか かず お
盛 岡 一 夫

講義のねらい

知的財産権法には、狭義の工業所有権法（特許法・実用新案法・意匠法・商標法）の他に著作権法等が含まれている。知的財産権法は知的所有権法または無体財産権法といわれることもある。

知的財産権法全般についての基礎理論を理解できるように、わかりやすく講義したいと考えている。学説・判例の対立している点については、これに関連する学説・判例を紹介し、問題点の所在をあきらかにしたい。

特許法においては、発明の定義、特許を受けるための要件、従業者が発明をした場合の法律関係、特許権の侵害に対する救済方法、実施契約等について、実用新案法においては、特許法との相違について、商標法については、商標登録要件および類似商標について詳しく解説する。著作権法および不正競争防止法についても講義する。

講義の内容・授業スケジュール

前期：4月・5月・6月 特許法・実用新案法、7月 意匠法
後期：9月・10月 商標法、11月 著作権法、12月 不正競争防止法

成績評価の方法

後期に行なう平常試験および学年末試験によって評価する。

教科書

盛岡一夫『知的財産法概説』（法学書院）

参考書等

特許庁編『工業所有権法逐条解説』（発明協会） 中山信弘『工業所有権法上』（弘文堂）
鴻・紋谷・中山編『特許判例百選』（有斐閣） 齊藤・半田『著作権判例百選』（有斐閣）

法
律

科目名	担当者名
民事執行・保全法	福永清貴

講義のねらい

本講義では、民事執行・民事保全の両手続のうち、とくに民事執行手続を中心に、その解釈上の重要問題と全体構造の理解を目標とする。

講義の内容・授業スケジュール

前期には、まず総論として、判決手続・執行手続・保全手続の概要や執行手続の種類・態様、民事執行手続の理念・基本構造等について説明する。その後、各論として、執行手続の主体(執行当事者と執行機関)、強制執行手続(債務名義・執行文・執行関係訴訟等)について講義する。後期には、金銭執行・非金銭執行・担保権実行手続について説明し、民事保全手続(保全命令の発令手続・不服申立手続・保全執行)について講義する予定である。

履修上の留意点

民放(特に債務法総論・担保物権法)および民事訴訟法を履修していることが望ましい。

成績評価の方法

前・後期の期末試験の成績によって行う。

教科書

上原敏夫・長谷部由起子・山本和彦著『民事執行・保全法』(有斐閣) 1,800円
ISBN4-641-12211-3

参考書等

民事執行法判例百選、その他適宜紹介する。

その他

授業方法は、講義形式である。但し、受講生が少数の場合は、ゼミ形式で行うこともある。適宜、プリントや資料を配布し、毎回具体的な事件を題材として講義する予定である。

法
律

科目名	担当者名
倒産処理法	鈴木貴博

講義のねらい

破産法を中心に倒産法制的概要とその基本事項に関する理解を深める。

講義の内容・授業スケジュール

倒産処理手続は、債務者、債権者、担保権者など多数の利害関係人の利益が錯綜する。そのため、手続の基準は債権者の平等な取扱いや社会経済上の不利益の回避といった要請に応え、多数の利害関係人を納得させるように機能することが期待される。このような手続の必要に伴う法律関係の修正・変更について手続の概要とともにまなんでいくことにする。

- | | |
|-----------------|-------------|
| 1. 倒産法制的概観 | 6. 財団再建・取戻権 |
| 2. 破産原因・破産能力 | 7. 破産手続の主体 |
| 3. 破産申立てと破産宣告手続 | 8. 否認権・配当 |
| 4. 別除権・相殺権 | 9. 免責・破産犯罪 |
| 5. 破産財団をめぐる法律関係 | |

履修上の留意点

民事法関連科目(民法・商法・民事訴訟法など)を履修済みであることが望ましい。その他、受講にあたって必要なことは開講時に指示する。

成績評価の方法

簡単なレポートと定期試験の総合評価により行う。

教科書

徳田和幸『プレップ破産法』第3版(弘文堂) 2005年 1,260円

参考書等

山本和彦『倒産処理法入門』第2版(有斐閣) 2005年 2,100円
伊藤眞『破産法』第4版(有斐閣) 2005年 4,200円
青山善充・伊藤眞・松下淳一編『倒産判例百選』第3版(有斐閣) 2005年 2,730円

科目名**担当者名**

法哲学

たかほしひろき
高橋洋城**講義のねらい**

本講義では、近現代法の仕組・思考方法の基礎について検討するために必要な様々な分析枠組、原理や概念等々を学び、批判的思考のツールとして、他の法律学の学習や日常的な法との関わりの中で使えるものにしていくことを第一の目標とする。その過程では、しばしば「当然だと思っていたことが違ってわからなくなる」こともあろう。しかし「あらためて考え直してみる」という過程で、様々な思想や思考法に触れ理解を深めることは、将来、自らの力であらためて根本的な問題を考えてゆくための手がかり・突破口を得ることにもつながるであろう。

講義の内容・授業スケジュール

法理論史において繰り返し論じられてきた諸トピックの中から以下の論点をとりあげ、本年度の講義の大項目とする。各項目の中では、理論的分析、思想史的背景、さらに現代の具体的な諸問題を念頭に置いた検討を加えていく。項目によって扱いは異なるが、できるだけ具体的な諸問題と法哲学的問題の関連が理解できるような授業の進行を心がけるつもりである。

法
律

- ・近代法の特徴
- ・自然法論と法実証主義
- ・法と道徳について
- ・法と正義について
- ・法の客観性と法解釈

さらに詳細な項目ごとの具体的内容については、KOMSY 詳細情報画面にて開講時までに予告するので、受講者は必ず確認しておくこと。

履修上の留意点

講義に際しては、受講者において、少なくとも本講義履修対象年次までの必修科目についてその基本的・原理的部分の理解があることを前提に進める。その点に不安がある場合には、受講にあたって十分な自助努力が必要となることを了解しておいてほしい。

成績評価の方法

年度末の定期試験を主とし、授業時間内の小テスト等による平常点（前後期各2～3回程度実施の予定であるが詳細は授業の進捗状況による）を加味して評価する。以上についての詳細やその他の評価基準・方針は開講時に伝えるので、聞き逃さないように出席すること。

教科書

平野仁彦他『法哲学』（有斐閣）2,205円

参考書等

開講時に紹介する。

科目名	担当者名
法律学特殊講義〔法女性学〕	堀口悦子

講義のねらい

現行の法律や司法制度を、女性視点から見直すこと。一見中立に見える法律等の中に内在する、ジェンダー・バイアスを考える力をつけること。

講義の内容・授業スケジュール

前期：女性差別撤廃条約などの国際人権法や、男女共同参画社会基本法、国籍法、家族法、均等法などの労働法等について学ぶ。

後期：女性に対する暴力を中心に、リプロダクティブ・ライツなどの新しい人権、および社会保障、年金、税金等について学ぶ。

履修上の留意点

新聞や雑誌、インターネットのニュースなどに関心を持ってください。指定した教科書などの内容を、事前に読んでおいてください。

成績評価の方法

期末のレポート、学期中の小レポート、学期中の課題図書の後レポート、平常点を総合して判断する。

教科書

浅倉むつ子監修『導入対話によるジェンダー法学』（不磨書房）2,400円
ISBN4-7972-9130-3

参考書等

ジョニー・シーガー『地図で見る世界の女性』（明石書店）2,500円
ISBN4-7503-2061-7
矢澤澄子監修『女性問題キーワード111』（ドメス出版）1,700円
ISBN4-8107-0453-X C0036

その他

講義形式、プリント配布適宜、レジュメ配布適宜、ビデオ等適宜使用

法
律

科目名	担当者名
財政学	里中恆志

講義のねらい

財政意志の形成、租税負担配分、歳出の効率と合理性等について基礎的な判断能力を養う。

講義の内容・授業スケジュール

(第1回)年間授業計画の説明、(第2回)公共財と公共部門、(第3回)財政収入の歴史、(第4回)予算編成と査定、(第5回)予算編成と政党、(第6回)予算政府案と議会審議、(第7回)予算の執行と競争入札、(第8回)予算の政治過程、(第9回)租税原則学説、(第10回)給与所得税、(第11回)申告所得税と累進課税、(第12回)法人税と徴税技術、(第13回)国際化と移転価格税制、(第14回)一般消費税と付加価値、(第15回)地方税と地方歳出、(第16回)地方財政調整の制度、(第17回)機関費と純粋公共財、(第18回)公共事業費と費用=便益分析、(第19回)公共事業費と公共財産の形成、(第20回)社会保障関係費と所得再分配、(第21回)補助金とスピルオーバー、(第22回)公債と公債費負担、(第23回)総需要管理政策と国民所得、(第24回)課税乗数と均衡予算定理、(第25回)公債による財源調達と債券価格、(第26回)大量国債の累積と限界、(第27回)財政金融政策と国際収支、(第28回)財政投融资と政府貯蓄、(第29回)試験と評価についての説明

履修上の留意点

関連科目として「価格理論」、「国民所得論」、「行政法」の履修が望ましい。

成績評価の方法

年度末テストとして行われる筆記試験による。試験は論述式による。自筆のノート持込可。

教科書

里中恆志=八巻節夫編著『新財政学』（文眞堂）3,200円 ISBN 4-8309-4195-2 C3303

参考書等

北川力編『図説日本の財政』各年度版（東洋経済新報社）
中谷巖著『入門マクロ経済学』（日本評論社）

その他

授業の方法は講義形式による。

科目名	担当者名
経済政策	もり おか じん 森 岡 仁

講義のねらい

経済学の実践部門としての経済政策が自由主義経済に成立した過程と、そこではたす役割を明らかにする。人口高齢化や少子化の経済的帰結にも言及し、最後に高齢化社会における経済政策と人口政策の関係を論ずる。

講義の内容・授業スケジュール

I. 現代経済と経済政策 II. 経済政策学の発展 III. 現代経済政策の課題 IV. 経済の成長政策 V. 経済の安定政策 VI. 産業組織政策 VII. 社会均衡化政策 VIII. 経済政策と人口政策

履修上の留意点

日常生活に生起する経済問題に日頃から関心を抱き、自分達の身の回りにある経済問題の解決手段として経済政策を考え、学ぶことが大切である。

成績評価の方法

学年末の定期試験、授業の出席状況

教科書

森岡他著『現代経済政策』（千倉書房）1975年

法
律

科目名	担当者名
社会政策	はら だ けいいちろう 原 田 啓一郎

講義のねらい

社会政策は、市場経済の限界や市場経済が生み出す弊害から、人々を保護し、国民生活のリスクを社会的に軽減、防止する目的で発展してきたものである。本講義では、社会政策の理論的理解を行なうとともに、社会政策の過去と現状を再評価しながら、社会政策の課題を展望することを目的とする。具体的には、労働政策・社会保障政策について、法学・経済学・社会学・政治学などの知見を用いながら、理論的課題を学際的かつ多角的視点で理解する。

講義の内容・授業スケジュール

- I 社会政策の原理
 - 1 社会政策とは
 - 2 社会政策の歴史
 - 3 福祉国家と福祉社会
- II 社会政策の諸相
 - 1 労働時間と社会政策
 - 2 賃金と社会政策
 - 3 労働市場と社会政策
 - 4 所得保障と社会政策
 - 5 サービス保障と社会政策
- III 社会政策の理論的視点

成績評価の方法

原則、筆記試験の結果によって成績判定を行う。出席はとらない。ただし、出席せずして単位を取得できるほどやさしい評価ではないことに留意されたい。

教科書

講義開講時に指定する。

参考書等

参考文献については、適宜指示する。

その他

日頃より新聞、雑誌等で社会の動向を注視してほしい。

講義のねらい

本演習は、旧応用憲法演習が改組された経過を踏まえ、憲法を中心に演習を行っていきます。特徴としては、弁護士が担当することで実務における法の適用のされ方を踏まえた、憲法の諸論点の理解並びに法解釈能力を養うことを目的とし、あわせて種々の国家試験や法科大学院への進学も念頭に置いていきたいと思ひます。また、法律実務に関する諸問題についても適宜ご紹介していきたいと思ひています。

講義の内容・授業スケジュール

憲法の中でも基本的人権論を中心に取り上げ、それに関連する形で統治機構論・憲法訴訟論を加味していく予定です。基本的には近年問題となった実際の事件・判決を題材にしていきたいと思ひます。

検討テーマの一例を挙げると下記のとおりです（括弧内は一昨年度、昨年度取り上げた事例です）。

- 1 基本的人権総論
- 2 基本的人権の限界－公共の福祉論
（死刑の合憲性をめぐる問題）
- 3 基本的人権の享有主体
（外国人の公務就任権の可否）
- 4 精神的自由権を規制する法律の合憲性審査基準
表現の自由・検閲の禁止・事前抑制の原則的禁止の法理
（週刊文春事件）
表現の自由・明確性の基準
（青少年保護育成条例事件）
信教の自由・政教分離原則
（内閣総理大臣靖国神社公式参拝訴訟）
- 5 経済的自由権を規制する法律の合憲性審査基準
職業選択の自由・営業の自由
（プロ野球のドラフト制度の是非）
- 6 社会権を巡る問題
生存権（生活保護費貯蓄容認判決）
教育を受ける権利・特別権力関係論・部分社会の法理
- 7 法の下での平等（議員定数不均衡事件判決）
- 8 その他

履修上の留意点

出席を成績評価の1要素としますので、出席を取ります。また、本演習を受講した後の復習をしていただきたいと思ひます。

成績評価の方法

出席とレポートで評価する予定です。レポートは後期終了時に提出してもらひ予定です。

教科書

芦部信喜・高橋和之補訂『憲法第三版』（岩波書店）
芦部信喜・高橋和之・長谷部恭男編『別冊ジュリスト 憲法判例百選Ⅰ・Ⅱ（第四版）』（有斐閣）

参考書等

演習の都度、レジュメを配布する予定です。
高橋和之著『立憲主義と日本国憲法』（有斐閣）も副読本としては適当かと思ひます。

その他

前記のとおり、弁護士の業務内容その他の法律実務の話等も適宜行っていきたいと思ひます。

科目名

担当者名

実務演習Ⅱ

鶴井 俊吉・上野 雅祥
小林 覚・杉山 真一

講義のねらい

本演習は、民法の領域を中心に演習を行っていきます。その特徴は、①法科大学院への準備段階として、専門領域について精通している経験豊かな弁護士を中心に、双方向授業を行うこと。②法曹になるための前提として、大学院試験等を念頭に入れ、単なる知識をつめこむという演習ではなく、柔軟な物の考え方のできる頭の訓練をすること、の2点である。

講義の内容・授業スケジュール

演習内容は、三名の弁護士と相談して決定するが、基礎民法演習で学んできたことを前提として、ケース・スタディーなど実践的な内容の比重が大きくなると思われる。具体的事案の解決にあたって、今まで学んできた民法の基本原則をどのように活用し、法律構成して妥当な結論に導くかという、理論的思考を重視した演習になる。そのために、積極的に討論に参加できるように希望する。

検討するテーマは、受講者決定後にプリントを配布する予定です。

履修上の留意点

本演習の性質上、民法総則・物権・債権等を履修している学生を対象とする。なお、受講者が多数の場合は、最初の演習の時間に選択を行う予定です。全員が成績証明書を持参して下さい。

成績評価の方法

出席状況と平常点で総合評価する。

参考書等

演習の都度、適宜指示する。

法
律

科目名

担当者名

実務演習Ⅲ

木村美隆

講義のねらい

実定法上のひとつである刑法は、現実の社会への適用を前提に存在している。そうであれば、その適用の現実を知ることは、刑法の学習上不可欠でもあることは言うまでもないし、ひいては大学での学習と実社会との接点を知ることにともなる。またこれを検討することによって、これまで学んできた知識の正確さが問われるとともに、さらには新たな興味が喚起されることともなっており、より高いレベルへの学習の契機となるはずである。

講義の内容・授業スケジュール

このような視点から、基礎刑法演習等で充分時間をとって紹介することのできなかった刑法の重要判例を、総論、各論の分野にとらわれずとりあげ、これを素材に社会に生起する現実の事件に対する刑法の適用の姿を知ることとしたい。

履修上の留意点

この講義を有意義なものとするためには、受講者は、単に判例を知識として集積しようというだけでなく、常にこれを批判的に検討しようとする姿勢が大切である。

成績評価の方法

講義で取り上げた判例のうち、任意のものをテーマにレポートを提出してもらい、成績を評価することとしたい。

参考書等

教科書、参考書としては、開講の際、受講者が入手しやすい学生向けの判例集を紹介するが、できれば、各判例の原典に当たってみることをお勧めしたい。

科目名**担当者名**

現代産業事情Ⅲ

代田 純

講義のねらい

野村證券の提供による本講座は、「資本市場の役割と証券市場」をテーマとして、野村證券、野村総合研究所の現役スタッフによって講義される。証券投資に関する基礎から出発するので、初学者でも問題ない。証券業界への就職を検討する学生には、適している。

**講義の内容・
授業スケジュール**

- 1 ガイダンス
- 2 経済情報のとらえ方
- 3 経済成長と金融資本市場
- 4 証券投資のリスクとリターン
- 5 株式市場の役割
- 6 債券市場の役割
- 7 投資信託の役割
- 8 ポートフォリオの考え方
- 9 市場のグローバル化
- 10 資産運用とライフプランニング
- 11 資本市場と投資家心理
- 12 個人投資家
- 13 ベンチャーとIPO

法
律**成績評価の方法**

出席点とレポート点で評価する。

教科書

毎回、レジュメを配布する。パワーポイントによる授業となる予定。

参考書等

代田 純『日本の株式市場と外国人投資家』（東洋経済）2002年。

その他

野村證券の寄付講座であり、私語は厳禁する。受講態度に問題がある場合、退室を指導することがある。4年生が就職活動で遅刻する場合を除き、遅刻は認めない。

法
律

II 專 門 教 育 科 目

2 政 治 学 科

政
治

政

治

Ⅱ. 専門教育科目

※印の科目については、法律学科フレックスAの専門教育科目のページを参照してください。

(2) 政治学科

科目名	配当学科	開講区分	単位	担当者名	ページ
政治学概論	政治1必	通年	4	前期：早川純貴 後期：浦田早苗	363
政治学概論	政治1必	通年	4	前期：浦田早苗 後期：早川純貴	364
政治学概論	政治1必	通年	4	前期：中野裕二 後期：三竹直哉	365
憲法	政治1必	通年	4	竹花光範	366
政治学原論	15以降入学生／政治1・2・3・4選必 14以前入学生／政治2必	通年	4	大塚桂	367
現代政治理論	15以降入学生／政治1・2・3・4選必 14以前入学生／政治2・3・4選必	通年	4	白鳥浩	368
日本政治論	政治1・2・3・4選必	通年	4	大山礼子	369
政治思想史	15以降入学生／政治1・2・3・4選必 14以前入学生／政治2・3・4選必	通年	4	清滝仁志	370
行政学	15以降入学生／政治1・2・3・4選必 14以前入学生／政治2・3・4選必	通年	4	田丸大	371
国際政治学	政治1・2・3・4選必	通年	4	小堀訓男	371
政治制度論	政治1・2・3・4選必	通年	4	大山礼子	372
政治過程論	政治1・2・3・4選必	通年	4	早川純貴	373
日本政治史	15以降入学生／政治1・2・3・4選必 14以前入学生／政治2・3・4選必	通年	4	村井良太	373
ヨーロッパ政治史	政治1・2・3・4選必	通年	4	浦田早苗	374
地方行政	政治2・3・4選必(行政メディア) 政治2・3・4選(国際) 14以前入学生／政治2・3・4選必	通年	4	内海麻利	374
政策決定論	政治2・3・4選必(行政メディア) 政治2・3・4選(国際) 14以前入学生／政治2・3・4選必	通年	4	田丸大	375
行政法総論	政治2・3・4選必(行政) 政治2・3・4選(国際メディア) 14以前入学生／政治2・3・4選必	通年	4	仲田孝仁	376
行政法各論	政治2・3・4選必(行政) 政治2・3・4選(国際メディア) 14以前入学生／政治2・3・4選必	通年	4	薄井一成	377
地方自治法	政治2・3・4選必(行政) 政治2・3・4選(国際メディア) 14以前入学生／政治2・3・4選必	通年	4	富井幸雄	378
民法(総則・物権法)	政治2・3・4選必(行政) 政治2・3・4選(国際メディア) 14以前入学生／政治2・3・4選	通年	4	須賀昭徳	379

刑法総論	政治2・3・4選必(行政) 政治2・3・4選(国際メディア) 14以前入学生/政治2・3・4選	通年	4	佐藤多美夫	380
※労働法	政治2・3・4選必(行政) 政治2・3・4選(国際メディア) 14以前入学生/政治2・3・4選	通年	4	藤本茂	300
※刑事政策	政治2・3・4選必(行政) 政治2・3・4選(国際メディア) 14以前入学生/政治2・3・4選	通年	4	覚正豊和	314
※社会政策	政治2・3・4選必(行政) 政治2・3・4選(国際メディア) 14以前入学生/政治2・3・4選	通年	4	原田啓一郎	350
環境政策	政治2・3・4選必(行政) 政治2・3・4選(国際メディア) 14以前入学生/政治2・3・4選必	通年	4	横田匡紀	381
国際関係論	政治2・3・4選必(国際) 政治2・3・4選(行政メディア) 14以前入学生/政治2・3・4選必	通年	4	三船恵美	382
比較政治学	政治2・3・4選必(国際メディア) 政治2・3・4選(行政) 14以前入学生/政治2・3・4選必	通年	4	三竹直哉	383
国際行政学	政治2・3・4選必(国際) 政治2・3・4選(行政メディア) 14以前入学生/政治2・3・4選必	通年	4	福田耕治	384
国際経済学	政治2・3・4選必(国際) 政治2・3・4選(行政メディア) 14以前入学生/政治2・3・4選必	通年	4	徳永俊明	385
国際法	政治2・3・4選必(国際) 政治2・3・4選(行政メディア) 14以前入学生/政治2・3・4選必	通年	4	齋藤洋	386
北米政治論(1)	政治2・3・4選必(国際) 政治2・3・4選(行政メディア) 14以前入学生/政治1・2・3・4選必	半期	2	小堀訓男	386
北米政治論(2)	政治2・3・4選必(国際) 政治2・3・4選(行政メディア) 14以前入学生/政治1・2・3・4選必	半期	2	小堀訓男	387
東南アジア政治論(1)	政治2・3・4選必(国際) 政治2・3・4選(行政メディア) 14以前入学生/政治1・2・3・4選必	半期	2	中村正志	387
東南アジア政治論(2)	政治2・3・4選必(国際) 政治2・3・4選(行政メディア) 14以前入学生/政治1・2・3・4選必	半期	2	深尾康夫	388
中国政治論(1)	政治2・3・4選必(国際) 政治2・3・4選(行政メディア) 14以前入学生/政治1・2・3・4選必	半期	2	竹花光範	388

中国政治論(2)	政治2・3・4選必(国際) 政治2・3・4選(行政メディア) 14以前入学生/政治1・2・3・4選必	半期	2	竹花光範	389
ヨーロッパ政治論(1)	政治2・3・4選必(国際) 政治2・3・4選(行政メディア) 14以前入学生/政治1・2・3・4選必	半期	2	中野裕二	389
ヨーロッパ政治論(2)	政治2・3・4選必(国際) 政治2・3・4選(行政メディア) 14以前入学生/政治1・2・3・4選必	半期	2	中田瑞穂	390
ヨーロッパ政治論(3)	政治2・3・4選必(国際) 政治2・3・4選(行政メディア) 14以前入学生/政治1・2・3・4選必	半期	2	浅見政江	390
ヨーロッパ政治論(4)	政治2・3・4選必(国際) 政治2・3・4選(行政メディア) 14以前入学生/政治1・2・3・4選必	半期	2	浅見政江	391
アラブ・イスラム政治論	政治2・3・4選必(国際) 政治2・3・4選(行政メディア) 14以前入学生/政治1・2・3・4選必	半期	2	中島勇	391
中南米政治論	政治2・3・4選必(国際) 政治2・3・4選(行政メディア) 14以前入学生/政治1・2・3・4選必	半期	2	岸川毅	392
比較都市論	政治2・3・4選必(国際メディア) 政治2・3・4選(行政) 14以前入学生/政治2・3・4選	通年	4	内海麻利	392
マス・コミュニケーション論	政治2・3・4選必(メディア) 政治2・3・4選(行政国際) 14以前入学生/政治1・2・3・4選必	通年	4	相田敏彦	393
数量政治学	政治2・3・4選必(メディア) 政治2・3・4選(行政国際) 14以前入学生/政治2・3・4選必	通年	4	水戸克典	394
メディア社会論	政治2・3・4選必(メディア) 政治2・3・4選(行政国際) 14以前入学生/政治2・3・4選必	通年	4	相田敏彦	395
政治心理学	政治2・3・4選必(メディア) 政治2・3・4選(行政国際) 14以前入学生/政治2・3・4選必	通年	4	真下英二	396
政治社会学	政治2・3・4選必(メディア) 政治2・3・4選(行政国際) 14以前入学生/政治2・3・4選必	通年	4	中野裕二	397
政治経済学	政治2・3・4選必(メディア) 政治2・3・4選(行政国際) 14以前入学生/政治2・3・4選	通年	4	白鳥浩	398
比較メディア論	政治2・3・4選必(メディア) 政治2・3・4選(行政国際) 14以前入学生/政治2・3・4選	通年	4	前期：岩崎宇雄 後期：島中誠	399
基礎演習	政治2選	通年	4	相田敏彦	399
基礎演習	政治2選	通年	4	内海麻利	400

基礎演習	政治 2 選	通年	4	浦田早苗	400
基礎演習	政治 2 選	通年	4	大山礼子	401
基礎演習	政治 2 選	通年	4	清滝仁志	402
基礎演習	政治 2 選	通年	4	小堀訓男	402
基礎演習	政治 2 選	通年	4	田丸大	403
基礎演習	政治 2 選	通年	4	三竹直哉	404
基礎演習	政治 2 選	通年	4	三船恵美	404
基礎演習	政治 2 選	通年	4	中野裕二	405
基礎演習	政治 2 選	通年	4	早川純貴	406
基礎演習	政治 2 選	通年	4	村井良太	406
比較憲法	政治 2・3・4 選	通年	4	館田昌子	407
現代国家論	15以降入学生/政治 2・3・4 選 14以前入学生/政治 2・3・4 選必	通年	4	大塚桂	408
国家安全保障論	15以降入学生/政治 2・3・4 選 14以前入学生/政治 2・3・4 選必	通年	4	小堀訓男	409
外交史	15以降入学生/政治 2・3・4 選 14以前入学生/政治 2・3・4 選必	通年	4	村井良太	409
※日本法制史	政治 2・3・4 選	通年	4	茂野隆晴	308
※西洋法制史	政治 2・3・4 選	通年	4	北野かほる	309
※英米法	政治 2・3・4 選	通年	4	北野かほる	318
会社法	政治 2・3・4 選	通年	4	川口幸美	410
※経済法	政治 2・3・4 選	通年	4	若林亜里砂	344
※国際紛争解決法	政治 2・3・4 選	通年	4	王志安	303
※刑法各論	政治 2・3・4 選	通年	4	山口邦夫	292
民法 (債権)	政治 2・3・4 選	通年	4	上井長久	411
※社会保障法	政治 2・3・4 選	通年	4	原田啓一郎	301
社会学原理	政治 2・3・4 選	通年	4	休講	
※財政学	15以降入学生/政治 2・3・4 選 14以前入学生/政治 2・3・4 選必	通年	4	里中恆志	349
※経済原論	政治 2・3・4 選	通年	4	鈴木伸枝	312
※経済政策	政治 2・3・4 選	通年	4	森岡仁	350
農業政策	政治 2・3・4 選	通年	4	溝手芳計	412
工業政策	政治 2・3・4 選	通年	4	奥山雅之	413
商業政策	政治 2・3・4 選	通年	4	岩下弘	414
地方財政論	政治 2・3・4 選	通年	4	篠原章	415
交通論	政治 2・3・4 選	通年	4	休講	
地域計画論	政治 2・3・4 選	通年	4	原昭夫	416
政治学特殊講義(1)	政治 2・3・4 選	半期	2	内海麻利	416
政治学特殊講義(2)	政治 2・3・4 選	半期	2	中野裕二	417
政治学特殊講義(3)	政治 2・3・4 選	半期	2	三船恵美	418
政治学特殊講義(4)	政治 2・3・4 選	半期	2	大山礼子	419
外書講読Ⅰ (英書)	政治 3 選	通年	4	相田敏彦	419
外書講読Ⅱ (英書)	政治 4 選				
外書講読Ⅰ (英書)	政治 3 選	通年	4	清滝仁志	420
外書講読Ⅱ (英書)	政治 4 選				
外書講読Ⅰ (英書)	政治 3 選	通年	4	三竹直哉	421
外書講読Ⅱ (英書)	政治 4 選				

※外書講読Ⅰ (独書)	政治3選	通年	4	松村裕	340
※外書講読Ⅱ (独書)	政治4選				
※外書講読Ⅰ (仏書)	政治3選	通年	4	中野裕二	341
※外書講読Ⅱ (仏書)	政治4選				
※外書講読Ⅰ (中国書)	政治3選	通年	4	江林英基	341
※外書講読Ⅱ (中国書)	政治4選				
現代企業論	政治3・4選	半期	2	代田純	422
演習Ⅰ	政治3選	通年	4	浦田早苗	422
演習Ⅰ	政治3選	通年	4	清滝仁志	423
演習Ⅱ	政治4選				
演習Ⅰ	政治3選	通年	4	田丸大	424
演習Ⅰ	政治3選	通年	4	中野裕二	424
演習Ⅱ	政治4選				
演習Ⅰ	政治3選	通年	4	早川純貴	425
演習Ⅰ	政治3選	通年	4	三船惠美	425
演習Ⅱ	政治4選				
演習Ⅰ	政治3選	通年	4	相田敏彦	426
演習Ⅱ	政治4選				
演習Ⅰ	政治3選	通年	4	内海麻利	426
演習Ⅱ	政治4選				
演習Ⅰ	政治3選	通年	4	大山礼子	427
演習Ⅱ	政治4選				
演習Ⅰ	政治3選	通年	4	大塚桂	427
演習Ⅱ	政治4選				
演習Ⅰ	政治3選	通年	4	小堀訓男	428
演習Ⅱ	政治4選				
演習Ⅰ	政治3選	通年	4	竹花光範	428
演習Ⅱ	政治4選				
※演習Ⅰ	政治3選	通年	4	西修	333
※演習Ⅱ	政治4選				
※演習Ⅰ	政治3選	通年	4	日笠完治	335
※演習Ⅱ	政治4選				
演習Ⅰ	政治3選	通年	4	三竹直哉	429
演習Ⅱ	政治4選				
演習Ⅰ	政治3選	通年	4	村井良太	430
演習Ⅱ	政治4選				
※演習Ⅰ	政治3選	通年	4	山口邦夫	336
※演習Ⅱ	政治4選				
演習Ⅱ	政治4選	通年	4	浦田早苗	430
演習Ⅱ	政治4選	通年	4	田丸大	431
演習Ⅱ	政治4選	通年	4	早川純貴	431

政治

政
治

講義のねらい

本講義は3コース(=専門課程)に向けて最初のステップとして、各コースの基本的知識を習得し、各自の政治に対する問題関心を養っていくために設けられている。専門用語や理論の講義に際しては、できるだけ具体的事例に即して説明していきたい。

講義の内容・授業スケジュール

【前期】

- ①現代日本の政治システムとその問題点
- ②官僚と天下り
- ③日本社会の特異性
- ④自由・権利・公共
- ⑤第二次大戦後の国際政治の軌跡
- ⑥西欧の政治制度

【後期】

- ①行動論政治学とその批判
- ②権力論 [実体論と関係論]
- ③多元主義論と権力エリート論
- ④政党について
- ⑤利益団体について
- ⑥政治参加について [政治的関心、政治的社会化、投票行動、マス・メディア]

履修上の留意点

政治学は権力の形成・行使・監視にかかわる事象を扱う科学であり、権力は悪魔的魅力を有する存在でもある。権力への評価は常に価値の対立を内在する。つまり政治学とはさまざまな価値が交錯する学問であり、薄っぺらな理想論者ではなく、冷徹な現実主義者が学ぶ学問でもある。

成績評価の方法

前後期に試験を実施する。

教科書

前期は教科書を使用する。早川・大山・内海・田丸『政策過程論』(学陽書房)2004年2,600円

参考書等

参考文献については講義の中で随時紹介する。

講義のねらい

本講義は3コース(=専門課程)に向けて最初のステップとして、各コースの基本的知識を習得し、各自の政治に対する問題関心を養っていくために設けられている。専門用語や理論の講義に際しては、できるだけ具体的事例に即して説明していきたい。

講義の内容・
授業スケジュール

【前期】

- ①現代日本の政治システムとその問題点
- ②官僚と天下り
- ③日本社会の特異性
- ④自由・権利・公共
- ⑤第二次大戦後の国際政治の軌跡
- ⑥西欧の政治制度

【後期】

- ①行動論政治学とその批判
- ②権力論 [実体論と関係論]
- ③多元主義論と権力エリート論
- ④政党について
- ⑤利益団体について
- ⑥政治参加について [政治的関心、政治的社会化、投票行動、マス・メディア]

政
治

履修上の留意点

政治学は権力の形成・行使・監視にかかわる事象を扱う科学であり、権力は悪魔的魅力を有する存在でもある。権力への評価は常に価値の対立を内在する。つまり政治学とはさまざまな価値が交錯する学問であり、薄っぺらな理想論者ではなく、冷徹な現実主義者が学ぶ学問でもある。

成績評価の方法

前後期に試験を実施する。

教科書

後期は教科書を使用する。早川・大山・内海・田丸『政策過程論』(学陽書房)2004年2,600円

参考書等

参考文献については講義の中で随時紹介する。

講義のねらい

本講義は3コース(=専門課程)に向けて最初のステップとして、各コースの基本的知識を習得し、各自の政治に対する問題関心を養っていくために設けられている。専門用語や理論の講義に際しては、できるだけ具体的事例に即して説明していきたい。

講義の内容・
授業スケジュール

【前期】

指定したテキストの内容にそって、政治学の全体を概観する。

- 序 政治学を勉強してみませんか——政治学の視点
- 1 えっ!!! 投票するのは? 誰に投票するのは?——選挙を科学する, 投票行動の研究
 - 2 テレビが政治をつくる?——マスメディアと政治意識
 - 3 政治家ってどんな人?——野心と理念
 - 4 思想と理念の絡み合い——政党, 自民党長期政権の終わり
 - 5 官僚ってどんな人?——官僚制
 - 6 変わる「コネ」社会 日本——ネットワーク社会の政治と利益団体
 - 7 政策のつくられ方——政策過程
 - 8 目立たない最高権力者——孤独な首相
 - 9 自立の気概——日本に地方自治はあるの?
 - 10 世界はどこへ行く?——国際政治
 - 11 役に立つ(?)内政干渉——相互依存下の国際関係
 - 12 21世紀の試練——政治改革と構造改革

政治

【後期】

前期の政治学概論や一年次にとることができる政治学科の授業ではあまり扱われないいくつかのトピックをとりあげる。可能なかぎり多くの授業内活動を行うことによって、社会科学的な思考能力を訓練する。映像教材を多く使用する予定。ただし、教場の条件、参加者の人数や「やる気」などによって、授業のやり方は変わってくる。また、取りあげるトピックは、日本の政治状況や世界情勢の変化にあわせて決めるので、下記のトピックはあくまで例である。

トピック例: 女性と政治、君主制(日本の天皇制を含む)、民族問題、マイノリティ、移民政策、国際協力、生命倫理と政治

履修上の留意点

- ・前後期を通じてきちんと出席すること。
- ・出された課題は必ずやること。
- ・新聞を読むこと。

成績評価の方法

前期と後期の得点を、前期50%後期50%の割合で合計して素点とする。

【前期】前期の最終回に前期の期末テストを実施する。その他、授業時間中にミニテストを行う予定。

【後期】平常点と期末テストによる。

教科書

前期は教科書を使用する。伊藤光利編『ポリティカル・サイエンス事始め(新版)』(有斐閣) 2003年 1,900円+税 ISBN: 4641086958

講義のねらい

本講義は、憲法とは何か、憲法はどうあらねばならないかといった視点からの考察を中心に、日本国憲法の実在性格を明らかにすることを目的としている。すなわち、日本国憲法が、どのような存在にいたったのか（憲法の成立過程）、日本国憲法は、どのような憲法として存在しているのか（憲法の性格と特色）、日本国憲法の実在が、どのような結果を生ぜしめているのか（憲法の施行状況）といったことを明らかにしようというのである。

講義の内容・授業スケジュール

そのため、全体を二つに分け、前半は総論的講義、後半は各論的講義を行う。前半の総論的講義は、次のような章節から構成される。

第一章 憲法概念と歴史

(一) 憲法とは (二) 憲法の種類 (三) 憲法の歴史

第二章 日本国憲法成立の経緯と法理

(一) 日本国憲法成立の経緯 (二) 日本国憲法成立の法理

第三章 日本国憲法の特質

(一) 日本国憲法の基本原理 (二) 日本国憲法の特異性

各章節の内容は、それぞれの表題からほぼ明らかなものと思われるが、第一章では、憲法とはどのような規範か、憲法にはどのような種類があるのか、成文の憲法はどのようにして生まれ、どのような発展をとげて今日にいたっているのかについて述べる。なお、我が国における憲法の歩みということで、明治憲法の成立過程、同憲法の主な内容、成立後の展開についても概説する。

第二章では、現行日本国憲法が、どのようなプロセスをへて成立するにいたったのか（アメリカの対日政策、極東委員会の動き、日本政府の対応、GHQ 民政局の役割、第九〇帝国議会での審議状況等）、日本国憲法の成立を法理上どのように説明したらよいか（明治憲法との関係、占領下の改憲をどう考えるか、八月革命説、改正憲法説、無効論の是非等）を論じる。

第三章では、憲法の分類上から認められる日本国憲法の特異性（例えば、民定憲法なのか、欽定憲法なのか、協約憲法なのか、はたまた占領憲法とよぶべき憲法なのかといった、憲法を成立せしめた主体をめぐって争いがある点等）を指摘し、そのような日本国憲法が、どのような基本原理に依って立っているのか（国民主権の原理、象徴天皇制の原理、平和主義の原理、基本的人権尊重主義の原理）を明らかにする。

一方、後半の各論的講義は、本来なら、日本国憲法の逐条（日本国憲法は世界でも有数の簡略な憲法であるが、それでも全体で、前文と本文十一章103か条に及ぶ）解説ということであろう。しかし、限られた時間内では、それは、ほとんど不可能に近い。そこで、とりえず、各章ごとに規定内容や問題点を整理し、一部に立法論的指摘（どこにどのような不都合があり、それをどのように改めたらよいかといった指摘）も加味しつつ、全体として、日本国憲法の性格と特色が理解できるような講義とした。

もちろん、第九条をはじめ、解釈上の対立が大きい条項や多くの問題を抱えている条項については、判例の紹介をはじめ、比較憲法的な考察を行うなど、特別に時間を割きたいと考えている。

履修上の留意点

講義は教科書を用いて進めるが、時事的な憲法問題を取り上げ解説するなど立体的な講義を心がける予定であり、「教科書を読む」ような講義ではまったくないので、でき得る限り講義に出席することが望まれる。

成績評価の方法

成績評価は、論述型（「について述べよ」ないし「について論じよ」といったタイプの問題）のペーパーテストによって行う。評価に際しては、問いに答えているか（出題された問題に関係のないことを書いた場合は大幅な減点とする）、必要なことが書き込まれているか（簡にして要を得た内容であること、余計なことを多く書いても加点されない）、論理展開に説得力があるか（単なる箇条書きでは論述型の問題に対する解答とはいえない、全体として一つの小論文となっていること）、誤字、脱字がどの程度か（専門用語の誤りは大幅な減点となる）などをチェックする。

教科書

竹花光範『憲法学要論補訂版』（成文堂）3,300円

参考書等

必要に応じて、参考書の紹介、資料の配布等も考えている。

その他

いずれにしても、学生諸君が、憲法に関心をもち、憲法問題を積極的に考えていくやすがとなるような講義を心がけるつもりである。

講義のねらい

I 自己紹介

私は、いままでイギリスの政治的多元主義・新自由主義、ならびにフランスの社会連帯主義を研究してきました。現在は、日本における多元的国家論の受容過程に関して勉強をしています。このような私の研究経歴からして、講義内容は少しばかり哲学的、観念的なものになるかもしれません。政治学のみならず隣接領域にもふれながら一年間の授業をしてみたいと思います。

私の研究室は、第二研究館八階（2835）にあります。研究上支障が生じたときや質問があるときには訪問してください。なお、研究室の電話番号は、3418-9377（直）です。

II 講義の目的

政治学原論はカリキュラム上、基礎的部門に属しています。政治学原論は政治学の総論であるとともに、基礎理論としての意味合いをもつものです。講義の目的の第一は、現代政治学の体系的な理解を深めることにあります。目的の第二は、政治現象の理論的説明と説明ができるように基礎的的原理的知識を修得することです。目的の第三は、近い将来履修するであろう他の専門学科目を研究する上で必要な知識を提供することです。

講義の内容・
授業スケジュール

III 講義のすすめかた

現代政治学のアウト・ラインを理解してもらうために、一回一テーマ主義でかなり広範囲な問題にふれていきます。それだけに、授業のペースは少しばかりはやくなります。講義はテキストに準拠しつつすすめます。学生諸君は授業に出席することはもちろんのこと、予習・復習・自主研究などの研鑽をつんでください。教員と学生、それぞれの努力によって学習効果をあげていきたいと考えています。

IV 講義の内容

おおよそ、以下の諸問題を取り上げる予定です。

A 政治学の課題と対象、ならびに方法

B 政治の原理的究明

(1) 政治的なるもの

～政治的空間、政治権力、正当性、権威、政治倫理、抵抗と不服従

(2) 共同体的なるもの

～国家、社会、主権、法

(3) イデオロギー的なるもの

～イデオロギー、正義、自由、平等、人権（シティズンシップ）

C 政治の実体論的究明

(1) 制度論的究明

～権力分立、議会、選挙、地方自治、官僚制

(2) 機能論的究明

～政党、圧力団体、市民参加、マスコミ、政治教育、政治的社会化

成績評価の方法

V 成績評価

単位の認定は、ペーパー試験を中心におこないます。

成績評価は、

中間試験：50%

学年末試験：50%

以上の割合によるものとします。

なお、追試験も実施します。

教科書

大塚桂『政治学原論序説』（勁草書房）3,296円

大塚桂『政治哲学入門』（法律文化社）2,900円

参考書等

上記教科書の巻末にかかげた参考文献を参照のこと。

その他

学習にあたっては、大塚編「補章オリエンテーション政治学」『政治学へのいざない』（成文堂）、大塚編『日本の政治学』（法律文化社）等を参考にしてください。

科目名

担当者名

現代政治理論

しらとり
白鳥 浩

講義のねらい

これまで、現代政治学はどのように展開してきたのだろうか。現代政治学において、スタンダードとなっており、重要であると思われる理論家の理論を取り上げることで、現代政治学の理論像を学んでもらいます。特にこの講義においては、現代のデモクラシーを理論的に考えることを目的のひとつとします。更に、そうした理論を乗り越えて、今後の世界における「デモクラシー」のあり方を皆さんと一緒に考えていきたいと思ひます。

講義の内容・
授業スケジュール

以下の理論を初めてのひとにもわかるように講義します。

- 1、メリアム 「現代政治学の父」
- 2、ラズウェル 「現代政治学の開拓者」
- 3、ダール 「ポリアーキーと民主主義」
- 4、リブセット 「政治社会学への視座」
- 5、サルトーリ 「政党理論」
- 6、ロールズ 「正義の理論」
- 7、パーソンズ 「社会システム論」
- 8、イーストン 「政治システム論」
- 9、アーモンド 「シビック・カルチャー論」
- 10、ドイッチュ 「サイバネティックスの理論」
- 11、レイプハルト 「多極共存型民主主義」
- 12、ロッカシ 「凍結仮説と概念地図」

さらに、こうした理論を用いて、現代政治を分析することを試みます。

履修上の留意点

関心を持って、講義に出席してください。

成績評価の方法

試験を中心とするが、総合的に判断する。

教科書

白鳥『市民・選挙・政党・国家』（東海大学出版会）2002年

参考書等

眞柄・井戸『比較政治学』（放送大学教育振興会）2004年
白鳥編『現代政治学の理論』（上）（下）（続）（早稲田大学出版部）
白鳥・曾根編『現代世界の民主主義理論』（新評論）1984年
授業内で適宜、指示します。

科目名

日本政治論

担当者名

大山礼子

講義のねらい

日本政治の機能不全が指摘される現在、これまでの政治のあり方があらためて問い直されています。この講義の目的は、日本の政治のどこが問題なのか、歴史的視点や国際比較の観点から検討し、今後の改革の方向を探ることにありますが、1年生の受講者が多いので、まずは他の専門科目を受講する際の基礎ともなる日本政治の常識を身につけてもらうことから始めます。なるべくたくさん「目からうろこが落ちる」経験をし、いろいろな角度から多元的に物事を見られるようになっていただきたいと思います。

講義の内容・授業スケジュール

前期は明治維新以来、1990年代までの日本政治史を中心に学習し、次の5つのクエスチョンをみんなで考えていきます。

- 1) 大日本帝国憲法の起草者たちはどんな国を造ろうとしたのか？
- 2) 大正から昭和初期に花開いた政党政治（デモクラシー）はなぜあっけなく崩壊したのか？
- 3) 戦前と戦後の政治はどう変わったのか？
- 4) 高度成長期に貧富の差が拡大しなかったのはなぜか？
- 5) 自民党優位はなぜこんなに長く続いたのか？（社会党が政権をとれなかったのはなぜか？）

後期は地方分権、公共事業などのトピックを取り上げながら、現代日本の政策決定とその問題点を考察します。

履修上の留意点

途中で出入りする者、私語する者には、座席の変更や退場を求める場合があります。

現代日本の政治が講義の対象となるので、毎日、新聞の政治面に目をおす習慣をつけること（新聞の政治面を読まない政治学科の学生などというものは存在そのものが矛盾である！）。

成績評価の方法

年度末の定期試験を中心に、数回実施する小テストの結果、授業への参加状況を加味して評価します。

教科書

早川・大山・内海・田丸『政策過程論』（学陽書房）2004年 2,600円

参考書等

参考になりそうな新聞記事等はコピーを配布します。また、なるべく多くの参考文献をKOMSY 詳細版で紹介しますので、積極的に読んで下さい。

その他

毎回の講義の内容、参考文献等については、原則として前日までにKOMSY 詳細版で公開します。自宅からもインターネット経由でアクセスできるので、必ず参照し、活用してください。

政治

科目名

担当者名

政治思想史

きよ 清
たき 滝
ひと 仁
し 志

講義のねらい

この講義では、ヨーロッパの政治思想史を歴史上の出来事との関連から著述家の視点を通して、具体的に論じます。変動する時代に直面した人々が同時代をどのように眺め、いかなる心配をし、解決策を考えていったかを明らかにします。この授業で論じる「思想」とは抽象的概念でなく、現実の政治状況に対応して生まれ、実際の制度・政策と結びつく性格のものです。講義では、代表的人物の考えを題材に、(1) 現在の政治現象を自分で判断する知的能力を身につけていく、(2) 欧米の政治・社会・文化を基礎づける知的背景を理解する、ことを目的にします。

講義の内容・授業スケジュール

- ① 古代ギリシアと政治の誕生
- ② キリスト教秩序の確立と動揺
- ③ ルネサンスと宗教改革—マキアヴェッリ、モア、ルター、カルヴァン—
- ④ 社会契約論の形成と発展—ホッブズ、ロック、ルソー—
- ⑤ デモクラシーと自由—バーク、トクヴィル—
- ⑥ 現代民主主義の課題と展望—シュンペーター、ダール—

政
治

履修上の留意点

本講義では次のことをおこないます。

- 1 授業に関する時事問題を取り上げながら、そのポイントを解説
 - 2 授業の冒頭で皆さんの質問に答えて、復習
 - 3 授業中、文章の表現能力を身につけるための練習
- さらに公務員試験やその他の資格試験の関係箇所にも配慮します。

成績評価の方法

- ① 定期試験 (25%) 2007年1月実施
- ② 課題レポート (35%) 6月 (10%) ・ 9月 (15%) ・ 11月 (10%)
- ③ ミニ・レポート (40%) 授業中に作成するレポートを5段階評価

授業にきちんと出席し、課題をこなすことで自分の考える力が身についたかを重視します。
<評価のポイント>

- ・ 授業で取り上げた基礎的知識を理解しているか?
- ・ 授業で取り上げた話題を自発的・積極的に考え、自分で判断できるか?
- ・ 自分の考えを的確にまとめ、相手にわかりやすく表現できるか?

教科書

文献は講義・HPを通じて随時紹介。

HP <http://www.bat.alliednet.ne.jp/kiyotaki/>
blg <http://navy.ap.teacup.com/komazawa/>

参考書等

毎回、レジюмеと資料を配布。レジюмеはHPを通じても入手可。

その他

授業その他の質問は、Eメール (kiyotaki@komazawa-u.ac.jp) でも受け付けます。

科目名	担当者名
行政学	田丸 大

講義のねらい

行政学は政治学の中でも比較的新しい分野であるが、私たちの日常生活とも非常に関係の深い学問でもある。例えば、国レベルでは狂牛病騒動に見られる農林水産省の対応や、葉書エイズ・肝炎などに見られる旧厚生省の対応、自治体(地方)レベルでは、市町村合併であるとか、原発の是非をめぐる住民投票など、世の中の様々な現象に何らかの形で行政は関わっている。これらの行政現象に流れる行政活動の論理を探ることが、行政学の大きなテーマの1つである。

本講義では、国の省庁や地方の自治体がどのようなメカニズムに基づき活動をしているのか、政策立案や執行さらには評価の過程などにも触れつつ検討することによって、複雑な現代社会の問題点や改革のあり方を正しく理解し、問題の本質を見抜くための基本的知識や思考様式を伝えたいと考えている。

講義の内容・授業スケジュール

講義内容は、例えば以下を考えている(スケジュールなど詳細は開講後に知らせる)。
1 官僚制、2 議院内閣制、3 行政改革、4 公務員制度、5 政策過程、6 行政組織における意思決定、7 政策評価、8 地方分権改革 など。可能であれば、行政改革や地方分権を扱う回の講義においては、最近のニュース番組のビデオを用いて、現実の世の中の動きにも目を配りたい。

履修上の留意点

出席は取らない。レポートは課さない。しかし、年間2回を予定しているテストは全範囲から満遍なく出題するので、出席していない者が単位を獲得するのは著しく困難である。

成績評価の方法

学期末のテストおよび学年末のテスト(70点+30点の予定。ともに持ち込み不可)で評価する。テストを欠席した場合でも、レポート等の提出は一切認めない。

教科書

森田朗『改訂版 現代の行政』(放送大学教育振興会)2000年 本体2,000円
教科書にアンダーラインを引く、書き込みを行うといった具合に使用するので、必ず用意してほしい。

参考書等

早川・大山・内海・田丸『政策過程論』(学陽書房)2,600円

政
治

科目名	担当者名
国際政治学	小堀 訓男

講義のねらい

国際社会に展開する政治現象を、政治学的アプローチで論及し、国際政治の本質を理解することが、本講義のねらいである。

前期の講義は、国際政治とは、いかなるものか、分かり易く概説する。具体的には、国家、権力、民族、階級、国際政治における権力と道義、国内政治と国際政治等をテーマに“国際政治の本質”について考察する。つぎに、より理解を深めるために、“国際政治の基調”と題して、国際政治が展開し、現在に至るまでの、各時代の国際政治の基調を、歴史的に概観する。

後期では、“国際政治の問題”と題して、冷戦後の国際政治、ナショナリズム、地域的安全保障、エネルギーと環境問題、国連の使命と限界、地域統合と国家の役割の変化等の、国際政治学が取り組むべき課題を、理論的かつ実証的に解明しながら、受講生とともに考えたい。

講義の内容・授業スケジュール

講義のテーマ、内容については予告する。受講生は必ず予習をして、講義に出ること。基本的な知識については、共通の理解を徹底したいので、全員で討論しながら授業を進めたい。よって、積極的な参加を求める。

成績評価の方法

1年間に数回程度、授業中に30分のショートテストを実施する。これは講義の理解の程度を知るためであるが、このテストの評価を30%とし、定期試験を70%の評価とする。

教科書

必要に応じて講義のなかで紹介する。

講義のねらい

民主主義国家においては、政治制度の究極の目的は、いかにして国民の民意を正確に反映する政治を実現するかにあるとよいでしょう。近代の歴史は、よりよい政治制度の探求の歴史だったと考えることもできます。この講義では、こうした視点から、政治制度の発展史を辿り、議院内閣制や大統領制、あるいはさまざまな選挙制度などのもつ意味を検討していきます。なるべくたくさん「目からうろこが落ちる」経験をし、いろいろな角度から多面的に物事を見られるようになっていただきたいと思います。

講義の内容・
授業スケジュール

(前期) 政治制度の考察に入る前に、まず、制度の目的であるデモクラシーとは何かについて考え、その後、デモクラシーを実現するための政治制度の発展を概観します。

- (1・2) デモクラシーとは
- (3) 直接民主制と間接民主制
- (4) 議院内閣制と大統領制
- (5・6) イギリスにおける議院内閣制の出現と発展
- (7) 政党の役割
- (8・9) 議院内閣制の展開 (フランス)
- (10) 議院内閣制の展開 (ドイツ、日本)
- (11・12) アメリカの大統領制
- (13) 前期のまとめ

(後期) 前期の知識をもとに、以下のような政治制度のさまざまな側面を順次検討し、「制度は政治を変えるか?」という問題を考えていきます。

- (14) 政治制度を評価する視点
- (15~19) 選挙制度
- (20~21) 議会と政策決定過程
- (22) 政治資金
- (23・24) 中央地方関係
- (25) 司法審査制
- (26) まとめ

履修上の留意点

途中で出入りする者、私語する者には、座席の変更や退場を求める場合があります。

成績評価の方法

年度末の定期試験を中心に、数回実施する小テストの結果、授業への参加状況を加味して評価します。

教 科 書

使用しません。

参 考 書 等

参考になりそうな新聞記事等はコピーを配布します。また、なるべく多くの参考文献をKOMSY 詳細版で紹介しますので、積極的に読んで下さい。

フランスに関することは下記を参照してください。私の政治制度についての考え方も理解してもらえらると思います。

大山礼子『フランスの政治制度』(東信堂) 2006年

そ の 他

毎回の講義の内容、参考文献等については、原則として前日までにKOMSY 詳細版で公開します。自宅からもインターネット経由でアクセスできるので、必ず参照し、活用してください。

科目名

政治過程論

担当者名

早川純貴

講義のねらい

本年度の政治過程論は、1970～90年代の日本における政治過程を検討する。講義では、その時々々の日本政治を代表する政策事例に関する研究とその意義について論じていきたい。

講義の内容・授業スケジュール

- | | |
|---|--|
| <p>前期《理論》</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 戦前と戦後の連続か断絶か 2 多元主義とエリート主義
——高度経済成長の政治的帰結 3 イデオロギーについて
——福祉国家体制の発展と変質 4 アリソンの3モデル
——キューバ・ミサイル危機 5 ゴミ箱モデルと政策の窓モデル
——偶然性の理論化 6 パットナムの2レベルゲームモデル
——日本の外交と日米関係 | <p>後期《事例研究》</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 自民党優位体制の確立とその特質 2 田中内閣の列島改造と「福祉元年」
——大蔵省と「100兆円の背信」 3 中曽根内閣と国鉄の分割・民営化
——戦後政治の総決算とは 4 竹下内閣と消費税導入
——「たとえ辻立ちしても……」 5 細川内閣とコメの自由化
——「コメ一粒たりとも」 |
|---|--|

履修上の留意点

講義では事例研究とともに理論の解説に多くの時間をかける。理論の話は継続して聞かないと理解できない。分からないときは遠慮せず質問すること。質問は学生の権利であり、教員はそれに答える義務がある。

成績評価の方法

中間試験と定期試験の合計点数により評価する。

教科書

早川・大山・内海・田丸『政策過程論』（学陽書房）2004年 2,600円

参考書等

講義の中で随時紹介する。

政治

科目名

日本政治史

担当者名

村井良太

講義のねらい

政治を理解するには、思想分析、比較、一般化など様々な方法がありますが、歴史という経験に学ぶのが政治史です。本講義の目的は、第一に、日本政治史を学ぶことを通じて、日本の置かれてきた立場、選択とその結果について基本的な理解と知識を得ることです。さらに、歴史を学ぶことを通じて、政治を知り、現代を相対化してみる視点を養ってほしいと思います。

本年度の「日本政治史」では、戦前・戦中の遺産を踏まえた上で、戦後日本の歩みを振り返ります。

講義の内容・授業スケジュール

講義内容は以下を予定しています。スケジュールなど詳細は開講後にお知らせします。
 前期：（1）「帝国」日本の遺産 （2）敗戦と占領 （3）占領改革 （4）吉田政権と講和 （5）鳩山政権と五五年体制の成立 （6）岸政権と日米安保改定
 後期：（7）池田政権と高度経済成長 （8）佐藤政権と沖縄返還 （9）危機の七〇年代 （10）保守復調と「国際国家」日本 （11）冷戦終結と湾岸戦争 （12）問われる「戦後」体制

履修上の留意点

履修する学生には、出席と積極的な授業参加を求めます。

成績評価の方法

成績は、随時おこなう出席調査と中間試験、学年末試験によって評価します。初回の講義で詳しい説明を受けてください。

教科書

五百頭旗真編『戦後日本外交史〔新版〕』（有斐閣）予価1,995円。

参考書等

参考図書は、講義の中で随時紹介していきます。

科目名	担当者名
ヨーロッパ政治史	浦田早苗

講義のねらい

現代西ヨーロッパの政治は、そこから多くのことを学んできた我々の先達が描いたほど理想的な状態で機能しているわけではなく、数々の矛盾にみちている。自由、平等の精神なり、『華やかなりし議会政治』の概念は、激動の現代政治のなかにあっては時として空虚な響きを投げかけてくることは否定できない。しかし、国家や政党、国民や民族といった西洋で生まれた近代政治の概念に再検討が迫られている今ほど、そうした概念の本質を成立した歴史過程のなかで考察することの重要性が問われたときはなかった。本講義では、近代ヨーロッパの歴史全般を概説しながら、ヨーロッパが抱える問題の本質を明らかにすること、及び現代政治を誤りなく把握する上で必要な基礎概念を検討することに視点がおかれている。

講義の内容・授業スケジュール

- ・近代の始点—ルネサンス期と18世紀— ・英国革命とIRA ・ジャコバイトと英国王室
- ・議院内閣制の成立変遷過程 ・英国における政治腐敗防止過程
- ・フランス革命と国家の概念 ・フランス政治におけるジャコバン主義
- ・「後発国型近代化」の問題点—ドイツの場合— ・統合ヨーロッパの源流

成績評価の方法

年5～6回とる出席点は学年末試験に加算する。試験はあらかじめ提示した4問から2題出題する。(ノートの持ち込みは不可)

教科書

特に教科書は指定しないが、さらに詳細な研究を望む学生には適宜参考書を推薦する。

政治

科目名	担当者名
地方行政	内海麻利

講義のねらい

わが国の地方自治体は、国際化、情報化、高齢化など社会経済の急激な変化にさらされる一方、規制緩和、行政改革、地方分権の推進などの行政システム改革の強い要請のもとで、21世紀の地方自治のあり方を探究する変革期にある。本講義は私たちにとって身近な地方自治体における行政の仕組みや政策課題について、そのあり方を生活者市民の視点から明らかにし、学生諸君の地方自治についての専門知識と理解を深めることを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

授業では、地方自治体の政策・制度・管理を中心として多角的に地方行政のあり方を具体的な事例を参照しながら考察し、地方自治に対する主体的な取り組みや可能性またその課題を実践的観点から考えることとしたい。なお、主として地方行政に関する次の枠組みにおいて講義するが、詳しい授業スケジュールについては、第1回目の授業の際に配付する。

- ・都市、社会の変容と自治体行政
- ・地方分権とその改革
- ・政策過程と政策評価
- ・自治体における計画行政
- ・地方自治と条例
- ・市民参加と情報公開

履修上の留意点

地方自治体に関する報道記事や関連の専門誌などに目を配り、地方行政について理解を深めるよう努力を払ってほしい。

成績評価の方法

授業への出席、レポート、学期末試験の成績を中心に評価する。

教科書

早川・内海・田丸・大山『政策過程論』(学陽書房)2004年

参考書等

授業中に随時提示し、さらに詳細な考察を望む学生にはテーマに沿う参考書を推薦する。

科 目 名	担 当 者 名
政策決定論	田 丸 大 <small>た まる だい</small>

講義のねらい

本講義では、「政策はどのように作られるのか」をテーマに、なるべく幅広い切り口で考察を加えてみたいと考えている。具体的には、日本の国の省庁や地方自治体（行政）における政策決定のあり方、政治はどのように政策決定に関わっているのかといった点について、理論的な考察を加えるとともに、法律・条例・予算などを取り上げ具体的な政策決定についても論じてみたい。

講義の内容・授業スケジュール

以下の内容を扱う。スケジュールについては、初回の講義で知らせます。
最近までの日本の経済状況（デフレと金融など）。その経済状況と政策決定との関係。日本の政策決定における基本的特質。与党における政策決定。省庁における政策決定。法案の作成過程。政策決定のスタイルに関する近年の改革。地方政府における政策決定のスタイル（首長、役所、議会の関係）政策実務家による特別講義（公務員、政治家など）可能であれば、国や地方の政策決定に関連した最近のニュース番組のビデオを用いることによって、現実の世の中の動きにも目を配りたい。

履修上の留意点

日本の政治に対する基本的な知識、加えて行政学の教科書程度の知識の備わっていることが望ましい。

成績評価の方法

一学期最後の講義におけるテスト（30点）、および学年末のテスト（70点）で評価する（ともに持ち込み不可）。出席は取らない。テストを欠席した場合でも、レポートの提出は一切認めない。

教 科 書

早川・大山・内海・田丸『政策過程論』（学陽書房）2,600円

参 考 書 等

西尾勝『行政学（新版）』（有斐閣）2001年 本体3,100円
森田朗『改訂版 現代の行政』（放送大学教育振興会）2000年 本体2,000円

政 治

科目名

担当者名

行政法総論

なか た たか ひと
仲 田 孝 仁

講義のねらい

「行政法総論」では、各種行政活動に共通する通則的な法理論を学ぶ。「行政法」は、公務員志望者のみが理解すれば良いといった発想は大きな誤解である。民間企業であっても行政による規制はあらゆる業種に及び、かかる規制行政の仕組みを理解することは、企業による経済活動上も必要不可欠である。さらに、日常生活上も、運転免許の取得や各種申請、警察・消防、教育、福祉、環境等、行政との関わりは生涯切っても切れない。従って「行政法」の基本的な体系を理解することの重要性は極めて高い。

本講義は、行政法の入門的な知識・考え方の修得を主目的とする。履修者諸君には、問題発見・解決能力や法的思考法（リーガルマインド）を十分に養っていただきたい。

講義の内容・授業スケジュール

行政法の基本構造・基本原理（憲法と行政法、法律による行政の原理）、行政の仕組み（1・2）—行政組織法・地方自治法概説、行政の基準徹底作業（行政立法・行政計画）、行政作用法概説、行政裁量、行政行為論（1～5）—行政行為の概念・諸類型、効力、行政行為の瑕疵、職権取消と撤回、行政行為の附款（以上、前期）、行政手続き（1～4）、情報公開・個人情報保護、行政の実効性確保の手段（行政強制、行政罰、即時強制、行政調査）、行政契約、行政指導（以上、後期）

政治

履修上の留意点

講義では、学生諸君との対話を重視する。また、パワーポイントのスライド等を用いて、視覚に訴えることで、より分かりやすい授業となるように心掛けたい。講義は、基礎的な事項を中心として進めるが、最新の理論や判例の動向も随時補足していく。また、講義では、可能な限り具体的な事例を取り上げる。

成績評価の方法

期末試験の成績（70%）及び平常点（出席点・発言点、レポート、30%）を総合的に評価する。詳しくは、開講時に説明する。

教科書

原田尚彦『行政法要論』（学陽書房）

参考書等

講義時に、個別に紹介する。

その他

講義においては、レジユメを配布する。

科目名

担当者名

行政法各論

うす い かず なり
薄 井 一 成

講義のねらい

行政は、法の命じるところに従って活動しなければならないが、現実の行政は、法に反して国民の権利や利益を侵害することがある。よって、違法な行政活動を是正し国民の権利利益を救済するための各種の制度が必要となる。本講義では、これらの制度に加えて、適法な行政活動により生じる財産上の損失を補填するための損失補償制度を含めて、一般に「行政救済法」といわれる領域の学習をする。

講義の内容・授業スケジュール

前期 I 損失補償制度…損失補償の要否、保証の内容等、II 国家賠償制度…国家賠償法1条(違法性、故意過失等)、国家賠償法2条(瑕疵論等)、III 行政不服申立制度…行政不服申立制度の性格、審理の手続き等
後期 IV 行政事件訴訟制度…訴訟類型、訴訟要件(成熟性、原告適格、狭義の訴えの利益等)、審理の対象(違法性にかかわる諸問題)、審理の手続、訴訟の終了等

履修上の留意点

本講義は行政法の学習の後半部分として行政救済法を扱うものである。したがって、前半部分にあたる行政法総論を併せて履修するか、既に履修済みであることが望ましい。

成績評価の方法

学年末試験、前期末の小テストをそれぞれ70点、30点とし、合計点により成績を評価する。

教科書

原田尚彦『行政法要論』(学陽書房) 3,465円 ISBN4-313-31236-6

参考書等

塩野宏『行政法Ⅱ』(有斐閣) 2,415円 ISBN4-641-12966-5
塩野宏他編『行政判例百選Ⅱ〔第四版〕』(有斐閣) 2,100円 ISBN4-641-11451-X

その他

講義に際しては、毎回A4一枚程度のレジュメを配布する。受講生の様子を見て、場合によっては質問票を配布する。

政
治

科目名

担当者名

地方自治法

とみ い ゆき お
富 井 幸 雄

講義のねらい

日本国憲法下における地方自治の法制度を体系的に理解する。すなわち、昭和22年に制定された地方自治法が具体的にいかなる意味をもち現実化されているか、憲法の意図する地方自治の理念がそこに具体化されているかを批判的に検討する。平成12年度より、地方分権を旨とした新しい地方自治制度がスタートする。この改革がいかなる意義をもつのかをかみしめながら、新地方自治法の理念を理解する。

講義の内容・授業スケジュール

地方自治法の体系に沿って講義を行う。前期は、憲法と地方制度の関係を比較法的ならびに歴史的に考察を行った後、地方公共団体の概念、住民の地位及び権利、自治立法権について議論する。後期は、地方公共団体の事務、組織、財政、地方公務員制度について勉強する。教科書を基本に講義するが、毎週レジメを配布し、それに沿って授業を行う。判例等の資料も適宜配布する。

成績評価の方法

前期試験（40%）と学年末試験（60%）で総合的に評価する。

教科書

開講時に指示します。

参考書等

『地方自治判例百選（第2版）』（別冊ジュリスト）。
なお制度の概要を大まかに理解するには、鈴木正明他『図解 地方自治法』（良書普及会）は便利。地方自治の制度的問題を勉強するには、新藤宗幸『地方分権』（岩波書店）、同他『概説日本の地方自治』（東京大学出版会）は必読。

その他

講義では頻繁に法律の条文に言及するので、六法（『地方自治小六法』（学陽書房）があるがポケット六法でよい。）は必携。その都度チェックすること。平成12年度には地方自治法の大規模な改正がなされたので、必ず平成13年度版を購入すること。憲法や行政法の履修者が望ましいが、少なくとも両法分野について高い関心を持つこと。わからないことは遠慮なく質問に来て欲しい。

政
治

科目名

担当者名

民法(総則・物権法)

須賀昭徳

講義のねらい

われわれの日常生活は民法に支配されている。したがって、この社会で活動するには民法についてひとつおりの知識がなければならない。市民の社会生活には財貨の生産、交換、消費、配分などを目的とする経済生活の面（これを規律する法が財産法）と種族保存を目的とする保族生活の面（これを規律する法が家族法）とがある。この財産法の領域の法が物権法と債権法である。これらの通則として総則がおかれている。本講義では民法第一編総則と第二編物権法について、基本となる知識を持てるようにしたい。なお、時間の関係で総則を中心として詳しく講義をし、物権についてはひとつおりの知識を持てるようにしていきたいと思います。

講義の内容・授業スケジュール

前期（民法総則）

- ①民法とは何か、民法の歴史 ②民法の基本原則 ③権利の主体（自然人） ④法人（社団法人、財団法人） ⑤権利の客体（物とは） ⑥法律行為（意思の欠缺、瑕疵ある意思表示） ⑦無効と取消 ⑧条件および期限・期間 ⑨時効（取得時効、消滅時効）

後期（物権法）

- ①物権の意義、種類 ②物権の効力 ③物権の変動 ④占有権 ⑤所有権 ⑥用益物権 ⑦担保物権（法定担保物権） ⑧約定担保物権 ⑨非典型担保（譲渡担保、仮登記担保）

履修上の留意点

講義にはかならず六法を持参すること。

成績評価の方法

期末試験の成績により評価する。

教科書

甲斐道太郎・乾昭三・椿寿夫編『新民法概説（1）総則・物権』（第4版）（有斐閣）2,000円

参考書等

講義の中で指示する。

政治

講義のねらい

刑法総論は、刑法定第一編総則にある犯罪と刑罰に関する一般的な原理を考察するものである。そこで、犯罪の基本的・重要な課題について、その意義と問題点を学説や判例をふまえながらすすめ、体系的に刑法総論を理解することをねらいとする。

講義の内容・授業スケジュール

- I 序説
 - 1 はじめに
 - 2 犯罪論の基礎
- II 構成要件
 - 1 総説
 - 2 実行行為
 - 3 結果
 - 4 因果関係
- III 違法性
 - 1 総説
 - 2 正当業務行為
 - 3 正当防衛
 - 4 緊急避難
- IV 責任
 - 1 総説
 - 2 責任能力
 - 3 故意
 - 4 過失
 - 5 期待可能性
- V 共犯
 - 1 総説
 - 2 共同正犯
 - 3 教唆犯
 - 4 幫助犯
- VI 共犯の諸問題
 - 1 共犯と身分
 - 2 共犯と錯誤
 - 3 共犯の中止、離脱
- VII 罪数と刑罰

成績評価の方法

筆記試験とその他の総合評価とする。

教科書

開講時に指示する（欠席しないように）。

その他

予習をしていくこと。

講義のねらい

環境問題は現代世界の将来にかかわります。従って環境政策は将来の世代の生活にかかわる選択をする営みといえましょう。この講義では、多様化、複雑化、グローバル化している環境問題の状況を踏まえて、環境政策のメカニズムを理解していきます。日本、世界各国、国際社会における環境政策の具体例に言及しながら、行政の視点、企業の視点、市民の視点が交錯する諸相を明らかにします。公務員志望者、マスコミや民間企業志望者あるいは環境問題関連の資格試験なども念頭に置き、有益な情報の提供をこころがけたい。また現代社会の一市民として環境政策をみる視座、問題解決への視座を育成することが期待されます。

講義の内容・授業スケジュール

*前期は「グローバル化と環境問題への対応」と題して、環境政策がグローバルな性質を持つことを理解します。後期は「持続可能な社会のガバナンス」と題して環境問題に対応する社会のあり方を考えます。

前期テーマ「グローバル化と環境問題への対応」

序—将来の世代のための選択：政策科学の視点

・環境政策の射程と担い手—ローカルからグローバルへ

・環境政策のキーワード

持続可能な発展 予防原則 共通だが差異のある責任原則 等

1. ストックホルムからヨハネスブルクへ—持続可能な発展をめぐるガバナンスの軌跡
 - ・環境のグローバル化
 - ・国連人間環境会議と地球サミット
 - ・ヨハネスブルク・サミットと制度改革

2. 新しい政策課題

- ・「人間の安全保障」と環境問題
- ・淡水資源のガバナンス
- ・ジェンダー／人権と環境問題
- ・反グローバル化と環境問題

後期テーマ「持続可能な社会のガバナンス」

序—持続可能な社会のキーワード

ガバナンス コモンズ 社会関係資本と環境 政策手法の変質 等

1. 持続可能な社会の政策課題

オゾン層保護
再生可能エネルギー 等

2. 政策統合の諸相

環境経営
貿易と環境
エコツーリズム
持続可能な交通政策 等

3. 京都議定書と日本の課題

地球温暖化のメカニズム
京都議定書の国際制度
京都メカニズム

環境政策の展望

*受講生の関心や授業の進捗に応じて優先順位を変更したり、トピックを選別することがある。

*時事問題を随時とりあげる予定である。

*新聞記事やビデオなどを多用し、理解の深化に努める予定である。

履修上の留意点

講義中は私語厳禁とする。

出席点はないが、出席しないことで生じる不利益は各自の責任となることに注意してください。

KOMSYの詳細情報にも講義情報のエッセンス、試験情報を掲載する予定であり、出席できなかった学生は確認するように心がけてください。

成績評価の方法

試験を基本とし、レポートや平常点などを加味し総合的に判断する。

参考書等

宮脇・庄司編『グローバル公共政策入門（仮題）』（晃洋書房）近刊
横田匡紀『地球環境政策過程』（ミネルヴァ書房）（第2刷）

そ の 他

環境問題に少しでも関心を持つ学生の履修を歓迎します。

科 目 名

国際関係論

担 当 者 名

み ふね え み
三 船 恵 美

講義のねらい

国際関係論の基本的な概念とともに、現代の国際関係の枠組について講義します。国際関係を学ぶ目的の一つは、国際紛争・対立・危機を平和的に処理したり、国際平和を維持したりするためには如何なるシステムを案出していけばいいのか、を考えることです。国際関係の教訓を探り出すために必要な「基本的な視角」を学ぶことが本講義の目的です。

講義の内容・
授業スケジュール

前期は、国際関係論の基本的な概念（国際関係のアクター、国益・パワーの概念、安全保障の概念と類型、現実主義、理想主義、構造主義、ゲーム理論、対外政策決定論、国内政治と国際関係のリンク・ポリティックスなど）について講義します。

後期は、日本にとって最も重要な2つの国家、米国と中国の安全保障戦略を基軸に、米国のアジア戦略、日米関係、米中関係、東アジア共同体構想、台湾問題、韓半島問題、米中 EU 関係、米中・中東関係、米中ロ・中央アジア関係、米中・アフリカ関係が日本の国益や外交に及ぼす影響、などを講義します

政
治

履修上の留意点

「授業中は静かにしましょう」という注意は幼稚園の入園前に家庭で躰られることであって、大学で他人から注意されることではありません。「大学生としての自覚をもった学生」のみが受講して下さい。資料を配付する場合は、授業開始から15分しか配布しません。20分以上遅刻してくる学生の入室は一切認めません。上記のような行為は、教員のみならず、まじめに授業に取り組んでいる学生達に対して非常に失礼な行為です。

成績評価の方法

試験（100%）。持込不可。授業中にうるさくして退場を命じられた学生には、受験資格を絶対に与えません。テストを欠席した場合にレポートは課しません。

教 科 書

年間を通したサブテキスト『世界情報地図2006年版』にちぶん（1,500円）。後期教科書については、前期授業中に指示します。

配布物は、理由の如何に関わらず、一度しか配りません。

参 考 書 等

必要に応じて、教場で指示します。

科目名

比較政治学

担当者名

三竹直哉

講義のねらい

比較政治学は、いろいろな国や地域の事例を比較して、政治現象の因果関係の解明を目指す分野です。この授業では、その一端をご紹介しますとともに、みなさん自身が比較研究をするのに役に立つ勉強をすることを目標にします。

「比較」という手法は、あらゆる分野に使える方法ですので、まじめに勉強すると卒業後も役に立つことが多いと思います。

講義の内容・授業スケジュール

この文章は2005年12月の時点で書いています。授業には、現在世界や日本で起きている出来事を反映させたいです。また、よいドキュメンタリー番組などが放映されれば、積極的に使っていきたいと考えています。

そうしたことから、2005年12月の時点で詳細な授業スケジュールは出せません。

基本的には、はじめに方法論を扱い、その後、民主化、民族問題、移民政策と言ったテーマで授業を進めていきたいと思っています。

授業のやり方は、人数や大学からあてがわれる教場の設備によっても大きく変わってきます。参加人数が非常に少なければ、ゼミのような雰囲気でもやることもあり得ます。(2005年度の授業は、ゼミのようにやりました。)

履修上の留意点

基本的事項は自分できちんと調べることが前提です。

文献を読む課題がたくさん出ますが、読まなければ単位を取れません。

中学校の社会科レベルのことが身につけていない人には単位を出せません。新聞を読んでいない人も同様です。(テストでチェックします。)

また、高校の社会科レベルのことで、授業に関連することは自分で学習することが前提です。

欠席したときの授業内容は、各自の責任で補ってください。就職活動であろうが、部活動であろうが、欠席した人を特別扱いすることはありません。

成績評価の方法

平常点と定期試験によります。

教科書

高根正昭『創造の方法学』講談社現代新書。

他にも指定する可能性はあります。

ほぼ毎回、授業前までに読んでくるべき課題文献を指定します。読んでいない場合、出席できないことがあります。

その他

この文章は2005年12月時点で書いています。変更もあり得ることを了承のうえ、読んでください。詳しい授業案内・スケジュールは、2006年4月に授業用ホームページに掲載します。
<http://www.jj.em-net.ne.jp/~bamboos/>

URLが変更になる可能性があります。その場合、Googleなどで三竹直哉と入れて検索してみてください。見つからなければ、下記までメールでご連絡ください。
mitake@komazawa-u.ac.jp

政治

科目名

担当者名

国際行政学

福田耕治

講義のねらい

国際行政学は、国民国家の枠を超える行政現象に注目し、国際機構内部の行政管理、国際行政と国内行政の関係、国際公共政策の管理や国境を越える政府間関係をめぐる諸問題を扱う新しい学問分野である。国際機関の行政は、その加盟国の中央行政や地方行政とどのような関係をもち、いかにして国際公共政策を形成し、実施していくのか。国内行政の「国際化」への対応はいかなるものであり、国際機関の行政はこれにどのようにかかわっているのだろうか。国際行政学は、このようなグローバルな視点、地球市民社会の一員として、人類共通の利益(国際公益)の実現という観点に立って、国際社会に貢献することを目的とする実践的性格を持った新しい研究領域である。本講義の内容は、国家公務員、地方公務員志望者、NGO 職員、商社等の民間企業志望者にとっても役立つものとなる。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 国際行政の発達史と国際行政学の研究 対象と方法
- 2 国際機構の人事行政と国際公務員制度
- 3 国際機構の財源調達と財務行政
- 4 国際公共政策と政策科学 -
- 5 国際安全保障政策
- 6 地球環境政策
- 7 国際開発援助政策
- 8 国際人権・人道政策
- 9 国際社会保障政策
- 10 国境を越える加盟国警察協力政策
- 11 食品の安全保障政策など
- 12 国際機構と行政統制、行財政改革 (国際行政統制論)
- 13 国際機構行政と国内行政の関係 - 規制の国際的調整、国際機構、国、自治体間の国際規制協力
- 14 国際協力における NGO/NPO と自治体の役割
- 15 国際行政学の課題

成績評価の方法

前期・後期の試験による。

教科書

福田耕治『国際行政学』(有斐閣) 2003年

参考書等

福田耕治『現代行政と国際化 - 国際行政への序説 (第二版)』(成文堂)
福田耕治・真淵勝・縣公一郎編『行政の新展開』(法律文化社) 2002年

その他

講義に関係する国際機構 NGO 等の URL については講義の際に適宜紹介していく。

政
治

講義のねらい

学問への出発点は「私はどこにいるのか?」という問いにあります。実際、私たちはアマゾンの密林で生活しているわけではありませんし、江戸時代の農村に生きているわけでもありません。では「どこ」にいるのでしょうか。

「世界の中にいる」と言っても、「日本にいる」と言ってみても、これらは答えになりません。どのような世界なのか、どのような日本にいるのか——少なくともこれをつかまなければ先の問いに対する答えにはなりません。今日の世界社会、今日の日本社会の〈内容〉を理解しなければなりません。

ところで、世界経済は、今日、世界社会・日本社会の〈土台〉をなしているものです。世界経済という〈土台〉なしには、世界社会も日本社会も成り立ちません。世界と日本を理解するカギは世界経済を理解することにあります。この講義では、このような位置にある世界経済の〈基本構造〉の解明をめざします。ただし、私の力量からして“社会主義”経済に十分言及することはできません。資本主義世界経済に限定して検討します。

この講義のキーワードは〈階級的支配関係〉と〈民族的支配関係〉です。世界経済は、資本主義という社会の誕生とともに成立し始め、資本主義社会の〈土台〉として、またその〈産物〉として推移してきました。資本主義社会は、言うまでもなく、〈階級的支配関係〉を命綱としていますが、同時に、世界の諸民族の間の〈民族的支配関係〉をもう1本の命綱としていたことが重要な特徴です。これら二つの支配・従属の関係は資本主義社会のいわば2本柱をなすものです。そして、〈民族的支配関係〉こそ世界経済の〈基本構造〉として機能してきたのです。そこで、この講義では、この〈民族的支配関係〉の問題を座標軸にして世界経済の基本的な理論と歴史、現状そして展望を検討したいと思います。

〈国際化〉の問題がいよいよ重大になっているいま、多くの諸君の主体的な受講を期待します。

講義の内容・授業スケジュール

〈講義のテーマ(予定)〉

前期は、世界経済の歴史を跡づけ、今日の世界経済の歴史的段階を確認します。

後期は、歴史的知識を念頭において、今日=第2次世界大戦後の世界経済の〈基本構造〉を形づくっている主な柱を一つずつ検討します。

前期——世界経済の歴史的推移

- (1) 〈講義の趣旨〉および〈講義テーマ〉の説明
- (2) 資本の本源的蓄積と重商主義植民地体制
- (3) 産業革命と自由貿易植民地体制
- (4) 帝国主義と帝国主義植民地体制
- (5) 第1次世界大戦と世界経済
- (6) 戦間期の世界経済

後期——今日の世界経済

- (1) 第2次世界大戦と世界経済
- (2) 「アメリカ中心体制」
- (3) 新植民地主義と世界経済
貿易・国際通貨制度・資本輸出——(「援助」と多国籍企業)・〈南北問題〉と新国際経済秩序
- (4) 世界経済の現段階
- (5) 日本経済と世界経済
- (6) われわれの選択

〈講義の方法〉

教場では毎回資料をプリントして配布し、それを説明するという形で講義をすすめます。

成績評価の方法

成績は世界経済の基本事項、世界経済の“枝葉”ではなく、“幹”の理解度をミニ・レポート(2回予定)および学年末レポートで評価します。配分はミニ・レポート40点、学年末レポート60点。(レポート評価のため追試験は行ないません。)

参考書等

講義の中で適宜紹介します。

科目名	担当者名
国際法	さいとう 齋藤 ひろし 洋

講義のねらい

本講義は、国際法全体（武力紛争法・国際人道法を除く）を概観し、理論および判例を通して国際社会における基本的ルールの理解につとめるものである。

講義の内容・授業スケジュール

前期予定
 第1回 講義と試験の説明など
 第2～9回 慣習法・条約・日本の政治責任・自衛権・国際法と国内法との関係・国家主権・国境・国籍・国家承認など
 第10～16回 地的管轄権（内水・領海・接続水域・EEZ・深海底・領空・宇宙など）
 後期予定
 第17～23回 地的管轄権の続き、人的管轄権（国籍の取得・犯罪人引渡・政治犯罪人・難民・庇護権など）
 第24～25回 外交関係・領事関係・国際機関など

履修上の留意点

指定された教科書を必ず持参すること。ノートはしっかりと取ること。

成績評価の方法

成績は、定期試験のみで評価される。講義に出席していないと解けない問題が出題される。

教科書

齋藤洋『国際法講義ノート・資料2006』（虹有社）予価2,500円

参考書等

『国際法判例百選』（有斐閣）などの国際法判例集、その他の市販されている国際法概説書

その他

授業は教科書に沿った講義形式で出席はとらない。教科書は他大学の講義と共通しているので早めに入手しないと、年度末には在庫切れで入手できなくなる可能性がある。

政治

科目名	担当者名
北米政治論(1)	こぼりのり お堀 訓 男

講義のねらい

この講義のねらいは、“アメリカ政治の特質”を理解することにある。アメリカは、世界中から集まった、多種多様な人種によって形成された不思議な国家である。その不思議な国家を理解するためには、たった一度の独立革命（独立戦争）で国家が成立してしまった様子、アメリカの国家理念、アメリカの政党と政治を考察し理解する必要がある。

講義の内容・授業スケジュール

1. アメリカ国家の成立過程
2. アメリカ政治の型式
3. アメリカの政党の機能
4. 民主党と共和党——両党の支持者はだれか。
5. 民主党か共和党か——両党の相違点は何か。
6. アメリカ政治の将来

履修上の留意点

この講義では、アメリカ政治の総論を概説するが、政治学の基礎的な知識を必要とする。基礎的な事項は、その都度明示し解説するが、理解できない点は積極的に質問して欲しい。

成績評価の方法

定期試験70%、授業中の小テスト30%、授業中の積極的な発言も評価の対象とする。

教科書

特定のテキストは使用しない。

参考書等

参考書、雑誌、論文など、講義のなかでその都度紹介する。

科目名	担当者名
北米政治論(2)	こぼりのりお 小堀訓男

講義のねらい

この講義のねらいは、“アメリカ政治の特質”を理解することにある。そのため、ルーズベルト大統領のニューディール政策からブッシュ大統領までの歴代の大統領の内政と外交を概観する。

講義の内容・授業スケジュール

1. ニューディール体制
2. 第2次大戦後の政治と社会
3. 激動の1960年代
4. 社会変動と政治の対応
5. 1970年代後半の保守化への動き
6. レーガン政権、I期II期
7. ブッシュ政権と社会主義諸国との関係
8. 冷戦終結後のアメリカと国際政治

履修上の留意点

ルーズベルト以後の各大統領の内政と外交について、受講生のなかで希望者が研究発表をおこない、受講生全員で討論しながら理解を深めていきたい。積極的に授業に参加することを望む。

成績評価の方法

定期試験70%、研究発表30%、授業中の積極的な発言も評価の対象とする。

教科書

特定のテキストは使用しない。

参考書等

参考書、雑誌、論文など、講義のなかでその都度紹介する。

その他

今日の問題とアメリカとの関係について、授業中に討論するので、新聞を毎日良く読んでおくこと。

政治

科目名	担当者名
東南アジア政治論(1)	なかむらまさし 中村正志

講義のねらい

東南アジアの特徴の一つに、域内各国における民族、宗教、言語、文化の多様性があげられます。とくに民族問題は、東南アジア諸国の政治のあり方を規定する重要な要因となっています。本講義では、おもにマレーシアを事例として、民族問題を切り口にこの地域の社会と政治とのかかわりについて学びます。

講義の内容・授業スケジュール

講義の前半では東南アジアの歴史を振り返り、この地域に多様な文化、宗教が流入した過程を見るとともに、植民地化を経て多くの多民族国家が誕生した経緯について学びます。後半の授業ではマレーシアをおもな事例として、多民族社会に対応するためにどのような政治システムが構築され、それがどのように機能してきたのかを学びます。また、東南アジアの時事問題についても適宜授業で言及します。

成績評価の方法

期末に試験を行い評価します。また、小論文を1～2回課す予定です。授業の出席率も評価対象とします。

教科書

教科書はとくに指定しません。

参考書等

参考文献を授業のテーマに応じて紹介していきます。

その他

授業は講義形式です。毎回レジメを配布し、それに沿って講義を進めます。

科目名**担当者名**

東南アジア政治論(2)

ふかおやすお
深尾康夫**講義のねらい**

東南アジアはその地理的・経済的背景から、古来文化的・民族的に多様な社会を発展させてきました。第2次大戦後独立を果たし、国造りをスタートさせた東南アジア各国にとって、いかに国内の多様性を尊重しながら統一国家を維持するのかという問題は、今日に至るまで大きな政治的課題です。本講義では海域部の大国インドネシアの事例を中心に、この課題への対応を探ります。

講義の内容・授業スケジュール

※各トピックを1～3回のペースで扱います。
 1. 東南アジア及びインドネシアにおける多様性とその背景、2. 中央集権と地方分権化、3. 経済開発と地方分権化、4. 民主化と地方分権化、5. 東ティモールの分離独立、6. アチェ・パプアにおける紛争、7. 比較

履修上の留意点

インドネシアを中心とする東南アジア関連のニュース報道に注意してください。

成績評価の方法

期末試験60%、レポート30%、出欠10%に基づいて評価します。

教科書

教科書は特に指定しません。

参考書等

毎回授業時に参考文献リストを配布します。

政
治**科目名****担当者名**

中国政治論(1)

たけはなみつのり
竹花光範**講義のねらい**

当科目は、地域研究入門講座的な性格をもって設けられたものであり、中国政治の歴史と現状について、正しい理解を得ることを目的としている。

講義の内容・授業スケジュール

授業内容は、辛亥革命以後の中国の政治制度と政治事情の変遷が中心になるが、とくに中華人民共和国建設後は、そうした変遷が、国家の最高法規であるはずの憲法の上に、どのように反映しているかについて詳述する。恐らく、プロレタリア文化大革命から75年憲法の採択あたりまでの講義になるものと思う。

履修上の留意点

時事的な問題を取り上げて解説するなど立体的な講義を心がけるので、できる限り講義には出席すること。

成績評価の方法

成績の評価は、論述型のペーパーテストによって行う。
前もって数題提示し、その中から出題することになるものと思う。

教科書

竹花光範『中国憲法論序説』（成文堂）3,500円

参考書等

参考書（とくに、中国政治史、中国共産党史や現代化路線に関するもの）は、必要に応じて講義の中で紹介する。

その他

中国は「近くて遠い国」であるといわれる。地理的には、まさに隣国といってよく、歴史的にも深い関わりがありながら、お互いの理解は、必ずしも充分とはいえない。そのことが両国の間に不必要な軋轢を生んでいるといっただけであろう。学生諸君が、正しい中国認識をもって、「あるべき日中関係」を考えるよすがとなるような講義を心がけるつもりである。

科目名	担当者名
中国政治論(2)	たけはなみつのり 竹花光範

講義のねらい	当科目は、地域研究入門講座的な性格をもって設けられたものであり、中国政治の歴史と現状について、正しい理解を得ることを目的としている。
講義の内容・授業スケジュール	後期においては、78年憲法から現行83年憲法の採択、その後の四度にわたる部分改正について述べることになるが、そこでは、いわゆる「中国の特色をもった社会主義」、すなわち社会主義市場経済体制の特色、並びに問題点についても論及する予定である。
履修上の留意点	時事的な問題をとり上げて解説するなど立体的な講義を心がけるので、できる限り講義には出席すること。
成績評価の方法	成績の評価は、論述型のペーパーテストによって行う。 前もって数題提示し、その中から出題することになるものと思う。
教科書	竹花光範『中国憲法論序説』（成文堂）3,500円
参考書等	参考書（とくに、中国政治史、中国共産党史や現代化路線に関するもの）は、必要に応じて講義の中で紹介する。
その他	中国は「近くて遠い国」であるといわれる。地理的には、まさに隣国といってよく、歴史的にも深い関わりがありながら、お互いの理解は、必ずしも充分とはいえない。そのことが両国の間に不必要な軋轢を生んでいるといつてよいであろう。学生諸君が、正しい中国認識をもって、「あるべき日中関係」を考えるよすがとなるような講義を心がけるつもりである。

政
治

科目名	担当者名
ヨーロッパ政治論(1)	なかのゆうじ 中野裕二

講義のねらい	本年度の「ヨーロッパ政治論(1)」は「フランスにおける移民・外国人問題」と題して講義します。基礎となる学問的傾向は政治社会学です。フランスは人種、文化、宗教の面で多様な人々をどのような理念・制度に基づいて社会に統合し、彼らと共存しようとしているのか。実際に移民・外国人の抱える困難は何か。政府や政治勢力は移民・外国人問題にどのように対応しているのか。こうした点の検討をとおして「国民とは何か?」、「多様な人々との共存はどのように可能か?」を考えます。
講義の内容・授業スケジュール	<ol style="list-style-type: none"> 1. 社会編成原理としてのフランスの共和制 2. 外国人労働者から移民へ、そして市民へ 3. 移民・外国人労働者の直面する困難 4. 移民・外国人労働者排斥の論理 5. 移民・外国人に対する施策 6. 共存理念としての共和制は有効か?
履修上の留意点	「政治制度論」を受講済みであることを前提として講義します。 フランスを直接の対象としますが、「日本の移民・外国人問題は?」「日本の共存理念は?」という問題関心をつねに持って受講してください。時間が許せば、日本の状況を紹介し、比較します。
成績評価の方法	期末試験と授業時間中の小テストなどを評価します。学生に期待される到達レベルを初回の授業で示し、それをもって評価基準とします。なお、授業中の意見・質問などの授業への積極的参加は、補助的に評価します。
教科書	教科書は使用しません。毎回プリントを配布し、その内容にそって講義を進める予定です。参考文献は適宜紹介します。

科目名	担当者名
ヨーロッパ政治論(2)	中田瑞穂

講義のねらい

第二次大戦後の社会主義期を経て1989年以降民主化し、EUにも加盟した「もう一つのヨーロッパ」、中・東欧諸国の現在の政治、社会を、統合ヨーロッパの視点から、他のヨーロッパ諸国と比較しつつ、様々な角度で検討する。その際、第一に、EU拡大に伴い、EU、国民国家、地域、市民社会と、政治の次元が多層化していること、第二に、中・東欧諸国の政治を、90年代後半以降のヨーロッパ政治の全体的な潮流の中に位置付けること、の二点に重点をおく。

講義の内容・授業スケジュール

具体的には、以下のテーマを順に取り上げる予定である。
 1. ガイダンス、東ヨーロッパ地域とは何か、2. 1989年の民主化、3. 民主主義の固定化、4. 政党システム、政党組織、5. 政党支持、政治参加、6. EU加盟を巡る諸問題「ヨーロッパへの回帰」、7. ヨーロッパ統合とその課題、8. 「新しい政治」、9. 「諸地域からなるヨーロッパ」、10. 中・東欧の「市民社会」、11. 社会保障制度

履修上の留意点

20世紀以降のヨーロッパ史に関する基礎知識をもつことが望ましい。

成績評価の方法

筆記試験による。レポート提出の機会を設け、提出者には加点する。

教科書

なし

参考書等

レジュメの中で適宜示す。

その他

授業は講義形式で行う。レジュメを配布する。

政
治

科目名	担当者名
ヨーロッパ政治論(3)	浅見政江

講義のねらい

欧州諸国の国民投票制度について比較分析することが本講座の目的です。2005年春から夏にかけてスペイン、フランス、オランダ、ルクセンブルクにおいてEU憲法条約批准にかかわる国民投票が実施されました。フランスとオランダで反対多数により批准が否決されたことによって、憲法条約は存亡の危機に瀕していますが、各国で実施された国民投票の法的位置づけは必ずしも同一ではありません。一方で、国民投票という手段に頼らず批准を完了させた国もあります。さらに、EU構成国ではありませんが、スイスにおける国民投票制度は、EU諸国のそれとは全く別ものです。これら諸国の国民投票制度を比較することによって欧州諸国の民主主義の実態を明らかにしていきます。

講義の内容・授業スケジュール

- 第1クール：国民投票とは何か？ 直接民主主義の意義（2回）
- 第2クール：スイスにおける国民投票制度（2回）
- 第3クール：EU構成国における国民投票（1）北欧諸国（3回）
- 第4クール：EU構成国における国民投票（2）フランス、スペイン他（4回）
- 第5クール：国民投票に関するまとめ（1回）

履修上の留意点

講義内容を正確に理解し、理解を深めるためには講義中提示した参考資料の手助けが必要で
 す。講義に欠かさず出席することはもちろんのこと、講義を発展的に活用する意気込みのある
 人の履修を期待します。

成績評価の方法

学期末の試験とレポート（1回）によって成績評価を行います。

教科書

特定のテキストは使用しません。

参考書等

吉武信彦『国民投票と欧州統合』（勁草書房）2005年
 を推薦します。この他の参考文献は講義中に提示します。

科目名	担当者名
ヨーロッパ政治論(4)	浅見 政江

講義のねらい

本講座ではドイツ連邦共和国を素材に欧州の政治に関する理解を深めていきます。周知のように「ドイツ」は欧州を代表する主要国のひとつです。その「ドイツ」の誕生から現在に至る歴史を概観し、現在のドイツの政治制度、社会、経済について解説します。さらに欧州連合(EU)の中核的存在である「ドイツ」を欧州統合の文脈で評価してみたいと思います。

講義の内容・授業スケジュール

第1クール：「ドイツ」とは何か・「ドイツ」歴史（5回）
 第2クール：現代ドイツの政治制度（4回）
 第3クール：現代ドイツの課題（3回）

履修上の留意点

ドイツを対象に講義を行います。特段ドイツ語の知識は必要ありません。ただ、講義内容を正確に理解し、理解を深めるためには講義中提示した参考文献の手助けが必要です。講義に欠かさず出席することはもちろんのこと、講義を発展的に活用する意気込みのある人の履修を期待します。

成績評価の方法

平常点で評価します。3つのクールの最終回に小テストを実施し、その合計点と出席点で成績評価を行います。

教科書

特定のテキストは使用しませんが、講義中適宜参考文献を提示します。また、随時講義内容に関連するレジュメを配布する予定です。

政治

科目名	担当者名
アラブ・イスラム政治論	中島 勇

講義のねらい

現代中東の政治問題を中心に扱う。開講中に発生する事件や紛争を手がかりに、その背景にある民族問題、宗教問題を整理する。中心的テーマは、アラブ・イスラエル紛争、イラク問題、イスラム系組織のテロ問題となる。また一神教の成立など、現在の事件の背景を理解するために必要な歴史にもふれる。

履修上の留意点

ニュースを扱うので、国際報道に関心があることが望ましい。

成績評価の方法

評価は、レポートの提出で行う。

科目名**担当者名**

中南米政治論

岸川毅

講義のねらい

比較政治学の観点から、中南米諸国の政治体制の基本構造と変動のメカニズムを解説する。まず独立後の政治史を概観したのち、軍、政党、教会、労組、住民組織、ゲリラ組織など主要アクターの役割を明らかにしつつ、中南米地域に共通して見られる一般的性格や国ごとの独自性を明らかにする。そしてさらに、民主化や経済自由化といった近年の動きが伝統的な政治のあり方をどう変えていったのかを見ていく。

講義の内容・授業スケジュール

- (1・2) 中南米政治の歴史的背景
- (3～6) 主要な政治アクター
- (7～9) 革命と革命後政権
- (10・11) 民主化
- (12) 経済自由化
- (13) 中南米政治の新たな課題

履修上の留意点

積極的な質問を期待する。本講義では基礎的知識の提供を目的としているので、より知識を深めたい学生に対しては、専門文献や研究方法を個別に紹介する。

成績評価の方法

学期末に実施する論述式の試験によって評価する。出席点も若干加味する。

教科書

松下洋・乗浩子編『ラテンアメリカ 政治と社会 [全面改訂版]』(新評論) 3,200円

政治

科目名**担当者名**

比較都市論

内海麻利

講義のねらい

経済成長を目的に都市開発を進めた時代から、地域管理や経営という視点を含む持続的発展を目指した都市づくりが要請される時代へと移行しつつある。このような変化に対し今日の都市づくりは、経済のグローバル化に伴い国内外にわたる地域間競争にさらされ、持続可能性をもって地域ポテンシャルを高めることが期待されている。一方、地方分権改革により各都市独自の政策に基づき、固有の環境や景観、歴史や文化・産業などの資源を活かした個性豊かな都市のあり方が問われている。本講義では持続可能で個性豊かな都市づくりという観点から、諸外国と日本、日本における各都市について比較し、また、先進的な事例をとおして今後の都市政策における学生諸君の専門知識と理解を深めることを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

授業では、各回毎に今日的なテーマを設定し、様々な都市のデータ及び都市づくりに関する計画や政策、実践的な取り組み等を提示しながら講義を行うが、詳しい授業スケジュールについては、第1回目の授業の際に配付する。

履修上の留意点

授業時に紹介する教科書や参考書を読み理解を深めるよう努力を払ってほしい。

成績評価の方法

授業への出席、レポート、学期末試験の成績を中心に評価する。

教科書

特に教科書は指定しない。

参考書等

授業中に随時提示し、さらに詳細な考察を望む学生にはテーマに沿う参考書を推薦する。

講義のねらい

マス・メディア、とりわけテレビは、いわば空気のように、身近で、かつ、なくてはならないものというのが、私達大部分の実感といてようと思います。しかしその身近さやおもしろさ、有用性などによって、メディアは実は気づかれない形で私達のものの方や考え方を、さらには感じ方までも形づくる大きな力の一つになっています。
この問題を掘り下げて考えていきます。

講義の内容・
授業スケジュール

前期：「カメラはウソをつかない」か。
新聞記者の「ペンにはウソをつき得る」が、報道のカメラは事実をありのままに伝えてくれる一のかどうか。

(1) 原理的検討

記号論やカルチュラル・スタディーズに基づいて、この問題を掘り下げます。

(2) 具体的検討

新聞の具体的写真によって考えてゆきます。

後期：テレビニュースやドラマをめぐって。

(1) ニュースによる「よびかけ」

私達はニュースによって「よびかけ」られて、気がつかないうちに「国民」や「消費者」に仕立てられます。このことを具体的にかつ論理的に追求します。

(2) 視覚的・言語的言説としてのテレビ

「現実性効果」、「埋めこまれた前提」について、構造主義の方法を参考に検討します。

(3) メディアと権力

権力についての新しいとらえ方を学びます。

(4) ドラマの視聴者への影響

テレビドラマの深い影響力を調べます。

成績評価の方法

レポートと学年末試験の成績を中心に評価します。

教科書

使用しません。

参考書等

U. エーコ『記号論』I、II (岩波書店)
児島和人『マス・コミュニケーション受容理論の展開』(東京大学出版会)

科目名**担当者名**

数量政治学

みとかつのり
水戸克典**講義のねらい**

周知の通り、わが国の憲法では主権在民がうたわれています。しかしながら、誰が実際に政治の実験を握り、政策を決定しているかについては、ほとんどの国民にとって闇の中にあるといっても過言ではありません。

本講義ではアクター間の相互作用によってなされる政策形成過程に触れつつ、数量政治学的観点から、現代政治のさまざまな特質を解説し、内外の政治力学を多面的に検討していきます。

**講義の内容・
授業スケジュール**

概ね以下の点を中心に講義を進めます。

- 1 ガイダンス
- 2 政治・権力・国家
- 3 民主主義
- 4 政党
- 5 有権者の投票行動
- 6 議会と立法過程
- 7 官僚制
- 8 利益集団
- 9 中央—地方関係
- 10 政治—経済モデル
- 11 国際政治

政
治**履修上の留意点**

履修にあたり、特に予備知識は必要としません。
但し、現代の政治現象に関心のある学生の履修が望ましいと思われれます。

成績評価の方法

定期試験、平常点（小テスト等）、（場合によってはレポート）の結果を総合的に勘案し、評価します。

教科書

授業中に適宜指示します。

参考書等

授業中に適宜指示します。

その他

授業方法—原則として講義形式とする予定です。詳細は初回の授業時に説明します。

科目名

メディア社会論

担当者名

相田敏彦

講義のねらい

いまやすっかり日常語になっている「メディア」「情報（化）社会」、「情報」の観念・概念に関する的確かつ批判的な把握をめざす。そのために、相互に密接に関連する「情報」、「記号」、「メディア」などの概念を掘り下げて検討する。また、さまざまな情報メディア（機器）による媒介的（mediated）関係性という、情報社会の基本的特性、さらに情報社会の問題状況について論じる。

講義の内容・授業スケジュール

1. 情報論
通信理論における情報概念は、日常の用語法とはかなり異なる。ここでは情報は確率的な量として定義される。
2. 記号論
ことばや映像はいうまでもなく、世の中の森羅万象が記号たり得るとというのが、現代記号論の基本的視角の一つである。常識的な記号の考え方をくつがえすこの視角について述べ、記号論の基本的タームにも言及する。
3. 媒介的関係性、メディア
情報社会の基本的特性は、ケータイ、パソコンなどさまざまな情報メディア（機器）によって媒介された（mediated）関係性・コミュニケーションである。媒介的関係性・コミュニケーションについて論じ、その歴史的展開をふりかえる。
4. 情報社会の問題状況
情報社会の「光」の部分と「闇」の部分の両者に目を配りながら、現代社会の情報化がもつ根幹の問題状況を掘り下げる。

政治

成績評価の方法

課題レポートと学年末試験の予定だが、受講者の人数により、最終的に決定したい。

教科書

ラッシュ『情報批判—情報・メディア・コミュニケーション論再考』（NTT 出版）

参考書等

児島和人（編著）『講座社会学 8. 社会情報』（東京大学出版会）
竹内郁郎（編著）『メディア・コミュニケーション論』（北樹出版）
池上嘉彦『記号論への招待』（岩波書店）
その他、授業中に指示する。

講義のねらい

本講義は、人々がどのような経緯で政治意識を形成し、あるいは決定を行うのかについての理解を深めることを主な目的とする。

講義の内容・
授業スケジュール

現代民主主義社会においては、選挙をはじめとして、様々な形で有権者が政治に関与することが求められている。また同時に、大衆社会としての現代社会においては、有権者が政治に関する情報に触れ、政治意識を形成する機会やそのための手段が多くなっている。とりわけ近年の情報技術の発達は、そうした流れを促進しているといえる。では、有権者はどのようにして自らの政治意識を形成し、選挙での投票につなげているのだろうか。そしてそこには、どのようなメディアの影響があるといえるのか、あるいはそういった影響は存在しないのだろうか。本講義では、これらの点について、以下の要領で授業を進めていく。

前期：選挙と投票行動

1. 現代政治と選挙
2. 政治参加と選挙の機能
3. 選挙と政党
4. 圧力団体
5. 日本の選挙
6. 投票行動
7. 投票行動研究の系譜

後期：メディアと政治

1. 現代社会とマスメディア
2. 政治的社会化
3. 政治意識と社会
4. 世論と参加
5. メディアと政治
6. 新しいメディアの登場と政治
7. 民主主義とメディア

政
治

履修上の留意点

この講義は、政治に関する最低限の知識を持ち合わせていることを前提に行われる。また講義中は、他の受講者の迷惑となるような行為は一切禁ずる。

成績評価の方法

原則として、前後両期末に実施予定の定期試験における評価をもって、成績評価を行う。

教科書

特に指定しない

参考書等

河田潤一・荒木義修『ハンドブック政治心理学』（北樹出版）
堀江湛・上條末夫・富田信男編著『政治心理学』（北樹出版）
など。他は講義内で提示する。

講義のねらい

本年度の「政治社会学」の長期的目標は次の二点にあります。第一に、現代社会を分析し、理解し、説明する力を身につけること、第二に、現代社会の諸問題を解決する理論を模索することです。

しかし、直ちに現代社会の現状分析を行うことは不可能です。それは、分析道具である概念や理論を持たないからです。そこで、この講義では、19世紀の社会学者たちが、19世紀社会をいかに分析し、理解し、説明したか？彼らが19世紀社会の諸問題をいかに理論的に解決し、乗り越えようとしたのか？を学びます。

それでは、なぜ19世紀なのか？理由は二つあります。第一に、19世紀社会は、産業革命と市民革命を経た大変動期であり、われわれの現代社会が抱える問題が初期形態として登場した時代であるからです。第二に、それゆえ、19世紀の社会学者たちの理論的営みは、現代政治学の基礎になっているからです。彼らを抜きにして現代政治学を理解することはできません。

講義の内容・
授業スケジュール

1. 政治社会学について
2. トクヴィル
3. マルクス
4. コント
5. デュルケム
6. ヴェーバー
7. 20世紀の政治社会学

履修上の留意点

上記のように、社会学者ごとに項目を設けて講義を進めます。しかし、この講義は「学説史」に重点を置くものではありません。それぞれの社会学者たちが、自分の生きた時代の何を問題視し、それをいかに理論的に乗り越えようとしたのか、という知的営みに焦点を当てます。受講生はつねに、現代社会への応用を念頭に置いて、「自分ならばこういう理論を立てる」という構えをもって望んで欲しいと思います。

成績評価の方法

期末試験と授業時間中の小テストなどを評価します。学生に期待される到達レベルを初回の授業で示し、それをもって評価基準とします。なお、授業中の意見・質問などの授業への積極的参加は、補助的に評価します。

教科書

教科書は使用しません。毎回プリントを配布し、その内容にそって講義を進める予定です。参考文献は適宜紹介します。

科目名

担当者名

政治経済学

しらとり
白鳥 浩

講義のねらい

政治と経済は、現代においては社会の両輪にも例えられています。また、積極政治の進展とともに、政治と経済をマクロに理解する視座の重要性が叫ばれています。本講義においては、政治経済学の全体像を学んでもらいます。特に、先進国におけるデモクテシーのあり方は、政治と経済に関する政策的なスタンスの違いに起因することを検討することを目的とします。最終的には、国民国家の発展の到達点といわれる福祉国家を理解することにつなげていきたいと考えています。

講義の内容・
授業スケジュール

以下の内容を初めてのひとにもわかるように講義します。

1. 政治と経済
2. 戦後政治経済
3. システム論とレジーム論
4. コーポラティズム
5. 福祉国家論「白鳥・ローズの混合福祉論」
6. 福祉国家論「福祉国家の三つの世界論」
7. 経済と文化の間の政治「ヨーロッパの福祉国家」
8. 北欧の福祉国家の変容
9. 福祉国家としての日本
10. 脱工業化社会に向かうのか？

政
治

履修上の留意点

関心を持って、講義に出席してください。

成績評価の方法

試験を中心とするが、総合的に判断する。

教科書

新川・井戸・宮元・眞柄『比較政治経済学』（有斐閣）2004年

参考書等

井戸『経済危機の比較政治学』（新評論）1998年
眞柄『体制移行の政治学』（早稲田大学出版部）1998年
白鳥編『福祉国家の再検討』（新評論）2000年
授業内で適宜、指示します。

科目名	担当者名
比較メディア論	いわさき 岩崎 いえお 宇雄・島中 しまなか まこと 誠

講義のねらい

(前期) 現代のメディアの置かれている状況と現代社会との関わりについて、広範囲な視点から、最近のITの発展と情報ネットワーク社会化が既存のメディア構造をどう変化させるか、その社会へのインパクトについて日本、欧米、アジアモデルを比較し、考察する。新聞業界の歴史と現況、さまざまなメディアが抱える諸問題、職業としての新聞記者のあり方などを、実体験したエピソードをまじえつつ紹介する。

講義の内容・授業スケジュール

(前期) 現代メディアの構造、IT革命とメディア、メディアと政治システム、メディアとグローバルイズム、テレビメディア論、メディアと文化摩擦、電子メディアと選挙システム。テーマとしては①新聞の理念②新聞の将来③ニュースの定義④ジャーナリストに必要な資質⑤新聞記者の日常⑥職業倫理⑦ニュース発掘、記事作成から紙面掲載までのプロセス⑧誤報とスクープ⑨新聞のタブー⑩国際記者と国際報道⑪新聞ジャーナリズムへの批判(人権報道、偏見報道、記者クラブ)などを考えている。

履修上の留意点

(前期) 自分自身のメディア・リテラシー度を採点してみる。日ごろ、新聞を熟読すること。一つのテーマを毎日追いかけることが望ましい。

成績評価の方法

学期末試験の結果、授業への積極性、レポート内容等で総合的に評価する。

教科書

教科書は使わない。毎回プリントや新聞の現物・切り抜きを配布する。

参考書等

参考文献、論文等はテーマごとに指定、推薦する。

その他

(前期) テーマごとに課題の提示とレポート提出等をおりませ授業を進める。

政治

科目名	担当者名
基礎演習	あいだとし 相田敏彦

講義のねらい

マスコミ、広告、パソコン・インターネット普及などの情報化をめぐる広い領域から各自好きな内容を選んでテーマとする。どの領域も研究の蓄積がなされていると同時に、広告・広報や情報化は、非常に多くの仕事・企業とかかわりをもつ意味で、実践性・実用性が一層顕著になりつつある。テーマの実践性に加え、卒業後も射程に入れて、人前での発言・発表力、報告書・レポートを書く力などの基礎体力のABCからはじめる。討論、ディベート、合宿などゼミ生同士の交流も深め、大学生活の真の燃焼の場として〈ゆったり・楽しく・着実に〉活動する出発拠点としたい。

講義の内容・授業スケジュール

3年次からの演習より、基礎的な面にいっそうのウェイトを置きたい。

成績評価の方法

平常点。

科目名

担当者名

基礎演習

うちうみま
内海麻利

講義のねらい

本基礎演習は、3年次からの演習に向けて、都市政策・地方行政・市民参加・まちづくりに関する基礎的な知識を養い、受講者が持つ問題意識を喚起するとともに、問題を研究する手法、分析力、報告・発表する能力を身につけることを主な目的としている。特にその演習方法は、図書や資料で知識を広げるとともに、3・4年次生との交流や、ワークショップ、フィールドワークなど人との対話や実践的な活動を通して知見を深める。

講義の内容・授業スケジュール

前期は、研究の方法や進め方、テーマ毎に異なる課題への解決方を理解するため、主に4年次生等が行ってきた研究報告に対してワークショップなどの手法を活用しながら議論する。また、受講者の興味に応じて、参考図書や資料、事例などを紹介し、基礎的な知識を養う。後期では、前期の基礎的な知見を踏まえて、演習期間内において各人が行う研究スケジュールやプログラム（問題意識の発掘、研究テーマ・研究方法の設定、関連文献の収集及び実地調査、とりまとめ方法など）を自ら作成し、各人の問題意識に対する解決策を検討・報告する。例えば、平成15年度の研究テーマには次のようなものがある。密集市街地の狭隘道路整備、自治体の財政状況、自治体税制の可能性、地方都市の合併問題、地方及び中心市街地の活性化、景観問題、市民参加手法、介護・医療保険制度、年金制度、人口安定地域の実態調査、環境問題などである。

政治

履修上の留意点

ゼミの運営自体も学生の主体性を重視するため、積極的なゼミ活動への参加が望まれる。

成績評価の方法

出席状況、個々人の発表・報告の充実度、ゼミに対する意欲などを総合的に評価する。

参考書等

個々人の研究テーマに応じて適宜紹介する。

科目名

担当者名

基礎演習

うらたさ
浦田卓苗

講義のねらい

これまでわれわれが直面してきた、そしてこれからも直面し続ける様々な政治・社会現象について、純粹かつ鋭い視点から問題を喚起し、幅広い柔軟な発想をもって解決策を導きだせる人材を育成することに主眼をおいている。

講義の内容・授業スケジュール

17年度は共通テーマとして「混乱の世界と日本」とし、内外の重要課題について個人研究及びグループ研究が行われた。発表のテーマは『石油とイラク』、『日米同盟のあり方』、『日本のテロ対策』、『個人情報の保護』、『望ましい公共事業』、『介護保険の是正』、『(ディベート) 常任理事国入りの是非』、『(ディベート) 消費税引き上げの是非』といったものであった。

履修上の留意点

オリジナリティ溢れる問題解決策・プランニングの作成にはかなりの時間を費やさなければならぬ。

成績評価の方法

発表内容及び各自の持つ勉学意欲（発表に対する質問・意見等）によって評価する。

参考書等

文藝春秋編『日本の論点2006』（文藝春秋）2,700円

その他

研究発表では、学生諸君各自が興味あるテーマを自由に選択することができる。年3～4回のコンパと夏合宿が7月にある。

科目名

担当者名

基礎演習

おおやま れいこ
大山 礼子

講義のねらい

3年次からの演習に向けての準備過程として、常識的な政治学の知識を確認すること、自分で調べる能力を養うこと、論理的に考え、発表する力をつけることを目標にします。

講義の内容・
授業スケジュール

(前期)

新聞記事を出発点として、時事問題の背景や政治学的な意味を考えていきます。ゼミ生全員に毎週、興味を惹かれた新聞記事の切抜きを作ってきてもらい、そこから素材となる記事を選ぶ方法をとりたいと考えているので、ゼミ生にはまず、新聞の政治面を読む習慣をつけることが求められます。

(後期)

少し読み応えのある本をみんなで読む予定です。前期で培った土台をもとに、さらに読解力や論理的思考力を向上させるのが目標です。レジュメ(要約)の作り方、図書館の資料やインターネット上の情報の利用の仕方についても学習します。

履修上の留意点

講義課目と違って演習は学生が作っていくものですから、積極的・主体的に参加すること。

成績評価の方法

平常点によります。

教科書

教科書は使用しませんが、参考書は適宜紹介するので、なるべく多くの文献に挑戦してください。

その他

無断欠席、遅刻厳禁。周囲の状況をよく見て、自分に求められている役割を積極的に果たすこと。ゼミのイベント時は原則として禁煙。

政治

科目名	担当者名
基礎演習	清 滝 仁 志

講義のねらい

本演習では、政治学科の諸科目を履修するのに必要な政治学の基礎知識を学ぶとともに、自分の考えを的確にまとめ、相手にわかりやすく表現する技術を身につけることを目的としています。

講義の内容・授業スケジュール

前期は、テキストを担当者が報告し、議論をする方式をとります。これによって文献を論理的にまとめ、報告する能力をつけます。
後期は、毎回テーマを設定してグループで討論し、全体で報告する方式をとります。就職面接等での集団討論を念頭におきながら、議事進行・意見集約・建設的討論の技術を習得していきます。

履修上の留意点

- 演習で行わねばならないこと
- ①資料等を毎回熟読
 - ②レジュメ作成、口頭発表
 - ③レポート、論文の作成
 - ④グループ討論（議論するだけでなく、司会、書記、タイムキーパー等）

報告の方法など随時説明しますので演習を通じて実力UPをめざして下さい。

成績評価の方法

演習での報告内容、議論の参加状況、グループでの協力の程度

教科書

なるべく新しく読みやすい新書を選択します（前期）。

その他

ゼミの行事…ゼミ合宿（夏）、旅行（冬）、都内の諸施設見学（去年は国会、日本銀行、皇居）、BBQ大会
授業中に4年生の就職活動報告などを適宜おこないます。
質問があれば、kiyotaki@komazawa-u.ac.jp まで。
（HP）<http://www.bat.alliednet.ne.jp/kiyotaki/>
（BLG）<http://navy.ap.teacup.com/komazawa/>

政治

科目名	担当者名
基礎演習	小 堀 訓 男

講義のねらい

政治学と国際政治学の基礎的な知識を整理しながら理解すると同時に、受講者各自が興味をもっている問題を研究する方法と、発表する能力を訓練する。

講義の内容・授業スケジュール

前期は、政治学と国際政治学の基礎的な知識を受講者全員で討議しながら、講義形式で授業をおこなう。同時に並行して、受講者各自に自分が興味をもっているテーマを提出させ、それをもとに、各自に研究資料や研究方法を指導する。
後期は、それまで指導を受けた各自の研究テーマを各自が発表し、その内容について全員で討論する。討論することによって、研究発表の方法や研究内容・問題点の所在を明らかにし、本格的な演習を受講する能力を身につけたい。

履修上の留意点

問題意識を明確にもった学生の受講を希望する。研究したい、ということと、研究出来るということは別であるが、まず、研究テーマを明確にして研究したいという情熱をもつことが先決である。あとは、この講座で研究するための方法や能力を身につける訓練をしてほしい。

成績評価の方法

講義中の発言、研究発表の内容で評価する。

参考書等

授業中に適宜紹介する。

その他

活発な授業参加と発言を求める。講義に関連したビデオ（各種の国際事象の実録など）を見る予定である。

科目名**担当者名****基礎演習**た ま り だ い
田丸大**講義のねらい**

ディベートやグループ研究といった共同作業を行なうことで、自主的に取り組む勉強は面倒ではあるが、友人も増えて意外と楽しいということを理解してもらおうのが、この基礎ゼミの狙いです。

より丁寧に言うと、現実の政治・行政の観察・問題発見・分析・提案能力の基礎を養うことを目的とする。自らが現実の政治・行政の問題に興味を持ち、自分の力でそれを調べ考え、その結果をゼミ生に報告し議論することによって、様々な能力を、基礎ゼミの場で身につけて欲しいというのが私の願いです。

講義の内容・授業スケジュール

ゼミ生と相談してから決めたいと思うが、現在のところ、以下を考えている。

- (1) ゼミ生がそれぞれテーマを設定し、個別であるいは共同で調査研究し、その成果を発表する。
- (2) ディベートを行う。
ちなみに、昨年度の基礎演習のディベートのテーマは、サマータイム導入の是非、外国人労働者の受け入れの是非である。

履修上の留意点

無断欠席は認めないので、注意すること。

成績評価の方法

出席・発表・発言などを総合的に評価する。無断欠席者には単位を与えないこともある。夏合宿も出席点に含める。

教科書

なし。

その他

(1) ゼミの諸活動への参加意欲の高い学生を歓迎する。(2) なお、ゼミ生のうち、卒業後の進路として、各種公務員を視野に入れている者に対しては、国・地方の公務員の仕事や職場環境がどのようなものであるか、試験勉強をどのようにスタートさせればよいかなどについて、若干のアドバイスをやりたいと考えている。また、ゼミOBの公務員をゲストに呼び、業務内容や受験勉強についてのアドバイスをしてもらおう(3年生のゼミと合同で)。

政
治

科目名

担当者名

基礎演習

三竹直哉

講義のねらい

研究を自らやるための訓練をします。

講義の内容・授業スケジュール

年によって、参加者によって異なります。下記授業用ホームページで確認してください。

履修上の留意点

たくさん書き、本や論文にたくさん接し、図書館にたくさん行ってもらいます。そういうことが「楽しい」と思う人向けの演習です。大学生活で勉強に重点を置く覚悟をして臨んでください。

この基礎演習の内容は、下記のホームページで詳しく見ることができます。現在履修している学生のみ皆さんの様子もわかりますし、履修にあたって必要な条件も書いてありますので、私の基礎演習に応募される方は、<必ず>参照して下さい。

成績評価の方法

平常点と期末テストによります。詳しいことは下記サイトをご覧ください。

教科書

たくさんあります。その都度、指示します。

参考書等

その都度、指示します。

その他

授業用ホームページ：
<http://www.jj.em-net.ne.jp/~bamboos/>

URL が変更になる可能性があります。その場合、Google などで三竹直哉と入れて検索してみてください。見つからなければ、下記までメールでご連絡ください。
 mitake@komazawa-u.ac.jp

政治

科目名

担当者名

基礎演習

三船恵美

講義のねらい

現代の国際関係について自分自身の視角を形成し、それを報告しながら討論することを学ぶのが、本ゼミの目的です。複数の学生全員が同じ考え方をすることはあり得ません。異なる考え方の学生が集まり、異なる価値観に対して排他的になることなく、しかも単なる「仲良し関係」では終わらない知的緊張関係の中で、対立するところは対立し、評価できるところは評価しあうことを学びましょう。自分の意見を単純に主張するだけではゼミに参加する意義がありません。議論は言い争うことと本質的に異質なものです。議論することで自分の意見を主張したり異なる意見を受け入れ、自分の考え方を鍛えるためにゼミは存在します。

講義の内容・授業スケジュール

第1回目の授業でスケジュール表を配布します

成績評価の方法

ゼミへの貢献度+報告+レジュメ+レポートの総合評価です。
 座っているだけの学生を出席とは認めません。欠席する場合は、必ず授業の開始30分前までにメールで連絡して下さい（ゼミ生を通じての連絡でもかまいません）。連絡せずに欠席を続けている学生には単位を与えません。「無断欠席」4回以上で不合格にします。その場合は救済方法を全く与えません。講義と異なり、ゼミは学生が主体になって運営します。
 緊張感を失わないで、でも、楽しい、笑顔の絶えないゼミを目指しましょう。

教科書

教場で指示します。

参考書等

教場で履修者の学問的関心に基づいて指示します。

講義のねらい

基礎演習の目標

- ・本を読むことに慣れる
- ・自らの主張を説得的に述べる方法を身につける
- ・報告の仕方、討論の仕方を身につける

本年度の基礎演習では、政治学またはひろく社会科学に関連する本を読みます。事前に分担を決め、報告者は、担当章を自分なりに要約・再構成し、皆の前で発表します。発表とその後質疑応答を通して、その部分を読んでいない人にも、内容の要点が理解できることが報告者の責任となります。

こうした仕方の本を読む理由は、私が、政治学は分析の対象と方法を自ら定め、分析・解釈し、その結果を人に理解してもらうという手順を踏むがゆえに、対象・方法の選択、分析・解釈の仕方、結果の表明の仕方が、他の学問分野よりも重要であると考えからです。さらに、こうした技術は自ずと身に付くものではなく、意識的に学習する必要があると考えるから、基礎演習という場を選ぶのです。それゆえ、私の基礎演習では、すでにこの技術を身につけている人の書いたものを読んで、その筆者から技術を学んでいくこと、そして自分なりに使えるようになることを目標とします。

この基礎演習は、政治に関する知識よりも、政治学に関する方法に重点を置いたものだといふべきです。

政治

講義の内容・授業スケジュール

輪読予定の本のリストは以下の通りです。何を読むかは、受講生と相談して決めます。

- 鹿野政直『日本の現代』（岩波ジュニア新書）
- 新藤宗幸『行政ってなんだろう』（岩波ジュニア新書）
- 原康『国際関係がわかる本』（岩波ジュニア新書）
- 毎日新聞外信部『世界はいまどう動いているか』（岩波ジュニア新書）
- 高根正昭『創造の方法学』（講談社現代新書）
- 岩田靖夫『ヨーロッパ思想入門』（岩波ジュニア新書）
- 木田元『反哲学史』（講談社学術文庫）

または

- 新藤宗幸『政治とは、なんだろうか』（岩波書店）
- 篠原一『市民の政治学』（岩波新書）

履修上の留意点

本を読むゼミです。グループ研究やディベートはやりません。読書に関して、私と同じ考えを持つ人の言葉を書いておきます。「インターネットなどによる情報収集と読書とはまるで性格の違うことなのである。私たちは偉大な作家や思想家の書いた一冊の本を読み通すことによって、深く感じることを学ぶのであって、情報を収集しているだけではないのだ」（木田元『猿飛佐助からハイデガーへ』岩波書店、2003年、「はじめに」より）

無断欠席は原則として登録抹消とします。欠席は4回までしか認めません。

成績評価の方法

毎回の出席、報告内容、発言回数・内容などを総合的に判断し、評価します。

科目名**担当者名****基礎演習**はやかわよしき
早川純貴**講義のねらい**

基礎演習は3年次からの演習に向け、政治学の基礎的知識を養い、多面的な観察力と深い分析力、さらには資料収集方法を身につけることを目的としている。とりわけ当演習ではこうした能力を、グループ対抗のディベートおよび班毎のリサーチ（フィールドワークを含む）を通して涵養していきたい。

講義の内容・授業スケジュール

ディベートで扱うテーマは日本の政治・社会・経済の諸問題（特に賛否両論が際立つ問題）に限定し、それぞれのテーマについて二つのグループが是側・非側の立場からアプローチしていく。ディベートは勉強の目標であり総括でもある。リサーチは地方政治が抱えるさまざまな課題について、それぞれ担当の班がフィールドワークを行い、その成果を発表する。また担当したリサーチについてはレポートを提出してもらおう。

履修上の留意点

当基礎演習で鍛えて欲しいのは、自分の考えをきちんと言葉で表現できる力、あるいは自分たちの主張を効果的に相手（聞き手）に伝え、十分に納得させる力である。そのためには学生諸君の議論とフィールドワークへの積極的参加を求めたい。

成績評価の方法

議論や調査への参加度、発表の充実度、レポートの内容などを総合して評価する。

教科書

教科書は用いない。参考文献は演習の過程で随時紹介する。

政治

科目名**担当者名****基礎演習**むらいりょうた
村井良太**講義のねらい**

この講義は、政治学を学び、政治への理解を深める上での基礎的な技術を身につけることをねらいとしています。教材を読み、レジュメをまとめ、報告し、議論し、レポートを書くなど一通りのことをします。教材には、戦前戦後の日本政治史を始め、現代政治、さらにアメリカやアジアなど他の国々のものも使って、「世界のなかの日本」という広い視座を身につけてもらいたいと思います。

講義の内容・授業スケジュール

前期は、簡単な論文や新書などを使って教材の読み方やレジュメのまとめ方、報告やコメントの仕方、レポートの書き方などを広範に学びます。後期は、さらに受講生の意欲によって、合宿やディベート、レポート発表など貪欲に授業を進め、最終的に簡単なゼミ・レポートを提出してもらいます。

履修上の留意点

演習は他の講義以上に、教員、学生ともに参加者全員でつくりあげていくものです。積極的な参加を求めます。

成績評価の方法

成績は、授業への積極性、出席、報告、発言、レポートなどから総合的に判断します。

教科書

テキストはこちらから指定するものもありますが、おおむね話し合いながら決めていきます。

その他

授業の方法は、基本的には、毎回、テキストを指定して、それを輪読しながら議論することになります。報告者はレジュメをつくって報告します。それ以外の学生も、毎回、少なくとも一分間程度の発言を求められます。他にも、受講生の意欲次第でいろいろと取り入れていきたいと思っておりますので、一緒に創りあげていきましょう。

科目名**担当者名****比較憲法**たて だ しょう こ
館 田 晶 子**講義のねらい**

本講は、他国の憲法の成立・発展過程や理論的背景を学ぶとともに、これら憲法と日本国憲法との比較を通じて日本国憲法の意味と意義とをより深く理解することを目的とする。授業は講義形式で行う。歴史的な視点を重視し、我が国の憲法にとりわけ重要な影響を与えてきた欧米の憲法を中心に講義を進めたい。概要は以下のとおり。

- ・比較憲法の意義
- ・イギリス憲法の歴史と特色
- ・フランス憲法の歴史と特色
- ・ドイツ憲法の歴史と特色
- ・アメリカ合衆国憲法の歴史と特色
- ・日本国憲法への影響

履修上の留意点

出席はとらない。受講の妨げになる一切の行為を禁ずる。

成績評価の方法

定期試験による。

教科書

教科書は使用しない。レジユメを配布し、これを用いて講義を進める。

参考書等

参考書などは講義中に適宜紹介するほか、以下のものが有用である（講義では必ずしも使用しない）。

- ・樋口陽一・吉田善明編『解説世界憲法集 第4版』（三省堂）
- ・阿部照哉・畑博行編『世界の憲法集第3版』（有信堂）
- ・樋口陽一『比較憲法 全訂第3版』（青林書院）
- ・阿部照哉編『比較憲法入門』（有斐閣）

その他

授業中に配布したレジユメと授業のポイントを、ウェブサイトを通じて参照できるようにする予定である。URL等の詳細は初回の講義時に説明する。

政
治

科目名**担当者名**

現代国家論

おお つか かつら
大 塚 桂**講義のねらい**

近年、政治制度の諸改革（1府12省庁、地方分権、規制緩和 etc）がすすんでいます。これにより、21世紀型国家が構築されたものと評価されています。ところで、第2次大戦後、新生日本国家がスタートしました。民主化の徹底、人権意識の高揚がはかられました。これにより、大日本帝国体制が清算されたと考えられています。しかし、果たしてそうとにいえるでしょうか。明治国家のフレームワークは、今日にあっても直接間接に影響を与えていますし、その痕跡もはっきりと残っています。現代国家を理解するにあたっては、明治国家の構造を知ることが有益です。本講義では、明治国家における制度、思想、運動について究明していきます。

講義の内容・授業スケジュール

1. 国家論の課題 2. 幕末政治過程 3. 幕末政治思想（水戸学、国学） 4. 公議政体論
5. 太政官制・内閣官制 6. 大日本帝国憲法 7. 法典整備・司法制度 8. 統帥権・戒嚴（令）
9. 地方官官制 10. 自由民権運動 11. 帝国議会 12. 財政制度 13. 教育勅語
14. 国家神道 15. 社会主義運動 16. 大正デモクラシー 17. 天皇機関説 18. 天皇制ファシズム
19. 統制経済 20. まとめ

政治

成績評価の方法

受講生と相談の上で、以下のいずれかの方式によって単位を認定します。
A方式（レポートによる単位認定）～年4回の課題報告を提出してもらい成績を評価します。
レポート作成を通して、読解力と書く能力を涵養します。
B方式（試験による単位認定）～中間、期末試験により評価します。
※なお、B方式のみ追試験を実施します。

教科書

大塚桂『明治国家の基本構造』（法律文化社）3,300円

参考書等

大塚桂『現代国家へのアプローチ』（成文堂）、『明治国家と岩倉具視』（信山社）、『明治維新の思想』（成文堂）

その他

私の研究室は、第2研究館8階（2835）です。電話は3418-9377（直）です。

科目名	担当者名
国家安全保障論	小堀訓男

講義のねらい

カントがその著、『永遠平和のために』において「相共に生活する人々間の平和状態は、けっして自然状態なのではない。自然状態はむしろ戦争状態である。すなわち、たとえつねに敵対行為が勃発してゐるのでないにしても、絶えずそれによって脅かされているのである。だから平和状態は樹立されなければならない」と述べているごとく、人間が、その長い歴史のうちで不断に希求してきたものは永遠平和であつて、戦争それではなかつたのである。カントによって提起された「永遠平和」という、この哲学的命題は、皮肉にも彼の夢想曲に終始してきたのが現実の歴史過程の常態である。本講では、「人は何故集団社会を形成するのか、集団を単位とした闘争と、個人レベルでの闘争は何処がどのように違うのか」をテーマに、国家の安全保障を考える。

講義の内容・授業スケジュール

1. 人は何故集団社会を形成するのか。
2. 近代国家の特質。
3. 国家安全保障の意味・機能・手段。
4. 国家安全保障に関する諸見解。
5. 国家安全保障の理念と現代的課題。

履修上の留意点

「人はなぜ闘争するのか」ということに興味をもっている学生への積極的な参加を望む。

成績評価の方法

ディスカッションでの発言点と期末試験で評価する。

教科書

小堀・志鳥共著『国家安全保障の研究』（高文堂出版） 1,200円

参考書等

授業中に随時指示する。

政治

科目名	担当者名
外交史	村井良太

講義のねらい

現在の国際政治は混迷と模索の中にあります。そのような中で、過去の経験から学び、未来への糧としようとするのが、外交史です。日本のような民主主義国家では、外交は国民を離れては成り立ちません。また、相互依存の時代にあつて、外交は生活の中にまで深い影響を及ぼしています。本講義を通じて、社会人の一つの素養としての外交理解を身につけてほしいと思います。

本年度の「外交史」では、現代日本にとって大変重要である日米関係の来歴を軸に講義を進めます。ペリー来航から冷戦後までの日米関係史を中心に、世界が、日本がどのように変化してきたのか、また変わらない要素は何か、対アジア外交、経済外交、国際組織などの関係も含めながら幅広く学びます。

講義の内容・授業スケジュール

講義内容は以下を予定しています。スケジュールなど詳細は開講後にお知らせします。
 前期：（１）日本外交の戦前と戦後 （２）日米の遭遇 （３）二つの「帝国」の成長 （４）協調と競争の日米関係 （５）危機の時代から戦争へ
 後期：（６）戦争と占領 （７）冷戦と講和 （８）日米安保の改定と延長 （９）多極化後の日米関係 （１０）冷戦の終結

履修上の留意点

履修する学生には、出席と積極的な授業参加を求めます。

成績評価の方法

成績は、随時行う出席調査と中間レポート、学年末試験によって評価します。

教科書

特定の教科書は用いません。

参考書等

参考図書は講義の中で随時紹介していきます。

科目名

担当者名

会社法

かわぐちゆきみ
川口幸美

講義のねらい

新会社法においては、従来の理念が通用せず、発想が転換している部分も多数見られる。本講義では、新法における会社のうち特に株式会社を中心に、旧商法と比較しながら、その体系的・基礎的理解を得ることを目的とする。具体的には組織管理機構に関する法規制を概観し、事件の分析を通じてその法的問題を検討する。

講義の内容・授業スケジュール

- | | |
|-----------------------|-------------------------|
| 1. 会社の種類 (LLC と LLP) | 2. 会社の設立 |
| 3. 組織と会計 (機関設計と会計参与) | 4. 組織と会計 (リスク管理と内部統制) |
| 5. 会社の計算 (配当・持分変動計算書) | 6. 企業の計算 (役員賞与の扱い) |
| 7. 企業買収・再編 (三角合併) | 8. 企業買収・再編 (新株予約権の強制償却) |
| 9. 企業買収・再編 (黄金株と譲渡制限) | 10. その他 |

履修上の留意点

会社法を体系的により深く理解するために、他の商法科目 (商法総則・商行為法、証券取引法等) および民法科目 (特に民法総則・債権) を現在履修しているか、既履修であることが望ましい。

政治

成績評価の方法

期末試験の点数による。出席は原則として取らないので、出席点は考慮しないものと考えてください。

教科書

神田秀樹著「会社法」(弘文堂) 2006年4月改訂版刊行予定

参考書等

江頭憲治郎 「有限会社・株式会社法」(有斐閣)
*タイトルが変更する可能性あり。
鴻常夫, 落合誠一, 江頭憲治郎, 岩原伸作/編
別冊ジュリスト「商法 (総則・商行為法)」判例百選 第6版

その他

(当然のことですが) 授業中に私語・携帯の使用を厳しく注意します。場合によっては退室を命じます。

講義のねらい

本講義は、他人に対して、或る物を交付させること、または、或ることを為すことを要求する権利、すなわち債権についての実体的権利関係を総合的に考察するが、それを通して、債権をめぐる問題に対して精通するとともに、柔軟に解決できるように導くことを目標とする。そのように人が人に対して或る事柄を要求することを正当と認め、その請求の実現が当事者間ではかることが出来ない場合に、当事者の一方の訴えに基づき他方の責任を追求するために裁判所が力を貸す関係が債権関係である。そのような人と人の関係は、封建的な身分関係から生じるのではなく、周知のように近現代では多くは契約関係から生じる。その他に、契約関係がなくとも相互扶助、公平、損害補填等の要請に基づく事務管理、不当利得、不法行為などからも債権関係が生じる。

債権法は、その全てについて言えることではないが、合意優先ないし契約自由の原則の及ぶ領域においては、その規定が任意法規性のゆえに日常の経済生活では往々にして、合意により債権法規と異なる生活規範が設定され、また、それが許される法の範疇である。この範疇においては、日常生活の一定の基準たる債権法規の解釈と、その法規を排除した、より有益な準則を設定した生活関係の両方を理解することが必要である。

講義の内容・
授業スケジュール

この講義は、債権総論と債権各論を講義の対象とする。まず債権法全体の仕組み、内容をひととおり説明したうえで、債権一般の通則たる債権総論、次いで債権発生の原因にあたる契約、事務管理、不当利得、不法行為などの債権各論について逐条的かつ重点的に解明する。講義の内容および進捗は、具体的には、以下の予定である。

- (1) 債権の意義・性質・社会的機能、債権法の法源、債権法の特質・体系(前期)(第1回)
- (2) 債権の目的・内容(第2回)
- (3) 債権の効力——債務と責任、履行強制(第3回)
- (4) 債務不履行責任(第4、5回)
- (5) 債権の対外的効力——債権者代位権(第6回)
- (6) 詐害行為取消権(債権者取消権)(第7回)
- (7) 多数当事者の債権関係——債権の共有・合有・総有、分割・不可分債権(第8回)
- (8) 連帯債務、保証債務(第9、10回)
- (9) 債権の譲渡、債務の引受(第11回)
- (10) 債権の消滅(第12、13回)
- (11) 契約総則——債権発生原因、契約自由の原則、契約の種類(後期)(第14回)
- (12) 契約の成立(第15回)
- (13) 契約の効力——同時履行の抗弁権(第16回)
- (14) 危険負担、(第17回)
- (15) 第三者のためにする契約(第18回)
- (16) 契約の解除(第19回)
- (17) 贈与、売買、交換(第20回)
- (18) 消費貸借、使用貸借、質貸借(第21回)
- (19) 雇傭、請負、委任等の契約(第22回)
- (20) 事務管理、不当利得(第23回)
- (21) 不法行為(第24、25回)

履修上の留意点

債権法は、民法学の一分野であるから、必然的に民法の他の分野にも関連する。とくに債権を担保するための担保物権や民法全体の基本原則である民法総則などを扱う「民法I」も併せて履修することが望ましい。

成績評価の方法

学年末の定期試験で行う。

教科書

遠藤浩・川井健他編『民法(4)～(7)』(有斐閣双書)

参考書等

我妻栄・有泉亨共著水本浩補訂正『民法2債権法』(一粒社)および稲本洋之助・上井他共著『民法講義5契約』(有斐閣大学双書)

講義のねらい

“工業が先進国型産業であるのに対して農業は途上国型の産業だ”、“工業が環境負荷になりやすいのに対して、農業は環境に優しい産業である”、“食料価格は主に農業の生産性の高さによって決まる”、“日本農業の競争力が低いのは、主に農家の人が甘えているせいだ”、、、こうした認識は果たして正しいでしょうか。

農業は、一方では、他産業、とりわけ川上の農機具・資材産業や川下の食品関連産業などいわゆるアグリビジネスとの関連が強まり、他方で、WTO 農業交渉に象徴される国際化への対応を求められるなど、かつて見られなかった激動の時代を迎えています。こうした時代に農業政策のあり方を考えるためには、農業という産業の特質と現代の農業問題の構図を理解するとともに、政策ツールについて批判的に検討していくことが必要です。

授業では、現代の主要な農業問題と農業政策をいくつか取り上げて、経済学の視点から説明します。

講義の内容・授業スケジュール

1. 「農業政策」とは（2回）
2. 食料問題と食料政策（5回程度）
3. 農産物価格問題と価格・所得政策（5回程度）
4. 農業の特質と現代農業（4回程度）
5. 戦後日本の農業問題と農業政策－農業構造問題を中心に－（6回程度）

政治

履修上の留意点

充実した授業は、教員の努力だけでできるものではありません。授業中に「コミュニケーション・カード」を配布しますので、授業の感想や質問、意見を書いてください。授業改善の参考にします。

成績評価の方法

成績評価は定期試験を基本とします。

教科書

田代洋一『新版農業問題入門』（大月書店）
※ 授業中には使いませんが、予復習してください。

参考書等

大塚茂・松原豊彦編『現代の食とアグリビジネス』（有斐閣）
F. マグドフ他編（中野一新監訳）『利潤への渴望』第5章（大月書店）
梶井功『新基本法と日本農業』（家の光協会）
橋本卓爾ほか編著『食と農の経済学』（ミネルヴァ書房）

科目名

工業政策

担当者名

おく やま まさ ゆき
奥 山 雅 之

講義のねらい

現在、わが国の工業は、生産の海外化等の影響で厳しい状況ですが、高い技術力を背景に国際競争力を発揮し、わが国の経済を支える主役でもあります。将来においても「ものづくり」は、産業として重要であることに変わりありません。この講義では、数多くの企業事例を取り上げながら、「ものづくり」産業の特徴を確認しながら、それに対する国や地方公共団体の政策の課題と方向性について考察します。

前期では、日本社会を支える「ものづくり」の現状からみていきます。後期では、環境調和、CSR（企業の社会的責任）、産学連携、知的財産など、「ものづくり」をめぐる今日的な題材に検討を加えます。

講義の内容・授業スケジュール

- 前期 (1～3) わが国の工業の役割と特徴
(4～6) 戦後における工業の発展と工業政策
(7～9) 工場立地の変化と工業集積の効果
(10～13) 生産の海外化と空洞化問題
- 後期 (14～16) 工業の業種別課題（自動車産業、繊維産業ほか）
(17・18) 「ソフトなものづくり」産業（アニメーション産業ほか）
(19) 産学連携 (20) 知的財産の創造・保護・活用
(21・22) 工業の環境調和とCSR
(23・24) 資金調達多様化とベンチャー・企業再生
(25) 規制緩和と構造改革特区 (26) まとめ

政
治

履修上の留意点

1年間の講義を通して「ものづくり」を中心とした産業課題に対する問題意識や提言力を身につけてもらうのが目標です。日頃から新聞の経済・産業関連記事に接することが望まれます。

成績評価の方法

成績は学年末試験とレポート提出で評価します。試験およびレポートの内容については、講義に積極的に参加していた人が有利になるように配慮します。追試は行いません。

教科書

特に指定しません。配布する資料によって講義を行います。

参考書等

加藤秀雄『地域中小企業と産業集積』（新評論）

科目名

担当者名

商業政策

いわした
岩下 弘

講義の内容・
授業スケジュール

- 一 わが国の小売商業構造と蓄積構造
 - 1 90年代の小売商業構造 2 80年代の大手小売業の資本蓄積構造
 - 3 90年代の大手小売業の資本蓄積構造
- 二 わが国の流通政策論
 - 1 中小小売商保護政策論 2 流通近代化政策論 3 流通システム化計画論
 - 4 流通革命論
- 三 流通ビジョンと流通政策
 - 1 70年代の流通 2 80年代流通産業ビジョン 3 90年代流通ビジョン
 - 4 21世紀へ向けた流通ビジョン
- 四 わが国の小売商業調整政策の展開過程
 - 1 百貨店法
 - 1) 第一次百貨店法 2) 第二次百貨店法
 - 2 中小小売商業振興法
 - 3 小売商業調整特別措置法
 - 4 大店法
 - 1) 1973年法 2) 1979年改正法 3) 1991年改正法
 - 5 凍結宣言、要綱及び条例
 - 6 通産省による行政指導＝抑制措置
 - 7 規制緩和
 - 1) 規制緩和の流れ－前川レポート、行革審報告 2) 日米構造問題協議
 - 3) 適正化措置
 - 8 特定商業集積法
 - 9 街づくりと都市計画
- 五 流通政策の転換
 - 1 大店立地法 2 中心市街地活性化法
- 六 海外の流通政策
 - 1 イギリス
 - 1) 出店調整政策－都市・農村計画法 2) 日曜営業問題－商店法
 - 2 フランス－ロワイエ法
 - 3 ドイツ－土地利用計画
 - 4 アメリカ－ゾーニング規制

政
治

成績評価の方法

定期試験、レポート、出席により評価。

教科書

指定しない。

参考書等

その都度指示する。

科目名

担当者名

地方財政論

篠原章

講義のねらい

地方財政の枠組みを理解するとともに、地方財政の基本問題を分析するための基礎的な手法を学ぶことを主眼とする。時事問題なども、折に触れて取り上げる予定である。

講義の内容・授業スケジュール

年間を通じて以下の項目を講義する予定である。

[基礎編] (主として前期)

1. 地方財政論とは何か
2. 財政の機能と地方公共支出の役割
3. 地方公共支出の現状
4. 地方公共支出と公共財供給
5. 租税体系と地方税
6. 地方税制度の歴史と現状
7. 負担と受益
8. 地方債の基礎知識

[応用編] (主として後期)

1. 分権と集権
2. 地方財政調整の実態
3. ケーススタディ：沖縄
4. 地方財政と都市計画・地域開発
5. 地方財政制度の国際比較
6. ケーススタディ：「東京」

履修上の留意点

初学者を対象としたコースだが、財政学の知識があれば、より深く理解することができる。したがって財政学の履修経験があるか、財政学を履修中であることが望ましい。

成績評価の方法

学期末の筆記試験と授業時の課題(レポート)等によって総合評価する。

教科書

片桐昭泰・兼村高文・星野泉共編著『新版 地方財政論』(税務経理協会刊) 2,800円(本体価格)

参考書等

参考書・参考文献・資料等は随時指示する。

その他

テキスト・参考書以外に、新聞等の時事的な資料やビデオ資料等もしばしば利用する予定である。質問等については電子メールでも受けつける。また、篠原ホームページにも講義関連の情報を掲示する予定なので活用してほしい。

政治

科目名	担当者名
地域計画論	原 昭 夫

講義のねらい 地域とは、立地・規模・歴史・自然・生産形態などにより多様な姿を持ち多種の課題を表出している。そうした地域を見る眼を養う。

講義の内容・授業スケジュール

1) 前期: i) 4～5月/地域を知る: 地域や都市の姿、成り立ち、現況、動態等を把握する。
 ii) 6～7月/課題を発見する: 地域や都市がどのような課題を抱えているか発見し考察する。
 2) 後期: i) 9～10月/課題を考える: それらの課題がどのような原因を持つかを考える。
 ii) 11～12月/地域を計画する: 地域の課題を解決する方策を考え、将来像を描き提案する。

履修上の留意点 現代日本および世界の地域や都市全般の動向について幅広い関心を持ち、そこでの課題や困難の改善や克服について強い意欲を有し、その解決案を「計画」として提示できること。

成績評価の方法 出席(授業への積極性の評価)およびレポート(年数回、折々の社会や環境についての自己の意見・論評・提案等の独自性の評価)。

教科書 原昭夫著『自治体まちづくり』(学芸出版社) 2,800円+税

参考書等 『都市計画』(共立出版) 3,800円+税
 『都市計画論』(NHK出版) 2,400円+税
 その他授業の都度に提示する。

その他 講義形式を基本とし、テーマによってはスライドも使用。聴講人数によっては共同作業型演習(「地域計画作成ワークショップ」)なども考えたい。(前年度は実施した。)

政
治

科目名	担当者名
政治学特殊講義(1)	内 海 麻 利

講義のねらい 近年、社会情勢の変化の中で、市民参加・市民活動が注目されている。特に前者は、政策形成プロセスにおける参加を意味する場合が多く、これは行政が主として担う「公共性」と市民が望む「公共性」との乖離をうめようとするものである。他方、市民活動においては、自治に対する自主的な取り組みやNPO等による公益活動の急速な展開により、地域社会が育て担う「新しい公共」の存在が顕在化している。しかし、こうした市民を中心とした政策形成プロセスや公益活動等には、合意形成や一定の秩序を生み出す政治システムが必要とされる。本講義は全国の事例を通じて市民と公共性との関係を政治という観点からとらえ、その体系と理論、実践手法について学生諸君の専門知識と理解を深めることを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

授業では、主として次の視点につき講義するが、その内、数回、講義に関する議論について受講者の考えを発表する機会を設ける。なお、詳しい授業スケジュールについては、第1回目の授業の際に配付する。

- ・市民と公共性
- ・市民団体と市民活動
- ・政策形成プロセスにおける市民参加
- ・合意形成とその手法
- ・コミュニティ・ガバナンス

履修上の留意点 受講期間に身近な地域の市民参加や市民活動に参加、見学されることが望ましい。

成績評価の方法 授業への出席、発表の充実度などを中心に評価する。

教科書 特に教科書は指定しない。

参考書等 授業中に随時提示し、さらに詳細な考察を望む学生にはテーマに沿う参考書を推薦する。

講義のねらい

講義のテーマ：フランスの新しい政治モデル

講義の目的：

この講義では担当者の研究状況を紹介し、現代フランス政治研究の最先端に触れてもらうことを目的とします。

フランスの旧体制は身分・団体・宗教に基づく特権と不平等が社会秩序の特徴でした。この旧体制を打破したのがフランス革命であり、フランス革命の精神を制度化したのがフランス共和制です。このようにフランス共和制は市民の平等を実現するための理念としての特徴を持ちます。また、フランスは第2次世界大戦以降、数多くの外国人労働者を受け入れてきました。オイルショック以降、彼らはフランスに定住し、フランス市民となってきました。さらに、フランスは統合ヨーロッパの中にも位置しています。ヨーロッパは地域の自治や文化的独自性の尊重を推進しています。こうした状況下で、フランス共和制は伝統的な理念を保ち続けることができるのか？これがこの講義の問題関心です。

実際、多文化主義や地方分権などを契機として、フランス共和制は変容しつつあるように見えます。それでは、変容しつつあるフランス共和制をどのような政治モデルとして把握できるのでしょうか。フランスの新しい政治モデルの定式化、それがこの講義の目標です。

この講義は2005年度の「ヨーロッパ政治論(2)」の内容をさらに発展させるものです。

講義の内容・
授業スケジュール

1. 社会編成原理としてのフランス共和制
2. 多文化主義
3. 寛容の共和主義
4. フランス型多文化主義
5. 地方分権改革
6. 「共和制モデル」から「トライアングル・モデル」へ

履修上の留意点

発展的な科目ですから、高学年次生の受講が望ましいです。「政治制度論」および「ヨーロッパ政治論(1)」を受講済みであることを前提として講義します。

フランスを直接の対象としますが、学生は「日本の政治モデルは何だろう？」という問題関心をもって受講してください。

成績評価の方法

期末試験と授業時間中の小テストなどを評価します。学生に期待される到達レベルを初回の授業で示し、それをもって評価基準とします。なお、授業中の意見・質問などの授業への積極的参加は、補助的に評価します。

教科書

教科書は使用しません。毎回プリントを配布し、その内容にそって講義を進める予定です。参考文献は適宜紹介します。

科目名

担当者名

政治学特殊講義(3)

三船恵美

講義のねらい

他国の政治を学ぶ意義は、単にその情勢について詳しくなることだけではありません。トクヴィルが「1つの国のことしか知らない人は、実はその国についても知らない」と言ったように、他国との比較なしには自国についても知り得ないのです。また同時に、国際関係や外交政策を検討する場合、その国の政策決定者ならびに政策決定者に影響を与える要因を検討しなければいけません。イメージ・ギャップは、文化的距離や支配目標の差異などによって生じます。現代の国際社会が極めて異質な成員の集合体であることから、国際関係の研究と地域研究は切り離せません。そのような視角から、本講義では、日本にとって重要な国の1つである中国の政治や外交の基本的なしくみ、日中関係について学びましょう。

講義の内容・授業スケジュール

中国政治の基本的な仕組み、チベットや新疆などの少数民族問題、人権問題、農民問題、台湾問題と「1つの中国原則」、中国のエネルギー事情をめぐる尖閣諸島問題・南沙諸島問題、日中関係などを講義する予定です。各週の日中関係の状況に応じて時事的な問題も説明します。

政治

履修上の留意点

「授業中は静かにしましょう」という注意は幼稚園の入園前に家庭で躰られることであって、大学で注意されることではありません。「大学生としての自覚をもった学生」のみが受講して下さい。資料を配付する場合は、授業開始から10分しか配布しません。20分以上遅刻してくる学生の入室は一切認めません。上記のような行為は、教員のみならず、まじめに授業に取り組もうとしている学生達に対して非常に失礼な行為です。

成績評価の方法

試験(100%)。ただし、授業中にうるさくして退場を命じられた学生には、受験資格を与えません。

教科書

『世界情報地図2006年版』(にちぶん) 1,500円
レジュメなどの配布物は、欠席理由の如何に関わらず、一度しか配布しません。

科目名	担当者名
政治学特殊講義(4)	大山礼子

講義のねらい

民主政治のかなめともいえる議会のあり方について考えます。国会の話が中心になりますが、国会を批判するためにも外国の議会の実態をきちんと理解しておく必要があるため、国際比較の観点も重視します。

講義の内容・授業スケジュール

ほぼ教科書の流れに沿って、議会の機能、議事の運営、法案審議、二院制等のテーマをとりあげます。

履修上の留意点

履修者の人数にもよりますが、一方的な講義ではなく、みんなで議論しながら進めたいと考えています。したがって、受講生には予習、復習の徹底と積極的な参加が求められます。最近の国会に関するニュースや話題について、ある程度心得ておいてもらわないと、その先に進めませんので、毎日、新聞の政治欄を読む習慣をつけてください。

成績評価の方法

定期試験を実施する予定（履修者の人数によってはレポート等に変更の可能性あり）

教科書

大山礼子『国会学入門・第2版』（三省堂）2003年

政治

科目名	担当者名
外書講読Ⅰ(英書)	相田敏彦
外書講読Ⅱ(英書)	

講義のねらい

やさしい英文に接することから始め、英語を読む力を徐々に高めていき、政治や世論、マスコミを含め、社会生活・社会現象についてのさまざまな英文を読解できる力を高める。

講義の内容・授業スケジュール

比較的少人数なので、受講者の希望や力量に合わせて適切な教材や進度を決めたい。教材はコピーを配布する。

履修上の留意点

英語が好き、あるいは比較的特意な人であればよく、「マス・コミュニケーション論」、「メディア社会論」の授業をとっている、いないとは関係なく、内容を理解できるようにしたい。

成績評価の方法

平常点による。

科 目 名**担 当 者 名**

外書講読Ⅰ(英書)

きよ たき ひと し
清 滝 仁 志

外書講読Ⅱ(英書)

講義のねらい

この講義では、英文に慣れ親しむことから始めて、新聞・雑誌を読みこなすことのできる基礎的な英文読解能力を身につけることを目的にします。TOEIC、公務員試験の各種試験における英文読解に対処できるだけの実力をつけることを期待しています。さらに英文読解を通じて、日本語における論理的思考(ロジカルシンキング)、論文・レポートの作成能力の向上にもつながるように配慮します。

講義の内容・
授業スケジュール

日本の英字新聞(Japan Timesなど)に掲載された政治関連の最新の記事を毎週、読んでいきます。同時に記事に関連した政治学の基礎知識を講義では学びます。

履修上の留意点

演習方式で運営します。授業で英語力をUPすることを目的にしていますので、成績等に関わりなく参加してください。英文読解に加え、国際事情・時事問題について理解・関心を深めることを期待しています。

成績評価の方法

授業の参加状況を勘案します。
評価では、講義を受けることでのいかに力をつけたか、を重視します。
定期試験は実施せず、平常点で評価します。

教 科 書

解説を加えた英字新聞、雑誌のコピーを配布します。

参 考 書 等

英語を学ぶ心構えに次の文献を読むことをお勧めします。
斎藤兆史『英語達人列伝』『英語達人塾』(中公新書)

そ の 他

授業を通じて、身の回りの情報に自発的・積極的に関心を抱く知的習慣が身につくことを期待します。

政
治

科目名

担当者名

外書講読Ⅰ(英書)

み たけ なお や
三 竹 直 哉

外書講読Ⅱ(英書)

講義のねらい

英語で政治学を勉強します。

講義の内容・ 授業スケジュール

参加者の希望や人数によって、内容もやり方も変わってきます。例えば、下記のような内容があり得ます。詳細は参加者と相談して決めます。

- ・英語で日本のことをきちんと説明し、それについて自分なりの見解を述べるができるように訓練する。
- ・比較政治学の授業内容に合わせた英語文献を読み、それについて議論できるように訓練する。
- ・英語文献を読み、英語のニュースなども見ながら、様々な時事問題について議論ができるように訓練する。

履修上の留意点

あくまでも政治学科の専門科目です。「英語の授業」ではありません。政治学科の3年次もしくは4年次生として、当然持っているべき知識は前提として授業を進めます。

授業に関連する新聞記事、ドキュメンタリー番組などをどんどん課題として指定しますし、授業で扱った事柄について自ら調べたり勉強したりする課題もたくさん出します。

したがって、自分の将来のために、真剣に政治学や英語を勉強している人向けの授業です。「何となく」ではついて来られません。

中学校の社会科の知識が備わっていない人、高校の社会科レベルの事柄を自分で調べようとしていない人、新聞をこまめに読んでいない人には単位を出しません。(テストでチェックします。)

成績評価の方法

期末テストと小テストを行い、平常点を加味して採点します。

ふつう、外書講読とされている授業は期末テストを行わず平常点だけで採点しますが、この外書講読ではテストを行いますので注意してください。

詳細は授業開始時に説明します。

教科書

英文の本を指定するかもしれませんが、その場合、授業中に案内します。

参考書等

辞書は中辞典以上の大きさのものを持参してください。電子辞書も可ですが、自分の英語は中級以上であると自信をもって言えない人は、電子辞書だけでなく冊子体の辞書も使ったほうがよいと、個人的には思います。

学習用英英辞典の“Cobuild English Dictionary”はおすすめです。電子辞書も、この辞書が入っているものをすすめます。が、必ず買わなければいけないわけではありません。

その他

このシラバスはあくまでも前年度12月時点での計画に過ぎません。変更もあり得るものであることをご承知いただきたいと思います。おそらく少人数の授業になるでしょうから、参加する学生のみさんの必要性に応じた授業にしていきたいと思っています。

詳しい情報は、三竹ゼミのホームページで確認して下さい。

<http://www.jj.em-net.ne.jp/~bamboos/>

ホームページのURLが変更になる可能性があります。変更になっていた場合、Googleなどで検索するか、メールで連絡をください。

mitake@komazawa-u.ac.jp

政
治

科目名**担当者名**

現代企業論

代田 純

講義のねらい

野村證券の提供による本講座は、「資本市場の役割と証券市場」をテーマとして、野村證券、野村総合研究所の現役スタッフによって講義される。証券投資に関する基礎から出発するので、初学者でも問題ない。証券業界への就職を検討する学生には、適している。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 ガイダンス
- 2 経済情報のとらえ方
- 3 経済成長と金融資本市場
- 4 証券投資のリスクとリターン
- 5 株式市場の役割
- 6 債券市場の役割
- 7 投資信託の役割
- 8 ポートフォリオの考え方
- 9 市場のグローバル化
- 10 資産運用とライフプランニング
- 11 資本市場と投資家心理
- 12 個人投資家
- 13 ベンチャーと IPO

成績評価の方法

出席点とレポート点で評価する。

教科書

毎回、レジュメを配布する。パワーポイントによる授業となる予定。

参考書等

代田 純『日本の株式市場と外国人投資家』（東洋経済）2002年。

その他

野村證券の寄付講座であり、私語は厳禁する。受講態度に問題がある場合、退室を指導することがある。4年生が就職活動で遅刻する場合を除き、遅刻は認めない。

政治

科目名**担当者名**

演習 I

浦田 早苗

講義のねらい

これまでわれわれが直面してきた、そしてこれからも直面し続ける様々な政治・社会現象について、純粹かつ鋭い視点から問題を喚起し、幅広い柔軟な発想をもって解決策を導きだせる人材を育成することに主眼をおいている。

講義の内容・授業スケジュール

17年度は共通テーマとして「混乱の世界と日本」とし、内外の重要課題について個人研究及びグループ研究が行われた。発表のテーマは『石油とイラク』、『日米同盟のあり方』、『日本のテロ対策』、『個人情報保護』、『望ましい公共事業』、『介護保険の是正』、『(ディベート) 常任理事国入りの是非』、『(ディベート) 消費税引き上げの是非』といったものであった。

履修上の留意点

オリジナリティ溢れる問題解決策・プランニングの作成にはかなりの時間を費やさなければならない。

成績評価の方法

発表内容と各自の持つ勉学意欲（発表に対する質問・意見等）によって評価する。

参考書等

文藝春秋編『日本の論点2006』（文藝春秋）2,700円

その他

学内外のディベート戦に積極的に参加すること、及び年2回の合宿とゼミ論集の刊行を励行している。

科目名**担当者名**

演習Ⅰ

きよ たき ひと し
清 滝 仁 志

演習Ⅱ

講義のねらい

本演習では、現在の社会における変化を政治学の観点を通じて考えていくことを目的としています。皆さんの生きている現在は、かつてない規模と速さで社会が変化し、今までになく将来が見えない時代となっています。演習では、同時代の状況を理解し、将来自分がどのような知的態度をもって対応すべきか、を解明する手がかりとなるような内容をめざしていきます。

演習を通じて、自分で未来を切り開くための基礎的知識と知的習慣を身につけ、どのように自分が能力を磨き、何をしたいのかを考えることを期待しています。

さらに、文章の表現能力を身につけるための練習や報告の仕方について、演習という特性を生かしながら具体的に指導します。

講義の内容・
授業スケジュール

(1) 講義の内容

テーマを設定しグループで討論した後、全体で報告する方式をとります。

就職面接等を念頭におきながら、議事進行・意見集約・建設的討論の技術を習得していきます。

(2) 講義の目的

①政治・経済・社会の基本的問題について理解

②自分の考えを的確にまとめ、相手にわかりやすく表現する技術を習得

③さまざまな情報を自分で的確に判断できる知的能力を習得

さらに公務員試験やその他の資格試験に対応できるように配慮します。

履修上の留意点

○演習で行わねばならないこと

①資料等を毎回熟読

②レジュメ作成、口頭発表

③レポート、論文の作成

④グループ討論（議論するだけでなく、司会、書記、タイムキーパー等）

部活・サークル活動等と両立できるように配慮します。

成績評価の方法

演習での報告内容、議論の参加状況、グループでの協力の程度

教科書

なるべく新しく読みやすい新書・文庫を選択します。

その他

ゼミの行事…コンパ、ゼミ合宿（夏）、旅行（冬）、都内の諸施設見学（昨年は国会、日本銀行、皇居）、基礎ゼミとのBBQ大会。

また公務員試験等のサブゼミを開催します。

授業中に4年生の就職活動報告などをおこないます。

質問があれば、kiyotaki@komazawa-u.ac.jp まで。

(HP) <http://www.bat.alliednet.ne.jp/kiyotaki/>

(BLG) <http://navy.ap.teacup.com/komazawa/>

政
治

科目名	担当者名
演習Ⅰ	田丸大

講義のねらい

本演習では、具体的な行政活動や政策を取り上げ、その仕組みや問題点を考察することによって、今後の日本の中央・地方行政のあり方を探ってみたい。現実の行政の観察、問題発見、提案能力を培うことが本演習の最終目標である。2007年度のゼミは開講されない可能性があるのので、その点に留意してください。

講義の内容・授業スケジュール

ゼミ生と相談して決めたいと思うが、現在のところ、以下を考えている。
 (1) ディベートを行う。(1学期)
 (2) ゼミ生がそれぞれテーマを設定し、個別であるいは共同で調査研究し、その成果を発表する。(2学期)
 ちなみに去年は、サマータイム制度導入の是非、外国人労働者の受け入れの是非がディベートのテーマとなった。

履修上の留意点

合宿およびコンパ(年3回程度)も全員参加。特に法律学科の学生は、ゼミの講義時間外にもゼミ生が自主的に集まり、ディベートやグループ研究の準備を行う可能性が高い、したがって、サークルやアルバイトよりもその活動を優先してもらおうという点が、留意点です。

成績評価の方法

出席・発表・発言などを総合的に評価する。無断欠席者には単位を与えないこともある。

教科書

適宜指定する。

その他

(1) ゼミの諸活動への参加意欲の高い学生を歓迎する。(2) 公務員志望者には、試験勉強の仕方・面接・併願先のアドバイスを行う予定である。(勉強会を開催するとしても、これは生徒による自主的な運営であり、教員が塾や家庭教師のように受験勉強の指導をするわけではない。また、公務員志望者を優先するわけではない。)また、ゼミOBの公務員(都庁、国土交通省、市役所、警察官、消防官など)をゲストに呼んで、業務内容や受験勉強についてアドバイスをもらいます(ゼミの授業時間外に)。

政治

科目名	担当者名
演習Ⅰ	中野裕二
演習Ⅱ	

講義のねらい

自分で研究テーマを決め、年度末にゼミ論文として提出することを目標とします。研究テーマは、受講生の問題関心に即して決定します。「自分はどのようにこの事に関心を抱いているのか?」を自問することも大切なことだと考えます。

講義の内容・授業スケジュール

毎回の演習の時間は、ゼミ論文の中間報告、または、論文作成のために必要な文献の内容紹介にあてます。毎回1人または2人の報告を行い、内容の発表と質疑応答を通して、論文作成上の問題点を洗い直し、または自分の問題関心の再確認を行います。

履修上の留意点

自発的に研究し、論文をまとめる意志のある学生のみ受講してください。無断欠席は原則として登録抹消とします。欠席は4回までしか認めません。

成績評価の方法

出席、ゼミ論文の提出、報告内容・質疑応答の内容などを総合的に判断し、成績評価とします。

科目名	担当者名
演習Ⅰ	早川純貴

講義のねらい

当演習の基本目的は現代日本政治の特質を理解し、その問題点を探り出すこと、あるいはそれらの問題をいかに克服できるかを考えることである。特に当演習では研究対象を政策形成・施行過程に置く。具体的には、いくつかの政策が成立する背景と過程を明らかにしつつ、それらがいかに施行されたか、その過程でどんな問題が生じたのか、あるいはそれらの政策が日本の経済や社会、国際関係にどのような意味・影響を持ったのかを考察する。

講義の内容・授業スケジュール

当ゼミは前期が統一テーマによるグループ研究であり、後期は学生自身が選択したテーマで個人発表を行い、あわせてゼミ論を執筆してもらう。平成18年度の前期・統一テーマは「地方自治体の挑戦——地域活性化戦略としての政策」である。地方財政が逼迫し、多くの自治体が行政サービスの削減や民間委託などを余儀なくされている。しかし自治体によっては、福祉行政や文化行政などを、地域社会の活性化やまちづくりの有力な戦略＝「政策」と位置づけ、積極的かつ大胆な諸施策を展開している。そうした事例を研究することで、地方政治の新しい可能性を考えてみたい。

履修上の留意点

当演習は法律学科の学生にも開講する。政治学科の学生はもとより、政策の形成・執行に関心のある法律学科学生諸君の参加を大いに歓迎する。また当演習は春と夏に合宿を行うが、ここではディベートやパネル・ディスカッションなど、通常の演習ではあまりできないことを企画している。

成績評価の方法

個々人の発表・報告の充実度、レポート・ゼミ論の内容などを総合的に判断して評価する。

教科書

教科書は使用しない。参考文献は演習の過程で随時紹介する。

政治

科目名	担当者名
演習Ⅰ	三船恵美
演習Ⅱ	

講義のねらい

現代の国際関係について自分自身の視角を形成し、それを報告しながら討論することを学ぶのが、本ゼミの目的です。複数の学生全員が同じ考え方をすることはあり得ません。異なる考え方の学生が集まり、異なる価値観に対して排他的になることなく、しかも単なる「仲良し関係」では終わらない知的緊張関係の中で、対立するところは対立し、評価できるところは評価しあうことを学びましょう。自分の意見を単純に主張するだけではゼミに参加する意義がありません。議論は言い争うことと本質的に異質なものです。議論することで自分の意見を主張したり異なる意見を受け入れ、自分の考え方を鍛えるためにゼミは存在します。

講義の内容・授業スケジュール

第1回目の授業でスケジュール表を配布します。

成績評価の方法

ゼミへの貢献度+報告+レジュメ+レポートの総合評価です。
座っているだけの学生を出席とは認めません。欠席する場合は、必ず授業の開始30分前までにメールで連絡して下さい（ゼミ生を通じての連絡でもかまいません）。連絡せずに欠席を続けている学生には単位を与えません。「無断欠席」4回以上で不合格になります。その場合は教養方法を全く与えません。講義と異なり、ゼミは学生が主体になって運営します。
緊張感を失わないで、でも、楽しい、笑顔の絶えないゼミを目指しましょう。

教科書

教場で指示します。

参考書等

教場で履修者の学問的関心に基づいて指示します。

科目名	担当者名
演習 I	あい だ とし ひこ 相 田 敏 彦
演習 II	

講義のねらい

一言でいえば、マスコミ、広告・広報、情報化がゼミのテーマである。マスコミは興味深いだけでなく、政治学の根底にかかわる領域である。テレビCMを含め、広告・広報はどんな企業・組織体にとっても重要な問題であり、実社会とつながりの深い実践的テーマである。パソコン・ケータイ・インターネットに象徴される情報化の急速な進行も、身近な生活から企業内にまでおよんでいる。メディア・広告・情報化の3領域のなかから、各自に、またグループ単位に好きなテーマを選択し、資料調べ・発表・討論などを行ないながらまとめてゆく。合宿やふだんの授業で友人との親しさが増すだけでなく、人前での発言・発表能力、ものを書きまとめる能力を2年次より一層高め〈ゆったり・楽しく・着実に〉進展・燃焼する場としてのゼミにしたい。当ゼミの特徴を一言でいえば、おもしろさプラス実践性の高い役に立つ知識の習得プラスコミュニケーション能力の向上である。

成績評価の方法

平常点。

政
治

科目名	担当者名
演習 I	うち うみ ま り 内 海 麻 利
演習 II	

講義のねらい

本演習は、社会情勢が変化し、その変革が求められる都市政策・地方行政・市民参加・まちづくりに関連し、柔軟な発想から問題意識を持ち、実践的かつ創造的な新たな知見を自ら探求するとともに、その解決策を提起できる能力を引き出し伸ばすことを主な目的としている。

講義の内容・授業スケジュール

研究期間内において各人が行う研究スケジュールやプログラム（問題意識の発掘、研究テーマ・方法の設定、関連文献の収集及び実地調査、考察とりまとめなど）を自ら作成し、問題意識に対する新たな知見や解決策を自主的に進める。主にゼミでは発表・報告、ディスカッションを中心に各研究内容を議論する。

履修上の留意点

ゼミの運営自体も学生の主体性を重視するため、積極的なゼミ活動への参加が望まれる。

成績評価の方法

出席状況、個々人の発表・報告の充実度、ゼミに対する意欲などを総合的に評価する。

参考書等

個々人の研究テーマに応じて適宜紹介する。

科目名	担当者名
演習Ⅰ	おおやま れいこ 大山礼子
演習Ⅱ	

講義のねらい

この演習は、議会を中心とする政治制度について理解を深め、学生が主体的に考えるための基礎を築くことを目的としています。各自が意欲をもって積極的に参加することが条件ですが、自分自身で文献やインターネットを活用し、物事を調べる能力が身につくように配慮したいと考えています。また、自分の主張を他人に理解してもらうために必要な、論理の組み立て方、表現の仕方の学習も重視します。

3年次演習Ⅰの後期に各自のテーマで5千字程度の論文をまとめ、4年次の演習Ⅱでは3年次の論文をさらに発展させ、2万字程度のゼミ論文執筆に挑戦します。書く技術を修得してもらうため、細かく添削しますので、最後までやり遂げてください。

講義の内容・授業スケジュール

3年次の前期は政治関係の基礎的文献を講読し、基礎知識を確認します。後期には学生が選択したテーマで報告を行ってもらい、4年次でのゼミ論文執筆につながるようにします。学生の希望によって、グループ研究や討論なども実施します。

4年次はゼミ論文の執筆を中心とする予定です。なお、個人研究のテーマは政治制度に限らず、広く政治に関わることであれば自由に選択可能です。

希望により、夏期の合宿または集中ゼミ、国会見学などを行います。

履修上の留意点

日頃から新聞の政治面の記事を読み、積極的に討論に参加すること。

成績評価の方法

平常点（ゼミ論文の評価を含む）。

その他

無断欠席、遅刻厳禁。周囲の状況をよく見て、自分に求められている役割を積極的に果たすこと。ゼミのイベント時は原則として禁煙。

政治

科目名	担当者名
演習Ⅰ	おおつか かつら 大塚 桂
演習Ⅱ	

講義のねらい

政治学における基礎的的原理的研究をおこないます。基礎研究にあたっては、古典的文献の取り組みが不可欠です。政治原理・哲学・国家論に関心のある学生の参加を期待します。

講義の内容・授業スケジュール

- I 政治学の基本文献を輪読する。
- II 共通テーマを設定し、共同研究をおこなう（例えば、明治の政治家たち、自由主義の系譜）。
- III ゼミ生各自が定めた個人研究の発表とそれに対する指導をおこなう。

履修上の留意点

一定の読書と思索をつみかさねてきた学生の参加を切望します。政治学原論か現代国家論を履修し、私の政治学に対する姿勢を理解してくれる学生さん、いらっしゃい！

成績評価の方法

平常点

教科書

M・ヴェーバー（脇生平訳）『職業としての政治』（岩波文庫）300円
吉野 作造『吉野作造評論集』（岩波文庫）620円

参考書等

参考書として、拙著をあげておきます。図書館等で目を通しておいてください。大塚『フランスの社会連帯主義』（成文堂）、同『ラスキとホップハウス』（勁草書房）、同『多元的国家論の展開』（法律文化社）、同『多元的国家論の周辺』（信山社）、同『近代日本の政治学者群像』（勁草書房）、同『明治国家と岩倉具視』（信山社）、同『明治維新の思想』（成文堂）。

その他

4年次生は就職活動を最優先させます。金銭的負担（OB会・合宿等）、規則、束縛は一切ありません。年1～2回のお食事会を開催しますが、教員がゼミ生をご招待いたします。

科目名

担当者名

演習Ⅰ

こばりの
小堀訓男

演習Ⅱ

講義のねらい

国家は国際社会にあって、外部から受けるインパクトに対し、さまざまなリアクションを引起す。これを国家の行動と呼ぶならば、国家は国際社会のなかで行動するための何らかの基準があるのではないか、という素朴な疑問をもって、戦争・紛争・国家間の経済問題・国家の統合などを研究の素材としてとりあげ、それらの事象を分析する。つまり、この演習では、国家には何らかの行動基準があるのではないかという問題意識をもって、諸種の国際事象を分析、考察する。

講義の内容・授業スケジュール

第1回から第4回までの演習では、“国際政治とは、いかなるものか”をテーマに討論し全員が国際政治について共通の認識をもてるようにする。

第5回から第8回までの演習では、国家についての基礎的知識を得るために、国家論の諸説を整理する。殊に、国家・民族・階級について、各自研究し討論する。

第9回からの演習では、戦争・紛争・国家間の経済問題・国家の統合などの具体的な事象について、興味あるテーマを各自が選び、その現象を分析しながら、国家の内部に包含されている民族や階級が、その国家の行動にどのように作用しているかを考察し、国家の行動基準の法則性の有無を検討する。

政治

履修上の留意点

問題意識を明確にもった学生の受講を希望する。殊に国家の政策決定について興味をもっている学生の受講をのぞむ。

成績評価の方法

講義中の発言、研究発表の内容で評価する。

参考書等

授業中に適宜紹介する。

その他

演習に関連したビデオ（20世紀の戦争の記録など）を見る予定である。

科目名

担当者名

演習Ⅰ

たけはなみつのり
竹花光範

演習Ⅱ

講義のねらい

世界の主要国——アメリカ、イギリス、フランス、ドイツ、中国など——の憲法を比較考察することにより「日本国憲法」の正しい理解を行うとともに、それら諸憲法が定める制度——例えば、議会制度、内閣制度、裁判制度、人権保障の制度など——についても個別研究を行う。

講義の内容・授業スケジュール

各自がテーマを設定し個人報告を行うことを基本とする。報告終了後、質疑を中心に全員で討論を行う。なお、合宿の際は、統一テーマを設定し、グループ報告を行うことを原則としている。

履修上の留意点

ゼミの運営はでき得るかぎり、学生の自主性にまかせているので、ゼミ活動に積極的に参加することのできる諸君の応募を期待する。

成績評価の方法

出席点やゼミ活動への参加度等を中心に総合的に判断する。

参考書等

必要に応じて適宜紹介する。

その他

個人報告は義務ではない。従って希望者のみの報告となることもある。

科目名	担当者名
演習Ⅰ	三 竹 直 哉
演習Ⅱ	

講義のねらい

比較政治学的な研究を自らやってみる演習です。

講義の内容・
授業スケジュール

年によって、参加者によって異なります。個人研究中心ですが、原則として研究テーマは比較政治学やその他三竹担当の授業内容に関連したものとします。下記授業用ホームページで確認してください。

履修上の留意点

たくさん書き、本や論文にたくさん接し、図書館にたくさん行ってもらいます。そういうことが「楽しい」と思う人向けの演習です。

この演習の内容は、下記のホームページで詳しく見ることができます。現在履修している学生のみなさんの様子もわかりますし、履修にあたって必要な条件も書いてありますので、私の演習に応募される方は、<必ず>参照して下さい。

4年次にも必ず履修登録し、就職活動と両立させ、最後まできちんとゼミを続けることも条件のひとつにしています。

成績評価の方法

平常点と論文によります。詳しいことは下記サイトをご覧ください。

教科書

たくさんあります。その都度、指示します。

参考書等

その都度、指示します。

その他

授業用ホームページ：
<http://www.jj.em-net.ne.jp/~bamboos/>

URLが変更になる可能性があります。その場合、Googleなどで三竹直哉と入れて検索してみてください。見つからなければ、下記までメールでご連絡ください。
mitake@komazawa-u.ac.jp

科目名	担当者名
演習Ⅰ	むら い りょう た 村 井 良 太
演習Ⅱ	

講義のねらい

この講義は、良書を輪読し、議論することを通じて政治への理解を深めることをねらいとしています。ここでは、「世界のなかの日本」という大きな視点に立って、学び、考えてほしいと思います。加えて、読む・書く・話すという基本的な技術を身につけてもらいたいと思います。

講義の内容・授業スケジュール

テキストは、論文を用いたり、本を指定したり、学生とも話し合いながら決めていきます。テーマは日本政治史を軸に、おおむね政治・外交・国際関係などに関するものを考えています。始めは論文など簡単なものを使い、次第に内容の濃いものを読んでいます。また、前期に合宿と課題レポート、後期にディベートとゼミ論文を予定しています。

履修上の留意点

演習は、他の講義以上に、教員、学生と一緒にあって創りあげていくものです。積極的な参加を求めます。

成績評価の方法

成績は、授業への積極性、出席、報告、発言、レポートなどから総合的に判断されます。

教科書

テキストは話し合いながら決めていきます。

その他

授業の方法は、基本的には、毎回、テキストを指定して、それを輪読しながら議論することになります。報告者はレジュメをつくって報告します。報告者以外の学生も、毎回、少なくとも一分間程度の発言を求められます。レポートも書き、時にはディベートも行います。まだ若いゼミですので、一緒にスタイルを創っていきましょう。

政
治

科目名	担当者名
演習Ⅱ	うら た せ ち 浦 田 早 苗

講義のねらい

これまでわれわれが直面してきた、そしてこれからも直面し続ける様々な政治・社会現象について、純粹かつ鋭い視点から問題を喚起し、幅広い柔軟な発想をもって解決策を導きだせる人材を育成することに主眼をおいている。

講義の内容・授業スケジュール

17年度は共通テーマとして「混乱の世界と日本」とし、内外の重要課題について個人研究及びグループ研究が行われた。発表のテーマは『石油とイラク』、『日米同盟のあり方』、『日本のテロ対策』、『個人情報保護』、『望ましい公共事業』、『介護保険の是正』、『(ディベート) 常任理事国入りの是非』、『(ディベート) 消費税引き上げの是非』といったものであった。

履修上の留意点

オリジナリティ溢れる問題解決策・プランニングの作成にはかなりの時間を費やさなければならない。

成績評価の方法

発表内容と各自の持つ勉強意欲(発表に対する質問・意見等)によって評価する。

参考書等

文藝春秋編『日本の論点2006』(文藝春秋) 2,700円

その他

学内外のディベート戦に積極的に参加すること、及び年2回の合宿とゼミ論集の刊行を励行している。

科目名	担当者名
演習Ⅱ	田丸大

講義のねらい	現実の政治・行政の観察・問題発見・提案能力を培うことを目的とする。
講義の内容・授業スケジュール	個別研究を行う。2学期以降に基礎演習の2年・演習の3年生も交え、発表の機会を設け、また可能であれば卒業論文集の作成も考えている。
履修上の留意点	無断欠席は認めない。
成績評価の方法	平常点。
教科書	特になし。
参考書等	特になし。
その他	4年次もしっかりと自主的に学習されることを希望します。

政治

科目名	担当者名
演習Ⅱ	早川純貴

講義のねらい	当演習の基本目的は現代日本政治の特質を理解し、その問題点を探り出すこと、あるいはそれらの問題をいかに克服できるかを考えることである。特に当演習では研究対象を政策形成・施行過程に置く。具体的には、いくつかの政策が成立する背景と過程を明らかにしつつ、それらがいかに施行されたか、その過程でどんな問題が生じたのか、あるいはそれらの政策が日本の経済や社会、国際関係にどのような意味・影響を持ったのかを考察する。
講義の内容・授業スケジュール	当ゼミは前期が統一テーマによるグループ研究であり、後期は学生自身が選択したテーマで個人発表を行い、あわせてゼミ論を執筆してもらう。平成18年度の前期・統一テーマは「地方自治体の挑戦——地域活性化戦略としての政策」である。地方財政が逼迫し、多くの自治体が行政サービスの削減や民間委託などを余儀なくされている。しかし自治体によっては、福祉行政や文化行政などを、地域社会の活性化やまちづくりの有力な戦略＝「政策」と位置づけ、積極的かつ大胆な諸施策を展開している。そうした事例を研究することで、地方政治の新しい可能性を考えてみたい。
履修上の留意点	当演習は法律学科の学生にも開講する。政治学科の学生はもとより、政策の形成・執行に関心のある法律学科学生諸君の参加を大いに歓迎する。また当演習は春と夏に合宿を行うが、ここではディベートやパネル・ディスカッションなど、通常の演習ではあまりできないことを企画している。
成績評価の方法	個々人の発表・報告の充実度、レポート・ゼミ論の内容などを総合的に判断して評価する。
教科書	教科書は使用しない。参考文献は演習の過程で随時紹介する。

政

治

Ⅲ 他学部履修科目

他学部
履修科目

授業時間表の区分「B」の科目を履修する場合は、
フレックスBの頁を参照してください。(→P.639)

※他学部履修科目は、3年次生以上を対象とします。

他履修科目
学部

Ⅲ. 他学部履修科目

※印の科目については、専門教育科目の頁を参照してください。

科目名	配当学科	開講区分	単位	担当者名	ページ
産業・職業社会学	法A・政治	通年	4	小川慎一	437
社会福祉発達史	法A・政治・法B	通年	4	休講	
日本経済史	法A・政治・法B	通年	4	渡邊恵一	438
日本経済論	法A・政治・法B	通年	4	小林正人	439
中国経済論	法A・政治・法B	通年	4	田中祥之	440
アメリカ経済論	法A・政治・法B	通年	4	瀬戸岡紘	440
EU統合論	政治	半期	2	清水卓	441
現代西欧経済論	政治	半期	2	清水卓	442
ロシア・東欧経済論	法A・政治・法B	通年	4	山縣弘志	443
財務会計論	法A・政治・法B	通年	4	小栗崇資	444
会計監査論	法A・政治・法B	通年	4	休講	
管理会計論	法A・政治・法B	通年	4	石川祐二	445
貿易論	法A・政治・法B	通年	4	古沢紘造	446
※国際政治学	法A・法B	通年	4	小堀訓男	371
※ヨーロッパ政治史	法A・法B	通年	4	浦田早苗	374
※比較政治学	法A・法B	通年	4	三竹直哉	383
※現代国家論	法A・法B	通年	4	大塚桂	408
経営労務論	法A・政治・法B	通年	4	鹿嶋秀晃	447
国際経営論	法A・政治・法B	通年	4	茂垣広志	448
商業史	法A・政治・法B	通年	4	山田勝	448
保険経営論	法A・政治・法B	通年	4	石名坂邦昭	449
財務会計論	法A・政治・法B	通年	4	渡邊恵一郎	450
経営分析論	法A・政治・法B	通年	4	片桐伸夫	451
税務会計論	法A・政治・法B	通年	4	高木克己	452
経営情報論	法A・政治・法B	通年	4	高井徹雄	453
情報理論	法A・政治・法B	通年	4	西村和夫	454
経営統計	法A・政治・法B	通年	4	長国強	455
情報メディア産業論Ⅰ	政治	半期	2	[19年度開講予定]	
比較メディア制度論	政治	半期	2	[19年度開講予定]	
都市とメディア	政治	半期	2	[19年度開講予定]	
グローバルアート政策論	政治	半期	2	[19年度開講予定]	
グローバル創造都市論	政治	半期	2	[19年度開講予定]	
情報保護と社会	政治	半期	2	[19年度開講予定]	
メディアと知識論	政治	半期	2	[20年度開講予定]	
女性史	政治	通年	4	休講	
メディアと表現	政治	通年	4	休講	

他学部
履修科目

履修科目
他学部

科目名

担当者名

産業・職業社会学

小川 慎一

講義のねらい

日本の仕事のありかたを、社会学や隣接領域の知見に基づき説明する。日本の雇用慣行や、そのライフスタイルや技術革新との関係についても触れる予定である。

講義の内容・授業スケジュール

- 各トピックスにつき1～2回程度の講義をおこなう。括弧内は教科書の該当する章を示す。
- | | |
|-----------------|--------------------|
| 前期 | 後期 |
| ①イントロダクション | ①前期分の小テスト |
| ②若者と仕事（第7章） | ②技術革新と仕事の変化（第3章） |
| ③年功制の変化と実態（第1章） | ③女性の就業構造（第4章） |
| ④長期安定雇用（第1章） | ④雇用形態の多様化（第9章） |
| ⑤失業と転職（第5章） | ⑤ライフスタイルと就業意識（第6章） |
| ⑥労働組合（第11章） | ⑥ライフスタイルと生活時間（第8章） |
| ⑦労力開発（第2章） | ⑦仕事からの引退（第10章） |
| ⑧中間まとめ | ⑧最終まとめ |

履修上の留意点

迷惑行為や虚偽の出席申告をする者には、事前の警告なしに単位を与えないことがある。

成績評価の方法

出席（30点）＋小テスト（20点）＋最終テスト（40点）＋発言（10点）。

教科書

佐藤博樹・佐藤厚編『仕事の社会学——変貌する働き方』（有斐閣）2004年 2,000円＋税 ISBN4-641-18313-9

参考書等

講義中に指示する。

その他

講義形式だが、受講者の発言を求めし出席もとる。レジュメを配布するが板書もする。

他学
履修
科目
部

科目名**担当者名**

日本経済史

わた へべ けい いち
渡 邊 恵 一**講義のねらい**

いま私たちを取り巻いているさまざまな経済現象や制度は、どのようにして発生し、発展してきたのでしょうか。本講義の目的は、歴史的な視点から日本経済を理解することにある。各時代における個別具体的な問題については、研究史上の論争、最新の実証研究などをわかりやすく紹介しながら、検証・考察を進めていく。現代的問題とのかかわりについても言及し、日本経済をより広い視野から見ることのできる力を養いたい。

**講義の内容・
授業スケジュール**

序. 日本経済史の課題と方法
1. 幕藩制下の経済発展
2. 幕末開港の歴史的意義
3. 明治前期の経済政策
4. 日本産業革命の展開
5. 両大戦間期の日本経済

履修上の留意点

毎回の講義は連続した内容となっている。欠席すればその分だけ話の前後関係がつながらなくなることに留意されたい。

成績評価の方法

期末試験で評価する。小テスト等を行った場合には、その結果を加味する。

教科書

老川慶喜・仁木良和・渡邊恵一『日本経済史—太閤検地から戦後復興まで—』（税務経理協会）2002年
その他、補助教材として、資料・図表をまとめたプリントを講義時に配布する予定である。後日になって再び参照する資料もあるので、各自ファイルして毎回持参すること。

参考書等

上記教科書の巻末に掲載。個別の問題に関する文献は、講義の中でその都度紹介する。

その他

日本史の知識不問（挫折者歓迎）。

科目名

日本経済論

担当者名

小林正人

講義のねらい

日本経済の（第二次世界大）戦後の歴史について総合的に講義する。とくに日本経済を支える産業の発展史について詳しく説明し、これに対する日本的経営システムの役割について検証する。さらに、平成不況のなかで浮き彫りになってきた日本の経済システムの課題について述べる。

日本経済は高度経済成長をへたのち、幾度かの「危機」――とくに1970年代の石油ショックと、1980年代後半の円高――をのりこえてきた。しかし長年の平成不況の中で、日本の経済システムや経営システムの問題点も浮き彫りになった。これまでの発展の条件が、地球規模での技術発展と競争環境の中で、逆の条件に転化したのである。このような経済の発展や変化の意味をリアルにつかむために、産業や企業のレベルにまで立ち入り、技術発展や企業間競争の実態について講義する。

講義の内容・授業スケジュール

1. 戦後日本経済の展開過程
景気の現状と雇用情勢
戦後改革
日本の高度経済成長：歴史とその原因
産業政策の役割
石油ショック、円高、バブル経済、平成不況
2. 日本の経済発展とイノベーション
イノベーションと産業構造の変化
主要産業の歴史と現状：鉄鋼、自動車、電機、半導体、工作機械
日本的経営システム／経済システム（欧米諸国との比較）
製品の安全性と PL 法
3. 日本の経済発展の総括と展望
平成不況の意義
IT 革命のインパクト

履修上の留意点

講義資料をひんばんに配布する。一度しか配布しないので確実に収集し、保管しておいて、定期試験にそなえることが必要である。教場の前面のスクリーンに講義資料を表示しながら講義をすすめるので、見やすい位置に着席すること。板書はあまりせず、プレゼンテーション中心の講義である。なお、ほとんどの講義資料は「小林研究室」のウェブサイト (<http://www.komazawa-u.ac.jp/~kobamasa/>) の「講義」の「日本経済論」のサイトにもできるだけ載せるようにしている。

成績評価の方法

定期試験の成績と、講義の節目に実施する数回の小テストとの総合評価による。試験は主に論述式である。

教科書

なし

参考書等

適時紹介する。なお、経済学の概念や経済用語に関する辞典あるいは事典を一つは用意しておきたい（有斐閣、岩波書店、東洋経済新報社などから出版されている）。

その他

講義についての質問を歓迎します。ただしそのときは、関連する講義資料を持参することが必要です（有意義な回答のため）。

他
学
部
履
修
科
目

科目名

担当者名

中国経済論

田中祥之

講義のねらい

いま中国は「社会主義市場経済」の建設を国の基本方針として掲げています。しかし、この「社会主義市場経済」とはいったい何でしょうか？ この場合、社会主義とは何を指しているのでしょうか？

たしかに、この政策のもとで飛躍的な経済発展が達成されてきました。けれども同時に、過剰生産からくる不況、大量の失業、労働と生活条件の悪化、環境破壊、さまざまな格差の拡大などに悩まされることになっています。貧困からの脱却を求めて、市場経済的な工業化の道を選択しながら、それがかえって新しい貧困を生んでいく、その矛盾にもがいている、それが今日の中国ではないのでしょうか？

どうしてこのようなことになっているのでしょうか？ 市場経済化とどう関係しているのでしょうか？ ほかに道はないのでしょうか？

本講義は、以上の問題に答えようとするものです。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 現代中国に関する基礎知識
- 2 中国経済の現在
- 3 「社会主義市場経済」政策批判
- 4 日中経済関係のあり方
- 5 中国はどこへ行く

成績評価の方法

試験70%、出席30% 前期・後期とも試験あり

教科書

田中祥之著『現代中国の改革』（中央大学生協出版局）
田中祥之著『増補 現代中国の改革』（中央大学生協出版局）

その他

試験は「持ち込み可」ですが、講義を聴いていないと解けない問題です。毎回、受講生に質問・批判・感想を書かせますが、これが出席表になります。

他履修科目部

科目名

担当者名

アメリカ経済論

瀬戸岡 紘

講義のねらい

現代のアメリカ経済事情を幅広くわかりやすく解説します。特別な経済学の予備知識がなくても理解できる授業です。アメリカ経済を自力で理解していく力をつけることが目標です。

講義の内容・授業スケジュール

以下の項目をさしあたり準備しています。受講者の要望の強いものから講義していきます。
◇大統領の今年の経済政策、◇建国の理念と現実、◇アメリカの農業、◇アメリカの工業、◇ベンチャービジネス、◇雇用と労働者、◇商業とサービス、◇金融、◇教育と経済、◇科学技術、◇先端産業、◇経済と環境問題、◇アメリカ社会とヴォランティア、◇女性・マイノリティ、◇ドルの地位とIMF、◇アメリカの貿易、◇軍の世界的ネットワークと経済的意義、◇海外援助、◇多国籍企業とアメリカ経済、◇アメリカとEU、◇アメリカと日本、◇アメリカとアジア・太平洋、◇アメリカとカナダ・メキシコ、◇アメリカの経済学、など

履修上の留意点

1回の講義でひとつのテーマをとりあげます。あたらしい情報やトピックスを、解説つきで、つねに受講者に紹介します。アメリカの諸大学の授業にみられる長所を可能なかぎりとり入れた授業です。

成績評価の方法

随時、受講者には小論を書いてもらい、それで成績評価をします。平常点重視のためから、一発勝負の年度末試験は、受講者の強い要望がないかぎり実施しません。

教科書

最新の情報をもとに講義をすすめます。だから特定の教科書は使用しません。講義では、随時よい文献などを紹介していきます。日々のニュースと諸君の周囲にあるさまざまなアメリカものの本の全体がこの講義の教科書ですが、どうしてもといわれれば、瀬戸岡著『アメリカ理念と現実』（時潮社）2005年
グリーンバーグ『資本主義とアメリカの政治理念』（瀬戸岡訳 青木書店）1994年
瀬戸岡ほか編著『グローバル時代の貿易と投資』（桜井書店）2003年
をおすすめします。

科目名	担当者名
EU統合論	清水卓

講義のねらい

EU 統合論 (前期)

この講義では、EUの目的、政策、制度の形成プロセスと現状について解説します。EUは、1952年にその基礎となった欧州石炭鉄鋼共同体が生まれた時には6カ国に過ぎなかったのですが、2004年には新たに10カ国の新規加盟国を迎え現在は25カ国、人口4億5000万人へと拡大してきました。昨年はEU憲法制定の動きがフランスとオランダの批准失敗で頓挫しました。また、中期財政計画を巡る議長国イギリスとフランスとの利害対立が激化、さらにはフランスの各都市の郊外で青年達の暴動が発生するなど、EUは大きな壁に突き当たっているようです。しかし、2001年に流通が始まった通貨ユーロは世界的に存在感を増しています。このようなEUを知らずして世界の動きは理解できません。民主主義と資本主義経済の生誕地であり成熟した福祉制度など市民社会を実現したEU諸国から学ぶべきことは依然として多いのです。

講義の内容・授業スケジュール

(大きな項目は次の通りですが、項目や順序が変更されることもあります) I. 欧州統合の拡大と深化 II. 経済統合 (1) 石炭鉄鋼共同体からEECへ (2) 市場統合の完成 (3) 通貨統合 III. EUの制度 (1) 権力構造 (2) 民主主義の欠陥 (3) EU憲法 IV. EUの政策 (1) 環境政策 (2) 地域政策 (3) リスボン戦略 (4) 共通農業政策 (5) 欧州社会モデル

履修上の留意点

EUは25の国の上に立つもう一つの国家(超国家)といえる大きな存在ですから、その全体像を理解するには、授業だけでは不十分です。授業ではEUの骨格を解説するだけです。ヨーロッパに関心を持ち調べてみようとする姿勢が欲しいです。日々変化するEU諸国の動向に注意を払いながら授業に臨めば知識も増え、理解も深まります。新聞・雑誌・インターネット・TV特集番組など身近にあるEU情報にアクセスしてください。なお、2005年度はパソコン教室を使用しましたが、2006年度の使用教室次第では、授業方法を変更する事があります。

他学部履修科目

成績評価の方法

学期末の試験と中間に提出を求める宿題を基本に評価します。出席状況も考慮します。

教科書

教科書は指定しません。

参考書等

- (1) 田中友義・久保広正「ヨーロッパ経済論」(ミネルヴァ書房) 2004年刊 3,200円
- (2) 田中素香・長部重康・久保広正・岩田健治「現代ヨーロッパ経済論」(有斐閣) 2001年刊 2,500円
- (3) 福島清彦『ヨーロッパ型資本主義』講談社現代新書

その他

選択科目ですからEUに関心を持っている学生の皆さんのみ歓迎。
授業の難易度が高く、必修科目単位を修得している3,4年次生が主たる対象です。例えば日本経済新聞が難しくとても歯が立たないといった学力レベルでは理解が難しいでしょう。

科目名

担当者名
清 水 卓

現代西欧経済論

講義のねらい

第2次世界大戦の結果作られたアメリカ中心の世界システムが、その後、いくつもの挑戦を受けながら、今日なお、イラク占領という単独行動主義のかたちで世界的覇権を維持していることは否定できません。独・仏など大陸 EU 諸国は国際連合中心の国際協調主義の立場からアメリカの単独行動主義に距離を置いています。その背景には市場統合や通貨統合を達成し、さらに政治統合まで踏み込むに至った戦後の欧州統合の発展があります。欧州を戦場とした20世紀の大戦による疲弊から立ち直った欧州各国の戦後の経済発展と社会の変容を解明し、そこから、わが国の将来を構想する際の教訓を導きます。

講義の内容・授業スケジュール

(大きな項目は次の通りですが、項目や順序が変更されることもあります)

- I. 世界大戦の歴史的意義
- II. 戦後復興の課題 (1) 戦後西欧資本主義の危機 (2) マーシャル援助 (3) 西欧経済の「近代化」
- III. 経済成長の「限界」 (1) 経済成長 (2) 欧州通貨危機 (3) スタグフレーション (4) 経済政策の転換 (5) グローバリゼーションへの適応
- IV. EU 統合の現段階と各国経済 (1) 北欧の福祉国家 (2) EU 中核国独仏英の経済 (3) EU の地中海諸国 (4) EU 中東欧諸国の経済・社会

履修上の留意点

履修上の留意点 授業ではアメリカ中心の戦後国際経済の中での欧州諸国経済の発展過程を跡付けし、今日の経済社会の課題を歴史的視点か位置付けることを学びますが、現状をどう見るかといことが出発点です。日々変化する EU 諸国の動向に注意を払いながら授業に臨めば知識も増え、理解も深まります。新聞・雑誌・インターネット・TV 特集番組など身近にある EU 情報にアクセスしてください。なお、2005年度はパソコン教室を使用しましたが、2006年度の使用教室次第では、授業方法を変更する事があります。

成績評価の方法

学期末の試験と中間に提出を求める宿題を基本に評価します。出席状況も考慮します。

教科書

教科書は指定しません。

参考書等

- (1) 中友義・久保広正「ヨーロッパ経済論」(ミネルヴァ書房) 2004年刊 3,200円
- (2) 田中素香・長部重康・久保広正・岩田健治「現代ヨーロッパ経済論」(有斐閣) 2001年刊 2,500円
- (3) 福島清彦『ヨーロッパ型資本主義』講談社現代新書

その他

選択科目ですから EU に関心を持っている学生の皆さんのみ歓迎。
授業の難易度が高く、必修科目単位を修得している3,4年次生が主たる対象です。例えば日本経済新聞が難しくととても歯が立たないといった学力レベルでは理解が難しいでしょう。

他履修科目
学部

講義のねらい

外国経済研究の課題を、その経済事情に通じることという形で、狭く設定する必要はないので、各自の問題意識に引きつけてとらえてもらえばよいが、とりわけ、独特のソ連経済からロシア的・資本主義的・市場経済への転換を、資本主義世界経済のあり方、日本経済のあり方を念頭に置きつつ講義する予定である。その際、ソ連経済史の評価のためには社会主義論の捉え直しが不可欠であり、他方で政策も含めた経済現象の総体を文化的基盤と切り離して論じることはできないから、常に総合的視点と批判精神を伴った受けとめを期待する。

講義の内容・
授業スケジュール

ソ連邦が解体し、東欧諸国も再編成されて、一つの歴史的移行過程にあるが、「どこからどこへ？」の問題は必ずしも決着済みではない。この地域が従来の歴史的経緯を背負って今後も多少とも独自の経済圏を形成していくことは確かであろう。

ロシア・東欧圏は、ヨーロッパとアジアにまたがりオリエントと接するユーラシア地域として、独自の、また内部的には多様な文化を醸成してきた。この地域は、帝国主義の時代に入って、第1段階としてロシア革命、第2段階として第2次大戦を契機に社会主義をめざすことになった。そしてその歴史は通例まぎれもない社会主義の歴史として通俗的に理解されてきたが、本来は社会主義の模索として開始されたものであり、社会主義に到達しえたか否か自体が吟味の対象である。これは同時代史の問いかけに応えるために必要な認識であろう。

社会主義論の歴史的な捉え直しの上に立って、1930年代にソ連邦で形成され40年代に東欧に移植された独特の体制の認識が深まれば、「どこからどこへ？」の問題の第1段階に答える可能性が生まれるであろうし、その第2段階を検討することは、我々の時代の当面している課題を明らかにすることに通じるであろう。

1. 社会主義とロシア革命
 - (1) 社会主義論とマルクス
 - (2) ロシア革命のめざしたもの——レーニン時代——
2. ソ連経済体制の成立とスターリン時代
 - (1) 1920年代から30年代への転換
 - (2) ソ連型「社会主義」の特質と行きづまり
3. 「計画経済」と経済管理システム
 - (1) 「計画経済」の成立と実態
 - (2) ソ連型経済管理システム
4. ソ連経済の生産力水準
 - (1) 経済構造の特質と軍事生産
 - (2) 工業生産力と工業技術
 - (3) 農業問題
5. 停滞からペレストロイカへ
 - (1) 経済改革の時代
 - (2) プレジネフと停滞の時代
 - (3) ペレストロイカとその挫折
6. ロシア・東欧経済の現状と課題
 - (1) ロシア・東欧の文化と社会
 - (2) 資本主義化の諸問題
 - (3) ロシアと日本——比較経済史——

履修上の留意点

トピックスにコメントすることが多いと思われるので、必ずしも授業計画通り、またその全てを網羅して進むとは限らないが、部分から全体を照射するように心がけたい。敢えて挑発的な講義にしたいので、学生諸君にはステレオタイプから脱して自分自身の頭で考えることを期待する。

成績評価の方法

成績評価はレポート（9月提出、40点配点）と定期試験（自筆ノート持込み可、60点配点）によって行う。模範答案等の丸写しは認めない。オリジナリティを評価する。

教科書

教科書はない。参考書は適宜指示する。歴史の見直しが必要とされ、変化の激しい時代に、万全の教科書はありえない。

その他

教科書はないので、授業中にノートを取るの当然のことになるだろう。

科目名**担当者名**

財務会計論

小栗崇資

講義のねらい

企業の活動内容を外部の利害関係者や投資家に報告・開示することを目的とするのが財務会計である。外部報告会計とも言われ、報告内容による社会的な影響も大きいことから、財務会計については商法や証券取引法のような法律や規則によって社会的に規制されている。日本の財務会計を規制する企業会計制度は現在、会計ビッグバンと呼ばれる大きな変化のまただなかにある。戦後、日本独自の発展をとげてきた企業会計制度もグローバルスタンダードの影響のもとに国際的に比較可能なものへと変わりつつある。制度変化による経済やビジネスへの影響は大きく、日本の財務会計がどのような発展をとげていくかが、現在、問われているところである。

講義の前半では、そうした制度変化を理解する上で必要な、経済社会と会計との関係や会計に関する規制の仕組みなどについて論じたのち、日本の企業会計制度の歴史と会計ビッグバンの概要について学習を進める。講義の後半では財務諸表（貸借対照表、損益計算書）の基本的な構成や内容について論じ、さらに現代会計のテーマである連結会計、金融商品会計、年金会計などを取り上げ検討する予定である。

講義の内容・授業スケジュール

次のような構成で進めたい。

1. 財務会計とは何か
2. 経済社会と企業会計
3. 会計規制の仕組み
4. 日本の企業会計制度と会計ビッグバン
5. 財務諸表の仕組み
6. 貸借対照表の構造と内容
7. 損益計算書の構造と内容
8. キャッシュフロー計算書の構造と内容
9. 連結財務諸表の構造と内容
10. 金融商品会計
11. 退職給付会計
12. リース会計
13. 現代会計と会計の国際化

履修上の留意点

会計学は専門知識を積み上げていく学習スタイルが必要ですし、時々、副教材としてプリントを配布しますので、欠席しないこと。

成績評価の方法

中間試験および学年末試験により評価します。また、時々、小テストやレポートも実施し、成績評価に加算します。

教科書

遠藤・小栗・新谷・徳前著『新世紀の企業会計論（第2版）』（白桃書房）

参考書等

小栗・熊谷・陣内・村井編著『国際会計基準を考える—変わる会計と経済』（大月書店）

他履修科目
学部

講義のねらい

企業がそれを取り巻く社会の中で円滑に活動するためには、自社の状況を把握し、それに基づいて適切な管理をしていかなければならない。とりわけ、グローバル化が進展し、変化が激しい現代の社会環境に適切に対応するためには、よりの確な企業管理を行う必要性に迫られる。このとき、様々な情報の中でも、会計情報を利用することが一つの重要な鍵となる。というのも、企業は会計的な利益を獲得することを目的として活動しており、そのような目的と直接的に結びつく情報だからである。企業管理のために会計情報を利用するうえでは、その基本的な意味や、その背後にある基礎的論理を身につける必要がある。そこで、本講義においては、管理会計上の基礎的知識・基礎的論理の修得に主眼がおかれる。そして、それと同時に、その会計情報が社会的諸関係の中で果たす役割や意味を考える機会の提供を目指すものである。

講義の内容・
授業スケジュール

前期においては、まず、管理会計をとらえる上での基本的な視点を明らかにする。つぎに、原価概念や利益概念といった基礎的な概念を取り上げる。そのうえで、伝統的に利用されてきた管理会計上の手法を取り上げる。後期においては、管理会計上の様々な手法を取り上げ、その社会的な意味を考えることにする。

履修上の留意点

本講義の履修にあたっては、「簿記論」および「会計学総論・会計学基礎」を履修済みであることが望ましい。また、電卓を利用するので、持参すること。

成績評価の方法

小テスト・レポート・年度末試験を総合評価する。

教科書

プリントを配布する。一年間の講義をつうじて蓄積されたプリントが、学生個々人の成果を反映したテキストとなる。

参考書等

講義において適宜指示する。

その他

講義においては問題練習を行い、知識の定着を目指す。

科目名**担当者名**

貿易論

ふる さわ こう ぞう
古 沢 紘 造**講義のねらい**

オゾン層破壊、熱帯林破壊、温暖化、酸性雨、放射能汚染など地球を取り巻く環境はますます深刻になっています。一方、私たち生命体は水・大気・土壌の汚染により生存を脅かされるところまできています。本講義では、こうした危機的状況を踏まえ、生命系の経済学の立場に立って、貿易問題、さらには国際分業のあり方について深く考えてみたいと思います。その中で、経済学、生態学、倫理学からなる総合的視角の重要性を認識しつつ、私たちの生活のありようを問うことにも力を注ぎたい。

生命系の経済学とは、人格をもった人間としてのニーズ、環境、資源、地球のすべての生命との共存、などを基準とした主体的な指標の確立と、それを実現し保証する政策と運動を具体的に提出する経済学です。詳しくはポール・エキンズ編著『生命系の経済学』（御茶の水書房）を読まれるとよいでしょう。

講義の内容・授業スケジュール

I. 生産・消費と貿易

1. 農産物と貿易
2. 水産物と貿易
3. 林産物と貿易
4. 鉱物資源と貿易
5. 工業製品と貿易

社会・経済状況の変化に対応して、アップ・ツー・デットな貿易問題も積極的に取り上げるようにしたい。

II. 政治・経済・社会と貿易

1. 開発援助と貿易
2. 環境と貿易
3. WTOと貿易
4. グローバリゼーションと貿易
5. 持続可能な発展と貿易

成績評価の方法

テスト、提出物（講義ごとのまとめ、前期、後期の終り 授業で書いてもらう講義全体のまとめ）などを総合して評価を行う。テストやまとめを書くとき、論点を明確にし、自分の考えをしっかりと出すように努力してもらいたい。思考の跡がうかがえないものは、評価の対象とはならないでしょう。

教科書

特にこれといった教科書は使いません。専門用語などむずかしいことは、そのつど説明しますので、授業に出てもらえれば内容は充分理解できると思います。

参考書等

講義の中で興味をもち、もっと知りたいことがありましたら、遠慮なく相談にきてください。参考になる本など教えます（研究室：第2研究館、4階34号室）。

他履修科目
学部

科目名**担当者名**

経営労務論

鹿嶋秀晃

講義のねらい

この講義では、現代の日本企業とそこに働く労働者が抱える経営労務問題を幅広く扱っていく。具体的には経営学と経営労務論、戦後日本経済と日本的経営論、終身雇用、年功序列賃金、企業別組合制度、福利厚生制度、異動と昇進、人材形成、労働時間問題、ホワイトカラーの労働問題、女性労働問題、新しい労働法制と労働問題などの小テーマを設けて講義していく。学生には経営労務論を受講することで企業と労働、社会について幅広い問題関心を持ってもらいたい。

講義の内容・授業スケジュール

講義は1コマ1テーマの原則。各回の最初に「日本は本当に終身雇用なのか？」といったような問題点を掲げ、その解説をおこなう。また、最近の新聞記事から重要な経営労務問題をピックアップして紹介する。

履修上の留意点

詳細は最初の講義で説明する。出席は取らないので、出席点は無し。(1) 私語は真剣に聞いている他の学生に迷惑になるのでしないこと。(2) 携帯電話は消音すること。ひどいときには退室してもらい、単位の認定をしない。

成績評価の方法

評価は学期末試験とレポート提出の合計点で成績評価を実施する。受講者数の大小によって変更する場合があります。

教科書

テキストは特に指定しない。

参考書等

参考図書としては、津田真澄『人事労務管理』（ミネルヴァ書房）1993（定価3,000円程度）、労務学説史をわかりやすく説明したものとして渡辺峻『企業組織の労働と管理』（中央経済社）1995（定価2,600円程度）、経営労務をより体系的に深く学習するのによい白井泰四郎『現代日本の労務管理第2版』（東洋経済新報社）1992（定価3,500円程度）をあげておく。この他にも講義の中で適宜いろいろな文献を紹介していく。

その他

授業は講義形式でおこなうが、図表やグラフを多用し、ただ聞いてノートを取るだけでなく「頭をつかう」ような形にする。ホームページでも授業に関する情報提供をしていく。次のURLを参照。

<http://www.komazawa-u.ac.jp/~kashima/>

履他
修学
科目
目

科目名	担当者名
国際経営論	茂垣広志

講義のねらい

国際経営とは、国境を越えて事業を展開している企業（多国籍企業）の戦略およびマネジメントの課題に取り組んでいる経営学の一領域である。本講義のねらいとしては、経営戦略論、管理論、組織論をベースとして、比較経営や異文化マネジメントの視点を加味して、多国籍企業の戦略行動とマネジメントの特徴を理解することにある。つまり、国内的企業ではあまり問題とならないような、企業の国際化、多国籍化にかかわる諸問題を企業経営の視点から多面的に捉え、検討することを通じて国際経営に関する基本的理解を深めることを講義の目的としている。

講義の内容・授業スケジュール

日本企業を念頭において授業を進めるが、欧米系多国籍企業との比較、ケースを用いて理解が深められるような講義の内容を予定している。授業のスケジュールに関しては、下記のような構成となっている。

1. 国際経営論入門、2. 経営戦略の基礎と国際経営戦略、3. 企業の国際化と国際経営環境、4. 企業の多国籍化と国際化の発展段階、5. 国際競争戦略のパターン、6. 国際戦略提携、7. 国際経営組織、8. 国際経営のモデル、9. 日本企業の国際経営（日米欧多国籍企業比較）、10. 海外子会社のマネジメント、11. 異文化マネジメント、12. 海外派遣（出向）者の育成・選抜・処遇、13. 日本企業の国際経営上の課題と展望

成績評価の方法

成績は、期末試験の結果によるが、その際、出席状況を加味する。

教科書

茂垣広志『グローバル戦略経営』（学文社）2,800円

参考書等

根本孝・茂垣広志・池田芳彦『国際経営を学ぶ人のために』（世界思想社）

その他

プロジェクターを用いて授業を進行する。また、授業には教科書を携帯のこと。必要に応じて資料を配布する。

履修科目
他学部

科目名	担当者名
商業史	山田勝

講義のねらい

大変革の渦中にある現下の商業経営を、歴史的視点から見つめ直し、変革の方向と意味を考える。

講義の内容・授業スケジュール

- 〈A〉生産主導の商業
 - (1) 商業史の意義と講義の目的
 - (2) パラダイムの発展
 - (3) 利益と継続性
 - (4) 商品と市場
 - (5) 大衆消費社会の特徴
- 〈B〉需要主導の商業
 - (1) 消費スタイルの変化
 - (2) 充足から満足度重視へ
 - (3) 多様化の要因
 - (4) 「サービス」商品の特徴
 - (5) IT革命と商業経営
 - (6) 生活（文化）の変革と商業

履修上の留意点

教科書の内容を講義で補充していくので、出席はとらないが聴講に努め質問をして欲しい。講義中の私語は他の受講生に迷惑となるので厳禁とする。

成績評価の方法

定期試験による。

教科書

山田勝『商業史概論』（創成社）3,000円（消費税別）

科目名

担当者名

保険経営論

いしなざか くにあき
石名坂 邦 昭

講義のねらい

本講義においては、保険学のアプローチとして近年一般化しつつあるリスク・マネジメントの基本的事柄につき理解した後に、保険理論の基本的知識を正確にし、わが国の保険事業並びに一般企業がかかえているリスクに関する諸問題にどのように対処したらよいかの応用能力が持てるようになることを目標とする。

講義の内容・
授業スケジュール

保険学の研究は、保険法学的アプローチ、保険経済的アプローチ、保険経営学的アプローチとそれぞれの時代を背景に論じられてきた。今日、保険学研究については保険経営学的研究をより発展させた、「危機管理論」(リスク・マネジメント)研究が主流となっている。本講義においては、最初にリスク・マネジメントの基本体系について論じ、リスク・マネジメントの理論、歴史的発展について見た後に、リスク・マネジメントの中心となる保険の機能、保険本質、保険技術について詳しく見ていきたい。

前期はリスク・マネジメントを中心とした講義を行い、後期に保険論を中心とした講義を行う。講義は、理解しやすいように工夫をこらしていく。教科書は使用するが、それは本講義を理解するための基本的共通知識として使用し、講義は教科書に書かれている事柄が理解されていることを前提として進めていく。

履修上の留意点

保険およびリスク・マネジメントを理解するためには使用される専門用語を理解されていなければならない、学ぶことも広範囲にわたるため、講義を受ける前に必ず教科書を読み講義後の復習も忘れないようにしてほしい。学生諸君の積極的な授業への参加を望む。

成績評価の方法

講義への出席状況および授業時の質疑応答と定期試験の結果を総合して成績評価を行う。

教科書

石名坂著『リスク・マネジメントの理論』(白桃書房) 3,500円

参考書等

石名坂著『ファミリーリスク・マネジメントと保険』(白桃書房)
石名坂著『リスク・マネジメントの基礎』(白桃書房)

他学
履修
科目

科目名

担当者名

財務会計論

わたなべ えいちろう
渡邊 恵一郎

講義のねらい

財務会計論は会計学の一分野であり、企業の経営成績と財政状態を明らかにするという基本的職能を取り扱っている。財務会計の目的は、企業経営に責任を負う経営者に、投資者、債権者その他企業と利害関係を持つ外部の人々に対して、適切な企業財務情報を提供させることにある。この主たる手段が、損益計算書、貸借対照表、キャッシュ・フロー計算書などの財務諸表である。

講義では、財務諸表を作成するための会計処理（測定）と表示方法（伝達）を中心的課題とし、またこれに関するわが国の商法、税法などの会計法規も取り上げ、さらに国際会計基準との関連にも触れる。

講義の内容・授業スケジュール

講義の内容はおおむね下記の教科書によることとし、この授業スケジュールは次のとおりである。

- (1) 4～5月 財務会計の機能と制度、利益計算の仕組み、会計理論と会計原則
- (2) 6～7月 利益計算と資産評価の基本原則、現金預金と有価証券、売上高と売上債権、棚卸資産と売上原価
- (3) 9～10月 固定資産と減価償却、繰延資産、負債、資本
- (4) 11～12月 財務諸表の作成と公開、連結財務諸表、外資建取引等の換算

履修上の留意点

毎時間の出席率と宿題提出（年1回）を重視する。

成績評価の方法

成績評価は、出席率、宿題提出及び定期試験点数の総合による。

教科書

桜井久勝著『財務会計講義』（中央経済社）

参考書等

日本公認会計士協会編『監査小六法』（中央経済社）

その他

- (1) 授業の方法は、講義による。(2) 簿記学・会計学の単位を修得していること。

他履修科目
学部

講義のねらい

経営分析とは、文字どおり「企業の経営を分析すること」であり、かなり多方面にわたる内容をもっています。

皆さんが将来を託そうとする会社は、

- 1 財政的に安定しているだろうか（安定性分析）、
 - 2 「儲け」はどうだろうか（収益性分析）、
 - 3 経営活動の成果はきちんと配分されているだろうか（生産性分析）、
 - 4 長期的な会社の「伸び」はどうだろうか（成長性分析）、また、
 - 5 社会に対してどのように貢献しているだろうか（社会性分析）、
- といった内容です。

講義の内容・
授業スケジュール

前期は、企業の毎期の経営活動を報告する「貸借対照表」や「損益計算書」などの「財務諸表」の読み方をまず説明し、安定性・収益性分析を学習します。

後期は生産性・成長性・社会性分析や、さらに、損益分岐点・利益増減その他の分析を取りあげます。

「各自が企業の経営を分析できるようになる」ため、授業で必要最小限の理論を学び、ただちに、新聞などの最新のトピックによって企業の現実にふれます。

履修上の留意点

この授業の目的は、「財務諸表分析」を中心に、各人が就職を希望する、あるいは興味を持っている会社の「分析」をしていただくことにあります。つたなくても、ささやかでも、その成果は皆さんの貴重な「財産」です。

成績評価の方法

成績評価はレポートと授業中のテストで行います。学年末試験は行いませんのでご注意ください。

*レポート・テーマ：前期「各自が関心を持っている企業の収益性・安定性分析」
：後期「各自が関心を持っている企業の成長性その他の分析（続）」

☆提出日（授業はじめに配布するシラバスに明記）以外は受け付けませんのでご注意ください。

*テスト範囲：財務諸表数値を用いた経営比率の算出問題。

☆質問は授業以外にも研究室2307号室で随時受け付けますので、遠慮なくおいでください。

教科書

開講時、指示します。

参考書等

随時、紹介します。

科目名

担当者名

税務会計論

たかきかつみ
高木克己

講義のねらい

今日、租税は我々個人にとっては、所得税、相続税等の問題として、また、企業にとっては、法人税の問題が大きな関心事として存在している。ここ数年、法人税も税率の引き下げをはじめ、多くの改正が行われている。本講義では、普通法人（株式会社等）を前提とした法人税の算定過程を中心に講義を進めていく。

税務会計とは、一般に企業における課税所得の算定過程を研究する分野をいう。この課税所得は、商法あるいは企業会計原則等によって算出された利益にもとづいて算定される。そこでは、法人税法固有の規定（いわゆる別段の定め）が適用され、負担の公平、簡便性、あるいは政策的配慮等さまざまな考え方が反映されている。講義では、こうした税法固有の考え方の根拠、背景等を出来るだけやさしく説明しながら、今日、法人税法の抱えている問題点を明らかにしていきたいと考える。

講義の内容・授業スケジュール

講義内容の概要は次のとおりである。

1. 法人の種類及び課税所得の範囲等
2. 同族会社と青色申告
3. 課税所得の計算構造
 - (1) 企業利益と課税所得の関係
 - (2) 益金の額及び損金の額
 - (3) 公正処理基準及び資本等取引
4. 収益の計上基準についての原則的な考え方
 - (1) 引渡基準
 - (2) 特殊販売収益の計上基準
 - (3) 役務、請負、譲渡収益等の計上基準
5. 受取配当金益金不算入
6. リース取引
7. 給与（報酬、給料、賞与）の税務処理基準
8. 交際費及び寄付金
9. 有価証券、棚卸資産、固定資産、繰延資産等の税務処理
10. 圧縮記帳
11. 引当金と準備金
12. 企業を巡る国際課税の問題
 - (1) 移転価格税制
 - (2) タックス・ヘイブン対策税制
 - (3) 外国税額控除制度
13. 法人税額の計算

他履修科目
学部

履修上の留意点

「簿記学」「会计学」等の基礎的な会計科目を修得した上で履修した方がより理解が深まると思われる。

成績評価の方法

原則として学年末の試験によって評価する。レポートは年1回程度提出を求める。

教科書

開講時に指示する。

参考書等

開講時に指示する。

講義のねらい

経営スタッフの役割は、意思決定を支援すること、すなわち、意思決定者が適切な意思決定を行えるよう、決定の指針となる情報を提供することに外ならない。本講義では、将来、企業や官庁における経営スタッフを目指す諸君のために、経営情報に関する体系的な観点と、情報利用技術の基礎について解説する。

講義の内容・授業スケジュール

I. 経営情報と体系的観点（前期）

(1) 科学と体系的観点（4月～5月：4週）

情報学のバックグラウンドにある考え方や知識について整理する。科学の方法と体系的なものの方、それに基づく問題へのアプローチとはどのようなものかについて理解を深める。

(2) 情報学の基礎と周辺領域（5月～6月：5週）

情報処理技術に関わる基礎的な勉強をする。主としてコンピュータベースのシステムによる情報の取り扱いに関し、知っておくべき基礎的事項について整理する。

(3) 情報環境の発展と経営における利用（6月～7月：5週）

経営の場における意思決定と情報利用技術の関わりについて学ぶ。まず、企業における情報利用の形態の歴史的変遷を概観する。次いで、今日から近未来において、インターネット環境下の戦略的な情報の利用はどうあるべきか。すなわち、ITを用いた意思決定と管理のあり方、また電子商取引の現在と今後の発展について考察する。

II. 情報の利用技術（後期）

(1) 多変量データ解析（9月～10月：7週）

調査収集された生のデータは、そのままでは情報としての価値はない。データを加工・分析し、それが表す意味を解釈することで始めて意思決定のための情報が得られる。ここでは、定量的データを分析するための、重回帰分析、主成分分析、判別分析法を、またアンケート調査などで得られる定性的データを分析するための数量化I、II、III類法について、その原理と適用方法を学ぶ。

(2) シミュレーション（11月～12月：4週）

複雑な対象の動的な特徴を分析するための有力な方法としてシミュレーション技法がある。まず、社会経済系に関するシステム・ダイナミクス、工学的システムに関する有限要素法などの数値シミュレーション、待ち行列現象の解析に威力を発揮する離散系シミュレーションなど、代表的な手法についてその特徴を概観する。次いで、乱数を用いるモンテカルロ法の基礎的方法に触れた後、離散系シミュレーションの原理とモデル構築の方法について学ぶ。

(3) DSSとES（12月～1月：3週）

人工知能の原理と、その経営の場での応用として期待されるDSS（意思決定支援システム）、ES（専門家システム）の概要について学ぶ。

履修上の留意点

「情報処理基礎」と「経営数学」を履修済みまたは同時に履修していることを前提として授業を行う。また、「統計原論」か「経営統計論」のいずれかを履修済みまたは同時に履修することが望ましい。

成績評価の方法

前期、後期末に実施する筆記試験に基づき評価する。その他、出席状況も評価に反映させる。

教科書

『基礎から学ぶ経営科学』高井徹雄他著（税務経理協会）2,600円

講義のねらい

近年では日常的に使われる言葉となっている“情報”の本質を探ります。主に、情報の量(情報量)を定義したシャノン(C.E.Shannon)流の情報理論について講義します。

この授業を受講すれば、ある通報や記号のもっている情報量を、具体的な数値として(シャノンという単位で)計算できるようになります。これによって、たとえばDNAの情報を記録するために十分なフロッピーディスクの枚数が、たちどころに計算できるようになります。

また、情報量の期待値(平均値)であるエントロピーという概念も理解できます。これは、経営情報論、符号理論、通信理論、暗号理論などで利用される重要な概念です。

その後、エントロピーによって冗長度を導入します。言語の文字や音が冗長であることが、会話を成立させるために重要であることを理解します。

途中で、古代から現代にわたる暗号の話をして、現代の暗号技術の基礎についての理解は、現代社会で生きていくために必要なことです。

講義の内容・授業スケジュール

- 4月3回 授業内容概説、情報とは、情報量への要求
- 5月3回 対数の原理と性質、計算練習
- 6月4回 情報量の定義、練習、情報量の利用、2進法
- 7月3回 暗号系と用語、古典的な暗号、“踊る人形”の解説
- 9月2回 現代的な暗号、暗号技術を使ってできること
- 10月2回 符号化(JISコード、国際符号化文字集合)、対数・情報量の間試験
- 10月2回 確率過程およびマルコフ過程
- 11月2回 遷移確率と同時確率
- 11月1回 エントロピーの定義
- 12月2回 冗長度、言語のエントロピー
- 12月1回 価格以外の情報がない場合の市場占有率予測
- 12月1回 検査術(CD)、情報の圧縮と乱数、デジタルとアナログ

履修上の留意点

4年次で履修するのは困難です。2~3年次のうちに履修しておくように強く奨めます。また、毎回出席して計算練習に参加していないと、試験問題を解くことは無理でしょう。

内容の性質上、確率と対数に関する多少の数学的知識が必要になりますが、これらについて全く知らなくても理解できるように配慮しています(上表5月参照)。

成績評価の方法

10月の中間試験(30%)と定期試験(70%)との合計点によります。

教科書

クイズと計算練習を適宜とりいれます。また、プロジェクトとプリントを使います。適当な教科書はありません。

参考書等

そのつど紹介します。

その他

〔関連科目〕→ 経営情報論
講義内容のページ: <http://www.komazawa-u.ac.jp/~kazov/Nis/lecture/info.html>

他履修科目
学部

科目名

担当者名

経営統計

なが 国 強

講義のねらい

統計と企業経営の関わりについてを展開する経営統計とは、分析目的に対応して主に経営情報としてのデータを収集・処理・分析し、複雑な現象を理解すると共に、データを生成した集団や構造についてを予測し、いろいろな意思決定をサポートすることである。経営的意思決定において最も重要なことは、将来の経営状況をどう見るかであり、その予測に対して経営統計は十分な役割を果たされるはずである。

この講義では、企業経営における統計データの具体例を数多く取り入れることによって、経営統計の手法をわかりやすく説明していく。また、数学苦手の学生を配慮し、講義の内容説明は微・積分などの計算をいっさい用いず、数式の使用も必要最小限に止める。

講義の内容・授業スケジュール

予定している講義内容は以下の通りである。

経営統計について：経営統計の役割、基礎概念

統計特性値：平均、分散、正規分布

市場調査と統計整理：調査の諸段階、標本設計、データ整理

経営時系列：傾向成分の測定、季節指数の計算、時系列予測

経営指数：物価指数、数量指数

統計的意思決定理論：意思決定基準、期待効用理論

履修上の留意点

年間5回程度の演習問題を適時に配布し、それを独自かつ理解的に解ければ、中間試験や定期試験に心配する必要はない。

成績評価の方法

講義への出席状況と中間・定期試験の結果により総合的に判断する。

教科書

特に使用しないが、プリントは適時に配布する。

その他

統計学、あるいは統計原論を先にまたは同時に履修することが望ましい。

他学部履修科目

履修科目
他学部

Ⅳ 「日本語」・「日本事情」科目

「日本語」
「日本事情」

〔日本事情〕
〔日本語〕

IV. 「日本語」・「日本事情」科目 (対象：外国人留学生・海外帰国子女)

《日本語科目》

科目名	配当学科	開講区分	単位	担当者名	ページ
日本語入門Ⅰ a	法A・政治	半期	1	吉田蒔子	461
日本語入門Ⅰ b	法A・政治	半期	1	吉田蒔子	461
日本語入門Ⅱ a	法A・政治	半期	1	吉田蒔子	462
日本語入門Ⅱ b	法A・政治	半期	1	吉田蒔子	462
日本語Ⅰ a	法A・政治	半期	1	佐野典子	463
日本語Ⅰ b			1		
日本語Ⅰ a	法A・政治	半期	1	多田羅哲子	463
日本語Ⅰ b	法A・政治	半期	1	多田羅哲子	463
日本語Ⅱ a	法A・政治	半期	1	佐野典子	464
日本語Ⅱ b			1		
日本語Ⅱ a	法A・政治	半期	1	多田羅哲子	464
日本語Ⅱ b	法A・政治	半期	1	多田羅哲子	464
日本語Ⅲ a	法A・政治	半期	1	多田羅哲子	465
日本語Ⅲ b	法A・政治	半期	1	多田羅哲子	465
日本語Ⅲ a	法A・政治	半期	1	湯村礼子	465
日本語Ⅲ b			1		
日本語Ⅳ a	法A・政治	半期	1	石川守	466
日本語Ⅳ b	法A・政治	半期	1	石川守	466
日本語Ⅳ a	法A・政治	半期	1	湯村礼子	467
日本語Ⅳ b	法A・政治	半期	1	湯村礼子	467
日本語Ⅴ a	法A・政治	半期	1	石川守	468
日本語Ⅴ b	法A・政治	半期	1	石川守	468
日本語Ⅴ a	法A・政治	半期	1	多田羅哲子	469
日本語Ⅴ b	法A・政治	半期	1	多田羅哲子	469
日本語Ⅵ a	法A・政治	半期	1	石川守	469
日本語Ⅵ b	法A・政治	半期	1	石川守	470
日本語Ⅵ a	法A・政治	半期	1	多田羅哲子	470
日本語Ⅵ b	法A・政治	半期	1	多田羅哲子	470

「日本語」
「日本事情」

《日本事情科目》

科目名	配当学科	開講区分	単位	担当者名	ページ
日本事情Ⅰ〔地理〕	法A・政治	半期	2	高橋健太郎	471
日本事情Ⅱ〔自然〕	法A・政治	半期	2	清水善和	472
日本事情Ⅲ〔歴史〕	法A・政治	半期	2	浅倉直美	473
日本事情Ⅳ〔思想〕	法A・政治	半期	2	菅原光	473
日本事情Ⅴ〔社会〕	法A・政治	半期	2	坪井健	474
日本事情Ⅵ〔政治・法律〕	法A・政治	半期	2	三竹直哉	475
日本事情Ⅶ〔文学〕	法A・政治	半期	2	勝原晴希	475
日本事情Ⅷ〔文化・芸術〕	法A・政治	半期	2	菅原光	476
日本事情Ⅸ〔経済〕	法A・政治	半期	2	小林正人	476
日本事情Ⅹ〔経営〕	法A・政治	半期	2	羽鳥茂	477

〔日本事情〕
〔日本語〕

科目名	担当者名
日本語入門 I a	吉田 落子 よし だ ぷき こ

講義のねらい	非漢字圏出身者を対象に、授業や生活に必要な日本語の基本語彙、文型から各学生の足りない部分を補いながら、基礎的な日本語を用いて、必要な言語活動ができるようになることを目指す。教室活動の説明において、必要であれば、英語による解説をまじえる場合もある。
講義の内容・授業スケジュール	<ul style="list-style-type: none"> ・基本語彙、文型の復習 ・ビデオや印刷物から有用な情報の取得 ・授業や生活において行う発話とその文章化の訓練
履修上の留意点	基本事項は積み重ねが大切なので、毎週の授業には必ず出席すること。
成績評価の方法	出席および平常点、授業参加態度を重視
教科書	必要に応じてコピーを配布

科目名	担当者名
日本語入門 I b	吉田 落子 よし だ ぷき こ

講義のねらい	非漢字圏出身者を対象に、授業や生活で出会う日本語の基本語彙、文型の中で、各学生にとって使用語彙、文型の幅を広げていく。基礎的な日本語を用いて、有用な言語活動ができるようになることを目指す。教室活動の説明において、必要であれば、英語による解説をまじえる場合もある。
講義の内容・授業スケジュール	<ul style="list-style-type: none"> ・基本語彙、文型の確認 ・ビデオや印刷物から有用な情報の取得 ・授業や生活における発話に自信を持たせ、平易な文章表現が容易にできるような訓練
履修上の留意点	基本事項は積み重ねが大切なので、毎週の授業には必ず出席すること。
成績評価の方法	出席および平常点、授業参加態度を重視
教科書	必要に応じてコピーを配布

「日本語」
「日本事情」

科目名	担当者名
日本語入門Ⅱ a	よしだふみこ 吉田 蒨子

講義のねらい

非漢字圏出身者を対象に、来日間もない学生でも大学生活で戸惑うことがないように、日本文化、習慣の紹介を取り入れた教室活動を通して、日本語の受容能力（聴く、読む）と、産出能力（話す、書く）をバランスよく伸ばしていく。学習対象者および授業内容の性質上、英語による学習ツールを使用する場合がある。

講義の内容・授業スケジュール

- ・日本の学年暦を追って日本文化や習慣を紹介
- ・日本の文化、習慣と学生自身のものの比較を交えて理解を深める
- ・学生主導によるコースワーク、発表

履修上の留意点

授業は話し合い、学生共同のコースワークによって進行するので、毎週必ず出席すること。

成績評価の方法

出席および平常点、コースワーク

教科書

必要に応じてコピーを配布

科目名	担当者名
日本語入門Ⅱ b	よしだふみこ 吉田 蒨子

講義のねらい

非漢字圏出身者を対象に、来日間もない学生でも有意義な大学生活が体験できるよう、日本文化、習慣の紹介を取り入れた教室活動を通して、日本語の受容能力（聴く、読む）と、産出能力（話す、書く）をバランスよく伸ばしていく。学習対象者および授業内容の性質上、英語による学習ツールを使用する場合がある。

講義の内容・授業スケジュール

- ・固有の文化に外来のものを適度に織り交せて発展してきた日本文化や習慣を紹介
- ・日本の文化や習慣、日本人の考え方と、各学生の出身地のものの比較を交えて相互理解を深める
- ・学生主導によるコースワーク、発表

履修上の留意点

授業は話し合い、学生共同のコースワークによって進行するので、毎週必ず出席すること。

成績評価の方法

出席および平常点、コースワーク

教科書

必要に応じてコピーを配布

科目名	担当者名
日本語 I a	佐野典子
日本語 I b	

講義のねらい	本講義は、留学生を対象とし、日本語のみならず、広く日本文化の把握を目的とする。
講義の内容・授業スケジュール	授業は、日本の劇場用映画を主教材とし、日本語を勉強すると同時に、日本人のものの考え方や行動パターン、日本文化の特質を探る。
履修上の留意点	教材は、担当者が用意する。
成績評価の方法	成績は、提出物（毎週）、小試験、授業への参加度、出席率等により、総合的に評価する。

科目名	担当者名
日本語 I a	多田羅哲子

講義のねらい	語彙表現を豊かにし、日本語の理解力、表現力を高める。
講義の内容・授業スケジュール	衣・食・住・学生生活など日常の場面ごとに、よく使われる漢語・和語・外来語・擬音語・擬態語・機能語・慣用表現などを紹介し、実際にどう使われているかを知り、より豊かな表現ができるようにする。
成績評価の方法	出席率・平常点（小テスト・提出物・授業への参加度）、期末テストの成績から総合的に評価する。
教科書	プリントを配布する。

「日本語
日本事情」

科目名	担当者名
日本語 I b	多田羅哲子

講義のねらい	語彙・表現を豊かにし、日本語の理解力・表現力を高める。
講義の内容・授業スケジュール	政治・経済・文化・社会問題などの分野ごとに、よく使われる漢語・和語・外来語・省略語・慣用表現など日本語の知識を高めるより深く理解できるようにする。
成績評価の方法	出席率・平常点（小テスト・提出物・授業への参加度）、期末試験から総合的に評価する。
教科書	プリントを配布する。

科目名	担当者名
日本語Ⅱ a	まのりの 佐野典子
日本語Ⅱ b	

講義のねらい	本講義は、留学生を対象とし、日本語の聴解力、及び読解力の向上を目的とする。
講義の内容・授業スケジュール	授業では、テレビドラマのVTRを教材に、実際に話される日本語がどのようなものか学習し、同時に、書き言葉、話し言葉の違いを把握する。
履修上の留意点	教材は、担当者が用意する。
成績評価の方法	成績は、提出物（毎週）、小試験、授業への参加度、出席率等により、総合的に評価する。

科目名	担当者名
日本語Ⅱ a	たたらあきの 多田羅哲子

講義のねらい	話すことを中心に日本語の運用能力を高める。 言うべきことが、正しく適切な表現を用いて効果的に相手に伝わることを目指す。 発音・アクセント・イントネーション等、自分で見直し矯正する習慣をつける。
講義の内容・授業スケジュール	紹介・インタビュー・情報提供のスピーチをして、質疑応答・意見交換を行う。ほかの人のスピーチの内容・感想・意見などを限られた時間内に文章にまとめる。 テープで自分が話した日本語を聞く。
履修上の留意点	授業活動が大切なので出席し、授業に参加すること。
成績評価の方法	平常点を重視する。
教科書	必要に応じてプリントを配布する。

科目名	担当者名
日本語Ⅱ b	たたらあきの 多田羅哲子

講義のねらい	話すことを中心に日本語の運用能力を高める。 言いたいことが、正しく適切な表現を用いて効果的に相手に伝わることを目指す。 発音・アクセント・イントネーション等を自分で見直し矯正する習慣をつける。
講義の内容・授業スケジュール	意見表明や提案のスピーチ・ディベートを行う。スピーチのあと質疑応答・検討を行い、自分の意見とその根拠を文章にまとめる。話し言葉と書き言葉の違いを知る。 テープで、自分が話した日本語を聞く。
履修上の留意点	授業活動が大切なので出席し積極的に授業に参加すること。
成績評価の方法	平常点を重視する。
教科書	必要に応じてプリントを配布する。

科目名	担当者名
日本語Ⅲ a	多田羅 哲子 <small>たたら あきこ</small>

講義のねらい

聞き取ることを中心に日本語の総合能力を強化する。
聞き取った内容を把握すると共に、相手や立場、場面を考えてそれにふさわしい言葉で話せるようになることを目指す。

講義の内容・
授業スケジュール

ビデオでドラマ・映画・ドキュメンタリーなどを聞き取り、自然な話しかたに慣れる。どんな敬語を使うのか、くだけた言い方がいいのか、どういえば自然かなど、相手や立場などによって使い分けられるよう練習をする。

成績評価の方法

平常点を重視する。

教科書

ビデオを準備し必要に応じてプリントを配布する。

科目名	担当者名
日本語Ⅲ b	多田羅 哲子 <small>たたら あきこ</small>

講義のねらい

聞き取ることを中心に日本語の総合的能力を強化する。
ビデオの内容を把握すると共に、文章力を強化する。

講義の内容・
授業スケジュール

ドキュメンタリー、ニュース関連番組などのビデオを用い、今話題になっている問題の内容を聞き取る。
聞き取った内容、自分の感想、意見とその根拠を話し合い、文章に書き表す。

成績評価の方法

平常点を重視する。

教科書

必要に応じてプリントを配布する。

「日本語」
「日本事情」

科目名	担当者名
日本語Ⅲ a	湯村 礼子 <small>ゆむら れいこ</small>
日本語Ⅲ b	

講義のねらい

これまでに修得してきた日本語能力をさらに高め、文献を自分で調べながら読み、理解できるようにすること。さらに、文献を通して考え、自分の意見を持ち、発表、説明ができるようになることをめざす。

講義の内容・
授業スケジュール

新聞・雑誌・専門書などから教材を選び、辞書や事典、他の資料を使って詳しく調べながら読み、理解を深める。その後、意見を出し合い討論をして、さらに認識を深め、最後に小レポートを提出する。

履修上の留意点

授業活動を重視するので、当然、毎時間の出席を原則とする。国語辞典を持参すること。調べてくる宿題が出る。

成績評価の方法

期末試験、小レポート、授業での発表、授業活動、授業態度などを総合的に評価する。

教科書

最初の授業時に指定する。

科目名	担当者名
日本語Ⅳ a	いし かわ まほろ 石 川 守

講義のねらい

日本語の基礎を振り返り、よりしっかりした日本語の基礎を身につけるため日本語Ⅴ・Ⅵの続きの部分をやっていきます。内容は日本語の基礎文法の最終部分を概念シラバス、機能シラバスの観点から認知学習法でやっていきます。

講義の内容・授業スケジュール

日本語の基礎を日本語Ⅴ・Ⅵに引き続いて深くじっくりやっていきます。

履修上の留意点

日本語Ⅳは、日本語Ⅴと日本語Ⅵの三つの科目で日本語の基礎文法の全体が復習ができるように構成されています。もう一度しっかりとした日本語の基礎を復習したい人にお勧めします。授業順序は日本語Ⅴ→日本語Ⅵ→日本語Ⅳの順でやっていきます。

成績評価の方法

試験50%、平常点（出席、授業態度）50%の合計。

教科書

特になし。授業中にプリントを配ります。

参考書等

辞書を持ってきてください。

その他

授業態度を重視しています。

科目名	担当者名
日本語Ⅳ b	いし かわ まほろ 石 川 守

講義のねらい

しっかりとした日本語の基礎を作り上げるために日本語Ⅳ a に引き続き日本語の基礎文法の最終部分をじっくりやっていきます。

講義の内容・授業スケジュール

日本語Ⅳ a の続きの部分を行っていきます。日本語の基礎の最終部分、受身・使役などをやっていきます。

履修上の留意点

日本語Ⅳ a の続きの内容を行います。

成績評価の方法

試験の成績50%、授業態度、出席などで50%をつけていきます。

教科書

特になし。授業中に自作のプリントを配ります。

参考書等

辞書を持参してください。

その他

授業態度重視しています。

科目名	担当者名
日本語Ⅳa	湯村礼子

講義のねらい	読解と文章表現を中心に学び、日本語の知識を深め、大学生として必要な表現力をさらに高めることを目的とする。
講義の内容・授業スケジュール	レポートの書き方を学習する。事実・情報を正確に伝える文章を書くために、文、段落、構成などの基本から始める。授業は、講義、そして実践として書き、必要に応じて書き直しをするというように進める。
履修上の留意点	授業活動が重要となるので、毎時間の出席を原則とする。
成績評価の方法	課題作文（3回） 提出物 授業活動（授業での発言、授業態度など）
教科書	教科書は授業時に指定する。

科目名	担当者名
日本語Ⅳb	湯村礼子

講義のねらい	読解と文章表現を中心に学び、日本語の知識を深め、大学生として必要な表現力をさらに高めることを目的とする。
講義の内容・授業スケジュール	説明文、意見文を学習する。授業は、講義、そして実践として書き、必要に応じて書き直しをするというように進める。
履修上の留意点	授業活動が重要となるので、毎時間の出席を原則とする。
成績評価の方法	作文（3回） 提出物 授業活動（授業での発言、授業態度など）
教科書	教科書は授業時に指定する。

科目名	担当者名
日本語Ⅴa	石川 守 <small>いし かわ ます</small>

講義のねらい	しっかりとした日本語の基礎を築くために概念シラバス、機能シラバスの観点から認知学習法でやっています。呼称や指示詞などはじめからじっくりやっています。
講義の内容・授業スケジュール	日本語Ⅴは、日本語Ⅵと日本語Ⅳの三つの科目で日本語の基礎文法の全体が復習ができるように構成されています。もう一度しっかりとした日本語の基礎を復習したい人にお勧めします。
履修上の留意点	日本語Ⅴ→日本語Ⅵ→日本語Ⅳの順に進み、全体として日本語の基礎が復習できるように構成されています。この授業をとられる方はこの三つをセットで取ることをおすすめします。
成績評価の方法	試験の成績50%、平常点（受講態度、出席など）50%の合計でつけます。
教科書	特になし。授業中にプリントを配ります。
参考書等	辞書を持ってきてください。
その他	受講態度を重視しています。

科目名	担当者名
日本語Ⅴb	石川 守 <small>いし かわ ます</small>

講義のねらい	日本語Ⅴaに続けて、日本語のしっかりした基礎をつくることを目標にしています。
講義の内容・授業スケジュール	日本語Ⅴaの続きをやっていきます。
履修上の留意点	日本語Ⅴaと同じです。
成績評価の方法	試験の成績50%、平常点（受講態度、出席など）50%。
教科書	特になし。授業中にプリントなどを配ります。
参考書等	辞書を持ってきて下さい。
その他	受講態度を重視しています。

科目名	担当者名
日本語Ⅴa	多田羅 哲子

講義のねらい	読むことを中心に日本語の表現力も高める。 レポートを書くための基礎を学ぶ。
講義の内容・ 授業スケジュール	各種の新聞記事など時事問題を中心に自分で調べながら読み、内容について説明したり、意見発表を行う。 それらを文章にまとめる。
成績評価の方法	平常点（小テスト・提出物・授業の参加度）を重視する。
教科書	プリント配布する。

科目名	担当者名
日本語Ⅴb	多田羅 哲子

講義のねらい	読むことを中心に日本語の表現力も高める。 レポートを書くための基礎を学ぶ。
講義の内容・ 授業スケジュール	各自関心のある内容の文章を集めて読み、内容を発表する。その内容について話し合い、文章にまとめる。
成績評価の方法	平常点（小テスト・発表・提出物・授業への参加度）を重視する。

科目名	担当者名
日本語Ⅵa	石川 守

講義のねらい	日本語の基礎文法を日本語Ⅴに引き続き行い、正確な日本語文法の基礎を作るために概念シラバス、機能シラバスの観点から認知学習法でやっていきます。
講義の内容・ 授業スケジュール	日本語Ⅴa、bで行った日本語の後の部分をやっていきます。講義内容は日本語Ⅴ→日本語Ⅵ→日本語Ⅳの順番で構成されています。したがって本授業は日本語の基礎の中間部に当たります。
履修上の留意点	日本語Ⅵは、日本語Ⅴと日本語Ⅵの三つの科目で日本語の基礎文法の復習ができるように構成されています。もう一度しっかりと日本語の基礎を復習したい人は日本語Ⅳ、Ⅴ、Ⅵの三つをとることをお勧めします。
成績評価の方法	試験50%、平常点（出席点、授業態度）50%の合計で出します。
教科書	特になし。授業中にプリントを配ります。
参考書等	辞書を持ってきてください。
その他	授業態度を重視しています。

科目名	担当者名
日本語Ⅵb	いし かわ まする 石 川 守

講義のねらい	日本語のⅥaの続きを行い、しっかりした日本語文法の基礎を作ります。
講義の内容・授業スケジュール	日本語Ⅵaの残りの部分を行っていきます。内容は日本語の基礎文法の間部分後半になります。
履修上の留意点	この授業は、日本語Ⅵaの次の部分を行っていきます。
成績評価の方法	試験50%、平常点（出席、受講態度）50%。
教科書	特になし。授業中にプリントを配ります。
参考書等	辞書を持ってきてください。
その他	受講態度を重視しています。

科目名	担当者名
日本語Ⅵa	た た ら あ き こ 多田羅 哲子

講義のねらい	文章読解を通して日本語の総合力を高めると共に日本人の考え方にふれる。
講義の内容・授業スケジュール	雑誌・小説等さまざまな文章を速読し、その内容・感想・意見を発表する。 漢字の読み、語句の意味や使い方、文法事項等についても各自調べ、確認する。
成績評価の方法	平常点（提出物・小テスト・授業への参加度）、出席率、期末試験の成績から総合的に評価する。
教科書	プリントを配布する。

科目名	担当者名
日本語Ⅵb	た た ら あ き こ 多田羅 哲子

講義のねらい	文章読解を通して日本語の総合力を高めると共に日本人の考え方にふれる。
講義の内容・授業スケジュール	雑誌・小説等さまざまな文章を速読し、その内容・感想・意見を発表する。 漢字の読み、語句の意味や使い方、文法事項等についても各自調べ、確認する。
成績評価の方法	平常点（提出物・小テスト・授業への参加度）、出席率、期末試験の成績から総合的に評価する。
教科書	プリントを配布する。

科目名**担当者名**

日本事情 I [地理]

たか はし けん たろう
高橋 健太郎

講義のねらい

人々の生活や地域社会の特徴と変化などを、空間的側面と関連づけて考えるという人文地理学の視点から、日本の諸地域に対する理解を深める。

講義の内容・
授業スケジュール

日本の文化や人々の生活、地域社会の取り組みについて、主に次の項目について検討する。
(1) 日本の地域性、(2) 都市の構造と変容、(3) 農山村の生活と地域振興、(4) 地域文化と観光、(5) 地図と地名。

日本の地域的な特徴についての理解を深めてもらうために、統計資料の計算や地図作りなどの作業も取り入れる。また、大学の外に出て、特徴のある地域や施設の見学も行う。

履修上の留意点

第1回目に授業の案内を行うので必ず出席のこと。また、学外見学の際の交通費や施設入場料は各自の負担となる。

成績評価の方法

ほぼ毎回教場で作成してもらう小レポートと学期末のレポートで評価。

教科書

使用しない。授業中にプリントを配布する。

講義のねらい

日本はアジア大陸の東端に位置する島国であり、亜寒帯の北海道から温帯の本州を通り亜熱帯の沖縄まで、約3,000kmの細長い国土を有している。四季の季節変化が明瞭で梅雨や台風、日本海の多雪のような独特な気象現象もみられる。また、37万平方キロメートルの狭い国土の中に、山脈、丘陵、河川、湖沼、平野、海岸が箱庭のように組み合わせり、多種多様な地形が形成されている。さらに、日本は複数のプレートの境界域にあたるため、世界でも有数の火山・地震地帯となっており、これらによる自然災害も多い。このような多様な自然環境を反映して、日本には独特の生物相が発達している。

本講義では日本の自然を位置、気候、地質・地形、生物の4章に分けて解説する。その際に次の3つの視点に留意する：(1)アジア全体の自然の中に日本を位置付ける、(2)現在の状態と過去の歴史とのつながりを重視する、(3)自然と日本人の生活、文化との関わりにも注目する。すなわち、できるだけ時間的、空間的に広い視野から日本の自然をとらえることにより、留学生の母国の自然とのつながりも確認できるようにしたい。なお、日本の自然破壊の歴史や環境保全のあり方等についても適宜言及する。

講義の内容・
授業スケジュール

第Ⅰ章 位置

1. 国土の範囲
2. 行政区分
3. 位置の特徴

第Ⅱ章 気候

1. 気候帯
2. 日本近海の海流
3. 気候の特徴
4. 気団と季節
5. 気象観測
6. 気候と文化

第Ⅲ章 地質・地形

1. 弧状列島
2. 変動の歴史
3. 多様な地形
4. 火山
5. 地震

第Ⅳ章 生物

1. 気候帯と植生帯
2. 生物多様性
3. 生物地理区
4. 里山の生物
5. 帰化生物

第Ⅴ章 環境保全の諸制度

1. レッドデータブック
2. 国内の法律
3. 国際条約

成績評価の方法

レポート（2回）と出席回数に基づいて評価する。

教科書

講義の内容を日本語の文章で著わした「web版教科書」（清水執筆）を紹介する。また、それを英語に翻訳した「英語web版教科書」も用意する。これらは清水のHPから自由にダウンロードできる。

参考書等

「web版教科書」で分野ごとの参考書を紹介する。

その他

講義に必要な図表をまとめた補助教材のプリントを適宜配布する。講義は日本語で行い、板書には漢字も使用する（漢字にはできるだけ読みがなをつける）。なお、英語圏の留学生のために講義内容を英語で著わしたweb版教科書を用意する。

科目名	担当者名
日本事情Ⅲ〔歴史〕	あさくら なおみ 浅倉直美

講義のねらい

日本の歴史を学ぶにあたって、とくに日本史上の大変革期である16世紀から17世紀前半を取り上げ、テーマを設けて、日本の諸事情および朝鮮半島・中国大陆と日本との関係について考えていきます。

講義の内容・授業スケジュール

- (1) 京と江戸
- (2) 織田信長と室町幕府の滅亡
- (3) 豊臣秀吉と天下一統
- (4) 城
- (5) 中世後期の文化
- (6) 古文書
- (7) 徳川家康と江戸幕府
- (8) 環日本海と鎖国
- (9) 江戸の大店と長屋
- (10) 江戸の町人文化 など

成績評価の方法

出席日数を評価の参考とし、レポートを提出してもらいます。

教科書

随時プリントを配布します。

科目名	担当者名
日本事情Ⅳ〔思想〕	すが わら ひかる 菅原光

講義のねらい

近世から近代の時期を対象とし、通史的に日本思想を取り上げる。まずは儒学を中心とする伝統思想の基本的な枠組みを押さえてから、西洋思想との出会いの意味を検証し、その出会いによってどのような形で日本の思想が再構築されたかを学んでいきたい。

講義の内容・授業スケジュール

- 授業計画は以下のとおり。
1. ガイダンス
 2. 政治思想の古典としての儒教と基礎概念
 3. 徳川初期の思想と儒教
 4. 日本における朱子学批判
 5. 国学とナショナリズム
 6. 西洋の衝撃
 7. 明治思想
 8. まとめ
- 授業の最後に、簡単なレポートを実施することがある。

成績評価の方法

出席状況並びに、適宜実施するレポートの評価などにより総合的に評価する。

教科書

特に指定しない。

参考書等

授業時に適宜紹介する。

科目名

担当者名

日本事情Ⅴ〔社会〕

つばい 健

講義のねらい

この講義は、外国人留学生、日本人帰国子女学生等を対象に、日本社会の現状について理解を深めてもらうことを目的に実施します。具体的には、日本人の生活者の視点から、敗戦後の復興期、高度成長期などを経て現在に至る生活変動の概略をビデオ等で紹介し、その後、地域社会、学校教育、高齢社会の現実などを現地見学やビデオを使いながら、視覚的・体験的理解を目指します。

講義の内容・授業スケジュール

1. はじめに－講義の仕方と注意事項－
2. 戦後民衆の生活変動1－講義－
3. 戦後民衆の生活変動2－ビデオと討論－
4. 地域社会の実情1－講義－
5. 地域社会の実情2－見地見学またはビデオ視聴－
6. 地域社会の実情3－討議とまとめ－
7. 学校教育の実情1－講義－
8. 学校教育の実情2－見地見学またはビデオ視聴－
9. 学校教育の実情3－討議とまとめ－
10. 高齢社会の実情1－講義－
11. 高齢社会の実情2－見地見学またはビデオ視聴－
12. 高齢社会の実情3－討議とまとめ－
13. 日本社会事情－全体のまとめ－

履修上の留意点

この授業は、講義だけでなく、現地見学やビデオ機器などを利用して、体験的・視覚的理解を深めることを目的としています。従って、積極的に参加し、体験と感動を共有してもらい、楽しい授業になることを期待しています。現地見学は、なるべく近隣の施設を利用し、正規授業時間内に収まるよう工夫する予定です。他の授業時間に影響しないようにしますので、安心してください。

成績評価の方法

参加度（60%）＋課題レポート（40%）

教科書

特定の教科書は使用しない。適宜プリントを配布する。

参考書等

授業中に指示する。

その他

特に、英語や他の外国語での補足説明はしませんが、日本語能力に不足する学生にも十分配慮して進める予定です。講義内容は詳細なプリントで説明し、事例的内容はビデオや現地見学など視覚教材や体験学習を通して理解できるよう配慮する予定です。日本語能力に関係なく十分楽しめる授業になるはずで。

科目名	担当者名
日本事情Ⅵ〔政治・法律〕	三竹直哉

講義のねらい

日本の政治について知り、みんなで意見交換します。

講義の内容・
授業スケジュール

下記のようなトピックを考えていますが、参加者のみなさんの意見を聞いて決めます。

- ◎議会制民主主義
- ◎三権分立と二院制
- ◎天皇
- ◎選挙制度
- ◎政党と派閥
- ◎ナショナリズム
- ◎安全保障
- ◎マイノリティ

履修上の留意点

出席と授業参加を重視します。

成績評価の方法

平常点によります。ただし、出席が少ない人、発言が少ない人などには、期末テストを行う可能性があります。詳細は最初の授業で説明します。

教科書

指定する予定はありません。

その他

I speak English, but students are encouraged to communicate in Japanese.

科目名	担当者名
日本事情Ⅶ〔文学〕	かつ 原 晴 希

講義のねらい

本講義は、日本語を母語としない留学生を対象に、日本の文学作品の紹介を通じて、日本のことばと文化に対する理解を深めることを目標とする。

講義の内容・
授業スケジュール

日本の文学作品を読み進めながら、幅広く日本文化のあり方を考える。最初の回に、日本文学・日本文化のどういう点に興味や関心を持っているか、アンケートをとり、できる限り要望にこたえたい。人数にもよるが、各自がテーマを選定し、調査研究して発表するという形式をとることもある。

履修上の留意点

第一回目にオリエンテーションを行うので、必ず出席すること。

成績評価の方法

出席状況を特に重視し、またレポート・発表・授業態度によって総合的に評価する。

教科書

必要に応じてプリントを配布する。

参考書等

授業時に紹介する。

科目名	担当者名
日本事情Ⅷ〔文化・芸術〕	菅原光

講義のねらい

日本文化や日本人について、洋の東西も時代も問わず、様々な思想家が論じてきた。本講義では、代表的な日本文化論・日本人論を取り上げることで、日本がどのように語られてきたのかという形で日本文化についての知識を学んでいくと共に、日本とは何か？日本人とは何か？さらには、日本人論が消費されるのは何故か？そういった点にまで踏み込んで考えてみたい。

講義の内容・授業スケジュール

授業計画は以下のとおり。

1. ガイダンス
2. 日本人論とは何か？
3. 江戸以前の日本人論
4. 明治時代の日本人論
5. 戦間期の日本人論
6. 戦後の日本人論
7. まとめ

授業の最後に、簡単なレポートを実施することがある。

成績評価の方法

出席状況並びに、適宜実施するレポートの評価などにより総合的に評価する。

教科書

特に指定しない。

参考書等

授業時に適宜紹介する。

日本語
日本事情

科目名	担当者名
日本事情Ⅷ〔経済〕	小林正人

講義のねらい

第二次大戦後の日本の歴史について経済史の研究者により格好の書物が昨年出版されたので、これを教科書として使いながら、戦後の日本経済の歴史について講義する。講義の節目にいくつかのビデオ教材も提示し、日本社会の経済的側面について具体的な知識を提供する。受講生の日本語能力の向上にも役立つような講義にしたい。

講義の内容・授業スケジュール

教科書の中の、下記の主要項目にかかわる部分を取り上げて講義する。また関連するビデオを講義の節目に提示して、具体的な知識を提供したい。

1. 占領と経済民主化
2. 高度経済成長
3. ニクソン・ショックと石油ショック
4. バブル経済の発生と崩壊

履修上の留意点

教科書の中の、あらかじめ指定される部分をよく読んで受講すること。

成績評価の方法

出席状況、途中での教科書の音読(日本語能力)、期末のレポートにより総合的に評価する。

教科書

中村政則『戦後史』岩波新書、2005年(7月)

参考書等

授業中に紹介する。

その他

授業の途中または後での質問を歓迎します。

科目名**担当者名**

日本事情Ⅹ〔経営〕

はとり
羽鳥しげる
茂

講義のねらい

1980年代以降の日本経済の動向を振り返り、現状と課題を講義します。バブルの発生と崩壊、その後の長期停滞とデフレ脱却への試みなどが中心的なテーマとなります。

成績評価の方法

出席状況を特に重視するとともに課題レポートによって総合的に評価します。

教科書

教科書は使用せず、必要に応じてプリントを配布します。

参考書等

適時に紹介しますので、講義の理解とレポート作成に役立ててください。

その他

講義は日本語で行いますが、希望者があれば英語での対応も考えますので申し出てください。

〔日本語〕
〔日本事情〕

「日本事情」
「日本語」

V 随 意 科 目

随意科目

IV. 随 意 科 目

科 目 名	配当学科	開講区分	単位	担当者名	ページ
英語（海外演習）	全学科 1 年次～		2		483
フランス語（海外演習）	全学科 1 年次～		2		483
中国語（海外演習）	全学科 1 年次～		2		483
比較思想特講	法 A ・ 政治 2 年次～	通年	4	末木恭彦	484

随意科目

科目名

英語 (海外演習)

講義のねらい

この科目は本学の海外協定校であるクインズランド大学 (オーストラリア)、プリティッシュ・コロンビア大学 (カナダ)、エクセター大学 (イギリス)、カリフォルニア大学アーバイン校 (アメリカ) における短期留学英語セミナーでの4週間におよぶ現地での集中演習を中心としておこなわれる英語随意科目である。受講対象学生は学部・短大の1年次生から卒業年次生までとする。ただし、春季クインズランド大学 (オーストラリア) のセミナーに関しては、卒業年次生は除く。

成績評価の方法

現地演習後に四大学より受講生の成績・評価等が出される。受講生には単位の認定がなされる。

その他

受講希望者は、国際センターの短期留学英語セミナーに参加申込みをする。

科目名

フランス語 (海外演習)

講義のねらい

この科目は本学の海外協定校であるプロヴァンス大学 (フランス) における短期留学セミナーでの3週間におよぶ現地での集中演習を中心としておこなわれるフランス語随意科目である。受講対象学生は学部・短大の1年次生から3年次生までとする。

成績評価の方法

現地演習後にプロヴァンス大学より受講生の成績・評価等が出される。受講生には単位の認定がなされる。

その他

受講希望者は、国際センターの短期留学フランス語セミナーに参加申込みをする。

科目名

中国語 (海外演習)

講義のねらい

この科目は本学の海外協定校である華東師範大学 (中国) における短期留学セミナーでの4週間におよぶ現地での集中演習を中心としておこなわれる中国語随意科目である。受講対象学生は学部・短大の1年次生から卒業年次生までとする。

成績評価の方法

現地演習後に華東師範大学より受講生の成績・評価等が出される。受講生には単位の認定がなされる。

その他

受講希望者は、国際センターの短期留学中国語セミナーに参加申込みをする。

科目名

担当者名

比較思想特講

すえ き やす ひこ
末 木 恭 彦

講義のねらい

本科目は、宗教的視点の講義と哲学的視点の講義を隔年で開講している。今年度は、哲学的視点の講義である。
東洋と西洋の思索を対比比較しながら、考えるということ自体への認識を深める。

講義の内容・
授業スケジュール

比較思想は、近代の西欧に生まれた学問方法である。異なる文化圏の思想を比較対比して、「人が思う」ことの根源へ遡る。ところで、東洋にあっても、西洋の思想と自らの思想を対比して考えることは芽生えていた。その様な例の一つとして、中国の現代新儒家梁漱溟をあげることができる。彼の著『東西文化とその哲学』を講読し、東洋における比較思想の可能性を考えてみることにする。

履修上の留意点

一方的な講義を避け、ゼミ形式で行いたいと考えている。なお、『東西文化とその哲学』は日本語訳を用いる。

成績評価の方法

平常点を重視する。必要に応じてレポートを課す。

法律学科フレックスB

I 全 学 共 通 科 目

1. 宗 教 教 育 科 目

宗教教育

1. 宗教教育科目

科目名	配当学科	開講区分	単位	担当者名	ページ
仏教と人間	法B1必	通年	4	松本史朗	493
仏教と人間〔再クラス〕	法B2・3・4年				
仏教と人間	法B1必	通年	4	村松哲文	493
仏教と人間〔再クラス〕	法B2・3・4年				
仏教と人間〔再クラス〕	法B2・3・4年	通年	4	熊本英人	494
仏教と人間〔再クラス〕	法B2・3・4年	通年	4	程正	494
仏教と人間〔再クラス〕	法B2・3・4年	通年	4	四津谷孝道	495

宗教教育

科目名	担当者名
仏教と人間 仏教と人間〔再クラス〕	まつもと しろう 松本史朗

講義のねらい

本学の建学の理念である「仏教の教義と曹洞宗立宗の精神」を学生諸君に理解してもらうことが、この講義のねらいである。従って、仏教とは何か、それは人生において如何なる意味をもつのかを、分かりやすく説明したい。

講義の内容・
授業スケジュール

講義は、仏教成立以前のインド思想から始めて、仏教の開祖である釈尊の思想、さらに大乘仏教の教典の思想、及び、日本仏教の思想の説明へと進みたい。

成績評価の方法

年度末の試験によって、成績を評価する。

教科書

松本史朗『仏教への道』（東京書籍）1,400円

科目名	担当者名
仏教と人間 仏教と人間〔再クラス〕	むらまつ てつふみ 村松哲文

講義のねらい

東洋世界で生きている我々にとって、仏教は身近な宗教のはずである。ところが案外と知らないことが多いのではないだろうか。いうまでもなく駒澤大学は、仏教精神により建てられた大学である。本学に在籍していることも何かの縁であり、これを機会に仏教を知り、深遠な仏教世界を理解してもらいたい。本講義では、釈尊の生涯、仏教の伝播などについて考察し、宗教の存在意義や宗教と人間との関わりについて考えを深めてゆきたい。

講義の内容・
授業スケジュール

釈尊の生涯（1～3）、釈尊の教え（4～8）、経典の内容（9～12）、仏教的世界観（13～14）、大乘仏教と小乗仏教（15・16）中国の仏教受容（17）、中国仏教の展開（18）、日本の仏教受容（19）、日本仏教の展開（20）、仏教と仏画で見る仏教（21～30）

履修上の留意点

仏教が日常の社会・生活に如何に関わっているのか考えながら講義に臨むこと。

成績評価の方法

定期試験、レポート、授業態度、出席率などを総合的に評価する。

教科書

プリントを配布する。

参考書等

授業中に適宜紹介する。

科目名	担当者名
仏教と人間〔再クラス〕	くまもと えいじん 熊本英人

講義のねらい	仏教の教えと歴史を知ることによって、自分にとって宗教とは何かを考える。
講義の内容・授業スケジュール	<p>仏教に限らず、宗教は、社会の変容と相互関係をもって展開してきた。仏教の開祖ブツダの伝記や、日本における仏教の歴史や人物などを取り上げて、現代につながる話題として解説していく。</p> <p>日本人は、なぜ宗教に無関心なのか。実は、意識していないだけで、日常生活の中で宗教的要素に囲まれて生きている。仏教を学ぶことによって、宗教に対する無関心、無自覚が何を意味しているのかを考えてもらいたい。</p>
成績評価の方法	年度末の筆記試験。
教科書	適宜プリントで配布する。
参考書等	講義の中で随時紹介する。

科目名	担当者名
仏教と人間〔再クラス〕	ていせい 程 正

講義のねらい	この講義は、学生諸君に本学の建学の理念である「行学一如」を身をもって体得してもらうことをそのねらいとする。2500年と言われる長き歴史を有する仏教の思想や歴史などを学ぶことは、いうまでもなく、その「学」の一環である。こうした仏教に対する勉強を通して、宗教としての仏教とは何か、現代社会においていかなる意義をもつかを考えながら、自分自身を見つめ直し、自己の存在する意義を見出すことは、仏教の実践の重要な課題であり、まさしく「行」の具現なのである。そして、学び得たものを生かし、仏教的立場から現実の社会を考える視点を持つことが、「行学一如」の理念の具体化ということなのである。
講義の内容・授業スケジュール	<p>この講義においては、下記のテーマを順次に説明していきたい。</p> <p>宗教について・世界の三大宗教・ブツダの生涯・ブツダの悟りと教え・部派仏教の思想・大乘仏教思想の展開・仏教東漸(インドから中国へ)・中国仏教の展開・中国禪宗の成立と展開・日本への仏教伝来とその展開・道元禪の成立と展開・現代中国における仏教の諸相</p>
履修上の留意点	講義内容を必ずノートすること。出席点を評価に入れるので、欠席しないこと。
成績評価の方法	夏休みの課題レポート、期末テスト、出席点の三つを総合的に評価する。
教科書	プリント配布。
参考書等	適宜に紹介する。

宗教教育

科目名

担当者名

仏教と人間〔再クラス〕

よつや こう どう
四津谷 孝 道

講義のねらい

受講生諸君は、今後少なくとも4年間の大学生活において、様々な機会に仏教というものに接することとなるであろう。そのような機会のひとつであるこの授業において、「仏教と自分との接点を探る」という営みの端緒を見い出してもらいたい。

講義の内容・
授業スケジュール

この授業においては、下記のテーマについて、順を追って、できるだけわかりやすく解説を加えていきたい。

宗教としての仏教
仏教と科学
仏教と他の宗教
喩えで語る仏教（1）
喩えで語る仏教（2）
縁起・苦・無我
慈悲
輪廻と解脱（業について）
輪廻と解脱（差別思想について）
仏教以前のインドの宗教（歴史）
仏教以前のインドの宗教（思想）
仏陀の伝記（誕生から出家まで）
仏陀の伝記（悟りと伝道）
仏陀の伝記（涅槃）
部派仏教の歴史と思想
インド仏教（大乘仏教の歴史）
インド仏教（大乘仏教の思想）
チベット仏教（転生ラマについて）
チベット仏教（密教）
中国仏教（浄土思想）
中国仏教（禅仏教）
日本仏教（歴史）
日本仏教（思想）（1）
日本仏教（思想）（2）

履修上の留意点

特になし。

成績評価の方法

学年末の試験。

教科書

必要な資料等は、授業において随時配付する。

参考書等

授業において随時指示する。

宗教教育

宗教教育

2. 教養教育科目

授業時間表の区分「A」の科目を履修する場合は、
フレックスAの頁を参照してください。(→P. 23)

2. 教養教育科目

(1) 人文分野

科目名	配当学科	開講区分	単位	担当者名	ページ
宗教学〔比較宗教文化〕	法B・法A選	通年	4	田中かの子	501
文学〔日本文学「古典」〕	法B・法A選	通年	4	田中伸作	501
文学〔日本文学「近代」〕	法B・法A選	通年	4	中西亮太	502
歴史学(1)〔日本近代史〕	法B・法A選	通年	4	林彰	502
歴史学(2)〔中国史概観〕	法B・法A選	通年	4	小林惣八	503
歴史学(3)〔アジア史概観〕	法B・法A選	通年	4	小林惣八	503
哲学〔西洋思想の源流〕	法B・法A選	通年	4	滝沢正之	503
哲学〔近代の人間観と世界観〕	法B・法A選	通年	4	伊古田理	504
哲学〔現代文明と人間〕	法B・法A選	通年	4	鈴木聡	504
論理学〔科学方法論と現代論理学〕	法B・法A選	通年	4	伊古田理	505
論理学〔科学方法論と現代論理学〕	法B・法A選	通年	4	麻生享志	505
倫理学〔現代と倫理〕	法B選	通年	4	古田知章	506
倫理学〔人生と倫理〕	法B選	通年	4	末木恭彦	506
教育の思想	法B・法A 2選 12以降入学生／政治2選	半期	2	山本敏子	507
教育と社会	法B・法A 2選 12以降入学生／政治2選	半期	2	山本敏子	507
発達と学習の心理学	法B・法A 2選 12以降入学生／政治2選	半期	2	三國隆子	508
カリキュラムと学習	12以降入学生／法B・法A・政治2選	半期	2	三國隆子	508

(2) 社会分野

科目名	配当学科	開講区分	単位	担当者名	ページ
法学・憲法〔法と権利〕	法B・法A選	通年	4	鶏徳啓登	509
法学・憲法〔法と社会生活〕	法B・法A選	通年	4	長谷川日出世	509
社会科学論〔社会認識の思想〕	法B・法A選	通年	4	枝松正行	510
経済学〔現代経済と人間〕	法B・法A選	通年	4	沼田郷	511
社会学〔現代社会を考える〕	法B・法A選	通年	4	呉炳三	512
社会学〔現代文化を考える〕	法B・法A選	通年	4	橋爪敏	512
統計学〔社会現象の統計的決定〕	法B・法A選	通年	4	新行内康慈	513
文化人類学〔文化と人間〕	法B・法A選	通年	4	川上新二	513
文化人類学〔諸民族とコスモロジー〕	法B・法A選	通年	4	杉井純一	514
政治学〔政治システムと政治参加〕	法B・法A選	通年	4	真下英二	515
政治学〔国際社会と日本〕	法B・法A選	通年	4	山村恒雄	515

(3) 自然分野

科目名	配当学科	開講区分	単位	担当者名	ページ
心理学(1)〔ヒューマン・ウォッチング〕	法B・法A選	通年	4	鈴木順一	516
心理学(2)〔人間関係を考える〕	法B・法A選	通年	4	鈴木順一	517
生物学〔生態と進化〕	法B・法A選	通年	4	清水善和	518
生物学〔生物と環境〕	法B・法A選	通年	4	中村敏枝	519

コンピュータ基礎〔コンピュータと情報〕	法B選	半期	2	澤口隆	520
コンピュータ基礎〔コンピュータと情報〕	法B選	半期	2	塚本達也	520
地球科学〔地球の素顔と地球環境問題〕	法B・法A選	通年	4	加藤潔	521
自然環境論〔宇宙から見た地球環境〕	法B・法A選	通年	4	篠原正雄	522
自然環境論〔生命と環境〕	法B・法A選	通年	4	中村敏枝	523
情報数学〔情報と論理〕	法B・法A選	通年	4	小沢誠	524

科目名	担当者名
宗教学〔比較宗教文化〕	田中かの子

講義のねらい

人間には実に様々な生き方・見方・考え方・信じ方があり、「いのち」あるうちに為しうることに、限らない可能性があるということを、諸宗教の比較は教えてくれる。わたくしたち自身も、そのなかの、かけがえのない通りの人生を歩んでいる。「～教」や「～教徒」などという、他の人々と区別しうる特徴をもっているかのように錯覚してしまうが、言うまでもなく、信仰者としての彼らが目指すのは、より善い「人間」としてこの一生を全うすることにほかならない。各宗教が人間にどのような有り方を望んでいるのかを、その伝統的な生活文化をとおして俯瞰し、いま、この世界のどこかで生きている、いまだ出会うことのない人々への共感を呼び覚ましてみたい。それが、誤解や偏見のない「人間」理解に繋がれば幸いである。

講義の内容・授業スケジュール

講義担当者の生活体験をとまなう地域（インド・ヨーロッパ）を中心に、机上では知りえない、かならずしも教義一辺倒ではない信仰生活の多様性について解説する。

履修上の留意点

板書は、即興の覚え書きや、テーマの骨子を素描したものにすぎない。むしろ、講義の言葉や自分の考えに耳を傾けて、積極的にノートしよう。

成績評価の方法

出席状況、創意・文章力・工夫の楽しみ方を評価する夏休みのレポート、後期最終授業日に配布予定のガイダンスにもとづいて準備できる学年末試験。

教科書

拙著『比較宗教学—「いのち」の探究—』（北樹出版）2004年

参考書等

「いのち」の尊さや、異文化間の交流を扱ったもの（書物、映画など）なら何でも。

その他

予定外の試みや受講生の要望などによっては、プログラムを変更することもあります。

科目名	担当者名
文学〔日本文学「古典」〕	田中伸作

講義のねらい

軍記物語の代表として知られる『平家物語』は、平家一門をとりまく人々のドラマを実に生き生きと描き出している。その内容・叙述において『平家物語』は非常に中世らしい文学作品であると言えるだろう。この作品を読むことで、古典文学に親しみ、中世における文学のあり方を考えることを目的とする。
また、史実が文学に取り込まれたとき、どのような世界として描かれるのかという歴史文学としての側面も考察したい。

講義の内容・授業スケジュール

『平家物語』の代表的な句を読み、内容と特色を把握する。また、関連する史料を紹介し、時代背景や文化史的問題も追及する。

成績評価の方法

定期試験の成績による評価。出席状況も重視する。

教科書

『平家物語抄』（おうふう）

科目名

担当者名

文学〔日本文学〔近代〕〕

なかにしりょう
中西亮太

講義のねらい

この講義では、明治・大正・昭和の著名歌人の歌集を読み、論じていきます。その過程で、受講者が近代短歌への理解を深めることを目指します。五句三十一文字を基本型とする短歌は、明治以降、庶民がみずからの心やみずからの体験した出来事を表現する文学ジャンルとして親しまれました。また一方で、多くの歌人は、この短い定型詩を近代文学として屹立させるべく、新しい表現世界を切り開いてきました。その画面を、この講義では見ていきます。講義で取り上げる歌を一首紹介しておきます。「野に捨てた黒い手袋も起きあがり指指に黄な花咲かせだす」(斎藤史『魚歌』)

講義の内容・授業スケジュール

取り上げる歌集は、与謝野晶子『みだれ髪』、石川啄木『一握の砂』、北原白秋『桐の花』、斎藤茂吉『赤光』、前川佐美雄『植物祭』、斎藤史『魚歌』、塚本邦雄『水葬物語』、中城ふみ子『乳房喪失』等を予定しています。授業の流れとしては、前期で明治期と大正の前半、後期で大正の後半と昭和期を扱う予定です。

履修上の留意点

当然のことではあります。ただ出席するだけでなく、積極的な姿勢での受講を望みます。授業時間中や時間後の質問を歓迎します。

成績評価の方法

前期末と後期末に、試験を実施します。

教科書

高野公彦編『現代の短歌』（講談社学術文庫）
また、授業中、必要に応じて参考プリントを配付します。

参考書等

『短歌シリーズ・人と作品』（桜楓社）
このシリーズで、後世の研究者が書いた晶子・啄木・白秋・茂吉などの評伝や秀歌鑑賞文を読むことができます。

科目名

担当者名

歴史学（1）〔日本近代史〕

ほやし
林 彰

講義のねらい

幕末から明治・大正時代にかけての歴史的な流れを、思想・思潮を中心に政治社会の動向をふまえて概観していく予定である。西欧から輸入された近代思想が日本でどのように浸透し、知識人・民衆がどう受容し、在来の伝統的な思想といかに対立・錯綜・混在していくのか。それらを人物・ジャーナリズムなどを中心にみていきたい。

講義の内容・授業スケジュール

前期は、幕末から明治・大正・昭和前期の、いわゆる近代史の概説をこころみる。後期には、著名な人物を取り上げ、論じながら、具体的に日本近代史の歩みを、人物とともにたどることにより、よりいっそうの理解を深める。とくに、体制側の動向（政府ないしは体制側の思想と運動の流れ）と反体制側の運動や思想の動向に留意しながらみていきたい。

成績評価の方法

レポートと定期試験。

教科書

安在邦夫ほか『日本の近代—国家と民衆』（梓出版）2,000円

参考書等

講義中に指示する。

教養教育

科目名	担当者名
歴史学(2)〔中国史概観〕	小林惣八

講義のねらい

中国史の歩みを大別すると、黄河文明、殷周時代、秦漢時代、魏晉南北朝時代、隋唐時代、五代・宋時代、元・明・清時代、新生中国とに分けられる。本講義ではその歩みを多角的にとらえ通観するものである。

成績評価の方法

前・後期のレポート提出と定期試験による総合評価。
詳細は追って指示する。

教科書

特別定めないが、中国史の概説書や図表を座右に置いて聞くことを望む。

その他

出席を重視する。

科目名	担当者名
歴史学(3)〔アジア史概観〕	小林惣八

講義のねらい

ユーラシア大陸の歴史の歩みは、中国を中心に北アジア、中央アジア、西南アジア、東南アジア、インドが相互に影響しあいながら進展していく。本講義では、中国の歩みを多角的にとらえ、時に周辺諸民族の歩みにも触れながらこれらを通観するものである。

成績評価の方法

前・後期のレポート提出と定期試験による総合評価。
詳細は追って指示する。

教科書

特別定めないが、アジア史の概説書や図表を座右において聞くことを望む。

その他

出席を重視する。

科目名	担当者名
哲学〔西洋思想の源流〕	滝沢正之

講義のねらい

西洋哲学史を古代から中世にかけてを中心に紹介する。時間があれば、続けて近世から現代へと時代順に進んでいくことになる。

ただし、書店で手に入る哲学史の入門書のように、哲学者たちの思想をダイジェスト版で紹介することはしない。哲学者本人が書いたテキストそのもの(翻訳ではあるが)を実際に読んでいくことにしたい。もちろんすべてを精読するわけにはいかないの、諸著作の一部を抜き出して検討することになる。

本物の哲学者の本物の哲学書から、哲学的な思考とはどのようなものかを実感していきながら、と考えている。それと同時に、はるか昔の頭のよい人たちがどんな変なことを考えていたのかを楽しんでいきたい。

講義の内容・授業スケジュール

下に指定した教科書『原典による哲学の歴史』の原典の引用部分を丁寧に読み、解説していく。最初から順に読んでいく予定。適宜プリントで内容の補足を行う。

履修上の留意点

教科書を必ず入手しておくこと。

成績評価の方法

中間試験および期末試験により評価する。中間試験はレポートにする予定。期末試験は筆記。受講者の人数が少ない場合は出席をとり、それも評価に加味したい。

教科書

久保・河谷編『原典による哲学の歴史』(公論社)
授業中に適宜プリントを配布する予定。

参考書等

講義中に適宜指示する。

科目名**担当者名**

哲学〔近代の人間観と世界観〕

伊古田 理

講義のねらい

現代文明の形成にあたって中核をなした思想である、近代ヨーロッパ思想を紹介し、その問題点を探る。今年度は、特に「人間」について検討する。われわれ人間（特に、現代の人間）は、自分自身をどのように理解しているのか、その自己理解はどのような変遷をたどり、どのような意義と問題点をかかえているか、解説していく。

講義の内容・授業スケジュール

まず、ヨーロッパ思想の源流である古代ギリシャ哲学、キリスト教思想について、必要なおさえ、そのうえで近代以降の思想の発展を解説する、という方針をとる。

成績評価の方法

夏期中間試験と冬期定期試験の成績を素点とし、100点満点での素点に対する失点の一定割合を、夏期レポート課題によりリカバーする。

教科書

久保他編『原典による哲学の歴史』（公論社）

科目名**担当者名**

哲学〔現代文明と人間〕

鈴木 聡

講義のねらい

本講義では、現代哲学の重要問題を扱った素材を叩き台として、1つの問題をとことん考え抜くという態度を受講者が身につけるための機会を提供したい。

講義の内容・授業スケジュール

本講義では、以下の諸問題を取り上げる予定である。

1. 懐疑論
2. 他人の心
3. 心身問題
4. 言葉の意味
5. 自由意志
6. 正と不正
7. 正義
8. 死
9. 人生の意味

履修上の留意点

原則として欠席は認めない。必ず予習し、1回の講義につき少なくとも1回は質問すること。

成績評価の方法

成績は、出席状況・講義中の質問によって評価する。

教科書

開講時に指定する。

科目名	担当者名
論理学〔科学方法論と現代論理学〕	伊古田 理

講義のねらい	現代論理学の内容を、「ことばの正しさ」のうちで「推論の正しさ」のかたちづくる領域がどのようなものかを考えることにより、紹介してゆく。 具体的には、「推論の正しさ」の領域がどのようなメカニズムで機能しているかを習得することを第一の目標として、そのうえで（時間の許すかぎり）こうした領域の位置づけについて論ずることにしたい。
講義の内容・授業スケジュール	(1) 古典的三段論法 (2) 公理系Ⅰ～命題論理 (3) 公理系Ⅱ～述語論理 (4) コンピュータと論理
成績評価の方法	年2回の試験（夏期中間試験+年度末定期試験）を実施し、それとは別に各学期にそれぞれレポート課題を出す。 詳細については、授業開始時のガイダンスの際に説明する。
教科書	野矢茂樹著『論理学』（東京大学出版会）

科目名	担当者名
論理学〔科学方法論と現代論理学〕	あさ お たか し 麻 生 享 志

講義のねらい	西洋哲学の中で、論理学は常に大きな位置をしめてきた。論理とは何か、正しさをどう説明すればよいか、真理をどのようなものかと考えるか、といった問題の考察に、「論理学」は欠かせない。このような「論理の本性への考察」には、古代ギリシャの哲学者、アリストテレスの論理学を知る必要がある。彼の論理学には、当時の学問がおかれた状況が強い影響を与えていたと考えられる。その後、自然科学の発達によって学問状況は変化した。その変化に対応する形で論理学の変革も試みられた。さらに、二十世紀に入って、数学研究と論理学研究の交流・接触が考えられるようになる。このように論理学は変化の歴史を持つ。そこで(1) 論理とは何かを考え、(2) 変化する論理学の各内容についての知識を持ち、(3) 日常生活における論理の活用について、自分で考えることの手引きを与えることをねらいとします。
講義の内容・授業スケジュール	論理の本性、真理論、論理パズルとパラドックス、アリストテレス論理学、帰納法論理、実験主義論理学、論理学方法論、記号論理学概観、日常生活における正しい推論、学問と論理などの話題を考えています。
履修上の留意点	大学という学問の場においては、講義内容を聞いて理解し、練習問題をこなし、内容を記憶するだけでは、十分ではありません。自分で検討し、疑い、考えることが絶対に必要であると考えます。そのために、自分で本を読んだり、調べたりという作業が加わるでしょう。意欲ある取り組みと、徹底的に自分の頭で考える姿勢を求めます。
成績評価の方法	平常点として、出席と、講義中に行う問題や論述を主な評価材料（60%）にし、前期・後期試験・夏休みのレポート成績を加味します。
教科書	なし。
参考書等	多数。講義内にて詳細に説明します。
その他	講義と問題演習（ないし論述筆記）。早退は、許可のない限り認めません。主体的な質問を大いに歓迎し、期待します。初日はガイダンスとし、定時から五分間程度、または正規の終了時刻前五分間に資料を配布して質問を受け付けます。（ガイダンス後は、雑談的内容にあてる予定です。この間、入退出自由。）この時配布する資料は、履修に必要ですので、何らかの方法で必ず入手するようにして下さい。

教養教育

科目名

担当者名

倫理学〔現代と倫理〕

ふる た とも あき
古 田 知 章

講義のねらい

今日、多くの領域で、倫理の確立、再構築が求められている。これは、言い換えると、様々な技術や科学が発達した現代において、それらに向きあう我々自身の方向性が分からなくなっていることの現れである。そして、このような状況のもと、我々は、ひとつの人格をもつ個人として、自らの倫理観を模索していかなければならない。しかし、倫理とは何かを考えると、個々の領域、場面での「正しさ」の中身を検討すると同時に、その際の倫理的主体となるべき「自己」のあり方が知られなければならない。逆に言うと、この生きている自分が外的世界や他者と結んでいる関係、あるいは、自分が自分自身について考えることの意味などを明確にすることで、現代社会に生きる我々の向かうべき方向も見えてくる。この見通しの上に立って、現代における倫理的なあり方を検討していく。

講義の内容・授業スケジュール

教科書を利用し、以下の内容を取り上げる（各項目ごとに、2～4回の講義）。倫理的原理についての検討

1. 倫理学における問題の所在 — 倫理的であること—
 2. 古代ギリシアにおける様々な倫理思想
 3. 中世における宗教的倫理観
 4. ルネサンスと宗教改革 — 個としての人間—
- I. 倫理的原理についての検討（前期の続き）
 近・現代における倫理思想 — 主体性と自由の問題—
- II. 応用倫理学の諸問題への基礎的な検討
1. 生命の尊厳と人生の質
 2. 人間と環境との関係
 3. 情報と倫理

成績評価の方法

二回の定期試験（中間試験、年度末試験）と平常点（出席状況、夏期レポート等）で評価する。

教科書

『原典による哲学の歴史』（公論社）

参考書等

講義の際にその都度紹介する。

科目名

担当者名

倫理学〔人生と倫理〕

すえ き やす ひこ
末 木 恭 彦

講義のねらい

倫理学は、人の行為の規範を考える学問である。人が生きる上に指針を提供する。本科目を通じて、倫理学への基礎的理解を獲得し、自分の生き方を考える手がかりとすることを旨とする。

講義の内容・授業スケジュール

授業の最初に、倫理とは何か、倫理学とは何か確認する。その後、今年度は環境と倫理の問題について考察を行う。環境問題は現在の世界の大きな課題となっている。しかし、環境の問題は既に古代から取り挙げられて来ていた。特に、古代中国のいくつかの学派の議論を取挙げて講義をする。古代中国の環境をめぐる思索を顧みて、そこから現代の環境をめぐる倫理に知恵を汲み上げたい。

履修上の留意点

ノートはしっかりと取る。

成績評価の方法

各学期末の試験と、夏期休暇のレポートにより評価する。

教科書

浅野裕一『古代中国の文明観』（岩波新書）

科目名	担当者名
教育の思想	やまもととしこ 山本敏子

講義のねらい

今日の学校教育が抱える様々な矛盾を解決していくための方向性を探ることを目指して、日本の公教育制度に影響を及ぼした西洋近代の教育思想への理解を深めるとともに、それが成立する以前に日本列島各地に息づいていた民衆教育思想を学んでいきます。

講義の内容・授業スケジュール

概略は以下の通りですが、授業のすすめ方や詳しいスケジュールについては初回に具体的な案を提示して、受講者の皆さんと相談の上、決めます。

- ・日本の基層文化に流れる教育の思想
- ・近世の表層文化に現れた教育の思想
- ・西洋近代教育思想の二つの大きな流れ

成績評価の方法

出席状況、学期末レポートなどの総合評価。

教科書

教科書については初回の授業で指示します。また、必要に応じて資料を配布する予定です。

その他

この科目は、教職課程の必修科目です。教職課程・社会教育主事講座・博物館学講座のいずれかに登録していない学生の履修人数を制限する場合があります。1回目の授業に必ず出席し、担当者の指示に従ってください。

科目名	担当者名
教育と社会	やまもととしこ 山本敏子

講義のねらい

近代社会の教育は、全生活領域にわたる経営体としての家共同体の解体および近代国民国家の形成と深く関わっています。近代学校成立以前の社会における多様な教育システムを家共同体との関わりで考察することにより、近代学校システムの特質や問題点を明らかにするとともに、これからの教育のあり方を模索していきます。

講義の内容・授業スケジュール

様々な教育問題や近年の教育改革の動向にも触れながら、次のような柱立てで進めていく予定です。

- ・「家」が未成立の社会と教育システム
- ・「家」社会の形成と教育システム
- ・「家」の解体と近代学校システムの稼働

成績評価の方法

出席状況、学期末レポートなどの総合評価。

教科書

教科書は用いず、必要に応じて資料を配布します。

参考書等

適宜紹介します。

その他

この科目は、教職課程の必修科目です。教職課程・社会教育主事講座・博物館学講座のいずれかに登録していない学生の履修人数を制限する場合があります。1回目の授業に必ず出席し、担当者の指示に従ってください。

科目名**担当者名****発達と学習の心理学**

三 國 隆 子

講義のねらい

- ・子どもから大人へ。人の発達過程について概観する。
- ・発達や個に応じた学習や教育について学ぶ。
- ・以上を踏まえ、学校現場で行われる教育や指導のあり方について学ぶ。

講義の内容・授業スケジュール

- ・発達とは何か
- ・発達の特徴と発達理論
- ・発達観の変遷と教育
- ・学習とは何か
- ・学習と評価
- ・意欲と学習（１）動機づけ理論
- ・意欲と学習（２）自己効力感

成績評価の方法

- ・毎回の授業でその授業内容についての小テストや課題を提出してもらう。
- ・学期末にレポート試験を行う。
- ・小テストや課題の提出状況と学期末レポートを総合して評価を行う。

教科書

教科書、参考資料等は、授業中に配布する。

その他

この科目は、教職課程の必修科目です。教職課程・社会教育主事講座・博物館学講座のいずれかに登録していない学生の履修人数を制限する場合があります。1回目の授業に必ず出席し、担当者の指示に従ってください。

科目名**担当者名****カリキュラムと学習**

三 國 隆 子

講義のねらい

- ・学習指導要領から読み取れる、日本の教育課程を理解する。
- ・カリキュラムと学習の効果について学ぶ。
- ・学校現場で行われているカリキュラムの実際と課題について理解する。

講義の内容・授業スケジュール

- ・我が国の教育課程
- ・学習指導要領の変遷
- ・教授と学習の効果
- ・カリキュラムと学習の効果
- ・学校教育（１）教育制度・カリキュラムの実際について
- ・学校教育（２）教育評価・今後の課題について

成績評価の方法

- ・毎回の授業でその授業内容についての小テストや課題を提出してもらう。
- ・学期末にレポート試験を行う。
- ・小テストや課題の提出状況と学期末レポートを総合して評価を行う。

教科書

教科書、参考資料等は、授業中に配布する。

科目名

担当者名

法学・憲法〔法と権利〕

鶏徳啓登

講義のねらい

人間は社会の中で生まれ、他の人と利害を対立しながら社会生活を営むものである以上、そこには相互の利害を調整し、紛争を解決するためのルール（規範）が必要である。「社会あるところ法あり。」（法諺）といわれるのはそれを如実に示すものである。この授業では、法の概論と基礎的な実定法上の権利・義務との二つに分けて、「法」とそこに認められる「権利」を講義する。

講義の内容・授業スケジュール

1. 法の概論は次の内容を中心として行う。
 - (1) 法の意義 (2) 法発生の背景 (3) 法とその近辺の社会規範 (4) 法の種別と解釈 (5) 法の適用
2. 実定法上の権利・義務の講義は次の内容を中心として行う。
 - (1) 民法上の権利－権利の主体と客体、権利能力・行為能力、権利の種類と内容（財産法上の権利、親族法上の権利、相続法上の権利）、権利の発生・消滅。
 - (2) 憲法上の権利－自由権（経済的自由権、精神的自由権、身体的自由権）、平等権、社会権（生存権、教育権、勤労権、労働者の権利）、参政権（選挙権、被選挙権）、受益権（請願権、国家賠償請求権、裁判を受ける権利、刑事補償請求権）。
 - (3) 国家・地方公共団体の権利－国家作用と三権分立制の意義・統治機構、立法権と立法機関、行政権と行政機関、司法権と司法機関、地方公共団体の自治権と住民の権利。

成績評価の方法

出席状況と試験。

教科書

小林弘人・松村格編著『法学・憲法』（八千代出版）3,500円

参考書等

『小六法』または『ポケット型小六法』（出版社・定価各種類）、その他参考書等については教場にて説明。

科目名

担当者名

法学・憲法〔法と社会生活〕

長谷川 日出世

講義のねらい

我々は、好むと好まざるとにかかわらず、法と密接なかかわりのある生活を強いられている。しかしながら多くの場合、我々はこの事実を知らず、何等かの法的問題が発生した時に初めて、これに気付く。

本講義では、まず、社会生活を営む上で不可欠な、社会規範としての法の生成およびその性質についての分析をおこなう。そして、次に、そこで得られた法概念を基礎に、国家の基本法である憲法と我々のかかわりあいを検討する。

講義の内容・授業スケジュール

前期では、法を学ぶために必要な基礎的知識の修得を目指す。具体的には法と道德の関係、法と強制、法の体系性、国家と法、実定法上の原則等。
後期は、日本国憲法を具体的に検討する。特に日本国憲法の基本原理の成り立ち、基本的人権の保障規定等についての検討。

成績評価の方法

定期試験によるものとする。

教科書

長谷川日出世著『法の基礎概念と憲法』（成文堂）

参考書等

『ポケット六法』（有斐閣）

教養教育

講義のねらい

社会科学には自然科学や人文科学とは独自の対象把握の方法や体系がある。社会現象を形成する個々の人間は、生産的労働を中心とする活動の担い手としてつねに目的意識的な社会活動を行う能動的主体であるにもかかわらず、総体としての社会現象は、市場メカニズムに象徴されるように人間の意識を超えた物理現象の如き客観的な運動法則に従っている。しかもそれは連続的であると同時に、飛躍や発展を伴う固有の歴史法則でもある。グローバルトリレンマに直面した現代世界は過去に例を見ない大転換期であるが、社会科学こそは歴史科学であると同時に未来科学なのであり、社会の変化・生成・発展法則の先見とリスクの回避には大きな責任がある。

講義ではマルクス経済学、ヴェーバー社会学、ドラッカー経営学などに学びつつ、現代の社会経済システムの転換メカニズムを解明し、オルタナティブな持続可能社会への移行を展望する。

講義の内容・授業スケジュール

上記のような社会科学的視座を基礎として、これらを現代社会に適用し、同時多発テロ以降の世界情勢や日本「構造改革」の歴史的性格を解明するとともに「循環型・男女共同参画社会」への現実的転換を加速しうる実践的な政策・管理科学についても明らかにしていく。

履修上の留意点

日々の経済・社会報道に関心を注ぎ、たえず生の現実素材をとりいれておくこと。

成績評価の方法

前・後期の中間試験ないしレポートと平常点により評価する。

教科書

とくに指定しないが、参考文献はその都度紹介する。

参考書等

大塚久雄著『社会科学の方法』（岩波新書）など。

その他

毎回授業の冒頭でカードによる前回授業時の学生諸君の質問・意見・要望を紹介し、出来るだけ授業内容に反映させていく。個別の質問・相談は授業終了時に対応する。

科 目 名**担 当 者 名****経済学〔現代経済と人間〕**ぬま 沼
た 田
むら 郷**講義のねらい**

現代経済に人間がどのように関わっているのか、またどのような状況におかれているのかをわかりやすく講義したいと考えています。現代経済を読み解くキーワードを理解することが目標となります。

**講義の内容・
授業スケジュール**

・世界経済に関する理論・今日の地球環境・世界の経済格差・大量消費社会の実態・世界の貿易と投資・物質的繁栄の代償・成長するアジアと停滞するアフリカ・環境問題・経済成長と石油資源・開発論の検討・世界の貿易と投資・ODA とは何か・地球環境と資源・環境への取り組み・世界経済と多国籍企業

さしあたり、以上のような項目を準備しています。これ以外にも受講者の意見を取り入れながら随時項目を追加する予定です。また、ビデオなど映像資料を用いることも検討しています。

履修上の留意点

現代経済は非常にめまぐるしく変化しています。特に「グローバルイゼーション」は、程度の差こそあれ我々人間に大きな影響を与えています。こうした今日的な問題を扱うため、受講生には日々のニュースに関心をもってもらうことが、本講義履修の留意点になります。

成績評価の方法

成績は平常評価で行います。学期末の試験は受講生の強い要望がない限り行いません。したがって、講義終了時に小論を書いてもらい、それを評価します。また、レポートの作成を求めます（年間で1、2回）。

教 科 書

本講義の性質上教科書は指定しません。しかしながら、参考資料に関しては講義の中で随時お知らせいたします。

そ の 他

授業方法は履修人数にもよりますが講義形式で行います。パワーポイントでの授業を基本としますが、必要に応じて資料等の配布も行います。

科目名**担当者名**

社会学〔現代社会を考える〕

お 吳 びよん さん 炳 三**講義のねらい**

社会学は人間が引き起こす様々な社会現象を分析する学問でもある。その分野は、「家族」「恋愛」「教育」「文化」「政治」「法律」「犯罪」「経済」などにまたがっている。このような分野において特徴的であるといえる諸問題は何かを理解すること。

また、これらの諸問題を解決するためのより広い視点から現代社会を展望する視点を養ってもらうことが本講義のねらいである。

講義の内容・授業スケジュール

(前期) 社会学の基礎概念：

- I 行為論：(1) 社会学における行為、(2) 行為者としての個人、(3) 日本の行為論
II 集団論：(1) 集団の概念、(2) 官僚制理論、(3) 小集団論、(4) 集団の類型、
(5) 日本の集団論

(後期) 現代社会の特徴的な諸相について：

- (1) 家族集団、(2) 恋愛、(3) 結婚、(4) 若者文化、IT文化、(5) 少年犯罪、(6) ジェンダー、(7) 少子・高齢、(8) アダルトチルドレン、摂食障害、(9) 就職、転職、リストラ、(10) フリーター、ニート、引きこもり、(11) 性同一性障害など

以上の内容を講義の予定としているが、受講生の要望も取り入れながら講義を進めているため、講義内容について変更することもある。

履修上の留意点

この講義は、教員の一方的な講義ではなく、受講生とともに調べ、その結果を考えた上、その答えを導く方向で講義を進めていくために、授業への積極的な取り組みが望まれる。それから、毎回辞書を持参すること。また、宿題を出すので、宿題が出来る学生の受講を勧める。

成績評価の方法

出席状況と前・後期末に行う筆記試験の結果から総合的に評価する。

教科書

開講時に説明する。

参考書等

講義中に、その都度紹介する。

科目名**担当者名**

社会学〔現代文化を考える〕

はし 橋 つめ さん 爪 敏**講義のねらい**

この講義は、「社会学」についての基本的な知識を提供し、あわせて、「現代社会」についての若干の問題を論ずることを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

「講義のねらい」で述べたように、この講義は「社会学」の知識と、「社会学」の見方を通して「現代社会」の問題を扱うことになる。しかし、ほとんどの学生諸君は「社会学」についての予備知識は無いものと思われる。「社会学」は高等学校までの社会科とはかなり異なっている。そこで、まず、前期においてこのような社会学独自の社会現象の見方、考え方、基礎的な知識を理解し、後期に、こうした理解を踏まえて、「現代社会」の諸問題-文化とは何か、現代文化とは何か、大衆文化等-を扱うことにしたい。

成績評価の方法

成績の評価は、講義内容に関わる基本的な問題について、学年末におこなうペーパー・テストによって評価する。

教科書

安藤喜久雄ほか編『社会学概論』(学文社)

参考書等

高尾・橋爪編『社会学の基礎』(犀書房)
R. ニスベット『現代社会学入門1~4』(講談社学術文庫)
その他授業中に適宜指示したい。

科目名

統計学〔社会現象の統計的決定〕

担当者名
新行内 康 慈**講義のねらい**

統計学は、観測値からその源泉の特徴や傾向を明らかにして結論を引き出す方法であり、経営、経済をはじめとする社会現象の解析や意思決定など幅広い分野で活用されています。本講義は、統計学の入門としてその基本的な考え方や諸手法を現実の問題を引用しながら平易に解説することをねらいとしています。

講義の内容・授業スケジュール

- (前期) (1) 統計学の概要 (2) 度数分布表とヒストグラム (3) 基本統計量
(4) 確率の定義 (5) 場合の数 (6) 和事象・積事象の確率
(7) 演習 (8) 確率変数と確率分布 (9) 平均・分散と期待値
(10) 確率変数の標準化 (11) 正規分布表問題 (12) 演習 (13) まとめ
- (後期) (14) 母集団と標本 (15) 点推定と区間推定
(16) 正規母集団の区間推定 (17) 仮説検定 (18) 母平均・母分散の検点
(19) 母平均の差の推定・検定 (20) 母比率の推定・検定
(21) その他の推定・検定 (22) 演習 (23) 散布図と相関係数
(24) 回帰分析 (25) 回帰分析の応用 (26) まとめ

履修上の留意点

統計学は積み重ねが要求される分野です。継続して講義に出席し、一步一步確実に理解していくことが大切です。

成績評価の方法

3回の演習と期末試験を総合的に評価します。

教科書

テキストは使用しません。必要に応じて適時資料を配布します。

参考書等

石村貞夫『すぐわかる統計解析』（東京図書）
前野昌弘・三國彰『図解でわかる統計解析』（日本実業出版）
永田靖『入門 統計解析法』（日科技連出版）
東京大学教養学部統計学教室『統計学入門』（東京大学出版）

その他

配布資料に基づいて例題を交えて講義し、さらに理解を深めて実際に活用できるようにするために課題演習を実施します。

科目名

文化人類学〔文化と人間〕

担当者名
川 上 新 二**講義のねらい**

文化人類学は、世界各地の人々がつさまざまな文化の考察を通じて、人間とは何かを考える学問です。ここでいう文化とは私たちが伝統的に受け継いできた生活習慣をいいますが、生活習慣は各地域や民族で異なります。自分たちの生活習慣が標準的なものであり、それと異なるものは「異常なもの」「変なもの」と見てしまうと、私たちを含む人間というものを総合的にとらえることができなくなってしまいます。この講義では、世界のさまざまな文化を客観的に見る視座を養うことを目指します。

講義の内容・授業スケジュール

前期は、文化人類学の概要について紹介します。①文化人類学の立場と内容、②文化とは何か、③文化の性質、④異文化と自文化などについて講義します。
後期は、文化の理解の具体例として、日本、韓国・朝鮮、中国の諸文化をとりあげて考察します。特に①婚姻、②家族、③親族などをとりあげ、各文化の共通性と特殊性について考察します。

履修上の留意点

やむを得ない事情で欠席する（欠席した）場合は、欠席届（形式は任意）を提出してください。

成績評価の方法

年度末試験、小レポート、出席状況などを総合して評価します。

教科書

教科書は用いません。

講義のねらい

さまざまな民族が絶えず各地を移動する現代世界では、私たちは「異質な他者」との出会いを日常的に経験します。こうした多民族社会に生きる私たちは以前にもましてコミュニケーションの困難に直面します。お互いが先入観や偏見にとらわれず、十分な意志疎通を図るためには、相互の民族的、文化的背景への理解が前提となります。

文化人類学は民族や文化の多様性を比較することで、それぞれの文化的相違についての認識を深める学問です。具体的に言えば、人々の生活様式や儀礼、習慣などを通して「人間を取りまく世界、宇宙の成りたちやしくみ」についての多様な観念体系を理解していきます。

本講義では、前期に文化人類学の基礎、後期に民族とコスモロジーを学びます。まず、「異文化を理解する」ことの面白さ、そして、むずかしさを味わいながら、「異質なものとの共存」「他者との共生」の可能性について考えていくことが本講義の目的です。

講義の内容・授業スケジュール

I 文化人類学の基礎

1. 文化人類学とは何か
2. 文化人類学の歩み (1)
3. 文化人類学の歩み (2)
4. 文化とコミュニケーション
5. 環境と人間 (1) 狩猟採集民
6. 環境と人間 (2) 牧畜民
7. 環境と人間 (3) 農耕民
8. ジェンダー
9. セクシュアリティ
10. 婚姻の形態
11. 家族の多様性
12. 親族と社会

II 民族とコスモロジー

1. 呪術と宗教
2. アニミズム
3. シャーマニズム
4. シンクレティズム
5. 儀礼の構造
6. コスモロジー
7. 神話
8. 政治組織
9. 民族とエスニシティ
10. 民族紛争と戦争
11. 開発と文化
12. 移動の民族誌

履修上の留意点

ビデオを見た感想を問うことがあります。

成績評価の方法

夏期レポート (20%)、期末試験 (60%)、平常点 (20%) で評価します。

教科書

特に指定しません。適宜、プリントを配布します。

参考書等

祖父江孝男『文化人類学入門』(中公新書) 800円
 山下晋司ほか『文化人類学キーワード』(有斐閣) 1,700円
 佐々木宏幹・村武精一編『宗教人類学』(新曜社) 2,200円

その他

できるだけ、ビデオを利用します (年に4~5回程度)。

科目名	担当者名
政治学〔政治システムと政治参加〕	眞下英二

講義のねらい

そもそも政治とは何か、何のために存在しているのか？政治学の基本的な知識を身につけることにより、社会における政治の役割とわれわれの生活との関わり合いについて考察していく。とりわけ、現代民主主義における参加の問題についても検討を加えていく。

講義の内容・授業スケジュール

春学期：政治学の基本的な概念を中心に検討していく。特に、民主主義に関する問題は、時間をかけて行っていく。
秋学期：より現代的な問題を取り上げながら、現代社会の民主主義の問題について検討を行う。特に、政治システムと政治参加について、より詳細に検討していく予定である。

履修上の留意点

この講義においては、他の履修者の迷惑となるような行為は一切禁止する。当然のことながら、私語は厳禁である。
また、政治学や社会科学全般に関する知識は、必ずしも必要としないが、最低限、社会的な諸問題についての知識を持っていることが期待される。

成績評価の方法

成績評価は、原則的に期末試験の得点のみによって行う。ただし、必要な場合にはレポートを課すこともある。詳細については、講義中に指示する。

教科書

特に指定しない。

参考書等

加藤秀治郎他『政治学の基礎』（一藝社）2002年
加藤秀治郎・中村昭雄『新版スタンダード政治学』（声書房）1999年
他は追って指示する。

科目名	担当者名
政治学〔国際社会と日本〕	山村恒雄

講義のねらい

「法学」や「経済学」とは違い、「政治学」に対して抱くイメージは、人によってかなり異なるようである。この授業は副題にある通り「国際社会」のなかで日本が直面するさまざまな課題を取り上げ、それを素材として「政治を見る眼」を養うことを目的とする。具体的には、近代国際社会成立以降第二次世界大戦終了後に至るまでの国際政治の主な出来事を解説し、それを基にして現在生じている時事問題を考える素材を提供しようとするものである。したがって、授業は時事問題の解説が目的ではなく、受講生のひとりひとりが、政治問題に対して自分の意見を形成できるよう、「分析の道具」を提供しようとするものである。

講義の内容・授業スケジュール

時事問題を素材として用いるため、具体的な問題を予め示すことはできないが、分析のための基本的な知識として、以下の項目を取り上げる。

- 1 ウェストファリア体制の形成
- 2 近代の国際政治
- 3 地球的問題群
- 4 第二次世界大戦後の国際政治の変容
- 5 冷戦と核兵器
- 6 食糧問題
- 7 環境破壊と持続可能な開発
- 8 日本が直面する諸問題

履修上の留意点

受け身ではなく、積極的に授業に参加できる意欲のある人を歓迎します。

成績評価の方法

夏休み明けのレポートと学期末試験による。なお、夏休み明けのレポートを提出しない者は、学期末試験の受験資格を失うので注意すること。

教科書

特定の教科書は使用しない。

参考書等

授業中、随時指定。

教養教育

講義のねらい

講義形式だけの授業形態は、学習者を受身のバケツ的学び方にしてしまう。学問とは、問い学ぶと書くように、講師が一方的に降り注ぐ知識を、頭に詰め込むことに強いて勉める(勉強すること)ではない。科学は、不思議な現象に対して、疑問を持ち、仮説を立て、仮説の基にサーチライトをあて、検証(反証)し、新たな仮説構成や発見をしていくプロセスである。

学習というと、教科書に書かれた知識を理解していくことだと考えられがちだが、行動主義的学習理論によると、「学習とは、経験を通じて行動変容していくプロセスである」と定義している。言語という道具を操る能力を持った人間は、概念学習ができるようになり、遺伝子の他に「遺言子」とでも呼べる知識を残し、それを世代間で、伝達・組み換え・改良していくことで文明を築き、他の生物とは異なる進化の道を歩みだすようになった。

しかし、経験から学ぶプロセスと、遊離してしまった知識だけの学習は、生きるための知恵として効果的に機能できない。頭だけが参加する聴講学習は、体験学習に伴う自発性や能動性、発見から得られるモチベーションが得られない。この授業では、講義だけではなく、グループによる体験学習を取り入れて、学生相互のコミュニケーションを深め、自己理解と他者理解を促進します。ヒューマン・ウォッチング(人間観察)の対象は、他者の行動ばかりではない。自己の内面の動きや行動を観察することでも、深い人間理解が得られるのである。

講義の内容・
授業スケジュール

学習計画は、進行状況により変更することがあります。

- [前期] (1) 学習とは? 授業方針 (2) 心とは何か (3) 性格検査による自己理解
(4) パーソナリティ理論 (5) 精神分析の人格理論 (6) グループ形成とエンカウンター (8) コミュニケーションの促進 (8) 感覚・知覚・認知
(9) 自己認知 (10~11) カウンセリングの理論と技法 (11~12) 発達心理学
[後期] (13) 心の病と心理療法 (14) 交流分析による自己理解 (15) 自他肯定の人間関係 (16~17) 学習理論と行動療法 (18) relaxation 法 (19~22) 社会的行動

履修上の留意点

単独・聴講学習ではなく、グループによる協同学習・相互学習・体験学習ですので、毎回、グループごとに自筆で出席を取ります。欠席しがちな人は履修しないでください。

成績評価の方法

出席点と平常の小試験・小レポート・グループ発表などで、個人とグループを、それぞれ50点満点で評価し合計します。

教科書

中村昭之編著『心理学概説』(八千代出版)

講義のねらい

講義形式だけの授業形態は、学習者を受身のバケツの学び方にしてしまう。学問とは、問い学ぶと書くように、講師が一方的に降り注ぐ知識を、頭に詰め込むことに強いて勉める（勉強する）ことではない。科学は、不思議な現象に対して、疑問を持ち、仮説を立て、仮説の基にサーチライトをあて、検証（反証）し、新たな仮説構成や発見をしていくプロセスである。

学習というと、教科書に書かれた知識を理解していくことだと考えられがちだが、行動主義的学習理論によると、「学習とは、経験を通じて行動変容していくプロセスである」と定義している。言語という道具を操る能力を持った人間は、概念学習ができるようになり、遺伝子その他に「遺言子」とでも呼べる知識を残し、それを世代間で、伝達・組み換え・改良していくことで文明を築き、他の生物とは異なる進化の道を歩みだすようになった。

しかし、経験から学ぶプロセスと、遊離してしまった知識だけの学習は、生きるための知恵として効果的に機能できない。頭だけが参加する聴講学習は、体験学習に伴う自発性や能動性、発見から得られるモチベーションが得られない。この授業では、講義だけではなく、グループによる体験学習を取り入れて、学生相互のコミュニケーションを深め、自己理解と他者理解を促進します。心理学の人間理解の仮説の基に、自分自身や他者を見つめなおし、よりよい人間関係を築くために役立つ道具（理論と技法）を体験的に学んでいきます。

講義の内容・授業スケジュール

学習計画は、進行状況により変更することがあります。

- [前期] (1) 学習とは？ 授業方針 (2) 心とは何か (3) 性格検査による自己理解
(4) パーソナリティ理論 (5) 精神分析的人格理論 (6) グループ形成とエンカウンター (8) コミュニケーションの促進 (8) 対人関係の心理
(9～10) カウンセリングの理論と技法 (11) 生涯発達の心理 (12) 親子関係の心理
- [後期] (13) 青年の心理 (14) 交流分析による自己理解 (15) 自他肯定の人間関係
(16～17) 学習理論と行動療法 (18) relaxation法 (19) 職場の人間関係
(20) 恋愛と結婚の心理 (21) 流行とマス・コミュニケーション (22) 社会病理と犯罪

履修上の留意点

単独・聴講学習ではなく、グループによる協学習習・相互学習・体験学習ですので、毎回、グループごとに自筆で出席を取ります。欠席しがちな人は履修しないでください。

成績評価の方法

出席点と平常の小試験・小レポート・グループ発表などで、個人とグループを、それぞれ50点満点で評価し合計します。

教科書

蓮見将敏・小山望編著『人間関係の心理学―体験をとおして学ぶ心理学―』（福村出版）

講義のねらい

地球上の生物はすべて約40億年前に誕生した始原生物に端を発し、その後に連綿と続いた進化の産物である。どの生物も進化の遺産を負って存在しており、進化を抜きにして生物を理解することはできない。また、この地球上には現在1000万種以上の生物が存在していると推定されている。肉眼では見えないバクテリアから体長20mを超すシロナガスクジラまでさまざまな形、大きさの生物が熱帯から極地、高山から深海まで地球上のあらゆる場所において独自の生活を築いている。そして、これらの生物は孤立して存在するのではなく、互いに密接な関係を保ちながら地球上にさまざまな生態系を形成している。この複雑、多様な姿が生物のもう一つの特徴である。一方、生命の基本的な情報を担う分子である遺伝子の研究が進んで、あらゆる生命現象を遺伝子レベルで統一的に理解することも可能になってきた。そこで、本講義では生物の「進化」、「多様性」、「遺伝子」を3つのキーワードにして、生物の進化や生態の実際を体系的に紹介するとともに、進化や多様性の維持に関するメカニズムについて解説する。

講義の内容・授業スケジュール

- 第1章 遺伝子と進化－我ら生物みな兄弟
 - (1) 生命の歴史性 (2) 遺伝子と生命現象 (3) 進化のメカニズム
- 第2章 40億年の生物進化－偶然と必然が織りなす奇跡
 - (1) 地質年代図 (2) マーグリスの共生説 (3) カンブリアの爆発
 - (4) 生物の上陸 (5) 大量絶滅
- 第3章 系統と分類－名もなき雑草はない
 - (1) リンネ式分類体系 (2) 生物五界説 (3) 種の定義と属性 (4) 分子時計
 - (5) 動物と植物の系統
- 第4章 行動と進化－生き物は誰がために生きるか
 - (1) 動物行動学の歩み (2) 適応度とゲーム理論 (3) 性選択と性比
 - (4) 利他的行動と血縁淘汰 (5) 利己的遺伝子
- 第5章 生物の人口論－産めよ殖えよ地に満てよ
 - (1) 潜在的な増殖率 (2) 密度効果とr-K淘汰 (3) 食う・食われる関係
 - (4) 生命表
- 第6章 共生と競争－出し抜きながら深い仲
 - (1) 種間関係(共生と寄生) (2) 花と昆虫の共進化 (3) 菌根 (4) 擬態
- 第7章 人類の進化－ヒトは唯一の生き残り
 - (1) 霊長類の系統 (2) ヒトの発展段階 (3) ホミニゼーション(ヒト化)
 - (4) 人体の特徴
- 第8章 進化論－進化論も進化する
 - (1) ダーウィン以前 (2) ダーウィン進化論 (3) ネオ・ダーウィニズム
 - (4) 進化論と宗教
- 第9章 生態系－命は無数のつながりの中で
 - (1) 生態系(エコ・システム) (2) 食物連鎖と生物濃縮 (3) 光合成と呼吸
 - (4) 生産諸量
- 第10章 物質の循環－元素はめぐるよどこまでも
 - (1) 物質循環の大原則 (2) 水の循環 (3) 炭素の循環 (4) 窒素の循環
 - (5) 地球環境の形成
- 第11章 植生遷移－裸地もいずれは森林に
 - (1) 遷移のモデル (2) 遷移の実例 (3) 森林の更新
- 第12章 生物多様性－多様な世界に未来あり
 - (1) 3つの多様性 (2) 多様性の尺度 (3) 生物地理区と植生帯
 - (4) 多様性の危機
- 第13章 人為と生物－生物界のグローバリゼーション
 - (1) 里山の生物 (2) 都市化と生物 (3) 帰化種の侵入

成績評価の方法

前期のレポート、後期の試験、通年の出席回数を勘案して評価する。

教科書

講義内容を記述した「web版教科書」(清水執筆)を紹介する。受講者は清水のHPより自由にダウンロードして利用できる。

参考書等

「web版教科書」で章ごとに紹介する。

その他

講義で必要な図表は適宜プリントにして配布する。

講義のねらい

この地球が誕生したのは46億年の昔といわれる。40億年前にはすでに生命が誕生し、以後それは地球の環境を変えつつ、自らも進化の歴史を歩みながら現在に至っている。この長い歴史の中で、種の構成は変わり、あるものは絶滅してしまったけれど、現存する生物は40億年の間、生まれ・成長し・繁殖し・死ぬ ということを営々と繰り返してきた。この生物たちの営みをいろいろな段階（細胞・個体・個体群・生態系）で紹介したい。

後期には、環境問題を取りあげる。科学技術は私たちに快適で豊かな生活をもたらした。しかしその負の部分が近年私たちを脅かしている。その一つである人工化学物質の功罪について考える。

講義の内容・
授業スケジュール

（前期）生物の生活

- （1-5）地球の歴史と生命の期限
- （6-13）生態系のしくみ化学物質の功罪—豊かな生活とそのつけ
- （14-21）ゴミ処理とダイオキシン汚染
- （22-23）水銀汚染と水俣病
- （24-25）人工放射性物質汚染

履修上の留意点

義務教育までの数学、理科をはじめ各教科の知識を、本講義の前提とする。意見発表の機会をつくりたいので積極的に取り組む学生の参加を期待します。

成績評価の方法

学期終了時に講義内容についての試験またはレポートを課します。成績は上記と出席状況、授業時間内の小レポートなどを考慮して、総合的に評価します。

教科書

赤堀他著『生物学—地球に生きるいのちを考える』（宣協社）2,700円

参考書等

授業時間内に随時紹介します。

その他

授業スケジュールを変更して時事問題を扱うことがあるかもしれません。

科目名	担当者名
コンピュータ基礎〔コンピュータと情報〕	澤口隆

講義のねらい

DTP (DeskTop Publishing) をはじめとしたオンライン編集や、コンピュータグラフィックス (CG) を利用した CAD イメージ、映画などで用いられるリアルな CG 映像や、インターネットブラウザ上での FLASH アニメーションなど、現在のマルチメディア社会において、コンピュータを利用した映像やデザインなどはすでに一般的なものとなっている。

本講義では、これまでコンピュータを用いた画像処理や CG でのデザイン・作図などの経験のない学生を対象に、CG の基礎知識とアプリケーションの操作方法を様々な課題を作成しながら学習することを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

コンピュータグラフィックスに関する基本知識の講義と、実際のアプリケーションを用いた作品製作の演習が中心となる。OS は Windows を使い、アプリケーションは Adobe Photoshop を使用する予定。

その他、インターネットで活用できるような画像処理技術やアニメーションについても学ぶ。Web サイトを構築する上でのデザイン手法や HTML (Hyper Text Markup Language) などについても触れる。

履修上の留意点

コンピュータグラフィックス初心者を対象とするので予備知識は必要としない。ただし、Windows の基本操作はマスターしていること (キーボード操作・ファイルの保存など)。また、授業開始前に総合情報センターにおいてコンピュータの利用申請を済ませておくこと。

成績評価の方法

授業中に作成した課題と出席状況で評価する。

教科書

使用しない。適宜資料を配付する。

参考書等

同上

その他

計算機室での実習・講義となるが、計算機の数に限りがあるので受講者を制限することもある。

科目名	担当者名
コンピュータ基礎〔コンピュータと情報〕	塚本達也

講義のねらい

学内や自宅において各自がコンピュータを問題なく扱えるようになること。

講義の内容・授業スケジュール

メール、インターネット、エクセル、ワードの基礎的なことを学ぶ。

履修上の留意点

教室に備付のパソコンを使用するので KOMAnet の「ユーザ ID」と「パスワード」が必要。各自履修前に取得のこと。

成績評価の方法

レポートにより行う。

教科書

特になし

参考書等

特になし

科目名	担当者名
地球科学〔地球の素顔と地球環境問題〕	加藤 暁

講義のねらい

最近、地球史にロマンを感じて博物館へ足を運ぶ人や化石や鉱物に興味を持つ人が増えていきます。自然災害や環境問題に関心を持つ人も増えていきます。家族を守るためにはある程度の知識が必要です。今後の生活をより豊かにかつ安全に過ごすために、地球科学を学ぶのも一法ではないでしょうか。

本講義の目標は、受講者が地球科学の基礎的な概念を再確認しつつ、新聞やTVによる災害などの報道に対して所見を持てるようにすることです。また、グローバルな視点から諸現象を捉えることができるように教養を養ってもらうことにあります。これまで地学を学ぶ機会が少なかった受講者にも理解できるように心がけます。いつでも質問して下さい。

講義の内容・授業スケジュール

前半は、地球の誕生、内部構造、プレートテクトニクス、ブルームテクトニクス、火山、地震、自然災害、予知について触れます。後半は、地殻の物質、造山運動、アジア大陸や日本列島の形成環境、生命の歴史、環境問題（地球温暖化など）について触れます。

成績評価の方法

主に期末試験で評価されます。また前・後期に2回ぐらいずつビデオ鑑賞時の簡単な感想文や実習レポートを授業中に提出してもらいます（各5点）。

教科書

特に定めない。適宜プリントを配布。

参考書等

【ニューステージ地学図表 新訂】（浜島書店）

その他

OHP、スライド、ビデオ等を使用します。

講義のねらい

現代の天文学と惑星科学の成果の上に立ち、宇宙を視点に地球の自然環境について講義します。

太陽系の惑星の一つである地球の現在の自然環境は46億年の太陽系の歩みと地球の進化の産物です。現在も、太陽はもちろんのこと、太陽系内外の宇宙からのさまざまな影響の下にあります。また、過去40年間の太陽系探査により多くの天体が調べられ、地球をこれらの天体と比較しながら研究できるようになってきました。最近では、太陽系外の惑星系も見つかり始めています。その成果をふまえて、「地球環境」とはそもそもどんなものであり、どのように形成され、変化してきたかを中心に取り上げます。

日常生活でのある行為が「地球に優しい」のか逆に「地球を傷つける」のかという判断は立場により、また時代により異なります。環境問題は「健康法」と似ていて、仕組みもわかっていないうちに、効果も立証されていない手段でもかく対処しなければいけないという場合もあります。その結果、認識が少し進むと「善」と「悪」が入れ替わることも起こります。表面だけを見ていると、環境に確かなものは何もないかのように思われてきます。

多くの要因が複雑に絡みあう地球規模の環境問題について、原因や対策がすでにわかっているとは到底言えません。しかし、地球環境の基礎を形作る事柄についての研究は着実に進んでいます。この講義を通して個別の環境問題の背後にある地球環境システムについて理解し、より深いところから地球環境を考えられるようになっていただきたいと思います。

講義の内容・授業スケジュール

1. 宇宙と地球地球環境
宇宙の中の地球 宇宙の起源と進化 太陽系と地球の起源
太陽 地球磁気圏 海と大気 生命 地球環境の進化
2. 地球環境の変動
宇宙環境と地球環境変動 地球システムと地球環境変動 人類と地球環境変動
3. 地球環境問題
オゾン層破壊問題 地球温暖化問題 エネルギー その他の環境問題
4. 宇宙と地球の未来
文明の未来 地球と宇宙の未来 SETI (地球外文明探査)

成績評価の方法

学年末に行う筆記試験の結果により評価します。平常点も考慮します。

教科書

御代川貴久夫著『環境科学の基礎 改訂版』（培風館）2,100円＋税

参考書等

小宮山宏著『地球持続の技術』（岩波新書）660円
その他、講義の中で適宜紹介します。

講義のねらい

米国同時多発テロ事件が起きた2001年9月、国内ではBSE問題が浮上した。BSEは牛の致死性の感染症であるが、病原体がプリオンというたんぱく質であること、ヒトおよび他の生物に種の壁を越えて感染することが、生物学的には興味深い。英国でこれが蔓延したのは罹病した牛の屍体を飼料として用いたことによるという。つまり、経済性・効率性の追及の結果である資源の有効利用が、草食動物である牛に肉食をさせた結果、生じた人災なのである。増え続ける人口、豊かな食生活への欲求、それが、生物と環境に何をもたらしているのかを考えてみよう。

講義の内容・授業スケジュール

- (前期) 人間の活動と自然環境
- (1-6) 自然のしくみ
 - (7-12) 自然の改変食をめぐる問題
 - (13-18) 農業—有機農業・灌漑・遺伝子組み替え作物
 - (19-22) 畜産業—肉食とは何か・BSE・クローン動物
 - (23-25) 漁業—海外依存度・環境ホルモン汚染

履修上の留意点

義務教育までの数学、理科をはじめ各教科の知識を、本講義の前提とする。意見発表の機会をつくりたいので積極的に取り組む学生の参加を期待します。

成績評価の方法

学期終了時に講義内容についての試験またはレポートを課します。成績は上記と出席状況、授業時間内の小レポートなどを考慮して、総合的に評価します。

教科書

使用しません。

参考書等

赤堀他著『生物学—地球に生きるいのちを考える』(宣協社) 2,700円
その他については授業時間内に随時紹介します。

その他

授業スケジュールを変更して時事問題を扱うことがあるかもしれません。

科目名**担当者名**

情報数学〔情報と論理〕

小沢 誠

講義のねらい

点と点どうしを辺で結んだものをグラフという。例えば、人を点とみなし、知り合いであるとき辺で結ぶとグラフができる。同様に、地下鉄の路線図、インターネット、化学分子式、プリント基板回路、脳の神経回路、生態系などもグラフとみなすことができる。このように、物と物の繋がり方のみを抽出して得られるネットワークの性質を研究するのがグラフ理論である。

この講義では、将来どの分野に進んでも役に立つようなグラフ理論を身に付けることを目標とする。

**講義の内容・
授業スケジュール**

前期に、グラフ理論の基礎・グラフの彩色・回路とサイクル・極値問題・数え上げを学ぶ。後期に、ラベル付きグラフ・応用とアルゴリズム・グラフの図・平面性への近さの測定・曲面上のグラフを学ぶ。

履修上の留意点

毎回必ず出席すること。数学は一つ一つの積み重ねであるので、欠席した場合には補習が必要である。

成績評価の方法

前期と後期の期末試験の結果で評価する。出席・レポートも考慮する。

教科書

N. ハーツフィールド/G. リンゲル=共著、鈴木晋一=訳『グラフ理論入門数理科学ライブラリ(2)』(サイエンス社) 2,500円+税

参考書等

適宜紹介する。

その他

講義が理解出来なかった場合は、遠慮なく質問して欲しい。全ての受講生が理解して進められるよう努力する。

3. 外 国 語 科 目

外
国
語

3. 外国語科目

〔英語〕

科目名	配当学科	開講区分	単位	担当者名	ページ
英語ⅠA	法B1年	通年	2	佐々木隆	531
英語ⅠA	法B1年	通年	2	川崎浩太郎	531
英語ⅠA	法B1年	通年	2	照山雄彦	532
英語ⅠA	法B1年	通年	2	北村弘文	532
英語ⅠA〔基礎英語特別クラス〕	法B1年	通年	2	町田成男	532
英語ⅠB	法B1年	通年	2	林孝憲	533
英語ⅠB	法B1年	通年	2	杉本誠	533
英語ⅠB	法B1年	通年	2	行廣泰三	534
英語ⅠB	法B1年	通年	2	笹倉貞夫	534
英語ⅠB〔基礎英語特別クラス〕	法B1年	通年	2	狩野晃一	534
英語ⅠA〔再クラス〕	法B2・3・4年	通年	2	大淵利春	535
英語ⅠB〔再クラス〕					
英語ⅠA〔再クラス〕	法B2・3・4年	通年	2	伊勢村定雄	535
英語ⅠB〔再クラス〕					
英語ⅠA〔再クラス〕	法B2・3・4年	通年	2	伊勢村定雄	536
英語ⅠB〔再クラス〕					
英語ⅠA〔再クラス〕	法B2・3・4年	通年	2	熊沢和明	536
英語ⅠB〔再クラス〕					
英語ⅠA〔再クラス〕	法B2・3・4年	通年	2	本間俊一	537
英語ⅠB〔再クラス〕					
英語ⅡA	法B2年	通年	2	照山雄彦	538
英語ⅡA	法B2年	通年	2	佐藤アヤ子	538
英語ⅡA	法B2年	通年	2	北村弘文	539
英語ⅡB	法B2年	通年	2	行廣泰三	540
英語ⅡB	法B2年	通年	2	永野光一	540
英語ⅡB	法B2年	通年	2	樋渡俊光	541
英語ⅡA〔再クラス〕	法B3・4年	通年	2	萩原輝	541
英語ⅡB〔再クラス〕					
英語ⅡA〔再クラス〕	法B3・4年	通年	2	岸本茂和	541
英語ⅡB〔再クラス〕					
英語ⅡA〔再クラス〕	法B3・4年	通年	2	尾形重政	542
英語ⅡB〔再クラス〕					
英語ⅡA〔再クラス〕	法B3・4年	通年	2	甲斐捷子	542
英語ⅡB〔再クラス〕					

外国語

〔ドイツ語〕

ドイツ語ⅠA	法B1年	通年	2	清水修	543
ドイツ語ⅠB	法B1年	通年	2	篠原敏昭	543
ドイツ語ⅠA〔再クラス〕	法B2・3・4年	通年	2	南はるつ	544
ドイツ語ⅠB〔再クラス〕					
ドイツ語ⅡA	法B2年	通年	2	清水修	544
ドイツ語ⅡB	法B2年	通年	2	篠原敏昭	545

ドイツ語ⅡA〔再クラス〕	法B3・4年	通年	2	岡本時子	545
ドイツ語ⅡB〔再クラス〕					

〔フランス語〕

フランス語ⅠA	法B1年	通年	2	高橋明美	546
フランス語ⅠB	法B1年	通年	2	木下雄介	546
フランス語ⅠA〔再クラス〕	法B2・3・4年	通年	2	長谷川光明	547
フランス語ⅠB〔再クラス〕					
フランス語ⅡA	法B2年	通年	2	高橋明美	547
フランス語ⅡB	法B2年	通年	2	木下雄介	547
フランス語ⅡA〔再クラス〕	法B3・4年	通年	2	長谷川光明	548
フランス語ⅡB〔再クラス〕					

〔中国語〕

中国語ⅠA	法B1年	通年	2	秋元翼	549
中国語ⅠB			2	王聡	
中国語ⅠA	法B1年	通年	2	塩旗伸一郎	549
中国語ⅠB			2	上原かおり	
中国語ⅠA〔再クラス〕	法B2・3・4年	通年	2	大久保明男	550
中国語ⅠB〔再クラス〕					
中国語ⅠA〔再クラス〕	法B2・3・4年	通年	2	曹泰和	550
中国語ⅠB〔再クラス〕					
中国語ⅡA	法B2年	通年	2	東英全	551
中国語ⅡB	法B2年	通年	2	王聡	551
中国語ⅡA〔再クラス〕	法B3・4年	通年	2	弘兼加奈子	551
中国語ⅡB〔再クラス〕					

〔スペイン語〕

スペイン語ⅠA	法B1年	通年	2	大岩功	552
スペイン語ⅠB	法B1年	通年	2	大岩功	552
スペイン語ⅠA〔再クラス〕	法B2・3・4年	通年	2	栗林ゆき絵	553
スペイン語ⅠB〔再クラス〕					
スペイン語ⅡA	法B2年	通年	2	荻野雅司	553
スペイン語ⅡB	法B2年	通年	2	中山直次	554
スペイン語ⅡA〔再クラス〕	法B3・4年	通年	2	栗林ゆき絵	554
スペイン語ⅡB〔再クラス〕					

〔ロシア語〕

ロシア語ⅠA	法B1年	通年	2	廣田英靖	555
ロシア語ⅠB	法B1年	通年	2	廣田英靖	555
ロシア語ⅠA〔再クラス〕	法B2・3・4年	通年	2	杉山秀子	556
ロシア語ⅠB〔再クラス〕					
ロシア語ⅡA	法B2年	通年	2	廣田英靖	556
ロシア語ⅡB	法B2年	通年	2	廣田英靖	557
ロシア語ⅡA〔再クラス〕	法B3・4年	通年	2	杉山秀子	557
ロシア語ⅡB〔再クラス〕					

《選 択 科 目》

科 目 名	配当学科	開講区分	単位	担当者名	ページ
英会話Ⅰ	法B1・2・3・4選	通年	2	ロビン, G. F.	558
英会話Ⅱ	法B1・2・3・4選	通年	2	ロビン, G. F.	559
英語LLⅠ	法B1・2・3・4選	通年	2	甲斐捷子	560
英語LLⅡ	法B1・2・3・4選	通年	2	狩野晃一	561

外
国
語

英 語 I A

〈英語 I A の授業内容と履修上の留意点〉

英語による意思伝達 (Writing and/or Speaking) : 入学時の英語を基礎として、英語の運用能力をのばします。文章表現の場合、文から段落へ、会話表現の場合、日常基本表現から、多様な会話表現の理解と運用能力を目指します。

科 目 名	担 当 者 名
英語 I A	佐々木 隆 <small>ささき たかし</small>

講義のねらい

入学時の英語を基礎として、英語の運用能力をめざす。文章表現の場合、センテンスからパラグラフへ、会話表現の場合、日常基本表現からダイアログ (多様な会話表現の理解と運用能力) をめざす。

講義の内容・授業スケジュール

テキストを読み進めると同時に、英語表現に注意を払う。

成績評価の方法

試験の結果を含めた総合判断。

教 科 書

『アクティブ・コミュニケーション』(南雲堂) 1,300円

科 目 名	担 当 者 名
英語 I A	川崎 浩太郎 <small>かわさき こうたろう</small>

講義のねらい

入学時の英語を基礎として、英語運用能力の向上を目的とします。単発の発話、作文ではなく、ある程度まとまった長さを持つ文章の中で、自分の考えをより効果的に表現できるようになることをめざします。

講義の内容・授業スケジュール

E-mail や日常会話などで使われる口語的な表現を学び、大学生が日常生活で遭遇する様々な場面に対応できるような表現力を身につけていきます。また、教科書の Unit ごとに適切な課題を出すので、それによってエッセイライティングも行ってもらいます。TOEIC のリスニングなども行う予定です。

履修上の留意点

毎時間辞書を必ず持ってくること。

成績評価の方法

出席点、発表点40%、レポート60%。全授業日数のうち3分の1以上欠席したものは不可とする。

教 科 書

黒川裕一著『Subject: E-Mail——大学生のEメール英作文』(南雲堂) 1,900円 (税別)
ISBN4-523-17396-6

科目名**担当者名**

英語 I A

照山雄彦
てる やま ゆう ひこ

講義のねらい

英文を正しく読み、発音して、また英文を正しく理解することを目標とする。

講義の内容・授業スケジュール

上記の内容を達成するために、最重要動詞、最重要名詞、また基礎となる文型をいくつかの例題を使った文章を暗記し習得していく。

履修上の留意点

予習を必ずやってくること。

成績評価の方法

毎回初めに小テストを行うので、その結果と授業の態度、出席状況を考慮して評価を行う。

教科書

おってお知らせする。

参考書等

その都度必要に応じて紹介する。

科目名**担当者名**

英語 I A

北村弘文
きた むら ひろ ふみ

講義のねらい

普段日本にいて英語を話す機会が少ない我々は、外国人の話す英語を聞いてある程度理解はできて、英語で自分の意見を言うとなると、そう簡単ではない。ただこれも習慣の問題で、それほど深刻に考える必要はない。今、我々が英語で自分の意見を言う時、我々はまず頭に日本語が浮かび、次いでその日本語を英語に翻訳して発表する。ところが、もしこの日本語を英語に翻訳するというプロセスを省いて、一挙に頭に英語が浮かぶようにはできないだろうか？ 勿論それができるのです。そういう習慣を身に付ければよいわけです。

成績評価の方法

定期試験（前・後期）の成績以外に、授業中の発表、レポート、出席状況などを勘案して評価します。

教科書

『Try America』（三修社）1,700円

科目名**担当者名**

英語 I A〔基礎英語特別クラス〕

町田成男
まち た しげ お

講義のねらい

入学時の英語を基礎として、英語の運用能力をめざす。文章表現の場合、センテンスからパラグラフへ、会話表現の場合、日常基本表現から多様な会話表現の理解と運用能力をめざす。

講義の内容・授業スケジュール

テキストを読みすすめると共に、カセット・テープやビデオ教材も時々使用する。

履修上の留意点

英和辞典を持参すること。

成績評価の方法

出席、発表、試験の総合評価とする。

教科書

現在、検討中のため未定。

外国語

英 語 I B

〈英語 I B の授業内容と履修上の留意点〉

Reading and Listening Comprehension (Reading and Listening) : 入学時の英語を基礎として、より高度な構文の理解と speed reading の基礎を身に付けます。読解力の場合、精読に加えて段落、章などの大意が把握できること、聴解力の場合、大意が把握できることを目指します。

科 目 名	担 当 者 名
英語 I B	はやし 林 たく 孝 憲

講義のねらい 環境問題に力点をおく。最新のビジネスを紹介した時事的な英文を取り扱い、正確に講文を理解して読んでゆく。リスニングは物語をパラグラフごとに大意を理解する。

講義の内容・授業スケジュール 特に精読を心掛けて進めてゆき、英字新聞を読む準備としたい。

履修上の留意点 単語の意味などの予習が必要となる。

成績評価の方法 平常での発表・出席及び前後期の試験の結果を含め総合的に評価する。

教科書 『ライフサイエンスとニュービジネス』(南雲堂) 1,900円
ISBN4-523-17498-9

科 目 名	担 当 者 名
英語 I B	すぎもと 杉 本 まこと 誠

講義のねらい グローバル化および情報化の時代の中に置かれた私たちには、それに対応できるような英語の運用能力を保持することが求められる。授業では、このような状況において必要とされる英語力を身につけることを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール 代替エネルギー、環境保護観光、時間などの日常生活に密接な関わりのある記事を多く読み、大意を把握し、語法、リスニング、英訳などの練習問題を通じて、総合的な英語力を身につけることを目的とする。

履修上の留意点 かならず毎時間の予習が必要である。

成績評価の方法 前・後期定期試験、小テスト、出席率などを総合して評価する。

教科書 『World Events』(オセアニア出版) 1,500円 ISBN4-87203-089-3 C1082

科目名	担当者名
英語 I B	ゆきひろたいぞう 行 廣 泰 三

講義のねらい

この授業では、読解力の基礎的な技能を身につけることと少しでも「英語を読む楽しさ」が味わうことができることを目指します。

講義の内容・授業スケジュール

この授業では、イギリス人の日常生活（スポーツ、メディア、大学生活、教育等）を通して英文の読解力を養う。

- 内容：1. Eating and Drinking
2. Spending Free Time
3. Education and Beyond
4. Spending Money

成績評価の方法

評価の方法は、H常の小テスト（8回前後）発表、出席などを総合的な観点から評価します。

教科書

土屋竹久、Robert Hicking、本多吉彦
『A Complete College English Program Book 3』（金星堂）1,900円（税別）

科目名	担当者名
英語 I B	まさくらさだお 世 倉 貞 夫

講義のねらい

近年ますます国際化していく現代社会に即応しうるような国際感覚の育成とともに英語の実践的な運用能力の伸長をめざす。

講義の内容・授業スケジュール

平易な現代アメリカ英語で書かれたテキストを用いて、英語による文章表現を学ぶ。テープ教材併用。

履修上の留意点

予習・復習重視

成績評価の方法

前・後期末テストの他、場合によっては、レポートを提出していただき、出席状況も勘案しながら総合的に最終評価を出す。

教科書

M.Vogel『珍しい事実・記録のビッグブック』（太陽社）

科目名	担当者名
英語 I B〔基礎英語特別クラス〕	かのうこういち 狩 野 晃 一

講義のねらい

音読・精読を通して少しずつ英語の理解力を高めます。

講義の内容・授業スケジュール

テキストを正確にじっくり読むことを中心にしてゆきます。必要に応じてプリント等を配布します。

履修上の留意点

予習を必ずしてから授業に臨むこと。辞書は必携。

成績評価の方法

最低3分の2以上の出席が求められる。試験と普段点から評価をする。

教科書

初回、教場にて指定。

科目名	担当者名
英語 I A〔再クラス〕	おお ぶち とし はる 大 瀨 利 春
英語 I B〔再クラス〕	

講義のねらい	リスニング、リーディング、ライティング、スピーキングの英語の4能力の総合的な向上を目指す。
講義の内容・授業スケジュール	はじめに10分程度リスニングの練習を行ない、その後にテキストに入る。また、小テストも行なう。
履修上の留意点	予習は必ず行なうこと。辞書をもってくること。
成績評価の方法	前、後期2回の定期試験の結果とともに、出席状況、授業への参加度といった平常点も重視し、総合的に評価する。
教科書	『A Complete College English Program, Book 3』(金星堂) 1,900円

科目名	担当者名
英語 I A〔再クラス〕	い せ むら さだ お 伊勢村 定 雄
英語 I B〔再クラス〕	

講義のねらい	実際のE-mailを通して、英語の基礎と日米の考え方の違い等にふれる。
講義の内容・授業スケジュール	進め方は特に変わったやり方はしないが、音読なども取り入れつつ英語の音と内容把握もめざす。 1課を2～3時間で進む。
履修上の留意点	予習必要！辞書持参のこと！
成績評価の方法	年2回のペーパーテスト及び授業態度。
教科書	Sadao Isemura, Dennis R. Kogge 『アメリカンライフを英語で』(北星堂書店) 1,900円 ISBN4-590-01115-8
参考書等	中型英語辞典なら何でも可。
その他	水曜日・6時限

科目名	担当者名
英語ⅠA〔再クラス〕	いせむら さだ お 伊勢村 定 雄
英語ⅠB〔再クラス〕	

講義のねらい	アメリカン・ストーリーを通して、アメリカ英語を学ぶ。及び英語の基礎や辞書のひき方にもふれる。
講義の内容・授業スケジュール	音読と訳読を交互に混えて進めるが、演習形式という授業形態上、受講者は全員参加することになる。1課を2～3時間で進む。
履修上の留意点	予習必要！辞書持参のこと！
成績評価の方法	年2回のペーパーテスト及び授業態度。
教科書	丸橋他編注『映像で楽しむオーストラリア (Touring Australia)』(英光社) 1,890円 ISBN4-87097-024-4
参考書等	中型英語辞典なら何でも可。
その他	水曜日・7時限

科目名	担当者名
英語ⅠA〔再クラス〕	くま さわ かず あき 熊 沢 和 明
英語ⅠB〔再クラス〕	

講義のねらい	英語の基礎的な語学力を確認し、能力を引き伸ばすことをねらいとします。
講義の内容・授業スケジュール	平易な総合学習教科書を使い、読み、書き、聞く、話す能力をバランスよく伸ばすように、ペアワークなどの実習形式を取り入れた授業とします。
履修上の留意点	英語が苦手でも積極的に授業参加する姿勢を評価します。
成績評価の方法	出席、授業態度などの平常点を重視します。年間12回の単語テストを実施します。評価は総合評価とします。
教科書	『Why Is That?』(金星堂)
その他	PCおよび携帯メールを利用した補習を行います。

科目名	担当者名
英語 I A〔再クラス〕	ほん ま とし かず
英語 I B〔再クラス〕	本 間 俊 一

講義の内容・
授業スケジュール

教科書の英文の訳読とその構文理解を中心として学びながら、話題は英米文化圏の日常生活、そして彼らの思考、さらに日本との比較に及ぶ。通常の授業は、前もって学習する予定を公表し、予習を前提に授業を進める。さらに年間を通じていくつか課題の提出を要求するつもりである。学習においては、もちろん細部にこだわるつもりであるが、あまり細部にこだわり過ぎて全体観を失うことは愚かなことであるから、時には相手に大きな誤解を与えない程度に大胆に要約する能力を養えるようにする。

成績評価の方法

前期と後期の2回の試験はもちろんのこととして、普段の授業での発表、さらに年間を通じた課題の提出で評価を決定する。授業の出席は3分の2以上、遅刻3回で1回の欠席と計算する。なお、課題の提出の仕方については授業で細かく説明するつもりであるが、休暇中にパソコン・ネットワークでも可能であるから興味のある学生はそれに習熟されたい。

教科書

『愛の諸相』（朝日出版社） 1,700円 ISBN4-255-15154-7

英 語 II A

〈英語ⅡAの授業内容と履修上の留意点〉

英語による意思伝達 (Writing and/or Speaking) : I A を基礎として、より高度な英語の運用能力を身に付けます。文章表現の場合、段落から自由作文へ、会話表現の場合、ダイアログからディスカッションを目指します。

科目名	担当者名
英語ⅡA	照山雄彦

講義のねらい	大学での英語学習の狙いは専門の英語文献読解力を養うことである。そのために修得した英語の文法構造や語彙の知識を基に、実際の英語文献を読解できる能力を身につけることを目標とする。
講義の内容・授業スケジュール	上記をふまえ、わからない語句や表現を調べながらテキストの各章を精読し、内容を把握し暗記していくようにする。
履修上の留意点	宿題を毎回出すので、必ずやってくること。
成績評価の方法	毎時間授業を始める前に小テストを行うので、その結果と授業の態度、出席状況を考慮して評価を行う。
教科書	おって連絡します。
参考書等	その都度必要に応じて紹介する。

科目名	担当者名
英語ⅡA	佐藤アヤ子

講義のねらい	コミュニケーションの手段である英語での E-メールの書き方を学びます。
講義の内容・授業スケジュール	テキストにそって授業を進めます。実際に英語で書いた E-メールを交換したりします。
履修上の留意点	授業のはじめに前回学んだことについて10分程度のテストを毎週行ないます。
成績評価の方法	平常点と前・後期の試験の結果を入れて総合的に評価します。
教科書	『大学生の E メール英作文』(南雲堂) 1,900円 ISBN4-523-17396-6 C0082

科目名	担当者名
英語ⅡA	<small>きたむらひろふみ</small> 北村弘文

講義のねらい

普段日本において英語を話す機会が少ない我々は、外国人の話す英語を聞いてある程度理解はできて、英語で自分の意見を言うとなると、そう簡単ではない。ただこれも習慣の問題で、それほど深刻に考える必要はない。今、我々が英語で自分の意見を言う時、我々はまず頭に日本語が浮かび、次いでその日本語を英語に翻訳して発表する。ところが、もしこの日本語を英語に翻訳するというプロセスを省いて、一挙に頭に英語が浮かぶようにはできないだろうか？ 勿論それができるのです。そういう習慣を身に付けばよいわけです。

成績評価の方法

定期試験（前・後期）の成績以外に、授業中の発表、レポート、出席状況などを勘案して評価します。

教科書

『Try America』（三修社）1,700円

参考書等

授業中に指示する。

その他

受講者は予習、復習を欠かさないようにし、講義の聞きっぱなしのないように留意すること。

英 語 II B

〈英語 II B の授業内容と履修上の留意点〉

Speed Reading and Intensive Reading: I B を基礎として、できるだけ多くの量を読めるように、大意の把握に心掛け、読む速度を上げます。また、より高度な英文を正確に理解するための構文も学びます。

科 目 名	担 当 者 名
英語 II B	ゆきひろたいぞう 行 廣 泰 三

講義のねらい

国際化・情報化といわれる中で、人間同士がコミュニケーションする上で、言葉が重要であることは確かなことです。しかし、異なる文化背景を持つ人々とのスムーズなコミュニケーションを図るには、言葉の土台になっている文化を理解することによってはじめて可能になるのです。そこで、この授業では、英文の読解を通して異文化理解の能力を養うことを目指します。

講義の内容・授業スケジュール

- 内容： 1. Culture and Identity
2. Hidden Culture
3. Stereotypes
4. Words, Words, Words
5. Communication without Words

成績評価の方法

成績評価の方法は、日常の小テスト、発表、出席などを総合的な観点から評価をします。但し、小テストは前期と後期合計で8回前後します。

教 科 書

Colin Sloss、河原俊昭、Richard Grassi
『Shift the Focus !』(三修社) 2,000円 (税別)

科 目 名	担 当 者 名
英語 II B	ながのこういち 永 野 光 一

講義のねらい

I B を基礎として、より高度なリーディング力を養成。

講義の内容・授業スケジュール

時事英語のテキストを読みすすめ、大意の把握やより速くより正確に英文を読む練習をする。また、時事英語表現も学習する。

履修上の留意点

授業に積極的に取り組むこと。原則として3分の2以上出席すること。

成績評価の方法

出席、授業への積極的な取り組み、時事および基本英語表現の小テストを重視し、総合的に評価。

教 科 書

『English in the Media 2006 (英語で読む現代社会 2006)』(金星堂) 1,750円
ISBN4-7647-3821-X

科目名	担当者名
英語ⅡB	樋渡俊光

講義のねらい	これからの社会人において英語は当然、必要な外国語です。この講義を通して、英語に興味をもち、法学部の学生としての専門的英語の知識を身につけることを目標とします。
講義の内容・授業スケジュール	教科書を中心に、米国の社会、文化を日本と比較しながら英語に対する興味を持つことを目標にし、又副教材（プリント使用）として Japan Times や、色々な社会分野における平易な英語で書かれた資料を読む事によって興味をもつこととなります。
履修上の留意点	辞書持参。予習を原則とします。
成績評価の方法	出欠、日常の発表や授業に対する姿勢を重視し、レポート提出、前後期の試験の結果から総合的に評価します。
教科書	Clayton Naff 『A SHORTER COURSE IN READING』（南雲堂）900円

科目名	担当者名
英語ⅡA〔再クラス〕	萩原輝
英語ⅡB〔再クラス〕	

講義のねらい	英語を読む力と、読んだ文章に対する自分の意見を英語で表現する力を身につけることを目標とする。
講義の内容・授業スケジュール	毎時間なるべくたくさんの英文を読み、それらに関する意見を述べてもらう予定。
履修上の留意点	大学生としてふさわしい辞書を持ってくること。
成績評価の方法	授業態度、出席、提出物、前期、後期の試験等の総合評価。
教科書	Tom Goodier 著 <i>Big Names in American Business</i> 『アメリカンドリームを継ぎし者たち』（南雲堂） ISBN4-523-17479-2 C0082

科目名	担当者名
英語ⅡA〔再クラス〕	岸本茂和
英語ⅡB〔再クラス〕	

講義のねらい	つねに英語学習の基本に立ち返ることを念頭に授業をすすめてゆきたい。
講義の内容・授業スケジュール	テキストの本文および問題はそれぞれ受講者が訳読し解答をだしてゆくことにする。1年間でできるだけだけの章をこなしてゆきたい。
履修上の留意点	授業にはかならず英和辞書をもってくる。予習は必須。
成績評価の方法	出席は毎授業とる。試験は前期・後期の2回。全授業日数の3分の1以上欠席のばあいは「不可」とする。
教科書	『輝ける言葉一心に残る12章』（朝日出版社）1,700円

科目名	担当者名
英語ⅡA〔再クラス〕	お尾 がた しげ まさ 尾 形 重 政
英語ⅡB〔再クラス〕	

講義のねらい	英語ⅡAを基礎に、さらに英語による意志伝達能力の把握に努めます。
講義の内容・授業スケジュール	テキスト中心に進めますが、適宜、補助教材も使用します。
履修上の留意点	授業は予習してくることを。辞書を持参すること。
成績評価の方法	積極的な授業参加を重視し、試験結果を入れ総合的に判断します。
教科書	LOOKING BACKWARD - <i>Major Events of the 20th Century</i> 事件でたどる20世紀 (南雲堂) 1,800円 ISBN4-523-173141-1

科目名	担当者名
英語ⅡA〔再クラス〕	か い かつ こ 甲 斐 捷 子
英語ⅡB〔再クラス〕	

講義のねらい	基本的なアメリカ英語を聞き、話し、読むことで、英語の運用能力を高めることが、この授業の目的です。簡単な会話から、多岐にわたる職業の人々を対象にしたインタビューまで盛り込まれているビデオ教材を使用します。
講義の内容・授業スケジュール	よく聞き、話し、読めるようになった段階で、小テストを行い、一単元を終了します。すべての単元を終了できる予定です。
履修上の留意点	ビデオのダビングは著作権法上できませんが、授業中の訓練で十分です。授業を休まないようにしてください。
成績評価の方法	一応の目安としての出席10%、前期試験30%、後期試験30%、小テスト30%の総合評価とします。
教科書	<i>Viva! San Francisco</i> (MacMillan Language House) ￥2,000

[ドイツ語]

科目名	担当者名
ドイツ語 I A	清水修

講義のねらい

ドイツ語でのコミュニケーションのために必要な文法を、特に日本語および英語と比較対照させながら理解し、身に付け、また基礎的な語彙を習得する。

講義の内容・授業スケジュール

ドイツ語でコミュニケーションするためには何が重要で、何が重要でないかを明確に示しながら授業を進めていきます。

また、ほとんどの学生が大学生になって初めて第二外国語としてドイツ語を学び始めるということを考慮して、常に「なぜ」という問題意識を提起しながら授業を進めていきます。

そこでは当然、日本語や英語との比較対照が問題になり、これが日本語や英語への理解をさらに深める契機になればと考えています。

履修上の留意点

必ずしも教科書に沿った授業はしません。また、常に参加者の意欲と関心が反映される授業を心がけますので、進度は予測できません。

したがって、やむを得ず欠席した時は必ず自分の責任で補うのが原則ですが、自分で解決できないときは必ず教師に相談するようにしてください。

成績評価の方法

普段の授業への参加と貢献、および年に2回実施する予定の試験等で総合的に判断します。

教科書

早川東三『完全ドイツ文法（改訂版）』（朝日出版社）

参考書等

ヴォルフガング・シュレヒト『独検突破単語集』（三修社）

科目名	担当者名
ドイツ語 I B	篠原敏昭

講義のねらい

簡単なドイツ語の文を口に出して言うことを通じて、語彙や文法の基礎的な知識とドイツ語による表現の習得をねらいとしています。

講義の内容・授業スケジュール

下記のテキストを用いて授業をおこないます。ドイツ人の生活や考え方などもテキストをとおして学んでいきたいと思っています。

履修上の留意点

欠かさず出席すること、予習・課題を確実にやってくること、辞書を必ずもってくること。

成績評価の方法

毎回の授業における各人の取組みを重視したいと思っています。予習や宿題の消化が大事になるでしょう。小テスト、期末試験、学年末試験などを含めて総合的に評価します。

教科書

『ドイツ語の時間〈初級読本 インゲとツヨシ〉』（朝日出版社）2,400円

参考書等

辞書・参考書は授業の中で指示します。

その他

CDをつかった授業をおこなう予定です。

外国語

科目名	担当者名
ドイツ語ⅠA〔再クラス〕	みなみ
ドイツ語ⅠB〔再クラス〕	南 はるつ

講義のねらい	比較的容易な問題を解くことによって初級文法の基礎を身につけます。
講義の内容・授業スケジュール	前期：発音、冠詞類、動詞の現在人称変化、前置詞、助動詞 後期：命令形、複合動詞、接続詞、過去形・現在完了形、形容詞、関係代名詞
履修上の留意点	出席を重視します。
成績評価の方法	前期試験、後期試験、平常授業時間中に行う小テスト、平常点、出席状況を総合して評価します。
教科書	南道子他著『ドイツ語の上にも一年』（同学社）2,300円
参考書等	随時紹介する他、授業に必要な練習問題等のプリントを配布します。

科目名	担当者名
ドイツ語ⅡA	しみず おとむ

講義のねらい	ドイツ語でのコミュニケーション能力の養成をめざします。基本的な会話能力と、辞書の助けを借りて簡単な文章が読めるようになるのが目標です。
講義の内容・授業スケジュール	最初は特に、基礎的な能力の復習に力を入れます。受講者の習熟度、意欲に合わせて授業を進めていきます。
履修上の留意点	ドイツの文化を知り、それについて考えるということは、日本の文化を知り、それについて批判的に考えるということです。 受講者には自分自身の意見を持つこと、主体的に考えるという態度を期待します。
成績評価の方法	主に平常点で評価します。
教科書	プリントを用意します。
参考書等	授業中に指示します。

科目名	担当者名
ドイツ語ⅡB	しのはらとしあき 篠原 敏昭

講義のねらい

1年次で習った基礎的なことがらをもとに、少し進んだレベルのドイツ語の理解、ドイツ語による表現ができるようになることをめざします。

講義の内容・授業スケジュール

下記のテキストを用いて授業をおこないますが、ドイツ人の考え方などもテキストをとおしで学んでいきたいと思っています。ドイツ語検定試験（4級）の受験も勧めています。後期には受験対策の教材も授業に採り入れる予定です。

履修上の留意点

予習を必ずやってくること、欠かさず出席すること、辞書を必ずもってこること。

成績評価の方法

毎回の授業における各人の取組みを重視したいと思っています。予習や宿題の消化が大事になります。小テスト、期末試験、学年末試験などを含めて総合的に評価します。ドイツ語検定試験合格者および受験者には相応の評価の追加を行う予定です。

教科書

『CD付きモデル2問題発見のドイツ語』（三修社）2,700円

参考書等

授業の中で指示します。

その他

ビデオ・CDをつかった授業をおこなう予定です。

科目名	担当者名
ドイツ語ⅡA〔再クラス〕	おかもとときこ 岡本 時子
ドイツ語ⅡB〔再クラス〕	

講義のねらい

これまでに学んだドイツ語を復習しながらドイツ語の基礎力を更に高めていくことが授業の主たる目標ですが、ドイツ語圏の文化や歴史等単なる語学学習以外の点にも目を向けていきたいと思っています。

講義の内容・授業スケジュール

授業の具体的な内容と進度は履修者のドイツ語力や関心に応じて決めていきます。

履修上の留意点

この授業の評価は能力検定のように皆さんのドイツ語の実力を評価するのではなく、あくまでもこの授業において皆さんが学んだことを評価するものですので、授業にきちんと出席することが大切です。

成績評価の方法

成績は年間を通しての出席状況と前期後期の計2回の試験の結果を総合して評価します。その他積極的に授業に参加・貢献した場合にも前向きに評価します。

教科書

開講時に指定します。

参考書等

必要に応じて授業中に説明します。

[フランス語]

科目名	担当者名
フランス語 I A	高橋 明美 <small>たか 橋 明 美</small>

講義のねらい

初めてフランス語を学ぶ学生を対象に、フランス語の初級文法の説明と演習を行う。日常語は理解でき、辞書を使用すれば簡単な文章なら読めるようにしたい。出席を欠かさないこと。積極的に授業に参加すること。予習・復習、特に復習を欠かさないこと。

成績評価の方法

期末に行う試験ほかに、レポート、小テスト、授業中の積極性なども考慮して評価する。

教科書

吉野仁子著 *Petit a Petit* (第三書房) 2,000円

科目名	担当者名
フランス語 I B	木下 雄介 <small>きの した ゆう ずけ</small>

講義のねらい

フランス語の基本文法を習得する。

講義の内容・授業スケジュール

おおむね教科書の章立てにそって授業を進めます。

履修上の留意点

初めて学ぶ外国語である以上、予習復習が必要なことは言うまでもありません。その反面、扱うのは初歩的な事項ばかりだから、地道な努力を怠らなければ、修得が難しいわけではない。学生諸君の努力に期待します。

成績評価の方法

期末・学年末試験の成績に平常点を加味して採点する。かならず予習をして出席すること。

教科書

石沢・柏原・高岡『モン・ブルミエ・リーヴル』(白水社)

参考書等

仏和辞典として、以下のものからどれか一つを選んで購入して下さい。電子辞典や小型の辞書は、初心者には向かないので使用しないこと。

- ・『ジュネス仏和辞典』(大修館)
- ・『新スタンダード仏和辞典』(大修館)
- ・『プチ・ロワイヤル仏和辞典』(旺文社)
- ・『ロワイヤル仏和中辞典』(旺文社)
- ・『クラウン仏和辞典』(三省堂)

科目名	担当者名
フランス語ⅠA〔再クラス〕	はせがわ みつ あき 長谷川 光 明
フランス語ⅠB〔再クラス〕	

講義のねらい	ビデオ教材を用いて初級文法を学習しながら、フランス語の表現能力を徐々に高めていくことを目標とします。
講義の内容・授業スケジュール	下記の教科書に従って、各文法事項を解説したのち、その場で練習問題を取り組んでもらいます。試験は前期末と後期末の計二回行います。また、授業の最後に毎回小テストを実施します。
履修上の留意点	基本表現をまず習得し、練習問題に取り組むことによって、その応用能力を養っていきます。そのためには、出席者は口答問題、筆答問題に積極的に取り組む必要があります。辞書は必ず毎回持参してください。
成績評価の方法	前期、後期の試験と小テストおよび平常点の総計。
教科書	藤田裕二他『パスカル・オ・ジャポン』（白水社）2,000円

科目名	担当者名
フランス語ⅡA	たか はし あけ み 高 橋 明 美

講義のねらい	初級文法をひとつおりの学習した者を対象にさらに文法学習を通してフランス語を理解することを目的として授業をすすめる。出席、予習・復習、積極的な授業参加を求める。前期1回、後期1回のテストで成績評価します。
成績評価の方法	出席、予習・復習、積極的な授業参加を求める。前期1回、後期1回のテストで成績評価します。
教科書	沼田五十六ほか著『カジュアルにフランス語』（朝日出版社）2,200円

科目名	担当者名
フランス語ⅡB	きの した ゆう すけ 木 下 雄 介

講義のねらい	1年次の授業で修得した文法の知識をもとに、辞書と相談しながら文章を読み解く練習をする。
講義の内容・授業スケジュール	平易な文章で書かれた読み物をテキストに用います。
履修上の留意点	予習復習が必要なことは言うまでもありません。テキスト中のすべての単語について、意味ばかりでなく、品詞・用法をきちんと確認し、ノートにとった上で授業にのぞむこと。
成績評価の方法	平常点を重視し、期末・学年末の試験成績を加味して採点します。かならず予習をして出席すること。
教科書	最初の授業のときにプリントを配布します。

外国語

科目名**担当者名**

フランス語ⅡA〔再クラス〕

はせがわ みつあき
長谷川 光明

フランス語ⅡB〔再クラス〕

講義のねらい

ビデオ教材を用いて、フランス語初級文法を複合過去から復習していきます。

**講義の内容・
授業スケジュール**

下記の教科書に従って、各文法事項を解説したのち、その場で練習問題に取り組んでもらいます。試験は前期と後期二回行います。

履修上の留意点

基本表現をまず習得し、練習問題に取り組むことによって、その応用能力を養っていきます。そのためには、出席者は口頭問題、筆答問題に積極的に取り組む必要があります。辞書は必ず毎回持参してください。

成績評価の方法

前期、後期試験及び平常点。

教科書

中山眞彦他『ボンジュール・パリ』（白水社）2,200円

中国語

中国語ⅠA・ⅠB・ⅡA・ⅡB

(P.145) 参照

【辞書について】

(P.146) 参照

科目名	担当者名
中国語ⅠA	あきもと 秋元 翼
中国語ⅠB	おう 王 聡

講義の内容・
授業スケジュール

ピンイン（中国式ローマ字表記）で発音の基礎を学んでから、簡単な文法や基本的な表現を学ぶ。主に秋元が文法を、王が応用練習を担当する。各課を文法、応用練習各一回の割合で進み、一年間で教科書一冊を学ぶ。また、後期の後半にはプリントで文法の補充を行う。

履修上の留意点

中国語は発音が重要なので、授業では積極的に声を出して正確な発音を身につけて欲しい。4分の3以上の出席を要する。

成績評価の方法

平常点と、中間・期末のテストの結果によって総合的に評価する。

教科書

尹景春・竹島毅『《最新版》中国語はじめの一步』（白水社）2,310円

科目名	担当者名
中国語ⅠA	しお はた しんいちろう 塩旗 伸一郎
中国語ⅠB	うえ はら かおり 上原 かおり

講義のねらい

中国語の音声的魅力を体感するとともに、その構造的特徴や、表現の背景にある文化、ひいては中国人のものの考え方や世界観を理解すること。それは私たち自身の言葉や習慣、社会について異なる視点から捉えなおすことにも繋がるだろう。

講義の内容・
授業スケジュール

一年生3人のキャンパスライフを映したビデオを見ながら、生きた中国語を場面に戻して練習する。課ごとの仕上げはビデオに合わせたバーチャル会話。

音を離れて言葉は存在し得ない。漢字だけ睨んで当て推量する暗号解読作業に陥らぬため、定期試験の相当部分は音声により出題する。また年間を通じて聞き取り・発音等の小テストを盛大に行う。

履修上の留意点

必ず中国語ⅠA・ⅠB（火曜7時限塩旗、金曜7時限上原）セットで履修すること。
なお、携帯電話&メールの電源を切らぬ者は、そこにはないと同じ。退席を命じ、欠席扱いとする。

成績評価の方法

定期試験+小テスト+平常点-欠席点。
「平常点」とは「出席点」ではない。ただ坐っていれば評価されると思ひ込むのは大いなる誤解である。
欠席が年間3回を超えると10点ずつ減点する。遅刻は2回で欠席1回に換算する。

教科書

相原・陳・飯田『一年生のころ（改訂版）』（朝日出版社）2,625円

外国語

科目名	担当者名
中国語ⅠA〔再クラス〕	おおくほ あき お
中国語ⅠB〔再クラス〕	大久保 明 男

講義のねらい	正確な発音と基礎文法の習得、中国語コミュニケーション能力の養成をめざす。
講義の内容・授業スケジュール	基本的に教科書に沿って授業を進める。折に触れて中国の社会や文化に関わることを紹介したり、ビデオを見たりする予定。
履修上の留意点	中国語を学ぶ意義を十分に認識し、授業に意欲を持って臨むこと。毎回予習、復習が必要。
成績評価の方法	出席率、定期試験の成績、平常点の三項目で総合評価する。
教科書	本間史・孟広学著『中国語ポイント42』（白水社）2,205円

科目名	担当者名
中国語ⅠA〔再クラス〕	そう たい わ
中国語ⅠB〔再クラス〕	曹 泰 和

講義のねらい	中国語に興味と関心を持ってもらうこと。
講義の内容・授業スケジュール	バラエティに富む楽しいテキストで、実際に役立つような会話文を練習する。基礎的な発音、基本文法をゼロから学ぶ。また、ビデオを通じて、言葉と中国文化のことなどについて学ぶ。
履修上の留意点	元気よく、積極的に授業に参加すること。
成績評価の方法	テスト、宿題、出席、学習態度で総合評価する。
教科書	相原茂・李貞愛『北京コレクション入門編』（朝日出版社）2,625円
参考書等	開講時に説明する。
その他	中国語の辞書を一冊買ったほうがよい。

科目名	担当者名
中国語ⅡA	東 映 全

講義のねらい	この講義は、中国語の基礎を学んだ学生を対象に、より上のレベルの中国語の総合的な力を養成する。
講義の内容・授業スケジュール	授業内容は、先ず一年生で習得した基本発音「声母」と「韻母」を2、3回ぐらい復習して、簡単な会話に入る。次に教科書に沿って、短い文章の勉強及び会話へとつなげます。
履修上の留意点	授業へ積極的に参加して下さい。失敗やまちがいを恐れずに発言することが、外国語の習得には最良の方法である。
成績評価の方法	評価に関しては、出席重視と授業態度によって、平常点で評価する。
教科書	陳栄生等共著『中国に行こう』（神保出版）1,050円

科目名	担当者名
中国語ⅡB	王 聡

講義のねらい	中国語の基本表現や日常会話の学習と同時に、発音の復習や中国文化の学習も並行しています。
履修上の留意点	予習を済ませてあることを前提に授業します。
成績評価の方法	前期試験40%、後期試験40%、出席率・授業態度20%。
教科書	三瀧正道・楊光俊・劉雅新『たのしく話そう中国語』（CD付）（朝日出版社）2,205円

科目名	担当者名
中国語ⅡA〔再クラス〕	ひろ かね かなこ
中国語ⅡB〔再クラス〕	弘 兼 加奈子

講義のねらい	全12課の課文を通し、中国人の生活面における日本との違いを紹介していく。翻訳が中心となるが、発音・声調も重視し、読みにも力を入れる。
成績評価の方法	成績は年間約4回のテストと教場での平常評価によって総合的に判断する。
教科書	張継濱・小川文昭『中国ってどんな国？』（白水社）2,100円

〔スペイン語〕

科目名	担当者名
スペイン語 I A	おお いわ 大 岩 功

講義のねらい	スペイン語初級文法の基礎を概観し、日常会話に最低限必要な知識の獲得、およびスペイン語圏の文化に対する理解を深めることをねらいとします。
講義の内容・授業スケジュール	文法事項の解説と演習をベースに、折りに触れて会話の練習なども行います。ビギナーが特につまづきやすいポイントを押さえながら授業を進めます。
履修上の留意点	適宜小テストを行います。授業には辞書を必ず持参すること。
成績評価の方法	適宜行う小テストと前期・後期期末テストの得点、および出席状況、受講態度を勘案して総合的に評価します。
教科書	中川清・児玉悦子著『皆のスペイン語』（弘学社） その他、必要なプリント教材を適宜用意します。
参考書等	推奨辞書 宮城昇編『現代スペイン語辞典』（白水社） 参考書 大岩功著『スペイン語なるほど講座』（三修社） 寿里順平著『基礎スペイン語文法』（東洋書店）

科目名	担当者名
スペイン語 I B	おお いわ 大 岩 功

講義のねらい	初級文法を段階的に学習しながら、スペイン語の初歩的な作文能力を身につけることをことをねらいとします。
講義の内容・授業スケジュール	文法の学習と並行して文章読解がメインとなります。1年間で現在時制におけるさまざまな文型を学習する予定です。
履修上の留意点	課題となる訳読は必ず予習して授業に臨んでください。宿題をやってくることは最低条件です。授業には辞書を必ず持参すること。
成績評価の方法	年数回のテストと日頃の出席状況、受講の積極性を勘案して総合的に評価します。
教科書	大岩功著『やさしいスペイン語文法』（三修社） その他、必要なプリント教材を適宜用意します。
参考書等	推奨辞書 宮城昇編『現代スペイン語辞典』（白水社） 参考書 大岩功著『スペイン語なるほど講座』（三修社） 寿里順平著『基礎スペイン語文法』（東洋書店）

科目名	担当者名
スペイン語ⅠA〔再クラス〕	くりばやし 栗林 ゆき絵
スペイン語ⅠB〔再クラス〕	

講義のねらい	基本的な単語や挨拶のほか、基本的なスペイン語のことばのしくみを学習し、日常の簡単な会話に応用できることを目標とする。
講義の内容・授業スケジュール	授業は文法事項の説明とそれを応用した練習問題という構成で進める。前期は現在形、後期は過去形、未来形、現在完了を中心に学習する。毎回時間の初めに小テスト（活用・単語）を実施。
履修上の留意点	少しずつ文法や単語を身につけられるよう、毎回、授業の最初に2問程度の小テストを行う。途中でわからなくなってもめげずに授業に出席するように心がけてほしい。
成績評価の方法	平常点（毎時間の小テスト含む）30%と前後期の期末試験70%。半期のうち5回以上欠席した者は試験の受験を認めない。
教科書	初回の授業の授業で指示（プリント配布予定）。初回は必ず出席のこと。
参考書等	『プログレッシブスペイン語辞典』（小学館） *辞書はすでに所有しているものはそれを使用すればよいが、未購入の者は上記の辞書を購入するように。

科目名	担当者名
スペイン語ⅡA	おきのまさじ 荻野 雅 司

講義のねらい	スペイン語Ⅰで学習したものをさらに広く深く学ぶことで実際に使えるスペイン語を習得し、3億人といわれるヒスパニック圏の人々を行う communication の術を身に付けることを狙いとします。
講義の内容・授業スケジュール	上記の目的を達成するために、一方でスペイン語Ⅰで得た知識を今一度リフレッシュしながら、新しい領域に進んで行きます。この過程では教科書以外に、プリント、テープ、ビデオ等を通じて実際に使われている、生きたスペイン語にも接して行きます。
履修上の留意点	言葉の学習には継続が肝要ですから、年間を通じて、コンスタントに出席できる学生の受講を期待します。
成績評価の方法	テストの成績よりも、むしろ日頃の受講態度を重視します。
教科書	佐藤玖美子著『新・何を話しましょうか』（弘学会）

科目名	担当者名
スペイン語ⅡB	中山直次

講義のねらい

スペイン語文法の体系を、できる限り生きた表現と結びつけて修得することをねらいとします。

講義の内容・授業スケジュール

昨年度スペイン語ⅠBで使用した『トーレス一家の人たち』の前半を簡単に復習した後、その後半を学習します。これまで通り、場面別の会話文を使って音読や訳読の練習をします。次に、その会話文から取り出した文法を解説します。最後に、関連問題を解いたり、応用演習を行ったりします。

履修上の留意点

外国語の学習には「継続は力なり」という格言がよくあてはまります。「勉強する」というよりは「つきあう」という感覚で結構ですので、気楽に、しかし「気長に」取り組んでください。

成績評価の方法

平常授業時の演習や応答の状況、および宿題や小テストの成績などを記録しておき、その合計を数値化して成績の評価とします。(いわゆる学期末定期試験は行いません)。

教科書

中山著『トーレス一家の人たち』(芸林書房)
(昨年度からの継続受講者は購入不要です。)

参考書等

辞書・参考書等は、現在持っているもので十分間に合うと思います。ただ、参考書類を一冊も持っていない人は、何か手頃な自習参考書を一冊購入し、予習・復習の際に常時参照することをお勧めします。

科目名	担当者名
スペイン語ⅡA〔再クラス〕	栗林ゆき絵
スペイン語ⅡB〔再クラス〕	

講義のねらい

現在形の復習のあと、過去や未来の動詞の形を中心に学び、初級会話を少し越えた豊かな表現を身につける。

講義の内容・授業スケジュール

活用・文法事項・重要表現の確認→応用作文の順に学習を進める。毎回授業の初めに、前の回に学習した項目の確認のための練習問題を行う。

履修上の留意点

できるだけ個人のレベルに合わせた指導を行うので、出席をかかさないように。辞書(和西単語集つき)は授業中に使用するので必ず持ってくること。

成績評価の方法

平常点(毎時間の小テスト含む)30%と前後期の期末試験70%。半期のうち5回以上欠席した者は試験の受験を認めない。

教科書

福嶋教隆『生き生きスペイン語』(朝日出版社)2,000円

参考書等

〈辞書〉『プログレッシブ スペイン語辞典』(小学館)
*和西(単語集)のついている辞書をすでに所有している者はそれを使用すればよい。

[ロシア語]

科目名	担当者名
ロシア語 I A	ひろ た ひで やす 廣 田 英 靖

講義のねらい

- 1) 母音、子音の基本的発音、アクセント記号(力点)の法則、イントネーションの5つの型をみっちりやります。
- 2) かんたんな挨拶の表現、日常つかわれるロシア語の独特な表現(ボデー・ラングウエジを含む)を身につけます。
- 3) 平易な内容をききとりによって理解できるようにします。
- 4) 基礎的な初等文法を学びます。
- 5) アルファベットを活字体、筆記体で書けるようにします。
はじめに絵やビデオをみながら、ロシア語のやさしい単語や短文を何回も繰り返しかえし練習します。教員が質問した事を何回もくりかえしてもらい、うけ答えをします。少し音に馴れてきたらテープを使い更に理解度を深め、語尾変化に抵抗感のなくなるように何回もゆっくり、くりかえしながら発話してもらうようにします。授業では各人が何回も発話をさせられますが、全く恐れる必要はありません。全教員が優しく指導してくれますので恥かしがらないことが大切です。

講義の内容・授業スケジュール

前期はイントネーションや発音に力点をおき、後期はやさしい短文のききとり、初級文法を学びます。

成績評価の方法

試験は行わず、平常点で評価します。

教科書

杉山秀子他著『21世紀のロシア語』(大学書林) 1,800円

参考書等

『露和辞典』

科目名	担当者名
ロシア語 I B	ひろ た ひで やす 廣 田 英 靖

講義のねらい

- 1) 母音、子音の基本的発音、アクセント記号(力点)の法則、イントネーションの5つの型をみっちりやります。
- 2) かんたんな挨拶の表現、日常つかわれるロシア語の独特な表現(ボデー・ラングウエジを含む)を身につけます。
- 3) 平易な内容をききとりによって理解できるようにします。
- 4) 基礎的な初等文法を学びます。
- 5) アルファベットを活字体、筆記体で書けるようにします。
はじめに絵やビデオをみながら、ロシア語のやさしい単語や短文を何回も繰り返しかえし練習します。教員が質問した事を何回もくりかえしてもらい、うけ答えをします。少し音に馴れてきたらテープを使い更に理解度を深め、語尾変化に抵抗感のなくなるように何回もゆっくり、くりかえしながら発話してもらうようにします。授業では各人が何回も発話をさせられますが、全く恐れる必要はありません。全教員が優しく指導してくれますので恥かしがらないことが大切です。

講義の内容・授業スケジュール

前期はイントネーションや発音に力点をおき、後期はやさしい短文のききとり、初級文法を学びます。前期はイントネーションや発音に力点をおき、後期はやさしい短文のききとり、初級文法を学びます。

成績評価の方法

試験は行わず、平常点で評価します。試験は行わず、平常点で評価します。

教科書

杉山秀子他著『21世紀のロシア語』(大学書林) 1,800円

参考書等

『露和辞典』

科目名

担当者名

ロシア語ⅠA〔再クラス〕

すぎやま ひでこ
杉山 秀子

ロシア語ⅠB〔再クラス〕

講義のねらい

- 1) 母音、子音の基本的発音、アクセント記号（力点）の法則、イントネーションの5つの型をみっちりやります。
- 2) かんたんな挨拶の表現、日常つかわれるロシア語の独特な表現（ボデー・ラングウエジを含む）を身につけます。
- 3) 平易な内容をききとりによって理解できるようにします。
- 4) 基礎的な初等文法を学びます。
- 5) アルファベットを活字体、筆記体で書けるようにします。

はじめに絵やビデオをみながら、ロシア語のやさしい単語や短文を何回も繰り返しかえし練習します。教員が質問した事を何回もくりかえしてもらい、うけ答えをします。少し音に馴れてきたらCDを使い更に理解度を深め、語尾変化に抵抗感のなくなるように何回もゆっくり、くりかえしながら発話してもらおうようにします。授業では各人が何回も発話をさせられますが、全く恐れる必要はありません。全教員が優しく指導してくれますので恥かしがらないことが大切。

講義の内容・授業スケジュール

前期はイントネーションや発音に重点をおき、後期はやさしい短文のききとり、初級文法を学びます。

成績評価の方法

試験は行わず、平常点で評価します。

教科書

『21世紀のロシア語』（大学書林）1,800円＋税

参考書等

『露和辞書』

科目名

担当者名

ロシア語ⅡA

ひろた ひでやす
廣田 英靖

講義のねらい

ロシア語ⅠAで学んだ基本的な語尾変化、基礎文法を復習しながら、複文（関係代名詞、形動詞、副動詞など）をさらにわかりやすく具体的に解説し、辞書の引き方を学び、辞書をたよりに簡単な文章を読んだり、日常会話も試みます。

授業の合間には、ロシア文化圏を紹介するビデオを鑑賞し、またWindowsで日本語ワープロソフトWordを用いてロシア語の文書を作り、「パソコンでロシア語の処理ができる」ことを実感します。

成績評価の方法

出席および平常点を重視し、授業内に行う小テストを加え評価します。

教科書

教場にてプリントを配布。

参考書等

『露和辞書』

科目名	担当者名
ロシア語ⅡB	ひろ た ひで やす 廣 田 英 靖

講義のねらい

ロシア語ⅡBで学んだことを基礎に、新聞・雑誌などから選んだ生の興味ある見出しや短い文章を教材として利用し、ロシア語の理解力を向上させるために、辞書を実用的な文章の学習に取り組みます。

授業の合間には、旧ソ連、新しいロシアおよびその近隣諸国の文化、歴史の理解に役立つビデオを鑑賞し、またユーモアあふれるロシアのアネクドット（小話）や含蓄に富んだことわざにもふれ、生き生きとした実践的なロシア語学習を目指します。

成績評価の方法

出席および平常点を重視し、授業内に行う小テストを加え評価します。

教科書

教場にてプリントを配布。

参考書等

『露和辞書』

科目名	担当者名
ロシア語ⅡA〔再クラス〕	すぎ やま ひで こ 杉 山 秀 子
ロシア語ⅡB〔再クラス〕	

講義のねらい

1年次の文法事項の練習と、声を出してロシア語がスラスラ読めるように練習します。ロシア語のかんたんな会話と、速読による文意の把握をめざします。

講義の内容・授業スケジュール

- アクセント記号のついた文章をすらすらと読めるようにします。
- 日常つかわれる会話のより複雑なヴァリエーションを学びます。
- やさしい文章を速読で大意がつかめる練習をします。
- かんたんな文を正しく聴きとる練習をします。
- 中等文法のエッセンスを勉強をします。

成績評価の方法

出席と平常点を重視します。

教科書

既習の教科書と文法表。

参考書等

『露和辞書』

その他

プリント配布。教場にて指示します。

英 会 話 I

初級の会話クラスです。基本的な日常表現ができることを目指します。達成目標の目安は英検2級合格、TOEFL®のスコア450点、TOEIC®のスコア500点程度です。

科 目 名

担 当 者 名

英会話 I

ロビン, G. F.

講義のねらい

This course will focus on developing conversation skills for students using vocabulary and grammar that would normally have been acquired from previous courses in the school system. New vocabulary will be introduced as needed. Students will be encouraged to express themselves in English through pair and group activities and will be graded

講義の内容・
授業スケジュール

It will consist of pair group, small group, and class discussion activities designed to gradually build and improve upon vocabulary and fluency normally acquired from previous pre-college study of English.

成績評価の方法

According to class participation, homework assignments, and a mid-term and final test which will be given at the end of each term.

教 科 書

Warren Wilson, Roger Bernaro *FIFTY-FIFTY: Student book 1* (Longmans)
ISBN0-13-920000-2

英 会 話 Ⅱ

初級の会話クラスです。基本的な日常表現ができることを目指します。達成目標の目安は英検 2 級合格、TOEFL®のスコア450点、TOEIC®のスコア500点程度です。

科 目 名	担 当 者 名
英会話Ⅱ	ロビン, G. F.

講義のねらい

This course will focus on developing conversation skills for students using vocabulary and grammar that would normally have been acquired from previous courses in the school system. New vocabulary will be introduced as needed. Students will be encouraged to express themselves in English through pair and group activities and will be graded

講義の内容・ 授業スケジュール

It will consist of pair group, small group, and class discussion activities designed to gradually build and improve upon vocabulary and fluency normally acquired from previous pre-college study of English.

成績評価の方法

According to class participation, homework assignments, and a mid-term and final test which will be given at the end of each term.

教 科 書

Vaughan Jones, Sue Kay "INSIDE ENGLISH" ISBN4-89585-489-2

英 語 L L I

情報メディア機器（1号館3・4階のPC教場）を使用し、英語の発音、アクセント、イントネーションなどの口頭練習、日常会話などのヒアリングとスピーキングを訓練します。TOEFL®で450点、TOEIC®500点、英検2級合格程度を達成目標とする初級レベルのクラスです。

科 目 名	担 当 者 名
英語 L L I	甲 斐 捷 子 <small>か い かつ こ</small>

講義のねらい

外国語の習得は、乳幼児の言語習得を観察すればわかるように、音と習得が基本です。この授業では、河合楽器が製作したビデオを使って、アメリカ英語の発音を視覚的に、基礎から学び直し、バランスの取れた英語力を身につけることが目的です。一つ一つの音の習得から初めて、単語、短文を正確に聞き取り、アメリカ人と同じような発音で発話する訓練へと進みます。音の習得ができれば、英語を学ぶ楽しさが倍加するだけでなく、正確なリスニング力、会話力が身につきます。小中学校の間に、きちんとした発音の訓練を受けなかった皆さんには、ぜひ履修していただきたい授業です。

講義の内容・授業スケジュール

テキストは全22章からなり、各章の構成は、課題発音を含むスキット、発音方法、日米比較、単語、短文の練習、初めのスキットとなっています。発音の様子が映像で写し出されますから、それを見ながら、また、自分の発音とビデオの発音とを重ね合わせながら、正しい発音を習得します。前期でビデオを終了し、後期は American Accent Training のCD を使用してレベルアップを図ります。このハンドアウトは開講時に配布します。

履修上の留意点

CD のダビングは著作権法上できませんが、授業時の練習で十分です。

成績評価の方法

一応の目安として、平常評価としての出席10%、前期試験30%、後期試験30%、小テスト30%による総合評価とします。

教 科 書

Hisako Murakawa 著 *Sounds Right! Sounds Good!*
(MacMillan Language House) 2,000円

英 語 L L II

情報メディア機器（1号館3・4階のPC教場）を使用し、英語の発音、アクセント、イントネーションなどの口頭練習、日常会話などのヒアリングとスピーキングを訓練します。TOEFL®で450点、TOEIC®500点、英検2級合格程度を達成目標とする初級レベルのクラスです。

科 目 名	担 当 者 名
英語 L L II	狩野 晃一

講義のねらい

TOEFL450点、TOEIC500点、英検2級取得程度の実力を養うことを目標にする。

講義の内容・授業スケジュール

前期はなるべく英語の音および自然なスピードになれるために特に多くの音声を聞くようにする。後期は前期でやったことを生かし TOEIC 等の練習問題を進めてゆく予定。

履修上の留意点

（小さな）辞書を必ず携帯すること。

成績評価の方法

3分の2以上の出席者のみが評価の対象。

教 科 書

初回、教場にて指定する。

外
国
語

4. 保 健 体 育 科 目

保健体育科目の目標

本学の『保健体育科目』は、総合的人間性の形成を目指し以下の点に留意して開設されています。

人間がひととして生きていくうえで、自己の身体について知り、理解を深めていくことは重要なことであり、健康の増進や、体力の向上のための基本的な知識や習慣を、生涯を通じて知的・身体的遺産として獲得することは、あらゆる人間活動を支える基盤であります。スポーツは、単に楽しみとしてではなく、健康や体力づくりの手段として、また、身体を認識する手段としても重要であると考えられます。本学の『保健体育科目』は、様々なスポーツ種目を通して展開し、その種目の特性に沿った活動や経験を通して、生涯を通じて健康の増進や体力の向上を図ると共に、スポーツを享受する能力を高め、ゆとりある人間社会の形成を実現する能力を学生自らが考え獲得することを目標としています。

さらに、人間疎外条件の多い現代社会において、運動実践の過程で習得される公正、協調、克己、決断、集中などのスポーツの本質的要素であるパーソナリティーを共通の体験を通して得ることで、学生時代でなければ得られない人間関係を構築し、社会性を養い、人間愛豊かな人間を形成することを目指しています。

保健体育科目時間表

(於：本校体育館)

	月 曜 日	火 曜 日	水 曜 日	木 曜 日
限6時				鈴木 健康・スポーツ論*
7 時 限	※村松	バドミントン	田 中 健康・スポーツ論*	※高橋 空手道
	大 石	ミニサッカー		鈴木 卓球
	山 口	室内球技		三 幣 バドミントン

※は、科目の主担当者。

*時間表で教場を確認のこと。

4. 保健体育科目

科目名	配当学科	開講区分	単位	担当者名	ページ
健康・スポーツ論	法B選	半期	2	鈴木淳平	567
健康・スポーツ論	法B選	半期	2	田中佳孝	568
健康・スポーツ実習(卓球)	法B1選	通年	2	鈴木淳平	569
健康・スポーツ実習(バドミントン)	法B1選	通年	2	秋田浩一 三幣晴三	570
健康・スポーツ実習(室内球技)	法B1選	通年	2	山口良博	571
健康・スポーツ実習(空手道)	法B1選	通年	2	高橋俊介	572
健康・スポーツ実習(ミニサッカー)	法B1選	通年	2	大石武士	572
生涯スポーツ実習(集中前期・基礎/応用)		集中授業	1	休講	
生涯スポーツ実習(集中後期・基礎/応用)		集中授業	1	休講	
生涯スポーツ演習Ⅰ(ゴルフ) (シーズン基礎/応用)	法B選	シーズン	2	館岡儀秋 他	573
生涯スポーツ演習Ⅱ(スキー・スノーボード) (シーズン基礎/応用)	法B選	シーズン	2	江口淳一 他	575

科 目 名	担 当 者 名
健康・スポーツ論	鈴 木 淳 平

講義のねらい

健康であるための諸条件の追求と、それに深くかかわる体育・スポーツの本質を見つめて、その科学的、医学的知識を持って、将来の社会的な生活拡充化の意識の育成を図る。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション
- 2 時限目：健康のための条件を再確認し、健康と身体運動の意義を認識する。
- 3 時限目：スポーツの発生経緯、発案者、命名の様相、各々の特徴、分類について
- 4 時限目：スポーツと体力の関係について
- 5 時限目：運動能力発達の原理
- 6 時限目：運動能力の領域
- 7 時限目：運動能力の構造
- 8 時限目：運動能力とスポーツ技能の分析
- 9 時限目：総合体力の定義と要素
- 10 時限目：スポーツ実施上の功罪、その一つとしてのスポーツ生涯について
- 11 時限目：トレーニング理論全般
- 12 時限目： 〃
- 13 時限目：応急処置（テーピング、アイシング等）の実際
- 14 時限目： 〃
- 15 時限目：まとめ

成績評価の方法

出席を重視し、学期末のレポートとの総合評価をする。

講義のねらい

煩雑な現代社会の中で、人間が健康を維持しながら日常生活を営む為には安定した栄養摂取、十分な休養(睡眠)と適度な運動が必要である。これら三つは全て不可欠なものであるが、この講義では殊に栄養の観点から健康に係る諸問題を識り、より積極的な健康維持の為の栄養学的方法を学び、ストレスの多い現代社会生活に対抗できる食生活や健康な学生生活を送る為の栄養学をビタミンを中心に学ぶ。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 人間に必要な栄養素
- 2 戦前・戦後に於ける栄養不足の違いについて
ビタミンとは
- 3 ビタミンの生理作用と薬理作用について
- 4 ビタミン欠乏症について
潜在性ビタミン欠乏症と自律神経失調症について
- 5～7 主なビタミンの働きについて
A、B群、C、D、E、K、U等
- 8～10 健康な学生生活を送る為のビタミン
○飲酒
○喫煙
○スポーツ
○外食、甘党
○ダイエット
○妊娠
- 11～12 健康を保つ食べ物
- 13 筆記試験

履修上の留意点

1. 遅刻は認めない。
2. 授業中の携帯電話の使用は厳禁。違反者は不合格とする。

成績評価の方法

2/3以上の出席をした者に対し筆記試験を行ない、評価を行なう。出席回数が不足した者は不合格とする。

参考書等

『健康科学ライブラリー』1、4、7、8、9巻(大修館)
『0歳からのビタミンバイブル』/『貝原益軒の養生訓』/『サーロインステーキ症候群』
『食事療法』/『新健康になるシリーズ』(女子栄養大学)

その他

授業は、主に講義形式で進めるが、テーマによっては受講生の見解を発表してもらう場合もある。また、バイオフィードバック装置(脳波測定装置)等の機器を利用して実験的な内容の授業も試みたい。

科目名

担当者名

健康・スポーツ実習(卓球)

すずき じゅん べい
鈴 木 淳 平

講義のねらい

卓球を生涯スポーツとして取り組むことができる基本的能力を身につける。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション
- 2 時限目：ルールの説明、シングルスゲーム
- 3 時限目：シングルスゲーム
- 4 時限目：〃
- 5 時限目：〃
- 6 時限目：〃
- 7 時限目：ダブルスゲーム
- 8 時限目： }
 } 総合練習・シングルスゲーム
- 11時間目： }
12時間目： } 総合練習・ダブルスゲーム
- 15時間目： }

履修上の留意点

- 1. 定員は40名程度とする。
- 2. 実技は本校第1体育館で行なう。
- 3. 服装は身軽に動作できるものがよい。
- 4. シューズは体育館専用のものを用意する。
- 5. その他のものは用意しなくてもよい。

成績評価の方法

出席の状況、運動への積極性、授業態度、技術・体力などから総合的に評価する。

科目名

担当者名
 あき 秋 三
 た 田 幣
 こう 浩 晴
 いち 一 三

健康・スポーツ実習(バドミントン)

講義のねらい

バドミントンは、大衆スポーツとして日本人には非常に親しい存在である。幼いころからバドミントンラケットとシャトルコックで遊びとしてラリーを楽しんでいる。にもかかわらず、バドミントンを正式のルールのもとで実施できる人は非常に少ない。これは、おそらく学校体育の中で実施している学校がすくないことによるものであろう。

本講義では、手軽に実施できて、しかも運動量も予想以上に多く、虚々実々の駆け引きを必要とするバドミントンを、生涯スポーツとして長く楽しめるように、そのための基礎知識と技術を提供しようとするものである。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション・バドミントンの基礎知識・ラリー練習
(バドミントンのスイング技術・グリップ)
- 2 時限目：サーブの基本技術・フォアとバックスイングの基本技術
簡易ゲーム(ダブルスのラリーゲーム)
- 3 時限目：スマッシュの基本技術/ネット際のプレー技術
簡易ゲーム(ダブルスのラリーゲーム)
- 4 時限目：バドミントンコートの説明・ダブルスゲームの運び方、ルールの説明
正式ルールでのダブルス練習試合
- 5 時限目：ダブルスゲーム、1部リーグから4部リーグまでのリーグ戦第1日目
- 6 時限目：同 第2日目
- 7 時限目：同 第3日目
- 8 時限目：同 第4日目
- 9 時限目：同 第5日目
- 10 時限目：シングルスゲームの運び方、ルールの説明、正式シングルスゲームでの練習試合
- 11 時限目：シングルスゲーム、1部から7部までのリーグ戦
- 12 時限目：同 第2日目
- 13 時限目：同 第3日目
- 14 時限目：ダブルス、トーナメント優勝戦
- 15 時限目：シングルス、トーナメント優勝戦

履修上の留意点

服装：一般的な運動服装
 シューズ：運動靴(体育館用として中履きのシューズを使用すること)

成績評価の方法

出席を主体とし、それに技術、ルール、マナーなどの理解度を加える。

その他

バドミントンラケット・シャトルコックは大学で用意する。

科目名**担当者名**

健康・スポーツ実習(室内球技)

やまぐちよしひろ
山口良博**講義のねらい**

バスケットボール、バレーボールを教材とし、それぞれの競技を楽しむための基礎技術やルールを学びながら、健康・体力を維持し、自己の身体への認識を深め、ゲームを通じて、これらの競技を理解すると共に、豊かな人間関係づくりを目的とする。

**講義の内容・
授業スケジュール**

- 1 時限目：オリエンテーション、授業内容の説明
(バスケットボール)
- 2 時限目：ボールハンドリング、シュート、ゲーム（1次リーグ）
- 3 時限目：ハーフコート2対1、ゲーム（1次リーグ）
- 4 時限目：ハーフコート3対2、ゲーム（1次リーグ）
- 5 時限目：ハーフコート4対3、ゲーム（1・2次リーグ）
- 6 時限目：ハーフコート3対3、ゲーム（2次リーグ）
- 7～9 時限目：ゲーム（2次リーグ）
(バレーボール)
- 10時限目：オーバー・アンダーパス、ゲーム（リーグ戦）
- 11時限目：レシーブ・スパイクの基本、ゲーム（リーグ戦）
- 12時限目：サーブ・レシーブ・スパイクの応用、ゲーム（リーグ戦）
- 13～15時限目：ゲーム（トーナメント）

履修上の留意点

服装は、一般的な運動服装とする。体育館シューズを用意すること。

成績評価の方法

出席点（70点）、実技点（20点）、態度点（10点）、60点以上を合格とする。

その他

種目の内容については、第1回目の授業時に決定する。

科目名	担当者名
健康・スポーツ実習(空手道)	たか 高 橋 俊 介

講義のねらい

空手道は、男子、女子を問わずに誰でもができ、空手道を通して礼節を重んずる精神を養成することを目的とする。また、身体各部を均等に動かし呼吸運動を伴うことによって内臓諸器官の機能を向上させることができる優れた健康法でもある。さらに護身術としても楽しく特殊な技術を習得する授業である。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 時限目：空手道の歴史と技の説明
- 2 時限目：自然体での上段直突、中段直突、上段揚受、中段外受
- 3 時限目：閉足立ちによる前蹴り、前屈立ちによる逆突、下段払い
- 4 時限目：前屈立ちによる移動基本、追突、前蹴り
- 5 時限目：前屈立ちにて後方に下がって上段揚受、中段外受、下段払い、下段払い受
- 6 時限目：自然体から左右の猿臂、前屈立ちで身体を回転してからの猿臂打
- 7 時限目：総合的に反復して練習
- 8 時限目：総合的に反復して練習
- 9 時限目：2人組で相対して攻撃技と防禦技をかけ合う約束組手に入る。
- 10 時限目：約束組手の中に猿臂打、手刀打を入れて護身術に入る。
- 11 時限目：総合的に反復して練習
- 12 時限目：総合的に反復して練習
- 13 時限目：総合的に反復して練習
- 14 時限目：総合的に反復して練習
- 15 時限目：実技試験

履修上の留意点

服装は、全員が授業用の空手衣を着用する。

成績評価の方法

授業出席状況、授業の参加態度、実技テストにて総合的に評価する。

その他

雨天時は走のための補強トレーニング

科目名	担当者名
健康・スポーツ実習(ミニサッカー)	おお 大 石 武 士

講義のねらい

ミニサッカーのゲームは、ボールを蹴ること(キック)、止めること(トラッピング)、運ぶこと(ドリブル)から成り立っている。週一回の授業で全てをマスターすることは難しいが、各々の技術の要領を知ることによって数段ボール扱いがうまくなり、ゲームもまた楽しいものになる。本授業では、毎時間余暇感覚でゲームを行い、よき人間関係づくりを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

- 講義の内容・授業スケジュール
- 1 時限目：オリエンテーション
 - 2 時限目：ゲームの進め方、練習ゲーム
 - 3 時限目：ゲームの攻め方、守り方、ゲーム
 - 4 時限目～9 時限目：基礎技術の応用練習、ゲーム
 - 10 時限目～14 時限目：ゲーム
 - 15 時限目：まとめ

履修上の留意点

服装は、一般的な運動服装で良い。シューズについては、オリエンテーションの時に説明する。

成績評価の方法

評価は出席点70%、総合評価30%で行う。

生涯スポーツ演習Ⅰ(ゴルフ)
(シーズン基礎/応用)たておか よしあき
館岡 儀秋 他

講義のねらい

「健康スポーツ実習」で行われているゴルフ授業を一步進めて、ゴルフコースを使用してゴルフを基本からラウンドプレーまでを体験することをねらいとする。したがって、初めてゴルフを体験しようとする初心者から、経験者までを対象とするカリキュラムが組まれている。ゴルフの技術的向上を主たるねらいとするが、プレーヤーとしてのマナーやエチケット、更に同伴競技者とのコミュニケーションも本講義の重要なねらいとなる。

生涯スポーツとして、ゴルフの良さを十分に楽しみ、ゴルフを通して良き人間関係を作っていくための基礎を学んでほしい。

講義の内容・
授業スケジュール

1. オリエンテーション：
 - 1回目 4月8日(土) 12:20~12:40 2研-102教場
 - 2回目 4月15日(土) 12:20~12:40 2研-102教場

※本オリエンテーションにて、受講許可書を発行いたします。
1回目のオリエンテーションで定員に達しない場合、2回目を実施します。
2. 事前授業：7月17日(月) 13:00~16:10 2研-102教場「ゴルフの基礎知識」
3. 実習内容および現地講義
 - 1日目 9月4日(月)

講義：9:00~12:10 ゴルフコースとゲーム、スイングの基礎
実技：13:00~17:30 打撃練習

※注意：1日目は、玉川校舎で実施する。
 - 2日目 9月5日(火) 実技・講義：11:00~18:00 打撃練習・ゴルフ規則Ⅰ、その他
 - 3日目 9月6日(水) 実技・講義：8:30~17:00 打撃練習・ラウンド・ゴルフ規則Ⅱ
 - 4日目 9月7日(木) 実技・講義：8:30~17:00 打撃練習・ラウンド・ラウンドの総括
 - 5日目 9月8日(金) 実技・講義：8:30~13:30 打撃練習・ラウンド・閉校式

履修上の留意点

生涯スポーツ演習Ⅰ(シーズン基礎・シーズン応用)を履修する場合は、上記オリエンテーションに出席し、担当者の受講許可を受けなければなりません。

1. 実習日程：平成18年9月4日(玉川校舎)・9月5日~8日(現地：3泊4日)
2. 場所：

宿泊：マロウドインターナショナルホテル成田
286-0121 千葉県成田駒井野763-1
電話 0476-30-2222 FAX 0476-32-9112

練習場コース：ダイナミックゴルフ成田
289-2231 千葉県香取郡多古町飯笹1040
電話 0479-75-0793 FAX 0479-75-0785
3. 定員：40名
4. 集合解散：
 - (1) 集合 9月4日(月) 午前9時 玉川校舎 305教場
9月5日(火) 午前11時 ダイナミックゴルフ成田
 - (2) 解散 9月8日(金) 午後12時30分：予定 ダイナミックゴルフ成田
5. 受講料：35,700円(左記金額には、交通費は含まれない。)
6. 納入期間：平成18年5月22日(月)~6月3日(土)

証明書自動発行機(教務部ロビー設置)で受講料を納入後、納入書を保健体育部(第2研究館9階資料室)に提出すること。期間内に納入しない場合は、受講することができないので注意して下さい。
7. 服装・用具
 - (1) 一般的なゴルフ服装(セーター・ウインドブレーカーも天候によって必要)
 - (2) ゴルフシューズ(ソフトスパイクに限る)は、必ず用意すること。ただし、練習場においては運動靴でも可。
 - (3) グローブは、必ず各自で用意すること。
 - (4) ゴルフクラブ・キャディーバッグは大学で用意するが、自分の物を持参してもよい。

成績評価の方法

オリエンテーション・事前授業および実習(5日間)によって2単位が認められる。成績は講義・実技の出席状況講義・実技テスト実習参加態度等総合的に評価される。

そ の 他

都合で参加できなくなった場合は、早急に保健体育部（第2研究館9階資料室）に連絡すること。なお、受講料の一部は、返却されないことがあります。

前期終了科目成績発表日（9月4日）と1日目授業（玉川校舎）の日程が重複しています。該当者は、1日目の午前中に、予め教務部窓口で成績表を受け取ってから授業に参加してください。

生涯スポーツ演習Ⅱ(スキー・スノーボード)
(シーズン基礎/応用)えぐち じゅんいち
江口 淳一 他

講義のねらい

現在わが国において、スキーやスノーボードに代表されるスノースポーツは、国民に広く普及し「生涯スポーツ」として定着している。これらを楽しむ為に、実習および講義によって基礎技術や練習方法、ならびにゲレンデにおけるマナーなどについて理解を深めていきたい。

実習はそれぞれの技術レベルに応じて班分けして実施する。コースの内容は以下の通りである。

- スキー・スノーボード基礎コース：雪面に慣れることから始まり、基礎的な滑走技術の習得を目指す。
- スキー・スノーボード応用コース：基礎コースを更に発展させ、安全で楽しくゲレンデを滑る技術の習得を目指す。

講義の内容・
授業スケジュール

1. オリエンテーション 1回目 4月8日(土) 12:20~12:40 2研-102教場
2回目 4月15日(土) 12:20~12:40 2研-102教場
※ 本オリエンテーションにて、種目決定と受講許可書発行を行います。
1回目のオリエンテーションで定員に達しない場合、2回目を実施します。
2. 事前授業 1月11日(木) 13:00~16:00 2研-102教場「スノースポーツの基礎知識」
3. 実習内容および現地講義
1日目 2月5日(月)
午後、現地ホテルロビー集合
午後：班別実習および全体講義「スノースポーツの基礎技術解説および安全・マナー」
2日目 2月6日(火)
午前・午後：班別実習および全体講義「スノースポーツの応用技術解説」
3日目 2月7日(水)
午前・午後：班別実習および全体講義「スノースポーツと環境」
4日目 2月8日(木)
午前・午後：班別実習および全体講義「本実習の反省とまとめ」
5日目 2月9日(金)
午前・午後：班別実習 午後、現地解散の予定

履修上の留意点

本講座は、生涯スポーツ演習Ⅱシーズン・基礎/応用ですが、履修する場合は、スキーまたはスノーボードのどちらかの種目とします。また、上記オリエンテーションに出席し、担当者の受講許可書を受けなければなりません。受講要項および本講義内容をよく確認して下さい。

- 1) 実習日程：平成19年2月5日(月)~2月9日(金)の4泊5日(現地集合解散)
- 2) 場 所：実習 安比高原スキー場
宿泊・現地講義 安比グラウンド 電話(0195)73-5019
- 3) 定 員：スキー 20名
スノーボード 30名(但し、初心者に限る)
- 4) 受講料：50,000円 ※なお左記金額には、交通費は含まれない。
証明書自動発行機(教務部ロビー設置)で受講料を納入後、納入書を保健体育部(第2研究館9階資料室)に提出すること。期間内に納入しない場合は、受講することができないので注意して下さい。
納入期間：平成18年5月22日(月)~6月3日(土)
- 5) 用 具：用具は現地レンタル可能(有料)。
- 6) 特記事項：卒業年次生が履修する場合は日程などに注意すること。

成績評価の方法

オリエンテーション・事前授業および実習(5日間)に参加終了し、2単位が認められる。成績評価の方法は、事前授業参加状況、各班において実施する実技テストと実習参加態度、並びに技術や理解度も含めて総合的に成績評価がなされる。

そ の 他

都合で参加できなくなった場合は、早急に保健体育部(第2研究館9階保健体育部資料室)に連絡すること。なお、参加費は返却されないことがある。

保健
体育

Ⅱ 専 門 教 育 科 目

法 律 学 科 フ レ ッ ク ス B

授業時間表の区分「A」の科目を履修する場合は、
フレックスAの頁を参照してください。(→P.281)

專科
專門
教育
目

Ⅱ. 専門教育科目

法律学科フレックスB

※印の科目は、フレックスB時間帯では休講ですがフレックスA時間帯では開講されていますので、そちらの頁を参照してください。

科目名	配当学科	開講区分	単位	担当者名	ページ
法学概論	16以降入学生／法B1必	半期	2	北野かほる	583
法学概論A	15以前入学生／法B1必				
公法入門	16以降入学生／法B1必	半期	2	佐藤多美夫 小林弘人	584
法学概論B	15以前入学生／法B1必				
私法入門	16以降入学生／法B1必	半期	2	竹中智香	585
法学概論B	15以前入学生／法B1必				
憲法	法B1必	通年	4	日笠完治	586
民法総則	16以降入学生／法B1必	半期	4	大宮隆	586
	15以前入学生／法B1・2・3・4選必				
刑法総論	16以降入学生／法B1必	半期	4	佐藤多美夫	587
	15以前入学生／法B1・2・3・4選必				
会社法	法B2・3・4選必	通年	4	荒木正孝	588
行政法	16以降入学生／法B2・3・4選必	通年	4	仲田孝仁	589
行政法総論	15以前入学生／法B2・3・4選必				
裁判法	16以降入学生／法B2選	通年	4	五百田俊治	590
	15以前入学生／法B2・3・4選必				
国際法	16以降入学生／法B2選	通年	4	王志安	591
	15以前入学生／法B2・3・4選必				
※比較憲法	法B・法A1・2選	通年	4	西修	306
新入生演習	16以降入学生／法B1選	通年	2	高橋洋城 西修 原田啓一郎 向田正己	592
債権総論	16以降入学生／法B2・3・4選必	通年	4	小野健太郎	593
	15以前入学生／法B2選				
物権法	16以降入学生／法B2・3・4選必	通年	4	今尾真	594
	15以前入学生／法B2選				
※法社会学	法B・法A1・2選	通年	4	岡崎修	307
日本法制史	法B・法A1・2選	通年	4	茂野隆晴	595
※西洋法制史	法B・法A1・2選	通年	4	北野かほる	309
政治学原論	法B・法A1・2選	通年	4	大塚桂	596
※政治史	法B・法A1・2選	通年	4	村井良太	311
経済原論	法B・法A1・2選	通年	4	藤原碩宣	597
行政学	法B・法A1・2選	通年	4	田丸大	597
※法律時事英語	法B・法A1・2選	通年	4	牧野和夫	314
商法総則・商行為法	法B2選	通年	4	川口幸美	598
刑法各論	法B2選	通年	4	松村格	599
刑事政策	法B・法A2選	通年	4	覚正豊和	600
債権各論	法B・法A2選	通年	4	須賀昭徳	601

※英米法	法B・法A 2選	通年	4	北野かほる	318
※仏法	法B・法A 2選	通年	4	上井長久	319
※独法	法B・法A 2選	通年	4	山口邦夫	320
法思想史	法B・法A 2選	通年	4	高橋洋城	602
演習 I	法B 3選	通年	4	向田正巳	603
演習 I	法B 3選	通年	4	青野博之	603
演習 II	法B 4選				
演習 I	法B 3選	通年	4	大宮隆	604
演習 II	法B 4選				
演習 I	法B 3選	通年	4	金子昇平	604
演習 II	法B 4選				
演習 I	法B 3選	通年	4	北野かほる	605
演習 II	法B 4選				
演習 I	法B 3選	通年	4	西修	605
演習 II	法B 4選				
演習 I	法B 3選	通年	4	原田啓一郎	606
演習 II	法B 4選				
演習 I	法B 3選	通年	4	山口邦夫	606
演習 II	法B 4選				
演習 II	法B 4選	通年	4	荒木正孝	607
演習 II	法B 4選	通年	4	河野弘矩	607
※外書講読 I・II (英書)	法B・法A 3・4選	通年	4	王志安	339
※外書講読 I・II (英書)	法B・法A 3・4選	通年	4	金子昇平	339
※外書講読 I・II (英書)	法B・法A 3・4選	通年	4	川口幸美	340
※外書講読 I・II (独書)	法B・法A 3・4選	通年	4	松村格	340
※外書講読 I・II (仏書)	法B・法A 3・4選	通年	4	中野裕二	341
※外書講読 I・II (中国書)	法B・法A 3・4選	通年	4	江林英基	341
担保物権法	法B 3・4選	通年	4	熊谷芝青	608
家族法	法B 3・4選	通年	4	竹中智香	609
有価証券法	法B 3・4選	通年	4	中濱義章	610
※登記法	法B・法A 3・4選	通年	4	田沼浩	342
保険・海商法	法B 3・4選	通年	4	加瀬幸喜	611
民事訴訟法	法B 3・4選	通年	4	間淵清史	611
刑事訴訟法	法B 3・4選	通年	4	松本英俊	612
労働法	法B 3・4選	通年	4	藤本茂	613
社会保障法	法B 3・4選	通年	4	原田啓一郎	614
行政救済法	法B 3・4選	通年	4	金子昇平	615
税法	法B・法A 3・4選	通年	4	中江博行	616
地方自治法	法B・法A 3・4選	通年	4	富井幸雄	617
国際紛争解決法	法B 3・4選	通年	4	王志安	618
国際私法	法B 3・4選	通年	4	佐々木彩	619
環境法	法B・法A 3・4選	通年	4	仲田孝仁	620
経済法	法B・法A 3・4選	通年	4	荒井登志夫	621
※消費者法	法B・法A 3・4選	通年	4	向田正巳	345
知的財産権法	法B・法A 3・4選	通年	4	盛岡一夫	622
民事執行・保全法	法B・法A 3・4選	通年	4	福永清貴	623
倒産処理法	法B・法A 3・4選	通年	4	鈴木貴博	624

※法哲学	法B・法A3・4選	通年	4	高橋洋城	348
※法律学特殊講義〔法女性学〕	法B・法A3・4選	通年	4	堀口悦子	349
財政学	法B・法A3・4選	通年	4	速水昇	625
国際関係論	法B・法A3・4選	通年	4	三船恵美	626
※経済政策	法B・法A3・4選	通年	4	森岡仁	350
※社会政策	法B・法A3・4選	通年	4	原田啓一郎	350
実務演習Ⅰ	法B・法A3・4選	通年	4	中野辰久	627
実務演習Ⅱ	法B・法A3・4選	通年	4	鶴井俊吉 上野雅祥 小林覚 杉山真一	628
実務演習Ⅲ	法B・法A3・4選	通年	4	木村美隆	629
現代企業論	法B・法A3・4選	半期	2	代田純	630
簿記論	法B3・4選	通年	4	鈴木勝浩	631
経営学総論	法B3・4選	通年	4	名取修一	632
会計学総論	法B3・4選	通年	4	石川祐二	633

專科
專門
教育
目

科 目 名	担 当 者 名
法学概論 法学概論 A	きたの 北野 かほる

講義のねらい

法学部に入っではじめて法学を学ぶひとに、法学科履修の前提となるような知識を身につけてもらうことが、第1のねらいです。法学学習の上で必要になる、現実をイメージしながらその法的構造を読みとる力の基礎的感覚を開発することが、第2のねらいです。はじめてのことばかりで、最初はとまどうかもしれませんが、休まずに学習するよう心がけてください。

講義の内容・
授業スケジュール

1. 法のイメージと法学部の講義科目
 - (1) 法とは何か
 - (2) 法学部ではどう学ぶか
2. 法の一般的分類
 - (1) 法の分類
 - (2) 法令の種類
3. 近代日本法とその社会
 - (1) 国家と社会
 - (2) 近代日本が受け継いだ法
 - (3) 近代法の変容
4. 立法の角度からの法
 - (1) 制定法主義とその法源
 - (2) 法の体系性
5. 司法の角度からの法
 - (1) 紛争解決の仕組みと機構
 - (2) 紛争の種類と解決の種類
6. 法令の解釈
 - (1) 事実の法的再構成
 - (2) 事実への法令のあてはめ

履修上の留意点

半期科目で集中的に多くのことを学びます。継続的に出席することが必要です。授業中に小テストを実施することもありますので、休まないようにしてください。

成績評価の方法

前期授業最終時間の試験。小テストやレポートなどが課される場合は、その評価を加味します。

教 科 書

伊藤正己・加藤一郎編『現代法学入門』第3版補訂版（有斐閣）

参 考 書 等

竹下・福井編『はじめての法学』成文堂
 その他の参考書は随時紹介します。授業中に参考資料を配ることもあります。配付資料は原則として研究室などでの追加請求には応じませんので、必ず出席して受け取るようにしてください。

講義のねらい

平成16年度から、従来の法学概論を区分けして、法学概論・公法入門・私法入門とし、それぞれ2単位ずつ、計6単位とした。今年度は、公法入門を2名で6回ずつ担当する。内容は、前半を行政法入門、後半を刑法入門とし、それぞれ最終回に試験を行う。

講義の内容・
授業スケジュール

前半（行政法入門）

1. 行政法とは何か
2. 行政法の法源
3. 行政法の領域
4. 法治行政
5. 行政作用と法
6. 試験

後半（刑法入門）

1. 刑法とはどのような法律か（国家法体系の中での位置づけ）
2. 刑罰について（国家刑罰権・刑による威嚇と現実の裁判）
3. 犯罪が成立するための要件（なぜ逮捕されるのか・裁判を受ける権利）
4. いわゆる罪刑法定主義について（事後法の禁止と法の適正手続）
5. まとめと質疑応答
6. 試験

履修上の留意点

前半と後半で担当者も講義内容も異なるため、各担当者の話は、5回しかない。したがって、1回の欠席もゆるがせにできない。さもなければ試験の成績にひびくことになる。

成績評価の方法

成績は、前半と後半の各試験を合計して評価するが、試験はそれぞれの担当者の講義最終時間とする（計2回）。どちらか一方が不可となれば単位を取得することが難しくなるので注意すること。

教科書

前半・後半ともに教科書は使用しない。

参考書等

参考書はその都度紹介するので、積極的に読書するようにしてほしい。

科目名**担当者名**私法入門
法学概論 Bたけなか
竹中智香**講義のねらい**

この科目は、法律学科の新入生がこれから私法分野の科目を学んでいく上で、必要な基礎的な知識を身につけていくために設けられているものです。

本来、「私法」は個人の日常生活に密接に関連した問題を扱い、身近な分野であるはずですが、「公法（憲法や刑法）」に比べると近寄りにくい。その理由は、登記簿・契約書・手形・小切手など一般の学生にとって必ずしも親しみのわかないものが次々に出てくるし、少なくとも、学生の日常生活からかけ離れ、具体的問題としてイメージすることができないことにあります。そこで、現実の社会生活における身近な問題や具体的事案を多く取り上げ、興味を持てるように講義を進めます。

**講義の内容・
授業スケジュール**

学習の順番や方法は、それぞれの先生が工夫して、講義を進めていきますが、共通して学ぶ項目は以下の通りです。

1. 法の分類と私法の意義
(1) 公法と私法 (2) 私法 (3) 公私混合法 (4) 新たな法領域
2. 私法の基本原理
(1) 序説 (2) 近代私法の基本原理 (3) 現代における近代私法原理の修正
3. 私法の法源
(1) 序説 (2) 制定法 (3) 慣習法 (4) 判例 (5) 条理
4. 私法の効力
(1) 序説 (2) 時に関する効力 (3) 人に関する効力 (4) 場所に関する効力
5. 私法の適用と解釈
(1) 序説 (2) 裁判外の紛争解決 (3) 裁判による紛争解決 (4) 私法の適用と解釈
6. 私法上の権利
(1) 権利とは何か (2) 私権の種類 (3) 私権の社会性
7. 財産法と家族法

成績評価の方法

半期科目であるため、前期末・授業時間内に行う試験による評価が中心になる。しかし、先生によっては、出席点や質疑と応答による平常点を加味することもあります。

教科書

担当の先生から指示があった場合には、それに従ってください。

参考書等

講義の際に紹介するので、積極的に読書するようにしてください。

科目名

担当者名

憲法

日笠完治

講義のねらい

憲法の特徴を理解してもらい、受講者が憲法を好きになることを目的とする。憲法は、現実の生活から離れているように思われるが、国家や社会の基礎をなして、大切な人類の英知が詰まっている。私たちの存在を支えていることがわかれば、その理解はさらに深くなると思う。

講義の内容・授業スケジュール

(前期) イントロダクション・立憲主義の憲法原理・統治機構・司法審査
(後期) 人権の基礎理論、人身の自由、精神的自由、経済的自由、参政権、国務請求権、社会権など

履修上の留意点

受講生が多数のため、講義形式の授業となる。予習をしっかりとってきてほしい。また、授業後に質問を受けたいと思う。

成績評価の方法

原則的には、定期試験の結果に基づき評価を行う。なお、レポート提出などの日常的学習活動については、加点主義で考慮する。

教科書

日笠完治『憲法がわかった』(改訂版)(法学書院)2003年 2,600円

参考書等

- ・法令集として、『ポケット六法』『コンパクト六法』『デリー六法』などの最新版を持ってきてください。
- ・判例集として『憲法判例集』などを用意してください。

その他

憲法に対する知的欲求を高めて、授業に出席してください。出席はとりません。授業を聴講する限りは、私語や途中入退席のないようにしてください。

科目名

担当者名

民法総則

大宮隆

講義のねらい

民法は、個人相互間の私的生活関係の基本法として、財産(物の所有や契約など)と家族(夫婦・親子や相続など)に関する事項を規律する法律である。日本の民法典は、総則・物権・債権・親族・相続の配列で、五編より構成されているが、本講義の対象は、総則編である。総則には、全編に共通な規定と、どの編にも入れることができない規定が集められている。民法の学習にあたっては、条文数が多いことや、内容が複雑で技術的な構成をとっているため、親しみ難い面があるので、実際の社会生活から遊離することのないように、例示をできるだけ多くして説明することを心がけている。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 民法とはどのような法律か
民法典の沿革、構成
- 2 民法の法源(財産と家族に関する法律はどのような形で存在するのか)
- 3 民法の解釈
- 4 民法の指導原理
- 5 権利の主体——自然人・法人
- 6 権利の客体——物
- 7 権利の変動原因——法律行為・意思表示・代理・無効及び取消・条件及び期限・期間・時効

履修上の留意点

教科書をしっかりと読んで、出席してもらいたい。

成績評価の方法

数回のテストを予定している。その結果と、学期末試験の成績を総合して、評価する。

教科書

河野弘矩『改訂版民法総則講義』(八千代出版)3,100円

講義のねらい

刑法総論は、刑法典第一編総則にある犯罪と刑罰に関する一般的な原理を考察するものである。そこで、犯罪の基本的・重要な課題について、その意義と問題点を学説や判例をふまえながらすすめて、体系的に刑法総論を理解することをねらいとする

講義の内容・
授業スケジュール

- I 序説
 - 1 はじめに
 - 2 犯罪論の基礎
- II 構成要件
 - 1 総説
 - 2 実行行為
 - 3 結果
 - 4 因果関係
- III 違法性
 - 1 総説
 - 2 正当業務行為
 - 3 正当防衛
 - 4 緊急避難
- IV 責任
 - 1 総説
 - 2 責任能力
 - 3 故意
 - 4 過失
 - 5 期待可能性
- V 共犯
 - 1 総説
 - 2 共同正犯
 - 3 教唆犯
 - 4 幫助犯
- VI 共犯の諸問題
 - 1 共犯と身分
 - 2 共犯と錯誤
 - 3 共犯の中止、離脱
- VII 罪数と刑罰

成績評価の方法

筆記試験とその他の総合評価とする。

教科書

開講時に指示いたします（欠席しないように）。

その他

予習してくるとよいでしょう。

科目名**担当者名**

会社法

あらきまさたか
荒木正孝**講義のねらい**

この講義では、会社法（株式会社、持分会社〈合名会社、合資会社、合同会社〉）の重要かつ基礎的な事項について解説するが、とくに現代の経済活動において最も大きな役割を果たしている株式会社の法規制について一年の大半の時間を割くつもりである。

**講義の内容・
授業スケジュール**

大企業から零細企業まで多くの企業が株式会社の形態をとり、株式会社が現代の経済を担い、多数の人々に商品やサービスを提供し、労働の場を提供するという社会的な機能を通して国民の生活に計り知れない影響を与えている。この講義では、株式会社の生成、機能、構造、消滅などに関する私法的側面を中心に規制する株式会社法に重点をおき、そこにおける基本的かつ重要な問題を取り上げて解説し、実務の対応なども検討し、会社法の基本的な考え方を理解してもらうことを目的とする。

平成17年6月29日に「会社法」が国会において成立した。この会社法は、従来片仮名文語体で表記されていた商法第二編、有限会社法、株式会社の監査等に関する商法の特例に関する法律について平仮名口語体化してひとつの法典にまとめたものであり、かつ近年、毎年のように行われて来た法改正を全体的に調整し、社会情勢の変化に対応するために各種制度の見直しを行うものであった。今年、この新会社法について、株式会社の設立の概要、設立の手続き、発起人の意義、設立中の法律関係、設立の無効、設立の登記、設立関与者の責任などについて説明し、株式制度においては、株式の意義、株式の内容・種類、株式の流通、株主の権利、自己株式、株式の併合・分割・償却、単元株、利益供与の禁止などに触れ、会社の管理・運営については、機関の意義、株主総会、会社役員を選任・解任、取締役、取締役会、代表取締役、監査役・監査役会、委員会設置会社、役員損害賠償責任などについて解説する。

履修上の留意点

会社法は、民法を前提としているから、民法総則、物権法、債権法などの知識があると理解が容易である。ただ、これらの知識がなくても、講義の内容を理解するために必要な民法の規定や基本概念については、その都度説明するつもりであるから、民法＝財産法について十分な知識がなくても受講には差し支えない。

成績評価の方法

成績は、年度末に行なわれるペーパーテストの点数で評価します。

教科書

教科書は、授業の初めに指示します。

科目名	担当者名
行政法 行政法総論	なか ひと 仲 田 孝 仁

講義のねらい

「行政法総論」では、各種行政活動に共通する通則的な法理論を学ぶ。「行政法」は、公務員志望者のみが理解すれば良いといった発想は大きな誤解である。民間企業であっても行政による規制はあらゆる業種に及び、かかる規制行政の仕組みを理解することは、企業による経済活動上も必要不可欠である。さらに、日常生活上も、運転免許の取得や各種申請、警察・消防、教育、福祉、環境等、行政との関わりは生涯切っても切れない。従って「行政法」の基本的な体系を理解することの重要性は極めて高い。

本講義は、行政法の入門的な知識・考え方の修得を主目的とする。履修者諸君には、問題発見・解決能力や法的思考法（リーガルマインド）を十分に養っていただきたい。

講義の内容・授業スケジュール

行政法の基本構造・基本原理（憲法と行政法、法律による行政の原理）、行政の仕組み（1・2）—行政組織法・地方自治法概説、行政の基準設定作業（行政立法・行政計画）、行政作用法概説、行政裁量、行政行為論（1～5）—行政行為の概念・諸類型、効力、行政行為の瑕疵、職権取消と撤回、行政行為の附款（以上、前期）、行政手続き（1～4）、情報公開・個人情報保護、行政の実効性確保の手段（行政強制、行政罰、即時強制、行政調査）、行政契約、行政指導（以上、後期）

履修上の留意点

講義では、学生諸君との対話を重視する。また、パワーポイントのスライド等を用いて、視覚に訴えることで、より分かりやすい授業となるように心掛けたい。講義は、基礎的な事項を中心として進めるが、最新の理論や判例の動向も随時補足していく。また、講義では、可能な限り具体的な事例を取り上げる。

成績評価の方法

期末試験の成績（70%）及び平常点（出席点・発言点、レポート、30%）を総合的に評価する。詳しくは、開講時に説明する。

教科書

原田尚彦『行政法要論』（学陽書房）

参考書等

講義時に、個別に紹介する。

その他

講義においては、レジユメを配布する。

科目名

担当者名

裁判法

いほたとしはる
五百田 俊治

講義のねらい

裁判手続上の基本原則を講義しつつ、弁護士視点から、裁判（特に民事裁判）の実体について説明します（例えば、証拠としての書証の重要性、判決と和解の違い、最高裁判所の意義等）

講義の内容・
授業スケジュール

(1) 民事手続の流れ (2) 請求・主張・立証の各段階における基本概念 (3) 口頭弁護の諸原則とその実態 (4) 口頭弁論における当事者の欠席 (5) 貸金返還請求訴訟における当事者の主張・立証 (6) 建物明渡訴訟の実体 (7) 弁論主義と職権探知主義 (8) 証拠の概念 (9) 書証の重要性 (10) 立証責任の分配 (11) 経験則と自由心証主義 (12) 上告審における審理の特色 (13) 刑事手続の流れ (14) 刑事手続における証拠法の特色 (15) 無罪事例の検討

履修上の留意点

できるだけ具体的に裁判の流れや特色を講義したいと考えています。

成績評価の方法

学年末試験の結果のみで判定します。

教科書

特にありません。適宜レジメを配布します。

参考書等

特にありません。適宜レジメを配布します。

その他

講義方式で行います。

科目名

担当者名

国際法

おう 王
し あん
志 安

講義のねらい

国際法学の基礎知識を修得し、国際関係の現状を法的側面から理解する能力を養う。

講義の内容・
授業スケジュール

国際法学の全体を様々な基礎的課題に細分し、毎回の講義においてできるだけ一つの課題を絞り、それぞれ基礎概念、理論体系、そして事例分析の形で解明する。前期においては、国際法の史的展開、国際法と国内法との関係、国際法の法的性質といった基礎知識から着手し、国家および国際機構にかかわる様々な法的問題を取り上げていきたい。たとえば、国家の分裂や統合に生じた国家の承認や承継の問題、違憲的な政府変更やクーデターに関する国際的対応の法的性格、国内裁判における未承認政府や国家の地位、そして国連を中心とした国際機構の法的地位や機能の形態などを分析する。

後期では、前期の基礎知識の修得を踏まえて、領域に関する管轄権、国際的人権保障、条約関係の理論および外交関係の法的仕組みを検証する。具体的には、国家領域の法的地位や取得に関する理論および実行、国際地域、国際海域および宇宙空間といった国際区域の法的地位、外国人の法的地位、人権保障に関する国際制度の展開、条約の締結、形式および効力に関する法規制、外交関係および領事関係における特権および免除などを取り上げる。

履修上の留意点

国際関係を法的側面からとらえる視点の養成を常に心構えとする。個々の概念、理論、事例を解明する戦術的な能力がまず重要視されるべきであるが、政治、外交、経済、文化といった様々な形態で展開される国際関係を法という枠内でとらえる戦略的な資質をのばすことも見失われてはならない。そのためには、教科書に取り上げられた学説を理解するだけでなく、講義に取り上げられた課題の視点、問題意識をしっかりと修得する必要もある。配布される参考資料や聴講ノートを参照しながら、教科書の理解を深めてもらいたい。

成績評価の方法

成績は年末の定期試験で決定する。ただし、前期小テストや講義出席の状況も成績を評価する際に考慮される。

教科書

王志安・飯田順三『国際法への誘い』（八千代出版 2006年）

参考書等

大沼保昭編著『資料で読み解く国際法』第2版（上）（東信堂）2002年 2,800円
市販されている国際条約集

その他

授業はすべて power point を使って講義方式で行い、適宜に参考資料を配付する。power point で使われる簡潔な聴講ノートは、下記のホームページから入手できる。
<http://www.komazawa-u.ac.jp/~anzhi/index.htm>

科目名

担当者名

新入生演習

たかほし ひろき にし おさむ
高橋 洋城・西 修
はらだ けいいちろう むかいだ まさみ
原田啓一郎・向田 正巳

講義のねらい

この科目は、法学部に入学してはじめて法律学を学ぶ法律学科の新入生が、これから法律学を学んでいく上で必要な基礎的な勉学の方法を身につけていくために設けるものです。選択科目ですが、できる限り多くの学生が積極的に履修し、4年間の法律学の学修を効果的に行うための基本を修得することを期待します。

授業は、原則として一週おきに、教室と研究室での指導による学習を組み合わせた形態で行います。教室で教わったり体験したりしたさまざまな知識や学習方法を、次の週に研究室で先生と相談したり、指導に従って自習したりしながら、発展させて、自分なりに最も適切な勉学方法を探し当て、開発して行って欲しいと願っています。

講義の内容・授業スケジュール

学習の順番や指導の方法はそれぞれの先生が工夫して、学生のみさんの習熟度を見ながら組み立てていきますが、共通して学ぶ項目は以下の通りです。数字の順番の通りにすべて学習していくというよりも、いろいろな項目を組み合わせ、全体としてこれらの基本的なスキルが身につけていくものとして、考えられています。

1. 基本的な学習施設
 - ・図書館や情報センターの利用方法と文献の探し方・調べ方
 - ・教室での講義の受け方とノートのとり方
2. 基本的な書籍の利用方法
 - ・六法全書の読み方と使い方
 - ・法学用語集や辞書の活用方法
 - ・法律学的な文章の読み方とまとめ方
3. 発展的な書籍の活用
 - ・法学文献以外の書籍から法についての感覚を学ぶ
 - ・注のある文献の読み方と注の使い方
4. 法学学習に必要な文の書き方と書くための作業
 - ・レジュメ・レポート・答案のまとめ方と書き方
 - ・ゼミなどでの発表のし方
5. 将来設計と学修
 - ・卒業後の進路をどう考え、法律学科での学修をどう生かすか

履修上の留意点

一週おきの教室での一斉授業への出席は当然ですが、研究室での指導に課題を課されたり面接があったりする場合には、担当の先生の指示に従って学習してください。国民の休日などの関係で、次回授業日がずれることがあります。毎回出席して、次回授業日を確認してください。

成績評価の方法

出席点および課題提出評価点を総合して成績評価します。

教科書

指定教科書はありません。

参考書等

参考書・課題図書は、各クラス担当の先生がその都度指示します。

講義のねらい

債権法は、物権法と共に、市民生活のうち財産関係を規律する法で、財貨の移動関係を定めた法です。この債権法は、民法の条文構成からみると、第三編「債権編」がそれに該当し、399条から724条までを対象としています。そして、講学上、債権編第一章総則の部分で「債権総論」といい、そこでは、債権の目的、効力、多数当事者の債権関係、債権の譲渡、債権の消滅などが規定されています（399条～520条）。また、債権編第二章以降の部分で「債権各論」といい、契約、事務管理、不当利得、不法行為などが規定されており、これらは、債権発生原因と解されています。債権総論は、民法典がパンデクテン方式により規定されているため、抽象度が高く、わかりにくいとされています。そこで、本講では、講義の中で契約等の例示を多く登場させ、極力具体的な理論を説明するようにしたいと思っています。

講義の内容・
授業スケジュール

（前期（1）～（5） 後期（5）～（8））

- （1）民法の全体像
- （2）債権の意義及びその性質
- （3）債権の目的
- （4）債権の種類（a 特定債権 b 種類債権 c 金銭債権）
- （5）債権の効力（a 強制履行 b 債務不履行 c 第三者による債権侵害 d 責任財産の保全）
- （6）多数当事者の債権関係（a 連帯債務 b 保証債務）
- （7）債権関係の移転（a 債権譲渡 b 債務の引受）
- （8）債権の消滅（a 弁済 b 供託 c 相殺）

履修上の留意点

必ず続けて受講すること。六法持参すること。

成績評価の方法

期末試験により評価する。出席点を加味するか否かは今後検討したい。

教科書

『民法（4）債権総論』（有斐閣双書）を使用する。

参考書等

授業のなかで紹介する。

科目名**担当者名**

物権法

いまおま
今尾真**講義のねらい**

民法総則講義において、民法全般の仕組みと基本的概念や制度を一通り学習した学生を対象に、債権とともに二大財産権の一つである物権(担保物権を除く)について、人と物の関わり・各物権の特質・各制度の特徴・隣接諸制度等を、より深く、より詳細に理解することを目的とする。

**講義の内容・
授業スケジュール**

物権の意義・性質・効力・物権変動のメカニズムといった物権法総論部分の学習をした上で、各種物権(占有権から用益物権まで)を個別的に細かく学習する。特に、物権取引の安全と公示・公信の要請という理念を反映する物権変動論につき、これらの理念をどこまで貫徹できるかの観点から、各種物権および他の諸制度との関連で検討する。

履修上の留意点

民法総則は、履修済みまたは最低限同時履修の上、本講義に出席することが望ましい。

成績評価の方法

講義の出席回数と前・後期各一回の定期試験の結果を総合判断して評価する。ちなみに、テスト形式は、択一式の問題(5択)を2~3問、論述式の問題を1問という出題形式で、2005年度は2回試験をした。

教科書

宮本健蔵編『マルシェ物権法・担保物権法〔改訂第2版〕』(嵯峨野書院)2005年

参考書等

星野英一・平井宜雄・能見善久編『民法判例百選I総則・物権〔第五版〕』(有斐閣)別冊ジュリスト159号、2001年

その他

多人数を想定した講義科目であるが、授業中、随時受講生に質問しながら、大規模なゼミ形式を念頭において講義を行う予定である。積極的に発言することを希望する。

科目名

担当者名

日本法制史

しげのたかはる
茂野隆晴

講義のねらい

基礎法学の一つとしての法制史は、文字通り法学教育における史学である。私の担当する「日本法制史」は日本国民の法生活の歴史的考察を行うものである。授業の進め方は時代区分に基づいて行うのがふつうである。

近年では近現代史のもつ重要性が強調されてきている。年間の授業では、こうしたことに配慮して、国初から近代に至るまでの時代を上古、中古、近世、近代の5期に区分し、各々の主要な法制の特色を講述していく。

年間の講義の受講をすることによって、日本の法文化への愛着が高まったといわれるようになればと思います。

講義の内容・
授業スケジュール

1. 年間の授業方針及び日本法制史とその時代区分について
2. 国生みの神話他
3. 『魏志』倭人伝
4. 冠位十二階と憲法十七条
5. 律令刑罰体系と律令の司法制度
6. 戸令第八他
7. 三世一身法と墾田永年私財法
8. 御成敗式目
9. 甲州法度之次第と分国法
10. 武家諸法と自分仕置令
11. 五人組帳
12. 公事方御定書
13. 慶安の御触書
14. 近世の土地制度
15. 相对済し令、本公事と金公事、棄損令
16. 婚姻の変遷と「家」
17. 大津事件、登極令、治安維持法
18. 婚姻に関することわざと川柳

履修上の留意点

史資料に即して行う授業なので、テキストは必ず揃えて欲しい。

成績評価の方法

定期試験の評点70%、出席点30%として総合的に評価する。

教科書

大久保治男・茂野隆晴共編著『日本法制史史料60選』（芦書房）2,300円

参考書等

大久保治男・茂野隆晴共編著『日本法制史』（高文堂出版社）2,857円

講義のねらい

I 自己紹介

私は、いままでイギリスの政治的多元主義・新自由主義、ならびにフランスの社会連帯主義を研究してきました。現在は、日本における多元的国家論の受容過程に関して勉強をしています。このような私の研究経歴からして、講義内容は少しばかり哲学的、観念的なものになるかもしれません。政治学のみならず隣接領域にもふれながら一年間の授業をしてみたいと思います。

私の研究室は、第二研究館八階（2835）にあります。研究上支障が生じたときや質問があるときには訪問してください。なお、研究室の電話番号は、3418-9377（直）です。

II 講義の目的

政治学原論はカリキュラム上、基礎的部門に属しています。政治学原論は政治学の総論であるとともに、基礎理論としての意味合いをもつものです。講義の目的の第一は、現代政治学の体系的な理解を深めることにあります。目的の第二は、政治現象の理論的説明と解明ができるように基礎的的原理的知識を修得することです。目的の第三は、近い将来履修するであろう他の専門科目を研究する上で必要な知識を提供することです。

講義の内容・
授業スケジュール

III 講義のすすめかた

現代政治学のアウト・ラインを理解してもらうために、一回一テーマ主義でかなり広範囲な問題にふれていきます。それだけに、授業のペースは少しばかりはやくなります。講義はテキストに準拠しつつすすめます。学生諸君は授業に出席することはもちろんのこと、予習・復習・自主研究などの研鑽をつんでください。教員と学生、それぞれの努力によって学習効果をあげていきたいと考えています。

IV 講義の内容

おおよそ、以下の諸問題を取り上げる予定です。

A 政治学の課題と対象、および方法

B 政治の原理的究明

(1) 政治的なるもの

～政治的空間、政治権力、正当性、権威、政治倫理、抵抗と不服従

(2) 共同体的なるもの

～国家、社会、主権、法

(3) イデオロギー的なるもの

～イデオロギー、正義、自由、平等、人権（シティズンシップ）

C 政治の思想（史）的究明

D 政治の実体論的究明

(1) 制度論的究明

～権力分立、議会、選挙、地方自治、官僚制

(2) 機能論的究明

～政党、圧力団体

成績評価の方法

本年度もまた、受講者との相談のうえ A・B 両方式のうちのいずれかに決定します。

A 方式（レポートによる単位認定）

複数回（前・後期）のレポートを提出してもらい成績を評価します。課題報告（レポート）の作成をとおして、文献の読解力と書く能力を涵養します。

B 方式（試験による単位認定）

中間・学年末試験により、成績を評価します。評価基準は、中間試験50%、学年末試験50%です。

※A 方式の場合には、追試験は実施しません。B 方式は、実施します。

教科書

大塚桂『現代国家へのアプローチ』（成文堂）3,000円

大塚桂『政治哲学入門』（法律文化社）2,900円

参考書等

上記教科書の巻末にかかげた参考文献を参照のこと。

科目名	担当者名
経済原論	藤原 碩宣 <small>ふじ わら ひる のり</small>

講義のねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・経済学の基礎概念の理解 ・現代日本経済の実態の理解
講義の内容・授業スケジュール	<ul style="list-style-type: none"> ・前期は、マクロ経済を中心に、経済学の規範、スミスとケインズの経済学、国民経済循環、国民所得決定論、わが国の状況等について ・後期は、ミクロ経済と応用経済学を中心に、消費者選択、企業行動、寡占価格理論、財政・金融政策、税と社会保障等について
履修上の留意点	授業に出席し、ノートをよくとる事。
成績評価の方法	定期試験 レポート等自助努力をした者は、評価に加える（試験前に提出したものに限り）
教科書	藤原碩宣他著『経済と経済学』（実教出版）
参考書等	授業時に適宜指示
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・授業は講義形式で、出欠はとらない ・Q&Aの時間を設け、理解を図る

科目名	担当者名
行政学	田丸 大 <small>た まる だい</small>

講義のねらい	<p>行政学は政治学の中でも比較的新しい分野であるが、私たちの日常生活とも非常に関係の深い学問でもある。例えば、国レベルでは狂牛病騒動に見られる農林水産省の対応や、葉害エイズ・肝炎などに見られる旧厚生省の対応、自治体（地方）レベルでは市町村合併であるとか、原発の是非をめぐる住民投票など、世の中の様々な現象に何らかの形で行政は関わっている。これらの行政現象に流れる行政活動の論理を探ることが、行政学の大きなテーマの1つである。</p> <p>本講義では、国の省庁や地方の自治体がどのようなメカニズムに基づき活動をしているのか、政策立案や執行さらには評価の過程などにも触れつつ検討することによって、複雑な現代社会の問題点や改革のあり方を正しく理解し、問題の本質を見抜くための基本的知識や思考様式を伝えたいと考えている。</p>
講義の内容・授業スケジュール	<p>以下を考えているが、詳細なスケジュールについては、初回の講義において伝えます。</p> <p>1 官僚制、2 議院内閣制、3 政策過程、4 公務員制度、5 行政改革、6 行政組織における意思決定、7 政策評価、8 地方分権改革。可能であれば、行政改革や地方分権を扱う回の講義においては、最近のニュース番組のビデオを用いて、現実の世の中の動きにも目を配りたい。</p>
履修上の留意点	出席は取らない。レポートは課さない。しかし、年間2回を予定しているテストでは、授業中に扱ったことがらはすべて試験範囲とし、その中から満遍なく出題するので、出席をしない者が単位を取得することは困難である。
成績評価の方法	1学期末のテストおよび学年末のテスト（30点+70点の予定。ともに持ち込み不可）のみで評価する。テストを欠席した場合でも、レポートの提出は一切認めない。
教科書	森田朗『改訂版 現代の行政』（放送大学教育振興会）2000年 本体2,000円 教科書にアンダーラインを引く、書き込みを行うといった具合に使用するので、必ず用意してほしい。
参考書等	早川・大山・内海・田丸『政策過程論』（学陽書房）2,600円

科目名

担当者名

商法総則・商行為法

かわぐちゆきみ
川口幸美

講義のねらい

民法は私人の一般的な法律関係を規律する法であるのに対して、商法は、営利を目的とする商人・会社の法律関係を規律する法と言える。また、商法は、商法総則、会社法、商取引の3つの分野から構成される。本講義では、商法総則と商行為法(商取引)を取り扱うものとする。具体的には商事売買取引の概要とその法律問題の検討を目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

- ①-⑥は商法総則、⑦-⑩は商取引法(一部消費者保護法を含む)であり、各テーマを2~3回に分けて講義を行う。
- ①商法総則(商法の意義)
 - ②商法の適用(商行為概念・商人概念)
 - ③営業譲渡(商号の保護)
 - ④商号
 - ⑤商業使用人(支配人・その他)
 - ⑥商業登記(9条1項と2項の法的効力)
 - ⑦商事売買取引(国際売買取引契約)
 - ⑧運送契約
 - ⑨仲立人・取次人・商事代理
 - ⑩その他(銀行取引・消費者取引・フランチャイズ)

履修上の留意点

教科書と最新の六法(判例付きのものは除く)を必ず持参すること。また、商法は民法の特別法であり、体系的な理解を得るためにも、民法科目(特に民法総則と債権)を同時履修するか、既履修であることが望ましい。

成績評価の方法

期末試験の成績をもって評価する。出席は原則として取らないので、出席点は考慮しない。

教科書

開講時に指定する。

参考書等

- 鴻常夫著「商法総則」(弘文堂)
- 江頭憲治郎著「商取引法(第三版)」(弘文堂)
- 鴻常夫, 竹内昭夫, 江頭憲治郎/編
- 別冊ジュリスト 「商法総則・商行為法判例百選(第4版)」

その他

(当然のことだが)授業中の私語・携帯の使用は厳しく注意する。場合によっては退室を命じる。

科目名	担当者名
刑法各論	まつむら 松村 格

講義のねらい

刑法各論は、刑法典各則の個別構成要件の解釈を主流とします。それぞれの構成要件が、犯罪を構成する要素を規定しているわけですが、それぞれの構成要件が何らかの法益を保護しているわけですから、その法益保護と人権保障という刑法の使命を念頭におきながら、どのように構成要件要素を解釈すれば最も妥当性があるのかを学びます。また、他の構成要件との関連性をも見ていきます。

講義の内容・授業スケジュール

刑法典の各則は、国家的法益に対する罪・社会的法益に対する罪・個人的法益に対する罪の順序で規定されていますが、われわれの最も身近な個人的法益に対する罪から学習します。そして、個人的法益に対する罪も、生命に対する犯罪・身体ないし健康に対する犯罪・自由または名誉に対する犯罪・財産に対する犯罪の順序で学習していきます。

履修上の留意点

刑法は、生命・自由・財産を剥奪する強力な制裁を有する法律ですから、法益保護はもちろんのこと、人権保障のためにも、謙抑性を念頭におきながら構成要件の解釈をするように努めてください。そして、そのためにも、例えば、行為無価値論による解釈と結果無価値論に基づく解釈を比較検討することも必要です。その点に注意して、講義中の先生の話をよく聞いてノートをとる必要があります。なお、構成要件の解釈を主流とする刑法各論ですから、六法全書を携帯しないで授業に参加することは無意味ですので、六法全書を忘れた場合には、図書館で借りるなりしてでも携帯してください。さもなければ、受講を拒絶します。なお、刑法各論は、刑法総論の上に成り立っていますので、刑法総論の単位を取得していなければ履修する意味がありません。

成績評価の方法

年度末の試験によって評価します。必要に応じて小テストをして GPA 評価に算入します。年度末試験は論文式です。論文式試験では、「なぜか」ということを採点者に納得させる論証が必要です。作文力を養ってください。必要に応じて、刑法総論における基本事項について質問することがあります。履修者が少人数の場合には、出欠をとります。

教科書

松村格著『日本刑法各論教科書』（八千代出版）

参考書等

指定図書・松村他著『刑法各論』（ミネルヴァ書房）平成18年4月出版予定
参考文献・別冊ジュリスト『刑法判例百選Ⅱ・各論〔第五版〕』（有斐閣）2,200円
曾根・日高編『基本判例5 刑法各論』（法学書院）2,000円

講義のねらい

犯罪とは何か、刑罰とは何か、非収容者の処遇の実態、犯罪者をどのように再社会化させるかなどについて単なる犯罪対策にとどまるのではなく、その社会的・文化的要因や身体的要因、犯罪学仮説、警察機構、刑事司法対策等の諸問題にわたり比較犯罪学的展開を踏まえた上で理解させていきたい。そして、犯罪学における基本理念をわが国の理論的現状をも対比しつつ、国際的動向との関係から正しく捉え犯罪を防衛するための合理的、合目的な手段・方法を探求していくことを目的とする。今日、とうとうと流れる国際社会において、犯罪者という社会のもっとも片隅においやられた人権の在り方を考えるということは、ますます重要な問題になってくるはずである。講義を通じてそれを概観していきたい。

講義の内容・
授業スケジュール

- | 回数 | 授業の内容 |
|------|---|
| 第1回 | 受講のガイダンス
刑事政策の意義と課題
刑事政策、犯罪学と規範学の相違について学ぶ。 |
| 第2回 | 犯罪学の歴史と展開
その起源から近代学説までを学ぶ。 |
| 第3回 | 現代犯罪学の課題
ラベリング理論、非犯罪化、非刑罰化、社会的統制理論などについて学ぶ。 |
| 第4回 | 犯罪の理念
犯罪とはなにか。日常わたしたちが用いるよりも広義なものであることを学ぶ。 |
| 第5回 | 刑事政策と暗数
犯罪統計と暗数の意味、被害調査、事故報告調査などについて学ぶ。 |
| 第6回 | 犯罪の原因(1)
身体的・生理的要因について学ぶ。 |
| 第7回 | 犯罪の原因(2)
個人環境的要因について学ぶ。 |
| 第8回 | 犯罪の原因(3)
社会環境的要因について学ぶ。 |
| 第9回 | 刑罰の意義・機能・沿革
意義機能はもちろん一般予防、特別予防、抑制主義、処罰の種類などについて学ぶ。 |
| 第10回 | 死刑
憲法と死刑、存廃論、代替刑について学ぶ。 |
| 第11回 | 自由刑
意義、歴史的考察、短期自由刑、不定期刑などについて学ぶ。 |
| 第12回 | 財産刑
罰金の意義、特質、罰金と科料などについて学ぶ。 |
| 第13回 | 保安処分
意義、種類、要件などについて学ぶ。 |
| 第14回 | 少年保護手続
家庭裁判所と少年審判、少年法改正問題について学ぶ。 |
| 第15回 | 定期試験(予定) |
| 第16回 | 犯罪者の処遇
意義、原則、動向について学ぶ。 |
| 第17回 | 犯罪者の刑事司法政策(1) 警察
微罪処分、ダイヴェーションなどについて学ぶ。 |
| 第18回 | 犯罪者の刑事司法政策(2) 検察
起訴猶予などについて学ぶ。 |
| 第19回 | 犯罪者の刑事司法政策(3) 裁判
量刑基準、宣告猶予、執行猶予、判決前調査などについて学ぶ。 |
| 第20回 | 矯正の意義・目的
矯正処遇の意義、目的、観念、矯正処遇の原則などについて学ぶ。 |
| 第21回 | 受刑者の処遇
法的地位、処遇原則、分類処遇、死刑確定者の処遇などについて学ぶ。 |
| 第22回 | 犯罪の予防
意義、予防、予防活動、予測、問題点などについて学ぶ。 |
| 第23回 | 更生保護
意義、措置、概況などについて学ぶ。 |
| 第24回 | 恩赦・資格制度 |

- 恩赦の種類、効力、存在理由などについて学ぶ。
- 第25回 被害者補償
意義、歴史、必要性、法的性質などについて学ぶ。
- 第26回 各犯罪と対策
少年非行、女性犯罪などについて学ぶ。
- 第27回 各種犯罪と対策
組織犯罪、ホワイトカラー犯罪などについて学ぶ。
- 第28回 各種犯罪と対策
薬物、アルコール犯罪などについて学ぶ。
- 第29回 まとめ
討論及び質疑
- 第30回 定期試験

履修上の留意点	初回の授業において指示する。
成績評価の方法	定期試験および平常点
教科書	斉藤静敬著『刑事政策』（創成社）
参考書等	授業において指示する。

科目名	担当者名
債権各論	す 須 賀 昭 徳

講義のねらい	民法は財産法と家族法とに分類される。そして財産法は総則編・物権編・債権編よりなっている。家族法は親族編・相続編よりなっています。そして債権編は総論と各論に分かれている。本講義では債権各論と称される分野を講義するものである。 ところで現代社会は契約を中心とする取引社会である。債権各論ではこの契約法を中心として講義するものである。そして事務管理不当利益・不法行為についても概略・説明したつもりである。
--------	--

講義の内容・授業スケジュール	前期 ①契約総論序説 ②契約自由の原則とその修正 ③契約の種類 ④契約の成立 ⑤同時履行の抗弁権、危険負担 ⑥契約の解除（1）（2） ⑦贈与 ⑧売買（1）（2）（3） ⑨交換・消費貸借 ⑩使用貸借 後期 ①賃貸借（1）（2）（3） ②借地借家法 ③雇用 ④請負 ⑤委任 ⑥寄託 ⑦組合・和解 ⑧不法原因給付 ⑨不当利得 ⑩不法行為（1）（2）（3）
----------------	---

履修上の留意点	講義にはかならず六法を持参すること。
成績評価の方法	期末試験の成績により評価する。
教科書	甲斐道太郎・乾昭三・椿寿夫編『新民法概説（2）第3版』（有斐閣）2,000円
参考書等	講義の中で指示する。

講義のねらい

法に関する概念や用語が生まれてきた歴史的、哲学的背景や世界観に遡って検討するのが法思想史の役割である。これには二つの側面がある。一つは、中核的な概念の由来や変遷を知ることにより現代法を形成する要素の理解を深めることである。しかし同時に、様々な思考様式に触れることによって近代的思考を相対化し、実はそれが或る特殊な一様式なのだということに自覚する、ということも重要である。

なお題材はヨーロッパの法思想史にほぼ限定される（東洋および日本固有の法思想を扱うことはできない）。講義の理解のためには、最低限の世界史的知識が必要だが、講義時間内においてはそこに時間をさくことはではないので、そうした点について不安のある受講者は自学自習して講義に臨んでもらわねばならない。また20世紀以降の法理論史については本講義ではとりあげず、むしろ法哲学講義の方で扱うことになるのでそちらを参照されたい。

講義の内容・授業スケジュール

以下に掲げる時系列に沿った講義を柱とし、その過程でいくつかの重要な法概念については、時代横断的な考察をも交えていく。

- [1] 法思想史講義の意義・注意事項等の説明、ヨーロッパ法思想の底流をなす問題視角についての概説。
- [2] プラトンの法思想：『国家』を中心に検討する。
- [3] アリストテレスの法思想：まずアリストテレス哲学の基礎理論を形相質料論を中心に紹介する。その後、『ニコマコス倫理学』『政治学』等を題材として、正義論、政治体制論を中心に検討する。
- [4] ローマ法の思想的意義：現代に至るまでヨーロッパの法律学・法思想を規定してきたローマ法上の諸概念、思考方法について概説的な紹介を行なう。
- [5] キリスト教の法思想への影響と、人格概念について、概念史的に考察する。
- [6] 中世自然法論：トマス・アクィナスの思想を中心に、古典的自然法論への理解を深める。また後半では、唯名論思想と近代的な世界像への転換についても言及する。
- [7] 社会契約説総論とホブズの法思想：『リヴァイアサン』を中心にホブズの議論を紹介し、またその現代的意義について考察する
- [8] ロックの法思想：『統治論』を中心に、ホブズとの比較を念頭に置きつつ考察を行なう。
- [9] ロックの所有権論に関連させつつ、同時に所有権論史全般について考察する。
- [10] ルソンの法思想：題材としては『社会契約論』『不平等起源論』が中心になる。
- [11] カントの哲学と法思想：法理論におけるカント思想の重要性を論じ、さらに現代のカント主義的理論の展開をとりあげる。
- [12] 19世紀の歴史法学、概念法学および概念法学批判について概観する
- [13] 法実証主義の様々な潮流について概観する

履修上の留意点

とりあげる著作の原文抜粋を中心とした資料をあらかじめ配布し、これに基づいて説明を加える形式で講義を進める。受講者は少なくとも資料の該当箇所を事前に読んだ上で講義に臨むことが要求される。

成績評価の方法

年度末の定期試験によって評価する。それ以外に課題レポート等を設定する可能性もあるが、その場合は自由提出課題とし加算点にのみ用いる（定期試験のみを受験するのでもかまわないということ）。

教科書

教科書としては特定の書籍を指定しないが、講義の理解を深めるため、法思想史全般の概観ができる図書を手元に置き、予・復習に役立てることを推奨する。次項の参考図書参照。

参考書等

- 法思想史に関する概説書の例として
- ・三島淑臣『新版・法思想史』（青林書院）4,854円：講義内容をさらに深く掘り下げて勉強したい場合に有益であろう。
 - ・田中成明他編『法思想史』（有斐閣Sシリーズ）1,800円：法思想史の流れを大まかにつかみ整理するのに役立つだろう。
- 講義開始時に、上記の他にもいくつかの概説的な入門書について、それぞれの特徴などを紹介するが、書店・図書館などで手に取ってみて自分にあったものを選ぶと良いと思う。また講義でとり上げる思想家の著作原著については、そのつど指示する。

科目名

担当者名

演習 I

向田正巳

講義のねらい

本演習では、判例研究を通じて、民法を基礎から学びます。民法の基本判例を読みながら民法における基本的なものの考え方、法的思考の基本を学び、演習参加者が裁判実務、ビジネス法務実務、行政実務等それぞれの進路においてその知識を活かす術を学ぶことが目標です。

講義の内容・授業スケジュール

まず判例百選等でとりあげられるような基本判例を読みながら民法の基礎的な論点を学習し、それを通して判例の読み方、教科書のまとめ方、論文などの資料調査と研究報告の方法について学びます。次に10月くらいからになると思いますが、最高裁判所民事判例集等から最新の判例をゼミのグループ単位で選び、判例のなかから民法解釈論上の論点を抽出し、従来の学説、判例に照らし合わせながら検討するという作業を行います。最後に時間があれば参加者が各自、関心のあるテーマにつき個別に報告、レポートを提出してもらいます。

履修上の留意点

民法の基礎をしっかり学び、民法の学習を将来の自己の進路希望に役立てることを真剣に考えている学生の演習参加を希望します。

成績評価の方法

出席、発表、議論参加などから総合的に評価します。無断欠席は厳に慎んでください。

教科書

演習の始めに指示します。

その他

コンパ、合宿を予定しています。

科目名

担当者名

演習 I

青野博之

演習 II

講義のねらい

民法上の問題を自分で見つけ出し、相手も納得できるような解決を考える。

講義の内容・授業スケジュール

民法上のさまざまな問題の中から、ゼミ生が報告したいテーマを自分で探し出してくる。このテーマがゼミの内容になる。たとえば、授業を聞いていたときに疑問に思ったこと、新聞を読んでいて他の人がどのように思うか聞いてみたくなったことなどであるが、民法上の問題であれば、なんでもよい。

履修上の留意点

ゼミ生が報告したいテーマを自分で探し出し、報告し、全員で質疑応答してほしい。ゼミ生が主役である。主役たちの活発な討論を期待する。ゼミ生の意欲と関心でゼミが進んでいく。そんなゼミになることを希望する。出席して、しっかり発言する、これが大切である。毎回、担当者が作成し、少なくとも1週間前に配布されたレジュメ(要旨)にそって討論する。レジュメは、予習のため必要であるから、必ず準備するように。1回でテーマが終わってもよいし、2回以上続いてよい。

成績評価の方法

出席して、しっかり発言をしたか、担当者として十分な準備をしたかなど総合して判断する。ゼミは、発言することがポイントである。そのことを基準として、成績を評価する。

その他

発言しているうちに、聞く方も発言したくなるような、そんな発言をする学生に参加してほしい。そうすると、ゼミ生全員の民法理解も進むであろう。

科目名	担当者名
演習Ⅰ	おおみや たかし
演習Ⅱ	大宮 隆

講義のねらい	家族法の研究上、知っておいてほしいと思われる裁判例をとりあげる。
履修上の留意点	予習が必要である。
成績評価の方法	年間を通して、総合的に評価する。
教科書	泉久雄他編『家族法基本判例32選』（信山社）2,500円

科目名	担当者名
演習Ⅰ	かねこ しょうへい
演習Ⅱ	金子 昇平

講義のねらい	本演習においては、行政上の諸制度、行政法規の仕組および複雑多様な法現象を広範囲にとりあげ、現代のあるべき行政法理論について理解を深めていきたい。
講義の内容・授業スケジュール	ゼミ生の関心のあるテーマについて、判例研究および、学术论文の書評を行い、参加者全員と共に、議論をつくしたいと思っている。演習の内容については、例えば、環境の問題、教育の問題、公務員の問題、地方自治の問題、租税の問題、医療の問題、高齢者の問題、福祉の問題等である。 年二回、七月、二月にゼミ合宿を行い、研究の成果を発表し、討論を行う。 年二回、公的施設の見学会を行う。
履修上の留意点	ゼミ生は、あらかじめ該当する判例、法令等を読みこなして欲しい。六法を持参すること。判例、論文、法律を知ることだけではなく、現実の社会の実態についても、調査し、国・地方公共団体に向いて、担当者と面会し、取材してもらいたい。
成績評価の方法	出席（ゼミ、見学会、合宿等）により評価する。
教科書	適宜指示する。
その他	発表者は、レヂュメを作成し、論点および、自分の意見を発表する。全員が、議論に参加出来ることを望む。

科目名	担当者名
演習Ⅰ	きたの 北野かほる
演習Ⅱ	

講義のねらい	英米法の諸特徴について具体的に理解を深める。
講義の内容・授業スケジュール	ゼミ員全員で選んだテキストを輪読形式で読み進める。毎回担当者を決め、テキスト内容のほか関連事項を調査・報告させ、それにつき全員で討論する。
成績評価の方法	演習Ⅰ（三年次生）はゼミでの報告・発言をもとに平常点評価。演習Ⅱ（四年次生）は上記のほか卒業研究発表と卒業レポートにより評価。
教科書	提示する候補の中からゼミ員全員が検討して決定する。
参考書等	随時適宜紹介する。
その他	十分な事前学習が要求される。受け身の出席はしないこと。 英米法の講義を受講済か、受講中であることが要求される（単位は修得していなくても構わない）。

科目名	担当者名
演習Ⅰ	にし 西 はら 修
演習Ⅱ	

講義のねらい	私は、演習をつぎのように位置づけたいと考えます。すなわち、マスプロ教育に陥りがちな一方通行を補うべく、双方向性を大切にし、履修生と教師、履修生同士のディスカッションを多用して、みずからを磨きあげる場であると。そしてそれは、たんに勉強ばかりでなく、合宿などを通じて、心のふれあいのなかから、あらたな自分を見つけ出す場でもあると。こんな場にするために、私はつぎのような方針でのぞみたいと思っています。 （１）ゼミのモットーは「出会い、学び合い、そして人間愛」です。 （２）とくに少人数の場合、日々のふれあいが大切なので、毎回、出席すること。 （３）ディスカッションには、積極的に参加し、かならず発言すること。
講義の内容・授業スケジュール	前記と後期に分け、前期は１、２冊の本を精読し、それについてディスカッションをします。共通に読む本は開講時に指定。またディスカッションの内容としては、（１）日本国憲法の成立過程とその法的問題点、（２）憲法第９条をめぐる諸問題、（３）世界の憲法トレンド、（４）人権の現代的意味などを考えています。その他、年に１～２回の合宿を行います。また私の落語を聴かされることがあります。
成績評価の方法	出席、発言、課題論文などを総合的に判断する。

科目名	担当者名
演習Ⅰ	はら だ けいいちろう
演習Ⅱ	原 田 啓一郎

講義のねらい	本演習では、社会保障法の重要問題について判例を素材に具体的検討を行なう。
講義の内容・授業スケジュール	本年度は、判例を素材に社会保障法の個別論点を検討する。受講生は、設定されたテーマにそって、レジュメを毎回作成し、報告をする。
履修上の留意点	本演習では、判例研究を行うことから、憲法、行政法総論、民法総則、債権総論・各論をすでに履修済みであり、現在、社会保障法を受講していることが求められる。また、毎回の予習が必要である。
成績評価の方法	平常点（出席点も含む）
教科書	村中孝史 [編]『労働法・社会保障法入門（仮）』（有斐閣、近刊）
参考書等	開講時に指定する。
その他	事前連絡のない欠席は認めない。

科目名	担当者名
演習Ⅰ	やま ぐち くに お
演習Ⅱ	山 口 邦 夫

講義のねらい	1・2年次において、刑法総論及び刑法各論ともに履修済みの3年生を中心に進める刑事法演習である。当然、少年法をも含む、刑事政策的な問題意識を持つことが望まれる。
講義の内容・授業スケジュール	1年間を下記の4期に分けて、討論の問題を考えている。 第Ⅰ期（4・5月）罪刑の法定をする政治的意味及び犯罪不成立の事由について。 第Ⅱ期（6・7月）刑事責任のとらせ方と少年事件における、いわゆる保護処分について。 第Ⅲ期（9・10月）生命・身体に対する侵害犯罪と財産犯の諸問題について。 第Ⅳ期（11・12月）いわゆるセクハラ問題と性犯罪との関連と峻別について。
履修上の留意点	毎時間出席し、討論に積極的に参加できる者が望ましい。また年4回ぐらい発表の機会があるので、自分の意見を発表する能力が必要である。
成績評価の方法	演習の成績評価は、講義科目と違い試験は行わない。毎回発表する際のレジュメの作成及びその発表内容、さらに他人の発表に対しての討論の仕方・内容などを総合して評価する。したがって、一ヶ年、出席すれば、単位取得については問題はない。
教科書	判例を中心に、法解釈を考えるので判例集そのものが教材になる。判例を解説した書物なども参考になるが、毎時間、資料については、注意するので、あらかじめ指定する書物はない。

科目名**担当者名****演習Ⅱ**あら き まさ たか
荒木正孝**講義のねらい**

ここ数年、社会・経済情勢の急速な変化に対応するため、商法第Ⅱ編（会社法）を中心とした改正が頻繁に行われた。その結果、制度間の規制の不均衡が生じたため、これを是正するとともに各種制度の再検討をし、かつ現代語化をはかるため平成17年に新たな会社法典が編纂された。新会社法は、会社法制全般にわたる大改正で実務にも大きな影響を与えることになる。今年、この新会社法の内容や立法の理由などについて研究するつもりである。

講義の内容・授業スケジュール

新会社法の諸問題の中から重要なテーマを選び、それぞれゼミ生に担当してもらい、その報告を中心にしてみんなで議論するという方法でゼミを進めてゆくつもりです。

履修上の留意点

履修者は、すでに会社法の授業を履修済みで、会社法の基本的な知識を身につけていることが必要です。

成績評価の方法

成績は、リポーターとしての報告の内容や程度、発言内容や回数、そして出席の回数などを総合的に評価してつけます。学年末におけるペーパーテストは行いません。

参考書等

教材や参考書については、ゼミの際に指示します。

科目名**担当者名****演習Ⅱ**こう の ひろ のり
河野弘矩**講義のねらい**

民法に関する具体的事例に当面した場合に自分の頭で考え、妥当と思われる結論を創造する習慣を習得することを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

教材の事例を通して、自分の思考を助けるため、参考文献や判例の研究を行うことはもちろんであるが、演習参加者の活発なる議論を主体として進行する。3年生は主として財産法を学習対象とする。夏と冬に合宿を予定しています。

履修上の留意点

演習参加者は、毎週必ず出席すること。

成績評価の方法

毎回の平常点で成績評価を行いたい。

教科書

プリントを用意する予定。

参考書等

教場で指示する。

科目名

担当者名

担保物権法

熊谷 芝青

講義のねらい

企業等に就職した際に、取引先との決済としての手形、その手形債務を含めた、取引先の債務を担保するための担保物権、そしていよいよ取引先が危なくなったときの破産手続きという法的知識が特に求められます。これらの重要な法的知識の中で、担保物権に関する講義を行います。

講義の内容・授業スケジュール

1. 担保物権法概論
2. 留置権
3. 先取特権
4. 質権
5. 抵当権総論
6. 抵当権の目的の範囲
7. 抵当権の効力
8. 法定地上権
9. 抵当権の処分
10. 共同抵当
11. 根抵当
12. 仮登記担保
13. 譲渡担保
14. 所有権留保
15. 権利質
16. 債権の譲渡担保

履修上の留意点

担保物権を学習するには、債権法と物権法の知識を必要とします。この両法を学習していることを期待します。

成績評価の方法

学年末の筆記試験を中心に総合的に評価します。

教科書

近江幸治『民法講義Ⅲ 担保物権（第2版）』（成文堂）

講義のねらい

民法典のうち、第四編「親族法」と第五編「相続法」の講義を行います。前期に取り上げる親族法は、われわれにとって最も身近な家族生活を規制する法律であり、「家制度」の存在とその解体、高度・低度経済成長期やバブル前後の経済的变化、さらには少子化・超高齢化、女性の社会進出といったさまざまな社会の動向に影響を受けています。社会の変化に伴って生じてきた問題に対して、親族法がどのように対応しているかを、具体的な裁判例の紹介も交えながら、検討していきます。一方、後期に取り上げる相続法も、戦前の家督相続が、第二次大戦の敗戦後、庶子均分共同相続へと変遷し、さらに近年、遺言制度の利用も増加するなど、著しく変化している分野です。本講義では、こうした変遷の内容とその背景の理解とともに、財産法の応用問題といわれるほど難解な相続法の理解を目指します。

講義の内容・授業スケジュール

〔前期〕

- (1) 家族法と財産法の相違と家族法の特徴、欧米家族法との比較とわが国の家族法の特徴
- (2) 氏と戸籍、親族
- (3・4) 婚姻：婚約、婚姻成立の要件
- (5・6) 婚姻：婚姻の効果、夫婦財産制
- (7) 婚姻解消
- (8・9) 親子：実親子関係
- (10・11) 親子：養親子関係
- (12) 後見・保佐・補助、扶養

〔後期〕

- (1) わが国の相続法の変遷とその背景
- (2) 相続人
- (3～5) 相続の効力：相続財産の範囲
- (6) 相続の効力：相続分
- (7) 相続の効力：遺産の共有
- (8・9) 相続の効力：遺産分割、相続回復請求権
- (10) 相続の承認・放棄、財産分離、相続人の不存在
- (11・12) 遺言と遺留分

履修上の留意点

身近な問題を取り上げる分野とはいえ、難解なテクニカルタームが多用されています。講義を受ける際には、教科書の該当部分を読んだうえで、分からない文言を調べておくことが望まれます。

成績評価の方法

学年末の筆記試験の他、出席状況などの平常点も重視します。

教科書

有斐閣双書『民法（8）親族〔第4版増補補訂版〕』（有斐閣）1,600円
有斐閣双書『民法（9）相続〔第4版増補版〕』（有斐閣）1,600円

参考書等

六法
久貴忠彦・米倉明編『家族法判例百選〔第6版〕』（有斐閣）2,200円
『法律学小辞典』（有斐閣）4,500円

講義のねらい

手形小切手法の基本的な原則・制度を理解し、諸問題を検討することを通じて有価証券法理の基礎を習得する。

講義の内容・授業スケジュール

講義は以下の順に行い、各項目ごとに1～2回程度の授業時間を割り当てる。講義の内容は、制度の概要を解説し、具体例を通じて問題点の検討をおこなう。

- 1 手形・小切手の意義および性質
- 2 手形法・小切手法の意義および役割
- 3 手形行為の意義・特色
- 4 手形行為の成立時期
- 5 手形能力、手形行為と意思表示に関する一般原則
- 6 代理人・代表者による手形行為
- 7 無権代理と偽造
- 8 手形関係と手形の実質関係
- 9 手形の振出
- 10 白地手形
- 11 手形の裏書
- 12 為替手形の引受、手形保証
- 13 手形上の権利の取得と善意取得制度
- 14 手形上の権利と手形抗弁
- 15 手形上の権利の消滅
- 16 支払・不渡・遡求
- 17 小切手特有の法制度
- 18 振込・振替など新たな決済システムに関する諸問題

履修上の留意点

六法は小型のものでかまいませんので2006年版を携行して下さい。例えば、『ポケット六法』（有斐閣）、『コンパクト六法』（岩波書店）、『デイリー六法』（三省堂）など。民法（財産法関係科目）および商法科目を履修済み、あるいは履修中であることが望ましい。

成績評価の方法

期末試験での評価を予定していますが、レポートを課す場合もあります。

教科書

濱田惟道『手形法小切手法』（文眞堂）

参考書等

開講時に指示します。
 『別冊ジュリスト 手形小切手判例百選（第6版）』（有斐閣）
 山下友信＝神田秀樹編『商法判例集』（有斐閣）

科目名	担当者名
保険・海商法	加瀬幸喜

講義のねらい

保険契約法および海商法の基礎的知識を修得することがこの講義の目的です。
 まず、保険法についてですが、私たちは、火災、自動車事故や病気といった様々な危険に囲まれて生活しております。これらの危険を予防・軽減することは可能ですが、それらをすべて除去することは不可能です。ここに保険制度が必要な理由があります。保険は、共通する危険をもつ者たちがあらかじめ掛け金を拠出し、その掛け金を損害を被った者の損害補填に充てる制度です。このように、保険制度は私たちににとって有用なものです。他面、これは濫用されるおそれの高いものでもあります。少額の保険料で多額の保険金を取得することが可能だからです。近年、しばしば新聞などで報道されている保険金殺人事件がこれの代表的なものです。この講義では、保険制度のもつこれら2つの側面を法的視点から解明しようと考えております。

次に、海商法ですが、海商法は船舶を手段とする海上企業活動に関する法です。船舶というと、時代遅れの交通手段に思われますが、物品の運送については依然として主役の地位にあります。また、海商法は、歴史的にいうとその起源を中性の慣習法に求めることができます。そのため、この分野には独特の制度がみられます。この講義では、海上物品運送契約を中心に概説する予定です。

講義の内容・授業スケジュール

前期は、保険制度の仕組み、損害保険の法的仕組みを解説します。後期では、火災保険、自動車保険、生命保険を解説し、次いで海商法を概説します。

履修上の留意点

債権法の基礎知識を修得していることが望ましいです。

成績評価の方法

成績は、学年末試験の結果で判定します。試験は持ち込み不可で行います。出席は、7～8回とる予定です。これは成績評価の際に加点事由とします。

教科書

山野嘉朗・山田泰彦編『現代保険・海商法30講（第6版）』（中央経済社）4,000円（税別）

科目名	担当者名
民事訴訟法	間瀬清史

講義のねらい

この講義では、民法など民事実体法についての一応の学習を終えた学生を対象として、民事訴訟手続の概説を行います。ここに民事訴訟手続とは、私人間の権利義務ないし法律関係の存否を巡って生じた紛争の解決を目指し、そのための基準を提示する手続のことをいいます。判決手続だけでなく、和解、調停および仲裁などの訴訟以外の民事紛争解決手続についても講ずる予定です。受講者に民訴手続の全体像と民訴理論の基本を体得してもらうのがこの講義の目標です。

講義の内容・授業スケジュール

(1) 民事紛争の解決制度、(2) 民事訴訟制度の現代的課題、(3) 訴え、(4) 裁判所、(5) 当事者、(6) 第三者による訴訟追行、(7) 本案と訴訟要件、(8) 当事者と裁判所の役割、(9) 口頭弁論の諸原則、(10) 口頭弁論の準備、(11) 証明と証拠、(12) 証明責任、(13) 当事者の行為による訴訟の終了、(14) 終局判決とその効力、(15) 複数請求、(16) 共同訴訟、(17) 訴訟参加、(18) 当事者の変動、(19) 上訴・再審、(20) 簡略な手続

履修上の留意点

問答方式による双方向授業を行います。履修者は相当の覚悟をもち、かつ必ず予習のうえ出席して下さい。

成績評価の方法

日常の授業参加態度、学年末試験の結果及び受講者の提出物の内容等に依拠して行います。問題作成および成績評価にあたっては、講義に積極的に参加した人が有利になるよう配慮します。

教科書

小林秀之編『法学講義 民事訴訟法』（悠々社）2005年予定。
 小林秀之編『判例講義 民事訴訟法』（悠々社）2001年。

科専門教育
目録

講義のねらい

我々は日々、事件の大小にかかわらず、多くの事件報道、犯罪報道に接している。社会的に重大な事件であればその報道も大量になされる。しかし、日常的に我々が接する、このような情報は概ね捜査段階という刑事司法手続のごく一部にすぎない。また、公判段階の問題については、その情報量はとりわけ少ないといえよう。

本講義では、まず刑事司法手続の全体像を確認・把握し、報道や捜査段階および公判段階等に見られる問題点を刑事司法の理念をふまえて検討することを目的とする。

講義では、憲法・刑事訴訟法の理念に基づいた解釈から、現状を批判的に検討し、実務上どのような問題があるのかを考え、あるべき司法の姿を展望する。

講義の内容・授業スケジュール

前期

- (1・2) 刑事手続の概観・基本原理 (3・4) 捜査の全体像・捜査の端緒
- (5・6) 任意捜査と強制捜査 (7・8) 証拠の収集 (9・10) 逮捕・勾留
- (11・12) 被疑者取調べ (13) 被疑者の防御

後期

- (14・15) 公訴・検察官制度 (16・17・18) 訴因を巡る諸問題 (19・20) 公判手続
- (21) 証拠の基本原則 (22) 排除法則 (23) 自白法則 (24・25) 伝聞法則
- (26) 上訴・再審

履修上の留意点

テキストおよび六法を持参すること。日ごろから問題意識を持ち、新聞・テレビ等の犯罪報道にも注意を向けてもらいたい。

成績評価の方法

原則として、定期試験により評価する。適宜、小テストやレポートを課し、その結果も参考とする。

教科書

参考書等を授業で紹介します。

参考書等

松尾浩也・井上正仁編『刑事訴訟法判例百選（第七版）』（有斐閣）2,100円

その他

授業は講義形式で行う。

講義のねらい

今日、労働関係は、リストラ、成果主義人事管理の導入に見られるように大きく変貌しています。

労働法は、労働関係において生じる紛争を法的に解決する方法を検討する法領域です。この変動に無関係ではられません。

この時期、労働者に降りかかるさまざまな事象は、雇用関係法領域において、顕著です。労働基準法改正、解雇法制や男女雇用平等などです。

本講義ではこの雇用関係法領域を中心に授業を進め、その基礎的知識を身につけることを目標とします。

講義の内容・授業スケジュール

授業では、下記事項について、行います。

- (1) 労働法の基礎的考え方
- (2) 日本型雇用システムの変化と労働法
- (3) 労働関係の主人公－労働者、使用者、労働組合
- (4) 労働条件の最低基準の法定－労働基準法の特徴
- (5) 雇用における男女平等
- (6) 労働条件の集団的決定－就業規則、労働協約
- (7) 雇用の入り口－採用、採用内定、試用期間
- (8) 人事異動－配転、出向、転籍
- (9) 雇用の出口－解雇、定年、退職
- (10) 賃金、賞与、退職金
- (11) 労働時間、時間外・休日労働
- (12) 休憩、休日、休暇
- (13) 労働災害など

履修上の留意点

出席を心がけてください。私語はNo、携帯電話はOff、内職はNo、そして無断で席を立つことはNo。いわゆる授業のマナーは守ってください。

憲法、民法、社会保障法、社会政策は、近接科目であるので、ぜひ履修してください。

成績評価の方法

成績は、学年末試験がメインで、出席、レポートなどとともに、総合的に評価します。追試験は実施しません。

教科書

浜村彰ほか著『ベーシック労働法』（有斐閣）か浅倉むつ子ほか著『労働法』（有斐閣）のうち1冊は用意してください。受講者は必ず1冊は用意してください。

参考書等

第1回目の授業で、プリントで紹介します。

六法は、最新のもの（法律改正や制定があるので特に）。そして労基法施行規則の載っているものを用意してください。

その他

皆さんが各々の事項について法的にはどのように考えていくのか、イメージを描きやすいように、裁判例など具体的な例を揚げながら、授業を進めます。

科目名**担当者名****社会保障法**はら だ けいいちろう
原 田 啓一郎**講義のねらい**

今日の社会保障制度が本格的に構築されたのは、第二次世界大戦後であったこともあり、社会保障法学が本格的な法学の一研究領域として認知されたのはごく最近である。

社会保障は、第一義的には国民の生活保障を目的とする制度であり、その重要性は私たちの日常生活において無視し得ないものになっている。本講義では、社会保障法の基礎と個別制度の特質・内容の理解を通して、社会保障の法的理解を深めることを目的とする。

**講義の内容・
授業スケジュール**

- I 社会保障とその特質
- II 社会保障法の理論と課題
- III 年金制度——国民年金、厚生年金、企業年金
- IV 社会手当制度
- V 医療保障制度——国民健康保険、健康保険
- VI 労災保険制度
- VII 雇用保険制度
- VIII 社会福祉制度
- IX 公的扶助制度

履修上の留意点

社会保障の法政策論は、同担当者による「社会政策」で詳細に取り扱う。

成績評価の方法

原則、筆記試験の結果によって成績判定を行う。出席はとらない。ただし、出席せずして単位を取得できるほどやさしい評価ではないことに留意されたい。

教科書

教科書は講義開講時に指定する。
六法は、『社会保障法令便覧』（労働調査会）を必ず携帯すること。

参考書等

適宜紹介する。

その他

履修にあたっては、憲法、行政法、民法、労働法、社会政策、法哲学などの科目を既修若しくは本科目と平行履修していることが望ましい。

科目名	担当者名
行政救済法	かねこしょうへい 金子昇平

講義のねらい

現代の行政法は、従来、対象とされていない、新たな法分野が続出している。例えば、行政手続法、情報公開法等の制定をはじめ、各行政分野ごとの基本法が整備されようとしている。また現実の行政需要も変化、発達し、その適正化が求められている。

講義は、行政紛争解決の手法として、行政救済法を、主な内容として行う。そこで具体的に、どのような国家賠償事件、行政事件が存在し、何が法律上の問題となっているのか、また、どのように法的解釈を、すべきかについて解明していきたい。

講義の内容・授業スケジュール

行政法の基本的な原理や原則に対する、再学習をし、行政法（総論）と行政救済法とのリンケージを確認しながら講義を行う。

- (1) 国家補償（国家賠償法、損失補償）
- (2) 行政上の苦情処理
- (3) 行政上の不服申立（行政不服審査法）
- (4) 行政訴訟（行政事件訴訟法）

履修上の留意点

行政法は、きわめて数多くの法律が登場してくるので、六法全書を必ず持参すること。

成績評価の方法

期末試験の成績により評価する。

教科書

原田尚彦『行政法要論』（学陽書房）

参考書等

塩野宏他編『行政判例百選Ⅰ・Ⅱ』第四版（有斐閣）

科目名

担当者名

税法

なか え ひろ 博 行
中 江 博 行

講義のねらい

現代生活においては、我々は租税に無関心ではいけない。なぜならば、日常生活では取引・契約は必ず発生し、そこには、通常、課税関係が生じる。
そこで、本講義では、租税の機能・役割から、租税法上の考え方を身につけてもらう。

講義の内容・
授業スケジュール

(前期)
1. 租税の目的・意義 2. 租税法主義の原則と租税回避について 3. 所得概念と所得税の基本構造 4. 税務調査
(後期)
1. 相続税法の基本構造 2. 法人税の課税根拠と企業利益 3. 消費税法のしくみ

履修上の留意点

会計学、財政学、簿記学等の科目の履修が望ましい。またレポートの提出を随時求めるが、提出がない場合には期末試験の受験資格を失うこともあるので注意すること。

成績評価の方法

講義中に課すレポート及び期末試験の結果を総合して評価する。(定期試験60%、レポート30%、講義の参加態度10%)

教科書

中江博行『法人税法講座』(税務経理協会)

参考書等

六法(税法掲載のもの)、別冊ジュリスト『租税判例百選』第4版(有斐閣)

その他

随時、税務・会計に関するメディア情報を取りあげる。世の中の動きに注意を払って貰いたい。質問は、原則、講義終了時に行うが、E-mail・ip5@p-five.comでも受け付ける。

科 目 名

担 当 者 名

地方自治法

とみ い ゆき お
富 井 幸 雄

講義のねらい

日本国憲法下における地方自治の法制度を体系的に理解する。すなわち、昭和22年に制定された地方自治法が具体的にいかなる意味をもち現実化されているか、憲法の意図する地方自治の理念がそこに具体化されているかを批判的に検討する。平成12年度より、地方分権を旨とした新しい地方自治制度がスタートする。この改革がいかなる意義をもつのかをくみしめながら、新地方自治法の理念を理解する。

講義の内容・
授業スケジュール

地方自治法の体系に沿って講義を行う。前期は、憲法と地方制度の関係を比較法的ならびに歴史的に考察を行った後、地方公共団体の概念、住民の地位及び権利、自治立法権について議論する。後期は、地方公共団体の事務、組織、財政、地方公務員制度について勉強する。教科書を基本に講義するが、毎週レジメを配布し、それに沿って授業を行う。判例等の資料も適宜配布する。

成績評価の方法

前期試験（40％）と学年末試験（60％）で総合的に評価する。

教 科 書

開講時に指示します。

参 考 書 等

『地方自治判例百選（第2版）』（別冊ジュリスト）。
なお制度の概要を大まかに理解するには、鈴木正明他『図解 地方自治法』（良書普及会）は便利。地方自治の制度的問題を勉強するには、新藤宗幸『地方分権』（岩波書店）、同他『概説日本の地方自治』（東京大学出版会）は必読。

そ の 他

講義では頻繁に法律の条文に言及するので、六法（『地方自治小六法』（学陽書房）があるがポケット六法でよい。）は必携。その都度チェックすること。平成12年度には地方自治法の大規模な改正がなされたので、必ず平成13年度版以降を購入すること。憲法や行政法の履修者が望ましいが、少なくとも両方分野について高い関心を持つこと。わからないことは遠慮なく質問に来て欲しい。

科 目 名**担 当 者 名**

国際紛争解決法

おう 王 し 志 あん 安

講義のねらい

国際法における紛争処理の様々な手段について、それぞれの形態、機能、限界及び適用可能性を把握し、国際紛争解決の法的仕組みを理解する。

**講義の内容・
授業スケジュール**

国際紛争の処理を具体的な法制度、手続きの側面から取り上げ、一回の講義で一つの課題を絞り、それぞれ制度の展開、機能及び事例検証の形で説明する。前期では、国際紛争の基本構造、紛争解決手段の基本的枠組みを講義した上で、外交的手段による紛争解決、国連における紛争解決及び世界貿易機構（WTO）の紛争処理制度を取り上げる。具体的には、国際義務違反の責任形態、紛争の平和的解決の意義、交渉、仲介、国際調査及び調停といった制度の展開及び適用、国連における紛争処理の制度的展開及び現状、そしてWTOの紛争処理制度の発展、手続き及び制度の意義を講義する。後期では、仲裁裁判及び国際司法裁判を取り上げる。具体的には、国際裁判の史的展開、仲裁裁判制度の確立及びその手続き、国際商業仲裁の現状、国際司法裁判所の組織、管轄権、適用法規則、手続規則などを講義する。

履修上の留意点

参考資料を適宜に配布し、教科書の内容を補足しながら講義を進めていく。power pointで講義を進める。簡潔な聴講ノートは、下記のホームページから入手できる。

<http://www.komazawa-u.ac.jp/~anzhi/index.htm>

成績評価の方法

年末の筆記試験によって評価する。ただし、前期小テストと出席状況も成績を評価する際に考慮される。

教 科 書

大沼保昭編著『資料で読み解く国際法』第2版（下）（東信堂）2002年 2,000円

参 考 書 等

市販されている国際条約集及び国際判例集。これらにつき開講時に詳しい情報を提供する。

そ の 他

授業は主として講義方式で行うが、判例の分析につき学生のまとめ報告を求めることもある。

板書のかわりに、powerpointを利用した講義を行う。

科目名	担当者名
国際私法	佐々木 彩

講義のねらい

法律関係の構成要素に外国に関連する要素が一つでも含まれる場合を、一般に渉外的法律関係と呼ぶ。そして、渉外的法律関係に適用すべき法律を指定する規定を定めているのが国際私法である。国際私法は、渉外的法律関係によって生じる紛争を円滑に解決に導く手段のみならず、予めどの国の法律を適用することとなるのか等の予測可能性を高めてくれることにも役立つ。わが国では「法例」という法律を中心に国際私法が形成されている。国際私法は、民法や商法のような実質法のように私法問題の判断基準となる法律とは規律する領域を異にしており、異なる次元に位置づけられるものとして、上位規範等と呼ばれることがある。このような他の分野と異なる国際私法的センスを習得できるように講義を進めたいと考えている。国際私法は時として難解な科目であると捉えられがちであるが、国際結婚・離婚、国際養子縁組、国際契約等に関する身近な問題を具体例として取り上げ、できる限り分かり易いものとなるように工夫を試みたい。

講義の内容・授業スケジュール

前期：国際私法総論（4～6月）、国際家族法（6～7月）
後期：国際家族法（9～11月）、国際財産法（11～12月）

履修上の留意点

基礎となる他の科目（特に家族法）について基礎知識を有することが望ましい。

成績評価の方法

学年末の筆記試験による。

教科書

笠原俊宏著『国際家族法要説（新訂補正版）』（高文堂出版社）

参考書等

いずれかの六法を常に携帯すること。

その他

授業は講義によって進行するが、時折、事例を設定して、皆で一緒に考えることも予定している。

科目名**担当者名**

環境法

なか た たか ひと
仲 田 孝 仁**講義のねらい**

本講義の目的は、受講者に広く環境問題に関心を持たせることは言うまでもなく、「環境法」の法的枠組みを理解させ、「法」という道具を用いることで、各人が環境問題への具体的解決策を導くための糸口を与えることにある。履修者諸君には、本講義の履修後に、環境問題を一歩踏み込んで解釈・分析する視点を持つことが期待される。

**講義の内容・
授業スケジュール**

環境法に係る共通的な法理論・原則を概説した後に、個別的な実定環境法へと講義内容を展開する。1. オリエンテーション、2. 環境法の歴史、3. 環境法の諸原則、4. 環境基本法について、5～8. 廃棄物・リサイクルと法、9～10. 化学物質管理と法、11～13. 大気・水質・土壌環境保全と法、14. 外来生物と法、15. 自然環境保全・種の保存と法、16～17. 環境影響評価と法、18～20. 環境紛争と民事的・行政的解決、21. 道路公害訴訟について、22. 国・自治体におけるディーゼル車規制、23～24. 地球温暖化対策と法、25. 環境リスク管理と予防原則、26. 最終講—環境法の現在・過去・未来

履修上の留意点

学生諸君との対話を重視した双方向型の授業とする。よって諸君には頻繁に発言やメモの提出を求める。講義自体はパワーポイントやビデオ等を用い、視覚に訴えることで分かりやすさを心がけたい。講義内容は基礎的な事項を中心に進めるが、最新判例や理論の動向も加味していく。また、具体的な事例を取り上げ、それらの問題の所存や解決策を諸君とともに模索していく。

成績評価の方法

期末試験の成績（50%）及び平常点（出席点・発言点、レポート、50%）を総合的に評価する。詳しくは、開講時に説明する。

教科書

使用しない。インターネット上や新聞、ニュース等が生きた教材となる。

参考書等

別冊ジュリスト『環境法判例百選』（有斐閣）2004年等。
その他は授業時に指示する。

その他

講義においては、レジュメを配布する。また、必要な範囲で環境法令も配布する。

科目名	担当者名
経済法	あらいとしお 荒井 登志夫

講義のねらい

規制緩和・グローバル化の下で、独占禁止法を中心とする経済法分野はますます重要性を増し、近年、相次いで法改正が行われている。本講では、独占禁止法を中心に、景品表示法、下請法及び官製談合防止法の規定を、①我が国の経済構造、取引実態を具体的に説明し歴史的視点も取り入れながら、②法律の規定を平易に解説しつつ、③ホットで具体的な適用事例を挙げて説明して行く計画である。

講義の内容・授業スケジュール

1～3 講義方針、基礎概念、歴史 4～5 私的独占 6～10 不当な取引制限、官製談合防止法、課徴金 11～14 不公正な取引方法 15～17 景品表示法 18～19 第四章規定（一般集中、市場集中） 20 寡占規制 21～23 公正取引委員会、手続規定、罰則 24 国際的環境 25～26 事例研究、まとめ

履修上の留意点

講義に出席しないと理解できないと思われるため、できる限り出席されたい。

成績評価の方法

成績評価は、試験7割、出欠及びレポート提出3割の割合で評価し、合算するものとする。

教科書

法改正直後のため、教科書は当面指定しない。

参考書等

根岸哲・杉浦市郎『経済法』（法律文化社）
根岸哲・舟田正之『経済法概説』（有斐閣）
丹宗暁信・岡田外司博ほか『新現代経済法入門』（法律文化社）
白石忠志『独禁法講義』（有斐閣）

その他

レジュメを配布する。六法を持参のこと。

科目名**担当者名**

知的財産権法

もりおがかずお
盛岡一夫**講義のねらい**

知的財産権法には、狭義の工業所有権法（特許法・実用新案法・意匠法・商標法）の他に著作権法等が含まれる。知的財産権法は、知的所有権法または無体財産権法といわれることもある。

知的財産権法全般についての基礎理論を理解できるように、わかりやすく講義したいと考えている。学説・判例の対立している点については、これに関する学説・判例を紹介し、問題点の所在をあきらかにしたい。

特許法においては、発明の定義、特許を受けるための要件、従業者が発明をした場合の法律関係、特許権の侵害に対する救済方法、実施契約等について、実用新案法においては、特許法との相違について、商標法については、商標登録要件および類似商標について詳しく解説する。著作権法および不正競争防止法についても講義する。

**講義の内容・
授業スケジュール**

前期：4月・5月・6月特許法・実用新案法、7月意匠法
後期：9月・10月商標法、11月著作権法、12月不正競争防止法

成績評価の方法

前期・後期に行なう平常試験および学年末試験によって評価する。

教科書

盛岡一夫『知的財産法概説』（法学書院）

参考書等

特許庁編『工業所有権法逐条解説』（発明協会）、中山信弘『工業所有権法上』（弘文堂）
鴻・紋谷・中山編『特許判例百選』（有斐閣）、斉藤・半田『著作権判例百選』（有斐閣）

科目名**担当者名****民事執行・保全法**ふくなが きよ たか
福 永 清 貴**講義のねらい**

本講義では、民事執行・民事保全の両手続のうち、とくに民事執行手続を中心に、その解釈上の重要問題と全体構造の理解を目標とする。

**講義の内容・
授業スケジュール**

前期には、まず総論として、判決手続・執行手続・保全手続の概要や執行手続の種類・態様、民事執行手続の理念・基本構造等について説明する。その後、各論として、執行手続の主体(執行当事者と執行機関)、強制執行手続(債務名義・執行文・執行関係訴訟等)について講義する。後期には、金銭執行・非金銭執行・担保権実行手続について説明し、民事保全手続(保全命令の発令手続・不服申立手続・保全執行)について講義する予定である。

履修上の留意点

民法(特に債務法総論・担保物権法)および民事訴訟法を履修していることが望ましい。

成績評価の方法

前・後期の期末試験の成績によって行う。

教科書

上原敏夫・長谷部由起子・山本和彦著『民事執行・保全法』(有斐閣) 1,800円
ISBN4-641-12211-3

参考書等

民事執行法判例百選、その他適宜紹介する。

その他

授業方法は、講義形式である。但し、受講生が少数の場合は、ゼミ形式で行うこともある。適宜、プリントや資料を配布し、毎回具体的な事件を題材として講義する予定である。

科目名**担当者名****倒産処理法**すずき たかひろ
鈴木 貴博

講義のねらい

破産法を中心に倒産法制の概要とその基本事項に関する理解を深める。

講義の内容・
授業スケジュール

倒産処理手続は、債務者、債権者、担保権者など多数の利害関係人の利益が錯綜する。そのため、手続の基準は債権者の平等な取扱いや社会経済上の不利益の回避といった要請に応え、多数の利害関係人を納得させるように機能することが期待される。このような手続の必要に伴う法律関係の修正・変更について手続の概要とともにまなんでいくことにする。

1. 倒産法制の概観
2. 破産原因・破産能力
3. 破産申立てと破産宣告手続
4. 別除権・相殺権
5. 破産財団をめぐる法律関係
6. 財団再建・取戻権
7. 破産手続の主体
8. 否認権・配当
9. 免責・破産犯罪

履修上の留意点

民事法関連科目(民法・商法・民事訴訟法など)を履修済みであることが望ましい。その他、受講にあたって必要なことは開講時に指示する。

成績評価の方法

簡単なレポートと定期試験の総合評価により行う。

教科書

徳田和幸『ブレップ破産法』第3版(弘文堂)2005年 1,260円

参考書等

山本和彦『倒産処理法入門』第2版(有斐閣)2005年 2,100円
伊藤眞『破産法』第4版(有斐閣)2005年 4,200円
青山善充・伊藤眞・松下淳一編『倒産判例百選』第3版(有斐閣)2005年 2,730円

科 目 名	担 当 者 名
財政学	速 水 昇

講義のねらい

私たちの日常生活は、そのほとんどの側面で直接・間接的に政府の経済活動の恩恵を受けている。たとえば、出掛けに傘を持っていくべきか否かは、適確な天気予報によって判断できるし、病気や怪我をしたときにかかる医療費は医療保険のおかげで実際に支払った額の数割程度ですむ。また、道路・港湾などの社会資本整備は公共部門が供給しているなど、政府はさまざまな役割を担っている。さらに金融不安、国債の累積残高、高齢化・少子化社会、規制緩和など政府が解決しなければならない問題が非常に多くある。

その反面、わが国の政府は、平成17年度末で国債の発行残高が約538兆円、地方公共団体の赤字が約205兆円、これに約28兆円の旧国鉄の債務や「隠れ借金」といわれる林野事業等の特別会計の借金などを加えると、財政赤字は実に約774兆円になる。この数字は17年度わが国のGDP見込みの151.2%に相当する。EU（ヨーロッパ連合）の基準だと健全な国家の財政赤字はGDPの60%とされているから、わが国の財政はいかに不健全な状態であるかが理解できる。最近の景気低迷、これから高齢化・少子化社会に向けて、納税者としての立場、あるいは日本国民としての立場から財政の問題を考えていくことが大切であるという認識に立って授業を行う。尚授業中に勉強したことについて10回程度の小テストを予定しているので、出席に自信のある学生を希望する。

成績評価の方法

試験、授業中の小テスト、レポート（小テスト、レポートで成績の半分を評価する）

教 科 書

速水昇編著 『政府の役割と租税』（学文社）

科目名**担当者名**

国際関係論

三船恵美

講義のねらい

国際関係論の基本的な概念とともに、現代の国際関係の枠組について講義します。国際関係を学ぶ目的の一つは、国際紛争・対立・危機を平和的に処理したり、国際平和を維持したりするためには如何なるシステムを案出していけばいいのか、を考えることです。国際関係の教訓を探り出すために必要な「基本的な視角」を学ぶことが本講義の目的です。

講義の内容・
授業スケジュール

前期は、国際関係論の基本的な概念（国際関係のアクター、国益・パワーの概念、安全保障の概念と類型、現実主義、理想主義、構造主義、ゲーム理論、対外政策決定論、国内政治と国際関係のリンクージ・ポリティックスなど）について講義します。

後期は、日本にとって最も重要な2つの国家、米国と中国の安全保障戦略を基軸に、米国のアジア戦略、日米関係、米中関係、東アジア共同体構想、台湾問題、韓半島問題、米中EU関係、米中・中東関係、米中ロ・中央アジア関係、米中・アフリカ関係が日本の国益や外交に及ぼす影響、などを講義します。

履修上の留意点

配布物は、理由の如何に関わらず、一度しか配りません。

成績評価の方法

試験（100%）。持込不可。授業中にうろさくして退場を命じられた学生には、受験資格を絶対に与えません。テストを欠席した場合にレポートは課しません。

教科書

年間を通したサブテキスト『世界情報地図2006年版』にちぶん（1,500円）。後期教科書については、前期授業中に指示します。

科目名**担当者名****実務演習Ⅰ**なかのたつひさ
中野辰久**講義のねらい**

本演習は、旧応用憲法演習が改組された経過を踏まえ、憲法を中心に演習を行っていきます。特徴としては、弁護士が担当することで実務における法の適用のされ方を踏まえた、憲法の諸論点の理解並びに法解釈能力を養うことを目的とし、あわせて種々の国家試験や法科大学院への進学も念頭に置いていきたいと思っています。また、法律実務に関する諸問題についても適宜ご紹介していきたいと考えています。

講義の内容・授業スケジュール

憲法の中でも基本的人権論を中心に取り上げ、それに関連する形で統治機構論・憲法訴訟論を加味していく予定です。基本的には近年問題となった実際の事件・判決を題材にしていきたいと思っています。

検討テーマの一例を挙げると下記のとおりです（括弧内は一昨年度、昨年度取り上げた事例です）。

- 1 基本的人権総論
- 2 基本的人権の限界－公共の福祉論
（死刑の合憲性をめぐる問題）
- 3 基本的人権の享有主体
（外国人の公務就任権の可否）
- 4 精神的自由権を規制する法律の合憲性審査基準
表現の自由・検閲の禁止・事前抑制の原則的禁止の法理
（週刊文春事件）
表現の自由・明確性の基準
（青少年保護育成条例事件）
信教の自由・政教分離原則
（内閣総理大臣靖国神社公式参拝訴訟）
- 5 経済的自由権を規制する法律の合憲性審査基準
職業選択の自由・営業の自由
（プロ野球のドラフト制度の是非）
- 6 社会権を巡る問題
生存権（生活保護費貯蓄容認判決）
教育を受ける権利・特別権力関係論・部分社会の法理
- 7 法の下での平等（議員定数不均衡事件判決）
- 8 その他

履修上の留意点

出席を成績評価の1要素としますので、出席を取ります。また、本演習を受講した後の復習をしていただきたいと思います。

成績評価の方法

出席とレポートで評価する予定です。レポートは後期終了時に提出してもらう予定です。

教科書

芦部信喜・高橋和之補訂『憲法第三版』（岩波書店）
芦部信喜・高橋和之・長谷部恭男編『別冊ジュリスト 憲法判例百選Ⅰ・Ⅱ（第四版）』（有斐閣）

参考書等

演習の都度、レジユメを配布する予定です。
高橋和之著『立憲主義と日本国憲法』（有斐閣）も副読本としては適当かと思っています。

その他

前記のとおり、弁護士の業務内容その他の法律実務の話等も適宜行っていきたいと思っています。

科目名

担当者名

実務演習Ⅱ

鶴井 俊吉・杉山 真一
つるい しゅんきちすぎやま しんいち
 上野 雅祥・小林 覚
うえの まさよしこばやし さとる

講義のねらい

本演習は、民法の領域を中心に演習を行っていきます。その特徴は、①法科大学院への準備段階として、専門領域について精通している経験豊かな弁護士を中心に、双方向授業を行うこと。②法曹になるための前提として、大学院試験等を念頭に入れ、単なる知識をつめこむという演習ではなく、柔軟な物の考え方のできる頭の訓練をすること、の2点である。

講義の内容・授業スケジュール

演習内容は、三名の弁護士と相談して決定するが、基礎民法演習で学んできたことを前提として、ケース・スタディーなど実践的な内容の比重が大きくなると思われる。具体的事案の解決にあたって、今まで学んできた民法の基本原則をどのように活用し、法律構成して妥当な結論に導くかという、理論的思考を重視した演習になる。そのために、積極的に討論に参加できるように希望する。

検討するテーマは、受講者決定後にプリントを配布する予定でいます。

履修上の留意点

本演習の性質上、民法総則・物権・債権等を履修している学生を対象とする。なお、受講者が多数の場合は、最初の演習の時間に選択を行う予定でいますので、全員が成績証明書を持参して下さい。

成績評価の方法

出席状況と平常点で総合評価する。

参考書等

演習の都度、適宜指示する。

講義のねらい

実定法上のひとつである刑法は、現実の社会への適用を前提に存在している。そうであれば、その適用の現実を知ることが、刑法の学習上不可欠でもあることは言うまでもないし、ひいては大学での学習と実社会との接点を知ることにもなる。またこれを検討することによって、これまで学んできた知識の正確さが問われるとともに、さらには新たな興味が喚起されることともなっており、より高いレベルへの学習の契機となるはずである。

講義の内容・
授業スケジュール

このような視点から、基礎刑法演習等で充分時間をとって紹介することのできなかつた刑法の重要判例を、総論、各論の分野にとらわれずとりあげ、これを素材に社会に生起する現実の事件に対する刑法の適用の姿を知ることとしたい。

履修上の留意点

この講義を有意義なものとするためには、受講者は、単に判例を知識として集積しようというだけでなく、常にこれを批判的に検討しようとする姿勢が大切である。

成績評価の方法

講義で取り上げた判例のうち、任意のものをテーマにレポートを提出してもらい、成績を評価することとしたい。

参考書等

教科書、参考書としては、開講の際、受講者が入手しやすい学生向けの判例集を紹介するが、できれば、各判例の原典に当たってみることをお勧めしたい。

科目名**担当者名**

現代企業論

代田純

講義のねらい

野村證券の提供による本講座は、「資本市場の役割と証券市場」をテーマとして、野村證券、野村総合研究所の現役スタッフによって講義される。証券投資に関する基礎から出発するので、初学者でも問題ない。証券業界への就職を検討する学生には、適している。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 ガイダンス
- 2 経済情報のとらえ方
- 3 経済成長と金融資本市場
- 4 証券投資のリスクとリターン
- 5 株式市場の役割
- 6 債券市場の役割
- 7 投資信託の役割
- 8 ポートフォリオの考え方
- 9 市場のグローバル化
- 10 資産運用とライフプランニング
- 11 資本市場と投資家心理
- 12 個人投資家
- 13 ベンチャーとIPO

成績評価の方法

出席点とレポート点で評価する。

教科書

毎回、レジユメを配布する。パワーポイントによる授業となる予定。

参考書等

『日本の株式市場と外国人投資家』、代田 純、東洋経済、2002年。

その他

野村證券の寄付講座であり、私語は厳禁する。受講態度に問題がある場合、退室を指導することがある。4年生が就職活動で遅刻する場合を除き、遅刻は認めない。

科目名**担当者名****簿記論**すずき かつひろ
鈴 木 勝 浩**講義のねらい**

簿記は、企業の経済活動を貨幣価値的に把握し、一定の記帳原理に基づいて記録・計算する方法である。現在企業ではコンピュータによる会計処理が主流となっているが、その基本には複式簿記の原理があり、マニュアル方式による簿記と何の変わりもない。また簿記は会計関連科目を学ぶ上で基礎的前提となるものであるため、初めて会計を学ぶ学生を考慮に入れ、複式簿記の原理をわかりやすく解説を行っていく。

**講義の内容・
授業スケジュール**

本講義では、まず簿記の歴史と複式簿記の原理を解説した後、日商簿記検定3級程度の知識を得るべく、簿記一巡の手續きに従い、記帳演習を取り入れながら個別事項を学習していく。また現在の実務状況を勘案し、コンピュータ環境下における簿記会計の在り方についても触れていきたい。

履修上の留意点

簿記はその性格上、知識の積み重ねが必要であるためなるべく欠席しないこと。また簿記は一定のルールさえ習得してしまえばその後の理解は容易である。したがって講義のスタートを大事にしたいと考えており、学生諸君もそのつもりでいて欲しい。

成績評価の方法

定期試験及び提出課題の総合評価で行う。

教科書

加古宜士・渡部裕宣編著『新検定簿記講義3級商業簿記』（中央経済社）

参考書等

加古宜士・渡部裕宣編著『新検定簿記ワークブック3級商業簿記』（中央経済社）

その他

講義の際には、電卓を持参すること。

科目名

経営学総論

担当者名名 取 修 一
な とり しゅう いち**講義のねらい**

企業経営活動は、今や人々が日常生活を送る中でなくてはならないものとなっている。企業の利潤生産・商品生産過程において、生活の糧を提供し、人々の「豊かさの創造」機会を生み出している。企業規模が拡大し、国際化し、その影響力は拡大しつつある。さらに今後、BRICsへの経済発展の波は、企業経営活動と国民生活、さらには地球環境問題等々の政策的解決をより複雑化していくことが予想される。こうした状況下にあつて、企業が存続し続けるためには利潤達成を実現すると同時に、社会的責任の遂行がなされなければならない。本講義では、こうした観点に立って、特に経営者・管理者行動に視点を当てる。

講義の内容・授業スケジュール**前期の目標**

経営学は企業経営活動を対象として、その行動様式を体系的に研究する学問である。この考え方に立って、前期では主として、企業経営活動を全般に渡って概観する。

企業を取り巻く環境は、21世紀に入って大きく変化してきている。それに伴って、企業の行動様式にも変革が求められている。同時に、様々な問題解決を迫られている。グローバル市場化のうねりは、国際社会化、情報社会化の展開とともに、一つ一つの問題をより複雑化し、難しくしている。たとえば、労働生産性の追求と超高齢社会、自然環境や生活圏の保全と物質的豊かさの追求問題等は、これまでの方法論的解決方法の限界が顕現化してきている問題でもある。世界標準と国内標準のジレンマにある今日のわが国の社会にあつて、経営者行動は極めて責任重大である。前期はこうした企業経営の実態の理解を目指す。

後期の目標

後期は、前期で理解した現実の企業経営とそれに伴った諸問題の認識に立って、経営学の体系的理解を目指す。

経営学の各論を整理し、それぞれの理論的・実践的理解と統合化を主たる命題として講義するなかで、受講生各自が自らの視点と問題意識を持つことができるように努めたい。

企業による生産主体としての活動は、その構造的視点と行動的視点の統合において理解されなければならない。今日、企業経営活動は構造改革が展開され、またそれに伴ってさまざまな制度改革が進められている。20世紀の日本経済・産業の発展に大きな貢献をなした輝かしい「日本的経営」の優位性が変異し、従来とは大きく様変わりしてきている。双方の視点の総合化過程は、経営者・管理者の意思決定過程にある。

後期の授業は、学生自身が積極的に問題視角を形成していくよう、講義の進行に努めたい。

履修上の留意点

受講生は、新聞等のメディア情報を積極的に見ておくこと。
受講生は、自ら積極的に自分自身の独自のノートを創ること。

成績評価の方法

受講態度・レポート・定期試験により評価する。

教科書

名取修一・市川 彰編著『現代経営学要論』（同友館）

参考書等

鈴木幸毅著『環境経営学・環境経営学の確立に向けて』（税務経理協会）

科目名

担当者名

会計学総論

いし かわ ゆう し
石 川 祐 二

講義のねらい

大学で会計に関する学習を進めるうえで、必要不可欠な基礎知識を獲得すると同時に、会計に関わる事象を分析するうえでの基本的な見方を養うことを最大の目的とする。また、2年生以降の会計専門科目をどのように学ぶのかということについて、専門科目間の関係性を踏まえつつ、説明を行う。そのことによって、より高度な学習内容を理解するための土台をつくる。

講義の内容・
授業スケジュール

前期においては、会計を分析するための視点の獲得に重点が置かれる。言い換えれば、「社会科学」としての「会計学」における分析方法を学ぶことになる。そこでは、会計を単なる技術と捉えるのではなく、むしろ社会的に一定の目的を果たすための仕組みと捉え、その仕組みの機能を把握するための方法を取り扱うことにする。

後期においては、そのような視点を前提としながら、会計学における各専門分野を概略的に取り上げることにする。具体的には、財務会計論・管理会計論・会計監査論の各分野に関して、その基礎的な概念や意味を明らかにしていく。

履修上の留意点

会計学関連の最も基本的な科目であるため、1年次での履修が望ましい。

但し、基礎的科目であることから、2年次以降の学生で未だ履修済みでない学生に対しても、受講することを推奨する。

なお、本講義と同時に「簿記論」を履修するか、または「簿記論」を履修済・認定済であることが望ましい。

成績評価の方法

小テスト・レポート・年度末試験を総合評価する。

教科書

プリントを配布する。一年間の講義をつうじて蓄積されたプリントが、学生個人々の成果を反映したテキストとなる。

参考書等

講義において適宜指示する。

その他

講義においては、必要に応じて問題練習を行い、知識の定着を目指す。

Ⅲ 他学部履修科目

授業時間表の区分「A」の科目を履修する場合は、
フレックス A の頁を参照してください。(→P.437)

※他学部履修科目は、3年次生以上を対象とします。

Ⅲ. 他学部履修科目

※印の科目については、法律学科フレックスBの専門教育科目の頁を参照してください。

法律学科フレックスB

科目名	配当学科	開講区分	単位	担当者名	ページ
商学総論	法A・政治・法B	通年	4	大吹勝男	639
社会思想史	法A・政治・法B	通年	4	阿部弘	640
国際経済論	法A・法B	通年	4	休講	
商業政策	法A・法B	通年	4	岩下弘	641
アジア経済論	法A・政治・法B	通年	4	鄭章淵	642
マーケティング	法A・政治・法B	通年	4	休講	
中小企業論	法A・政治・法B	通年	4	休講	
人口論	法A・政治・法B	通年	4	休講	
労務管理論	法A・政治・法B	通年	4	休講	
※法思想史	政治	通年	4	高橋洋城	602
※倒産処理法	政治	通年	4	鈴木貴博	624
アメリカ経営学	法A・政治・法B	通年	4	宮城徹	643
経営財務論	法A・政治・法B	通年	4	高田光明	644
経営組織論	法A・政治・法B	通年	4	休講	
公益企業論	法A・政治・法B	通年	4	菅谷実	645
管理会計論	法A・政治・法B	通年	4	休講	
会計監査論	法A・政治・法B	通年	4	阿部一人	646
日本経済論	法A・政治・法B	通年	4	休講	

講義のねらい

大学は、「企業に貢献する人材を育成」しなければならない、として大学は社会的要請に相應えねばならないというが、その実、社会ではなく、会社・企業のために諸君を育成しろというマスコミや評論家等々、そして学問に背をむけ、それらに迎合する大学人がいます。しかし、大学は君たち自身のためにあり企業のためにあるものではありません。大学で学ぶことは、将来君たちが人間らしく生きるための助けになるものでなければなりません。本学もまた大学である限り、学問の場でなければなりません。いいかえれば、大学においてしか学ぶことのできない、物事の見方、考え方を身につけることです。さらにいうならば、実用的でないもの、すぐには役に立たないもの、これらを学ぶのが大学です。諸君が、悩みに悩み、迷いに迷い、そして考え大人になっていくところが、大学という場です。「即戦力になる人材の育成」をうたい文句にした大学も続々と出現していますが、企業は即戦力が必要ならば、そのような人材を中途採用します。キャリアを積んだビジネスマンから多く聞くことは、学生時代に「学問」をしておくべきであったということです。諸君も、過労死や過労自殺をすることなく、使い捨てのサラリーマンになることのないように、体系的に物事を考える能力を身につけてください。そして、社会人として現実に困難な問題に直面しても、学問をした人間として、大学の卒業生として、きちっと解決のできる人間になってください。本講義では、現代における流通および商業に関する諸現象を科学的に認識するために必要な流通理論および商業資本の理論を講義しますが、それらの知識を習得するとともに、それらを学ぶ過程において体系的な思考方法を習得し、思考能力を高めてください。また本講義は、君たちが履修するであろうマーケティングや商業政策・流通政策を学習するための基礎理論を提供するものでもあります。

講義の内容・授業スケジュール

授業内容は下記の項目のようになります。

- (1) 商品論（価値論）・電子マネー
- (2) 生産過程論（労働過程論）
- (3) 流通過程論（資本の流通過程・商品在庫と保管費用・市場と商品輸送）
- (4) 商業資本の本質・機能論
- (5) 商業資本の自立化論・卸売り排除論（中抜き論）
- (6) 商業利潤論
- (7) 商業労働論・ホワイトカラー労働論（サラリーマン論）
- (8) 商業資本の回転と価格。

成績評価の方法

評価は期末試験によるが、授業の予習をかねたレポートの提出も評価します。また、各授業項目が終る毎に、小テストを実施し、君たちの理解度を確かめ、一層の理解を深める手段とします。期末試験では、テキストおよびノートの参照は可とします。しかし、この措置は、私自身、学生時代に非常に疑問に思っていたことではありますが、君たちに、受験生のような暗記の勉強を早く卒業してもらい、充分な準備（学習）をして試験に望んでもらいたいということでもあります。いうならば、問題のわからないレポート試験とでもいえばよいかもしれません。したがって容易に単位が取得できるということを意味しませんから要注意です。

教科書

前期 大吹勝男著『流通諸費用の基礎理論』（粹出版社）前期 1,500円
後期 大吹勝男著『商業資本の基礎理論』（粹出版社）後期 1,500円

講義のねらい

テーマ：市民と経済学

「経済学」という科学は人間社会の歴史とともに歩んできた内容を持つ。しかし、その学問としての成立過程は、19世紀に入って、ヨーロッパ社会で「近代市民社会」が成立してくる時期と軌道を一つにしている。

さて「経済学」の原型は、古代の社会で形成されてきた「帝王学」的な政治・経済の倫理・政策論に求められる。この場合に重要なのは古代中国で培われてきた「経世済民」という考え方である。

この論は21世紀「市民社会」、そして現代の日本の社会でも機能している。そこで講義体系の前半部分で「経世済民」論の成立過程を明らかにして、現代にあったこの論の持つ意義を観ていく。

次に、「経済学」の成立は「市民社会」の発達との関係なしにはあり得ない。そこで近代ヨーロッパ社会での、フランス革命に象徴される「ブルジョアジー」およびその後登場してくる「プロレタリアート」が「経済学」の成立過程にどのような影響を及ぼしたのかを考察する。そのうえで、現代社会で「経済学」は何を問題提起しているのかを受講生諸君と共に考えていきたい。

講義の内容・授業スケジュール

第1部：「経世済民」思想

第1章：古代中国での思想

第2章：日本の江戸時代の「経世済民論」

第3章：「経世済民論」と現代

第2部：「市民社会」の発達と「経済学」の形成過程

第1章：「個人主義」思想の形成と「道徳哲学」の新たな展開

—マンデヴィル思想から「道徳感情論」へ

第2章：フランス革命と「経済学」の形成過程

第3章：現代の経済的諸問題

履修上の留意点

この科目は講師からの一方通行的講義によるものではなくて、受講生の社会思想を通じた参加型のカリキュラムを目指しているため、受講生の積極的参加が重要視される。したがって次のようになる。

- 1 出席の確認（授業中に適宜実施される）
- 2 年間4～6回のレポートの作成

成績評価の方法

「成績評価」は以上の形で行い、「定期試験」は実施しない。したがってこの「定期試験」に伴う、「追試験」等を行わないので注意して欲しい。

教科書

教科書は次のものを批判的に用います。

阿部弘『労働と所有』（八千代出版）

参考書等

適宜授業中に指定する。

その他

[連絡体制]

講師の連絡先等を次に記載しておく。

TEL（職場）：03-3418-9360（第2研究棟5F No.2538研究室）

03-3418-9343（経済学部事務室）

E-mail：xupabe@nifty.com

科目名

担当者名

商業政策

いわ した ひろ
岩 下 弘

講義の内容・
授業スケジュール

- 一 わが国の小売商業構造と蓄積構造
 - 1 90年代の小売商業構造 2 80年代の大手小売業の資本蓄積構造
 - 3 90年代の大手小売業の資本蓄積構造
- 二 わが国の流通政策論
 - 1 中小小売商保護政策論 2 流通近代化政策論 3 流通システム化計画論
 - 4 流通革命論
- 三 流通ビジョンと流通政策
 - 1 70年代の流通 2 80年代流通産業ビジョン 3 90年代流通ビジョン
 - 4 21世紀へ向けた流通ビジョン
- 四 わが国の小売商業調整政策の展開過程
 - 1 百貨店法
 - 1) 第一次百貨店法 2) 第二次百貨店法
 - 2 中小小売商業振興法
 - 3 小売商業調整特別措置法
 - 4 大店法
 - 1) 1973年法 2) 1979年改正法 3) 1991年改正法
 - 5 凍結宣言、要綱及び条例
 - 6 通産省による行政指導＝抑制措置
 - 7 規制緩和
 - 1) 規制緩和の流れー前川レポート、行革審報告 2) 日米構造問題協議
 - 3) 適正化措置
 - 8 特定商業集積法
 - 9 街づくりと都市計画
- 五 流通政策の転換
 - 1 大店立地法 2 中心市街地活性化法
- 六 海外の流通政策
 - 1 イギリス
 - 1) 出店調整政策ー都市・農村計画法 2) 日曜営業問題ー商店法
 - 2 フランスーロワイエ法
 - 3 ドイツー土地利用計画
 - 4 アメリカーゾーニング規制

成績評価の方法

定期試験、レポート、出席により評価。

教科書

指定しない。

参考書等

その都度指示する。

講義のねらい

この講義では、受講生諸君に東アジア経済に対する理解を深めてもらうために、東アジア経済を歴史・理論・現状分析の3分野に大きく分け、下記のような個別のテーマについてそれぞれ解説する予定である。基本的な視座としては、1960年代以降本格化する東アジアの経済発展を20世紀後半期（冷戦期）に新たに勃興した資本主義発展の事例と捉え、その特徴並びに発展と矛盾の弁証法的メカニズムの解明に焦点を当てる。その際、従来の「アジア経済論」（典型的には新古典派開発経済学）のように工業化の本格化した1960年代以降の時期にのみ注目するのではなく、その「前史」（植民地期や戦後1950年代までの時期）も射程に入れて、通史的に経済発展過程を捉える。また、1960年代以降の工業化過程において経済発展をリードしてきた東アジア諸国の政府の役割を重視し、「開発独裁」概念を援用した分析を試みる。そして、あくまで「アジア」に軸足を置きつつも、東アジア経済がこれまで外部環境から様々な影響を受けてきた事実を考慮し、その時々の世界経済の動向についても注意を払うつもりである。

講義の内容・授業スケジュール

〔前期〕

1. 東アジア経済の全体像
 - (1) アジアの「多様性」
 - (2) 「東アジア」の範疇
2. 東アジア経済と経済理論
 - (1) 従来の経済理論
 - (2) 今日の経済理論
3. 東アジアの経済発展
 - (1) 工業化の「前史」
 - (2) 東アジアの経済発展過程
 - (3) 経済発展の特徴
4. アジア NIEs の経済発展
 - (1) 用語説明
 - (2) 経済発展の特徴
 - (3) 韓国の開発独裁体制

〔後期〕

5. 東南アジア諸国の経済
 - (1) 主要各国の経済発展過程
 - (2) ASEAN の歴史
6. アジア社会主義諸国の経済
 - (1) 中国の開放政策
 - (2) その他社会主義国の現状
7. アジア通貨危機
 - (1) 危機の背景・原因・特徴
 - (2) 危機への対応策
8. アジアの地域経済協力
 - (1) 地域経済協力の歴史と現状
 - (2) 東アジア経済圏の展望
9. 東アジア経済と日本
 - (1) 東アジアと日本の関係史
 - (2) 東アジアと日本の展望

成績評価の方法

前期および夏期休暇のレポートと学年末の定期試験で総合的に評価する。

教科書

特に定めないが、準テキストとして以下の文献を読んでもらいたい。
大野健一・桜井宏二郎著『東アジアの開発経済学』（有斐閣アルマ）2,000円（税別）

参考書等

参考文献については、講義中に随時紹介する。

講義のねらい

世界の経営学をリードしているのは、いうまでもなく、アメリカ経営学とドイツ経営学である。そして、日本の経営学の研究・教育は、第2次大戦前はドイツ経営学から、大戦後はアメリカ経営学から圧倒的な支配的影響を受けて発展してきた。ところが、特に1960年代以降になると、ドイツ経営学にもアメリカ経営学の影響が顕著に見られるようになった。

学生諸君は、必修科目である「経営学」の授業を通じて、無意識のうちに、アメリカとドイツの経営学にかんする基礎知識をある程度身につけていることを前提とした上で、経営学徒のメッカ、アメリカ経営学をその最先端の理論的・経験的研究の基本的成果を踏まえて全般的に講義するが、主として、下記の授業計画の7つの要目について検討する。その際、日本の企業との関連についても検討を加える。

講義の内容・授業スケジュール

マイクと板書。教科書は指定しない。

この授業は1週1回90分で年間30週の時間数（ただし、期末試験日を入れて）から成る。最初の授業時間は、この科目を選択するか否かを判断するために下見に来ている学生諸君に、アメリカ経営学の1年間の授業の概要を説明する。原則として、下記の授業計画の要目をそれぞれカッコ内の授業回数（合計29回）で完結する予定である。

なお、この授業回数は一応の目安であり、授業時間が祝祭日に当る場合は授業の進展状況によって若干変更することがある。

〈2005年度『アメリカ経営学』授業計画〉

- I 1年間の授業の概要 (1)
- II 経営学の対象と方法 (2)
- III 意思決定と権力（パワー）(8)
- IV 戦略（特に提携、グループ、ファミリー）(4)
- V コンティンジェンシー理論 (4)
- VI 取引コスト理論 (6)
- VII プロパティ・ライツ理論 (2)
- VIII プリンシパル－エージェント理論 (2)

成績評価の方法

期末筆記試験。なお、学生諸君の理解度と教育効果を確かめるために、期末試験以外に、小試験をおこない、その結果を評価の対象に加味することがある。

《期末試験の出題形式》

複数の問題から1題選択して論述する。詳細は試験前の授業で説明する。

参考書等

- 1 宮城徹『企業の政治理論序説』（税務経理協会）1997年
- 2 宮城徹「企業制度とプロパティ・ライツ理論」『商学研究科紀要』（早大、第20号）1985年
- 3 宮城徹「情報と企業経営の理論的諸問題」日本経営学会編『情報化の進展と企業経営』（千倉書房）1987年
- 4 宮城徹「経営者論」鈴木英寿編『経営学総論』（第2版）（成文堂）1998年
- 5 宮城徹「経営学の歴史」藤芳誠一編『新版・新時代の経営学』（学文社）1993年
- 6 宮城徹「組織の経済理論の基礎構造」日本経営学会編『現代経営学の課題』（千倉書房）1997年
- 7 宮城徹（単独訳書）『情報時代の企業管理の教科書—組織の経済理論の応用—』（税務経理協会）2000年（A.Picot u.a., *Die grenzenlose Unternehmung*, Gabler, 1998）
- 8 宮城徹（共訳書）『新制度派経済学による組織入門』（白桃書房）1999年（A.Picot u.a., *Organisation. Eine ökonomische Perspektive*, Schaffer - Poeschel, 1997）

ここでは紙幅の関係で上記の授業内容に直接関連のある私の著書・論文・訳書だけを参考文献の一部として掲げておいたが、その他の文献については適宜紹介しておく。

講義のねらい

〔財務の意味〕

経営財務は、企業という組織体の財務を研究する学問分野である。企業は、社会が必要とする財貨やサービスを生産し販売するという活動を営む報酬として、利益を獲得しようとする組織体である。このような活動では、機械、建物、原材料などの財貨が必要となるし、労働力も不可欠である。企業は、その活動を営むに際し、これらの財貨を取得しなければならないし、働き手も雇用しなければならないわけであり、そのために元手となる資本を必要とする。

この元手としての資本を集めることを、資本の調達という。そして、現金の状態では通常は調達する資本で、企業は、上記の財貨や労働力などを取得し、これらの生産要素により、新たな財貨やサービスを生産して販売するという営業活動を遂行し、その結果として資本が自己増殖することを目指す。このことが資本の運用であり、企業の営業活動を通じた資本の自己増殖分が利益である。企業の財務とは、現在では、企業による以上のような資本の調達と運用をいっている。

企業が資本を調達するのは、調達資本をできるだけ効率的に運用して自己増殖させ、利益を生み出すためである。その意味では、資本の運用あつての調達であるといつてよい。しかしながら、企業は、用途に合った種類の資本を、必要とする額だけ必要ときに調達できなければ、資本の運用を意図したように行い難くなる。資本運用の効率性は、企業が、資本の運用に合わせた調達をいかに行えるかに制約される。資本の運用がうまくいくかどうかの出発点は、資本をどのように調達するかにあるといえる。

資本の調達問題は、経営財務において、依然として重要な位置を占めていることに変わりがない。資本の運用あつての調達であるからといって、そのことは、資本の調達面の意義が小さくなることをけっして意味してはいないのである。この授業では、以上のような問題意識のもとで、資本の調達を中心に、必要に応じて資本の運用面と関連させながら講義するつもりである。

講義の内容・
授業スケジュール

基礎知識を体系的に理解し、この学問の基本的考え方を身に付けられるようにするために、まず基礎的・総論的事項から講義していく。

1. 経営財務の領域
2. 資本と資産
3. 資本の分類
4. 資本の運用形態
5. 資金調達の基本原則
6. 流動・固定分類法の重要性
7. 資金概念
8. 企業利益の概念
9. キャッシュ・フロー
10. リスクとリターン
11. 資本のコスト
12. 内部資金
13. 株式資本と他人資本との相違
14. レバレッジ
15. 資金調達の手順

履修上の留意点

経営財務論を理解する上で必要となる最小限の会計的知識も授業では説明する。しかし、簿記学と会計学を前もって履修してあることが望ましい。

成績評価の方法

原則として、期末筆記試験により評価し、出席点を加味する。

教科書

中原章吉編著『経営財務と管理会計』（中央経済社）

参考書等

中原章吉編著『経営財務と管理会計』（中央経済社）
染谷恭次郎著『資金計画の手引き』（日経文庫）

科目名

担当者名

公益企業論

菅谷実

講義のねらい

本講義ではエネルギー、情報通信などの公益企業における政府・企業間関係について学ぶ。具体的には、政府・企業間関係に関わる基礎理論、さらに、公益事業規制の実態も、現実のトピックに関連しながら学んでいく。本講義は応用ミクロ経済学の一分野として位置づけられる。

講義の内容・授業スケジュール

1. オリエンテーション (1)
〈総論〉
2. 公益企業とは (1)
3. 公益企業規制理論 (2)
4. 公益企業とネットワーク産業 (2)
5. ネットワーク理論 (2)
〈企業各論〉
6. エネルギー・水道 (3)
7. 情報通信 (4)
8. 交通・運輸 (4)
〈規制課題〉
9. ネットワークアクセス (1)
10. リストラクチャリング (1)
11. 民営化 (2)
12. ユニバーサルサービス (2)
13. 環境問題 (2)
14. NPO の役割 (1)
15. まとめ (1)

履修上の留意点

経済学の基礎知識があることが望ましい。

成績評価の方法

期末試験と平常点

教科書

『日本の公益企業』(白桃書房) 2005年5月

参考書等

講義の必要に応じて紹介する。

講義のねらい

“監査論を無味乾燥であるとエスケープしないでくれたまえ”
もともと監査論は、その言葉自体がもつ語感からして、堅苦しく・手続的で暗いイメージを与えがちである。

監査論は他人の不実行為を暴くこと自体を目的とするものではないので、仮にその結果、内容のどこにも非のうちどころがなく全く適切で妥当なことが明らかになったとしても、それはむしろ当然の事柄であって、その人が負っている責任を免れることにもなるのである。

監査は、優れて社会的・人間的な用具として生みだされたものであるが、しかしそれを悪用したり骨抜きにしたりする者も現実には存在することは、過去の事例からも明らかであるけれども、そのような者が多ければなおのこと監査に対する社会的な要望も多岐に存在している。

まさに、監査がどれだけ社会一般に受け入れられているかということこそ、文明社会を映し出す尺度であると言えまいか！

監査論は財務諸表監査として特徴づけられている。

これは、企業をめぐる多数の利害関係者を保護するため、企業の発表する財務諸表が企業の財政状態や経営成績を適正に表示しているかどうかについて、職業的監査人が公正な立場から批判的意見を表明する社会制度であり、他のあらゆる監査の標準をなすものである。

本講義では、財務諸表監査を中心として、さらに監査役監査ならびに内部監査をはじめ最近の経営監査、監査の国際化などの関連領域をも含めて論及する。

講義の内容・授業スケジュール

1. 会計監査の意義と目的（総論）（1）
 - （1）監査の必要
 - （2）監査の意義
 - （3）監査の対象
2. 会計監査の意義と目的（2）
 - （1）監査の目的
 - （2）監査思想の変遷
 - （3）監査の効用
3. 監査の機能
4. 会計上の誤謬と不正
5. 監査の種類
6. 会計監査と財務諸表監査
7. 我国の監査制度
 - （1）証券取引法監査
 - （2）商法監査
 - （3）その他の監査制度
8. 監査基準（1）
 - （1）必要性
 - （2）生成と展開
9. 監査基準（2）
 - （1）意義
 - （2）体系
 - （3）一般基準
 - （4）実施基準
 - （5）報告基準
10. 監査人
11. 監査証拠
12. 監査計画
13. 内部統制
14. 試査
15. 監査技術と監査手続
16. 監査調書
17. 監査報告書
18. 連結財務諸表の監査
19. 中間財務諸表の監査
20. システム監査
21. 国際監査基準
22. 現代監査論の動向
 - （1）監査概念の拡大化
 - （2）監査保証に程度の差を認める監査概念

履修上の留意点

「簿記学」「会計学」の科目を履修済みであることが好ましい。

成績評価の方法

評価の方法は、前期と後期の定期試験、レポート（夏季）および出席状況を考慮して、総合的に判定する。なお、最初の講義時に詳細な講義内容、試験の方法および評価の方法等について

て説明するので、受講希望者は必ず出席すること。

教科書

小関・柳田共著『監査論セミナー 改訂版』（東京経済情報出版）3,200円

参考書等

大矢知浩司『監査論概説』（白桃書房）3,300円

田島四郎『最新監査論』（税務経理協会）2,900円

高田正淳『最新監査論』（中央経済社）2,800円

鳥羽至英『監査基準の基礎』（白桃書房）3,900円

三澤 一『会計監査の理論』（中央経済社）2,800円

山榎忠恕・桧田信男『監査基準精鋭精説』（税務経理協会）3,500円

脇田良一『財務諸表監査の構造と制度』（中央経済社）3,800円

